

特長ト云フモノハ實證主義的ナ認識法アリマシテ、其ノ實證主義ノ方法ト云フモノハ分析的デアツテ分解的デアアルノデアリマス、然ルニ其ノ現象ノ部分ニ對シテハ認メテ正確デアリ、精緻ナモデアリマスケレドモ、人生ヲ全體ニ把握スル、正義ヲ全體ニ認識スルト云フ點ニ於テハ、科學ハ非常ニ缺クル所ガアルノデアリマス、是ハ勿論科學ノ領域ニアラズシテ宗教ノ領域デアリマス、所テ近代科學ノ教育ヲ受ケタ多クノ青年學生ハ、新様ナ部分的分析方法ヲ以テ直チニ人生ヲ認識セントスル所ノ錯誤ニ陥リマス、其ノ結果其ノ人生觀ハ極メテ淺薄、功利主義ニ走ツテ來ル所ガ多イノデアリマス、現在ノ國民思想ノ動搖ト混亂ト云フモノニ付テハ、種々ナル原因ガアルト思ヒマスガ、其ノ一ツノ有力ナル一因ハ科學教育ノ齎シタ唯物的ナ人生觀ガ跋扈シテ居ルト云フノガ重大原因ダラウト思ヒマス、根本的ニ科學ト宗教トノ乖離ガアル、是ガ現代思想動搖ノ有力ナル一因デアルト信ジテ疑ハナイノデアリマス、又宗教方面ニ於テモ、科學ガ發達スレバ衰微スルヤウナソナ宗教ハ役ニハ立たナイソナ宗教ハ本當ノ宗教チヤナイト思フ、寧ロ科學ノ發達ニ依ツテ宗教ノ内容ガ豐富ニナリ、高度ニ達スルト云フノガ眞ノ宗教デアルト思フ、即チ科學思想ノ正シイ發達ノ爲ニ、其ノ根柢ニ宗教ヲ與ヘナケレバナラヌ、宗教ノ健全ナル發達ノ爲ニハ科學ノ發達モ伴ハナケレバナラヌ、兩者根本ニ於テ一致協力スベキモノデア、決シテ相反スルモノデアナイト思フ、我國ノ産業ガ益益工業化シ、近代科學教育ガ益々普及サレタ時ニ於テ本法ガ制定サレルコトハ、極メテ意味深イコトデアリマシテ、此ノ際私

ハ文部當局ハ國民教育上ニ於ケル宗教ト科學ノ綜合性ニ關シテ深甚ナル考慮ヲ顯ヒタイ、工業教育ハ一方ニ於テ實業學理教育デアリシ、宗教ハ宗教テ別ノ道ヲ執ルト云フヤウニ、個々チンチンバラバラニ教育シテ置イテ、放ツタラカシテ置クト云フコトハ非常ナル誤デアリマシテ、私ハ今日ノヤウナ思想ノ動搖期ニ於テ、工業教育、科學教育ガ盛ニ行ハレル時代ニ於テ、宗教ト科學ノ綜合統制ニ關シテハ、文政當局ハ深甚ナル考慮ヲサレル必要ガアルト思ヒマス、此ノ點ノ希望ヲ述ベテ置キマス
 最後ニモウ一ツ私ノ希望ハ、戰爭ト宗教ト云フコトデアリマス、戰爭ト云フモノハ國民チシテ生死ノ關頭ニ立タシムルモノデアリマシテ、國民ニ一種ノ宗教的體驗ヲ與ヘル大ナル一チヤンスデアリマス、此ノコトハ日露戰爭ノ體驗ノアラレル荒木文部大臣ハ既ニ御經驗ノコトト思ヒマスガ、私自身モ一昨年事變始ツテ以來、上海派遣軍ニ半年モ從軍致シマシテ、砲煙彈雨ノ裡ニ居リマシテ、私ノ如キ宗教心ニ淺イ者デモ、深刻ナル宗教ノ經驗ヲ味ツタデアリマス、今日既ニ百萬ヲ超エル所ノ皇軍ノ大軍ガ、大陸ニ於テ生死ノ境ニ戰ヒツツアル、彼等將兵ガ戰爭ヲ通ジテ深刻ナル宗教上ノ體驗ヲ得タデアラウト云フコトハ、推察スルニ餘アル、既ニ宗教的觀念ヲ以テ、軍人ハ此ノ戰爭ヲ通ジテ宗教的觀念ヲ強化スルデアリマセウシ、又今度ノ戰爭ニ於テ初メテ宗教的觀念ヲ得タ軍人モアルデアセウ、或ハ宗教的觀念ヲ獲得スル一歩手前ノ、宗教的感情ヲ體驗シタ者モアルデアリマセウ、是等ノ軍人ノ貴イ經驗ヲ活カサナケレバナラヌ之ヲ放ツタラカシテ置イテハイケナイ、戰爭ノ與ヘル、宗教的

經驗ヲ十分活カスト云フコトガ、將來ノ國民ノ宗教的情操ヲ向上スル上ニ於テ極メテ必要ナ事デアラウ、デアリマスカラ此ノ點ニ關シマシテ、戰爭ト宗教ノ關係ニ付テ文政當局ニ於テハ十分ナル調査研究ヲサレテ、今次ノ事變ニ關シテ國民ノ宗教心發達ノ爲ニ大イニ御努力アラント切ニ希望スルノデアリマス
 以上所見ヲ陳述致シマシテ本案ニ贊成スル次第デアリマス
 ○鈴木委員 私ハ社會大業黨ヲ代表致シマシテ本案ニ贊成ノ意ヲ表明致スモノデアリマス、尙ホ各派ノ協調ニ依ツテ提出致シマシタル三ツノ希望條項ヲ付シテ之ニ贊成スルモノデアリマス
 本案實施ニ當リマシテハ、申スマデモナク公平公正ヲ旨ト致シマシテ、天下ノ人心ヲ鼓舞作興シ、宗教家チシテ感奮興起、勇躍シテ其ノ任ニ赴カシメ、宗教ノ大活躍ヲ希望スルモノデアリマス、終ニ臨ミマシテ本案ノ如キ微妙ニシテ複雑ナル、且ツ歴史ノ永イ問題ヲ要約致シマシテ、本案ノ如キ簡潔ナル文章ノ中ニ御纏メニナリマシタ文部大臣並ニ文部當局ノ勞苦ヲ深ク多トシ感謝スルモノデアリマス、ソレト同時ニ本案ノ委員長ハ、非常ニ長イ時間掛リマシテ、色々ナ議論ガアツタニ拘ラズ、寛容ト忍耐トヲ以テ最後マテ持續セラレマシテ、遂ニ本案ノ成立ヲ見ルニ至ツタト云フコトニ對シマシテ、又深ク其ノ勞ヲ多トスル次第デアリマス
 ○榎尾委員 第二控室ヲ代表シマシテ本案ノ贊成ヲシ、並ニ各派共同ノ三ツノ希望條項ノ徹底シマスヤウニ希望ヲシテ、贊意ヲ表スルモノデアリマス、宗教法ハ明治三十二年以來屢々問題ニナリマシテ、漸ク此ノ時局重大ノ時ニ、當局ノ御努力ヲ基ト

シテ本案ノ成立ヲシマスルコトニ、深甚ノ感謝ヲ表スルノデアリマスルガ、其ノ第一ノ希望條項ニ關シマシテハ、一ハ事變ノ勃發以來、教化關係ノ人々ハソレソレノ方法ヲ講ジテ居ル様デアリマスガ、例ヘバ佛教ニアリマシテハ佛教聯合會ガアリマスガ、此ノ聯合會ハ直チニ支那ノ回教ニハ協力チシテ居リマセウ隨テ支那ノ回教ニ協力シマスルモノダケガ特別ナル聯合團體ヲ作ツテ、其ノ實行ヲ進メタイトノ計畫ニ對シマシテ、固ヨリ當局ハ相當ノ監督指導ヲシテ居ラレルト思ヒマスケレドモ、聯合會全面ノ活動ヲ要求セラレルコトニ依ツテ行詰ツテ居ルヤニ聞クノデアリマスガ、サウ云フコトノアリマセウニ、形式ニ泥マナイテ實動ヲ十分ニ監督指導サレマシテ、有效ニ活潑ニ時局ニ對シテ働キマスヤウニ指導アラント願フノデアリマス、國內ニ於キマシテハ宗教各派ノ教師等ヲ動員シマシテ、精神總動員ノ上ニモット活躍セシメラル途アリト感ズル者デアリマス、是モ管長其ノ他ニ對シテ御獎勵ニナツテ居ル事ハ承知致シテ居リマスガ、ヤハリ國家ガ積極的ニ多少ノ財ヲ與ヘ途ヲ與ヘ指導ナサレマスレバ、モット十分ナル活躍ガ出來ルト存ズルノデアリマス、固ヨリ財ニ於テハ各教派ガ内部的ニモ十分ニ爲シテ居ルト思ヒマスケレドモ、極メテ少額デモ國家ガ與ヘテ而シテ監督指導セラレマスレバ、モット有效ナモノデアルト存ジマスガ、從來ハ何等與フルナクシテ唯掛聲バカリデアツテ、其ノ效果ヲ擧ゲマセウ爲ニ、其ノ點ニ付テハ今後ハ積極的ニ行ハルコトト期待スルノデアリマス、又途ト申シマシタモノハ單ニ國民精神ノ總括的ノ指導ノミナラズシテ、此ノ時局ニ對應

シマスル實際ノ指導内容ヲ正確ニ、有效ニ指示セラレマスルヤ
ウニ、是ハ何レ再教育等ノ形式ヲ以テ行ハレルコトト存ジマス
ルガ、之ヲ實行セラルルコトヲ希望スルノデアリマス、其ノ方
法整ヒマスレバ、内外ニ時局ニ對シテ相當ノ活動ヲシ得ルモノ
ト思フノデアリマスカラ、會々本法ノ成立ヲ境ト致シマシテ、
當局ニ於キマシテハ此ノ希望ヲ十分ニ實現セラレルヤウニ御努
力ヲ御願致シマス

他ノ二ツノ希望ハ、本法ヲ以テマシテ將來恒久的ニ徹底スル
コトヲ希望スルモノデアリマシテ、前ニ立川委員カラノ御話ノ
アリマスル通り、宗教ハ必ズシモ保護ニ依ツテ伸ビルモノデハ
ナクシテ、壓迫ニ依ツテ伸ビルコトノ強イモノデアリマスルガ
併シ乍ラ平凡ナル一般的ノ發達ハ、ヤハリ相當ノ監督、保護、指
導ニ依ツテ伸ビル譯デアリマス、就キマシテハ此ノ教師ノ資格
ヲ向上セシムル爲ニハ、再三申上ゲマシタ様ニ、國家ガ宗教ノ
教師トシテ斯ノ如キ者ヲ要求スルコト云フ、其ノ模範的ナ者ヲ養
成スル何等カノ機關ヲ一ツ建テラレマスレバ、自然之ニ近ゾイ
テ來ルノデアリマシテ、國家ガ自ラサウ云フコトヲ致シマセズ
ニ高メルコトハ困難デアルバカリデナク、自然彼等ヲ批判シ、
指導セラレマスル上ニモ、唯主觀的ノ偏見ニ陥ル虞ガアリマス
カラ、國家ガ實際ニ其ノ經營方策ヲ考慮セラレマスルヤウニ、
豫テ大臣ノ御考慮ヲ得ルト云フコトデアツタ其ノ點ニ對シテ、
一層ノ御考慮ヲ得マシテ、國家自ラ進ンテ此ノ宗教教師ノ資格
向上ノ爲ニハ、實際的ノ指導ヲ與フル事ニ御盡力ヲ願ヒタイノ
デアリマス、サウシテ之ヲ標準トシテ各教派ニ向ツテ嚴重ナル

監督指導ヲ加ヘラルコトヲ願フノデアリマス、又經濟方面ニ付
キマシテハ、一面ニハ非常ナ貧弱ナル經濟ニ依ツテ、相當善良
ナル效果ヲ與ヘテ居ルモノモアリマスルガ、又間々宗教ヲ名ト
シテ財ヲ私シテ、是ガ迷信邪教ノ興隆ノ源トナツテ正シイ宗教
發達ヲ阻礙シテ居ルノデアリマス、本法ノ施行ニ依リマシテ動
産、不動産ヲ確實ニ保護セラレマス共ニ、其ノ果實、及ビ宗
教ノ名ニ依ツテ集リマスル財物ヲ宗教以外ノコトニ用ヒナイヤ
ウニ、又宗教ニシテモ正シイ發達ノ爲ニ用ヒルヤウニ御指導ニ
ナリマスルコトハ、此ノ法ガ行ハレナカッタ今マデノ慣習ニ
ミ泥ミマスルト、折角ノ立法ガ其ノ效果ヲ失フコトト存ジマス
ルカラ此ノ立法ヲ境ト致シマシテ、嚴重ニ財物ノ宗教的ニ用ヒ
ラレ行ハレマスル様ニ、監督指導ヲ與ヘラレタイノデアリマス
尙ホ一言附ケ加ヘテ置キタイコトハ、本法ノ施行ニ依リマシ
テ、結社並ニ教會ガ新ニ合法的ニ成立スル譯デアリマスガ、是
ハ信教ノ自由デアリマスルガ、併シ是ガ爲ニ從來全ク類似宗
教、淫祠邪教トシテ非難セラレルモノガ、非難サレルコトナク
横行闊歩スルヤウニナツテハ相成ラヌデアリマシテ、其ノ點
ニ付テ一方ニ於テ公平ニ、善意ニ進歩シテ參リマスルモノヲ素
直ニ受け容レマスルト共ニ、他方ニ於テ迷信邪教ガ之ヲ機トシ
テ物興致シマセヌヤウニ善處セラルト云フコトハ、頗ル困難
ナコトデアリマシテ、恐ラク名ノ正シキニ引入ラレテ實ヲ失
フコトニナルデアラウト云フ憂大ナルモノガアルノデアリマス
今日マテ宗教制度調査委員會等ニ於テ努力サレマシタ以上、是
カラノ宗教ノ動キヲ正シク進メテ行クト云フコトハ、餘程困難

ナモノト存ジマスルカラ、其ノ調査會等ノ制度モ正シクセラレ
マシテ、確實ニ新ニ興ル正シキモノヲ妨ゲズ、同時ニ邪ナル
モノノ横行ヲシマセヌヤウニ、嚴重ナル監督、啓發ヲ與ヘラレ
マスルヤウニ希望スル次第デアリマス、此ノ希望ニ附シテ贊意
ヲ表スル者デアリマス

○三田村委員 私ハ東方會ヲ代表致シマシテ本案ニ贊成ノ意ヲ
表シマス、併セテ各派共同ノ三ツノ希望條件ニ贊意ヲ表シマス
ガ、更ニ一言希望意見ヲ述ベタイト思ヒマス、其ノ第一點ハ、
宗教行爲ガ世道人心ニ及ボス影響ノ至大ナル點ニ盡ミマシテ、
此ノ宗教行政上劃期的ナ立法ヲ機會トシテ、宗教活動ガ國家ノ
目的ト合致スルヤウニ、今後大イニ積極的ナ指導監督ヲ希望ス
ルモノデアリマス、其ノ第二點ハ、本法ニ依ツテ規制サレマス
宗教ハ、之ニ依ツテ監督助成ガ行ハレマスガ、ソレ以外ノ所謂
似テ非ナル宗教、即チ淫祠邪教ノ如キモノガ續發スル傾向ガ最
近非常ニ顯著デアリマスガ、是ハ一ツノ混沌タル社會相ノ反映
デアリマス、隨テ此ノ點ニモ十分御留意アリマシテ、宗教ヲ一
ツノ國家行政ノ内ニ包容スル見地カラ、其ノ所謂似テ非ナル宗
教活動ニ對シテモ、十分ナル取締ヲ指導ヲ行ハレンコトヲ切望
スルノデアリマス、以上簡單ニ希望ヲ述ベマシテ贊成ノ意思ヲ
表シマス

○安藤委員長 加藤君カラ、希望條項ニ付キマシテ特ニ簡單ナ
發言ヲ要求セラレテ居リマス、極メテ簡單ニ此ノ際發言ヲ許可
致シマス

○加藤委員 私ハ此ノ宗教團體法案ニ付テ全然贊意ヲ表スルモ

ノデアリマスガ、併シ只今希望條項ヲ三點御舉ゲニナリマシタ
其ノ中ノ第三番目ニ「宗教ノ名ノ下ニ於ケル營利目的トスル
行爲」云々ト云フコトガアリマスガ、之ニ付テ少シク意見ヲ申
上ゲタイト思フノデアリマス、宗教ノ名ノ下ニ爲シタル營利行
爲デアリマシテモ、之ニ依ツテ得タル營利行爲デアリマシテモ
之ニ依ツテ得タル營利社會ノ爲ニ、國家ノ爲ニ、乃至布教傳
道ノ爲ニ投ズルトシマスルナラバ、是レ必ズシモ私ハ咎ムベキ
事デアナカラウト思フノデアリマス、吾々共ノ最モ排斥セン
ト欲スルモノハ、宗教ノ名ノ下ニ於テ不正行爲ヲ爲ス其ノ事柄
アルノデアリマス、此ノ點ニ於テ十分文部當局カラ御監督ヲ
願ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、不正行爲ノ中ニモ、
必ズシモ利營目的ノ行爲バカリデハナクテ、他ニモ最モ憎ムベ
キ行爲ガアルト思フノデアリマス、カルガ故ニ私ハ出來ルコト
ナラバ只今ノ條項ヲ「宗教ノ名ノ下ニ於テ不正行爲ヲ爲ス者」
ト修正セラレンコトヲ希望致スモノデアリマス

○安藤委員長 一寸加藤君ニ御相談シマスガ、アナタノ御意見
ハ能ク分リマシタ、サウ云フ解釋ヲ以テ、含マシテ、先程各派
代表カラ御陳述ニナリマシタ希望條項ニ合致セラレンコトヲ希
望致シマス

○加藤委員 私ガ只今申述ベマシタ意味ヲ含ンテノ利營行爲ト
云フコトデアリマスレバ、別ニ異議ハアリマセヌ、私ノ申シマ
スヤウニ希望條項ノ文面ヲ改メラレンコトヲ切ニ希望致シマシ
テ……………

○安藤委員長 ソレデハ分リマシタ、加藤君ノ御意見ハ能ク分

リマシタ、其ノ意味ハ包含ナシテ居ルノデアリマス——是ヨリ採決致シマス、本案ニ對スル各派代表ノ御意見ハ總テ一致デアリマス、即チ三箇ノ希望條件ヲ附シマシテ貴族院ヨリ修正送付セラレタル宗教團體法案ヲ可決スルコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシト〕呼ブ者アリ

○安藤委員長 滿場一致御贊成デアリマス（拍手）本案ハ可決致シマシタ

○安藤委員長 續イテ寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財產ノ處分ニ關スル法案ノ審議ヲ繼續致シマス……

（中略）

○加藤委員 ソレデハ是ヨリ質問ヲ致シマスガ、第一點トシテハ、寺院ノ國有境内地ハ私有ナリ、政府ハ之ヲ公領關係ナリト言フモノハ誤リナリト認ム、政府ハ責任ヲ以テ公領關係ナリト稱スル其ノ根據即チ確證ヲ提示サレタイ、ソコテ私ガ之ヲ私有ト稱スルノハ、元來寺院ノ境内地ハ王朝時代ヨリ、制札又ハ下知狀ヲ以テ、一般寺領ニ對スル租稅收納權ト共ニ境内山林ノ租稅ヲ免除スルト同時ニ、其ノ寺院ノ所有權ヲ確保セラレタルモデアリマス、即チ是ハ昔時高僧ガ或ハ深山幽谷ノ靈地ヲ相シ之ヲ開拓シテ寺院ヲ創設シ、或ハ王侯ノ下附、士民ノ寄附ニ依リ、或ハ買得ニ依リ、其ノ境内地ニ對スル所有權ヲ完全ニ取得シ來リタルモノデアツテ、一般士民ガ、其ノ邸宅敷地ヲ所有スルト毫モ選ブ所ガナイデアリマス、然ルニ、政府ハ明治四年

テ居ルモノヲ、ソレテ今回處分シヨウトスルノデアリマス、併シナガラ明治四年太政官布告アハ、當時ノ境内地ニ私有地ト認メテ居タカラ、其ノ當時現在ノ境内地ヲ除キテ、其ノ他部分即チ朱印地、黒印地ヲ上地セシメテ置キナガラ、更ニ明治八年ニハ其ノ私有地ト認メテ上地シナカツタ境内地ノ内ニ於テ、祭典法要ニ必需ノ場所ヲ區劃シ、更ニ新境内地ト定メテ其ノ餘ヲ悉ク皆上地セシメタデアリマスガ、其ノ上地シタ部分ハ明治四年ニハ最初ヨリ寺院所有ノ境内地トシテ殘サレテ居タ地域ヲ上地セシメタモノデアルカラ、ソレガ寺院ノ私有地デアルコトハ自明ノ理デアルト言ハネバナリマセヌ、所ガ政府ハ斯クノ如ク寺院ノ私有地ヲ上地セシメタノハ不當デアツタト氣付イテ、明治十一年五月、内務省乙第十一號ヲ發シテ之ガ下渡方達示ヲシタデアリマス、其ノ達ニハ「官國幣社、式社及文明十八年以前ノ創立ニ係ル社寺並公園地、區劃中ノ社寺ヲ除クノ外、官有地ニ在ル社寺ニシテ、境内外區劃決定ノ分ニ限リ該社寺ニ於テ請願候ハバ無代價下渡、民有地第一種ニ組替、其ノ旨時々可届出、此ノ旨相違候事」トアリ、是ハ官有地ニ在ル社寺ニシテ境内境外ノ區劃決定ノ分ニ限リ、該社寺ニシテ請願スレバ無代價ニテ下渡シ、官有地第四種カラ、民有地第一種ニ組替ヘテスルカラ、其ノ旨時々届出ヅベシト云フデアツテ、之ヲ以テ見ルモ政府ガ明治四年ノ太政官布告ト明治八年ノ地租改正局達示トヲ以テ、寺院ノ境内地ヲ二度ニ互ツテ上地沒收シ、官有地ニシテシマツタコトハ、確ニ不當ノ暴舉デアツタコトガ分ルデアリマス、若シ之ガ不當ナイト云フナラバ、然ラバ明治十一年五月

正月五日太政官布告ヲ發シ「諸國社寺由緒ノ有無ニ不拘朱印地除地等、從前ノ通被下置候處、各藩版籍奉還之末、社寺ノミ土地、人民私有ノ姿ニ相成、不相當ノ事ニ付、今度社寺領地現在ノ境内地ヲ除クノ外、一般土地被仰付云々」ト稱シテ、其ノ當時ノ現在ノ境内地ヲ除クノ外、一般即チ朱印地、黒印地ノ土地ヲ爲サシメタデアリマス、然ル所政府ハ明治八年ニ至リ、地租改正局且明治八年乙第四號ヲ發シ、「社寺境内外區取調ノ義ニ付明治七年内務省乙第七十一號達ノ趣モ有之候處今般本局被開一致地租改正ニ際シ土地ノ名稱ヲ區別シ所有チ定メ候ニ就テハ右境内外ノ區別判然不致テハ諸般差支候條別紙規則ニ照準至急取調差出スベシ、社寺境内ノ義ハ、祭典法要ニ必要ノ場所ヲ區劃シ更ニ新境内地ト定メ其餘悉皆上地ノ積リ可取調事」トシテ即チ明治四年ノ太政官布告ヲ以テ現在ノ境内地ヲ除クノ外一般土地ヲサセ置キナガラ、間モナク明治八年ニ、其ノ境内地ノ内ニ更ニ祭典法要ニ必需ノ場所ヲ區劃シテ之ヲ新境内ト定メテ其ノ餘ヲ悉皆上地セシメタデアツテ、是ハ實ニ苛酷ナル、赤ノ政府ニモ等シイ制限ヲ加ヘテノ上地官沒デアツテ、之ガ爲メ寺院境内山林反別二萬餘町歩及ビ現在宅地ニ屬スルモノ約二千萬坪ヲ官沒シタデアアル、其ノ面積ハ實ニ現在ノ寺院境内地ノ約二倍ノ廣大ナルモノナリ上地官沒シタデア、寺院ハ大打撃ヲ蒙ツタデアアル、其ノ上寄附又ハ買入、又ハ開墾ノ證據ナキ故ヲ以テ、官有地第四種ニ編入セラレタモノガ二千九百萬餘坪デアルガ、此ノ二千九百萬餘坪ダケガ漸ク寺院境内地ト決定セラレテ、ソレダケガ現在寺院ノ國有境内地トシテ殘ツテ今日ニ及ン

内務省乙第十一號達ハ何ノ爲ニ出シタノデアルカ、サウ云フ達チ應々出シテ、官有地トナツタ社寺ノ境内地ヲ無代價下渡ス必要ナドハ全クナイ筈デアハナイカ、斯ノ如キ經過ヨリ見テモ、寺院ノ境内地ハ私有地デアルコトガ認メラレルデアアル、況ンヤ明治三十九年以來、明治四十四年ニ互リ、三十餘箇寺ノ國有境内地及ビ國有林ノ下戻請求ノ訴ニ對シテ、行政裁判所ハ之ヲ私有地ナリト認メテ悉ク之ヲ下戻サセタノヲ見テモ、寺院ノ國有境内地ガ私有地ナルコトヲ認ムベキデアハナイカ、茲ニ、右行政裁判所ノ判決ノ中、主ナルモノニツテ、提出シテ政府當局ノ參考ニ供シタイト思ヒマス

其ノ一ツハ原告栃木縣芳賀郡益子町西明寺ノ明治三十七年第一千七百七十二號ノ訴ニ對スル、明治四十三年二月二十八日ノ判決デアツテ、他ノ一ツハ、東京市淺草區淺草公園淺草寺ノ明治四十三年第二百九十四號ノ訴ニ對スル明治四十四年五月二十六日ノ判決デアリマス、西明寺ノ方ハ内務大臣ガ被告デアツテ、淺草寺ノ方ハ農商務大臣ガ被告トナツテ居リマス、而シテ先ヅ西明寺ノ訴ニ對スル判決文ノ要旨ハ、「一、明治四年正月五日附ノ布告ハ其當時社寺ノ境内タル土地ハ祭典法要等ニ必要ナラザリシ部分ト雖モ他ノ公領地ト其性質ヲ同ウセザル事ヲ認メ上地スルヲ要セザル旨趣ナリトス、一、社寺ト其境内地トノ關係ハ必ズシモ公領關係ノミニ止マリシモノニアラズ、一、朱印狀ニ於ケル各種ノ文言ハ執レモ其時代ノ必要ニ依リテ變遷シ各特別ノ意味ヲ有スルモノトス、一、舊時ノ爲政者ハ社寺領ヲ與奪シ之ニ租稅ヲ賦課シ又ハ免減スル權利ヲ有シタルモノトス、從テ

社寺領ニ對シテハ其性質上租稅ヲ賦課シ得ベキモノニアラズト云フヲ得ズ、一、境内除地トハ社寺境内ニシテ其貢租ヲ免除セラレタル土地ヲ指稱ス、是ガ西明寺ニ對スル判決ノ要旨デアリマス、淺草寺ニ對スル判決ノ要旨ハ、モウ少シ強イ所ガアリマス、此ノ西明寺及ビ淺草寺ニ對スル行政裁判所ノ判決ハ、數萬ノ寺院ノ國有境内地ヲ私有ナリト認ムル頗ル有力ナル資料ナリト確信スルデアリマス、私ハ茲ニ其ノ判決ヲ一々朗讀致シタリノデアリマスケレドモ、時間モアリマセヌカラ、委員長ニ御願シテ速記録ニ全文ヲ掲載シテ、當局御覽ヲ願ヒタイノデアリマス

私ハ此ノ確定シタル行政裁判所ノ判決ハ動カスベカラザルモノト思フノデアルガ、之ニ對スル政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、先般本會議ニ於テ私ニ答ヘラレタ政府委員ノ答辯ハ、此ノ寺院ノ境内地ヲ公領關係ト言ハレテ居ルノデアリマス、所ガサウ云フヤウナ公領關係ノ故ヲ以テ此ノ判決ヲ覆サウト云フコトハ、到底私ハ出來ルモノデハナイト思フノデアリマス、併シナガラ、公領關係デアルガ故ニト云フコトデアリマス、ソレハ此ノ判決ニ反對ノ意見デアルバカリデナク、此ノ寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律案、其ノモノノ立法ハ此ノ裁判ヲ破壞スルコトニナリハシナイカ、是レ實ニ重大問題デアルカラ、之ニ對シテハ文部大臣、司法大臣及ビ特ニ内閣總理大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマスガ、残念ナガラ此處ニハ文部大臣御一人御臨席デアリマシテ、其ノ他ノ大臣ハ御臨席ゴザイマセヌカラ、ドウソ私ノ質問ノ趣旨ヲ能ク各大

サレテ居ルナラバ、ソレハ何時如何ナル理由、如何ナル事情ニ依ツテ廢止サレタモノデアルカ之ヲ此ノ場合伺ヒタイト思フノデアリマス

○江口政府委員 只今ノ加藤サンノ御尋ニ對シマシテ私カラ御答ヲ致シタイト思ヒマス、只今加藤サンカラ續々御述ニナリマシタ寺院境内ノ沿革ニ付キマシテハ、大體加藤サンノ御述ニナラレタ通りデアリマスガ、ソレニ對スル意見ト申シマスカ、或ハ結論ニ付キマシテハ、私達ノ考ヘテ居リマス所ハ相當違ツテ居ル所ガアルノデアリマス、明治初年ニ太政官布告ニ依リマシテ寺領ハ、公領地デアルト云フ觀念ヲ以テ、境内地ヲ除イテ上地セシメタコトハ加藤サンノ仰シヤツタ通りデアリマスガ、其ノ寺領ハ公領ナリト云フ考ガ間違ツテ居ル、寺領ハ公領デハナクテ私有地デアルト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是ハ寺領ノ沿革性質等ヲ研究シテ見マス、學者ノ説ニモ色々アリマスガ、明治以前徳川時代ニ於キマシテハ、寺院ハ其ノ寺領ニ對シテ租稅ノ徵收其ノ他ノ行政事務ヲ行ツテ居リマシテ、ヤハリ大名ノ領地ト同ジヤウナ意味テ公領關係ト云フ説モアルノデアリマス、政府ガサウ云フ説ヲ採用シテ公領關係トシタト云フコトハ、其ノ當時トシテ必ズシモ間違テナカツタヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、恰度大名ノ領地ヲ取上ゲマシタト同ジヤウナ意味テ、御寺ノ領地ヲ取上ゲタノチヤナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ上地致シマス場合ニ境内地ト境外地ト區別致シマシテ、境内地ハ上地モシナカツタノデアリマス、其ノ儘占有ヲ許シテ居ツタノデアリマスガ、明治八年地租改正ヲ行ヒマ

臣ニ御傳ヘ下サイマシテ、速ニ之ニ對スル適切ナ御答辯ヲ御與ヘアランコトヲ切望致シマス

尙ホ私ハ政府ニ伺ツテ置キタイコトガアリマス、ソレハ前ニ舉ゲタ所ノ明治十一年五月内務省乙第四十一號ノ達ニ就テデアリマス、此ノ達シニハ、其ノ旨時々届ケ出ヅ可シ此ノ旨相違候事トアリマシテ、即チ届出ノ期限ガ規定シテナイ届出ノ期限ガ何年何月マデト明指シテナイデアリマス、仍テ是ハ何時ニテモ届出サヘスレバ無代下渡テスルト云フ意味ノコトデアルト解釋スルノガ本當デアルト思フノデアルガ、政府ノ所見ハ如何カ之ヲ伺ヒタイノデアリマス、之ニ對シテハ或ハ政府當局ニ於テハ、ソレハ明治二十二年六月十二日、勅令第八十四號ヲ以テ物品會計規則ナルモノガ制定サレタカラ、此ノ明治十一年五月内務省達乙第四十一號ハ其ノ效力ヲ失ツタモノデアルト申サルルカモ知レナイガ、併シナガラ左様ナ事ハ何チ根據トシテ申サルルノデアルカ、ソレハ單ニ政府委員ノ解釋ニ過ギナイコトデアリカ、私ハ此ノ明治十一年五月内務省乙第四十一號ハ、現在モ尙ホ效力ヲ有スルモノデアルト考ヘルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル御所見ヲ有セラルルノデアリマスカ

次ニ尙ホ政府ニ伺ヒタイコトハ、太政官布告ハ法律ト同ジ效力ヲ有スルモノデアルト信ズルガ、政府ノ所見ハ如何デアリマセウカ、私ハ太政官布告ハ法律ニ同ジ效力ヲ有スルモノナリト確信スル者デアアル、故ニ明治四年正月五日附太政官布告第四號ハ法律ト同様ノ效力ヲ有スルモノト思フガ、其ノ太政官布告ハ現在ハドウナツテ居ルカ、即チ現在モ生キテ居ルカ、若シ廢止

ス時ニ、ドウシテモ官有地ト民有地ト區別スル必要ガアリマシテ、ソレテ加藤サンガ仰セラレマシタヤウニ、信者カラ寄附ヲ受ケタ所、寺院ガ買収シタ所、或ハ寺院ガ自ラ荒蕪地ヲ開墾シタ所トカ、サウ云フモノニ付キマシテハ民有ノ證據ノアルモノトシテ、民有地ニナツテ居リマス、併シナガラ全然サウ云フ民有ノ證據ノナイ土地ハ、官有地ニ編入シタノデアリマス、是ハ地租改正ノ事務ノ取扱上サウヤツタノデアリマス、是ハ寺院ノ境内地ニ限リマセズ、一般個人ノ占有シテ居ル土地デアリマシテモ、其ノ所有ノ事實ガナイモノハ官有地ニ編入サレタ次第デアリマス、御承知ノ通り東北地方ノ山林ナドハ大部分國有地ニ編入サレタノデアリマス、是ハ寺院ノ境内地ダケニ限ツタ問題デアナイノデアリマス、地租改正ニ當リマシテ、官民有ノ區分ナル場合ニ、民有ノ證據ノナイモノハ官有ニシタト云フ譯デアリマス、サウシテ官民有ノ區分ガ一應決ツタノデアリマスケレドモ、又加藤サンガ仰セラレタヤウニ、民有ノ證據ガアルモノチ官有ニ編入シタト云フ疑ガアリマシタカラ、御承知ノ通り明治三十二年ニ國有土地森林下戻法ト云フ法律ガ出來マシテ若シ民有地デア官有地ニ編入サレテ居ルモノ、或ハ上地處分ヲ命セラレタモノガアツタナラバ此ノ際下戻ノ申請テスレバ下戻シテヤルコトニナリマシタ、ソレテ其ノ申請期限ハ明治三十二年六月マデトナツテ居リマス、其ノ期限マデニ下戻ノ申請ヲ致シマシタモノガ相當アリマシタ、是ハ寺院ニ限ラズ、一般國民ニ於キマシテモ下戻ノ申請ヲシテ許可ニナツタモノモアリマセウ、又寺院等ニ於キマシテ下戻ノ申請ヲシテ、或ルモノハ許可

ニナリ、或ルモノハ許可ニナラナカッタ、許可ニナラナカッタ
モノハ、行政裁判所ニ訴ヘタノデアリマス、行政裁判所デハ、
初メハ寺院境内地ハ公領關係アル、殊ニ御朱印地ノヤウナモ
ノハ公領關係アルカラ、下戻シ得ルモノデハナイト云フ判決
デアリマシタ、所ガ其ノ後明治四十三年ニ至リマシテ、御朱印
地等ニ於キマシテハ租税ノ免除ヲサレテ居ルノデアルカラ、若
シ此ノ租税ノ免除ガナカッタラバ、當然租税ヲ負擔スベキ土
地デアアル、隨テ是ハ寺院ノ所有地デアルト云フ趣旨ノ判決ヲ出
シタノデアリマス、是ハ加藤サンノ御述ニナツタ通りデアリマ
ス、其ノ結果行政裁判所ノ判決ニ於キマシテ、オ寺ノ寺院地ニ
ナツタ土地モ相當アルノデアゴザイマス、サウシテ行政裁判所
ノ判決ノアリマシタモノニ付キマシテハ、其ノ判決通り下戻ヲ致
シタノデアリマスガ、行政裁判所ノ判決ノナイモノ、或ハ下戻
ノ申請ヲシナイモノニ付キマシテハ、依然明治八年ノ官民有地
區分ニ依リマシテ、官有地ニ編入セラレタ儘ニナツテ居ツタノ
デアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、今トナリマシテハ
下戻ノ申請ヲスル譯ニモ行キマセヌ、大正十年ニ國有財産法ガ
規定サレマシテ、斯ウ云フ寺院ノ境内地ニ付キマシテハソレテ
國有ト認メマシタ、國有デアハアルガ、寺院ガ其ノ用ニ供シテ居
ル間ハ無償ニテ貸付ケタモノト看做スト云フ規定ニナツテ居リ
マス、ソレガ今ノ現行法デアリマス、ソレテ現在ノ寺院ノ境内
地ガ國有デアアルコトハ、法律上カラ申シマシテモ、全然疑フ餘
地ガナイト考ヘテ居ル次第デアリマス
ソレカラ明治十一年ノ内務省達ニ依リマシテ、或ル特定ノ寺

院境内地ハ無償ニテ下戻スト云フ達ガ出テ居ルデハナイカ、是
ハ從來土地處分並ニ官民有區分ノ間違ツテ居ルコトヲ證明シテ
居ルノデアハナイカト云フ御話デアリマシタ、私共ノ考ヘル所デ
ハ必ズシモ從來ノ處分ガ間違ツテ居ルカラ、内務省ガ斯ウ云フ
達ヲ出シタトハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ丁度此ノタビノ
法律案ト同ジ趣旨ニ於キマシテ、寺院等ヲ保護シ、宗教教化ヲ
全カラシムルト云フ趣旨デ、斯ウ云フ達ガ出タモノト考ヘマス
併シナガラ此ノ達ニ含マレテ居ル寺院ハ全部ノ寺院デアアリマ
セヌノデア、今御讀上ゲニナリマシタ通り、或ル特定ノ寺院ダケ
ニ對シテサウ云フコトヲスルコトニナツテ居リマス、此ノ達ニ
基イテ無償拂下ノ申請ヲシタモノハ、民有地ニナツタ譯デアリ
マス此ノ達ハマダ生キテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、之ニ
付テハ加藤サンモ御觸レニナリマシタケレドモ、其ノ後明治
二十二年ニ國有財産管理規則ガ出來マシテ、此ノ達ハ自然效力
ヲ失ツテ居ルモノト解釋シテ居リマス、別ニ此ノ國有財産管理
規則ニサウ云フ明文ハアリマセヌケレドモ、同一事項ニ付キマ
シテ新ナル法令ガ出來マシタ場合ニハ、舊來ノ法令ハ效力ヲ失
フコトハ當然ノコトデアハナイカト考ヘマス、隨テ明治十一年ノ
内務省達ハ、今ハ效力ガナイト解釋致シテ居リマス
次ニ行政裁判所ノ判決ヲ二ツバカリ御舉ゲニナリマシテ、行
政裁判所ノ判決ガアル以上、政府トシテハ此ノ判決ニ從ハナイ
カト云フ御話デアリマス、判決ノアリマシタモノニ付キマシテ
ハ、其ノ判決通り實行サレテ居リマシテ、ソレニ對シテ政府ト
シテ異議ヲ申込ムコトノ出來ナイコトハ當然デアリマス、併シ

ナガラ行政裁判所ノ判決ノ趣旨ニ、政府ハ必ズシモ從フ必要ハ
ナイト考ヘテ居リマス、或ル特定ノ事件ニ付キマシテ、行政裁
判所ノ判決ガ出マシタナラバ、其ノ判決ニ從ヒマスケレドモ、
ソレト類似ノ事件デ、マダ行政裁判所ノ判決ガナイモノニ付
キマシテハ、ソレハ行政裁判所ノ判決ト同ジ趣旨ニ取ツテ行カ
ネバナラヌモノトハ考ヘテハ居リマセヌ、政府ニ於キマシテハ
明治初年以來公領デアルト云フ考ハ未ダニ變ツテ居ラナイノデア
アリマス、行政裁判所ノ判決ノ趣旨ヲ必ズシモ正當ナモノトハ
考ヘテ居ナイト云フコトハ、歴代ノ政府當局者ガ常ニ發表シテ
居ル所デアリマス、又有力ナ學者デアリマシテ、行政裁判所ノ
判決ト其ノ説ノ異ルモノガアルノデアリマス、又行政裁判所ト
同ジヤウナ説ヲ唱ヘテ居ルヤウナ學者モアリマス、色々説ガア
リマシテ、何レガ妥當デアアルカト云フコトニ付キマシテハ、迷
ニ判斷スルコトガ困難デアラウト思ヒマス、ソレカラ行政裁判
所ノ判決ガアリマシタ御朱印地トカ除地トカ云フモノヲ持ツテ
居リマスオ寺ノ數ハ、全體ノ國有地ニアリマス寺院ノ數ノ約一
割二分位ニシカ當ラヌデアリマシテ、其ノ他ノ寺院境内地ハ
朱印地、除地ト云フコトニナツテ居ナイノデアリマス、假ニ行政
裁判所ノ判決ノ趣旨ニ從フト致シマシテモ、既ニ明治三十二年
三月マデニ申請シマシテ、以後ハ下戻ノ申請ガ出來マセヌ、期
限ガ經過シテ居リマスカラ、今更何トモ取扱フ方法ガナイノデア
アリマス、サウ云フ譯デ、寺院境内地ガ、寺院ノ所有地デア
ルモノヲ國有ニシテ居ル、或ハ現在ノ寺院國有地ハ全部寺院ノ寺
有地デアアルト云フ御考ニ對シテハ、政府トシテハ御贊成出來ナ

イト考ヘマス
——(中略)——
○荒木國務大臣 大變ニ細カイ法律ノ解釋論アゴザイマスガ、
今大藏當局カラ此ノ處分ニ付テ今日マデ執リ來ツタ點ニ付テハ
幾々各條項ニ付テ申述ベタノデアリマス、今日マデノ上地行政
處分ニ付テハ、明治初年ニ行ハレタ——是ガ色々ナ問題ニナツ
テ居ツタノデアリマスガ、今日マデ幾多ノ法令、幾多ノ裁判等
ニ依ツテ處分セラレタモノハ、ソレヲ以テ正當ナリト私共考ヘ
テ居リマス、隨テ今日之ヲ處分スルニ當ツテ、是ガ如何ナルモ
ノデアアルカト云フコトニ付テハ、現在當局ノ執リマシタ方針ガ
今日ノ解釋デアリ、今日ノ處分ノ基礎デアルト、斯ウ云フ風ニ
思ツテ、此ノ境内地ノ處分ニ付テ同意ヲシテ、此ノ案ヲ出シタ
所以デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス
○加藤委員 ……私ハ大藏省ノ政府委員ニ一ツ御伺シテ置
キタイト思フノアスガ、寺院ノ境内地ハ大名ノ藩地又ハ領地ト
同ジヤウナモノデアアル、斯ウ云フコトヲ仰シヤツタノデアリマ
スガ、ドウシテ之ヲ同ト見ラレルノデアリマセウカ、大名ノ
領地ト云フモノハ、其ノ時ノ將軍ト云フヤウナ者カラ貰ツタモ
ノガ殆ド大部分ヲ占メテ居リマス、寺院ノモノハ先刻申シマシ
タヤウナ種類ノ境内地デアアル、即チ信徒ノ寄附トカ、或ハ王侯
士族ノ寄進トカ、或ハ自分自ラ之ヲ開拓シタモノトカ、或ハ買
得シタモノトカ云フヤウナ種類ニ屬スル土地ナノデアリマス、
全然是ハ昔ノ所謂大名ノ領地トハ性質ガ違ツテ居ルノデアリマ
ス、ソレテドウシテ同ト見ラレルノデアアルカ、ソレヲ一ツ御

尋シタイノデアリマス

○江口政府委員 寺領ヲドウシテ大名ノ領地ト同ジニ見ルカト云フ御尋デアリマスガ、ソレハ私が見テ居ル譯デアリマスセヌノテ、明治初年ノ太政官布告ニサウ書イテゴザイマスノテ、大名ノ領地ハ土地ヲサシタガ、寺院ノ寺領ハ私有ノ姿ニナツテ居ツテ非常ニ不都合アルカラ取上ゲロ、斯ウ云フ風ニ書イテゴザイマス、其ノ趣旨カラ見マシテモ、太政官布告ノ趣旨ハヤハリ寺領ト云フモノハ諸藩ノ大名ノ領地ト同ジモノデアルト云フ觀念デアツタト解釋シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ只今御述ニナリマシタ權信徒ノ寄附ニナルモノ、或ハオ寺ヲ買収シタモノ、或ハ寺院ニ於テ開墾シタモノ、サウ云フモノノ確實ナ證據ノアルモノハ私有ニナツテ居リマス、現ニ寺院ノ境内地方全部ヲ六千萬坪アリマスガ、其ノ約半分ノ三千萬坪ハ私有地ニナツテ居リマシテ、アトガ國有地ニナツテ居リマス、現在私有地ニナツテ居リマス境内地ハ、今加藤サンノ仰セニナツタヤウナモノデアラウト思ヒマス、或ハオ寺ヲ買収シタモノモアリマセウ或ハ權信徒ノ寄附モアリマセウ、或ハ寺院ニ於テ開墾ヲシテ自分ノモノニシタモノモアリマセウ、色々ノ事由ニ依リマシテオ寺ノ所有地ニナツテ居リマス、サウナツテ居ナイモノニ付テハ此ノ際宗教團體法ノ成立ヲ機會ニ無償テ讓與シヨウト云フコトニナル次第デアリマス

○加藤委員 詰リ明治初年ノ政府ガ、大名ノ領地ト同ジコトダカラ土地ヲ命ジタノダ、斯ウ云フ御意見デアル、スルト土地ヲ命ジナイモノハ私有地デアルト認メテ宜イ譯デスネ

パナラヌ、サウ見ルノガ又當リ前デアル、此ノ時々ト云フコトニハ期限ガナイ、ナイ以上ハ是ハ先ヅ永久ニ續クモノト見テモ宜イモノチヤナイカ、斯様ニ私ハ考ヘル、サウスレバ明治二十二年ニ物品會計規則ガ出タカラト云ウテ、前ノ内務省ノ乙第四十一號ノ達ガ自然消滅ニナルモノトハ思ハレナイ、私ハ斯様ニ考ヘルデアリマス、此ノ點ハ先刻ノ御説明ダケハ私ハ満足スルコトガ出来ナイノデアリマスカラ、今一應御説明ヲ伺ヒタイ

○江口政府委員 明治十一年ノ内務省達ニ付キマシテハ、先程モ申上ゲマシタ通り、其ノ達ト同ジ内容ヲ規定スル所ノ勅令ガ其ノ後テ制定サレマシタカラ、其ノ前ニ規定サレテ居ル所ノ達ハ、自然效力ヲ失フト云フコトハ、是ハ從來カラ政府當局ノ懐イテ居ル考デアリマシテ、今デモ變ツテ居ナイノデアリマス、其ノ達ニ期限ガ附イテ居ナイカラ何時マデモ效力ガアルモノダトノミ解釋スルコトハ出来ナイト思ツテ居リマス、ソレト同ジコトヲ規定スル勅令ガ明治二十二年ニ出来テ居リマスカラ、其ノ勅令ガ出来タ後ハ、此ノ明治二十二年ノ物品會計規則ニ依ツテ總テ取扱ツテ行クベキモノト考ヘテ居リマス、又現在ニ於キマシテハ國有財産法ガ出来マシテ、是ハ法律デアリマスガ、其ノ國有財産法ニ依ツテ處理シテ行クベキモノデアツテ、今日尙ホ斯ウ云フ明治十一年ノ達ガ活キテ居ルモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○加藤委員 サウシマス此ノ太政官布告デアリマスガ、是モヤハリ今日ハ皆活キテ居ラナイ、自然廢止ニナツタモノデア何等

○江口政府委員 必ズシモサウハ申上ゲルコトハ出来ナイノデアリマシテ、先程ノ御話ハ、寺領地ハ公領トドウシテ認メタカ下云フ御話デアリマシタガ、其ノ寺領テ、境内地ヲ除ク外ハ土地ヲ命ジタ譯デアリマス、併シテガラ境内地ニ付テハ土地ヲ認メテ居リマセヌ、是ハ境内地ノ方ハ土地處分ニ依ツテ官有地ニナツタノデアリナイノデアリマシテ、先程モ申シマス通り、地租改正ニ當リマシテ官民有地ノ區分ヲスル必要ガアリマシテ、其ノ際ニ、私有ノ證據ノナイモノハ官有ニ編入シタノデアリマス或ハ東北地方ノ山林ノ如キモ官有ニ編入サレタモノモ相當アリマセウガ、ソレハ地租改正ノ場合ニ官民有地ノ區分ヲスル其ノ必要ニ基キテ、此ノ境内地ノ大部分ハ官有ニ編入サレタモノト考ヘテ居リマス、是ハ土地シタモノデアリマセヌ、官民有地ノ區分ニ際シテ、私有ノ證據ガアリマセヌ爲ニ官有ニ編入セラレタ次第デアリマス

○加藤委員 私有ノ證據ガナイカラ官有ニスルト云フコトガ、是ガ即チ私ハ餘程無理ナヤリ方ダト思フデアリマス、永イ間何十年、何百年、若クハ千年以上ト云フヤウナ長イ間ニハ色々ナ事柄ニ遭遇シテ、サウ云フヤウナ證據ト云フモノガ無クナルコトハ有り勝チナコトデアリマス、サウ云フ證據ガナイカラ之ヲ皆官有ニシタト云フコトハ、非常ナ無理ナヤリ方デアリマス、寧ろ亂暴ナヤリ方デアルト言ツテモ宜イ位ニ私共考ヘルデアリマス、サウ云フ無理ヲヤツタモノデアラカラ、明治十一年ノ内務省ノ達ト云フモノチ出シテ、時々顯出タ者ニ付テハ之ヲ無償下渡シタスル、斯ウ云フコトヲ致シタモノト見ナケレ

ノ效力ガナイモノデアルト、斯ウ云フ風ニ解釋シテ宜シウゴザイマス

○江口政府委員 太政官ノ布告、土地處分ヲ命ジマシタ布告ニ付キマシテハ、モウ土地ヲセシムベキ土地ガナイト存ジマスカラ、自然布告ノ事實上效力ガナイモノト考ヘテ居リマス

(中略)

○加藤委員 ……次ニ私ハ政府ガ今回此ノ寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法律案ヲ議會ニ提出シタ理由ハ、義ニ貴族院ノ宗教團體法案特別委員會ニ於ケル委員ノ質問ニ對シテ、政府委員ハ、寺院保護ノ趣旨ニ出タモノデアルト答辯セラレテ居リマス、果シテ然ラバ私ハ此處ニ政府ニ對シテ御參考マデニ申上ゲマシテ、御意見ノアル所ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ伊太利ニ於ケル羅馬法王及ビ「カトリック」教會ニ對スル伊太利政府ノ羅馬問題ノ解決ニ付デアリマス、即チ千九百二十九年、我が昭和四年二月十一日伊太利政府ハ「ムツソリニ」ノ裁斷ニ依ツテ、多年「カトリック」教會ニ加ヘタル損害ト壓迫トヲ清算シタコトニ付デアリマス、此ノ所謂羅馬問題ナルモノハ、約六十年間ニ互ル伊太利ニ於ケル重大ナル難問題デアリマシテ、其ノ問題ノ由來ヲ述ベマスレバ長キ時間ヲ要スルカラ此處デハ之ヲ略シマシテ、唯其ノ概要ダケヲ述ベマスルガ、元來此ノ羅馬問題タルヤ、羅馬法王ハ基督ノ直弟子「ベテロ」以來法燈ヲ傳承シ、全基督教會ノ首長デアルト主張シ來リ、殊ニ中世紀以來ハ巨大ナル領地ヲ所有シ、宗教上無上ノ權威ヲ揮ツテ來タモノデアリマスガ、近代國家ノ勃興ト共ニ

其ノ勢力ハ次第ニ衰微シ、十九世紀ノ初ニハ「ナポレオン」ノ爲ニ度々其ノ領地ヲ沒收サレタモノアリマス、而シテ十九世紀ノ中頃伊太利民族ノ復活カラ其ノ統一獨立ノ國民的運動ガ起リ、次イテ千八百六十一年「サヴォイ」家ガ全國ヲ統一シテ王位ニ即ケヤ、法王ノ領地ハ次第ニ縮小セラレ、次イテ千八百七十年、伊太利「カドルナ」將軍ノ爲ニ羅馬市ハ占領サレ、中世紀以來持續サレタ法王領ハ喪失サレルニ至リマシタ、而シテ伊太利政府ハ翌年、法王身分保障法ナルモノヲ發布シテ、國內ニ於テ法王ノ一身ニ對シ特別待遇ヲ附與スルコトヲ宣言シ、其ノ待遇ノ一箇條ニハ、伊太利政府ハ毎年三百二十萬五千「リラ」我ガ約百二十萬圓ニ當リマス、之ヲ法王ニ贈呈スルコト云フコトアリマシタガ、併シ法王「ピオ」九世ハ、該法ハ法王側ノ意思ヲ無視シタ一方的取極アルカラ不當ナルモノダト致シマシテ、其ノ承認ヲ拒否シ、法王領ノ奪取ニ對スル永久的抗議ノ意味ヲ以テ自ラ「ヴアチカン」内ノ囚虜ト稱シ、生涯一步モ其ノ外ニ出テナカッタ、爾來歷代ノ法王モ其ノ例ニ倣ヒ同様ノ態度ヲ執リ、伊太利政府ノ年金ヲ拒絶シテ來タノアリマス、爾來伊太利政府ト羅馬法王トハ此ノ領地沒收問題ノコトカラ、其ノ間反目ヲ増大シ、種々紛糾問題モ起リ、即チ之ヲ羅馬問題ト稱シテ、數十年間頗ル重大ナル問題トナツテ來タモノアリマスガ、其ノ後千九百二十二年「フアシスト」ノ政治改革ガ成功シテ、其ノ頭首「ムツソリニ」ガ政權ヲ獲得スルヤ、宗教尊重政策ヲ執リ、從來政府ノ採リ來ツタ所ト正反對ノモノトナシタノアリマス、ソレハ「フアシスト」其ノモノノ中ニハ反宗教的

ツテ極秘裡ニ進歩シマシタガ、約二箇年ヲ經テ愈々問題ノ解決ニ近ゾイタ頃、政府代表ノ辯護士「パローネ」ガ病死シタノテ其ノ後ハ「ムツソリニ」ガ自ラ其ノ交渉ニ當ルコトトナリ、其ノ私宅ニ於テ屢々夜半マデモ商議ヲ重ネタト傳ヘラレテ居ルガ、政府ト法王間ノ意見ハ遂ニ一致ヲ見、千九百二十九年我ガ昭和四年ノ二月十一日正午「ラテラン」宮殿ニ於テ、教會側カラハ國務卿樞機官「ガスバリ」、政府側カラハ「ムツソリニ」自身ガ出テ、正式調印シ、條約ヲ締結シ見ルニ至リ、重大問題タル羅馬問題ハ茲ニ約六十年ニシテ初メテ解決シタノデアリマス其ノ「ラテラン」條約ハ、序言ト二十七箇條カラ成ツテ居ツテ之ヲ原則トシテ約六十年前ニ沒收シタ法王ノ領地其ノ他ノ財產ハ無償ヲ以テ返還サレタノデアリマス、加之伊太利政府ハ、曩ニ決定シテ居ツタ法王ニ對スル年金ノ賠償トシテ、此ノ「ラテラン」條約ノ批准交換ニ際シ、法王ニ對シ七億五千萬「リラ」我ガ約八千萬圓ニ當リマスガソレヲ支持ヒ、同時ニ無記名式五分利伊太利公債ニテ額面價額十億萬「リラ」我ガ約一億五千五百萬圓ヲ渡スト云フ經濟的協定ヲ爲シタノデアリマシタガ、ソレハ間モナク實行セラレタノコトデアリマス、斯ノ如ク伊太利政府「ムツソリニ」ハ宗教尊重政策ヲ實行シ、且ツ數十年前沒收シタ宗教者ノ所有財產ヲ返還シ、其ノ上莫大ナル賠償金マデ支出シテ居ルノデアリマス、宗教尊重ノコトハ、唯口ヲ言ツタリ、紙ニ書イタリシタ所何ニモナリマセヌ、實行ガ第一デアル、私ハ「ムツソリニ」ノ宗教尊重政策ノ實行ヲ以テ、現代ノ政治家ハ斯クアラネバナラヌト思フノデアリマス、ソコテ今

勢力モ加ツテ居リ「ムツソリニ」自身モ過去ニ於テハ反宗教主義ヲ奉ジテ居ツタモノデアリマシタガ、一旦政權ヲ獲得シ、重大ナル責任ノ地位ニ立ツヤ、宗教ニ對シテハ宗教尊重政策ヲ執ツタノデアリマス、即チ宗教ハ國民生活ノ重要ナル一要素デアルカラ、宗教ハ無視又ハ輕視スベキモノニアラズ、寧ろ國家ト結合シナケレバナラヌト云ツテ宗教尊重政策ヲ執ルコトニシタノデアリマス、此ノ宗教尊重政策トシテ現ハレタモノハ、第一ニ文部大臣「センチーレ」ノ行ツタ教育制度ノ革新デアリマス即チ小學校ニ於テハ、宗教即チ「カトリック」教ガ正科トシテ再ビ入ラレマシタノデ、十字架モ教室内ニ置クコトガ出來ルヤウニナリマシタ、又宗教學校ニ對シテノ從來ノ拘束モ撤去サレマシタ、更ニ反「カトリック」ナ點テ有名ナ伊太利ノ秘密結社「フリーメーソン」ハ政府ニ依ツテ解散セシメラレマシタ又刑法ノ改正ニ依ツテ宗教ニ對スル保護ト、僧侶ニ對スル保護トガ加ヘラレルコトトナリマシタ、又公休祭日ノ中ニハ教會ノ或ル祭日ヲ採リ入ラレ、九月二十日ノ羅馬占領記念日ハ教會側ニ惡感ヲ與ヘルモノトシテ廢止サレ、又嘗テ沒收サレタ數個ノ記念物的修道院ハ教會側ニ返還セラレ、歴史的大記念物ノ管理ハ修道士ニ委託サレ、僧侶及ビ高僧職ノ俸給ハ著シク増額セラレ、又租稅モ輕減サレマシタ、斯ノ如ク「フアシスト」ノ宗教政策ハ宗教尊重主義カラ著々實行セラレタノデアリマシタガ「ムツソリニ」ハ是ト同時ニ千九百二十六年、我ガ昭和元年八月以來、過去數十年ニ亙ル重大問題タル羅馬問題ノ解決ニ著手致シマシタ、其ノ豫備交渉ハ政府ト法王間ト各自ノ代表者ニ依

我ガ政府ニ於テハ、明治初年以來六七十年間ニ亙ル大問題タル寺院境内地問題ヲ解決シヨウトシテ居ラルノデアアルガ、此ノ寺院境内地タルヤ、私ガ曩ニ申述セマシタ如ク、是ハ元來寺院ノ私有地タリシモノデアアルカラ、彼ノ伊太利「ムツソリニ」ノ如ク、全部無償テ返還スルコト云フ綺麗ナ態度ニ出ラレテハ如何デアリマセウカ、否、全部無償テ返還スルノガ當然デアルト思ヒマス、即チ現在ノ境内地ノ中カラ、讓與セザル部分トカ、國有トシテ存置スルノ必要アル部分トカ云フ、左様ナ小サイ、細カイ、ケチ／＼シタコトヲ言ツテ之ヲ取り上ゲヨウトセズニ全部之ヲ寺院ニ讓與セラレ、否還付セラレ、眞ニ政府トシテ宗教保護ノ誠意ヲ表示スルノ態度ニ出ラレルコトガ、此ノ場合當然ノ措置デアリマスマイカト私ハ思フノデアリマス、茲ニ伊太利政府ノ羅馬問題解決ノ概要ヲ述ベテ政府ノ參考ニ供シ、之ニ對スル政府ノ御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○江口政府委員 只今伊太利政府ガ羅馬法王ニ對シテ執リマシタ色々ノ手段方法ニ付キマシテ詳シク御述ベニナリマシタ、ソレニ關聯シテ我ガ政府ニ於テモ、寺院ノ國有境内地ハ全部還付スベキモノデアナイカト云フヤウナ御質問デアリマシタガ、政府ト致シマシテハ度々申上ゲマス通りニ、寺院ノ國有境内地ハ元來寺院ノ私有地デアアル、其ノ私有地ヲ沒收シテ官有地ニシタモノデアアル、隨テ還付スベキモノデアアルト云フ風ニハ考ヘテ居ナイノデアリマス、明治初年以來ノ沿革等カラ見マシテモ、又其ノ後ノ法令カラ見マシテモ、完全ニ國有地デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、現ニ大正十一年ニ國有財產法ガ出來マシタ時

ニ、寺院ノ國有境内地ニ付テハ立派ニ國有ナルト解釋ヲシテ
居リマス、此ノ國有財産法ハ勿論貴衆兩院ノ御協賛ヲ經テ制定
セラレタ法律デアリマス、其ノ法律ニ於キマシテ、國有境内地
ハ其ノ用ニ供スル間無償ニテ貸付シタルモノト看做スト云フ規
定ガアルノデアリマシテ、之ヲ今更寺院ノ私有地アルト云フ
コトハ、其ノ法律ノ手前ニモ出來ナイノデアリナカト考ヘテ居
リマス、國有財産ノ立場カラ致シマスレバ、此ノ國有財産法ノ規
定ニ依リマシテ寺院境内地ノ解決ハ濟ンテ居ルト見テモ宜カラ
ウト思ヒマス、併シナガラ寺院側ニ於テ、此ノ寺院境内國有地
ノ讓與ヲシテ貰ヒタイト云フヤウナ請願ナリ陳情ガ度々アリマ
ス、政府ノ方ニ於テモ、若シ寺院財産ノ管理ノ方法ガ完備シタ
ナラバ適當ニ解決シヨウト云フコトニナツテ居リマス、宗教團
體法ガ成立致シマシテ、寺院財産ノ管理ノ方法ガ完備スルヤウ
ニナツタナラバ、境内地トシテ必要ナモノハ讓與シヨウト云フ
コトニナツタヤウナ次第デアリマス、當然還付スベキモノデア
ルカラ還付スルト云フノデアリマシテ、寺院等ヲ保
護シ、其ノ寺院ノ宗教教化ヲ完カラシムル爲ニ、其ノ寺院財産
ノ管理ノ方法ガ完備シタ曉ニハ之ヲ讓與シヨウト云フノデアリ
マス、隨テ其ノ讓與ノ範圍ニ付キマシテモ、寺院ノ境内地トシ
テ必要ナル部分ニ限リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、又國
有地トシテ存置スルモノト云フノハ、命令條項ニモ書イテアリ
マス通りニ、國土保安其ノ他公益上必要ナ箇所國有地トシテ
保存スルノデアリマス、例ヘバ山崩レガスルトカ、砂ガ飛ブト
カ、風害或ハ雪害ガアルト云フヤウナ所デアリマシテ、サウ云

フヤウナ場所ヲ寺院ノ所有ニシテ置ケバ、寺院ヲシテ經費倒
ニ陥ラシメル虞ガアリマスノデ、是ハドウシテモ國家ノ力、國
家ノ經費ヲ以テ其ノ豫防工事ヲシナケレバ、災害ヲ來スト云フ
所ハ却テ寺院ニ讓與スルヨリモ、國有地トシテ保存致ス方ガ宜
イデアナカト云フヤウナ趣旨デ、國有地トシテ保存スル次
第デアリマス、是ハ寧ろ寺院ノ利益ト申シマスカ、一般公益ヲ
慮ツテ國有地トシテ保存スル次第アゴザイマス、又讓與ヲシナ
イテ賣拂ナスルモノハ、寺院等ニ於キマシテ其ノ境内地ノ一部
ヲ商店或ハ住宅、甚シキニ至ツテハ料理屋ト云フヤウナモノニ
貸シテ居ル所ガアリマス、此ノ住宅商店、或ハ料理屋ニ貸スト
云フヤウナコトハ、御承知ノ通り寺院境内地ノ使用取締規則ニ
違反シタ行爲デアリマシテ、是ハ假令民有地ノ境内地デアリマ
シテモ、サウ云フコトヲシテハイケナイノデアリマシテ、サウ云
フ境内地ノ使用取締規則ニ違反シテ使用シテ居ル所マデモ讓與
スルコトハ宜シクナイト云フ考デアリマス、併シナガラ寺院等
ヲ保護スルト云フ考モアリマスシ、又寺院境内地ニ關スル沿革
モアリマシテ、立派ニ國有地ハアルケレドモ、今加藤サンガ
仰セラレタヤウナ経緯モアリマスノデ、サウ云フ不當使用ノ場
合デアリマシテモ、其ノ讓與ハシナイガ、時價ノ半額ヲ特賣ヲ
シヨウト云フコトニナツテ居リマス、ソレデ若シ此ノ法律ガ出
來ナイト假定致シマスレバ、斯ウ云フ不當使用ヲシテ居ル所ハ
寺院境内地カラ除却致シマシテ、普通ノ雜種財産トシテ時價ヲ
以テ公賣スベキ所デアリマス、現ニ此ノ法律ノ執行前ニ於キマ
シテ、サウ云フ不當使用ヲシテ居ル所ヲ寺院境内地カラ除却シ

テ賣拂ナシタ例モ澤山アリマス、サウ云フヤウナコトハ現行ノ
國有財産法ノ規定ニ依リマスレバ、寺院國有境内地ハ其ノ用ニ
供スル間ハ無償ニテ貸シタルモノト看做スノデアリマスカラ、
其ノ寺院境内地ノ用ニ供シテ居ナイモノニ付キマシテハ、寧ろ
公賣スベキデアリマス、ソレヲ從來ノ沿革ヲ認メマシテ、時價
ノ半額ヲ其ノ寺院ニ特賣ヲ爲スト云フコトニナル次第デアリマ
スカラ、斯ウ云フ不當使用ヲシテ居ル所マデモ此ノ際讓與スルコ
トハドウシテモ出來ナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、
○加藤委員……………明治維新直後明治新政府ハ、王政復古ノ
餘勢ヲ驅リ、當時ノ一部ノ主張意見ヲ重用シテ、所謂廢佛毀釋
ヲ指令シタノデアリマスガ、當時ノ地方長官ハ、政府ノ命ニ依
ツテソレハ其ノ管内ニ於テ廢佛毀釋ヲ強行シタヤウデアリマ
ス、然ルニソレ等地方長官ノ中ニ於テ、國家ト佛教ノ關係、佛
教ノ國家的、文化的貢獻、佛教ト國民思想及ビ國民生活ノ如何
ニ大ナルモノデアルカト云フヤウナコト等ヲ大體知り居タル者
ハ、ソノ所謂廢佛毀釋ヲ餘リ行ハナカッタノデアリマスガ、併
シ排佛思想ノ持主ヤ、無宗教ノ者ヤ、又ハ宗教トカ思想トカニ
ハ何ノ考モナク、唯時ノ政府、官憲ノ指揮命令ニ盲從スルヲ以
テ足レリトセル者ナドハ、随分過酷ナル廢佛毀釋ヲ強行シタ事
實ガアルノデアリマス、是ハ實ニ地方長官トシテ、牧民官トシ
テ遺憾ナコトト思ハレマスガ、左様ナ事實カラ政府ノ命令デモ
甲ノ府縣ニハ強ク行ハレ、乙ノ府縣ニハ輕ク行ハレテ居ル事實
ガアルノデアリマス、斯クシテ、十數萬ノ寺院住職僧侶及ビ佛
教信者アル數百萬數千萬ノ我ガ國民大衆ニ對スル迫害ノ程度

ガ、甲地方テハ過激デアリ多大デアリ、乙地方テハ寛大デアリ
多大ナラズシテ濟ンデデアリマシタ、是等ノ事實ヨリ考ヘマ
スト、政府ハ地方長官ニ命令ナリ指令ナリテ下ス場合ハ、十
分ナル考慮ヲ要スベシト思ハレルノデアリマス、今政府ガ今期
議會ニ提出シタル此ノ寺院等ニ無償ニテ貸付シタル國有財産ノ
處分ニ關スル法律案ニ付テモ、是ガ本會議ニ於テ成立シテ、之
ニ關スル種々ノ命令等モ確立シテ、愈々之ヲ發布施行スルニ當
リマシテハ、政府當局トシテハ大イニ周到ナル用意ガ必要デア
ラウト思フノデアリマス、ソレハ此ノ法律案第三條ニハ、現在
ノ寺院國有境内地ニ付テ、特ニ國有トシテ存置スルノ必要アリ
ト定ムル部分、及ビ讓與ヲ爲サザルコトニ決定スル部分ハ、之
ヲ讓與セザルコトトナルノデアアルガ、ソレ等ノ部分、地域ヲ
決定スルニ付テハ、各地方ノ稅務官吏ガ其ノ調査ニ當ルトノコ
トデアルカラ、ソレ等ノ稅務官吏ソノ者ガ、何レモ十分ニ此ノ
寺院ノ國有境内地ハ元來其ノ寺院ノ私有地アトツタモノダ云
フコト、及ビ國家ハ其ノ寺院ヲ保護シ、寺院ノ教化活動ヲ助長
スル方針カラ之ヲ處分スルノダト云フコトヲ徹底的ニ知悉シテ
居ナケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ政府當局トシテハ
是非モ徹底セシメナケレバナラヌコトト思フノデアアルガ、之ニ
對スル政府ノ所見ハ如何アゴザイマセウカ、私ハ前ニ述ベタ所
ノ明治政府ガ行ツタ明治初年ノ廢佛毀釋ノ、甲地方ニハ強行サ
レ、乙地方ニハ寛大ニ行ハレ、即チ全國的ニハ區々マチ／＼デ
アツタコトニ依ツテ、寺院及ビ佛教信徒タル多數ノ國民大衆ノ
受ケタル迫害ニ厚薄ガアツタ事實ヲ知ツテ居リマスルカラ、今

度ノ寺院固有境内地ノ實地調査ニ當リマシテモ、左様ナ區々チノ取扱ノナイヤウニ、出來得ル限リ厚意ト親切トヲ以テ平穩和樂ノ裡ニ之ヲ行フヤウニ、政府當局ヨリ然ルベキ方法ヲ以テ命令サレシコトヲ希望スルモノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテ十分公平ニ之ヲ行ハシムルヤウニ政府ノ御注意ガアリタイモノト考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル御意見ノアル所テ伺ヒタイト思フノデアリマス

○江口政府委員 只今明治初年ノ廢佛毀釋ノ例等ヲ御引キニナリマシテ、此ノ寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル立法案ノ實施ニ當ツテ不公平ノコトガ無イヤウニト云フ御意見デアリマシタガ、此ノ立法ノ施行ニ當リマシテ、其ノ處分ヲ慎重ニ且ツ公正ニスルト云フコトハ私達ノ是非共努メネバナラヌ所デアリマス、又法制上ニ於キマシテモ其ノ處分ヲ適正且ツ慎重ナラシムル爲ニ、寺院境内地審査會ヲ設ケマシテ、サウシテ讓與スベキ部分、或ハ國有地トシテ存置スベキ部分、或ハ賣拂フベキ部分ニ付キマシテ無理ノナイヤウニ公平ニ、全國ヲ通シテ依怙愚庸ノナイヤウニ注意ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、又實際此ノ調査ニ當リマスル地方ノ當該官吏ニ對シマシテモ、能ク此ノ立法ノ趣旨ノアル所ヲ諒解サセマシテ、此ノ立法ノ圓滿ナル施行ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○加藤委員 私ハ先程滿場一致ヲ以テ可決セラレマシタ宗教團體法ト共ニ、此ノ寺院境内地ノ處分ニ關スル問題モ、是ガ不幸ニシテ日本ノ隅々マア能ク徹底致シマセヌト、ドシナ問題ヲ起サヌトモ限リマセヌノデ、願クバ此ノ宗教團體法ノ遺憾ナキ做

底化ヲ期セラレタイ、ソレニハ文部當局ハ如何ナル考ヲ持ツテ居ラレカ、十分ニ能ク此ノ宗教團體法ノ内容性質等ヲ一般宗教家ニ知ラシムル必要ガアラウ、之ニ對シマシテ宗教局長ノ御意見ノアル所ヲ一ツ御伺申上ゲタイト思フノデアリマス

(中略)

○榎尾委員 仰セノ點ハ洵ニ御尤デアリマシテ、私共モ法律ガ出來マシタ以上、其ノ法ノ精神及ビ各箇條ノ解釋等ニ付キマシテ、十分地方廳ノ者モ、宗教團體ノ人達モ諒解ヲシテ貫ハネバナラナイ、斯ウ考ヘテ居リマス、隨テ本法ガ成立致シマシテ施行マデ約一年バカリモアラウカト存ジマスルノデ、其ノ期間中ニ於キマシテ、地方廳ノ者及ビ宗教團體ノ人々ヲ集メマシテ、或ハ協議會或ハ講習會等ノ催シテ致シマシテ、由テ以テ趣旨ノ徹底ヲ圖リタイ、斯ウ考ヘル次第デアリマス

○榎尾委員 其ノ目的外使用ヲ現ニ各所デ、愈々此ノ法ガ出來ルト高クナルカラ今ノ内ニ——此ノ事ハ言ツテ宜イカドウカ分ラヌガ、一寸申上ゲマスガ、今ノ内ニ處理ヲ終レト云フコトヲソレノ地方テハ盛ニ今ヤツテ居ルヤウデスガ、私ハ何レニシテモ整理ヲ要スルノダカラ、目的外アツテサウ云フ問題ハ妥當ニ處理サレタラ宜カラウト云フダケニ申シテ居リマスルガ何カ年度内ニ處理サスレバ特別ニ安クスル、本法ガ施行サレレバ高クスルト云フヤウナ内示ガ出テ居ルノデゴザイマスルカ

○江口政府委員 今御尋ノヤウナ内示トハ反對ノ通牒ヲ出シテ居リマス、此ノ法律ガ施行セラルト、時價ノ半額デ安ク賣拂フコトガ出來ルシ、又代金ノ支拂方法ニ付キマシテモ、十年以内ノ年賦納付ガ出來ルト云フコトニナツテ居ルカラ、今賣拂フトオ寺ノ不利益ニナルカラ、今後ハ法律ノ施行サレルマデハ賣拂ヲ見合セロ、斯ウ云フ通牒ヲ出シテ居リマス、ソレニモ拘ラズ賣拂ヲ申請スルオ寺モアルヤウニ聞イテ居リマシタカラ、念ノ爲ニサウ云フオ寺ニ對シマシテハ、賣拂ハナイテ置ケト云フコトヲ重ネテ申上ゲテ居ルヤウナ次第デアリマス、今オ寺ノ方デオ買ヒニナルノハ餘リ利益デナイデセウ、此ノ法律ガ施行サレルト時價ノ半額デ而モ年賦納付デ宜イノデアリマスガ、今オ買ヒニナリマス、半額ト迄ハ行キマセヌ、幾ラカ安クテモ時價ノ二割三割安ト云フヤウナコトデアラウト思フノデアリマス、而モ即納デス、所ガ此ノ法律ガ出來マス、非常ニオ寺ニ取ツテハ利益デアリマスカラ、此ノ法制ノ施行マデハ賣拂ノ處分ヲシ

リマス、ソレハ當時明治十一年頃ガ如何ニ不安ナ状態デドウナツテ行クカ分ラヌト考ヘラレテ居ツタカト云フコトガ判リマスルシ、又同時ニ當時勸メマスル大體ノ行キ方ハ、官有地ニスルコトガ確實デアルカラ其ノ判ヲ捺セト云フコトデ強要サレタコトガ、當時實際ニ居リマシタ者ノ事實デアリマシテ、當時ノ實情ハ受身ノ方デハドウナルヤラ分リマセズ、官有ノ方ガオ寺ノ爲ニ良イダラウト云フ感ジテ判ヲ捺シタ者モアリマスルシ、捺セト言ハレテ強要サレタカラソレニ調印シタト云フコトモ、ソレ等ノモノハ私共數十年來調ベテ居リマス所デハ、皆生キテ居リマスル者ノ實際ノ場合ガアルノデアリマス、今回之ヲ整理サレマスルノハ、現在ノ國法ノ立場テ斯ウ云フ取扱ハ出來ナイト云フコトデアツテ行クモノトシテ、此ノ際數十年ノ難問題ヲ先ヅ解決スルト云フコトニナルモノト存ジマス、サウシテ此ノ賣拂ヲシマスル豫定ニナツテ居ル御示ニナリマシタ六萬二千餘坪ノモノハ、是ハ大體實際上ニ於キマシテ目的外使用トシテ、從來多少問題ニナツテ居ルヤウナモノダケテ御集メニナツタモノデアリマセウカ、或ハサウデナイ、何カ特殊ノ立場カラ御調ニナツタモノヲ持ツテ居ラレカ、ソレチ一寸御示ヲ願ヒタイノデアリマス

○江口政府委員 今御尋ノ六萬二千坪ト云フモノニ付キマシテハ、從來御承知ノ通り目的外使用地トシテ問題ニナツテ居ルモノダケテ集メタモノデアリマス、サウシテ市制施行地ニ於テ問題ニナツテ居ルモノダケテ集メタモノデアツテ、是レ以外ニモ斯ウ云フ目的外使用ガ或ハ相當アルノチヤナイカト考ヘテ居リ

ナイヤウニト云フ通謀ヲ出シテ居リマス

○権尾委員

中ニ、學校テアリマストカ、役所テアルトカ、公用ニ必要デア
ル爲ニ、市町村長若クハ自治體ガ特ニ契約ヲシマシテ使ツテ居
ル部分ガアリマス、ソレハ目的外使用ト云フコトニ付テモ、大
體ハ從來問題ニナツテ居ラヌノデアリマスガ、サウ云フ部分ハ
其ノ儘無償讓與サルル中へ當然入ツテ居ルモノデアルト思ツテ
居リマスガ、其ノ點ハドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、形ニ於
テハ寺ノ境内地ノ一部分ガ契約上貸與ニナツテ居ル形デアリマ
スルケレドモ、大體監督スベキ知事其ノ他ガ、ソレヲヤリマス
ル場合ニハ相當命令ノヤウナ強壓ヲ以テ出來タノガ多イノデア
リマシテ、假令好マヌデアモサウ云フ形ニナツテ居ル所モアリマ
スルシ、又他ノ一ツハサウ云フ風ニナツテ居ルカラ、從來國有
地ノ整理ニ於キマシテモ、斯ウ云フ目的云々ノ問題ニハナツテ
居ラナイト云フノガアリマスルガ、ソレハ此ノ中ニハ無償讓與
ノ方ニ入ラナイテ、實拂ノ方ヘテモ入ツテ居ルノカ、或ハ無償
讓與ノ方ヘ入ツテ居ルノカ、ハツキリ是ハ承ツテ置キタイト思
ヒマス

○江口政府委員

今御述ニナリマシタヤウナ、寺院境内地ヲ學
校或ハ役所ノ地域ニ使ツテ居ル、而モ地方長官ノ許可ヲ得テ使
ツテ居ルモノニ付テハドウナルカト云フ御尋デアリマス、是ハ
御承知ノ通り寺院境内地使用取締規則カラ申シマスルト、地方
長官ノ許可ガアレバ公益上ニハ使ツテモ宜イト云フコトニナツ
テ居ルヤウデアリマス、併シナガラ能ク考ヘテ見マスルト、此

ノ公益事業ト云フノモ、宗教教化ト密接ナル關係ガアル公益事
業ノ爲ニ境内地ヲ使フト云フコトハ結構ダト思ヒマスケレドモ
宗教教化ト全然關係ノナイヤウナ公益事業ニ使フト云フコトニ
ナリマスルト、ソレハドウナルカ、而モ相當ノ料金を
取ツテ貸シテ居ラレルト云フヤウナ場合等ニ付キマシテハ、之
ヲ全部讓與スルト云フコトハ考ヘモノデアルト云フ風ニ考ヘテ
居リマス、是ハ具體的ノ場合ニ付キマシテ能ク調査ヲ致シマシ
テ、寺院境内地處分審査會ニモ掛ケマシテ、慎重ニ審議シタイ
ト考ヘテ居リマス、御手許ニ差上ゲマシタ表ノ中ニ實拂スベキ
モノト推定シマシタ六萬二千坪ニハ、今御述ニナツタヤウナ土
地ハ入ツテ居ナイノデアリマス

○権尾委員

サウシマスト是カラ審査會ニ於テ無論一々ハ決定
サレルノデアリマスルガ、凡ソ審査ノ問題ニナリマス地域ガド
ノ位デアアルカト云フコトノ、何カ大體ノ歩合テモ御考ニナツテ
居ルコトガアリマスカ

○江口政府委員

今御尋ノ點ニ對シマシテハ、御手許ニ配付シ
デアリマス、命令條項ノ中ニ書イテアリマス、寺院等ニ於キマ
シテハ公益事業ヲ行ツテ居ル、使ヘバ寺院テ幼稚園ヲ經營スル
慈善病院ヲ經營シテ居ルト云ツタヤウナ所ハ、無償デアルト云
フコトニナツテ居リマス、併シナガラ他ノ人ニ公益上ヤラシテ
居ルト云ツタヤウナ場合ニ付キマシテハ、ソレハ當然讓與スベ
キモノトハ考ヘテ居リマセヌ、併シナガラ公益事業ノ性質並ニ
公益事業ニ供シテ居ル等ノ色々ノ事情等ヲ考ヘマシテ、無理ノ
ナイヤウニ解決致シタイト思ヒマス

○権尾委員

少シ御尋シタコトト違ツテ居リマスガ、其ノ説明
ノ所ハ説明テ能ク諒承シマシタ、寺院ガ寺院自ラ公益事業ヲヤ
ツテ居ルト云フ分ハハツキリ分リマスガ、從來公益事業ヲヤリ
マスノハ、宗教上ノ特殊ノ團體ノ形テ多クヤツテ居ルノデアリ
マス、何々會ト云フヤウナ會ヲ作ツテ、其ノ寺院ノ境内ナリ何
ナリガ公益事業ニ用ヒラレテ居ル場合ガ多アル、ソレハ直接
經營シテ居ルト云フコトニナラナイ形デアリマスガ、私共バン
レガヤハリ相當ニ斟酌シテ取扱ハレンケレバナラヌト思フノデ
アリマス、無論ソレニハ其ノ寺院ハ入ツテ居リマスガ、寺院以
外ノモノヲ加ヘタ所ノ一ツノ公益事業團體ト云フ形テヤツテ居
ルノガ多イト思ヒマス、私共ノ知りマスル限りテハ半數トコロ
デハナイ、八九割モサウ云フ扱ニナツテ居ラウト思ツテ居
ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ寺院直接經營ト云フ考テ扱ハ
レマスコトガ、非常ナ迷惑ヲ生ズル場合ガアルカト思フノデア
リマス、ソレカラモウ一ツハ、其ノ寺院以外ノ公益的ノモノデア
ルモノハ別デアアル、私モ別デアアルコトハ諒承スルノデアスガ、前
ニ申シタヤウニ、學校トカ公署トカ云フモノニ使ハレマスルノ
ハ、場所ノ便利モ無論アルダラウト思ヒマスケレドモ、主ニソ
レハ僅力ノ貸借ノ形テ、充ガヒテ與ヘテ使ヘルト云フ、即チ
有利ニ使ヘル、低廉ニ使ヘルト云フコトガ、サウ云フモノヲ御
使ヒニナツタ本デアルト大體見テ居ルノデアリマス、幾ラ力賃
ヲ取ツテ居タト云フコトノ爲ニ、ソレハ全部賣拂スベキモノダ
ト云フコトニナリマスノハ、官權ヲ以テ壓迫シ、欺イテ斯ウ云
フコトニ陷レタト云フコトニナル虞ガアルノデアリマス、勿論

其イタ考テモナク、附レル考テモアリマセマケレドモ、多分ニ
サウ云フ契約ニ對シテハ、官有地デアアルガ爲ニ寺院ノ方デハ免
除サレタイ、サウ云フ場合ヲ避ケタイト云フコトニ願ツテモ、
相當公ノ力ヲ以テマシテ承諾サセテ置イテ、其ノ分ハ何年間、
何十年間前デアリマスカラ、ソレテ進ンテ來マシタノガ、今日
ソレヲ目的外ノ使用デアルトカ、或ハ寺院自ラノ公益事業ヲサ
イトカ云フコトデ、嚴シイ處分サレルト云フコトニナリマス
ルト、結果カラ言ヘバ壓迫サレ、欺カレタコトニナルノデアリ
マシテ、私ハ多少サウ云フ立場ヲ論議致シマスルカラ、前カラ
其ノ事ハ論ジテ居ルノデアリマス、事實縣知事初メサウ云フ者
ガ不當ナ事ヲスルノチヤナイガ、他日是ガ國有カ民有カト云フ
問題ガ起ツタ時ニ必ズソレガ問題ニナルノデアツテ、サウシテ
其ノ時分ハ其ノ時分ダケノ考テヤラレルト云フ事ニナルト、遂
ニ欺ク、附レルト云フコトニナルト云フコトヲ論ジタコトモア
リマスガ、成ベクサウ云フ事件ガ起ラナイ爲ニト云フ注意ヲ興
ヘタコトモアリマスケレドモ、事實相當其ノ數ガアツタノデア
リマス、其ノ點ニ付テハ一層慎重ナル御考慮ノ上デア解決ノ出來
マスルヤウニ、詰リソレ等コソハ大體ニ於テハ無償讓渡ノ中ニ
入レラレテシマツタ方ガ然ルベキモノダ、目的外ノ使用ト云ヒ
マシテモ、從來不當使用ト云フヤウナ名テ考ヘラレテ居リマス
ルモノニハ、相當ノ取扱ガ然ルベキダケソドモ、合法使用ト云
フ風ニ考ヘラレテ居リマスル分ハ、其ノ本質ニ付テハ相當疑ガ
アルノデアリマスケレドモ、ソレ等ノ問題ヲ一掃シテ片付ケル
ト云フ場合ニ於テハ、餘程寛容ナル態度ヲ以テ、サウシテ全部

サウ云フモノハ無償譲渡ノ方へ入ラレルコトが當然ダト考ヘ
ルノデアリマシテ、其ノ點ニ付テ尙ホハツキリシタ御答ガ願ヘ
レバ結構デアリマスケレドモ、願ヘナケレバサウ云フ希望ヲ申
上ゲテ置キマス

○江口政府委員 只今御尋デアリマスガ、寺院ガ直接公益事業
ヲ營マナイア、寺院ノ關係セル團體等ニ於テ行ツテ居ル場合、
ヤハリ無償譲與ガ出來ルカト云フ御問デアアルカト思ヒマスガ、
寺院ガ直接行フ公益事業デアリマセヌデモ、例ヘバ其ノ寺院ノ
住職ガ其ノ團體ノ役員ニナツテ居ラレルト云ツタヤウナ場合ニ
ハ、ヤハリ寺院ガ其ノ公益事業ヲ營ンテ居ルモノト解釋シテ宜
カラウト思ヒマス、隨テサウ云フモノノ敷地ハ無償譲與ヲサレ
ルモノダラウト考ヘテ居リマス、又寺院ガ第三者ニ使用サレテ
居ルモノ、寺院ニ全然關係ノナイ者ニ、地方廳アタリカラ頼マ
レテ安イ料金テ貸シテ居ルト云ツタヤウナモノニ付テモドウス
ルカト云フ御尋デアリマシタガ、其ノモノニ付キマシテハ、今
惟尾サシノ御述ニナリマシタ目的外ノ使用デアリマシテ、是マ
デモ譲與スルト云フコトハドウカト考ヘテ居リマス、併シナガ
ラ非常ニ安イ料金テ貸シテ居ルノデアリマスカラ、金ヲ出シテ
之ヲ買フト云フコトハオ寺ニ取ツテモ非常ニ苦痛ダラウト思ヒ
マス、斯ウ云フモノニ付キマシテハ、能ク其ノ地方廳ナリ關係
者トモ相談ヲ致シマシテ、或ハオ寺デアリマスル價格以上ニ其
ノ縣廳アタリテ買フヤウニスルカ、或ハ相當ノ料金ヲ出サセル
ヤウニスルカ、オ寺ニ對シテ苦痛、不便ヲ與ヘナイヤウナ解決
策ヲ講ジテカラ、賣拂等モ考ヘテ見タイト考ヘテ居リマス、決

シテ無理矢理ニ賣拂ツテ、却テオ寺ニ不利益ナリ損失ヲ蒙ラセ
ルト云フコトハナイヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス、又隨ヒ
マシテ一般的ニサウ云フモノヲ全部ドウ云フヤウニスルカト云
フコトハ、此ノ際明言スルコトハ困難デアリマシテ、具體的ノ
場合ニ當リマシテ、無理ノナイヤウニ解決ヲスルト云フコトニ
御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス……

○加藤委員 同ジ寺院ノ境内地ニ民有地官有地ノ錯綜シテ居ツ
タ場合ニ、其ノ民有地ニ對スル公租公課ニ付テハドウ云フコト
ニナリマスカ、ソレヲ一寸御伺シタイ

○江口政府委員 今ノ御尋ノヤウナ場合ニハ、現行法ニ於キマ
シテハ、民有地ニ付テハ地租其ノ他ノ附加稅ガ課カルノデアリ
マス、併シナガラ今度宗教團體法ガ施行セラレマス、寺院境
内地ニ付キマシテハ、民有地ニ付テモ公租公課ハ課カラヌヤウ
ニナルト思ヒマス

〔中略〕

○立川委員長代理 承知シマシタ——本案ニ對スル質疑ハ之ヲ
以テ打切りタイト存ジマスガ、御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕
○立川委員長代理 ソレデアハ本案ニ對スル質疑ハ之ヲ以テ打切
リマス……本日ハ之ヲ以テ散會致シマス
午後四時三十一分散會

〔加藤委員發言參照〕
土地國有林下戻請求ノ訴

明治三十七年第七千七百七十二號
明治四十三年二月二十八日
第一部宣言

判決要旨

- 一 社寺ガ朱印狀ヲ以テ境内ニ對スル租稅ヲ免除セラレタルト
キハ該土地ハ反對ノ證據ナキ限り其ノ社寺有ト認ムルヲ相
當トス
- 一 係争地ニシテ起訴者ニ屬スル以上ハ立木モ亦全部其所有ト
認ムベキモノトス
- 一 明治四年正月五日附ノ布告ハ其當時社寺ノ境内タル土地ハ
祭祀法要等ニ必要ナラザリシ部分ト雖モ他ノ公領地ト其性
質ヲ同ウセザルコトヲ認メ土地スルヲ要セザル旨趣ナリト
ス
- 一 社寺ト其境内地トノ關係ハ必ズシモ公領關係ノミニ止マリ
シモノニアラズ
- 一 朱印狀ニ於ケル各種ノ文言ハ孰レモ其時代ノ必要ニ依リテ
變遷シ各特別ノ意義ヲ有スルモノトス
- 一 舊時ノ爲政者ハ社寺領ヲ與奪シ之ニ租稅ヲ賦課シ又ハ減免
スルノ權ヲ有シタルモノトス從テ社寺領ニ對シテハ其性質
上租稅ヲ賦課シ得ベキモノニアラズト云フヲ得ズ
- 一 境内除地トハ社寺境内ニシテ其租稅ヲ免除セラレタル土地
ヲ指稱ス

原 告 栃木縣芳賀郡益子町大字益子 西 明 寺

同寺住職 田 中 慧 音
右代表者 外 六 名

辯護士 平松 福三郎

農商務大臣男爵 大 浦 兼 武

辯護士 矢 部 廉

訴訟代理人 濱 地 八 郎

同 辯護士

主 文

被告ノ明治三十七年九月六日林第四八三九號附ヲ以テ原告ニ
與ヘタル指令ハ之ヲ取消ス被告ハ左記國有林ヲ原告ニ下戻ス
ベシ
訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

左 記

- 栃木縣芳賀郡益子町大字益子字高館第四四六六號
- 第四四六八號第四四七〇號西明寺土地
- 一二等官林十三町九反三畝六步
- 同所字馬場地第四四七一號西明寺土地
- 一等外官林四畝二十四步

- 同字第四四七七番イ號西明寺上地
- 一同九畝步
- 同字第四四七八番西明寺上地
- 一同三畝十五步
- 同所字山脇第四四七四番西明寺上地
- 一同二畝六步
- 同所字釘木第四四八二番西明寺上地
- 一同一反七畝二十四步
- 同所字馬場北第四四七二番西明寺上地
- 一同有芝山二畝十五步
- 同字第四四七三番西明寺上地
- 一同一畝二十四步
- 合計八筆十四町三反四畝二十四步
- 並右地上ニ於ケル立木全部
- 以上

事實

原告陳述ノ要旨ハ栃木縣芳賀郡益子町大字益子字高館第四四六六番第四四六八番第四四七〇番西明寺上地二等官林十三町九反三畝六步外七筆ノ地ハ原告寺ノ舊境内ニシテ所有ニ屬シ之ニ樹木ヲ栽培スル等自由ニ進退シ來リタルモノナルニ土地令ニ依リ官有ニ編入セラレタルハ不當ナルニ依リ其下戻ヲ求ムト云フニ在リテ立證トシテ甲第一號證安政四年ノ樹木寄附植付ニ關スル書面及甲第二號證慶安元年ノ朱印狀ヲ提出セリ被告答辯ノ要旨ハ係争地ノ原告寺舊境内タル事係争地内ニ甲

第一號證記載年度ニ植付タリト認ムベキ杉三百六十九本ノ存在スルハ之ヲ認ムルモ甲第二號證朱印狀ハ單ニ係争地ガ原告等ノ公領地タルヲ示スニ止マリ之ノミニ依リ其私有ナル事實ヲ認ムルニ由ナキモノナレバ原告請求ハ理由ナキニ依リ棄却セラレ度シト云フニ在リテ立證トシテ乙第一號乃至乙第十八號及參考乙第一號乃至第三十四號證ヲ提出セリ

理由

係争地ノ原告寺舊境内タルコト、係争地ニ寄附植付ノ證ト年代ノ符合スル樹木ノ存在スル事實ハ被告ノ認ムル所ナルヲ以テ本件主要ノ争點ハ甲第二號證ナル朱印狀ノ解釋如何ニ在リトス被告ハ朱印狀ハ單ニ公領地タル事實ヲ示スニ止マリ所有ノ證トナスニ足ラズト云フモ甲第二號證朱印狀ニハ「當時領下野國眞壁郡益子村ノ内四十石事任先規寄附之訖全可收納並寺中竹木諸役等免除云々」トアリテ原告寺ハ益子村ニ於ケル四十石ノ地ヲ從來ノ如ク寺領トシテ公領セシメラレタル以外ニ寺中即境内ニ對スル租稅竹木ノ徵發其他一切ノ負擔ヲ免除セラレタル者ナルヲ認ムルニ足ル而シテ即境内土地ニ對スル租稅ヲ免除セラレタルハ該土地ガ租稅ヲ賦課セラレ得ベキ性質ノ者ナルコトヲ示スノミナラズ右租稅ガ土地ニ對スルモノナル以上ハ其種類名稱ノ如何ヲ問ハズシテ毛上稅ト云フベカラザルヲ以テ該土地ガ官有ニアラズシテ私有ナル事實ヲ推定セシムルニ十分ナリトス而シテ之ヲ私有地ナリトセバ其何人ニ屬スルヤハ反對ノ證據ナキ限り現ニ右租稅ヲ免除セラレルベキ旨ヲ發セラレ且實際ニ於テ之ヲ境内トシテ占有スル朱印狀名

宛ノ社寺有ト認ムルヲ相當トス加之原告寺ハ苗木ノ寄附ヲ得テ係争地ニ樹木ノ植付ヲ爲スガ如キ自由ニ之ヲ進退シタル實蹟ヲ認メ得ル以上ハ之ヲ原告有ト認メザルヲ得ズ既ニ土地令ニシテ原告有ナル以上ハ地上ノ立木ハ獨リ寄附植付ノ年代ニ符合スル分ノミニ限ラズ反對ノ證ナキ限り全部原告有ナリト認ルルチ相當トス然ニ本件ニ關シ被告ハ數十ノ證據書類等ヲ提出シ土地令ノ關係寺社領ノ性質並朱印狀ノ效力等ヨリ觀テ朱印狀ニ依リ社寺境内ヲ社寺有ト認ムルチ以テ不當ナリトシ詳細ニ陳辯スル所アルニ依リ其所論ニ就キ審査スルニ先ヅ被告ハ土地令ノ關係ニ付社寺領ハ其境内外ヲ問ズ明治維新ノ後社寺上地令ニ依リ上地セシメラレ之ニ對シ遞減祿ヲ支給セラレタル者ナレバ封建時代ノ武家ノ領地ト同性質ニシテ公領關係ニ過ギザレバ之ヲ私有ト認ム可ラズト主張スルモ境内地モ他ノ公領地ト全然同性質ナリシヤ否ヤハ頗ル明確ナラザル者ニシテ最初ノ上地令ナル明治四年正月五日附ノ布告(乙第一號證)中ニモ「今度社寺領現在ノ境内ヲ除ク外一般上地被仰付(下略)トアリテ其境内地ヲ除キタルハ單ニ祭祀法用ニ必要ナリト認メタルニ依ルカ又ハ同令ノ後段ニ記載セル田畑ト同様其私有ナルヲ認メタルニ依ルカ又前記「社寺領」ナル文詞ハ公領トノ意味ナルカ又ハ公領地ト私有地トヲ混合シ漠然右ノ文詞ヲ使用セシモノナルカ明確ナラザルモ要スルニ最初ノ上地令ニ於テハ必ズシモ祭祀法用等ニ必要ナラザリシ部分ト雖モ其當時境内タリシ地ハ他ノ公領地ト其ノ性質ヲ異ニスルヲ認メ上地スルヲ要セザルモノトナセシハ明瞭ナリトス然レバ右

上地ニ係ル地所等ノ調査ノ様式ヲ示達セル明治四年七月四日附ノ達書(乙第三號證)ニハ「境内外ヲ不論本社及建物等現今ノ地景ニヨリテ相除其他總テ上地可致(下略)トアリテ境内地ヲモ上地セシメタル事實又乙第七號證國債始末乙第十八號證社寺遞減祿調帳ニ依リ上地シタル境内地ニ對シ遞減祿ヲ給與セシモノアル事實ヲ認メ得ベキガ如キモ右ハ何レモ上地令執行ニ關スル手續規定又ハ同令ニ基キタル處分ニ外ナラズシテ當裁判所ハ森林原野下戻法ニ基キ上地處分ニ依リ私有地チ上地セシメタルニアラザルヤ否ヤヲ判斷スベキモノナレバ右上地令ニ基ク處分ニ於テ境内地チモ他ノ社寺公領ト同一ニ取扱ヒタル事實アリトスルモ之ニ依リ直ニ其性質ト同一ナリト斷定スルハ所謂問題ニ依リ問題ヲ決スルモノニシテ爲シ得ベキ限りニ在ラザルノミナラズ假リニ前記被告ノ主張ヲ正當ナリトスルモ本件係争地ニ對シテハ遞減祿ヲ給與シタルモノニアラザルハ被告ノ争ハザル所ナルヲ以テ本件ニ關シテハ此點ニ關スル被告ノ主張ヲ採用シ難キモノトス又被告ハ社寺領ノ性質ニ關シ社寺領ハ領知權ヲ國家ヨリ付與シ社寺チシテ租稅其他ノ收納ヲ爲シ且一切領内ノ進退ヲ爲サシメタルモノニシテ國司守護等ノ其領内ニ立入り社寺ノ領知權ヲ妨害スベカラザルノ效果ヲ生ジタルモノナリト主張スルモ社寺ト其公領地トノ關係ハ前記被告ノ主張ノ如クナルヲ認メ得ベキモ社寺ト境内地トノ關係ハ單ニ右公領關係ノミニ止マリシモノト認メ難キチ以テ境内地ニ關シテハ直ニ各被告ノ主張ヲ是認スルニ由ナキモノトス被告ハ境内地モ社寺領ナルヤ否ヤニ關シ社寺

ノ境内山林等ハ祭祀法用及神佛ノ聖蹟ヲ保ツ爲メ清淨ノ靈域トシテ最モ必要ナル部分ナルヲ以テ社寺領タルコト疑ヒナキノミナラズ足利氏時代ニ於ケル一般社寺領ニ對スル守護不入ノ文言(乙第十三號乃至第十五號參考乙第十一號證)カ徳川氏初期ノ朱印狀ニ於テハ境内山林竹木等ニ對スル守護不入ノ文言(參考乙第十三號乃至第十五號證)トナリタルモノナレバ境内モ亦一般社寺領ノ區分ナキ事ヲ見ルニ十分ナリト云フモ境内山林等ハ被告意見ノ如ク社寺ニ對シ最モ必要ナル部分ナルヲ以テ單ニ公領關係ノミニ止マラズ尙其以外ノ關係ヲモ有セシ者トモ推定シ得ベキノミナラズ乙第十三號乃至第十五號證ハ足利氏時代ニ於ケル然モ境内地ニ關係ナシト認ムベキ社寺公領地ニ對スル守護不入ノ文言ナレバ其時代ニ於テ社寺公領地ニ對シテ保護セシ事實有トスルモノニ依リ徳川氏時代ニ於テ公領地ト區分セラルル者ト認ルテ得ベキ境内地ニ對シ守護不入ヲ保障セラレタル事實ノミヲ以テ境内地モ社寺公領ナリトノ斷案ヲ下スハ論理ノ許サザル所ナリトス唯參考乙第十一號證ニハ「東寺領境内並所々散在田畑屋地山谷等(中略)爲守護不入地(中略)全領云々」トアリテ境内地ヲ寺領ト認メタルガ如シト雖モ往古ニ於ケル文字ノ使用ハ精確ナラズシテ所領ナル文字ヲ所有ノ意味ニ使用スルハ往々散見スル所ナルヲ以テ本證ノ如キモ東寺ノ所有地ナル境内地ト其公領ナル田畑以下トテ併合記載セシガ爲之ヲ寺領ト書セシトモ認メ得ベク且本證ハ亦享祿三年附ニシテ足利氏時代ノ文書ナレバ唯ダ此ノ一證ノミニ依リ其朱印狀ニ公領地ト境内地トヲ明確ニ區分セ

シ徳川氏時代ニ於テモ總テ境内地ハ公領ナリシモノナルヲ認メ難キノミナラズ現ニ徳川氏時代ニ於テハ寛文五年ノ同家令條ニ「一、寺社領無之境内計之御朱印雖有之於一宗之本者繼目之御朱印可被下之事」トアリテ境内ハ寺社領ト認メザリシモノトモ解シ得ベキニ依リ境内モ社寺ノ公領ナリト主張ハ之ヲ認ムルニ由ナキモノトス以上説明スル如ク社寺境内ハ社寺公領ナリトノ事實ハ之ヲ認ムルニ由ナク假リニ之ヲ公領ナリトスルモ一面公領地ナル土地モ其ノ性質ハ民有タリ得ルハ恰モ本件原告所在地タル益子村ニ於ケル四十石ノ地方一面原告寺ノ公領タルト同時ニ同村民ノ私有ナルヲ推定シ得ラルルガ如クナルヲ以テ境内地ノ高キモ一面公領ナリシト假定スルモ單ニ其理由ノミニ依リ之ヲ原告ノ私力ニアラズト斷定スルヲ得ザルモノトス又被告ハ朱印狀ノ效力ニ關シ朱印狀ノ文言ハ區々ナルモ要スルニ領知權ヲ認メ其領土内ニ於テ他ノ妨害ヲ受ケザル事ヲ保障シタルニ過ギズシテ之ニ於ケル「諸役等免除」ノ意義ハ國ノ領土ヨリ除キテ之ヲ社寺ニ領知セシメシ結果國司地頭等ハ他ノ領地ニ對シ諸役ヲ課シ之ヲ妨害スルノ權利ナキコトヲ保障シタルニ止マリテ有租地ノ年貢ヲ免除シタルモノト同一ニ視ルベカラズト云フモ朱印狀ノ各種ノ文言ハ各其ノ時代ノ必要ニ基キ制定セラレタルモノト認ムベク例ヘバ諸侯割據シ法令ノ遵奉セラレザリシ足利氏時代ニ於テハ社寺領ニ對シ「守護不入」ノ文言ヲ以テ守護ガ諸種ノ負擔ヲ賦課シ又ハ其他ノ妨害ヲ加フルヲ制止スルノ要アリシモノナルベキモ天下統一ノ徳川第三代將軍以降ノ時世ニ於テハ社寺

領ニ對シ他地ノ領主等ガ妨害ヲ加フベキ懸念ナキヲ以テ社寺ニ對スル恩惠トシテハ其租等ノ負擔ノミヲ免除セシモノトモ認ムベクシテ各種朱印狀ヲ以テ一概ニ妨害ノ保障ノミニ限ルモノト認メ難キモノトス又被告ハ免除文言ヲ以テ有租地租稅免除ト同一ニ視ルベカラズト云フモ「境内又ハ寺中山林竹木諸役等免除」ノ文言ハ上ニ説明セルガ如ク境内又ハ寺中ニ對スル租稅山林竹木ニ對スル負擔其他一切ノ諸役ト各別ニ之ヲ免除スルノ意ニアラズシテ假リニ境内又ハ寺中ニ關スル諸役ヲ免除スルノ意ナリトスルモ尙ホ諸役内ニハ「段錢」等ノ土地ニ對スル如キ負擔ヲ包含シ且免除トハ單ニ妨害ニ對スル保障ノミニアラズシテ金錢等ノ提供ヲ免除スルノ意ニシテ免除セザルトキハ之ヲ朱印狀下付者ノ收納シ得ベキモノナルハ參考「乙第二十五號證」慶安元年附ノ美濃國妙心寺ニ對スル朱印狀ニ「寺中院内諸役免除之如有來永可收納者也」トノ文言ニ依リコレヲ推定スルニ難カラザレバ朱印狀文言ハ總テ單ニ妨害ヲ保障スルニ止リ免除トハ租稅ノ免除ト認ムベカラズトノ被告ノ主張ハ採用シ難キモノトス又被告ハ「社寺領ト貢租トノ」關係ニ關シ社寺領ナル以上ハ他ニ向ツテ貢租ヲ納ムベキ管ナルハ言ヲ俟タザルヲ以テ免除文言ヲ前記ノ如ク解釋スルハ不當ナリト云フモ社寺領ナル以上ハ貢租ヲ賦課スベキモノニアラズトノ旨趣ヲ示達シ各時代ヲ通シ遵守セラルベキ法令ハ一モ存在セザルノミナラズ反テ參考乙第九號證ニハ「里見安房守ヨリ被付置候社領三百石之處物成者御公方(御納(下略))」トアリ參考乙第十號證ニハ「(前略)右ハ元其領主ノ

歸依ハ由緒ニヨリ私ニ寄付イタシ候事ニ付御料所ニ於テ而取放ニ相成候儀ニ御座候」トアルニ依レバ將軍家ハ社寺領與奪ノ權スラ之ヲ有セシヲ認ムルニ足レバ其範圍内ニ於ケル諸種負擔ノ賦課若クハ減免ノ權ノ如キハ當然之ヲ有セシモノト推定スルニ難カラザルモノトス被告ハ前記論旨ニ關シ參考乙第一號乃至第五號證參考乙第七號證一、二參考乙第八號證並ニ乙第八號乃至第十一號證ヲ引用スルモ右ノ内參考乙第一號乃至第七號ノ二ハ其參考乙第五號證ヲ除クノ外ハ何レモ王朝時代ニ於テ或ハ神戶神地ヲ定メ或ハ凶年ニ於テモ社寺ノ封ノミハ田租ヲ免セザル旨ヲ令シ或ハ國分寺ノ封佃稻地子等ハ寺家ノ收納スベキモノタルヲ達シ若クハ神戶ノ百姓ハ神社ノ修理スベキモノナル旨ヲ示達シ又ハ神領ノ措置增加等ヲ示達シ若クハ寺領ハ荒廢ノ地ト雖モ地頭等之ヲ妨害スベカラザル旨ヲ令達セルニ過ギズシテ概ネ境内地ニ關係スル者ト認メ難キノミナラズ一モ各其時代ニ於テモ社寺領ニ對シテハ貢租ヲ賦課スベキ者ニアラザル旨ヲ明示スル者ナシトス而シテ參考乙第五號證寶永年代即徳川氏時代ニ於ケル公文書ニハ「御老中方ヘ伺有之候上寺社領モ自今私領並人足諸色差出候管ニ相極候」トアリテ反テ明ニ社寺領ニ對シテ諸役ヲ負擔セシメタルヲ證スルノミナラズ境内ニ關シテ慶安三年附相模國江ノ島辨才天ニ對スル朱印狀(參考乙證第三十一號)ニハ「相模國鎌倉郡江ノ島辨才天境内山林竹木諸役等免除之雖然獵師町地子同船役者如有來可爲公役也此外云々」トアリ又當裁判所明治

三十七年第一〇八三號事件ニ於テ鑑定人三名一致ヲ以テ其成立ヲ正確ナリトセル甲第七號證ニハ「一、境内山林園圃井谷(中略)合十四個所此高合十二石七斗七升慶長七年ヨリ御免除(下略)トアルニ依レバ社寺境内地ニ對シテモ貢租ヲ賦課セシ事アルハ明瞭ナレバ社寺境内地ニ對シテモ貢租ヲ賦課スベキ筈ナシトノ被告主張ハ理由ナキ物トス又右論旨ニ關シ被告ノ引用スル乙第八號乃至乙第十五號ハ「寺社領守護不入考」ナル書籍ノ抜萃ニシテ其乙第八號證ハ徳川氏初期ニ於ケル朱印狀文言ノ由來ヲ説明セルモノニ係リ同證ニ於テモ「國初以來御朱印ノ文ニ守護不入ト見エタルハ天文ノ頃不入ノ語ヲ諸役免除ノ事ニ轉ジ用ヒシヨリ因循シテ唯舊文ニ依ラレタルマデニシテ其實ハ諸役免除ト別ニ等有ニアラザルベシ」トアリテ徳川初期ノ朱印狀例ハ參考乙第十三號乃至第十五號證ノ如キニ守護不入ノ文言アルモ是レ後世ノ諸役免除ノ文言ト同一ノ内容タリ其初期ニ於テ守護不入ノ文詞ヲ使用セシハ本文ノ頃即足利氏末期ニ於テ守護不入ナル文詞ヲ諸役免除ノ意義ニ使用セシコトアルニ基因スト云フニ在リテ本書ノ著者ト雖モ足利氏時代ニ於ケル守護不入ナル文言ノ内容ト徳川氏時代ノ諸役免除ナル文言ノ内容ト同一ナル旨ヲ認メタルニアラザルハ明カナリ又乙第九號證ハ足利氏時代ニ於テ南禪寺ニ下シタル下知狀ニシテ本證ハ寺社領トシテ諸役ヲ免除セラレタル地ハ又守護不入地トシテ他ノ妨害ヲ受クベカラザル者ナルコト即チ諸役免除ノ效果トシテ守護其他ガ之ヲ妨害スベカラザルモノナル旨ヲ示スニ止マリテ其時代ニ於テモ諸役免除ノ

内容ト守護不入ノ内容ト必シモ同一ナル旨ヲ示スモノニアラズ乙第十號證ハ足利氏時代ニ於ケル不入文言ノ説明ニシテ同證ニ於テモ「其寺院ニ證書ヲ出シテ軍務ノ賦課臨時ノ課役等免除セリ」皆正租ヲ其主ニ收ムルノミニシテ臨時ノ公事軍賦土木ノ役夫等ヲ免除シ其他ヲ亂妨スルモノヲ制セシ事ト見エタリ」トアリテ社寺ニ賦課シ得ベキ諸負擔ヲ免除セシ旨ヲ明記シ又乙第一號證ハ駿河志料ニシテ「段錢」ナル者ノ性質ヲ説明シ「段錢ハ租稅地子ノ外一段何百文ト寺社ノ興立修理等ニ宛行ハレタリ云云」トアリテ段錢ノ土地ニ對スル負擔ナルヲ明示シ又同證後段ニハ「建武以來モ租稅ノ外反對ヲ宛備スハ此餘風ニテ今川文書ニ代方段錢トモアリ神田佛田トモニ一國一圓ニ宛ラレ又故アリテ免除ノ地モアリケン」トアリテ社寺領ニ之ヲ課免セシコトアルヲ示スモノナラズ社寺領ニ對シ此ノ段錢ナル者ノ免除セラレタル例ハ他ノ乙號證中ニ於テモ多散見スル所ナレバ社寺領ニ對シテモ租稅ヲ賦課シ又ハ之ヲ免除シタルモノナルヲ認ムルニ足ルヲ以テ被告主張ヲ採用スルニ由ナキモノトス又被告ハ社寺領ニ對スル朱印狀ノ守護不入諸役免除等ノ文言ハ社寺領タルヲ認ムル一種ノ例文ナリト解釋スルヲ穩當トスルヲ以テ該文言ヲ唯一ノ根據トシテ有租地ニ對スル貢租ノ免除ナリト斷定スルハ不當ナリトシ朱印狀ハ單ニ之ニ記載セラレタル土地ガ社寺領タル事ヲ認ムルニ止リ各種ノ文言ハ無意義ナルカノ如ク主張スト雖モ既ニ説明セラルガ如ク各種ノ文言ハ何レモ各時代ノ必要ニ依リ變遷セシモノニシテ各特別ノ意義ヲ有スル者ト認ムルヲ相當トスルヲ以

テ是亦其主張ヲ採用シ難キ者トス又被告ハ朱印狀ノ免除文言ハ獨リ境内ノミニ限ラズ社寺領一般ニ對シ證書セラレタルモノナルハ乙第十三號乃至第十五號證乙第十七號證參考乙第五號證ニ依リ明カナレバ高地ハ寺ノ領地即チ公領關係ニ過ギザルモ官有地ヨリ貢租ヲ納ムベキ理由ナキヲ以テ社寺ノ境内山林ハ私有地ナリト論斷スルハ不當ナリト主張スルモ前記被告引用ノ各證ハ何レモ境内地ヲ包含セザル公領地ノミニ關スル文書ト認ムベキヲ以テ是亦被告論旨ヲ是認スルニ由ナキ者トス又被告ハ朱印狀ヲ下付セラレタル社寺並其神職僧侶ガ特種ノ資格待遇ヲ與ヘラレタル點ヨリ觀テ社寺ハ一箇ノ公ケケル資格ヲ有シタルモノナルヲ以テ之ニ對スル領知ノ朱印狀ハ國領ノ一部ヲ社寺ニ所領セシムル事ニ關スルモノニシテ其土地ノ所有ト何等ノ關係ナキコト勿論ナリトスト云フモ是レ朱印狀ノ文言ハ社寺領タル事ヲ認ムル外殆ド意味ナシトセル前段ノ論旨ト同一ニ歸著スルモノナルノミナラズ貢租ノ免除ト資格待遇ノ特典トハ兩立シ得ベキモノナルヲ以テ是亦其主張ヲ採用スルニ由ナキモノトス又被告ハ社寺領ニ對スル守護不入ハ武家ニ對スルモノト同一ナルハ乙第十六號證ニ依リ明瞭ナレバ社寺ニ對スル守護不入諸役免除ノ文言ハ領知權ノ保障ニシテ所有ノ證トナスベキニアラズト云フモ乙第十六號證ハ永祿十二年即チ足利氏末亂世ノ文書ナレバ此ノ時代ニ於テ必要上武家ノ領地ニ對シテモ「諸不入云云」ノ書面ヲ與ヘタル事アリトスルモ之ヲ以テ直ニ徳川氏天下統一後ノ社寺ニ對スル「境内諸役免除」ノ文言モ同一意味ナリト解釋スルノ資料トナ

シ難キモノトス又被告ハ社寺境内ガ檢地帳ニ除地トシテ記載セラレタルガ如キハ元來社寺領ノ國司ノ領土外ニ屬スルヲ以テ封土石高帳村方檢地水帳等ニ高外ニ除地トシテ記載セラレタルハ寧ろ社寺領地タルノ性質ヲ認ムル一ノ證據ニシテ之ニ依リテ貢租地ニ對スル免除ナリト斷定スベキモノニアラズト云フモ社寺境内除地トハ檢地帳性質其他古文書ニ於ケル記事ヲ綜合シ社寺境内ニシテ其貢租ヲ免除セラレタルモノト認ムベキモノナルハ當裁判所明治三十七年第三百三十五號件ノ判決ニ明示スル如クナルヲ以テ此點ニ關ツテモ亦被告主張ヲ是認シ難キモノトス之ヲ要スルニ被告ハ總テ社寺境内ハ社寺ノ公領ニシテ公領地ニハ私有地無キカノ如ク斷定シ又社寺領ハ單ニ祭祀法要ノ爲メ國ノ領土ヨリ除カレ他ノ干渉ヲ受ケザルコトヲ保障セラレタルニ過ギザル者ニシテ之ニ對シテ性質上租稅ヲ賦課シ得ベキ者ニ非ズトナシ恰モ社寺ハ總テ國立ニシテ社寺領ハ本邦建國以來一宗不變ナルモノナルカノ如ク主張スト雖モ是レ實際ニ於テ社寺ハ概ネ荒蕪地ノ開發若クハ私有地ノ寄附等ニ依リ創設セラレタルノ事實ヲ無視シ且各時代ニ於ケル爲政者ハ任意ニ其領土ヲ與奪シ之ニ租稅ヲ賦課シ若クハ之ヲ減免シ來レル事實ヲ否認スルノ斷定ナリトス然レバ其朱印狀ハ社寺領タルヲ認ムル外各種文言ハ無意義ナリト云フガ如キハ前記斷定ヲ前提トセヨ斷案ニ過ギズシテ本邦歷史上ノ事實ニ適合セザルモノト認ムベキヲ以テ其論旨ヲ採用スルニ由ナキモノトス

右ノ理由ニ依リ主文ノ如ク判決ス

別冊第一號

行政裁判所裁判宣告書

明治四十三年第二百九十四號
明治四十四年五月二十六日第

一部裁決

東京市淺草區淺草公園

原告 淺草寺住職 淺草寺

右代表者 修多良亮延

同市下谷區金杉上町六十六番地

平民質商

右信徒總代 佐藤 太右衛門

同市日本橋區本町一丁目十三番地

平民吳服商

同市淺草區千束町二丁目三百七十四番地

平民農業

同市淺草區新旗籠町十六番地

平民質商

同市淺草區新旗籠町十六番地

平民質商

同市淺草區新旗籠町十六番地

辯護士

右訴訟代理人

高木益太郎

同

同

法學博士 岸 清一

同

同

岡崎正也

同

同 內務大臣男爵

播磨辰治郎

被告

被告

辯護士

法學博士 平田 東助

右訴訟代理人

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

辯護士

- 三 東京市淺草區馬道町一丁目二十八番地
七百七拾參坪貳合六勺
 - 四 同市同區同町一丁目二十九番地
八百八坪六勺ノ内元十九番地六號ノ分
四百貳拾五坪三合六勺四勺
 - 五 同市同區同町三丁目自一番地至十五番地
貳千貳百貳拾七坪參合八勺
 - 六 同市同區駒形町十九番地
五十七坪四合五勺
 - 七 同市同區新堀町自一番地至十一番地
壹千八百參拾參坪五勺
 - 八 同市同區北田原町三丁目十一番地
壹百參拾壹坪參勺
 - 九 同市同區田町一丁目一番地
參百九拾參坪七合五勺
- 原告カ東京市淺草區馬道町五丁目十、十四、十七番地貳百四拾五坪八合壹勺ノ土地ニ對スル請求ハ之レヲ棄却ス
- 訴訟費用ハ被告ノ負擔トス
- 事實
- 原告陳述ノ要旨ハ原告淺草寺ハ天台宗一等級格寺ニシテ推古天皇三十六年三月十八日武藏國豐島郡淺草宮戸川ヨリ出現セシ觀世音ノ尊像ヲ其地ニ安置セシニ濫觴シ孝徳天皇大化元年勝海上人同所ニ寺院ヲ創建スルヲ開基トシテ文徳天皇天安元年慈覺大師本寺ニ寄寓シ堂宇寺院ヲ増建シ大ニ法燈ヲ輝カス

爾來幾多ノ變遷ヲ經テ後水尾天皇慶長十八年將軍徳川家康本寺境内ヲ拾壹萬四千五百九拾參坪參合八勺貳才ト定メ諸役ヲ免除シ別ニ寺領五百石ヲ寄附シ黒印ノ判物ヲ附與セラル猶三代將軍家光以來代々御朱印ヲ下附シ之ヲ確保セラレタルモノニシテ本訴請求ノ地所ハ右御朱印地境内拾壹萬四千五百九拾參坪參合八勺貳才ノ内舊寺中五拾四ヶ寺ノ敷地ヲ控除シタル部分ニ相當シ多年竹木諸役ノ免除ヲ受ケ由緒歴然タル本寺所有境内ナリシ處明治四年ニ至リ悉ク土地ヲ命セラレ境内堂宇ノ敷地一箇ノ地タモ殘サス渾ヘテ官有ニ編入セラレタルニ依リ被告省ニ對シテ其下戻ヲ申請シタルニ聞届ケ難シトノ指令ニ接シタルヲ以テ本訴ニ及ヘリト云フニ在リ立證トシテ甲第一號證乃至第十五號證並ニ競甲第一號證乃至第十三號證ヲ提出セリ被告答辯ノ要旨ハ係争ノ土地カ原告寺ノ境内ナルコトハ之ヲ争ハサルモ原告寺所有ノ事實ニ在リテハ之レヲ認ムヘキ證憑充分ナラス且又係争地中原告寺ノ訂正申立ニ係ル第十項ノ一筆ハ下戻申請書及當所ノ訴狀ニ何等記載ナカリシ區域ニ係ル其請求ハ不適法ナリ依テ原告ノ請求ハ凡ヘテ排斥セラレタシト云フニ在リ立證トシテ乙第一號證ヲ提出セリ

理由

案スルニ甲第一號證(慶長十八年成立ノ黒印狀)ニハ「武藏國豐島郡淺草寺(中略)山林竹木門前屋敷如舊規諸役令免許事右堅可守此旨者也」云々ト記載アリ同甲第二號證(慶長十九年成立ノ黒印狀)並ニ甲第三號證乃至甲第十號證(寛永十三年乃至天保十年成立ノ右朱印狀)ニモ前同文ニテ「山林竹木

右當事者間ノ國有土地下戻請求ノ訴訟ニ付審理判決スルコト左ノ如シ

主文

被告カ原告ニ與ヘタル明治四十三年十二月九日附四東甲第一三九號內務省指令ハ之ヲ取消ス

被告ハ原告ニ左記ノ土地ヲ下戻スヘシ

- 一 東京市淺草區公園地自第一區至第五區
參萬六千九百貳拾九坪五合五勺(内三社地壹千九拾九坪四合九勺ハ除之)
- 二 同上公園地第六區
壹萬參千貳拾貳坪

門前屋敷等諸役免除寺中法度以下依當家先判之例永不可有相違之狀如件」云々ト記載アリ而シテ以上朱黒印狀中「山林竹木門前屋敷等諸役免除」トアル記載カ原告寺舊境内ニ對スル貢租免除ノ意義ナルコト並ニ本訴係争地カ右境内ノ一部ニ屬スルコトハ被告ニ於テ敢テ争ハサル事實ニシテ元來貢租ヲ享クヘカリシ境内地カ朱黒印狀ニ依リ免除セラレタルモノナレハ反對ノ證據ナキ限り其社寺ノ私有地ト認定スルチ相當トストノ當裁判所既決判例ノ趣旨ニ照ラシ係争地ハ全ク原告寺ノ私有ニ屬スヘキモノナリト認定ス

原告ハ訴訟提出後ニ於テ一定ノ申立ヲ訂正シ東京市淺草區馬道町五丁目十、十四、十七、番地貳百四拾五坪八合壹勺ノ一筆ヲ係争目的物中ニ追加シ甲拾五號證(下戻申請書)記載ノ如ク當初ヨリ原告寺舊境内即上地ヲ命セラレタル部分ノ下戻ヲ申請スルノ趣旨ナレハ右追加ノ申立ハ不合法ニ非スト主張スルモ該追加ノ地所ハ當初ノ下戻申請書並ニ訴狀ニ全ク記載ナカリシモノニシテ現ニ乙一號證(下戻申請書附屬畫圖)ニ表示シアル申請地區域ノ色別及坪數等ノ各記載中ニモ該地ニ關スル表示ナキヲ以テ其請求ヲ不合法ナリトスル被告ノ抗辯ハ相當ナリト認ムルニ依リ原告ハ該地所一筆ニ對シテ何等訴權ヲ有セザルモノト認定ス

此他原告ハ第一號證乃至第十三號證ノ記事ニ關シテ種々陳辯スル所アルモ要スルニ別件明治四十三年第二百七十號競顧事件ノ原告申立ニ對抗スル主張ニ外ナラスト認ムルチ以テ同事件ノ裁判判決書ニ於テ之レヲ詳説スル所アルニ依リ茲ニ

ト申ス外アリマセヌ、私ガ、寺院境内地ガ私有地ニアラズシテ公領地デアルト云フ以上ハ、是ガ確證ヲ示サレタト申シタルニ對シ、實ニ其ノ確證ヲ示サザルノミナラズ、之ニ關スル法規其ノ他ノ解釋ハ全ク御都合主義ノ解釋ニシテ、一モ本員ニ満足ナシテモ、黃河ノ流ハ雙手ノ能ク抑フベキニアラズ、昔カラ謂フ泣ク子ト地頭ニハ勝テナイト觀念シテ、敢テ本法案ノ通過ニ反對スル者デアリマセヌ、併シナガラ此ノ場合政府當局ニ一言シテ置キタイコトハ、昨日モ申シマシタ如ク本法ノ適用デアリマス、之ヲ取扱フ當該官吏ニ對シテ、寺院境内地ノ無償讓與ガ全ク宗教保護ノ意味ニアルコトヲ能ク了解セシメ、是ガ運用ニ於テ斷ジテ苛酷冷酷ノ態度ニ出テザルヤウ、公平ニシテ寛大ナル取扱ヲ爲サシムルヤウ十二分ノ注意ヲ與ヘラルト共ニ、一面本法案ノ議會通過ト共ニ全國各寺院ニ之ヲ能ク周知セシムル方法ニ於テ萬遺憾ナキナ期セラレタイ、尙ホ一旦讓與致シタル境内地ハ、惡僧惡棍徒輩ノ爲ニ雲散霧消ト直チニ消エテ無クナルコトノナイヤウニ、是ガ保全ノ方法ヲ講ジ、嚴重ニ是ガ保護ト取締ノ途ヲ盡サレンコトヲ希望シテ、當局ノ御考慮ヲ煩ハシタイト存ズル次第デアリマス

之レヲ贊セス
以上説明ノ理由ニ依リ本訴係争地九筆ニ對スル原告ノ請求ハ相當ニシテ最後ノ一筆ニ對スル請求ハ之レヲ棄却スヘキモノト認メ注文ノ如ク判決ス

明治四十四年五月廿六日行政裁判所第一部公廷ニ於テ宣告ス
裁判長

行政裁判所長官法學博士 山 脇 玄
行政裁判所評定官 戸田恒太郎
行政裁判所評定官 田中國三郎
行政裁判所評定官 松本郁郎
行政裁判所評定官 川瀬毅策
行政裁判所書記 羽仁謙吉
明治四十四年五月二十六日行政裁判所第一部ニ於テ原本ニ依ル騰寫ス
行政裁判所書記 羽仁謙吉

昭和十四年三月二十三日
午後一時十分開議

○安藤委員長 開會致シマス、寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法案ハ前會ヲ以テ質疑ヲ終了致シマシタ………
○加藤委員 寺院等ニ無償ニテ貸付シアル國有財産ノ處分ニ關スル法案ニ付テ、昨日政府當局ノ私ニ對スル答辯ハ、唯遺憾

- 安藤委員長 是ヨリ討論ニ移リマス——紫安君
 - 紫安委員 私ハ立憲民政黨ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成ヲ致シマス
 - 立川委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表シマス
 - 安藤委員長 高岡君
 - 高岡委員 私ハ第一議員俱樂部ヲ代表致シマシテ、本案ニ對シ別ニ異存モゴザイマセヌ、原案ノ儘賛成致シマス
 - 安藤委員長 鈴木君
 - 鈴木委員 私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス
 - 安藤委員長 椎尾君
 - 椎尾委員 第二控室ヲ代表致シマシテ賛成致シマス
 - 安藤委員長 本案ハ滿場一致ノ賛成ヲ以テ委員會ハ可決致シマシタ(拍手)是ニテ散會致シマス、(永々有難ウゴザイマシタ)
- 午後一時十四分散會

米穀配給統制法案委員會議事要領

一、委員會成立

本委員會ハ昭和十四年三月六日議長ノ指名ヲ以テ左ノ通り選定セラレ次イテ同月七日委員長理事ノ互選ヲ爲シタリ

委員長	添田敬一郎君	理事	長野綱良君	理事	片岡恒一君	理事	古田喜三太君	理事	田中好君	理事	三善信房君	理事	馬岡次郎君	理事	窪井義道君	理事	三好榮次郎君	理事	原玉重君	理事	高田紘平君	理事	山田六郎君	理事	今成留之助君	理事	信太儀右衛門君	理事	山本桑吉君	理事	福田關次郎君
勝田永吉君	小野寅吉君	河野一郎君	吉植庄亮君	小平重吉君	大石倫治君	助川啓四郎君	小山田義孝君	牧野良三君	西川貞一君	國光五郎君	伊東岩男君	石坂繁君	北勝太郎君	平野力三君	三宅正一君																

委員異動

三月七日委員大石大君辭任補缺小野謙一君
三月十五日委員原玉重君辭任補缺村松久義君

一、出席國務大臣及政府委員

陸軍大臣	板垣征四郎君	農林大臣	櫻内幸雄君	農林政務次官	松村謙三君	農林省農務局長	小濱八彌君	農林省米穀局長	周東英雄君	農工政務次官	今井健彦君	農工參與官	澤田利吉君	商工省商務局長兼商工省統制局長	新倉利廣君	朝鮮總督府政務總監	大野綠一郎君	朝鮮總督府農林局長	湯村辰二郎君
------	--------	------	-------	--------	-------	---------	-------	---------	-------	--------	-------	-------	-------	-----------------	-------	-----------	--------	-----------	--------

一、付託議案

米穀配給統制法案

昭和十四年三月七日
午前十時三十三分開議

○添田委員長 會議ヲ開キマス
○櫻内國務大臣 本法案ノ提案ノ趣旨、特ニ現下ノ時

局ニ鑑ミ、本法案ノ制定ヲ最モ必要トスル理由ニ付キマシテハ本會議ニ於テ申上ゲタ通りデアリマシテ、大體右ニ依リ御諒承願ヒタイト存ズルデアリマスガ、更ニ本法案ノ主ナル内容ニ付テ、少シク詳細ニ御説明申上ゲタイト思ヒマス

其ノ第一點ハ、米穀ノ取扱業者ノ許可制度ヲ設ケタコトデアリマス、即チ米穀ノ買入若クハ賣渡又ハ其ノ代理者クハ媒介ノ業務ヲ行ハントスル者ニ對シテ、政府ノ許可ヲ受ケシムルコトト致シ、此ノ許可制度ニ依リマシテ、米穀ノ取扱業者ノ濫立ヲ防ギ、其ノ安定及ビ向上ヲ圖ルト共ニ、一面適當ナル監督ヲ加フルコトトシタデアリマスガ、更ニ必要ニ應ジテ、政府ハ米穀ノ取扱業者ニ、米穀ノ賣買讓渡ニ關シ、配給統制上必要ナル命令ヲ爲シ得ルコトト致シマシテ、是等ノ者ニ對シ政府ノ配給統制ニ協力セシムルコトトシタデアリマス

第二點ハ米穀配給機構ノ樞軸トシテ、新ニ日本米穀株式會社ヲ設立スルコトデアリマス、即チ米穀ノ需給ノ圓滑ヲ圖リ、其ノ價格ノ適正ヲ期スル爲ニ、米穀ノ配給統制上、必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル日本米穀株式會社ヲ設ケルコトト致シタデアリマス、而シテ會社ハ米穀ノ主要集散地ニ、實物取引ヲ主トスル米穀市場ヲ開設シ、其ノ市場ニ於テ米穀統制法ノ最高、低價格ノ範圍内ニテ賣買取引ヲセシメ、市場ニ於ケル米價ガ、公定價格ノ範圍ヲ逸脱スルカ如キコトノナイヤウニ致スノデアリマス、又會社ハ政府ノ委託ヲ受ケ、米穀ノ買入又ハ賣渡シヲ行スノ外、米穀ニ關スル保管、運送等ノ附帶事業、其ノ他會社ノ目的達成上必要ナル事業ヲ行フコトト致シタデアリ

ニ關シテハ、特ニ其ノ手續ノ慎重ト適正ヲ期スル爲メ、新ニ官民關係者ヨリ成ル米穀取引事業審議委員會ヲ設ケマシテ、右委員會ノ議ヲ經タル上、政府ガ認可スルコトト致シテ居ルデアリマス

午前十時五十四分散會

昭和十四年三月八日
午前十時二十九分開議

○添田委員長

是ヨリ質問ニ移リマス

○今成委員

法文ノ第二十九條ヲ拜見致シマス、大豆其ノ他ノ雜穀更ニ進ンデハ肥料ニマデ、此ノ法律ヲ及ボスヤウナ規定ニナツテ居ルデアリマス、是ハ主要食物デハナイデアリマシテ、雜穀ノ中ニハ色々ナ品物ガアルノデゴザイマスガ、是等ヲモ統制配給致シマシテ、サウシテ此ノ日本米穀株式會社ノ市場ヲ取引サセナケレバナラヌ理由如何、是ハ直チニ御實行ニナルモノデアアルカドウカ、殊ニ日本ハ肥料ト云フモノニ對シマシテハ、中ニハ重大ナ影響ヲ及ボスモノガアル、之チモヤハリ此ノ法律ニ依ツテ配給統制ヲナサルト云フ御趣旨ニ承ルデアリマスガ、是ハ如何ニシテ斯ウ云フ仕事ニ從事サセルノデゴザイマセウカ、命令ノ定ムル所ニ依リト云フデアリマスカラ、何レ勅令若クハ省令ヲ發布ニナルデアリマセウケレドモ、此ノ點ニ付テモウ既に御用意ガアルモノナラバ御漏シ願ヒ

マス、而シテ從來ノ米穀取引所ハ之ヲ廢止致シ、又米穀市場ハ本會社ニ限リ開設スルコトヲ得セシメテ居ルデアリマスガ、更ニ米穀市場ニ於ケル賣買取引ニ關シテハ、投機取引ヲ排除シ價格ノ適正ヲ圖ル爲ニ、履行期ニ於ケル決済ニシテ特ニ定メラレタルモノノ外ハ、一切差金ノ授受ニ依ル決済ヲ認メヌコトトシ、其ノ米穀市場ニ於ケル賣買取引ノ方法、市場員等ニ付キマシテモ、右ノ趣旨ニ基キ種々適當ナル制限ヲ加ヘ、或ハ又必要ナル監督ヲ加フルコトト致シタデアリマス

第三點ハ、本會社ニ對スル政府出資ノ點デアリマス、即チ本會社ノ資本ハ三千萬圓ト致シテ居ルデアリマスガ、政府ハ其ノ半額、即チ千五百萬圓ヲ限リ會社ニ出資スル事トシタデアリマス、此ノ政府出資ハ、申上グルマデモナク本會社ガ政府ノ米穀政策ノ協力機關デアリマスル關係上、之ニ對スル資本的援助ヲ致シマスト共ニ、政府監督ノ完整ヲ期セントスル趣旨ニ外ナラヌデアリマス

第四點ハ、現在ノ米穀取引所及ビ正米市場ノ善後措置ニ關スル事項デアリマス、即チ本法施行ノ結果、現在ノ米穀取引所及ビ正米市場ハ、其ノ營業ヲ廢止セララルコトトナルデアリマスガ、本會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ、是等ノ取引所又ハ正米市場ノ所有スル土地、建物等ノ設備ヲ其ノ申込ニ應ジ買取ルモノトシ、又取引所ノ使用人及ビ取引員ニ關シテ、例ヘバ從來ノ取引所ノ使用人ヲ本會社ノ使用人トシテ、收容シ或ハ從來ノ取引員ヲ本會社ノ米穀市場ノ市場員トシテ收容スル等、必要ナル善後措置ヲ爲シ得ルコトト致シタデアリマス、尙ホ右ノ善後措置

マスレバ、營業者ハ大變ニ安心スルダラウト思ヒマスカラ、此ノ點ヲ承リタイト思ヒマス、次ニ此ノ法案ニ業務ノ監督ハ政府之ヲ爲スト書イテデアリマスガ、此ノ法案ノ内容ヲ拜見致シマスト、其ノ所管ハ農林省デアアルト共ニ、又商工省ニモ重大ナ影響ヲ及ボスヤウニ考ヘマス、然ルニ政府ハ其ノ業務ヲ監督スルト云フデアアルガ、ドチラテ御監督ニナルデアアルカ、隨分監督官廳ノ如何ニ依リマシテハ、業者ニ取リマシテ亦生産者ニ取リマシテ重大ナ影響ガアルデアリマシテ、殊ニ兩省所管ナサルコトト云フコトデアリマスレバ、隨分遲延致シマシテ、國民ハ非常ニ迷惑スルコトガ多イデアリマス、現在ノヤウナ制度ニ於キマシテモ、隨分營業者ハ政府ノ指令認可等ガ遅レマシテ迷惑スル所ヘ以テ來テ、米ノ如ク極メテ機敏ニ扱ハナケレバナラヌ品物ニ對スル監督等ガ兩省ニ跨ツテ居ルヤウナコトガアリマスナラバ、益々其ノ不便ガ多イト思フデアリマスガ、之ニ付テハ兩省テ協議ノ上テ、或ル單一ノ監督機關ヲ御設ケニナツテ、其處デアヤリニナル御意思ガアルデアリマセウカ、サウデアクテヤハリ從來通り農林省ヘモ認可ヲ出シ、商工省ヘモ認可ヲ出シ、双方テツレハ、立場ガ違ヒマシテ、兩方ノ意見ガ一致スルマデ待テト云フヤウナ、今日マデノ扱ヒノヤウナコトデアリマスナラバ、此ノ點ニ付テ非常ナ不便ガアルト思フデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ガ如何ニ此ノ案ノ監督ヲ爲サル御見込デアアルカ………本法案ニ依ツテ設立致シマシタ日本米穀株式會社ノ株式ニ對シマシテハ、第三十四條ニ配當ノ保證ヲシテオヤリニナルヤウデアリマスガ、此ノ配當ノ保證ノ方法ハ

從來ノ保證ト違ヒマシテ、政府ノ所有株ニ配當シナイデ、優先
的ニ先ヅ以テ年六分ダケハ民間ノ投資ニ對シテ配當シ、其ノ
餘利ガアレバ政府ノ所有株ニ配當スルト云フヤウナ建前ヲ御
取リニナツテ居ルヤウニ見エルトアリマス、併シ全國數十ノ
現在ノ取引所ト云フモノハ、大體ニ於テ此ノ日本米穀株式會社
ノ市場ニ併合サルル機運ニナツテ居ルノデアリマスガ、相當ノ
成績ヲ擧ゲテ居ル株式會社ノ株主ガ、此ノ日本米穀株式會社ノ
株式ヲ引受クルニ當リマシテ、是ハ確實ニ實行サレルカドウカ
ト云フコトガ、將來此ノ運用ノ上ニ重大ナ影響ガアルト思フノ
デ御確メシテ置キタノデアリマスガ、三千萬圓ノ中半分ガ民
間出資ニナリマシテ年六分ノ配當ヲ行フト致シマスレバ、九十
萬圓ノ配當ガナケレバナラヌノデアリマス、總テノ經費ヲ引キ
マシテ、其ノ残りノ九十萬圓ト云フ配當チスル利益ト云フモノ
ハ、果シテ現在ノヤウナ狀態ニ於テ之ヲ配當シ得ル計算若クハ
確信ガオアリニナルノデアリマセウカ、イヤ、ドウモ當分サウ
ハ行カナイト云フノデアリマスルト、此ノ株式ノ引受ニ大變影
響スルト思フノデアリマシテ、若シ其ノ株式ヲ引受ケナイモノ
ガアリマシタラバドウナルノデアリマセウカ、此ノ點ハ現在
既存ノ權利ナリト彼等ガ信ジテ居リマスル米穀取引所ノ株主ニ
對シテ、重大ナル影響チ及ボスノデアリマスルガ故ニ、政府ノ之
ニ對スル御計畫、御内容ヲ承ツテ置キタイノデアリマス、最後
ニモウ一點承リタイノハ、法第二十六條ノ日本米穀株式會社ノ
役員ノ問題デアリマス、昨年ノ議會ニモ政府ハ幾多ノ制度ヲ御
設ケニナツテ、サウシテ官吏ノ榮進ノ爲、上級官吏ガ罷メマシ

統制ニ惡影響チ及ボストハ考ヘマセヌ、米、麥、大豆等モ中々
密接ナ關係ガアリマス、左様ナ意味デアリマシテ、麥、大豆、
其ノ他雜穀ニ對シテ、本法案ニ依ツテ配給ノ統制チヤル意味デ
ハナイノデアリマス、單ニ市場ニ附隨シテ、是等ノ仕事チ或ル
所ニ於テ爲シ得ルコトヲ附加ヘタニ過ギマセヌ、肥料ノ問題ニ
對シテノ御話ガゴザイマシタガ、肥料ハ統制チシナケレバナラ
ヌ品物デアリマス、現在ノ如キ肥料缺乏ノ時代ニ於テハ、肥料
チ圓滑、公正ニ配分スルト云フ事柄ハ、最モ力チ入レナケレバ
ナラヌ仕事デゴザイマス、併シナガラ本法案ニ依ツテソレチ致
サウト云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、現在ニ於キマシテモ、肥料
ノ大半チ占メテ居リマス無機質肥料、即チ硫酸、加里、過燐酸
斯ウ云フモノニ付キマシテハ、一ツノ中樞機關ヲ設ケマシテ、
一元的ニ統制チヤラシテ居リマス、而シテ其ノ配給ニ對シテハ
政府ハ或ルモノハ命令シ、或ルモノハ話合ヒニ依ツテ、キチン
ト配分ノ出來ルヤウニ致シテ居ルノデアリマス、更ニ配合肥料
ノ配給ニ付キマシテモ、極メテ近イ内ニ統制チ實行致シタイト
考ヘテ居リマシテ、本案ニ依ツテ斯様ナコトチ致サウトハ考ヘ
テ居リマセヌ、第五ニ監督官廳ノ問題ニ對シテノ御意見デゴザ
イマスガ、國家ノ主要食物タル米穀ノ統制ニ關シマス所管ハ、
從來カラ農林省ガヤツテ居ルノデアリマス、今後モヤハリ農林
省ガヤルコトナリマスガ、本法案ノ政府ト云フ意義ハ、或ル
特殊ノ——即チ米穀其ノ他從來農林省ガ專管チシテ居ッタヤウ
ナ品物ニ對シマシテハ、特殊ト致シマシテ、其ノ他ノ一般ノモ
ノニ付キマシテハ固ヨリ商工、農林省ノ共管トナルノデアリマ

テ民間會社ニ入ルニ付テハ、議會ニハ隨分喧マシイ問題モ起キ
タト思フ、而シテ民間ニ不慣レナ役人ガ天下リ的ニ來テ居リマ
スル爲ニ、隨分各會社チ苦情百出ノ狀態デアアル爲ニ、議會ノ問
題ニナツタト思フデアリマスガ、此ノ日本米穀株式會社ノ役
員ハ極メテ重大ナル私ハ職責ダト思フ、民間ノ事情シ精通シ米
穀ノ取引ニモ明ルイ所ノ本當ノ民間ノ有力者チ、御引上ニナル
ナラバ格別デアリマスガ、從來ノヤウナ相當長ク居ツテ、次ノ
人ノ榮進チ妨ゲニナルカラ、何處カニヤルノモ氣ノ毒ダカラ先
ヅ政府ノ息ノ掛ツタ會社ニ、一時凌ギニヤツテ置カウト云フヤ
ウナ態度ガオアリニナルナラバ、議會ノ問題ニナルコトガアル
ト云フコトチ非常ニ私ハ憂フルノデアリマス、法第二十六條ノ
運用ニ當リマシテ、斯ウ云フ點ニ付テ政府ハ如何ニ御處置ナサ
ル御意見デアアルカ、斯ウ云フ點ダケチ承ツテ置キタイト思フノ
デアリマス………

○櫻内國務大臣 只今ノ今成君ノ御質疑ニ對シテ御答辯申上ゲ
マス………第四ニ、第二十九條ニ麥、大豆其ノ他ノ雜穀、肥料
等ノ賣買ノ問題ガアルガ、此ノ問題ニ對シテハドウ云フ趣旨デ
アルカト云フ御意見ノヤウデアリマス、本法案ハ米穀チ主眼ト
致シタモノデアリマシテ、麥、大豆、其ノ他ノ雜穀、肥料ト云
フモノハ主眼ト致シテ居リマセヌ、唯茲ニ斯ウ云フ項目ヲ設ケ
マシタノハ、現在斯ノ如キ仕事チシテ居ル市場ガ二三アルノデ
アリマス、故ニ暫定的ニ之ヲ繼承致サナケレバ、從來其ノ市場
ニ依ツテヤラレテ來タ人々ガ、非常ニオ困リニナルデアハナイカ
又其ノ仕事チ此ノ附帶ノ仕事トシテヤルコトガ、必ズシモ米穀

ス………隨ヒマシテ本案實施ニ當リマシテハ、農林、商工ガ
一丸トナツテ、適切ナル取扱方法チ定メテ、毫末モ國民ニ迷惑
チ掛ケザルヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、第六
ニ本會社ノ配當問題ノ御話ガアリマシタガ、配當ノ問題ハ、只
今今成君ノ御話ノ通りノコトニナツテ居リマス、而シテ此ノ會
社ノ配當ハ、政府ノ所有スル株式ニ對シテ、六分ニナルメデハ
配當金チ取ラヌト云フ位シカ特權ガ與ヘテナイガ、ソレデキテ
他ノ一般國民ガ拂込ダ株式ニ對シテノ配當ハ、六分ガ確保出
來ルカ否カ、斯様ナ御意見デアリマス、是ハ申スマデモナク全
國ノ米ノ主流ハ、殆ド此ノ市場ニ依ツテ動キマス關係上、從來
ノ正米取引市場ノ取扱手数料ヨリ相當下ゲマシテモ、六分ノ配
當ハ出來得ルコトト確信致シテ居リマス、何レ是等ノ問題ニ付
キマシテハ、會社ノ收支計算書其ノ他ガ出ルデアリマセウカラ
之ニ就テ御考究チ願ヒタイト思ヒマスガ、尙ホ更ニ政府ノ所有
致シテ居リマスル米ノ媒介モ、此ノ會社ガ取扱フコトトナルト
思ヒマス、更ニ又臺灣、朝鮮等ニ於キマシテ、若シ日本内地ニ
對スル米ノ取扱チ政府ニ委スト云フガ如キコトガ生ジマシタ
ナラバ、當然此ノ會社ガ取扱ヒ得ルコトトナルノデアリマシテ
此ノ會社ノ計算ト云フモノガ、決シテ不安定ノモノデアナイト云
フコトダケハ私ハ確信致シテ居リマス、隨ヒマシテ、既ニ不安
定デアナイト致シマス以上ハ、此ノ株式ニ應募者ガナイトハ私ハ
考ヘナイノデアリマシテ、應募者ハ相當ニアリ得ル、斯様ニ存
ジテ居ルノデアリマス、第七ニ役員ノ問題ノ御話ガアリマシタ
ガ、役員ニ官吏ノ古手チ持ツテ來ル、事業ニ慣レナイ者チ持ツ

テ來テ頭ニ据エテ、ソレニ仕事チヤラセルコトハ決シテ宜シイ
コトデハナイ、斯ウ云フ御意見デアリマス、勿論官吏ノ中ニモ
優秀ナ人が居リマス、併シ事業ト云フモノハ自ラ異ルノデアリ
マスガ故ニ、事業ニ勤能ナル人ヲ採用シテ、此ノ會社ヲ經營セ
シムルコトニ付キマシテハ、固ヨリ私ハ同感デアリマス、隨ヒ
マシテ此ノ會社ニ於キマシテハ、理事長ト副理事長ハ官選ニナ
ツテ居リマスケレドモ、他ハ株主總會ニ於テ選舉致スノデアリ
マシテ、適當ナル經驗者ガ出テ來ルト考ヘマス、政府ニ於テ任
命致シマス役員ニ付キマシテモ、是モ篤ト研究ヲ致シマシテ、
決シテ御心配ニナルヤウナ人ハ推薦致シタクナイト考ヘテ居リ
マス……

(中略)

○**澤田政府委員** ……先刻御話ノ米穀業者、或ハ仲買業者
等ガ長イ間ノ祖父ノ業ヲ失フト云フ御話ガアリマシタガ、左様
ナ御話モアリマスケレドモ、是ハ最モ考ヘナケレバナラヌコト
デアリマシテ、隨テ此ノ法案ニ於テ是等ノ業者ノ認可制チシ、
或ハ將來是等ノ小賣業者等ニ至リマシテハ、或ハ組合ヲ結成セ
シメ或ハ金融ノ途ヲ開ク等、十分ニ新様ナ點ニ留意致シタ次第
デアリマシテ、將來トモ此ノ點ニ對シテハ其ノ法ヲ行フ上ニ於
テ、十分力ヲ盡ス考デアリマス

○**河野委員** ……固ヨリ本案ノ内容トセラレル所ハ米穀ノ
配給ノ圓滑、取引ノ公正ト云フ所ニアルノデアリマセウケレド
モ之ヲ要スルニ戰時下ニ於ケル食糧ノ不安チナカラシムルカド
ウカ、糧料ノ不安ナク圓滑ナル配給ガ出來ルカドウカト云フ所

ニ繫ツテ居ルト思フノデアリマス、隨テ若シモ只今大臣ノ御
答辯ニアリマシタ通りニ、十分ナル食糧資源ヲ確保スル事ガ出
來マスナラバ、敢テ本案ヲ必要トシナイト私ハ思フノデアリマ
ス、即チ現行米穀各般ノ法律ニ依ツテ、圓滿ナル米穀政策ノ遂
行ハ可能ナリト思フノデアリマス、即チ此ノ戰時態勢下ニ於キ
マシテ、米ノ資源確保ガ疑問視セラレル所ニ、本案發足ノ根據
ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ認識ガ間違ツテ居リマスナ
ラバ、大臣ヨリ御所見ヲ承ツテ御訂正ヲ願ヒタイト思ヒマス

○**櫻内國務大臣** ……若シ米穀ノ増産ガ確立セラレテ、是
ガ確保セラレラバ、本案ノヤウナ配給ニ對スル所ノ法案ヲ
急グ必要ガナイ、或ハ不必要ニナルノデハナカラウカト云フ御
意見デアリマシタガ、先刻モ申シマス通り現在ノ日本ノ内外地
ヲ通ジマシタ所ノ實情ニ於キマシテハ、丁度需要スル石數ダケ
ガ現在生産セラレルノデアリマシテ、其ノ生産チ更ニ茲ニ多額
ノ増産計畫ヲ立テテ、増産ヲ致スト云フコトニ假ニ致シマスレ
バ、之ニ要スル開墾ノ勞力モ相當要シマス、又之ニ對スル相當
ノ肥料其ノ他ノ費用モ要スルノデアリマス、併シ是等ノコトヲ
全部打消シテ、非常ナ増産計畫ヲ立テルト致シマシテモ、現在
ノ實情カラ行キマスト、第一番ニ勞力ガ足ラナイノデアリマス
又農耕器具等ニ於キマシテモ、不足チ致シテ居ル譯デアリマシ
テ、容易ニ大規模ノ増産計畫ヲ立テルト云フ事柄ハ、早急ノ間
ニ合ハナイノデアリマス、ノミナラズ只今御話ノ如ク日滿支チ
通ジテ米穀ノ計畫ヲ立テルト致シマシテモ、將來ニ於ケル日本
ノ農村ノ人々ノ立場ヲ考ヘマスト、非常ナル増産ニ依ツテ、米

價ガ大暴落ヲ來ス——今日ハ無論サウ云フコトハ急ニハ間ニ合
ハナイノデスガ、大暴落ヲ來スト云フガ如キコトガアツタナラ
バ、是亦農村ニ對スル一ツノ問題トシテ殘ルノデアリマシテ、
此ノ點ヲ常ニ能ク見合ツテ考ヘナケレバナラヌ所ト考ヘマス、
只今ノ所ト致シマシテハ増産計畫ニ對シテ力ヲ入レルト云フコ
トハ、モウ御説ノ通りデアリマシテ、農林省ニ於キマシテモ、
出來ル限リ増産計畫ヲ樹テタイト思ツテ、苦心チ致シテ居ルヤ
ウナ譯デアリマシテ、若シ幸ニ是ガ理想的ニ參リマスナラバ、
本法案ガ假ニアリマシテモ、何モ此ノ法案ニ依ツテ何等ノ命令
チシナイデモ宜シイノデアリマス、唯要ハ生産ガ非常ニ増加シ
ナイ、其ノ場合ニ於テ米穀ガ一部ニ偏在シテハイカヌカラシテ
偏在シナイヤウニ命令ノ發動ノ出來ルヤウニ致シテ置キタイ、
是ガ主眼デアアルノデアリマスカラ、ドウカ左様御諒承願ヒタイ
ト思ヒマス

○**河野委員** ……大體從來ノ、又ハ現行ノ米穀各般ノ立法
ニ於テ運管ハ出來ルト云フコトダケハ、私ハ考ヘ得ルノデハナ
カラウカト思フノデアリマス、尙ホ更ニ本案ノ内容トシテ之ヲ
考ヘマス際ニ、第五條マデノ——一條、二條、三條、四條、即
チ日本米穀株式會社ニ關スル規定、之ヲ中心トシテ取引所關係
ノ規定ト、其ノ四條マデノ一般米商人ニ關スル規定、乃至ハ米
ノ賣買ニ關スル規定ト云フモノトシ、内容ノ二切離シテ考ヘル
コトガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、是ハ全ク同一ノ法案ノ
中ニ合マレテ居リマスケレドモ、是ハ必ズシモ不可分ノモノト
ハ考ヘナクテ宜イノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、要ス

ルニ四條マデハ非常特別ナ場合、政府トシテ只今大臣ノ御示ノ
ヤウニ米ノ偏在デアルトカ、米價ノ暴騰暴落ニ對シテ、立法的
ニ行政命令ニ於テ是等ニ對スル施設ガ出來ルト云フコトハ、即
チ四條マデニ於テ之ヲ爲シ得ルト思フ、日本米穀株式會社ニ關
スル是等ノ規定ハ、要スルニ定期取引ト云フモノガ餘リニ感心
シナイ、又過去ニ於キマスル米穀統制法、管理法是等ニ關スル
立法ガ、當時ノ因果關係ト申シマスカ、サウ云フ關係カラシテ
是等ノ取引所ヲ救済シナケレバナラヌ、善後處置ヲ爲サナケレ
バナラヌト云フコトニ發足シテ、此ノ日本米穀株式會社ニ關ス
ル規定ト云フモノガ順次發展シテ、此ノ立法ニマデ到ツタモノ
ト私ハ諒承スルノデアリマス、隨テ内容ニ此ノ政府ノ目的ト
セラレル所ノ米穀政策チ此ノ非常時下ニ於テドウシテモ政府ト
シテ考慮シテ置カナケレバナラヌト云フ問題チ取扱フニハ、是
モ私ノ見方ガ餘リニ極端カモ知レマセウケレドモ、第四條マデ
ノ立法ガアルナラバ、大臣ノ庶幾セラレル目的ヲ達スルコトガ
可能デアルト私ハ思フ、食糧政策ニ於テ所謂非常時ガ起ツタ際
ニハ、政府ノ考ヘテ居ラレルコト、又大臣ノ憂慮セラレマスコ
トハ、是マデノ法律ニ力ガアルノデアツテ、日本米穀株式會社
其ノモノニハ、サシタル力ハナイ、此ノ會社ニハサシタル能力
ハナイト云フヤウニ、私ハ極ク大難把ニ考ヘルノデアリマスガ
此ノ見方ニ違ヒガアリマスカ、ドウデアリマスカ、御所見チ伺
ツテ見タイト思ヒマス

○**櫻内國務大臣** 日本米穀株式會社ニ關スル御所見ニ付キマシ
テハ、從來サウ云フ風ナ見方が可成り行ハレテ居ツタヤウニ思

ハレマスガ、私ノ考ヘマスノハ、即チ第五條ニ於キマシテ米穀市場ト云フモノ中心トシテ考ヘマシテ、サウシテ米穀市場ト云フモノハ政府監督ノ下ニ在ル所ノ、日本米穀株式會社ヲシテヤラシメル、斯ウ云フ建前ヲ執ツタ譯デアリマス、ソレデ市場ノ必要ハナイデハナイカト云フ御議論デアリマスレバ別デアリマスガ、ドウシテモ市場ト云フモノガアリマセヌト非常ナル多數ノ米穀商ニ對シマシテ、標準ヲ示ス場所ガ必要デアルト云フコトモ一ツノ原因デアリマスガ、同時ニ此ノ市場ト云フモノガ總テノ米穀ヲ取扱ツテ居ル業者ノ目標トナツテ、サウシテ圓滿ナル取引關係ガ行ハレルノデハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、又市場ガ若シ假リニナイト致シマス、所謂小賣商人アタリハ問屋サンニ一々行ツテ買ハナケレバナラヌ、併シドノ問屋サンニ行ツテ宜イカ分ラヌト云フコトモ、起ツテ來ルノデアリマス、勿論多年ノ關係ガアリマスカラ市場ニ依ラズトモ自然關係ガ出來マセウケレドモ、甚ダ複雑ニナツテ來ル、又賣リマス方カラ言ヒマシテモ、斯ウ云フ市場ガアツテ、キチント其ノ市場ト云フモノノ目標ガ定ツテ居リマスレバ、中間ノ買取人ガ來マシテモ、安ジテ何等躊躇スル所ナク品物ヲ賣ルコトガ出來ルノデアリマス、市場ト云フモノガ配給關係ノ上ニ於テ非常ナ重要ナ役目ヲ爲スト云フコトハ、恐ク御承認下サルコト思フノデアリマシテ、此ノ市場ト云フモノ中心ニ出來ル限リ配給統制ヲシテ行キタイト思ヒマス、此ノ見地カラ特ニ日本米穀株式會社ト云フモノヲ設ケテ、サウシテ政府監督ノ下ニ其ノ業務ヲ行ハシメタイ、斯ウ云フコトニ考ヘタ譯デアリマス

ウ云フ風ナ問題ニナツテ居ルト私ハ思フノデアリマス、兎ニ角實米市場中心ニシテヤツテ參リマスナラバ、現行ノ實米市場アモ、此ノ日本米穀株式會社ガ經營致シマスレバ、其ノ間ニ大シタ違ヒハナイ、勿論此ノ法律ニ基クモノノ方ガ秩序モ宜シイシ、整理モ宜シイカモ知レマセケレドモ、此ノ日本米穀株式會社ニ依ツテ運營セラレル市場ノ目的ハ、公正ナル市場價格ヲ作ルト云フコトニアラズシテ、他ニ目的ガアルダラウト思フ、其ノ他ニ目的トセラレル所ハ、是ハ市場其ノモノノ目的デハナクシテ、米ノ流レノ見方トカ、流レテ行ク筋合ヲ見ルトカ云フ事デアツテ、是ハ政府ノ米ニ對スル認識ヲ之ニ依ツテ得タイ、得ルコトガ出來ルト云フヤウナ效果ハアルカモ知レマセケレドモ、米穀政策其ノモノカラスレバ、米價政策其ノモノカラスレバ、現在ノ市場價格ニ對シテ適當カ不適當カ、若シ不適當ノ場合ニハ四條マデノ發動ニ依ツテ之ヲ押ヘルコトガ出來ル、米穀ノ偏在ニ對シテモ四條マデノ發動ニ依ツテ之ヲ押ヘルコトガ出來ル、若シ然ラザレバ他ノ立法ニ依ツテヤルコトモ出來ルト云フヤウニ、私ハ考ヘルノデアリマスガ、即チ斯ク考ヘテ參リマスルト、本案ハ現下ノ我が國情ニ鑑ミテ如何ナル點ニ於テ今議會ニ提案セネバナラヌノカ、ドウシテ此ノ議會ニ此ノ法案ヲ立法シナケレバナラナイカト云フ點ニ付テ、國家的見地カラ考ヘテ見マスルト、ドウモ第四條マデノ、即チ政府ニ是等ノ米穀商ニ對スル命令權、許可權ト云フモノヲ得ル所ニ重點ガアツテ、其ノ他ノ點ニ於テハ割合ニ少イノデハナイカ、即チ何處マデモ米ハ日常生活ニナクテハナラヌ必需品デアツテ、是

○河野委員 詳細ノ御尋ハ大臣モ御忙ガシイコトト考ヘマスカラ、何レ事務當局ニ對シテ伺フコトニ致シマスガ、只今ノ大臣ノ御話ニ私ノ意見モ同感デアリマスケレドモ、唯市場ノ有無ト云フコトハ、米穀デアリマスレバ、現在デモ東京ニハ深川ニモ神田川ニモアリマス、此ノ實米市場ダケヲ殘シテ置クコトニ少シモ差支ナイト思フ、此ノ深川デモ神田川デモ、實米市場デアリマスレバ、茲ニ一般ノ市場價格ト云フモノガ生レル、其ノ市場價格中心ニシテ全國ノソレノ取引ガ生レ、產地ニハ產地ノソレノ相場ガ出テ來ルト云フコトデアリマスノデ、ソレハ即チ日本米穀株式會社ガ市場ヲ開設スルト云フ市場トハ少シモ違ハナイ、其ノ開設スル市場ノ役割ハ現在ノ實米市場アモ出來ルト云フヤウニ私ハ思フノデアリマス、併シ是等ハ若シ御意見ガオアリニナレバ、是ハ議論ニナリマスカラ、斯ウ云フ忙シイ際ニハ私ハ申上ケマセヌ、私ノ所見ダケチ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマス、要スルニ私ノ認識ヲ以テ致シマスレバ、何處マデモ現在ノ實米市場、定期市場ニ付テハ之ヲ止メルナラ止メル之ニ對シテ賠償ガ要ルトカ補償ガ要ルトカ、要ラヌトカ云フ議論ハ私ハシタクナイ、是ハ定期市場ガ現在ノ時局上カラ考ヘテ米穀政策運營上ニ必要ナラバ止メサスガ宜イ、私ハ既ニ數年前カラ定期市場廢止論者デアリマス、此ノ前ノ全國ノ各定期市場ガ更改期ニ來マシタ際ニ、其ノ當時ニ私ハ商工當局ニ向ツテ、既ニ此ノ更改期ニ再認可ノ期限ノ延長ヲ許サヌカ宜イ、ト云フコトヲ私ハ強ク主張シ一人デアリマス、所ガ當時ノ政府ハ之ニ向ツテ更ニ期限ノ更新ヲセラレマシタ爲ニ、今日斯

ノ數量ガ足りヌトカ力足リルトカ云フコトハ絶對的ノモダノ、如何ニ法律命令ヲ以テ致シマシタ所ガ、足りヌモノハ足りヌ、絶對的數字ノ上ニ立ツテ立論スベキモノデアツテ、之ヲ些々タル立法ノ上ニ於テ云々スルコトハ、幾ラカ足シニハナルカモ知レマセヌ、邪魔ニハナラヌカモ知レマセケレドモ、非常ニ消極的ノナノダ、大臣ガ先程來御述ニナリマスヤウニ、一部ニ偏在スルトカ、言葉ヲ換ヘテ申シマスレバ、買占デアルトカ賣惜ミデアルトカ云フヤウナモノガ起ルト非常ニ困ル、需給ノ數字ガ大體ニ於テ一杯ニ行ツテ居ルノデアルカラ、何處ニデモ澱ミガ出來ルト其ノ爲ニ非常ニ困ルト云フヤウナ御言葉デアリマスケレドモ、斯ウ云フコトハ獨リ米ダケハナイ、他ノ一般商品總テニ互ツテ此ノ時局ニ於テハ考ヘナケレバナラヌコトデアリ、殊ニ軍需資材ノ如キニ付テハ最モ強ク考ヘラレル點ガアル、必要ダケナイモノガ澤山アル、サウ云フモノガ澤山アツテサヘモ、別ニ斯ウ云フ風ナ立法ガナクテモ他ノ一般ノ現行法ニ於テ之ヲ取締ル經濟警察其ノ他ノ運營ニ於テ之ヲヤルコトガ出來ルト云フヤウナ風ニ、私ハ考ヘラレルノデアリマスガ、此ノ機會ニ甚ダ諄イヤウデアリマスガ、國家的見地ヨリ立論セラレマシテ、極ク簡單テ結構デアリマスガ、此ノ法律ガ是ト云フ點ニ於テドウシテモナクテハイカヌノダト云フコトチ、大臣カラ一ツ承ツテ置キタイト思フ

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ根幹ノ問題ニ關シマシテハ、先刻今成君ニ御答ヲ致シタ通りデアリマシテ、全ク米穀ノ配給ノ圓滑ヲ期シテ、サウシテ消費者階級ノ總テニ食糧品ニ對スル不

安ト云フモノヲ一掃スルト、一面ニ於キマシテハ、生産者ガ極メテ便利ニ其ノ生産物ヲ出荷シ得ルヤウニシタイ、サウシテ生産者ガ安シテ生産ニ従事スルヤウニ致シタイト云フノガ趣旨アリマシテ、度々申上ゲタ通りデアリマス、正米市場ヲ以テ十分デハナイカ、ソレト同ジコトデハナイカト云フ風ナ御意見デアリマスガ、ソレハ御話ノ通り現在ノ正米市場デ大體相場モ立チマスシ、又今日相當配給ニ對シテ貢獻ヲ致シテ居ルコトハ明カデアリマシテ、或ル一面カラ見レバ御意見ノ存スル所御尤トモ考ヘマスガ、唯斯ウ云フ場合ニ於テ全國的ニ統制ヲ致シテ置クト云フ事柄ハ、最モ必要デアアルデアリマシテ、此ノ機會ニ於テ全國ヲ一律ニ統制シテ、其ノ統制シタ一定ノ基準ノ下ニ於テ取引ヲセシムルト云フコトガ最モ適切デアラウト、斯ウ考ヘルノデアリマス、尙ホハ一點重要ナル事柄ハ、即チ各々取引市場ニ於テハ最高最低ノ値段ヲ決メテ、其ノ最高最低ノ値段ノ政府ヲ決メタ所ノ基準ノ範圍内ニ於テ、取引セシムルト云フ事柄、是ガ可大リ重大ナ根幹ヲ成スノデアリマス、即チ此ノ市場ニ於キマシテハ、國家ガ定メタル所ノ最高最低ノ範圍内ニ於テ取引セシムルト、斯ウ云フコトニナツテ居ルデアリマシテ、從來ノ米穀市場トハ茲ニ大イニ趣ヲ異ニシテ居ルト、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○河野委員

……本法施行後ニ於テ如何ナル利益ガアルノカ、農村ニハ此ノ法律ハドウ云フ利益ガアルノカ、又ハ、アルカナイカ知りマセヌケレドモ、ドウ云フ弊害ガ——爲ニナラナイト考ヘラレル部分ガアルノカ、勿論如何ニ農村ニ多少ノ弊害

ナ法案カモ知レマセヌケレドモ、農村獨自ノ立場カラ考ヘマシテ喜アベキ法案デハ決シテナイ、農村振興ノ役ニ立ツ、農家經濟改善ノ爲ニ立ツ法案デハナイ、即チ之ヲ逆ニ考ヘマシテ米價ノ暴落ノ際ニ、一番下値ヲ之ニ依ツテ儼トシテ抑ヘルト仰シヤルケレドモ、是ハ大臣御承知ノ通り、現行米穀法ニ於キマシテ最低價格ヲ下廻ラウトスルナラバ、幾ラデモ政府ガ買ツテ下サルノデアリマスカラ、是程ハツキリシタコトハナイ、法律デ下値ヲ抑ヘル以上ニ全部政府ガ買ツテヤルト云フ法律デアリマスカラ、下値ニ對シテハ農民ニハ何モ心配ハナイ、所ガ上値ニ上ラントスル時ハ、今マデノ政府ノ持米ヲ賣出スダケデハ、時ニ依リ、所ニ依ツテソレヨリモ高ク賣リ得ル機會ガアリ、又賣リ得タノデアリマスケレドモ、本法施行ノ曉ニ於キマシテハ法ノ上ニ於テ儼トシテ取締ラレマス關係カラ、却テ農村ノ側トシテハ餘リニ有難クナイヤウニ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、之ニ對シテ御訂正ナサル所ガアリマシタナラバ承リタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣

生産者側ノ利益ノ點ハ、申スマデモナク市場デ一定ノ値段ガ決リマス、ソレヲ基準トシテ農村ノ庭先ニ於テモ賣買ガセラレコトニナルノデアリマシテ、何處ノ相場ヲ見テドウスルトカ、ドウ取引ノ市場ノ相場ヲ見テドウスルトカ云フコトノ必要ハナク、唯米穀市場ノ相場ヲ見テ、サウシテ庭先デ商ヒガ出來ルコトニナルノデアリマシテ、安シテ取引ガ出來ルト私ハ思フノデアリマス、而シテ其ノ取引關係ガ複雑トナツテ、非常ニ經費ガ増スデハナイカ、斯ウ云フ虞ハナイカト

ガアリマシテモ、國家的見地カラヤラナケレバナラヌコトデアレバ、是ハ我慢シテ甘受シナケレバナラヌコトデアリマス、ソコデ嚴正ニ考ヘテ、本法案ノ影響スル所ハ農村ノ立場カラ考ヘタ場合ニ、如何ナル利害ガアルカト云フコトニ付テ、御説明ヲ承リタイノデアリマスガ、豫メ私ノ考ヘ方ヲ申上ゲテ、ソレニ對シテ間違ツテ居ル所ヲ御訂正ヲ願フコトニ致シマス、私ハ本案施行ノ曉ニ於キマシテ、農村ノ側ト致シマシテハ之ニ依ツテ利益ヲ受ケルト考ヘラレル點ハ何モナイ、勿論國家的見地カラ致シマスレバ、只今大臣ノ御述ノ通り色々議論ハアルカモ知レマセヌ、一應大臣ノ御意見ヲ承ツタノデアリマスケレドモ、私ハ生産者ノ側、即チ農村ノ側カラ考ヘマスルト、本案ガアツテモナクテモ、即チ現行米穀政策ニ關スル各種ノ立法ヲ運用セラレテ居リマスル限り、本案ノ施行ト云フモノハ農村ニ對シテ何等喜アベキ結果ヲ齎ラスベキモノデハナイ、更ニ進ンデ申シマスナラバ、現在ノ如クニ不公正ニ最高價格ガ抑ヘラレテ居リマス以上、其ノ最高價格ヲ嚴守スル、完全ニ之ニ依ツテ抑ヘルト云フコトノ影響ヲ受ケテ、寧ロ農村トシテハ最高價格以上ニ絕對ニ米ヲ賣リ得ヌト云フ非常ナ強壓性ヲ感ズル、其ノ他——話ガ細カクナリマスカラ、是ハ事務當局ト何レ機會ヲ見テ問答致シタイト思フノデアリマスガ、米穀會社ニ於テ扱フ手数料ノ如キハ僅カノモノデアリマス、是ハ微々タルモノデアリマスケレドモ、運賃諸掛等ニ於テ現在ヨリモ取引ガ複雑ニナリマス關係カラ、寧ロ生産者ノ手取金ガ少ナルノデアリマシタナラバヤウナ各般ノ點カラ考ヘテ、却テ農村トシテハ——國家的ニハ必要

云フ御話デアリマスガ、私ハ現在ノ機構ト少シモ變ラヌト思ヒマス、現在ノ機構ヨリ是ガ惡クナルト云フコトニ付キマシテハドウモ首肯致シ兼ネルノデアリマス、今ノ儘今ノ取引員ガ今ノ市場デ賣ツテ居ルノト、今ノ米穀取扱業者ガ正米市場デ賣ツテ居ルノト何等違ヒガナイノデアリマシテ、手数料ノ差ガアルダケハ、一厘デモ幾ラデモ、極メテ少額ナモノデアツテモ、ソレダケノ利益ハ出テ來ルト思フノデアリマス、不公正ナル最高價格ト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ十分有ユル方面カラ考究シテ、實際ノ適正ナル最高、最低價格ト云フモノガ決マルノデアリマシテ、今日ノ時代ニ於キマシテハ、或ハ色々ナ議論ガアルカト思ヒマスケレドモ、此ノ點ハ私ハ別箇ノ問題ダト思ヒマス、是ハ公正ナル最高最低ノ値段ガアツテ、其ノ最高最低ノ値段ニ於テヤルベキコトデアツテ、此ノ問題ニ對シマシテ農村ガ非常ニ迷惑スルコトハ、私ハナイダラウト思ヒマス、農村ガ本法案ガ出來テ何處ニ非常ナ損ガアルカト云フコトニナリマシタナラバ、私其ノ損ノ點ヲ發見致サナイノデアリマシテ、寧ロ斯ウ云フヤウニ一元的ニ市場ガ統制サレマス、所謂運輸ノ系統ニ於キマシテモ、鐵道運賃ナドニ於テ全國的ニ調節サレマス結果、サウ云フ中間ノ費用ガ減ツテ、其ノ減ツタダケハ即チ農村ト消費者ト兩方面ニ配分セラレルノデアリマシテハ、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ毫モ生産者ヲ苦シメルモノデアリマシテ、斯ウ考ヘテ居リマス

○河野委員

大臣ト所見ヲ異ニ致シマスコトハ甚ダ遺憾デアリマスケレドモ、是ハ私ノ研究ガ足ラナイノカ、認識ガ不足ナノ

カ知リマセヌガ、何レ機會ヲ見マシテ、事務當局ト十分問答致シマシタ上ニ、次ノ機會ニ大臣ニ改メテ御尋スルコトニ致シマス、唯一點ノ此ノ機會ニ申上ゲテ置キマス事ハ、現在ノ實米市場ニ於ケル價格ト、此ノ米穀會社が出来マシテ其ノ會社ノ運管スル市場ニ於ケル市場價格ト、農村ノ側カラ見タ場合ニ、此ノ法案が實施セラレト一本ノ値段ニナルカラ、安心シテヤレル今ノヤウニ何處ノ相場、何處ノ相場ト云フコトガナクナルカラト云フヤウナ御話ノヤウアツタノデアリマスガ、私ハソレハ同ジデアナイカト思フ、例ヘバ此ノ會社が經營シマシテモ、大阪ノ正米市場ノ相場ト、東京ノ正米市場ノ相場トハ必ズシモ同値デアリ得ヌダラウト思フ、是ハ全國各地ノソレソレノ地方ニ於テ、正米市場ヲ如何ニドノ會社がヤラウガ、一本ノ會社デアラウガ、是ハ其ノ地方ニ於ケル米ノ動キニ依ツテ、相場モ出テ來ルノデアツテ、最高最低ト云フモノハ、コレハヒタツト釘付ケサレルカモ知レマセケレドモ、其ノ中間ニ於ケル動キト云フモノハ、如何ニ米穀會社法案ガ一つノ主體ニ於テ市場ヲ幾ツ開場シヨウガ、其ノ開場シタ諸市場ガ皆同ジダト云フ譯ニハ行カナイダラウト思フ、尤モ今日ハ電信電話ノ發達シタ際デアリマスカラ、昔ノヤウナコトハナイニシマシテモ、ソレハ現在ノ正米市場アモ同ジデアリマス、其ノ間ニ運賃諸掛ト云フモノノ關係ア、上廻ル場合モアリ、下廻ル場合モアリマスケレドモソレハ米ノ動キ等ニ依ツテ、違ツテ來ルノデアツテ、是ハ何等米穀市場ガ日本米穀會社ニ依ツテ經營セラレマシテモ、現在ノ正米市場其ノ儘デアツテモ、サウ大シタ問題デアナイカラウト思

テ、私ハ何處迄モ此ノ法律其ノモノガ敢テ申シマスケレバ、非常立法デアル、斯ウ云フ非常時ニハ斯ウ云フモノガナケレバナラヌカラ、ヤツテ置クノダト云フ所ニ、政府ノ本案立案ノ發足點ガアルダラウト思フ、サウスルト吾々トシテモ、サウ云フ米穀政策ノ上ニ於ケル非常時ノ場合ヲ考ヘナケレバナラヌ、譬ヘテ申シマスケレバ、米ノ稍々圓滿ナル配給ガ困難ナル場合ニ一ツ豫想スル、最高價格ニ釘付キナツテ居ル場合ヲ豫想スル、其ノ際ニ於テ果シテ大消費地デアル所ノ東京市民ノ配給ヲ受ケテ居ル米ノ價ト云フモノハ、ドウ云フ事ニナルダラウカト云フ事ヲ一例テ取ツテ考ヘテ見マス、確ニ大臣ノ御話ノ通りニ東京ノ此ノ會社が經營スル所ノ正米市場ノ米價ハ、最高價格以上ノ取引ヲ禁止セラレルノデアリマスカラ、最高價格テ止マルデアリマセウガ、此ノ市場ヲ經由致シマシテ問屋カラ小賣ヲ經テ消費者ニ渡ル迄ノ米價ト云フモノハ如何ニシテ御取締ニナルカ、如何ニシテ是ガ配給ヲ受ケルカ、ドウ云フ價格デアラレルダラウカト云フ事ヲ考ヘマス、寧ロ私ハ消費者ノ側カラ考ヘマシテモ、憂慮スベキ事態ガ起ルノデアナイカト思フ居ルノデス、東京ヘ持ツテ行ツタ所ガ最高價格テ決ツテ居ル、ソレ以上ニハ賣レナイノダ、サウ云フ事ニナレバ、最高價格テ賣リ得ル——運賃諸掛リ、サウ云フ經費ノ一番有利ナ場所ニ米ヲ持ツテ行ツテ賣向ツテ行キマス、主要ナル米産地ニ接近シタ所ノ市場ニ向ツテ最モ運賃諸掛リノ安ク付ク所ノ市場ニ向ツテハ、順次ニ米ハ廻ツテ來マスケレドモ、米ノ主要ナル産地ヲ近接地ニ持チマセヌ所ノ消費地ハ、最高價格以上ノ取引ハサセヌト云フコトニナリ

フノデアリマシテ、是ハ生産者ノ方テ考ヘマスケレバ、ソレソレノ有利ナ方面ニ米屋ガ賣ツテ呉レル、今ノ相場ガ良サウデアルトカ悪サウデアルトカ云フコトヲ生産者ハ考ヘルノデアツテソレニ依ツテ農家ガ利益トカ不利益トカト云フコトハ大シタコトハナカラウト私ハ思フ、唯今言フ通り、運賃其ノ他ノ諸掛ノ點ニ付テハ、是ハ遺憾ナガラ大臣ノ御意見ニハ私ハ承服シ兼ネル、併シ是ハ話ガ細カクナリマスカラ何レ事務當局者トノ……此ノ法律施行後ニ於テ一體ドウ云フ利益ガアルカ、此ノ法律ニ依ツテドウ云フ利益ガ齎ラサレルカト云フコトニ付テ考ヘテ見タイノデス、又ソレニ對シテ當局ノ御意見モ承ツテ見タイノデス、私ガ最高價格ノ不正ト云フコトヲ申上ゲタノハ、是ハ少シ言葉ガ不適當デアツタト考ヘマス、是ハ大臣御述ベノ通りデアツテ、之ニ付テノ議論ハ別デアリマスカラ、其ノ言葉ニ付テハ茲ニ謹ンテ訂正致シマス、是ハ國家的見地カラ公正ニ御決メニナツタノカモ知レマセヌガ、吾々農村ノ側ト致シマシテハ不滿デアルト云フコトヲ申述ベテ訂正致シマス、ソコデ何レニシマシテモ、其ノ最高價格ナリ最低價格ナリガ、假ニ非常ニ公正ニ決定サレテ居ルト致シマシテモ、其ノ決定セラレタ價格ハ、市場テ取引セラレル價格デアル、市場テ取引セラレル範圍内ノ價格デアル、所ガ消費者側カラ考ヘマス、大臣御述ベノヤウニ運賃デアルトカ、其ノ他ノモノガ無論統制セラレルカラ其ノ利益ガ消費者ト生産者ニ分配セラレテ、却テ取引ノ單一化簡單化ニ依ツテサウ云フ利益ガアルダラウト云フヤウナ御話デアリマスケレドモ、是ハ先程申シタ通りニ別ノ議論ト致シマシ

マスカラ、一番後テナケレバ米ハ出テ來ヌノデアリマス、是ハ敢テ面倒ナ理窟ハ申シマセヌガ、其ノ通り大臣ハ御承認ニナルト思フ、生産者ノ方カラ申シマスケレバ、最高價格以上ノ取引ハサセヌト云フノデアリマスカラ、サセヌナラバ運賃其ノ他諸掛リノ關係カラ、一番近イ場所ニ持ツテ行ケバ、生産者ノ手取りガ多クナルノデアリマスカラ、一番生産地カラ遠ザカツテ居ル消費地ニハ米ノ出廻リガ悪クナル、サウスルト其ノ消費地ニ於ケルトコロノ消費階級ハ、米ニ對スル不安ヲ感ズルデアラウト云フトモ、考ヘ得ルト私ハ思フノデアリマス、コレハ政府ノイロイロナ操作モアリマセウカラ、單ナル豫想ニ終ルカモ知レマセヌケレドモ、サウ云フ風ニ吾々國民トシテ考ヘ得ル條件ハ、即チ配給關係、配給機構ニ入りマシタ場合ニ於テ、ソレガ米屋ノ色々ナ閣取引其ノ他ニ入ツテ來ルト私ハ思フ居ル、サウ致シマスト之ヲ消費者ノ側カラ考ヘタ場合ニ、一體ドウ云フ利益ガアルカト云フコトニ付テハ、甚ダ私ハ遺憾ナガラ茲ニ消費者側カラ考ヘテモ、此ノ法律ガ成程是等ノ點ニ於テ良イノダト云フコトハ、發見ニ苦シムノデアツテ、單ニ本法ノ必要ナ所以ト云フモノハ、國家的見地カラ考ヘテト申シマスルガ、是モ言葉ガ過ギルカモ知レマセケレドモ、強ヒテ申セバ政府ガ米穀生産計畫ニ於テ、乃至ハ我國内ニ於ケル所ノ食糧資源ノ確保ノ上ニ於テ、萬一不足ヲ來シマシタ場合ニ於テ、何カ持ツテ居ラヌト心淋シイ、手淋シイト云フ趣旨カラ斯ウ云フモノガ入用ナノデアナイカト云フヤウニ、甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ考ヘルノデアリマス、是等ニ對シテモウ一遍重ネテ御意見ヲ承

リマス
○櫻内國務大臣 第一に私ノ申シマシタアチコチノ市場ノ取引ノ相場ヲ見テ農村云々ト云フコトデアリマスガ、ソレハ丁度河野君ノ御説ノ通り、市場毎ニ相場ガ立ツノデアリマシテ、要スルニ市場毎ノ相場ヲ標準トシテ考へ、運賃諸掛リヲ考へテ農村ガヤルノデアリマシテ、今日ト大シタ相違ハアリマセヌケレドモ、唯全國的ニ統制サレマシタ此ノ會社ニ於テ決定致シマシタ相場ト云フモノハ、從來ノト違ヒマシテ全國的ニ大體ニ於テ統制ガ取レルト云フ意味ヲ申上ゲタノデアリマス、ガ故ニ、此ノ點ハ私ノ前ノ言葉ガ足ラヌト思ヒマスカラ、訂正致シテ置キマスソレカラ消費者階級ノ利益ハ何處ニアルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ平生ニ於テ是レノ利益ガアルト、サウ取立テテ大キク申上ゲルノデアリマセヌケレドモ、少サナ點ニ於テハ相當利益ノ點ガアルト思ヒマス、即チ此ノ市場ガ出來マシタ結果ト致シマシテハ、市場ニ行キマスレバ市場ガ特ニ現物ニナリマスレバ、現在デモ直カニ賣ツテ居リマスケレドモ、此處ニ於テ安定シタ相場ニ依ツテ買ヘルト云フ點ガ私ハ利益デアツテ、日々相場ガ假ニ動搖致シマシテモ、從來ノヤウナ所謂假需要トカ見越トカ云フモノニ依ツテ、相場ガ動搖致シマセヌカラ、相場ノ動搖ニ因ル今マデノヤウナ動キガナクナル、斯ウ云フ點ガ利益デアルト思ヒマス、併シ一番大ナル利益ハ何デアアルカト云フト、何トシテモ消費者トシテ一番困リマスコトハ、米ガ自分ノ手ニ入りニクイコトデアアル、即チ配給ガ不圓滑ニナツタ場合ニ於テ、米ガ自分ノ手ニ入りニクイト云フコトガ一番困ルト思

ヒマス、今回ノ案ガ出來タ結果トシテハ、此ノ配給ガ徹底的ニ圓滑ニ行ク、必ズ米ノ需要ニ對シテ事缺カサヌ、自分ノ手ニ米ガ廻ツテ來ルト云フ、茲ニ非常ナ安心ガ出來ルデアラウト思ヒマス、今日ノ現狀ニ於キマシテハ、固ヨリ米ノ消費者ガ米ガ足ラヌカラト云ウテ騒グ程ノモノデアリマセヌケレドモ、將來ノ萬一ノ場合ヲ豫想致シマシタ場合ニハ、米ガ安ンジテ手ニ入ルト云フ事柄ハ、大ナル利益デアラウト思ヒマス、ソレカラ今マデハ色々ナ系統デアリ米ヲ取引サレテ居ツタデアリマセウガ、其ノ取引サレテ居ル間ニ於キマシテモ、茲ニ其ノ統制ガ出來マシタ結果ハ、相當ナ配給手数料ト云フモノハ殆ド公定トハ行キマセヌデモ、自ラ定ツテ來ルト思ヒマスカラ、或ル部分ノ人々ハ私ハ利益ヲ受ケルト思ヒマス、ソレカラ米ノ集散ガ所謂生産地ニ近イ所ニ集ツテ最高價格ニ接近シタ場合ニ於テハ、多クノ米ガ生産地ニ近イ市場ニ集ツテ、他ニ集ラヌノデアリナイカ、斯ウ云フ風ナ御意見デアリマスガ、御承知ノ通り大阪、東京ヲ中心トシテ基準ガ定リマス、運賃ハ自ラソレカラ定ツテ行クノデアリマシテ、地方ノ市場ニ於ケル價格モ之ヲ基準トシテ決定ヲ致スコトニナルダラウ、左様ニ考へテ居ルノデアリマスカラ其ノ不安ハ私ハナイト思ヒマス

○河野委員 ……今マデ大臣ヨリ本案ガ如何ナル見地ラカ必要ナカト云フ點ニ付テハ、色々御述ベ戴キマシタケレドモ私トシテハ肯定シ兼ネル點ノ多イコトヲ甚ダ遺憾ニ思フノデアリマス、此ノ機會ニ更ニ伺ツテ置キタイノハ、再三繰返サレマスルヤウニ、米ノ配給ノ圓滑、不圓滑、現行ノ規定ニ於テハ米

ノ配給ガ不圓滑ニナル虞ガアル、今ノ御話デハ此ノ法律ヲ使ヘバ配給ガ圓滑ニナルノダ、消費者トシテ、ドウ云フ場合ニモ米ガ渡ルノダト云フ安心ヲ持テルト云フ話デアリマスガ、ソレハドウ云フコトニ依ツテサウ云フコトガ豫想出來ルノデアアルカ、私ハ寧ろ此ノ法律ヲ施行スルコトニ依ツテ、先程申上ゲマシタヤウニ、日本米穀株式會社ニ依ツテ經營セラレルコトニ依リマシテ、寧ろ逆ニ色々ナ點カラ主タル消費地ニ米ガ集リニククナルト云フ考ガスルノデアリマス、併シサウデナク、進ンテ配給ガ圓滑ニナルノダト云フ點ハ、一體ドウ云フ點デア配給ガ圓滑化サレルノデアリマスカ、一ツ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 米穀ノ集散配給ト云フモノハ、現狀ト毫モ變リナイノデアリマス私ノ申シマスノハ、一朝偏在スルガ如キ場合ガアツタナラバ、其ノ偏在ヲ防止スルコトガ出來ルト申上ゲタノデアリマシテ、現狀ニ於キマシテハ此ノ會社ガ出來マシタ結果トシテ、米穀市場ト云フモノガ全部統制ヲサレテ、其ノ統制下ニ於テ取引ガ致サレルノデアリマスカラ、從來ノ米穀市場下ニ於ケル假需要トカ、或ハ思惑トカ、或ハ先見越ヲシテ空賣スルト云フコトニ依ツテ、米穀ノ價格ガ動搖セズシテ、即チ一定シタル範圍内ニ於テ安ンジテ取引ガ出來ル、斯様ニ申シタ譯デアリマシテ、其ノ點御諒承ヲ願ヒマス

○河野委員 ……一體全國ニ何箇所位市場ヲ持タレル積リデアアルカ、而モ其ノ市場ヲ扱ヒマス米ノ數ハドウカ、而モ市場ヲ認可スル基準ト云フモノハドウ云フコトデア認可スルノカト云フコトヲ、極ク簡單ニ承ツテ置キタイト思ヒマス……

○周東政府委員 御答申シマス、只今豫想シテ居リマスノハ大體現清算取引所若クハ正米市場ノデアリマス、府縣ヲ、大體豫想致シテ居リマス、併シ是ハ實施ノ際ニ能ク米穀ノ事情、米穀ノ移動ノ狀況ト云フヤウナコトヲ考慮致シマシテ、多少ノ移動ハアルモノト考ヘマス、ソレカラ御質問ノ第二點、市場設置ノ許可ヲ致シマス標準ト云フ御話デアリマスガ、大體此ノ米ノ集散狀況、ソレカラ需要狀況ト云フヤウナ事柄ガ基準ニナツテ參リマスノデ、只今申上ゲタヤウニ、大體現在出サレテ居リマス市場ノ設置箇所ニ、一應認メテ行カウト思ツテ居リマス、ソレカラ數量ノ點ハ、是ハ私共ノ只今豫想致シテ居リマス數量ハ、實物市場ヲ置キマス箇所ト、未着物ノ取引ヲ許シマス箇所ト延ノ市場ヲ置キマス場所トニ依ツテ、多少違フト思ヒマス、大體實物市場ニ於キマシテハ、現在ノ内地ニ於キマシテノ管外移出米ノ販賣高ガ、約千四百九十萬石位デアリマス、是ハ内地ニ於キマスル外地米ノ販賣總高ノ約半額位デゴザイマス、此ノ外地米ノ管外販賣高ノ約五割程度、ソレカラ朝鮮米ノ内地移入高約五六割、ソレカラ臺灣米ノ内地移入高ノ大部分ト云フヤウナモノヲ考ニ置イテ居リマシテ、大體其ノ總數量ヲ千五百萬石ト見テ居リマス、ソレカラ未着物ニ付キマシテハ、是ハヤハリ内地管外米販賣高ノ約半額程度、朝鮮内地移入高ノ相當部分、臺灣米ノ移入高ノ約半分位ト云フヤウナモノヲ想定致シマスシテ現在ノ取引所ノ格付清算取引所、最近ノ動キト云フモノヲ極ク少ク見積リマシテ、約三割程度ヲ見テ居リマス、約千二三百萬

石程度ト見テ居リマス

○河野委員 豫想サレル数字、例へば約半額トカ約六七割ト云フモノヲ豫想サレル理論的根據ト云フモノハ、何かアルノデスカ、唯大略テサウ言ハレルノデアリマス、一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 大體實米取引所ニ於キマスル取引ノ數量ヲ想定致シマシタノハ、現在ニ於キマシテノ生産者團體ガ實際大部分移出米ヲ動かシテ居ル、ソレ等ノ實際ト、ソレカラ實米市場ニ取引サレテ居リマス間屋筋ノ實米ノ取扱數量カラ參酌致シマシテ、大體ノ數量ハ同じ數量ニナツテ居ル譯デアリマス

(中略)
午後零時十一分休憩

午後一時三十八分開議

○添田委員長 午前ニ引續イテ開會致シマス

○河野委員 午前ニ引續イテ御尋テ致シマスガ………本案審議ノ根本ニ觸レル問題ハ、先ヅ我國ノ現下ノ戰時態勢ニ於キマシテ、食糧資源ガ十分満足ニ確保スルコトガ出來ルヤ否ヤ、萬一ニモソレニ付テ不安ノ情勢ヲ招來スルヤウニナリマシタ際ノ、何等カノ準備ヲシテ置ク必要ガアル、ソレニハ斯ウ云フ法案ガナクテハナラヌノデアリカウカ、ドウカト云フ所ニ本案ノ重大性ガアルヤウニ考ヘルコトガ、先ヅ第一デアリマス、第二點ト致シマシテハ、………米穀政策ノ理想ト申シマスカ、目標ト申シマスカ、譬へテ申セバ專賣制度ノ問題ニ付テ其ノ過

程的ニ斯ウ云フコトヲ順次行ウテ、此ノ理想ニ向ツテ進ム、一ツノ過程トシテ斯ウ云フコトヲナルコトガ宜カラウカ、ドウダラウカト云フコトニ私ハ考ヘラレルヤウナ氣持ガアルノデアリマス、………即チ先ヅ第一ノ點デアリマスガ、食糧資源確保ト云フ點ニ付テ、私ハ遺憾ナガラ現内閣ノ政策ガ甚ダ不統一デアル、内地、農林當局ニ於カセラレマシテハ非常ニ此ノ食糧資源確保並ニ食糧政策ニ付テ、色々御懸念ノヤウデアリマスケレドモ、饑ツテ之ヲ外地ノ朝鮮、臺灣、更ニ滿洲國、支那方面ニ於キマスル、先程私ガ申上ゲマシタ所謂「プロック」内ニ於ケル食糧政策ノ統制ト云フコトニ付テ、果シテ一致シタ同一方向ニ向フ所ノ統制ガアリヤ否ヤト云フコトニ、非常ニ疑ヲ持ツ者デアリマス………即チ例へば臺灣ニ於ケル米穀政策ノ如キハ、本議會ニ提案セラレテ居リマスル臺灣米ノ移入ニ關スル問題、臺灣ノ獨自ノ立場ニ立ツタ所ノ産業政策ニ付テ………如何ニ論ジテモ此ノ法律ガ積極的ニ米ノ増産ヲ意圖シテ居ルモノデアリト云フコトハ、明カダラウト思フノデアリマス、目的ハ他ニアルノデアツテ、米ノ増産ニ目的ヲ置イテ居ラヌ、更ニ極端ニ申セバ米ノ増産ニ付テハ遺憾ナガラ逆效果ヲ來スヤウナ法律ノ仕組デアアルヤウニ私ハ考ヘテ居リマス、又朝鮮ニ於テモ嘗テ民政黨先輩デアラレル方々ノ御立テニナリマシタ朝鮮ノ産米増産計畫、コレチ一時米價ノ低落當時ニ於キマシテ稍々改變シ、更ニ又之ヲ抑ヘルヤウニシテ來ツテ以來、今日果シテ朝鮮當局ニ於テ彼ノ産米増産計畫ヲ立テラレタ當時ノ意氣組ヲ以テ果シテ朝鮮ノ米穀政策ヲ運轉シテ居ラレルヤ否ヤト云フコトニ

付テハ、遺憾ナガラ是亦吾々ハ左様相成ツテ居ラヌト云フコトニ諒承セザルヲ得ヌノデアリマス、更ニ又進ンテ滿洲ノ問題ニ付テ考ヘマス時ニ、是亦滿洲ニ於テハ米穀認可制度ヲ取ツテ居ルト云フコトデ、此ノ點ニ付テモ米穀資源確保ノ上カラ申シマ

スナラバ甚ダ消極的デアル、尤モ先程大臣ノ御答辯ニアリマシタヤウニ、米ヲ無暗ニ増産スルト、其ノ結果將來米價ノ低落ヲ見タ時ニ困ル、米價ノ低落ニ對スル政策ヲ立テナケレバナラヌヤウニナツタ時ニ、餘リニ獎勵スルト云フコトモ考ヘモノダト云フ御話モアツタノデアリマスケレドモ、此ノ非常時下ニ於キマシテ、現下ノ戰時態勢下ニ於テ、各種ノ産業政策全般ニ於テ國家的見地カラ考ヘタ産業政策ニ發足シテ、吾々ガ此ノ米穀政策ヲ考ヘマシタ時ニ、大臣ノ御話ニナリマシタヤウニ、將來米價ガ餘ツテ米ノ値ガ下ツタ時ニ困ルデアリカト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル程、コト程左様ニ現下ノ我國一般産業政策ハ、悠長ナモノデハナカラウト思フ、萬一ニモ、絕對ニ無ケレバナラヌ米ニ對シテ外米ノ輸入デモシナケレバナラヌヤウニナルコトヲ吾々ハ虞レルコトノ方ガ急テハアルマイカト思フノデアリマス寧ろ此ノ法律ニ依ルヨリモ、此ノ方ヲ吾々ハ虞レル、如何ニ此ノ法律ガアツテモ足リヌモノハ足リヌ、勿論大臣ノ御話ノヤウニ、或ハ配給ヲ圓滑ニスルコトニ依ツテ、数字的ニ机上ノ計算ニ於テ或ル程度マテ過不足ナク流スコトハ可能デアルカモ知レマセヌ、併シ絕對數字ニ於テ足リヌモノハ、何處マテ行ツテモ足リヌデアリマス、其ノ足リヌヤウナ場合ガ起ツタ時ニ、此ノ程度ノ法律テ尙且ツ可能ナリヤ否ヤト云フコトヲ、吾々ハ甚

ダ疑問ニ思フモノデアリマスケレドモ、是等ニ對シテ大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ………

○櫻内國務大臣 只今食糧資源確保ノ問題ニ付テ御質疑ガアリマシテ、此ノ政策ニ對シテ不統一デアアルデアリカト云フヤウナ御意見デアリマシタケレドモ、政府ノ今日探ツテ居リマス方針ハ、從來カラデモアリマスケレドモ、大體ニ於テ内地ト外地トノ生産テ、内地ト外地ノ國民ガ消費シテ行キ得ル程度ヲ最低基準ト致シマシテ、其ノ以上ニ多少テモ剩餘ノ出來ル見當ヲ立テテ、生産計畫ヲ立テテ居ルノデアリマス、先刻モ今成君ノ御質疑ニ御答致シマシタ通り、年々相當ノ人口ノ増加モアリマスノデ、又消費高モ増加致スノデアリマスカラ、之ニ對應シタ策ヲ立テテハ勿論デアリマス、殊ニ今御話ノ如ク、現在ノ時局ト致シマシテハ、出來ルダケ多クノ米ヲ取ルコトノ必要デアルコトハ固ヨリ御説ノ通りデアリマス、若シ是ガ容易ニ茲ニ一千万石デモ二千万石デモ多ク増産ノ出來マス見込ガ立チマスナラバ、河野君ノ御意見ノ通り本案ノ如キ法案ノ中デ、要ラナイ條項ガ多少出來ルダラウト思ヒマスケレドモ、中々左様ニ増産計畫ト云フモノハ容易ニ出來ナイノデアリマシテ、只今ノ所、内外地チ一貫シテ此ノ生産確保ニ付キマシテ計畫ヲ立テテ進ンテ居ルヤウナ次第デアリマスガ、内地ニ於ケル所ノ生産數量ハ大體ニ於テ本年度ノ需要ノ趨勢カラ言ヒマス、十數箇年間ノ統計ノ數カラ言ヒマス、六千三百何十萬石トナルノデアリマセウ、併シ斯ウ云フコトデハイカヌノデアリマシテ、更ニ三百萬石、四百萬石ノ増産計畫ヲ立テテ、其ノ實行ヲ期シタイト思ッ

テ居ルノデアリマスケレドモ、度々申シマス通り、勞力が不足シテ居リ、又肥料ノ配給モ中々圓滑ナク、馬モ足ラナイ、種々種多ナ關係上其ノ生産ヲ擴充スルコトガ、可ナリ困難デアリマシテ、此ノ困難ニ對シテハ非常ニ努力シテ居ル譯デアリマス。隨ヒマシテ臺灣ノ問題ガ今御話ニ出マシタガ、臺灣ニ於キマシテモ、本年度十數萬石増殖ノ豫定テ居リマシタノチ、更ニ私就任以來考フル所ガアリマシテ、其ノ以外ニドウシテモ五十萬石ノ増殖ヲシテ貰ヒタイト云フ交渉ヲ致シマシテ、大體ニ於テ其ノ承諾ヲ得テ、進行致スヤウナ順序ニナツテ居ルデアリマス。又朝鮮ニ於キマシテモ七十萬石ノ増殖計畫デアリマシタノチ、更ニ五十萬石以上ノ數量ヲ増加シテ貰ヒタイト云フノデ、今話合中デアリマスガ、是モ大體ニ於テ話合ガ付クト私ハ考ヘテ居リマス、總督府ニ於キマシテモ、コチラノ要求ニ應ズル狀態デアリマス、大體ニ於キマシテ臺灣、朝鮮、内地、此ノ三者ノ生産計畫ハ先ヅ農林省ニ於テ其ノ方針ヲ立テマシテ、其ノ諒解ヲ得方針ニ基イテ、朝鮮及ビ臺灣ト協議致シマシテ、其ノ諒解ヲ得テ計畫ヲ立テルコトニナツテ居ルデアリマス、御話ノ趣旨ニ基イテ、臺灣、朝鮮ニ於テ更ニ大ナル増殖計畫ヲ立テルガ宜シイデハナイカ、斯様ニ御意見ヲ御立テニナルカモ知レマセヌケレドモ、朝鮮ニ於キマシテモ今直チニ本年非常ナル増殖ヲ致スルコト云フ順序ニハナリマセヌケレドモ、臺灣ニ於キマシテモ勿論マダ此ノ上多クノ生産力ヲ持ツテ居リマセウケレドモ、吾々ト致シマシテハ、臺灣ノ如キニ毛作ノ地ニ對シマシテハ、常ニ多少ノ豫備の意味ヲ含マシテ置クコトモ、考ヘテ置カナケレバ

ナラヌコトデアリマスノデ、今最大限度ノ要求ヲシテ、其ノ生産ヲ求メルト云フコトニハナツテ居ラヌデアリマス、併シナガラドノ程度マデ増産ガ出來ルカト云フコトハ、常ニ調査致シテ居リマシテ、一旦緩急ノアル時ニハ之ニ應ズルダケノ準備ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、滿洲ニ於ケル米ノ生産ノ問題ハ餘程重大ノ問題デアリマスノミナラズ、若シ幸ニ茲ニ勞力ノ餘剩ガアリマスナラバ、本年デモ新ニ土地ヲ開墾シテ、之ニ米ヲ植付ケテ生産ヲ致シマスレバ、肥料ナドハ比較的極少量ヲ生産ガ出來ルト思ヒマスノデ、是モ考ヘラレナイコトハナイノデアリマスケレドモ、滿洲ニ於テ米ノ増産ノ、大キナ計畫ヲ立テルコトハ、將來ノコトチモ深ク考ヘ置イテ致サナケレバ相成リマセヌケレド、今日ハマダ其ノ交渉ヲ滿洲國ニ對シテハ致シテ居リマセヌ、是ハ企畫院ニ於キマシテ日滿支一體ノ計畫ノ中ニ入レテ、其ノ計畫ヲ實行致スヤウニ致サウト考ヘテ居ルデアリマス、只今ノ所私共此ノ米穀生産ノ問題ニ對シテ、不統制デアルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、雙方ノ間ニ圓滿ナル協調ヲ見テ、萬遺憾ナキチ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ本法案ハ專賣ノ過程デアナイカト云フ御質疑デアリマスガ、米ヲ專賣ニスルトカ、若クハ國家ニ於テ一手ニ取扱ツテ、ソウシテ米穀問題ノ眞ノ根本的解決ヲスルト云フ事柄ハ、是ハ大イニ研究致スベキ事柄デアリマスケレドモ、只今ソレヲ實行致スコトニ付キマシテハ、可ナリ多クノ點ニ付テ研究シナケレバナラヌコトガアリマス、隨ヒマシテ私其ノ問題ニ對シマシテ茲ニ之チドウ取扱フカト云フコトチ、未ダ申上グル機會ニ至ツ

テ居ラナイノデアリマス、本法案ハ其ノ專賣制度ノ過程ノ前提トシテ作ツタカト云フ御話ニ付キマシテハ、ソレハ偶然ニ或點ニ於キマシテ、其ノ前提トモ看做スベキヤウナ事柄モアリマセウケレドモ、併シ本法案ハ本案ニ依ツテ米穀ノ配給ヲ圓滑ナラシメ、又適正ナル價格ヲ以テ安ンジテ生産者ニ生産セシメ、又消費者ニ消費シ得ルヤウニ致シタイト云フノガ本旨デアリマシテ此ノ案ノ專賣案トガ繼續的ノ意味ヲ含ンテ居ルモノデアナイト云フコトチ、御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○河野委員 ……更ニ又滿洲ノ米穀政策ニ至リマシテハ、大臣只今御述ベノ通り、ヤレバヤリ得ルガ、併シ別ノ點カラ考ヘナケレバナラヌト云フコトデアリマシタガ、私ハ是トモ問題ハ簡單ダト思フデアリマス……此ノ非常時日本ニ於テ食糧資源ガ足りヌノナラバ、必要ナダケ出來ルダケ滿洲デアラシタラドウアスカ、若シ餘ルヤウニナツタラ止メサシタラドウアスカ、日本ノ爲ニ滿洲ガ其ノ程度ノ犧牲ヲ擔フ事ハ當然ダト私ハ思フ、滿洲國存立ノ爲ニ我が農村ノ忠勇ナル子弟ハ、命ヲ賭ケテ戦ツテ居ル、「ソ」滿ノ國境ニ惡戦苦闘シテ居ル、此ノ事實ノ前ニハ、必要ナダケノ米ヲ作ラシ、不必要ニナツタラ止メサセルト云フ位ノ問題ハ、微々タル問題デアリマス、些々タル一小事デアリマス……唯茲ニ農林當局ニ御答辯ヲ願ツテ置キタイノハ、我が國內ニ於ケル米ノ需給豫想ハ、一體ドウ云フコトニナツテ居ルカ、當局ガ本案ヲ必要トスル其ノ立案ノ基礎ニナツテ居リマス所ノ、最近五箇年間十箇年間、要スルニ當局ガ豫想シ得ル米穀需給豫想ハ、ドウ云フコトニナツテ居

ルカ、一ツ此ノ際御示シテ願ヒタイト思ヒマス。

○周東政府委員 御答ヲ申シマス、將來十箇年間位ノ需給豫想ト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ私ノ方デ過去ノ趨勢ニ基キマシテ、將來ヲ豫想致シマシタ數字ハゴザイマス、生産並ニ消費ニ付キマシテ、一應ノ机上ノ數字ハ持ツテ居リマスガ、御承知ノヤウニ此ノ米ノ需給ノ狀況ハ、社會上、經濟上ノ事情ニ依リマシテ、實數ハ可ナリ動ク場合ガアルト思ヒマスノデ、一應ノ机上ノ數字ハ持ツテ居リマスガ、是ハ却テ將來十年モ先ノコトニナリマス、或ハ樂觀ニ過ギルト御覽ニナル場合モアリマセウシ、或ハ悲觀ニ過ギルト云フヤウナ觀方モゴザイマシテ、其ノ影響スル所モ可ナリアルト思ヒマスノデ、是ハ申上ゲナイ方ガ宜イカト思ツテ居リマス、唯御話ノ十四、十五、十六ト云フヤウナ極ク最近ノ年ノ問題デゴザイマス、是ハ同様ニ過去ノ趨勢ニ基キマシテ出シマシタ數字ニ、生産ノ方面ニ於キマシテハ只今大臣カラ申上ゲマシタヤウニ、時局下ニ對シテ必要ナ増産ヲ致スベキ數字ヲ加ヘル、消費ニ於キマシテハ過去ノ趨勢カラ出シマシタ數字ニ、特ニ戰時ノ特殊ノ事情ニ依ツテ増加致シテ居リマスル數量ヲ、内地ニ於キマシテハ二百萬石、朝鮮ニ於キマシテハ百萬石等ノ數字ヲ加ヘマシタ消費ノ狀況ノ數字ヲ出シテ、一應推算ヲ致シテ居リマス、先ヅ此ノ兩三年位ノ數字デゴザイマス、實際ト隔タルコトモナカラウト思ヒマス……

○櫻内國務大臣 只今滿洲ノ農産ヲ、大イニ増産セシメタラ宜イデアナイカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點私モ河野君同様

考へヌテハナカッタノデアリマス、唯先刻申上ゲマス通り、早急ニ参リマセヌト、又水列ノ關係、其ノ他ニ付キマシテ非常ニ費用ヲ要スルコトハ勿論デアリマスガ、手數モ要スルノデアリマス、殊ニ先刻モ御答辯申上ゲマシタ通り、之ヲ開墾シ、開發スル勞力ニ於テ十分デアリマセヌト、本年度ノ計畫トシテ滿洲國ニ米ヲ増産シテ賣ヒタイト云フ交渉ハ、マダ致シテ居ラヌヤウナ譯デアリマス

○河野委員 ……滿洲ノ米穀政策ノ根本ハ、何處マデモ滿洲國自身ノ自給自足ト云フ所ニ置イテ居リマス關係カラ、私ノ了承致シテ居リマス所デハ、耕作ニ致シマシテモ免許制度ヲ執ツテ居ラレルカト開イテ居リマス、其ノ免許セラレマス根本ノ觀念ト致シマシテハ、先ヅ生産費ヲ想定致シマシテ、一石當リ十五圓若クハ十八圓ト云フモノノ生産費以下テ出來得ル地方ト何處マデモ金ヲ目標ニシテ其ノ金額以下テ耕作シ得ル所ニ免許ヲ與ヘルト云フノト、免許ノ條件ガ二方面カラ束縛セラレテ居ル、先ヅ第一ハ滿洲ニ必要ナル數量以上ノモノハ免許シナイ、第二ニハ非常ニ安イ生産費ヲ出來ル場所、所謂最適地以外ハ免許シナイト云フ兩方面カラ束縛致シテ居リマスノデ、是ハ内地其ノ他ノ事情トハ非常ニ事情ガ違ツテ居ル、併シ平時ニ於テハ確ニ一ツノ行キ方デアリマス、吾々モ曾テハ此ノ政策ヲ非常ニ諷刺シタノデアリマス、サウセラレルコトニ双手ヲ舉ゲテ贊成シタノデアリマス、併シ偶々時局ハ斯ノ如クニ重大トナリ、我が米穀政策ニ於キマシテモ、其ノ當時ノ情勢ト違ツテ、ソレヲ許サザル情勢ニ變化致シテ居リマスコトモ、申上ゲルマデモナ

イノデアリマス……之ニ對シ重ネテ御所見ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 大體只今河野君ノ御話ノ通りニナツテ居リマスガ、今マデハ御承知ノ通り滿洲移民事業ト併行シテヤツテ居ルノデアリマシテ、從來ノ計畫ハ一定ノ計畫ヲ立テテ、此ノ生産ニ從事シテ居ルヤウナ譯デアリマス、唯本年急ニ之ヲ非常ニ増加スルト云フ計畫ヲ立テマシテモ、ソレハ水利ノ關係、其ノ他先刻申上通り勞力其ノ他種々ナル關係ニ於テ、急ニ大ナル増産ヲ見ルト云フコトハ容易ノコトデハナイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス、將來ニ於ケル、即チ明年以後ニ於ケル滿洲ノ米ヲドウスルカト云フ問題ニ付キマシテハ、マダ私只今茲ニ明言ヲ致ス順序ニナツテ居リマセヌト、是ハ何レ又適當ノ機會ニ於テ申上ゲタイト思ヒマス

○河野委員 ……滿洲國內ニ於テ從來相當ノ米作地ガアルト、私ハ了承シテ居ル、移民ニ依ツテ初メテ滿洲國ノ米作ガ始ツタノデアリナイト諒承シテ居リマス、是ハ私一昨年滿洲ニ参リマシテ、アノ方面ヲ廻ツテ歩イタ時ニ調べマシタノデモ、サウ云フコトニ相成ツテ居ルヤウニ見テ參ツタノデアリマス、今大臣ガ御述ベノヤウニ、移民政策ト關聯シテ滿洲ノ米穀政策ガアルノダト云フコトデハナイト思ヒマス……現在ノ事情デモモット内地テ入用ダカラト言ツテ作ラシテ宜シイ、餘ツタナラバコツチテ買ウテヤルト云フコトニサヘナレバ、ソレダケテ相當ノ數量ガ滿洲テ出來得ルト思ヒマスガ……唯農林當局トシテ滿洲ノ米ヲ内地テ必要トスルヤウナ米穀事情ニ我國ガアル

ヤ否ヤト云フコトヲ、承ツテ置ケバ私ハ宜シイ……

○櫻内國務大臣 滿洲ニ於テ米ノ増産ヲスル計畫ヲ立テレバ増産ガ出來ル、此ノ御意見ニ對シマシテハ私全然同意見デアリマス、唯増産ノ計畫ヲ立テテ、是ガ數年ニ互ツテ増産スルト云フコトハ出來マスケレドモ、今直チニ滿洲ニ於テ非常ナル増産ガ出來ルカト云ヒマス、申スマデモナク水田適地ト云フモノモアリマスシ、先程カラ申シマス通り水利ヲ引張ルトカ、其ノ他種々ナル關係ガアルノミナラズ、勞力ノ上ニ於テモ是ハ相當研究スベキモノデアツテ、直グニハ出テ來ナイノデアアル、斯ウ云フコトヲ考ヘラレルノデアリマス、ソレカラ滿洲ニ於テ滿洲人ヲ使ツテ、將來非常ナ大キナ計畫テ、増産計畫ヲ立テルト云フコトニナリマス、其ノ結果ハ日本ノ農民ノ將來ニ、ドウ云フコトヲ持來タスカト云フコトモ考ヘナケレバナイノデアリマス、ソレテ先刻一寸御尋ニナリマシタガ、日本ニ於ケル最大増産量ハドウカ、是ハ今後ノ開拓、開墾ノ仕方ニモ依リマセウシ、又天候ニ因ツテ非常ニ相違モアルノデアリマシテ、一概ニハ論ジラレマセケレドモ、數年前ノ如キ大豐作ニ遭ヒマストソコニ又非常ニ農家ガ困惑スル位置ニ立ツ場合モアリマスノデアリマス、滿洲ノ増産ノ問題ニ付キマシテハ、勿論今此ノ増産ノ必要ガアルト云フコトニナリマスレバ、是ハ滿洲國ト協議シテ十分ニ増産ノ計畫ヲ立テテ、將來ノ日本ノ食糧不足ニ對シテ心配ガナイヤウニ致スト云フコトハ、勿論致サナケレバナラヌコトト思ヒマス、唯將來ニ於テ、内地ノ出征將士ガ還ツテ來タ

後ノ開墾ガ十分ニ出來ルヤウニナツタ時ノ、日本ノ米ノ收穫量ノコトニ付テモ考ヘナケレバナラヌト思ヒマス、有ユル方面ヲ考ヘテ、増産計畫ヲ立テル必要ガアルト私ハ思フノデアリマス只今ノ御話ニ依レバ、本法案ハ萬一米ガ足りナクナツタ場合ヲ主トシテ立テテ居ルガ、増産計畫ノ如何ニ依ツテハ、ソノ中心配ハナイノデアリナイカ、サウ云フ御話デアリマスケレドモ是ハ要スルニ配給ヲ圓滑ニスルト云フコトヲ一番主眼トシテ居ルノデアリマシテ、萬一ノ場合ト云フ事柄ハ、是ハ成ベク私共ハ豫想致シタクナイノデアリマス、現在ニ於テ——本年度ニ於テハ申スマデモナク、日本ノ需給ノ豫想デハ、少クトモ九百萬石以上、端境期ニ於テ九百二十二萬石以上ノ米ヲ持越スコトニナツテ居リマスノデ、配給サヘ宜シキヲ得レバ、少シモ私ハ心配ハナイト思ヒマス、唯配給ガ圓滑ヲ缺イテ偏在スルト云フコトダケチ悞レルノデアリマス、明年度以後ノコトニ於キマシテハ、即チ明年ノ増産計畫ヲ立テテ、之ニ向ツテ遺憾ナキヲ期シテ居リマスケレドモ、是モ天候其ノ他ニ付テハ、相當ノ對策ヲ講ジナケレバナラヌノデアリマシテ、本年度ニ於テ此ノ法案ニ依ツテ非常發令ヲシナケレバナラヌナドト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマセヌ、唯前ノ條項ハ、米穀商人ヲシテ安ンジテ生業ノ出來ル、即チ從來ノ商賣ノ安固ヲ圖ルト同時ニ、配給ノ圓滑ヲ圖ル、サウシテアトハ市場操作ニ依ツテ最高最低ヲ押ヘテ、サウシテ米價ノ安定ヲ期スル、斯ウ云フ意味ニ於テ作ツタノデアリマシテ、今ノ非常立法トシテノミ御考ヘ下サルト云フコトハ、私共ノ考ヘトハ少シ違フノデアリマ

シテ、此ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス
 ○河野委員 ……一ツ茲ニ御尋シマスケレドモ、米ノ偏在ト云フコトハ一體ドウ云フ場合ニ考ヘ得ルカ、今日ノ情勢ニ於テ現行ノ立法ニ於テ、一體米ノ偏在ヲ抑ヘル、取締ルト云フコトガ不可能カドウカ、ドウ云フ場合ニ米ノ偏在ガアルカ、最近事變以來今日マデノ間ニ於テ、米ノ偏在ト云フコトハアツタノカドウカ私ノ考デアツタトスレバ、最近農家ニ於テ多少米ヲ一部持耐ヘ得ル力ノアル者ガアル、農村自身ヨリ米ノ出廻リガ悪クナツテ居ル者ガアル、ソコニ最近ノ米穀ノ配給ノ下圓滑ノ原因ガ相當アルノデハナカラウカト、私ハ豫想スルノデアリマスケレドモ此ノ考方ハ間違ツテ居ルノデアリマスカ、ドウデアリマスカ、御答願ヒマス

○櫻内國務大臣 私ハ今日ニ於テ不圓滑ナ事柄ガアルト云フヤウニハ考ヘテ居リマセヌ、今御話ノ通りノ偏在ハドウ云フ場合ニ於テ起ツテ來ルカ、斯ウ云フ場合、アア云フ場合ト云フコトヲ申上ゲルコトハ餘リ好マシクナイコトデアリマスカ、今一例ニ御取リニナリマシタ農家ノ人々ノ中テ一部足ラナカツタ、斯ウ云フコトモアリ得ルデアリマセウシ、又商人ガ思惑テ倉庫ニ貯メル場合モアルデアリマセウシ、色々ノ場合ガ想像シ得ラレルノデアリマシテ、單純ニ斯ウ云フ場合ト云フコトハ、今茲ニ一々例示シテ申上ゲルト云フコトハ、如何カト思ヒマスカラ差控ヘマスカ、要シマスルニ、萬一米ガ不足ヲ來シタ場合、若クハ米ガ最高價格ヲ突破シテ、所謂俗ニ言フ青天井ト云フヤウナ相場ガ出ルヤウナ場合ヲ想像シテ、思惑ナシテ買フ者ガアル、

偏在ト看做スノ外ナイト思ヒマス

○小山田委員 サウシタ場合ニ於キマシテ、ヤハリ此ノ行政命令ニ依ツテ生産者ノ持米ニ對シテ、所謂圓滑ナル配給ヲ期スルト云フ建前ニ於キマシテ命令ヲ以テ持米ノ賣却ヲ命ズルコトガアリ得ルコトニナルドラウト承知致シマスカ、其ノ點ハ如何デアリマスカ

○櫻内國務大臣 只今ノヤウナ事柄ハ、假ニ此ノ法令ガ發動サレルト致シテモ私ハナイト考ヘテ居リマス、併シナガラ極端ナ場合ヲ想像致シマシタ場合ニハ、例ヘテ言ヘバ、同ジ農村ニ於テモ甲ノ家ニハ何十俵、何百俵ト云フ米ガアルノニ、乙ノ家ニハ今日食フ米ガナイ、斯ウ云フ場合ニ於テハ、此ノ定メラレタル價格ニ於テ之ヲ賣渡シテシロ、配給ヲシロト云フコトハ、命令ヲシ得ルト思ヒマス

○小山田委員 宜シウゴザイマス

○河野委員 一體今ノ命令ハ、例ヘバ具體的ニ申セバ、地主ナラ地主ガ米ヲ最高價格マデハ自分ハ賣ラナイト云フノテ持ツテ居ル、此ノ米ハマダ高クナルドラウシ、自分モ金ガ差當リ要ラナイト云フノテ持ツテ居ル者ニ對シテ、具體的ニドノ條文デ、ドノ命令デ、ドウ云フ時機ニサウ云フコトガ發セラレタモノカ發セラレナイモノカ、甚ダ失禮デスカ、事務當局テ結構デアリマスカ御示シ願ヒマス

○周東政府委員 御答致シマスカ、第四條ノ規定ニ依ルノデゴザイマス、此ノ第四條ノ命令ハ、勿論必要ガアリマシタ場合ニ於テ、其ノ賣惜ミ、買占メ、或ハ米穀ノ仕向地等ニ付キマシテ

或ハサウ云フヤウナ事柄ヲ豫想シテ、多少デモ藏ヒ込ム者ガアルト云フヤウナコトガナイトハ限ラナイデアリマス、今日只今米穀ノ配給ガ、不圓滑デアルカドウデアアルカト云フコトヲ考ヘテ、此ノ案ヲ作ツタモノデハナクシテ、要シマスノ二度々申上ゲル通り、兎ニ角滑カニ配給ガ出來得レバ、現在ニ於テハ現在ノ生産サレタ所ノ米ニ依ツテ、國民ハ安ンジテ消費シ得ルノデアリマスカラ、其ノ流シ方ガ圓滑ニ行クヤウニ、サウシテ萬一ノ場合ガ停滯シタ時ニ、其ノ停滯ノナイヤウニ致シタイト云フノガ骨子デアリマシテ、同時ニ一定ノ或ル最高、最低價格ニ非常ナ激變ノナイヤウニ、或ル程度ニ價格ヲ一定シテ、サウシテ圓滑ニ流レルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ意味ニ外ナラナイノデアリマス

○小山田委員 河野君ノ質問ニ關聯シテ、極ク簡單ニ一言御尋致シタイト思ヒマス、只今大臣ノ御答辯ニ依リマスト、圓滑ナル配給ヲ期スルト云フコトハ、畢竟スルニ米ノ偏在ヲ防止スル爲デアラウト云フヤウナ御答辯ニ承知致シタノデアリマスカ、米ノ偏在ヲ防止スルト云フコトノ意味ハ、是ハ生産者デアル所ノ農家ガ、米價ノ關係ニ依ツテ賣惜ミチラスルト云フヤウナ場合モ、米ノ偏在ト看做スコトガ出來ルカドウカ、其ノ點ヲ御何致シタイ
 ○櫻内國務大臣 農家ノ人々ガ自分ノ食料トシテ持タレルモノ以外ノ米ハ、是ハドウセ賣ラナケレバナラヌト思ヒマス、其ノ米ヲ多數藏ヒ込ムト云フ場合ニ於テ、若シ需給ノ關係上、一方ニ於テ非常ニ不足ヲ來スト云フ如キ場合ガアリマスト、ソレハ

必要ナ命令ヲ爲シ得ルコトト考ヘテ居リマス、併シナガラ其ノ具體的ノ發動ヲ致サナイカト云フコトハ、ソレトノ場合、ソレトノ必要性ニ基イテ順次致シテ行ク積リデアリマス

○櫻内國務大臣 一寸補足シテ置キマスカ、最高ニナルマデノ間ニ於テ、農家ノ人ガ最高價格ニナルドラウト云ツテ藏ツテ置カレタト云フ場合ニハ、私ハ經濟上ノ原理トシテサウ云フ風ニナツテ來レバ、米ノ價格ハ最高マデ上ツテ行クモノドラウト思ヒマス、最高ニナツタ時ニ所謂發動スルト云フ場合ガ、是ハ容易ニ發動スベキモノデハナイデアリマスケレドモ、極端ナ場合ヲ想像シテ、發動スル場合ガアルトシマシテモ、ソレハ何處々々ニドウ賣レトカ、ドノ方面ニソレヲ販賣シロト云フコトヲ言フノデアツテ、ソレニ依ツテ從來貯藏シテ居ル米ガ最高ニ達スル以前ニ於テ、賣惜ミチシテ居ラレルト云フヤウナ問題ハ起リ得ナイ、斯ウ私ハ思ツテ居リマス

○河野委員 内容ニナリマシテ甚ダ失禮デスカ此ノ法律ノ第七條ニ依リマスト「米穀市場ノ賣買取引ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ニ準據シテ」云々ト書イデアリマス、是ハ米穀市場ヲ取引スル場合ノ値段ハ、最高、最低ノ價格ヲ斯ウ云フコトデ決メラレタ範圍内ト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、米穀市場以外ニ取引セラレルモノニ付テハ、一體ドウ云フコトニナルカ、米穀市場以外デ、例ヘバ地方ノ小賣商ガ賣ル場合ニ、一體ドノ位ノ値段ガ認めラレルノカサウスレバ小賣商ガ自分ガ地主カラ米ヲ買ツテ直グ小賣ニ廻サウトスル場合ニ、ドノ位マデノ値段ヲ買ヒ得ルカト云フコトニ

ナツテ来マスガ、其ノ點ハドウ云フコトニナリマスカ、詰リ國內ニ於テハ米穀市場ニ於テノ値段ハ中央ノ問屋相場ト云ヒマスカ、所謂市場ノ相場デアリマス、其ノ他ニ小賣相場ガアリ色々アルト思ヒマス、隨テ地方ノ庭先相場ト云フモノハ必ズシモ最高價格テ中央ノ市場テ取引サレルモノ以外ニ、其ノ近隣ノ消費地タル都會ニ直チニ米屋ガ引張ツテ行ツテ白米ニシテ賣ルト云フ場合ニハ、是ハ小賣相場テ賣レルノテアルカラ、或ル程度マデ高く、買ヒ得ルト云フコトニナルノデ、只今大臣ガ申サレマスヤウニ、必ズシモ最高價格以上ノ取引ト云フモノハアリ得ヌト云フコトハナカラウト私ハ思フ、斯ウ云フ場合ニハ一體ドウナリマスカ

○櫻内國務大臣 米穀ノ取扱ノ主流ガ市場ニ於テ行ハレマシテ假ニ之ヲ三十五圓ト假定致シマスト、三十五圓テ東京ノ正米市場テ賣買致サレルト云フコトニナリマシタ時ニ、市内ニ於テソレガ非常ナ高イ開相場ガ出テ、自由ニ取引ガ出來ルカドウカト考ヘテ見マシタ時ニ、市場ニ參リマスト其ノ値段テ買ヘルノデアリマスカラ、自然ニ市場ニ買ヒニ行クヤウニナリマシテ、其ノ市場ノ値ヲ飛離レテ高イ値段ハ生ジテ來ナイト思ヒマス、何故ナラバ市場ニ行ケバ其ノ値段テ買ヘルノデアリマス、テスカラ皆市場ヘ行ツテ買ツテ、唯其ノ間ニ市場カラ自分ノ家ヘ運ブ運搬賃其ノ他ノ關係ハ、自然起ツテ來ルデアリマセウケレドモ、大體ニ於テ、茲ニ主流ノ相場ガ決ツテ居レバ、ソレヲ標準トシテ賣買サレルト云フコトハ當然ノコトデアツテ、ソレニ依ツテ場外ニ於テ開相場ガ自由ニ出來ルモノトハ考ヘテ居ナイノ

定價格以上テ少シク賣レバ賣レルト思フ、極ク少量ノ物ナラバ公定價格以上ニ賣リ得ルト思フ、其處ニ賣リ惜ミト申シタラ言葉ガ當ルカ當ラヌカ知リマセヌガ、賣控ヘト云フモノガ起ツテ來ルト云フコトモ、私ハ豫想ガ出來ルト思フノデアリマス、ソレカラ更ニ序テスカラ何ツテ置キマスガ、東京ノ中央市場ナラバ中央市場ニ於テモ、賣手買手ノ數量ガ一致スレバ宜イケレドモ、一致シナイ場合ガアル、ケレドモ最高價格以上ノ取引ハ許サレヌノデアリマスカラ、買手が多クテ賣手が少イト云フ時ハ、ソレチドウ云フ風ニ裁イテ行クカ、但シ大臣ノ御見解ガサウ云フコトハアリ得ヌト云フ御見解ナラバ、是ハ事務當局ヨリ別ノ機會ニ十分伺ツテ見タイト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ一體ドウ云フヤウニナサイマスカ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り現在ノ生産高ガ現在ノ消費高ト相對スルモノデアルトシマスレバ、コレハ圓滑ニ配給サヘスレバ、キチント參リマス、唯市場ニ於テ最高ノ値段ニ來タ時ニ今御話ノ通り市場外ニ於テ高ク賣レル方法ガアリマスレバ、ソレハ此ノ市場外ニ流レル虞ガアルト思フ、市場外ニ流レル方法ト云フモノハ何處カト云フト、市場以外ニ於テ此ノ米ノ取引ヲ高ク買フ者ガ現レルト云フコトデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テ政府ガドウ云フ處置ヲ執ルカト云フコトハ、固ヨリ言フマデモナイコトデアリマシテ、是ニ於テカ、公定相場ノ發動ヲ致スト云フコトニナリマス、隨テ此ノ圓滑ヲ缺クト云フコトハ、私ハナカラウト思フ、詰リドウ場合ニ於キマシテモ最高價格ヲ基準トシテ、固ヨリ最高價格ト云フモノハ河野君モ御承知ノ通り

デアリマス

○河野委員 今ノヤウニ大臣ハ表向キ本筋ダケノコトヲ御考ニナルヤウデアリマスケレドモ、而モ是ハ吾々ヨリモ非常ニ經濟界ノ事ニ付テ御經驗ノオアリノ方デアアルカラ、吾々ノ考ヘ方ガ間違ツテ居ルノカモ知レマセウケレドモ、凡ソ米ノ値段ガ上ツテ行ク時ニハ、賣手ト買手ト於テ買手が多クテ賣手ノ少イ時ニ上ツテ行クダノラウト思フ、其ノ結果段々最高價格迄上ツテ來ル、是ハ正米市場ニ於テモ買手ニ賣手ノ手が合ハナカウタ時ニハ一體ドウナルカ、ソレハ最高價格ニ行ク、ソレチ一方政府ガ最高價格以上ノ取引ハ許サヌト云フ事ニナル、併シ買注文、買要求ノ方ガ多イ、賣要求ハ少イト云フ所ニ、一方政府ハ取引ヲ認メヌト云フ事ニナツテ來ルト、茲ニ私ハ問題ガ起リ得ルト思フ所ガ此ノ市場ヲ離レテ、例ヘバ秋田ナラ秋田ノ極ク田舎ニ於キマシテ、其ノ近在ノ取引所ノ出張所ニシロ何ニシロ、指定サレテ居リマセヌ地方ニ於テ、地主ガ米ヲ持ツテ居ルト云フ場合ニ其ノ地主ハ其ノ地方ノ米屋ニ賣レバ米屋ハソレヲ直チニ白米ニシテ、其ノ附近ノ小都市ニ分ケルト云フ場合ニハ、是ハ當然市場ニ於ケル所ノ相場ヲ離レタ小賣相場ト云フモノガアル管デス何時デモ小賣相場ト云フモノハアル管デス、サウスレバ中央ノ問屋ヲ離レテ、詰リ公定相場ヲ離レテ、ソコニ小賣相場ト云フモノガアルノデスカラ、卸問屋ト云フモノヲ抜キニシテ生産者カラ消費者ニ參リマス、小賣商ト云フモノガ直接總テ一切ヲ濟マシテ小賣値段テ賣渡ス場合ガアル、サウ云フ場合ニ必ズ公定價格以上ノ相場ト云フモノハ出テ來ルト思フ、サウスレバ公

其ノ情勢ト總テノ條件ニ依ツテ、場合ニ依ツテハ變ヘ得ルモノデアリマスガ、此ノ決定セラレタ最高ノ額ヨリ高クハ市場内ニ於テ賣レナイ、市場外ニ於テモ賣レナイ、即チ公定價格ノ決定ニ依ツテ賣レナイ、斯ウ云フコトニナリマスレバ、持ツテ居ツテモ倉敷ヤ目減リト云フ損ガ出ルノデアリマスカラ、賣ラズニ居ルト云フ氣遣ヒハナイ、又買方ハドウシテモ要ルモノデアリマスカラ、是ハ買フニ決ツテ居ル、故ニ其ノ間ニ於テ配給ノ調節ヲ取りサヘスレバ、私ハ圓滑ニ需給ガ行ハレルモノト思フ但シ今御心配ニナツテ居ル通り、増産畫計ヲ誤ツテ其ノ生産ガ需要ヨリモ非常ニ少イト云フ場合ニハ、是ハ無論困難ガ起ツテ來ルノデアリマシテ、之ニ對スル場合ニ於キマシテハ別ナコトヲ考ヘナケレバナリマセウケレドモ、大體ニ於テ平素ハ需給關係ガ付キサヘスレバ、圓滑ニ調節ガ取レル、斯様ニ信ジテ居リマス

○西川委員 一寸關聯シマシテ、非常ニ重大ナ點デアリマスノデ、後刻私ノ順位ノ際ニ深ク御質問致シマスガ、唯米穀局長ノ答辯ノ中デ、此ノ點ハ是非トモ確カメテ置カナケレバナラヌデアリマスガ、第四條ノ「配給統制上必要ナル命令」ハ米穀買入若クハ賣渡又ハ其ノ代理若クハ媒介ヲ爲ス者ニ對シテ發シ得ルノデアツテ、生産者ニ及バナイモノダト思フノデアアルガ、若シ賣渡ヲ爲ス者ト云フ中ニ、生産者ヲ含ムナラバ第一條モヤハリ賣渡ト云フコトガアルノデアリマシテ、米ノ生産者ガ全部政府ノ許可ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナリマシテ、甚ダ不都合ナコトニナルト思フ、此ノ第四條ノ命令ノ及ビ得ル範圍

ニ付テ、正確ナル御答辯ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 此ノ第四條ノ命令ノ發動ニ付キマシテハ、大體ニ於テ配給ヲ業トスル者ニ就キマシテ、第一ノ目標ヲ以テ居リマス、之ニ依リマシテ大體ノ目的ヲ達シ得ルカト思ヒマスガ、唯極端ナ場合ヲ想像致シマシタ場合ニ於キマシテハ、單ニ業トシテ買入、賣渡、又ハ其ノ代理等ノコトヲスル者ダケニ止ルコトガ出来ナイ場合ガアルカト思ヒマシテ、特ニ法文ニ於テ之ヲ爲ス者ト云フヤウニ書キマシタ、是ハ極端ナル場合ニ於テハ、只今ノヤウナ或ハ地主ナリ、サウ云フ者ニ對シテモ出来ルコトヲ豫想ハ致シテ居リマスガ、併シ大體此ノ法律ノ目的ハ、配給ヲ業トスル者ニ就テ考ヘテ居ルノデゴザイマス、只今御話ノ第一條ト如何ナル關係ガアルカト云フコトデアリマスガ、第一條ノ關係ニ付テハ、特ニソレヲ繼續的ニ業務トシテ行フ者ト云フヤウナ意味合ニ於テ、其ノ方ニハ入レテ居ラナイデアリマス、此ノ條文ノ字句ヲ使ヒ分ケテ居リマス點ハ左様ナコトデアリマス

○鹽井委員 一寸關聯シテ……只今西川君ガ質問シタ事ニ對シテ政府委員ノ答辯ガアツタデアリマスガ、ドウモハツキリ致サナイデアリマス、河野君ノ御質問ノ要旨ハ生産者、所謂農民デアリマスガ、農民ガ自分ガ値段ノ高低ニ鑑ミテ、藏トカ倉庫ノ中ニ貯藏シテ居ル米ヲ、政府ガ必要ナ場合ニ農民カラ一種ノ強制的ニ買上ゲル權利ガアルカナイカ、又買上ゲル命令ヲ爲シ得ルカドウカト云フ事ニ付テ、農林大臣ハ爲シ得ルノダト云フ、サウスルトドノ條文デナスカト云フコトニナツテ、第

四條ヲ爲シ得ル、サウスルト四條ノ買入、賣渡又ハ其ノ代理若クハ媒介ト云フコトハ、ソレヲ業ト爲ス者ト云フノガ原則デアルト思フ、ソレデ一般ノ生産者カラ政府ガ米ヲ必要ノ時ニ全部買上ゲルト云フノハ、是ハ殆ド電力國家管理案ト同ジ性質ニナリマシテ、法ノ性質ガ全然變ハルヤウニナリハセヌカ、一般ノ生産者カラ必要ナ場合ニ政府ガ米ヲ出セト、言フダケ出ナケレバナラヌト云フコトニナルト、此ノ法律ハ一種ノ國家管理案ノヤウナ形ニナツテ、配給ノ統制其ノ他ヲ圓滑ナラシメ、其ノ他色々ナ投機ノ目的ニシナイト云フコトガ、此ノ法案ノ骨子デアアルカラ出セト云フコトノ權限ハ、本案ニハナイノチヤナイカ又第四條ヲ拜見致シテ見マシテモ、此ノ第四條ノ賣渡ト云フ文字ガ、生産者ノ意味デアアルカドウカ、是ハドウシテモ生産者チヤナイダラウト思フノデス、サウスルト第四條ニハ何處ニモサウ云フ生産者カラ米ヲ政府ガ必要ナル時ニ買上ゲルト云フヤウナ規定ハナイデアアツテ、別ノ規定ガ設ケラレテアルナライザ知ラズ、ソレデナイト私ハ本案ハ、政府委員ノ御説明デハ、第一條ト第四條ガ違フヤウニ言ハレタノダガ、是ハ私ハ違ハナイノダ、法律上ノ解釋カラ見テモ一條ノ賣渡モ四條ノ賣渡モ同ジダ、斯ウ私ハ解釋シナケレバナラヌト思フ、サウスルトソレデモ尙ホ政府ハ生産者カラ直グ買上ゲル權利ヲ持ツト云フコトニナルト、此ノ法案ノ根本ガ私ハ變ハル意味ニナリハセヌカト云フコトヲ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點チハツキリシテ戴キタイト思フノデス

○櫻内國務大臣 第一條ハ御覽ノ通り「媒介ノ業務ヲ行ハントスル者」ト、斯ウ書イテアルデアリマス、第四條ニ「買入若ハ賣渡又ハ其ノ代理若ハ媒介ヲ爲ス者ニ對シ」ト書イテアルデアリマス、即チ一ハ業務デアリ、一ハ業務デナク、ソレヲ買入又ハ賣渡ヲ爲ス者デアリマス、農家ニ於カレテ其ノ家庭ニ於テ使ハレル米ハ、無論賣渡スベキモノデアナイデアリマスカラ、之ニ對シテ賣渡ヲシロト云フコトノ命令ハ出来マセヌ、又政府ガ買入ヲスルト云フコトハ、此處ニハ何モナイデアリマス、唯米ヲ買入レテ貯メテ居ル者、若クハ米ヲ貯藏シテ居ル者ニ、對シテ米ヲ賣却スベシ、即チ餘ツタ米ヲ貯藏シテ居ル人ニ對シテ賣却スベシト云フ命令ハ爲シ得ルデアリマス

○吉植委員 一寸關聯シテ……農林大臣ハ河野君ノ質問ニ對スル御答辯ノ中デ、中央市場テ最高價格以內テ賣買サレテ居リマス時ニ、市場外ニ於テソレヨリ高イ相場テ賣買ガ行レル答ハナイ、若シ左様ナ事ニナレバ買ヒタイ人ガ中央市場ニ來テ安イ米ヲ買フカラ、左様ナ心配ハナイト仰シヤイマシタガ、是ハ机ノ上ノ議論カラ言ヒマスト左様ナリマスガ、實際ハサウハ參リマセヌ、私ノ勘定ニ依リマス、少クモヤハリ自分ノ體験デアリマシテ、自分ノ所在地ヲ標準トシテ申上ゲマスガ、私ノ所ハ東京カラ約十里デアリマス、勿論其ノ市場ハ東京ニアリマスガ、サウシマスト私ノ方カラ東京ニ持出シマス、而モ私ノ所在ハ停車場カラ一里位、是モ普通農村ヲ平均シマシタラ停車場カラ其ノ家マデ一里ハ距離ガ短カ過ギルカモ知レマセヌ、モツト多ク一里半位ノ半徑ヲ豫想スルノガ本當カモ知レマセヌガ、

先ヅ一里、サウシマスト之ヲ自宅カラ停車場マデ持出スノニ一俵十錢掛カリマス、又停車場テ貨車積卸シニ對シテ一俵二錢掛カル、ソレカラ貨車ニ乗セマシテ東京ノ「レール」渡シニシマシテモ是ガ八錢掛カル、合計二十錢掛カル、サウシマスト是ハ一石五十錢、此ノ一石五十錢ノ經費ヲ掛ケテ東京ノ中央市場テ私共ガ賣リマス際ニハ、東京ノ相場ガ例ヘバ三十五圓四十錢デ、最高價格ニ近致シマシテモ三十四圓九十錢ノ手取ニナリマス所ガ之ヲ今度地元テ約一圓近ク高ク賣ル者デ出マシタ際ニ、之ハサウ云フ値段テ買フノ損デアアルカラ東京市場ニ行ツテ買ツテ來イト云ツテ、東京市場ヘ買出シニ出マス、サウシマスト逆ニ是ダケノ經費ガ掛カリマス、私ガ先程申シマシタヤウニ一俵ニ付テ少クトモ五十錢掛カル、是ハドウシテモ動カスコトガ出来ナイ、ソレデスカラ其ノ地元ニ於キマシテハ他ノ條件ヲ抜キニシマシテモ、ドウシテモ四十錢ヤ五十錢ハ高ク取引ガセラレテ居ルヤウナ状態デゴザイマス、是ハアリ得ルノデゴザイマス現在モ地方ニ依ツテ今ノ最高價格ヲ突破致シマシタ賣買ガ盛ニ行ハレテ居リマス、是ハ實情ヲ御調査ニナルト分リマスガ、斯ウ云フコトガ行ハレルノデアリマスカラ、其ノ所謂取引ニ對シテドウ云フコトニナリマスカ、河野君ノ御質問ハ斯様ナ御趣意ト私思ツテ居リマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ願ヒマス

○櫻内國務大臣 今吉植君ノ御質問ノ、例ヘテ言ヘバ千葉ノ附近ニ於テ、東京ノ最高價格ガ三十五圓四十錢デアアル、三十五圓四十錢ノ米ヲ買ツテ自分ノ居所ヘ持ツテ行クト、ソレガ三十五圓九十錢ニナル、ソレチ其ノ地方テ買ヘバ三十五圓七十錢デニ

十錢安イモノガ買ヘル、是ハアリ得ルコトダト思フノデアリマス、是ハドウモ當然アリ得ルコトデアツテ、ソレハ不法テモ何デモナク、東京ノ市場ヲ買ツテ「トラツク」ニ積ンテ持ツテ行ケバヤハリ金ガ掛カリマスカラ、ソレガ不法ダト言ツテ取締ルベキモノデモナケレバ咎ムベキモノデモナイト思ヒマス、又逆ニ地方ノ方ガ東京へ持ツテ來テ賣ルト、三十五圓四十錢ヲ賣レルケレドモ、五十錢費用ガ掛カルカラ、自分ノ所アレヨリモ安ク賣ツタ方ガ宜イト云フノデ、三十五圓四十錢ノ所ガ手取ガ三十四圓九十錢ニナルカラ、三十五圓ア其ノ土地テ賣ル、斯ウ云フ事柄ハ私ハアリ得ルト思フ、併シナガラ其ノ運賃、運搬手數料其ノ他ヲ換算シタ以上ニナル上値ト云フモノハ、私ハ大體ニ於テナイダラウ、斯様ニ信ズルデアリマス

(下略)
午後三時一分散會

昭和十四年三月九日
午前十時二十分開議

○添田委員長 ソレデハ昨日ニ引續イテ是カラ會議ヲ開キマス
○河野委員 ……事務當局ニ御尋致シマスガ、昨日私ガ御尋致シマシタ米穀市場ニ於テ、此ノ法案ガ實施セラレマスト、最高價格、若クハ最低價格ニ準據シタ所ノ勅令ニ依ツテ定メラレタル價格以上、若クハ以下ノ取引ヲ許サスト云フコトニナリマスノデ、例ヘバ最高價格ニ相成リマシタ際、買方ガ非常ニ多

キマシテハ、今御話ノヤウニ立會停止ヲ致シマス場合モアリマセウガ、尙他ノ方法ニ依リマシテ市場ヘノ出荷ト云フコトモ、導キ得ルヤウナ行政手段ヲ講ジテ行キ得ル場合ニ於キマシテハ必ズシモ立會停止ヲ爲ス必要ハナカラウカト考ヘテ居リマス
○河野委員 是ガ株式デアリマストカ、綿絲生絲ト云フヤウナモノデナク、國民ノ生活必需品、一日モ是レ無シニハ濟マサレヌト云フ米ニ於テ、唯單ニ立會停止ト云フヤウナコトガドウ云フ影響ヲ及ボスカト云フコトハ、重大ナル問題デアリマシテ、是ハ唯立會停止ヲヤツテ人氣ノ落著クノ待タウトカ何トカ云フヤウナコトハ、斷ジテ許サレヌ、又サウ致シタ場合ニ、是ガ小賣價格等ニドウ云フ影響ヲ及ボスカ、天災地變ニ因ル所ノ消費地ノ品不クナラバ、是ハ先ヅ忍ブベカラザルテ忍バナケレバナラヌト云フコトモアリマスケレドモ、市場操作ノ關係カラ新ウ云フ結果ヲ招來スルト云フ事ハ、吾々トシテハドウシテモ之ヲ默視スル譯ニハ行キマセヌ、又今御述ノヤウニ別ノ方法ニ依ツテト云フコトデアリマスガ、其ノ考ヘ得ル別ノ方法トハ、第四條ニ依ル所ノ勅令デアラウト思ヒマスケレドモ、其ノ第四條三依ツテ命令ヲ致シマシテモ、例ヘバ其ノ市場ニ賣惜ミヲシテ居ル者、若クハ賣控ヘテシテ居ル者ニハ、賣レドモ命令ハ出セルデアリマセウガ、其ノ市場ニ向ケテ品物ヲ出セト云フ命令權ハ、第四條ニ依ツテモ無カラウト思フ、此ノ點ハ如何デアリマスカ
○松村政府委員 是ハ單ニ此ノ配給統制法バカリヲ見テ論ジマスレバ、御話ノ通りテゴザイマスガ、是ト併セテ姉妹法規デア

イト云フ際ニ之ニ應ズル賣方ノ無カツタ場合ニハ、是ハ如何ニシテ決定サレルカ、吾々ノ取引行政ノ常識ヲ以テスレバ、買方ガ多ク賣方ガ少イ場合、例ヘバソレガ餘リニ暴騰シマス時ニハ立會停止ト云フコトモアリマス、併シ此ノ法律ノ概念ニ依リマスト、サウ云フ場合ニハ常ニ立會停止ニナルモノカ、假令一部分デアルニシロ買方ニ對シテ賣方ノアリマス場合ニハ、順次ニテ受渡ヲサセルヤウニスルモノカ、其ノ點ハ、而モ其ノ順位ハ如何ニシテ決定スルカ、此ノ點ハドウナリマスカ

○周東政府委員 御答ヲ申上ゲマス、御話ノヤウナ場合ガ起リマシテ、賣方ト買方トノ間ニ於ケル數量等ニ付テ經マリガ付キマセヌヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ハ一部其ノ受渡ヲ、對等ノ數量ニ於テ賣買ヲ許シマスガ、或ハ又御話ノヤウニ、ヤハリ極端ナ場合ニナリマスレバ、立會停止ト云フコトモ考ヘテ居リマス

○河野委員 サウシマス、最高價格ニナツタ場合ハ、常ニ立會停止ニナル、又今御話ノヤウニ、一部其ノ取引ヲ成立サセルト云フコトニナリマス、其ノ順位決定ノ方法ハドウ云フコトニナリマスカ

○周東政府委員 ソレハ市場ニ於ケル價格ト申シマシテモ、最高價格ト最低價格トノ間ニ於テ、其ノ市場ニ於テ定メラレタ價格ニ準據シテ取引スルノデアリマスカラ、其ノ範圍内、ソレ以上ニ著致シマシタ場合ニ於キマシテ、ドウシテモ賣方ト買方トノ間ニ於テ數量ガ經マリマセヌ場合ニ於テ、市場ノ氣配等ニ依リマシテ、市場ヲ開イテ居ルコトガ不適當デアルト云フ場合ニ於リマス米穀統制法、自治管理案、是ト此ノ配給統制法トチ三ツ併セテ御考下サイマシタナラバ最高價格ニブツカツテ、サウシテ其ノ供給ガ足ラナイト云フヤウナ場合ガアリマシタナラバ、其ノ最高價格ニブツカル時ハ、即チ米穀統制法ノ賣渡ノ發動スル時デゴザイマスカラ、統制法ニ依ル米ノアリマス範圍ニ於キマシテハ、大體米ガ不足スルト云フ御心配ハアリマセヌ、隨テ是ト統制法ト併セテ運用シマシタナラバ、御心配ノヤウナ場合ハ緩和サレテ來ルコトト思フデアリマス

(中略)

○河野委員 ……政府ガ考ヘラレル配給不圓滑ニナツタ場合、サウ云フ風ナ事情ガ、私ガ申上ケタヤウニ市場ニ起ツタ時ニハドウスルカト云フコトデ、今御尋シタデアリマス、サウ云フ場合ニハ賣手ト買手トノ手ガ合ハナイノチヤナイカ、合ハナカツタ場合ニハドウナルカト云フコトチ申上ゲタノデアリマス而モ其ノ場合ニ四條ノ發動ニ依ツテ、米ヲ賣リ控ヘテ居ルモノヲ賣レト云フ命令ヲ出サレルノデアリマセウガ、其ノ米ヲドツチヘ廻セト云フコトノ命令マデ出來ルノカドウカ、廻シタ場合ニ、其ノ運賃、諸掛リ、ソレニ依ツテ生ズル所ノ例ヘバ利害計算ト云フヤウナモノノ負擔ハ、誰ガスルコトニナルノデアアルカト云フコトニ付テ、御尋シタイノデアリマス

○周東政府委員 只今ノ御質問デアリマスガ、御話ノヤウナ場合ニ於キマシテモ、私共ノ法案ニ依リマシテハ、大體地方ニ於キマシテ相當數量ノ取扱ヲ爲ス米穀商其ノ他ヲ市場員ニ致シ、ソレ等ノ取扱フ米ニ付キマシテハ、原則トシテ市場ニ集中セシ

メヤウト云フコトが一ツあり、サウシテ市場ニ於キマス取引ニ付キマシテハ、只今考へテ居リマスヤウナ價格ノ範圍内デノ取引ヲサセテ行カウ、斯ウ云フコトヲ考へテ居リマスノデ、大體ニ於キマシテ御承知ノヤウニ市場ニ於キマス價格ト云フモノガ市場外ニ於キマス不動ノ立場ニ立ツコトハ、現在モ同様デアリマス、ソレヲ此タビハ只今申上ゲタヤウナ方法ニ依リマシテ米ノ相當數量管外ノ實米ノ相當數量ヲ市場ヲ通シテ出セルヤウニシ、其ノ價格ヲ本法ニ規定シタヤウナ範圍内デ取引サセルト云フコトニナリマスノデ、大體サウ云フ市場ノ價格ニ依リマシテ市場外ノ價格モ指導サレテ行クト考へテ居リマス、隨ヒマシテ其ノ趣旨カラ致シマス、場外ニ於キマス取引ニ付キマシテモ、價格以上ノ取引ト云フモノハサセナイ方針デ居リマス、併シナガラ實際ノ場合ニ於キマシテ、賣ツテアルモノガ、非常ナ弊害デモ起ラナイ限り、ソレ等ニ對シテノ價格ノ公定ト云フ抑へ方ノ取締ヲ發動スルカ否カト云フコトハ、場合ニ依ツテ違ヒマセウガ、精神ト致シマシテハ、場外ニ於キマシテモ公定價格以上ノ取引ハサセナイヤウニシテ行ク積リデアリマス、先程ノヤウナ極端ナ場合ガサウ度々起ルモノトハ考へテ居リマセヌ、併シサウ云フ場合ガ理論的ニ起ツタ場合ニドウスルカ、サウ云フ御尋ニ對シマシテハドウシテモ市場ニ於ケル取引ガ合致シナイ、サウシテ裏ニ、市場外ノ取引ニ付テ困難ナ事情ガ起ルト云フ場合ニ付キマシテハ、第四條ニ依リマシテ或ハ販賣先ト云フモノニ付テ命令ガ出來ルヤウニ、私共ハ考へテ居リマス、殊ニソレニ對シマシテハ町村等ノ自治的方面ト協力致シマシテ販

賣先ヲ規定シテ、其ノ方面へ出荷セシメルヤウニシテ行カウ、斯様ニ考へテ居リマス

○河野委員 …………… 配給ノ圓滑ヲ價格ノ適正ヲ期スルト云フコトガ、本法ノ二大眼目デアアルヤウニ御説明モアリ、吾々モサウ了承スル、ソコテ配給ノ圓滑ヲ期スルト云フコトハ、何處マデモ四條ノ施行ト云フコトニ結論付ケララダラウト思フ、若シモ配給不圓滑ニナリ、偏在シ、賣惜ミ賣控ヘガ起ツタ場合ニハ四條ノ發動ニ依ツテ是ガ適正ニ施行セラレ、運用セラレルヤウニナルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、ソレ以外ニ此ノ法律ノ中テ所謂眼目ノ一ツデアリマス所ノ配給ノ圓滑ト云フコトニ對スル操作ノ對象トナルヤウナ條文ガアルノデアリマセウカ、ナイノデアリマセウカ

○櫻内國務大臣 只今河野君ノ御話ノ第四條ノ發動ハ、極メテ特異ノ場合デアリマシテ、……………御承知ノ通り賣買關係ト云フモノハ時ニ意外ナ關係ガ起ツテ、米穀ノ偏在ガ起リ、若クハ賣惜、或ハ買込、買溜、斯ウ云フヤウナ事柄ガ起ル爲ニ、市場ニ於テ米穀ノ不足ヲ來シテ、異常ナル結果ヲ招クヤウナ場合ニ於テハ、此ノ第四條ノ發動ト云フコトガ起ツテ來ル譯デアリマス、其ノ以外ニ於キマシテハ御承知ノ通り、市場ニ於テ最高最低ノ範圍内ニ於テ取引ヲセシメマシテ、サウシテ大體ニ於テ米價ノ安定ヲ期スル、而シテ一面ニ於テ米穀取扱業者ヲ十分ニ指導致シマシテ、其ノ米穀ノ配給ヲ期シタイ、斯ウ云フコトガ眼目ニナツテ居ル譯デアリマス

○河野委員 …………… 第三條ニ依ツテ「公益ヲ害シ若クハ害ス

ル慮アリト認ムルトキハ」云々ト云フコトガアリマス、是ハ要スルニ賣控デアリマスルトカ、賣惜デアリマスルトカ、買占デアリマスルトカ、何レニ致シマシテモ、サウ云フヤウナ場合ニ公益ヲ害ストカ若クハ害スル慮ガアルト云フヤウナコトニナルノデアリマセウケレドモ、其ノ場合ニドウノ程度ノ價格ニナリマスマテ持ツテ居ツタナラバ、公益ヲ害スルト云フコトニ見ラレルノデアリマセウカ、若クハ價格ヲ無視シテ唯數量的ニ取極メタ場合ニ、公益ヲ害スルト云フコトニナルノカ、此ノ點ハ如何デアリマスガ、モウ少シ具體的ニ申シマセバ、第七條ト關係ガアリマスガ、此ノ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制法第二條ノ最高最低價格ニ準據シテ、市場取引ノ最高最低價格ハ決定サレル、其ノ場合ニソレニ更ニ準據シテ小賣價格ト云フモノモ、大體想定シ得ル公定價格ト云フモノガ、決定サレルダラウト思フ所ガ賣惜トカ賣控トカ云フモノハ、其ノ價格ニ達スルマデハ持ツテ居ツテ宜イノデハナイカト私ハ思フノデアリマスガ、當局ノ御豫定ハドウ云フコトニナツテ居リマス

○周東政府委員 大體ノ御話ノ通りデアラウト思ヒマス、今ノ御話ノヤウニ大體市場ニ於ケル價格ガ決メラレテ、必要ナ場合ニ小賣或ハ問屋等ニ關スル公定値ヲ決メルヤウナ必要ガアリマシタ時ニ決メタト云フヤウナ場合ニ於テ、尙ホ此ノ價格ヲ賣出サナイト云フヤウナ關係ガ起リマスレバ、自ラ第三條ノ規定ノ發動ガアリ得ル、斯様ナコトニナルノデアリマス

(中略)

○河野委員 …………… 配給ノ圓滑ヲ期スルト云フ上ニ於テ、現

行ノ實米取引市場ト云フモノヲ米穀會社ニ編制替テセラレル必要ト云フモノガ、ドウ云フ點ニ於テ考へ得ルデアラウカ、此ノ法ニ依ツテ作ラレル米穀會社ガ出來ル出來ヌト云フコトト、配給ノ圓滑ヲ期スルト云フコトトノ間ニ、大シテ關係ガナイヤウニ吾々ハ考ヘラレルノデアリマスケレドモ、當局ノ御考ハドウ云フコトデアリマセウカ、一ツ御示ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 御答致シマスガ、私共ノ考へテ居リマス一ツノ點ハ、現在ノ現物市場ハ御承知ノヤウニ、其處ノ中デ實米取引ニ當ルモノ、ソレカラ延取引ニ當ルモノ、未著物取引ニ當ルモノト云フヤウナ各種ノ取引ヲ致シテ居リマスガ、此ノ中實米ノ取引ダケテ約三百萬石取扱ハレテ居ルノデアリマスガ、其ノ他ノ未著物取引或ハ延べ物ハ色々ノ形態ニ於テ行ハレテ居リマスガ、殆ド正米ノ市場等ニ於キマシテハ行ハレズシテ、主トシテ場外テ自由ニ行ハレテ居ル譯デ、是等ノ點ガ可ナリ實際ノ米價ノ形成ニ於キマシテモ妨ガアリ、或ハ公正ナ價格ノ決定ニ障礙ガアルト考ヘラレルノデアリマス、隨ヒマシテ私共ノ企圖致シテ居リマスル新シイ市場ニ於キマシテ、實米ヲ集中セシメル、其處ニ實米ノ相當數量ノ集中ニ依リマシテ適正ナ價格ヲ構成サセルト云フコトカラ行キマス、ドウシテモ是等ノ從來現物市場、正米市場ニ於キマシテ、外ニ流レテ居リマス延べノ分、或ハ未著ノ分ト云フヤウナモノモ、出來ルダケ集中セシメテ行クコトガ、此ノ價格ノ適正ヲ期スル上ニ於キマシテモ、實需ノ數量ヲ集メマス上ニ於テモ、非常ニ適當デアアル、斯様ニ考へテ其ノ點ニ付キマシテ配給ノ圓滑ヲ圖ル一ツノ狙ヒドコロ

ナ作ツテ居ル譯デアリマス

(中略)

○河野委員 極ク簡單ニモウ一點伺ツテ見タイ、其ノ市場員ト云フノハ、法律テオ前市場員ニナレト云フコトヲ命令サレテ、命令ヲ受ケタ者ハ市場員ニナラナケレバナラヌト云フコトニナツテ來ルノデスカ

○周東政府委員 法規ノ上ニ於キマシテ命令ヲ爲シ得ルヤウニハナツテ居リマセヌ、併シナガラ是ハ大體ニ於キマシテ本法制定ノ趣旨ニ盡ミマシテ、有力ナ米ノ取扱業者ニ對シテ、市場員トナルヤウ協力ヲ求メル積リデアリマス

○河野委員 ……此ノ程度ノ法律テ會社ノヤリ方デ——專賣デアリマセヌ以上ハ、米ノ取引ハ免許制ニハナリマシテモ、取引ノ形態ハ自由デアラウト思フ、サウスレバ市場ニ持ツテ行カウト行クマイト、其ノ本人ノ勝手デアリマス、自由デアリマス、商賣デアル以上ハ利ノ乗ル方ハ賣ルコトハ當然デアラウト思フ、又ハ原則トシテ量ノ少イ方面、値段ノ高イ方面ハ賣ツテ行クト云フコトハ、勝手ダラウト思フ、例ハバ市場員ニシテ、市場ハ澤山出サセルヤウニスルト仰セニナリマスケレドモ、自分ガ市場員ニナツテモ、ソレハヤリ方デ、會社ノ立テ方トカ店ノ立テ方ト三通リ三通リニシテ置イテ、一ツノ店ノ立テ方トカ市場員トナリ、別ノ店ノ立テ方トカ別ノ方ノ取引ヲヤルト云フコトモ、想定シ得ルデアリマスカラ、市場員ニナツタ者ハ、市場ヲ通ジナケレバ賣買出來ヌト云フコトニナツテ居リマシテモ、此ノ程度ノコトテ束縛出來ルカドウカハ疑問ダラウト思フ、ソ

キマシテ私共ノ方ニ於キマシテハ、市場員ノ取扱ヲ市場ニ集中セシムルト云フコトヲ一面ニ考ヘテ居リマス、同時ニ之ニ並行シテ價格ヲ本法ニ定メテ居リマスルヤウナ價格デ、市場ノ取引ヲ利用シテ行クト云フ兩方ノ建前ニ依ツテ考ヘテ居リマスノデ是等ノ操作ガ完全ニ參リマスレバ、例外的ニ場外ニ於テ取引サレルモノモ、今御話ノヤウニ其ノ市場ニ於ケル價格ニ依ツテ取引サレテ行クコトニナレバ、是ハヤハリ配給ノ圓滑ヲ企圖シテ居ル本法ノ目的ニ適フ所以デアラウト考ヘテ居ルデアリマス

○河野委員 サウ云フヤウナ程度ノコトナラバ、現在ノ實米取引市場ト此ノ會社ト、チツトモ違ヒハナイノデハナイカト私ハ思フ、現在ノ實米取引市場チ多少整備改善スルナラ改善チシテ例ハバ深川ト神田川ト之ヲ適當ニ商工省ノ御斡旋デ一ツニサセルトカ、合併サセルトカ云フヤウナ程度デ十分デアツテ、大阪ハ大阪、何處ハ何處デ、ソレソレ必要ノ場所ニ作レバ宜シイノデアツテ、何モ之ヲ大日本米穀株式會社ト云フ様ナ事デ、全國一圓ニシタ一會社デナケレバナラヌト云フヤウナ結論ニハナツテ來ヌ、サウ云フヤウナ結論ニナツタ場合ニ、此ノ米穀株式會社アルガ故ニト云フ事ト、給配ノ圓滑ト云フコトト關係ハナイ唯ソコニハ適當ナ出來得ル程度ノ米ガ來テ、サウシテソレガ取引サレト云フダケノコトデアルト、私ハ想定出來ルト思フ、此ノ實米取引市場ニ掛ケタ方ガ米ガ旨ク賣レル、賣ル事ニ便利ダト云フ事ナラバ、現在ノ實米取引市場ニ、モット米ガ掛ル管デアリマス、所ガ現在ノ正米取引市場ニ米ガ餘リ掛ラヌノハ、ソシナコトヲシナクテモ宜シイ、或ハ相場ガ決マル程度デ宜シ

レハヤリ方ハアルダラウト思フ、米ニシロ總テ商品ハ流レル方ヘ向ツテ流レルノデアツテ、ソレチ人爲的ニ斯ウ向ケテ流サウトカ、アア向ケテ流サウトカ仰シヤツテモ、サウ流レルモノデハナカラウト思フ、自ラ算盤ノ合フ方ヘ向ツテ流レルト思フ、低キニ向ツテ就クノデアツテ、オ役人サンガアア行クダラウ、斯ウ行クダラウト思ツテモ、中々サウ行クモノデハナイト思フ何處マデモ原則ニ從ツテ此ノ動キハ動イテ行クノデアツテ、人爲的ニヤツテイツテモ、第四條デモ發動シテビシヤト行ケバ別デスケレドモ、サウデナイ限りハ中々サウ行クモノデナイト思フ、隨テ今想定サレテ居ルヤウナ風ニ、米穀市場ニ米ガ行クカ行カヌカト云フコトハ、非常ニ疑問ガアリマス、隨テ面倒ナ、サウ云フ所デア取引チシナクテモ、市場ニ於テ價格ガ決ツテ居レバ、何モ市場ヲ通ジテ取引チスル必要ハナイ、相對取引十分デアリマス、而モソレガ最高トカ最低トカ云フヤウナ、以外ノ取引デアリマスナラバ別デスケレドモ、其ノ範圍内ノ取引デアリマス限り相對取引十分デアリマス、實米ニ關スル限りソレ十分ダラウト思フ、サウスレバ現在ノ實米市場ト大シタ違ヒハナカラウト私ハ想定サレルデアリマス、是アルガ故ニ配給ガ圓滑ニナルト云フヤウナコトハ一寸想像ガ出來ヌノデハナカラウト私ハ思ヒマス、是ハ意見ノ相違ニナレバ已ムチ得マセヌケレドモ、ソレ等ノ點ニ付テ更ニモウ少シ御考ヲ承ツテ見タイト思ヒマス

○周東政府委員 其ノ點ハ今御話ノ中ニ出テ居リマシタヤウニ私共ノ方デモ兩面カラ參ル積リデアリマス、大體米ノ需給ニ付

イ、偶々ソコヘ賣ツタ方ガ便利ダト云フ數量ダケシカ行カナイ後ハソレニ準據シテ此ノ程度ノ相場ヲ結構ダラウト云フ事デ全體ノ人氣ガ集ツテ、正米市場ノ相場ガ出來ル、其ノ人氣ニ依ツテ全國ノ取引ガ出來ル、此ノ觀念以外ニハ私ハ出テヌ物ダト思フ、ソレヲ殊更ニ法律テ會社ヲ作ツテ、ソレニ市場ヲ經營サシタカラト云ツテ、其ノ市場ガアルガ故ニ配給ガ圓滑ニナリ、價格ガ公正ニナルト云フ事ニハ考ヘクイノデアリマス……

○周東政府委員 其ノ點ハ此度ノ法律ニ於キマシテハ、市場ノ經營者、市場ノ開設者ト云フモノヲ單一ノ經營主體ニ、一元的ニ統制スルト云フコトニ一ツノ眼目ガアル、而シテ此ノ單一ノ經營主體アル會社ガ、市場ノ操作ニ付キマシテモ可ナリ支配力ヲ持ツテ居ル、從來ノヤウナ各經營主體ガ、區々ニ其ノ地方ノ事情ニ應ジテ動イテ居ル場合ト、餘程其ノ點ハ違ツテ來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、此ノ點ハ現在ノ實物市場ノ行キ方ト違フト思ヒマス、之ニ加フルニ先程申上ゲマシタヤウナ操作ニ依リマシテ、價格ノ適正ヲ期シ、配給ノ圓滑ヲ期スルトガ出來ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○河野委員 市場操作チ此ノ會社ガヤルト仰シヤイマスガ、ソレハドウ云フ風ナコトヲドウ云フ風ナ程度デアオヤリニナルノカ具體的ニ御示シテ願ヒタイ

○周東政府委員 是ハ此ノ會社ノ市場員ニ對スル色々ノ自治的ナ規定、例ハバ業務規定或ハ市場員ニ對スル會社ノ特殊ナ場合ニ於ケル指導權等ヲ通ジマシテ、市場ノ操作ハ出來ルト思ツテ居リマス

○河野委員 是ハ非常ニ重大ナ點デアリマスカラ、モウ少シ具體的ニ御説明ガ願ヒタイ、若シ取引所ガ主體トナリ、政府ガ之ヲ指導シテ是ガ市場ヲ操作スル、市價ヲ操作スルト云フコトニナリマスレバ、必ズシモノソレガ公正ナル價格ハ期シ得ラレヌト云フ風ニ吾々ハ考ヘルデアリマスガ、モウ少シ具體的ニ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 其ノ點ハ常ニ會社ガ市場員等ニ付テ行爲ヲ致シマス場合ニ於キマシテハ、政府ノ指導監督ノ下ニ動ク譯デアリマスカラ、別ニ弊害ハ起ラヌト斯様ニ考ヘテ居リマス

○河野委員 其ノ政府ノ監督ニモ私ハ疑義ヲ持ツデアリマス政府ガ監督スレバ何デモ巧ク行クナラバ、今度ノ絹布ノ問題ノヤウナコトハ起ラヌ……吾々ハ法ノ範圍内ニ於テ政府ニ監督ヲ委託スルデアツテ、政府ガ監督スルカラサウハナリ得ヌト云フコトデ、満足スル者デアリマセヌ……荷モ公正ナ價格ト云フモノハ需給ノ關係ニ依ツテ生マレルデアツテ、ソレハ萬々一最高價格ヲ突破スルトカ、最低價格ヲ云々スルトカト云フヤウナ場合ニ於テノミ、サウ云フコトハ考ヘ得ル、不

斷ノ場合ニ於テ其ノ價格ヲ公正適正ニスル、所謂人爲的ニ之ヲ操作スルト云フコトハ、斷ジテアツテハナラヌデアツテ、若シモ市場ニ於テ政府ガ之ヲ裏面カラ云々スルトコトニ依ツテ、米價ガ操作サレルト云フコトガアツタナラバ、吾々ハ是非非常ニ重大ナ問題ダト思フ、更ニ御明答ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 ……此ノ會社ハ別ニ直接米價ノ價格等ノ操作行爲ヲ直チニスル譯デアアリマセヌデア、常ニ政府ノ必要

或ハ政府ガ此ノ會社ヲシテヤラシメルコトガ適當デアルト思ヘバ、其ノ場合ニ限ツテ斯ウ云フ行爲ヲ爲サシメヨウト斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス

○河野委員 序ニ御尋致シテ置キマスガ、最高價格ヲ上廻ラントスル時ニ、若クハソレニ近い場合ニ、一般ガ政府ニ對シテ現在ノ米穀統制法ニ依ツテ、米ヲ政府ニ賣ツテ戴キタイト申込ヲ爲ス場合ニハ、一體現在ト其ノ關係ハ違ツテ參リマスカ、現在通りニ政府ハオヤリニナリマスカ、ドウデスカ

○周東政府委員 大體ソレハ現在通り考ヘテ居リマス

○河野委員 最低價格ノ場合ハドウデアリマスカ

○周東政府委員 是モ亦同様ニ考ヘテ居リマス

○河野委員 ……今御尋シテ居ルノハ、會社ガ配給ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ、ドウ云フヤウナ效力ガアルノカ、現在トチツトモ違ハヌチヤナイカト云フコトハ、不斷ノ場合ヲ主トシテ御尋ラシテ居ル、其ノ場合ニ御尋スルノニ不斷ノ場合ハ大シタ事ハナイガ、特別ノ場合ハ斯ウ云フ事ガアルノダト云フノナラバ特別ノ場合ト御答願ヒタイ、サウ云フ事ヲ分ケテ明瞭ニ度々諄クナツテ恐縮アスガ、ハツキリ御答願ヒタイ

○周東政府委員 平時ノ場合ニ於キマシテハ先ヅ現在ト大シタ違ヒハナイカト思ヒマスガ、但シ現在ノヤウニ國民ノ主要食糧品ヲ役機ノ對象ニスルコトハ、是ハ何處マデモ排除シテ參ル必要ガアルデアリマシテ、其ノ意味ニ於キマシテハ、ヤハリ本制度ニ依リマシテ、全國ノ取引所或ハ正米市場ノ經營ヲ單一ノ會社ニ歸一致シマシテ、其ノ經營スル中央市場ニ實米ヲ主トス

ナ場合ニ於テ政府ノ監督ノ下ニ、政府ノ命ヲ受ケタル場合ニ於テ、或ハ米穀ノ買入ヲ致シマス場合モゴザイマセウシ、或ハ販賣ヲ致ス場合モアルト云フコトヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレ等ヲ通ジマシテ會社ガ或ル場合ニ於テ間接ニ價格ノ操作ヲ致ス場合モアルト云フコトヲ、一寸説明ガ抜ケマシタノデ、誤解ヲ生ジマシタコトヲ御諒解願ヒマス

○河野委員 ……現行法ニ於テモ其ノ程度ノ政府ガ必要トスル市場ノ操作、市場ノ操作ト云フ言葉ハ當ルカ當ラヌカ知ラヌガ、ヤルコトハ同ジコトヲヤツテ居ル、唯ココデ考ヘ得ルコトハ此處ノ市場ノ相場ガ少シ面白クナイカラ賣ラセル、コツチノ市場ヲ買ハセルト云フコトガアリ得ルナラバ別ダト思フガ、サウ云フコトハ政府ハオヤリニナルノカナラヌノカ、之ヲ先ヅ一ツ御答願ヒタイ、今後政府ガ米ノ買換トカ買入トカチナサル場合ニハ、現在トドウ云フ風ニ違ツタ方法デアオヤリニナルノカ此ノ點モ併セテ御説明ヲ願ツテ置キタイ

○周東政府委員 大體ニ於キマシテ現在政府ガ米ノ買入ヲ爲シ又賣却ヲ致ス場合ニ、直接ノ變化ヲ與ヘルトハ思ツテ居リマセヌガ、必要ナ場合ニ於キマシテ政府ガ直接ニ一般市場カラ買上ゲマセヌデモ、特殊ナ會社等ニ命ジマシテ買ハセルト云フコトガ、適當デアルト思フ場合ニ於キマシテ、之ヲ行ハシメタイ、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマシテ、總テ將來ニ於テ政府ノ買上或ハ政府ノ所有米ノ賣却ニ付キマシテ、全部チ此ノ會社ニヤラセルト云フコトヲ直チニ考ヘテ居ル譯デアアリマセヌデア、場合々々ニ應ジマシテ、或ハ直接從來通り政府ガ出動スベキ場合

ル取引ヲ集中致サセマシテ、適正ナル價格ヲ構成スルデアリマス、同時ニ又一面本制度ニ依リマシテ、米穀買入賣渡等ヲ爲シマスル者ニ對シテ、許可制度ヲ設ケ、ソレ等ニ對シテ市場ニ於ケル價格構成、市場ニ於ケル動キニ順應セシメタル取引ヲサシテ行クコトニ於テ、現在ト違フト思ヒマス、更ニ是ガ段階ガ進ミマシテ御話ノヤウニ非常ニ米ノ需給ガ窮屈ニナツタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ハ政府ノ命ニ依リマシテ中央市場ノ經營者デアアル所ノ會社ニ對シテ、米ノ買上或ハ賣却ヲ爲サシムル場合モアリマセウシ、又サウ云フヤウナ場合ニ市場ニ於ケル價格ノ構成ニ付キマシテ、現實ニ供給ノ窮屈サカラ來ル特殊ナ事情ガ生ジマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ場合ニ於キマシテ第四條等ノ發動ガアリマシテ、勿論是モ必要ナ場合必要ナ人ニ對シテ適當ナル命令ノ發動ガナクテハナラヌト思ヒマスガ或ハ市場ニ向ツテ產地等カラ米ノ出廻ルヤウニ、仕向ケルコト等ニ付キマシテ命令ヲ致シマストカ、或ハ此ノ價格ノ各段階ニ於キマシテ賣買價格ノ公定ト云フヤウナ段階ニマテ入ルコトガアリ得ルカト思ヒマスガ、同時ニ此ノ免許ヲ受ケタル所ノ商人、或ハ免許ヲ受ケザル者ニ付キマシテモ、必要ナ場合ニソレニ應ジタ命令ヲ出シ得ル、斯ウ云フ風ニシテ萬全ヲ期シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

ノアスガ、此ノ法律ヲ見ルト、ドレテ一體集中サセルノカ、集中サセルヤウナ所ガ見付カラナイ、ソレトモウ一點ハ業者以外ニ、例ヘバ地主其ノ他ノ者ニ對シテ第四條ヲ發動サレル場合ニハ、其ノ對象トナルノハ大體ドノ程實ノ米ノ所有者——五俵持ツテ居ツテモ賣レト言フノカ、百俵持ツテ居ル者ニ賣レト言フノカ、千俵持ツテ居ル者ニ賣レト言フノカ、一體其ノ對象ハドノ程度ヲ對象トサレルノカ、ドウ云フヤウニ御考ニナツテ居ルノカ、更ニ進ンテ御尋スレバ、備荒儲蓄ト云フモノハ一體ドウナルノカ、是等ニ付テノ御答辯ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 市場ニ米ヲ集中セシメルト申上ゲマシタノハ先程申上ゲマシタヤウニ、何處マデモ一面ニ於テハ指導デアリマス、一面ニ於テキマシテハ市場員ト云フモノヲ免致シマスガ此ノ市場員ニナツテ者ニ付キマシテハ、其ノ賣買取引ニ付キマシテハ、之ヲ原則トシテ市場ヲ通ジテ行ハシメルト云フコトガ茲ニ出テ参リマス、先程ソレハ統制的ニ市場員ニサセルコトハ出來ナイチヤナイカト云フコトハ御尤デアリマスガ、是ハ何處マデモ本法制定ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、市場員ニナツテ貰フヤウニ協力ヲ求メルノデアリマス、而シテ市場員ニナリマシタ者ニ對シマシテハ、時トシテ市場ノ取引ヲサセルト云フ事柄ニ依リマシテ、市場ヘノ集中ヲ圖ツテ参リタイ、斯ウ云フコトデアリマス、ソレカラ第二點ノ、第四條ノ命令發動ノ場合ニ、所有米ヲドノ程度マデ持ツテ居ル者ニ對シテ命令ヲ爲スカ、斯ウ云フヤウナ御話デアリマスガ、是ハ一概ニ申上ゲルコトハ出來ナイト思ヒマス、其ノ時ノ事情ニ依リマシテ、需要地ニ於ケル米ノ

需要ノ總量ト云フヤウナモノ、ソレガ如何ナル地方カラ如何ナル狀況ニ依ツテ從來流サレテ居ルカ、而シテ是ハ非常ナ場合ニ於キマシテモ同様ニ、ドノ位ノ量ヲ最低限度ニ送ラナケレバナラヌカ、其ノ送ルニ付キマシテハ、大體販賣米トシテドノ位ヲテラヘ動クカ、又ハ從來ノ問屋等ガドノ位米ヲ販賣米トシテ取扱ツテ居ルカト云フヤウナ事柄ガ参考ニナリマシテ、サウ云フヤウナ極端ナ場合ニ於テ、ドノ位ノ數量ヲ出サセルコトガ必要デアルカト云フコトガ、自ラ決ツテ參ルカト思ヒマス、抽象的ニ何依以上持ツテ居ル者ニ對シテ命令スルトカ、何依以下ノ者ニ對シテハ命令ヲ發動シナイト云フコトハ、申上ゲ兼ネルト思ヒマス

○河野委員 ……只今ノ第四條ノ生産者ニ對スル發動ノ基準ハ、ドウカト云フコトニ付テハ、抽象的ナコトデアハ答ガ出來ヌト云フコトデアリマスガ、吾々ノ聽カントスル所ハ、最大限度ノ場合ニ、何處マデ其ノ命令ハ出ルカト云フコトヲ伺ツテ置キタイノデアリマス、第四條ノ發動ガ生産者ニ及ブト云フコトハ、不斷ノ場合ニハ、サウ云フコトハ有リ得ヌト云フコトヲ答辯ハ、大臣カラ度々伺ツテ居リマスノデ、先ヅ業者ニ及ビ、然ル後ニイケナケレバ生産者ニ及ブト云フコトノ大臣ノ答辯デアリマスノデ、吾々モサウ諒承シマス、併シ現在ノ實情ヲ見マスルト、先ヅ田舎ノ米屋サンデモ、ソナニ昔ノヤウニ米ヲ持ツカハナイ、銀行ガ又之ト一緒ニナツテヤルダケノ場合ガ少イヤウニモ吾々ハ考ヘル、サレバト云フ消費地ニモソナニ米ガダブ付イテ云々ト云フヤウナコトハ餘リアリマセヌノデ、是等

ノ點ハ割合ニ少カラウト思フ、ヤハリ斯ウ云フ第四條ノ發動ニ依ツテ期待セラレルヤウナ場合ハ、例ヘバ全販聯系統、産業組合系統ニ米ガアルトカ、地方ノ方ノ地主ニ米ガアルトカ云フヤウナ場合ガ多イノデアリマス、ソコデ、ソレニ向ツテ命令ヲ出サレル場合ニハ、一體ドノ程度マデヲ最大限ト考ヘテ居ラレカト云フコトガ、當然吾々トシテハ伺ツテ置キタイノデアリマス、是ハマダ案ガナイナラバ、速ニ相談シテ最大限ノ場合ニハ此ノ程度マデ考ヘテ居ルト云フコトヲ、地方ノ事情等モアリマスノデ、一ツ此ノ點ニ付テノ御考ヲ、御聽カセ願ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 此ノ第四條ノ發動ハ何處マデモ最初ハ米ノ配給業者ト云フモノヲ押ヘテ、第一段階ニ於テハ考ヘテ行ケバ宜シイノチヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス、而シテ第二段階ニ於キマシテ、今ノ御話ノヤウナ直接或ハ地主トカ生産者トカ云フヤウナ者ヘ參ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ餘程需給關係ニ窮屈ナ状態ガ起キタ場合デアリマスノデ、此ノ場合ニ於キマシテハ、ヤハリ其ノ時ノ事情ニ依ツテ餘程是ハ變ツテ參ルト思フノデアリマス、直チニ今全販聯等ニドノ位ノ程度ノ命令ヲスルカト云フコトハ、申上ゲ兼ネルノデアリマス、左様御諒承願ヒタイト思ヒマス

○河野委員 ……消費地ニ於キマスル賣買ハ何處マデモ此ノ法律ニ依ツテ決定セラレテ居ル所ノ最高價格以上ニハ、取引所ヲ通ジテハ賣レナイト云フ場合ニ、取引所ヲ通ゼズシテ賣レバ、此ノ販賣價格ヨリモ高ク賣リ得ル場合ガ想定サレル、サウ

云フ方面ニ大量デアリマセヌケレドモ、少量ヅツ賣コナシテ行クナラバ、最高價格上廻ツタ値段デ、而モ公正ナ價格デアアルコト出來ル……其處ニ賣レバ何ガシカノ利益ガアル、一俵ニ付テ五錢得カ十錢得カ、三錢得カ知ラヌケレドモ、得ニ賣レルト云フ場合ヲ想定シマスノデ、之ニ向ツテ賣ル爲ニ賣惜ミト言フカ賣控ヘト言フカ、利ヲ乘セヨウト思ツテ持ツテ居ル場合ガアルノデアリマス、サウ云フ場合ガ想定出來ルノデアリマス、隨テ之ニ對シテ命令ヲ出サレル場合ガ四條デアリマスノデ、普通ノ場合ニハサウ云フ事ハアリ得ヌ、デアリマスカラ茲ニ伺ツテ置キタイノハ、ドノ程度ノモノニ對シテサウ云フ風ナ命令ヲ出サレルノカ、其ノ命令ヲ出ス場合ニハ、平等ニ比例シテ出サレルノカ、狙ヒ撃ニオ前出セ、オ前出セト云フヤウニヤラレルノカ、先程一寸御説明ノ中ニアリマシタヤウニ、村ノ農會デアルトカ實行組合デアルトカ産業組合ニ命ジテ、オ前ノ村ノ殘存米ハ幾ラ、其ノ中ノ幾ラダケヲ持ツテ來イト云フヤウニ命令ヲ出サレルノカ、ソレ等ノ操作ノ方法ヲ承リタイ、斯ウ云フ譯デアリマス

○周東政府委員 其ノ點ハ先程申シマシタヤウニ、大體各地方別ニ、或ハ其ノ地方ニ於キマシテハ各村等ニ於テ、移出米ノ數量ガ大體分ツテ居リマス、サウ云フモノヲ基準ニ置キマシテ、ソレガ大體從來ノ實情ニ於テ平均的ニドノ方向ヘドノ位ヅツ出サレテ居ルカト云フヤウナ實情ヲ參酌致シマシテ、只今ノ御話ノヤウナ極端ナ場合ニ於キマシテハ、或ハ其ノ村内ニ於キマシテノ移出米ニ付テ一纏メニシ、其ノ範圍内ニ於キマシテ内部的

ニ出荷ヲ割當テマシテ、協力ヲ求メルト云フコトニ、極端ナ場
 合ハナルノデハナイカト斯様ニ考ヘテ居リマス
○河野委員 ……此ノ法律ノ内容ヲ通ジテ先ヅ第一ニ考ヘ
 ラレルモノハ、第四條ヲ通ジテ現ハレル所ノ考ヘ方、即チ米ニ
 對スル米穀統制ニ非ズシテ米穀管理從來ノ自治管理ヲ一歩前進
 シテ、政府ノ米ニ對スル管理ト云フコトニ是ガ進シテ居ルヤウ
 ニ見受ケラレルコトデアリマス、果シテ其ノ操作ガ必要ナリヤ
 否ヤ、其ノ程度ノコトヲ吾々ハ必要トスルヤ否ヤト云フコトハ
 別ノ議論トシテ、サウ云フ風ニ吾々ハ認識ガ出來ルノデアリマ
 ス、唯後ノ規定デアリマスル所ノ米穀會社案ハ、先程事務當局
 ヨリ御説明ニナリマシタヤウニ、斯ノ如キ米穀ノヤウナモノヲ
 投機ノ對象トスルコトハ不適當デアルト云フコトト、從來ノ行
 掛リカラ是等ノモノヲ糶メテ殘務整理ヲシヨウト云フ程度ノコ
 トデ、大シタモノトハ考ヘラレヌ、是等ハ適當ナ殘務整理ノ方
 法モ他ニアラウカト考ヘラレル程度ノコトデアツテ、他ニ私ハ
 大シタ必要性ヲ茲ニ認メルコトノ出來ナイノハ遺憾デアリマス
 ケレドモ、サウ云フヤウナコトデ、要ハ何處マデモ昨日大臣ニ
 對シテ御尋致シマシタヤウニ米ガ足りル力足りナイカト云フコ
 トデアリマス、而モ此ノ四條ヲ非常特別ナ場合ニ使フノダト云
 フコトナラバ、如何ニ米ガ足りルト私共議論シ、又ハ足りナイ
 ト議論致シマシテモ、要ハオ天道様次第デアリマシテ、此ノオ
 天道様ノ出工合テ足りルヤウニモ計算ガ付ケバ、足りナイヤウ
 ニモ計算ガ付ケト云フ所ニ、此ノ四條ノ必要性モ、非常重大ナ
 際デアモアリマスルカラ、アルヤウニ考ヘラレルノデアリマス：

……ソコテ吾々人間トシテ考ヘ得ルコトハ、最大限度ノ施
 設方法ヲ以テオ天道様ノ力ニ接近スルヤウニ考ヘテ置クト云フ
 コトガ先ヅ第一ニ必要ダト思フ、ソコテ此ノ法律ノ必要、必要
 デナイト云フコトヨリモ、第一義的ニ考ヘラレルコトハ、何ト
 申シテモ増産計畫デアリマス、是ハ絶對的ナモノダラウト思フ
 其ノ點ニ付テ遺憾ナ點ガアリマシテ、尙且ツ此ノ法律ヲ當局ガ
 御提出ニナリマスナラバ、ソコニ本末顛倒ノ嫌ガアルト私ハ思
 フ、此ノ點ニ付テハ恐ラクハ大臣モ御異存ハナカラウト思フ、
 ソコテ……此ノ際御尋テシテ置カナケレバナラヌ事ハ、此
 ノ米ノ増産ニ最モ必要ナル肥料ノ點デアリマス、是ハ國內即チ
 農林當局ノ指導下ニアリマスル内地ニ於キマスル米ノ生産ニ付
 テハ、萬全ヲ期シテ今日迄進ンテ來ラレタ事ハ、吾々モ大イニ
 多トスル所デアリマスルガ、幸カ不幸カ最近數年來ノ米穀事情
 ガ時ニ減反トナリ時ニ他ノ代作獎勵ノ方ニ迄向ハントシタ情勢
 ガアリ、又最近ノ農産物ノ事情ガ、例ヘテ申セバ小麥一俵ノ値
 段ガ米價ニ接近スルマデニ、進ンテ來タ、其ノ他一般蔬菜、果
 樹類ノ價格ガ此ノ好況ニ向ツテ、物價ノ昂騰時代ニ於テ非常ニ
 高價ヲ消化サレルト云フヤウナ關係カラ、得テシテ米作ニ對ス
 ル地方ノ興味ト云フモノガ、薄ライテ來テ居ルノデハナカラウ
 カト云フ懸念ヲ持ツノデアリマス、特ニ想定シ得ル高ノヤウ
 ナモノハ、是等ノコトニ關聯シテ、ドウシテモ今米穀年度ニ於
 ケル米作ハ、害蟲驅除ニ依ツテ三割ノ増産云々ト云フコトガ、
 先日當局ガ發表セラレテ居リマスルヤウナ考ヘ方デ、果シテ所
 期ノ増産ガ出來ルカドウカト云フコトハ、私ハ疑問ヲ持ツモノ

デアリマス、此ノ機會ニ大臣ヨリ内地ニ於ケル所ノ米ノ増産計
 畫、之ニ對スル當局ノ心構ト云フモノニ付テ、御聽カセ置キテ
 願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 本法案ニ付キマシテ第四條ノコトガ度々出マ
 スガ、第四條ハ全ク特別デアツテ、非常ナ場合ニ於テノミ發動
 致ス案デアリマシテ、此ノ法案ガ發動シナケレバナラヌヤウナ
 事態ガ起リ得ナイコトヲ確信スルト同時ニ、起リ得ナイヤウニ
 ドウシテモシナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス、同
 時ニ河野君ノ御話ノ如ク、米穀ノ増産計畫ガ確立シテ、其ノ米
 穀ガ十分ニ有餘ツテ居リサヘスレバ、斯ウ云フ法案ハ必要ハナ
 イデハナイカ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、昨日カラ申上ケマ
 ス通り、今日一時ニ非常ナル増産計畫ヲ確立スルト云フコトモ
 相當困難デアリマス、色々ナ事情ノアルコトハ御承知ノ通りデ
 勞力ノ點ニ於テモ肥料ノ點ニ於テモ、或ハ馬厩舎ノ點ニ於テ
 モ可ナリ現時ノ米穀ヲ維持スルノニ相當ナ増産計畫ヲ立テテ掛
 ラナケレバ、出來ナイヤウナ有様デアリマスノデ、今非常ナ餘
 地ノアル増産計畫ヲ立テルト云フコトハ、可ナリ困難デアリマ
 ス、唯御話ノ如ク、滿洲ニ於テ米ノ増産ヲサシテ、聯盟國タル
 關係上是ト特別ノ方法ニ依ツテ内地ニ持ツテ來ルト云フヤウナ
 コトハ考ヘラレナイコトハナイノデアリマスケレドモ、此ノ問
 題ニ付キマシテハ固ヨリ考慮致シテ居ルノデアリマスガ、今日
 只今トシテ其ノ問題ニ對シテ斯ウ云フ米ガ將來出テ來ルカラ、
 此ノ法案ヲ要シナイデハナイカト云フノニハ、少シク滿洲ノ事
 情ガ左様ニ速ニ十分ニハ參ラナイ關係デアリマスノデ、此ノ計

畫ハ要スルニ日滿支一體トシテ計畫ヲ立テ、將來此ノ食糧政策
 ニ毫末モ遺漏ナキヤウニ期シタイト云フコトハ、政府ニ於テモ
 研究シテ居ルヤウナ譯デアリマス、唯今日ト致シマシテハ、今
 日ノ場合ニ於テ萬一ノコトガアツタ時ノコトハ、深ク考ヘナケ
 レバナラヌノデアリマシテ、其ノ萬一ヲモ考慮シテ本案ヲ作ツ
 タ譯デアリマス、ソレデ本年ノ米作、斯ウ云フコトハ今河野君
 ノ御話ノ如ク、天候ニ依ツテ或ハ五百萬石千萬石ト云フヤウナ
 大キナ狂ヒガ起リマス、併シ幸ニシテ昔ノヤウナ大飢饉トカ或
 ハ非常ナ減産トカ云フコトガ無クナツテ、最近ニ於テノ凡ソノ
 率ト云フコトハ決ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ減産ノ率ニ對
 シテハ深ク考慮ヲ致サナケレバナラヌト思ヒマス、唯今河野君
 ノ御話ニナリマシタ通り、普通ノ狀態デアラナラバ、減産ノ狀
 況ハ凡ソ推測モ付クノデアリマスケレドモ、萬一肥料ガ足ラヌ
 ト云フヤウナ場合ガアツタラバ、ソレハ又問題外デアリマシテ
 更ニ一層ノ減産ヲ見ヌトモ限ラナイノデアリマシテ、此ノ肥料
 ニ對シマシテハドウシテモ肥料ヲ確保シテ、農家ヲシテ肥料ニ
 困ラナイヤウニ致サナケレバナラヌト云フコトニ付キマシテ、
 今日非常ニ苦慮致シテ居ル譯デアリマス、唯御承知ノ通り無機
 質肥料ノ中ニハ、外國カラ買ハナケレバナラヌ肥料モアリマス
 ノデ、國際貸借ノ關係上、此ノ點ニ付キマシテ可ナリノ不自由
 ハ感ジテ居リマスケレドモ、併シナガラ肥料ハ特殊ノモノデア
 リマスルガ故ニ、是等ニ對シテハ是非トモ農村ガ必要トスルモ
 ノダケハ、之ヲ供給シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、無
 機質ノ肥料ニ付キマシテハ可ナリ物價ノ關係上昂騰シテ居ルヤ

ウナ課アツテ、農村ノ人々ガ之ヲ御仕入レニナルノニ、御困
リニナルト云フ事柄ガアルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシ
テハ値上リナク、相當ノ量ガ供給出來ルヤウニ致サナケレバナ
ラヌト考ヘマシテ、今銳意之ニ對シテ考慮致シテ、案ヲ立テテ
居ルヤウナ次第デアリマス、農家ニ要スル所ノ肥料ニ對シマシ
テハ、ドウシテモ其ノ要求セラルル必要ノ量ダケハ供給シテ行
キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○河野委員 ……次ニ大臣ニ此ノ機會ニ、モウ一點伺ツテ
置キタイコトハ、米ノ配給ト云ヒ乃至ハ又之ニ要スル肥料ト云
ヒ、何レモ肥料、米雜穀、是等ヲ通ジテ一體ノ問題デアリマス
然ルニ近時滿洲國ニ於キマス是等雜穀ニ對スル政策ハ、甚ダ遺
憾ナ點ガアリマス、滿洲國ノ雜穀ニ對スル輸出統制稅ノ問題ハ
農林當局ト如何ナル連絡ガアリドウ云フ關係ニ於テ農林當局ハ
滿洲國ノ政策ヲ諒承シテ居ラレルノカ、此ノ詳細ニ付テ若シ
大臣御聽及ビデアレバ、大臣カラ御答願ヘレバ大變結構デアリ
マス

○櫻内國務大臣 肥料ニ對スル御注意ノ點ハ諒承致シマシタ、
若シ何等カ間違ヒガアリマスレバ、十分取調ベテ適當ナ處置ヲ
執リタイト思ヒマス、唯肥料ノ配給ノ問題ニ對シマシテハ、無
機質ノ方ハ御承知ノ通り各縣別ニ分ケマシテ、各縣別ニ對シテ
中經機關ヲ通ジテ配給ヲ致シ、各府縣カラ各町村ニ配給スルヤ
ウニ今手續ヲ執ツテ居リマシテ、晝夜兼行デヤツテ居ルヤウナ
次第デアリマス、ソレカラ滿洲ニ對スル所謂輸出稅ノ問題デア
リマスガ、是ハ先程突如トシテ聞イタ問題デアリマスノデ、ソ

レニ對シテハ農林省トシテハ農林省ノ意見ヲ其ノ方面ニ申シマ
シテ、又滿洲方面ニ向ツテモ申傳ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス
詳シイコトハ適當ノ機會ニ政府委員カラ御答辯申上ゲマス

正午休憩

午後二時八分開議

○添田委員長 午前ニ引續キマシテ會議ヲ開キマス

○片岡委員 ……米ニ對シマスル政策ノ目標ハ戰時ニ於キ
マシテモ、一ツニハ生産ヲ確保致シマシテ、價格ノ適正ナ期ス
ルニ在ルト云フコトハ當然デアリマスガ、本年度ノ特越米ガ政
府ノ御聲明ニ依リマス、九百二十二萬幾ラト云フコトデアリ
マス、之ヲ單ニ需給ノ關係ダケカラ考ヘテ見マス、サシテ心
配スルノ必要モアリマセヌガ、唯配給方法ト、ソレカラ適正ナ
價格ヲ維持スルト云フ點ニ於テノミ重點ヲ置イテ居ラレルノデ
アラウト存ジマス、ソコデ此ノ適正ナ價格ヲ維持ト云フコトニ
付キマシテハ、本法ニ依ラナクとも米穀統制法ニ依リマシテ、
或ハ又場合ニ依ツテハ國家總動員法ナリ、臨時措置法ニ依リマ
ス物品販賣價格取締規則ニ依ツテ、有效ニ此ノ價格ハ維持出來
ルモノト斯様ニ考ヘテ居リマスガ、之ニ對スル御所見ハ如何テ
アリマスカ

○櫻内國務大臣 本法ニ依ラザルモ適正ナル價格ガ維持サレル
デハナイカ、即チ米穀統制法及ビ物品販賣價格取締規則ニ依レ
バ是ガ實行出來ルノデアハナイカ、斯ウ云フ御意見ノヤウデアリ

マスガ、固ヨリ既ニ本年度ニ於キマシテ、只今御話ノ如キ繰越
米ガアルト考ヘマス場合ニ於キマシテ、統制法ト物品販賣價格
取締規則ノ二ツノ法律ヲ必ズシモ公正ナル價格ヲ維持スルコト
ガ出來ナイトハ思ヒマセヌ、併シナガラ此ノ配給ヲ圓滑ニ致シ
マセヌケレバ、單ニ價格ヲ一定致シマシテモ、品物ガ限ラレテ
居ルノデアリマスカラ、茲ニ非常ナ偏在ガ起ツテ、一方ニ於テ
ハ餘ツテモ、一方ニ於テハ足りナイト、斯ウ云フヤウナ事態ガ
起ラヌトモ限ラナイ、是ニ於テ米穀配給統制法ヲ設ケテ、其ノ
配給ヲ圓滑ニ致スト云フ事柄ガ、一層必要デアルト思フノデア
リマス、此ノ法案ノ趣旨ニ於キマシテモ、配給統制ト價格ノ統
制ト、斯ウ云フ兩方面カラ見マシテ、本案ヲ提案致シタヤウナ
譯デアリマス

○片岡委員 ……適正ナ價格ヲ維持スルト云フコトニ付キ
マシテ考ヘナケレバナイコトハ、政府ノ御定メニナリマシ
タ其ノ價格ガ適正デアアル、斯ウ云フコトヲ前提トシナケレバナ
ラナイノデアリマス、最高價格ヲ前年同様ニ據置イテオイデニ
ナラレマス此ノ點ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテモ、亦
先程來色々ト論議セラレタノデアリマスガ、是ハ低物價政策ニ
順應スル爲ニ、斯様ナ價格ヲ決定シタノデアアル、斯ウ云フ風ニ
私ハ今マテ承ツテ居ツタノデアリマスガ、左様ニ解釋シテ宜シ
ウゴザイマスカ

○櫻内國務大臣 ……只今決定致シテ居リマス所ノ米穀統
制法ニ依ル所ノ最高最低ノ値段ハ、昨年ノ十二月ニ所謂米穀統
制委員會ニ於テ審議サレテ決定サレタモノデアリマス、其ノ要

旨ハ片岡君モ御承知ノ通り、一定ノ基準ガアリマシテ、其ノ
基準ニ基イテ、協議ノ結果決定サレタモノデアリマス、即チ物
價參酌價、俗ニ率勢米價ト申シマスガ、之ノ上値ニ相當スル價
格ト又上値ニ割ニ相當スル價格トノ間ニ於テ、農林大臣ガ經濟
事情ヲ參酌シテ決定致シマシタ價格ト、ソレト家計米價ト云フ
モノトチ見合ヒマシテ、其ノ範圍内ニ於テ最高價格ヲ決メ、
最低價格ハ、率勢米價ノ下値ニ割ニ相當スル價格ト、下値ニ割
ニ相當スル價格トノ間ニ於テ、農林大臣ガ經濟事情ヲ參酌シテ
決定シタル値段ト、米穀生産費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタルモノトチ
參酌シタ範圍内ニ於テ、値段ガ決メラレテ居ルノデアリマス、
其ノ決メラレタ當時ニ於キマシテ、相當今御話ノヤウナ議論ガ
アツタヤニ聞イテ居リマス、前農林大臣ハ之ニ對シテ、總テノ
物價ノ値ヲ下ゲテ、要スルニ生産ニ要スル所ノ費用ヲ低減スル
ト云フコトニ對シテ全力ヲ注イデ、ソレニ依ツテ此ノ米價ヲ保
タシメル、斯ウ云フ風ニ説明サレテ居ルヤウニ承ツテ居リマス
是ハ御承知ノ如ク斯ウ云フ問題ニ對スル所ノ權威者ノ諸君ガ集
ツテ、協議サレタ最高最低ノ値デアリマスガ、是ガ繼續的ナモ
ノデアアルカドウデアアルカト申シマス、サウデハナイノデアリ
マス、事情ノ急激ナル變化ニ依リマシテハ、更ニ之ニ對シテ再
檢討ヲ加ヘルコトモ出來ルノデアリマス、即チ其ノ急激ナル變
化ノ起ツタ場合ニハ自ら改訂ノ途モアルノデアリマシテ、此ノ
最高最低ノ米價ト云フモノハ公正ニ決定サレルモノト、斯様ニ
考ヘテ居ル次第デアリマス

(中略)

○片岡委員 元來現在決メラレテ居リマス價格ハ、外ノ物價ニ比較シテ非常ニ安ク決メラレテ居ルト考ヘテ居リマス、所謂不自然ノ價格デアルト私ハ考ヘテ居リマス、此ノ價格ヲ本案ニ依ツテ果シテ完全ニ維持シテ行クコトガ出來ルカ、本案ニソレダケノ力ガアルカト云フコトヲ伺ツテ居ルデアリマス

○櫻内國務大臣 私人本案ガ施行サレマシタ場合、若シ現在ノ値ノ最高最低ノ値ガ然ルベシト云フコトニ相成リマスレバ、維持ガ出來ルト思ヒマス

(中略)

○片岡委員 …… 本法案ニ依リマシテ米ノ主流ガ市場ニ集マルノダ、斯ウ云フ風ナコトヲ大臣ガ御述ニナツテ居ラレタヤウデアリマスガ、私モ實ハ河野サン同様ニ、果シテ米ノ主流ガ市場ニ集マリ得ルカドウカト云フコトニ付キマシテ、非常ニ心配ヲ致シテ居ル、憂ヲ同ジク致スデアリマス、私ガ考ヘマスルノハ、現在市場ノ寂レテ參リマシタ理由ノ一ツハ、投機ノ妙味ガナクナツタト云フコトモ憶ニ一ツノ原因ヲ致シテ居ルト思ヒマスガ、新シキ所謂本法案ニ依リマスル所ノ市場ニ於キマシテハ、更ニ一層現在ヨリモ投機ノ妙味ト云フモノガアリマセヌソレカラモウ一ツ考ヘマスルノハ、應々此ノ市場ヲ通シテ手數ヲ納メナクとも、直接ニ賣買ガ出來マスル以上ハ、此ノ市場ヘ米ヲ送り込ムト云フコトヲ努メテ業者ハ避ケルチヤナイカ、斯様ニ考ヘラレルデアリマス、ソレカラモウ一ツ私ガ心配ヲ致シマスルノハ、段々ト値段ガ高クナツテ參リマシテ、今ニモ最高値ヲ突破スルト云フヤウナ時ニナツテ參リマスルト、其ノ時

ニコソ却テ市場ヘ米ヲ賣ラナイト云フヤウナ現象ガ現ハレテ來ル、斯様ニ考ヘテ居ルデアリマス、其ノ點ニ對シテ如何様ナ御考ヲ御持チニナリマスカ、御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス

○櫻内國務大臣 最高最低ノ値ガ決ツテ居ツテ、幅幅ガ狭イト自然ニ取引ガ寂レテ來ルト云フ御話デアリマスガ、ソレハ投機ヲ目的トシタ取引ニ於テハ、御話ノ通り幅幅ガアリマセヌト、ソコニ投機ノ餘地ガ狭イデアリマス、故ニ商ヒハソレダケ減ルト思ヒマス、併シナガラ正米市場ノ正米ヲ取扱ツテ居リマス方面ハ、左様デ年々減ツテ來テ居ラヌデアリマシテ、多少ハ減ツテ居リマシテモ、サウ大ナル寂レ方ハ致シテ居ラナイデアリマス、ソレデ米ノ主流ガ市場ヲ通ルコトハナイ、寧ロ市場外ノ方ニ行クデアリカト云フ風ナ御話デアリマスガ、必ズシモ市場外ノ取引ガ、此ノ法案ガ出來タ爲ニ全部無クナツテ、全部市場ニ集マルトハ考ヘマセヌ、併シナガラ兎ニ角茲ニ市場ガ出來マシテ、サウシテ從來取扱引或ハ延取引ノ關係上場外ノ取引ト云フモノガ相當多ク行ハレタノガ、茲ニ取締ガ出來テ而モ極メテ安イ手數料デ此ノ米穀市場ニ其ノ取引ノ圓滑ヲ保證スルガ如キ立場ニ立ツト致シマスレバ、自然ニ市場ヲ利用スルヤウニ相成ルト思フデアリマス、勿論一時ニ非常ニ市場ノ取扱ガ増加致ストハ考ヘマセヌケレドモ、茲ニ全國ヲ統一シタル所ノ市場ガ出來マスレバ、自然ニ市場ニ依ツテ賣買スルコトガ宜シイデアリマシテ、現在往々ニシテ行ハレテ居ルヤウニ、市場ニ於テ取引ヲシテ、一面場外ニ出テ取引ナスルト云フヤウナ事柄ハ、或ル程度マデハ取締リ得ルデアリナイカ、サウシマ

スレバ自然ニ此ノ市場ニ集ツテ來ルコトニ相成リハシナイカ、斯ウ思ツテ居ルデアリマス

○片岡委員 私人ドウモ市場ヘ主流ガ流レ込ムトハ考ヘラレマセヌ、却テ市場外ニ於テ開取引ガ相當多ク行ハレルモノダ、斯様ニ實ハ今カラ心配ヲ致シテ居ルデアリマス、ソコデモウ一ツ御尋ヲ致シタイコトハ、市場以外ニ於テ開取引ガ段々行ハレテ行クト云フコトヲ心配致シマスルガ、其ノ最後ノ末端ニ至リマシテノ所謂小賣値段ヲ、政府ハ公定セラレル考ヲ御持チニナツテ居ルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 若シ之ヲ公定スル必要ガ起リマスレバ、或ハ公定ヲ致スカモ知レマセヌケレドモ、今直チニ公定ナスルト云フ風ニハ考ヘマセヌ

○片岡委員 市場外ニ於キマシテノ開取引ガ、所謂外ノ商品ニモアリマスル如ク、痛チ附ケテノ開取引ガ段々行ハレテ參リマスルガ、ソレヲ押ヘル最後ハ、直接消費者ノ手ニ渡ル時ニ小賣値段ヲ公定シテ置クコトガ、最モ私ハ大切デアラウト存ジマス只今大臣ハ今其ノ考ハ持タナイ、時期ニ依ツテ考ヘルト云フ御話デアリマシタガ、私ハ只今カラ此ノコトヲハツキリ定メテ置イテ戴ク方ガ宜イデアリカ、左様ニ考ヘマスルガ、議論ニ互リマスルカラソレ以上申上ゲマセヌ、ソレカラ生産者團體デア

サウシタ場合ニ政府ハ何カ御考ヲ持ツテオイデニナリマスカ

○周東政府委員 御話ノ點デアリマスルガ、私共考ヘテ居リマスノハ、生産者團體ハ大體平均的ニ賣却ヲセシメテ行ク考デアリマス、先物ヲ取りマシテモサウ極端ナ損害ヲ起スコトハアルマイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

(中略)

○片岡委員 生産者團體ガ米ヲ市場ヘ持ツテ參リマシテ、都合好ク買手がアレバ宜シイ、買手が見付カラナイ場合ニハ、ソレヲ倉庫ナリ何處カニ委託シテ置カナケレバナラヌコトハ當然ナコトデアアル、サウシタ場合ノ費用ヲ考ヘルノカ、ソレカラ現ニ市場ヘ持ツテ來テ出サウトシタガ、買手がナカッタガ爲ニソレヲ持ツテ居ル、其ノ値下ノ危險ヲ幾分デモ防ガウト云フ意味合カラ、延ニ掛ケテ置クト云フヤウナ場合ガ必ズ私ハ生ズルト思ヒマス、其ノトキニ最後ニ至ツテ其ノ正米ヲ渡セバ宜イヂヤナイカト云フ風ニモ一面ニ考ヘラレマスルケレドモガ、併シ十萬石ナラ十萬石ノ米ヲ市場ヘ持ツテ來テ、十萬石ダケ賣レバ宜シイガ、ソレヲ延テ十二萬石乃至十五萬石賣ラナイトモ限ラナイ、其ノ場合ニハ何カ止メル規則ガアリマスカ、サウ云フ風ナ場合ニドウ云フ風ナ處置ヲ致サレマスカ、御尋申上ゲマス

○周東政府委員 生産者團體ニ付キマシテハ、御話ノヤウナ空賣ハサセナイ積リデアリマス、何處マデモ實物ニ付キマシテ生産者カラ委託ヲ受ケタモノチ、順次賣ツテ行クト云フ立前デア

申上ゲマシタヤウニ、思惑の二之ヲ賣ルト云フノテナクテ、大體平均的ノ賣却ニ基キマシテ、先ニ集荷シ得ラレル範圍ニ於キマシテ、賣却ヲサシテ行ク積リデアリマス、只今ノヤウナ空賣ト云フコトハ、サセナイ積リデアリマス

○片岡委員 サウ致シマス、生産者團體ハ自分ノ手ニアルダケノ數量デアツタナラバ、延テ賣ルコトハ出來ルガ、ソレ以外ノ數量ニ互ツテ賣ルコトハ許サヌ、斯ウ云フ意味デアリマスカ

○周東政府委員 ソレハ必ズシモ現實ニ今倉庫ニ入ツテ居ル物ト云フコトニ限ル必要ハナイト思ヒマス、但シ唯産業組合ガ系統的ニ下級團體ニ集荷サシテ居リマスカラ、ソレ等ノ集荷サレ又ハ集荷サレテ居ルモノ、又ハ集荷ノ見込ノ立ツテ居ルモノニ付テハ、豫メ一月先ノ賣買モ認メテ差支ナイト考ヘテ居リマス

○片岡委員 サウ致シマス、集荷ノ見込ガ立ツテ居レバ延テ賣ツテモ宜イノダ、斯ウ云フ御答辯デアリマスカ、其ノ集荷ノ見込ガ外レタ——自分ガ或ル方面カラ持ツテ來ルト云フ見込ガ外レタト云フコトニナリマス、其ノ間ニ延ガ上ツタ其ノトキニハ、其ノ高イ値段ア更ニ他カラ買入レナクテハナラヌ、其處ニ缺損ガ出テ來ルノチヤナイカト思ヒマス、實ハ私ハソレヲ御尋申上ゲテ居ルノデス

○周東政府委員 是ハ只今申上ゲマシタヤウニ、大體單位組合等カラ先委託ヲ受ケテ居ルモノニ付テ、ヤリ得ルト云フコトデアリマシテ、全然委託ノナイモノニ付キマシテ見込ノ數量ヲ先ニ賣ルト云フコトハ、是ハ固ク禁ジテ行カナクテハナラヌト思ツテ居リマス

場合ニ於テハ資本ヲ貸ス、是ガ詰リ開業資金デアリマス、併シナガラ中ニハ新シク米屋トシテ仕事ヲシテ行クニ適シナイ者モアルト思ヒマス、是等ニ對シマシテハ他ノ仕事ノ方ヘ轉業シテ行ク爲ニ必要資金ヲ貸與ヘル、斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ際ニ於キマシテ、是等ノ資金ノ貸與ニ關シマシテ、貸スベキ資金ノ額、方法ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、特別ノ委員會ヲ設ケマシテ、其ノ委員會ニ於テ是等ノ事項ヲ公正ニ決定シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、只今決ツテ居ル範圍ハ以上デゴザイマス

○西川委員 ……第一條ノ許可制度ノ目的ハ一體何デアルカ又ドウ云フコトヲ標準トシテ許可サレル積リデアリマスカ

○周東政府委員 許可制ノ實施ノ理由ニ付テ御尋デアリマスガ是ハ本法ノ目的ト致シテ居ル米穀ノ配給統制ノ徹底ヲ期スルト云フ事ト、一面ニ於キマシテハ米穀取扱業者ノ安定向上ヲ圖ルコト、此ノ二ツノ目的ア茲ニ是等ノ取扱業者ニ對シテ許可制度ヲ新ニ設ケテ譯デアリマス、尙ホ許可ノ標準ニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ大體ニ於キマシテ業者ノ分布狀況、或ハ許可申請者ノ資産信用ノ狀況、或ハ米穀取扱業務ニ經驗ヲ有シテ居ル者ト云フヤウナコトガ、標準ニナラウカト思ヒマスガ、是等ハ之ニ關スル命令等ヲ規定ノ際ニ十分實情ニ即シタモノヲ採入レマシテ、具體的ニ許可標準ヲ定メタイト思ヒマス

○西川委員 只今ノ御答辯デハ、許可ヲ申請致シマシタ者ノ主觀的條件ト云ツタヤウナモノニ對シテノ標準ヲ、御述ベニナツ

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

○片岡委員 サウ致シマス、現實ニ集荷ガ出來テ居ルモノ、現實ニ約定ノ出來タモノ、ソレニ限ツテト云フ風ニ私ハ解釋致シマス、將來集荷ガ出來ルデアラウト云フヤウナ豫想ノ分ヲ以テノ延取引ニハ、參加スルコトハ許サナイ、斯様ナ意味ニ解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○周東政府委員 大體左様デゴザイマス

○片岡委員 ソレカラ是ハ簡單ニモウ一ツ御尋致シテ置キタイト思ヒマスガ、同時ニ今ノ生産者團體ノ市場員ヲ、同業組合ニ加入セシムルノ御考ヲ御持チニナツテ居ルカドウカ伺ヒタイ

○周東政府委員 生産者團體ノ市場員ヲ、同業組合ニ加入セシムルト云フ考ハ、只今ハ持ツテ居リマセヌ

○片岡委員 商行爲ヲセラルル以上ハ、ソレニ加入ヲセシメテ統一ヲ取ツタ方ガ、宜イノデハナイカト思ヒマスガ、是ハ一ツ能ク御考置チ願ヒタイト存ジマス、ソレカラ最後ニ一ツダケ御同致シマスガ、取引所取引員ノ救済ニ付テ、私ハ議論ハ申シマセヌガ、何カ御考ニナツテ居ル點ガアリトスカ、御聽セ願ヒタイ

○周東政府委員 取引員ニ付キマシテハ、先ツ新會社ノ市場ノ市場員トシテ之ヲ收容シテ行キタイト云フ事ニ、第一點ハ考ヘテ居リマス、而シテ其ノ場合ニ於キマシテ、今度ノ市場ノ市場員ト云フモノノ資格ヲ、大體米ヲ實際ニ賣買取引スル者ニ原則ヲ限ツテ居リマスガ故ニ、從來ノ取引員ヲ收容致シマシタ場合ニ、是ガ新ニ正米ヲ取扱フ者ニナル爲ニ、必要ナ資金ヲ要スル

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

……(中略)……

ノ最高最低ノ標準ハ、先ヅ現在ノヤウニ東京、大阪等ノ市場ガ中心ニナルノデハナイカト考ヘテ居リマス、其ノ他ノ市場ニ於テハ只今申上ゲタヤウナ意味ニ於キマシテ、同様ニ運賃諸掛其ノ他産地等ノ差異ナドヲ見マシテ、其ノ地方ニ於ケル現地價格ハ決メラレルモノト考ヘテ居リマス

(中略)

○西川委員 只今ハ成ルベク意見ヲ述ベルコトヲ差控ヘマスガ今ノ御答辯ニ付テハ一言申上ゲテ置カナケレバナラヌ、公定價格ノ意義ハ、米穀統制法ニ於ケル公定價格ノ持ツ意義ト、此ノ法ノ公定價格ノ持ツ意義ガ非常ニ異ツテ來ル、又米穀統制法ニ於キマシテハ、公定價格ヲ標準ニ政府ガ米價ニ對シテ操作ヲスルノデアリマス、是ハ公定價格其ノモノヲ以テ決メルノデアリマスカラ、全然違フノデアリマス、米穀統制法ニ於ケル公定價格ノ場合ヲ以テ、此ノ場合ニ直チニ當嵌メルコトハ妥當デアリト考ヘテ居リマス、是ダケヲ申上ゲテ置キマス、次ニ第八條ノ點デアリマスガ、此ノ市場ハ開放市場デアリマスガ、閉鎖市場デアリマスガ、法文ヲ見マスト「米穀市場ノ賣買取引ハ其ノ市場ノ市場員ニ限リ之ヲ爲ス事ヲ得但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ」トアル、此ノ法律ノ本體ハ、市場員ニ限リ賣買取引爲ス事ヲ得ルト、斯ウ云フ風ニ法律デアハナツテ居ルノデアリマス、併シ乍ラ世上流布サレテ居ル所ニ依リマス、又農林大臣ガ本會議ニ於テ御答辯ニナリマシタ所ニ依リマス、誰デモ米ヲ賣リタイ者ハ、此ノ市場ニ持ツテ行ケバ一俵ニ付テニ厘位ノ手数料ヲ賣レルノダ、何人デモ買ヒタイ者ハ此ノ市場テ

テ、食違ハナイト思ヒマス
○西川委員 法文ノ書キ方ハ、ドウデモ建前トシテハ是ハ閉鎖市場デアツテ、例外ノ場合ニ「命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ」トナツテ居リマスガ、是ハ法文ノ書キ方ガ私ハ妥當デアナイト思ヒマス、併シ意見デアリマスカラ是ハ後ニ譲リマスガ、市場員ハ手数料ヲ幾ラ取ルコトニナル豫定デアリマスカ

(中略)

○周東政府委員 非常ニ安イ手数料ヲ考ヘテ居リマス、大體賣物市場ニ於キマシテ、賣方若クハ買方ノドチラカノ一方カラノミ、一石ニ付キ四厘位ヲ考ヘテ居リマス
○西川委員 市場其ノモノノ取得致シマス手数料ハ何程デアリマスカ
○周東政府委員 只今申上ゲマシタノハ、市場へ拂フ手数料デゴザイマス
○西川委員 市場ノ取引員ノ手数料ハ幾ラデアリマスカ
○周東政府委員 此ノ度ノ制度ニ於キマシテハ、其ノ市場ヲ利用シテ賣買スルノデアリマスカラ、市場員ノ手数料ト云フ意味デナクテ、其處ヲ利用シテ市場員ガ賣リマスカラ、其ノ賣ツタ市場員ハ會社ニ對シテ四厘ノ手数料ヲ拂フト云フコトダケデアリマシテ、市場員ガ賣買ヲシタ爲ニ、其ノ委託ヲサレタ人カラ幾ラ取ルカト云フコトニ付キマシテハ、私共ノ方トシテハ別箇ノ問題ダト思ヒマス
○西川委員 別箇ノ問題デアリマシテモ、是ハ一番重要ナ點デ

自由ニ買ヘルノダ、斯ウ云フ御答辯ニナツテ居ルノデアリマス眞鍮君ノ質問ニ對スル御答辯ニ左様ニ言ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ法文ニ於キマシテハ、ソレハ「但シ命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ」トアツテ、例外ノ場合ハサウデアルケレドモ、本體ニ於キマシテハ「米穀市場ノ賣買取引ハ其ノ市場ノ市場員ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得」トアルノデアリマシテ、本會議ニ於ケル農林大臣ノ御答辯ト法律ノ條文トニ、聊カ食違ヒガアルヤウデアリマスガ、是ハドウナルノデアリマスカ

○周東政府委員 先日農林大臣ガ本會議デ申上ゲマシタコト、法律トノ間ニ食違ガナイカト云フコトノ御指摘デアリマスガ、是ハ何等食違ヒハナイノデアリマス、ト申シマスノハ、本制度ニ於キマシテハ、實需ニ於テ賣物取引ヲ主トスル取引ヲサセテ行クト云フコトガ本體デアリマス、此ノ間御話ニナツタノハ、本法ニ依ツテ設置スル賣物市場ノコトヲ申上ゲラレタノデアリマス、賣物市場ニ於キマシテハ、是ハ賣ル方ノ人ハ市場員タル人ニ向ツテ自由ニ賣レマス、買フ人ハ市場員カラ自由ニ買ヒ得ルノデアリマス、市場員タルト市場員タラザルトナ間ハナイノデアリマス、唯未著物取引ヲ致シマス市場、延ノ取引ヲ致シマス市場ニ於キマシテハ、是ハ市場員同志ノ間デアナイト賣買取引來ナイト云フコトデアリマス、兩市場ハ共ニ賣物市場ノ運行ヲ助ケル意味ニ於テ、主トシテ配給ノ圓滑ヲ圖ル意味ニ於キマシテ、其ノ市場ガアル譯デアリマス、大體ハ何處マデモ賣物市場ガ主デアリマス、其ノ點ニ付テ大臣カラ申サレタノデアリマシ

アリマシテ、取引員ノ委託手数料ガドノ位アルカガ分ラナクテハ、本法案ガ米穀ノ配給ノ上ニ如何ナル影響ヲ持ツカト云フコトヲ、吾々ハ審議スルコトガ出來ナイノデアリマス、委託手数料ヲ一體ドノ位豫定シテ居ラレマスカ

○周東政府委員 其ノ點ハ大體ニ於キマシテハ、各市場毎ニ餘程違ツテ參ルト思フノデアリマス、是ハ會社ニ於キマシテ市場員ニ關スル規則、或ハ市場員組合ト云フモノヲ自作ラセルコトニナルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於キマシテ、會社ニ各地方地方ノ市場毎ニ、適當ニ定メサセタイト思ツテ居リマス、勿論ソレニ對シマシテハ監督ノ立場ニ於テ指導ヲ致ス考デアリマス

○西川委員 ソレデア例ヲ取ツテ申上ゲマスガ、小サイ範圍デ申シマスレバ、東京ト大阪ノ市場ニ於テハ、委託手数料ヲドノ位ノ範圍マテ取ラセルカ、最高限度ヲ何處ニ置クカ伺ヒマス

○周東政府委員 具體的ニ何ボト云フコトハ申上ゲラレマセマガ、此ノ制度施行ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、出來ルダケ現在ノ程度以下ニ於テ決メサセルヤウニ、指導シテ行キタイト思ツテ居リマス

○西川委員 現在ノ手数料ト云フコトニナリマス、私ハ無料デアナイカト思フノデアリマス、現在ノ大部分ノ米ノ消費地ニ於キマシテハ、斯様ナ市場ヲ經由シテハ居ナイノデアリマス、斯様ナ市場ガ此ノ法律ニ依ツテ出來レバ、勿論今マデモ正米市場等ハアリマスケレドモ、ソレニ掛カルモノハ極ク僅カデアリマシテ、大部分ノ米ノ集ツテ來ル所ノ市場ガ、今度初メテ出來

ルノデアリマスカラ、ソレニ對シマシテ新様ナ市場ヲ作ツテ、一部ハ市場員ヲ作ルコトニナリマスカラ、其ノ委託手数料ハ新シイ負擔デアラウト思フデアリマスガ、其ノ範圍ハ一體ノ位デアリマスカ

○周東政府委員 其ノ點ハ御話ノヤウナ場合モアルト思ヒマスガ、併シ是ハ其ノ實際ノ取引ノ狀況ニ依リマシテ、形式的手手数料ト云フモノハ、或ハ取ツテ居ラナイモノモアルカト思ヒマス、併シナガラ多クノ場合、相對テ動イテ居リマス場合ニ於キマシテハ、販賣價格等ノ中ニサウ云フヤウナモノハ相當ニ籠メラレテ入ツテ居ル、其ノ關係ニ於キマシテ歩戻シトカ云フヤウナ關係ニ於キマシテ、後ニ手数料ノモノガ現ハレテ居リマス形式の手手数料幾ラト云フコトヲ決メテ居ルモノノナイノハアルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於キマシテモ、必ズ其ノ販賣價格ノ中ニ、斯ウ云フモノヲ籠メテ取引シテ居ルヤウナ實情デアルト思ヒマス、ソレ等ノコトヲ、此ノ市場ニ於キマシテハ、公定サレタ價格ニ於キマシテ取引ヲサセ、茲ニ市場ニ於ケル手数料ヲ決メ、而シテ市場ニ於ケル市場員ニ關シテノ委託關係ニ於キマシテ、會社等ガ適正ナル手数料ヲ決メテ行クヤウニ指導シテ行キマスレバ、現在ヨリモ安イ關係ニ於テ配給費ガ濟ムノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○西川委員 ……誰ガ考ヘマシテモ、此ノ市場ガ出來テ配給ノ費用ガ加重サレルカ、輕減サレルカト云フコトハ、要スルニ市場自身ノ取りマス手数料ト共ニ、市場員ガ或ル程度ニ限定サレルデアリマシテ、詰リソレ等ガ配給ノ中樞機關ニ於テ獨

テ居ル、ソレカラ移出商ノ手数料モ同様十錢位ニナツテ居ル、ソレカラ仲介業者ノ、產地仲買手数料ト言ヒマスカ、ソレガ大體七錢五厘見當ニナツテ居リマス、ソレカラ問屋ノ手数料ハ大體石二十三錢餘ニナツテ居リマス、但シ此ノ中ニハ前倉料ト申シマスカ、問屋ノ前ニ在ル倉庫ニ入レル倉庫保管料ト云フモノガゴザイマス、是ガ合マレテ居リマスカラ、其ノ點ハ御承知ヲ願ヒマス、大體サウ云フ風ナ實情デアリマス

○西川委員 問屋ノ二十三錢ノ中ニアル倉庫保管料ト申スベキモノハ幾ラニナリマスカ

○周東政府委員 最近ノ東京ニ於ケル倉庫ノ保管料等ノ平均ハ大體八錢位ニナツテ居リマス

○西川委員 ……移出商ノ手ヲ離レテ、此ノ市場ニ大體出テ來マシテ、卸賣商人ニ行クマテノ間ニ、倉庫料ヲ加ヘマスルト三十錢五厘ノ手数料ガ一石ニ付テ掛カルヤウナ調子ニナツテ居ル、移出ノ方ハ別ニシマシテ、左様ニ籠棒ニ高イ手数料ヲ縛ツテハ、米ノ取引ハ出來ルモノデハナイ、若シ市場員ノ委託手数料ヲ、サウ云フ大キナモノヲ標準トシテ掛ケルコトニナリマスト、此ノ法案ハ全然成立サセルコトガ出來ナイヤウニナル何カ間違ヒデアリマセカ

○周東政府委員 只今申シマシタノハ、現在ノ實情ヲ申シマシタノデ、御質問ノ點ガ現在ノ位ノ程度取ツテ居ルカト云フ御話デアリマスカラ申上ゲタノデアリマス、新シク作りマス市場ニ關係致シマシテ、是等ノ問屋等ニ委託スル手数料ガドウナルカト云フコトニ對シテハ、現狀ヨリ以下ニ定メタイト云フコ

占權ヲ持ツデアリマス、其ノ獨占者ニ對スル獨占料トテ申シマスカ、其ノ手数料ガ幾ラデアルカト云フコトガ分ツテ居ルカ、ト云フコトニ付テ判斷ガ出來ナイ、只今ノ仰セニ依リマスト、ソレハ賣買價格ノ中ニ含ンテ居ルト言ハレルガ、賣買價格ノ中ニ含ンテ居ル手数料ハ、絕對ニ分析スル方法ハアリマセヌ若シソレガ分析出來ルモノナラバ、既ニ政府當局ニ於テ分析サレテ、大阪ノ市場ニ於テハ大體此ノ位ノモノガ手数料デアアル、東京ノ市場ニ於テハ斯ウデアアルト云フコトガ御分リニナツテ居ナクテハナラヌ……

——(中略)——

○周東政府委員 是ハ實ハ大體ノ標準デアリマスノデ、是全般ヲ推サレルト困リマスカラ其ノ點ハ御諒願ツテ置キタイト思ヒマス、現在ハ大體生産者カラ地方ノ買出シ商人、買出シ人カラ移出商人、移出商人カラ仲介業者、仲介業者カラ問屋ト云フヤウニ委託シテ居リマス、實際チ一ツ模範的ニ考ヘテ見タ時ニ、大體生産者カラ移出人ニ對スル手数料ハ、石十錢位取ツ

ト申上ゲタ譯デアリマス

○西川委員 現狀以下ニハ勿論定メルデアリマセウケレドモ、大體ノ標準ガ現在ニ基イテト云フ御答辯ガカラ、ヤハリ是ガ基準ニナルデアリマス、ソレナ事ハ現在ノ米穀配給ノ上ニハ行ハレテ居ナイ、是ハ局長モ次官モ大臣モ、實際ノ米ノ配給ガドウ云フ關係ニナツテ、東京、大阪、ニ於テ行ハレテ居ルカヲ御存ジナイノデハナイカト私ハ思ヒマス、一番良イ標準ハ全販聯ノ手数料デアアル、是ハ一俵ニ付テ二錢五厘シカ取ツテ居ナイ、ソレカラ產地仲介業者ハ問屋ヲ經由シナイ、是ハ產地デアリマシテ居リマスモノト、消費者ノ卸賣商人トノ間ヲ結付ケテ「レール」ノ上テ渡スノデアリマスカラ、倉庫料モ何モ必要トシナイ、東京ナドハ實際ニ於テ此ノ數ガ非常ニ多イ、全販聯ト產地仲介業者トテノ取扱數量ガ、壓倒的ニ多イノデアリマス、サウシテ是ガ一番配給ノ手数料ガ低減サレマスカラ、年々其ノ方面ノ取引ガドク、大キクナツテ參リマス、此ノ法律ヲ御作りニナラズニ此ノ儘ニシテ置キマス、二十三錢ト云フヤウナ高イ手数料ヲ拂フ者ガ、全然無クナツテシマフ、數年此ノ儘ニ委託置キマスレバ、全販聯ガ一俵ニ付テ二錢五厘、產地仲介業者ガソレヨリ一錢位シカ餘計ニ取ツテ居ナイノデ、若シモ全販聯ヨリモ甚シク高イ手数料ヲ取リマス、是ハ其ノ方ニ頼マナイ全販聯ニ行クダラウト思ヒマス、全販聯ノ二錢五厘ガ基準ニナツテ委託手数料ヲ決メラレルベキデ、二錢五厘ヨリモ高イ手数料ヲ取ラレルヤウデアツタナラバ、農民ハ新シイ市場ガ出來マスコトニ依ツテ、非常ニ階級ノ經費ガ加重サレルデアリマス

之ニ對シテハドウ御考アリマスカ

○周東政府委員 少シ説明ガ拙カツタノデ、誤解ヲ起シタカモ知レマセヌガ、私共ノ方デハ最初御斷リ致シマシタヤウニ、現在ノ總テノ取引ガ斯ウナツテ居ルト申上ゲタノデハナクテ、一番餘計段階ヲ踏ンテ消費者ニ廻ツテ來テ居ル場合ヲ調査シタノデアリマス、此ノタビ市場ガ出來マシタ場合ニ於キマシテ、市場ニ於ケル取引關係ガ總テ斯ウ云フ段階ヲ經マシテ市場ニ集マルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯先程ノ御質問ガ、一ツノ市場ニ集ツテ來タ場合ニ、市場ガ取ル手数料ハドウナルカト云フ御話デゴザイマスカラ、先ヅ市場ニ付テハ從來ヨリモ出來ルダケ安クシタイ、實物市場ニ付テ石四厘位ノ手数料ヲ取ル然ラバ其ノ市場へ賣却スルニ付テ生産者等ガ委託シタ場合ニハドウナルカト云フ御話デゴザイマスカラ、ソレハ各地方ニ依ツテ違フダラウガ、少クトモ生産者ガ或ル土地ノ間屋ニ委託スル場合ニ於ケル手数料ヨリモ餘計取ラヌヤウニ、市場員ニナツタ者ニ對シテ、市場員組合規則ト云フヤウナモノデアモ指導シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ申シタノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ市場ガ出來タ時ニ、只今申上ゲマシタヤウナ各段階ヲ總テ通ツテ來テ、市場ニ其ノ儘掛ツテ行クト云フコトニナリマスレバ今御話ノヤウニ各段階毎ニサウ云フ手数料ガ嵩ンテ參ルト思ヒマスケレドモ、是ハ一番餘計掛ツタ場合ヲ現實トシテ御説明シタノデアリマス、實際ノ場合ニ於キマシテハ可ナリ其ノ地方ノ事情ニ依ツテ取扱者ノ段階モ違ツテ參ルト思ヒマス、而シテ其ノ場合ニ於キマシテ、ソレハ市場員タル米取扱業者ニ對シ

テ生産者カラ委託スル場合ニ於ケル委託手数料等ニ付キマシテ多額ニナラヌヤウニ指導シテ行キタイ、斯様ニ申シテ居ル譯デアリマス

午後二時二十三分休憩

午後四時十分開議

○西川委員 ……大臣ハアツチコツチ走り廻ツテ賣ル必要ガナクナルト言ハレマスガ何モ今日米ヲ賣ル者ハ、アツチコツチ走り廻ツテ賣ル者ナドハ居ナイ、ソナコトヲシテハ商賣ニナルモノデハナイ、チヤント米ヲ賣ル「コース」ト云フモノハ決ツテ居ル、何處ノ米間屋ニ米ヲ持ツテ行クト云フコトガ決ツテ居ルト思ヒマス、何モ市場ガナクテモ走り廻ツテ賣ル必要モ買フ必要モナイ、ソレカラ賣ル者ハ市場員デナクテモ勝手ニ賣レルノダ、買ヒタイ者ハ市場員デナクテモ勝手ニ買ヘルノダ、デアルカラ委託手数料ハ絕對的ノモノデナイ、委託シナケレバ宜イ、自分ガ勝手ニ見付ケレバ宜イ、手数料ガ高カラウガ、安カラウガ問題デナイト御考ヘニナルカモ知レナイ、是ハ市場員ノ委託手数料デス、若シサウ云フ御考デアラナラバ、ソレハ唯言葉ノ上ダケデハサウデアアルガ、實際問題トシテ委託セズニ、荷主ガ自分ヲ賣ルト云フコトハ出來ルモノデナイ……自分ガ賣リタイト考ヘマシテモ、此ノ會社自體ガ買受ケテ呉レルノデハナイ……此ノ會社ガ市場ヲ經營スルノモノモノデアリマシテ、自分ノ買ツテ呉レル相手方ヲ發見スルト云フコト

ハ、電報一本ヤ電話デハ出來ナイ、隨テ市場員ノ手ヲ通ジナケレバ、ヤハリ理窟ノ上デハ言葉ノ上デハ出來ルコトニナツテ居リマシテモ、實際ニ於テハ出來ナイ、是ハ米穀界ノ實情カラ見テ出來ナイ、誰デモ賣リタイ者ハ賣レル、買ヒタイ者ハ誰デモ勝手ニ買ヘルト云フコトハ、ソレハ事實ヲ離レタ觀念問題デアリマシテ、ソレハ事實カモ知レマセヌガ、實際ノ事實デハナイ、實際ノ場合ニ於キマシテハ、是ハヤハリ市場員ノ手ヲ通ジテ賣買スル外ハナイノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ大臣ハドウ考ヘテ居ラレマスカ……

○櫻内國務大臣 私ガ申上ゲマシタノハ、即チ實物ノ或ル數量ヲ市場員ニ賣ラウト思ヒマスレバ、實物ハ市場ニ持ツテ行ツテ賣レル、又買ツテ來ル場合ニ於テモ、市場カラ買ヘル、即チ相手ハ市場員デアリマス、其ノ市場員ヲ相手トシテ、市場員ヲ通ジテ買フコトモ、賣ルコトモ出來ル、斯ウ申上ゲタノデアリマシテ、市場内ニ於ケル所謂取引トカ未著物取引トカ、斯ウ云フモノハ當然市場員同志カ、若クハ市場員ニ對シマシテ、今御話ノ如ク電報ヲ委託スルトカ、斯ウ云フ方法ヲ執ラナケレバ商賣ガ出來ナイコトハ固ヨリデアリマス、詰リ現物市場ニ行ツテ現物ヲ買フコトガ出來ルコトハ固ヨリデアリマシテ、市場員同志等ノ取引若クハ大キナ數量ノ取引ハ、御話ノ如ク市場員ヲ煩ハサナケレバ出來ナイト云フコトハ、私モ能ク承知致シテ居リマス、ソレカラ私ガ本會議ニ於テ二厘ノ見當ダト申上ゲマシタガ、是ハ石ニナレバ五厘ニナリマス、今米穀局長ガ四厘ト申上ゲマシタガ、私ノ二厘ト申上ゲマシタノハ、最高ヲ申上ゲタノ

デアリマシテ、先ヅ四厘ノ經費デモ引合フ、斯ウ云フ風ニ案ハ立テラレマスケレドモ、併シナガラ安心ノ行ク二厘ト云フ程度ヲ私ガ申上ゲタノデ、色々ノ調査ノ結果二厘デモ十分ニ經營ガ立ツ、斯ウ云フ譯テ今二厘ト申上ゲタト考ヘテ居リマス、併シナガラ此ノ問題ハ、要シマスルノニ會社ガ出來マシタ時ニ、會社ノ當事者ニ於キマシテモ十分研究チシテ而シテ、手数料ヲ決メルノデアリマシテ、何レニ致シマシテモ、政府ト致シマシテハ現在支拂ツテ居リマス所ノ手数料ヨリハ下ニ定メタイ、斯様ニ思ツテ居ルノデアリマス、ドウ云フ風ニシテ市場員ガ手数料ヲ取ルカト云フ先刻ノ質問ニ對シマシテ、產地カラ現在市場ニマテ來テ居ル所ノ手数料ニ對シマシテ、米穀局長ガ御報告申上ゲマシタガ、ソレハ現在ノ市場ガ幾ラ取ツテ居ツテ、將來幾ラ取ラセル考デアアルカト云フヤウナ御質疑ノヤウデアリマスカラ其ノ點ハ政府委員カラ御答辯ヲ申上ゲルコトニ致シマス

○周東政府委員 ……市場ニ於ケル取扱手数料ハ先程申上ゲマシタヤウニ、大體石四厘ト云フ程度デ宜カラウカト思ツテ居リマス、之ニ對シテ、市場員ニ對スル委託手数料ハ、是ハ先程一寸申添ヘタト思ヒマスガ、各市場毎ニ違ツテ居リマスノデ之ヲ新シイ市場ニ於ケル關係ニ付テ、一概ニ幾ラニスルト云フコトハ、直チニ申上ゲ兼ネルト思ヒマスガ、假ニ東京ニ於ケル深川ノ指定商ノ委託手数料ヲ申シテ見マスト、大體賣買代金ノ一千分ノ十二ト云フコトニナツテ居リマス、併シ是ハ今度ノ市場ニ於キマシテハ、出來ルダケ輕減シテ決メテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス、勿論此ノ委託手数料等ヲ決メマス場合ニ於

キマシテモ、現在ハ實物市場ニ於キマシテハ形式的ニ決メテ居リマスガ、ソレヲ取ツテ居ラナイノガ實情アリマス、自ラ延取引トカ或ハ未著物取引ト云フモノヲ致ス市場ニ限ラレコトカト考ヘテ居リマス

〔中略〕

○西川委員 次ニ御伺ヲ致シマスガ、大體市場員トシテハ現在ドウ云フヤウナコトヲシテ居リマスガ、市場員トシテ收容サレル御見込アリマスガ

○周東政府委員 本法制定ノ趣旨カラ致シマシテ、米ノ實際ノ受渡、賣買取引ヲ致シテ居ルモノヲ考ヘテ居リマス、先ヅ米ノ間屋筋ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居リマス、別ニ生産者團體ト致シマシテハ、産業組合聯合會ト云フ風ナモノヲ考ヘテ居リマス、只今ノ所全販聯ト云フヤウナモノヲ考ヘテ居リマス

○西川委員 現在ノ米穀取引所、清算市場デアリマスガ、清算市場ノ取引員ハ、今度ノ市場員トシテ收容サレマスガ

○周東政府委員 是ハ取引所ノ善後處置ノ一部トシテ、現在ノ清算取引ノ取引員ヲモ收容致スコトニナツテ居リマス、但シ是ニハヤハリ本案ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、米商トシテ働キ得ルヤウニソレニ必要ナ開店資金ヲ貸スト云フコトニナツテ居リマスノテ、大體今度ノ市場ノ市場員トナルニ付テハ、米ノ賣買業者ニ致サセル積リテ居リマス

〔中略〕

○西川委員 ……第十五條ノ「市場員ハ其ノ米穀市場ニ依ラズシテ米穀ノ賣買取引ヲ爲スコトナシ」云々、市場員ガ場外取

米ノ受渡場所ハ必ズシモサウデアリマセズ

○西川委員 次ニ日本米穀株式會社ノ趣旨ノ問題デアリマスガ此ノ趣旨ニ關シマシテ世上傳フル所ニ依レバ、現在取引所ヲ經營致シテ居リマス者ニ對シテ優先的ニ取扱ハレル、斯ウ云フヤウナ説ヲ流布シテ居ルノデアリマスガ、果シテ左様デアリマスカ

○周東政府委員 御話ノヤウニ本會社ノ株式ノ割當ノ場合ニ於キマシテハ、現在ノ取引所ノ株主等ニ對シテ、割當ニ優先ヲ致スト云フ風ナコトヲ考ヘテ居リマス

○西川委員 此ノ會社ハ法律ノ精神ニ基キマシテ、米穀ノ配給ノ改善ヲ圖ルコトヲ目的トスル會社ダト思フノデアリマス、隨テ本會社ノ主タル事業ハ、内地米ノ賣買取引ヲ致シマスコトデアルト考ヘマスガ、左様デアリマスガ

○周東政府委員 本會社ノ主タル業務ト致シマシテハ、市場ノ開設ト云フコトガ一番主ナル仕事デアリマスガ、之ニ附帯シテ政府ノ委託ヲ受ケテ米穀ノ賣買取引ヲ爲シ得ルコトガ、次ニ主要ナル仕事デアリマス

○西川委員 米穀ノ市場ヲ開設サレルコトガ主タル業務デアツテ、ソレニ附帯シテ臺灣米ノ賣買等ヲ行フト云フ、此ノ主タル事業ヲ行ハレマス爲ニ施設シタ會社ガアリマシタナラバ、臺灣米ノ賣却ナリ、又政府米ノ賣買等ヲ行フノニハ、主タル事業ノ爲ニシタル施設テ大體間ニ合フノデアリマスガ、又臺灣米ノ賣却ナリ、政府米ノ賣買ノ爲ニ非常ニ多クノ施設ヲ要スルノデアリマスガ

引ヲ爲シ得ル範圍ハドノ程度ノコトデアルカ、ドウ云フ場合ガ考ヘラレテ居ルノデアルカ

○周東政府委員 只今考ヘテ居リマス事柄ノ一ツハ、米穀市場ノ地區外ノ、市場員ニアラザル者トノ取引、モウ一ツハ他ノ米穀市場ノ市場員トノ間ノ取引ト云フヤウナコトヲ考ヘテ居リマス

○西川委員 是ハ間フマデモナイコトデアリマスガ、取引ノ場所ト受渡ノ場所ハ當然違フベキモノト思ヒマスガ、併シ世上テハ非常ニ誤解ナシテ居ル、例ヘバ市場テ取引ヲシナケレバナラヌト云フコトニナルト、産地カラ溢谷ナリ目黒ナリ、サウ云フ方面ヘ向ツテ送ツテ居ツタ米ハ、一度市場ノ所在地ニ送ツテヤラナケレバナラヌ、是デハ大變ドウモ運賃諸掛ガ増スデハナイカト云フ議論ヲ世上頗ク聞クノデアリマスガ、其ノ點ニ付テハツキリ此ノ際説明シテ戴キタイ、詰リ取引ハ市場ニ於テスルノデアルケレドモ、實米ノ受渡場所ハ、從來ノ實際ノ配給ノ系統ニ隨ツテ、何等變革スルモノデナイ、詰リ實際上ニ於ケル取引ハ市場ニ於テスル、ケレドモ觀念的ナ取引ハ此ノ法案ノ結果變ハル、ケレドモ實際ノ米ノ流レト云フモノハ、從來一番合理的ナ流レナシテ居ツタ、少シモ不合理ニ賣却サレルモノデハナイト私ハ思フノデアリマスガ、左様デアリマスガハ世上ニ誤解ガ非常ニアルヤウデアリマスガ……

○周東政府委員 大體御意見ノ通りデアリマシテ、受渡場所ハ必ズシモ市場ノ地區内ニ限ラレテ居ナイノデアリマス、併シ今ノ御話ノヤウニ、適當ノ賣買行爲ハ市場内ニ限ルノデアリマス

○周東政府委員 大體ニ於キマシテ、政府米ノ委託賣買或ハ臺灣米ノ委託賣却等ニ關シマシテ、サウ特別ナ施設ハ必要デハナイノデアリマスガ、唯臺灣米ノ關係ニ於キマシテハ、或ハ臺灣

等ニ於キマシテ之ニ關スル出張所ト云フヤウナモノヲ設ケル必要ガ起ツテ來ルノデハナイカト考ヘテ居リマス

○西川委員 然ラバ附帯スル仕事ノ爲ニ會社ガ負擔致シマス費用等ハ、極メテ輕少デアルト考ヘテ宜シイノデゴザイマスガ

○周東政府委員 特別ニサウ多額ノ經費ハ要シナイト考ヘテ居リマス

〔中略〕

○西川委員 現行米穀取引所ノ取引手数料、詰リ延取引ノ取引手数料ハ幾ラデアリマスガ

○新倉政府委員 私カラ現在ノ取引所ノ手数料ノ點ヲ御説明申上ゲマス、一例チ東京ニ取リマス、現在東京ニ於キマシテ格付清算取引ニ於キマシテハ、賣買値段ニ依リマシテ違ヒマスガ、假ニ一石ノ賣買値段ガ三十圓デゴザイマス場合ニハ、賣買手数料ハ百石ニ付テ一圓五十錢デス、ソレカラ委託手数料ハ百石ニ付テ十圓デゴザイマス、ソレカラ、銘柄別ノ清算取引ニ於キマシテハ、是モ三十圓ノ場合チ大體標準ニ取リマスルト、是ハ五十石ニナツテ居リマスガ、賣買手数料ガ三十二錢デアリマス、ソレカラ委託手数料ガ四十圓四十錢、以上デアリマス

ノ銘柄取引以下テナクテハナラヌノテスガ、其ノ現在ノ銘柄取引ノ一石當リハ幾ラテスカ、米價三十圓ト假定シテ宜シイ

(中略)

○西川委員 ……第五十六條デアリマスガ「日本米穀株式會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ米穀ヲ賣買取引スル取引所又ハ正米市場開設者ガ本法公布ノ際現ニ所有スル土地、建物其ノ他ノ設備ヲ其ノ申込ニ應ジ買取ルモノトス」ト云フ條文ガアルノテスガ、是ハドウ云フ標準ニ於テ御買取ニナルノテアルカ、詰リ其ノ價格ノ基準ヲ何處ニ置イテ評價サレルカ此ノ現行ノ取引所ノ建設致シマシタ時ニ、之ニ掛ケテ居リマス投資ト云フモノヲドノ位ニ御覽ニナルカ、又新シイ會社ガ之ヲ使用致シマスル使用價值ト云フモノニ基イテ行クノテアルカ、又此處ニ提出サレテ居リマスル所ノ參考資料ニ依リマスト、大體現在ノ米穀取引所ノ持つテ居リマス不動産、土地建物等ノ金額ガ出テ居ルノデアリマスガ、其ノ中ノドノ程度ニ買取ル豫定デアリマスガ、此ノ點ニ付テ御答ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 大體其ノ資料ニ記載シテゴザイマスヤウニ、買取リマスル不動産ト云フモノハ、現在ノ米穀取引所ガ米ノ賣買ニ直接ニ使用シテ居リマスル物が、中心ニナルト考ヘテ居リマス

○西川委員 ……現在ノ取引所ノ所有シテ居ル土地建物ノ價格ハ千二百二十五萬八千餘圓ニナツテ居ツテ、是ハ丁度取引

所ノ資本金ニ該當シテ居ルト思フ、若モ之ヲ此ノ儘御買上ゲニナツテ、而モ取引所ニ對シテ優先的ノ出資ガ認メラレマス場合ニハ、現在ノ取引所ハ自分ノ現在持つテ居ル財産ヲ以テマシテソツクリ其ノ儘此ノ國策會社ノ中心ニ坐リ込ムコトガ出來ルノデアリマス、其ノ結果ハドウ云フコトニナルカト申シマス、現在ノ取引所ハ年々非常ニ事業不振ニ陥ツテ居ルノデアリマシテ、其ノ配當等モ極メテ少イノデアリマス、或ハ無配當ノ所モアルノデアリマス、然ルニ此ノ日本米穀株式會社ノ出資ニ對シマシテハ、六分マテハ優先的ノ配當ガ行ハレルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、結果ニ於テハ現在ノ取引所ガソツクリ其ノ儘——無配當ノモノモアリ、又配當率ノ極メテ少イ四分ノモノ、三分ノモノモアリ、例外的ニハ二割ト云フヤウナモノモアリマスガ、概シテ少イノデアリマス、ソレ等ガ非常ニ配當率ノ良イ會社ノ中心ニ坐リ込ムコト云フ危險性ガ相當ニアルノデアリマスカラ、此ノ點ハ世上ニモ色々問題ガアル……、此ノ日本米穀株式會社ニ對シマシテ、既ニ經濟段階カラ言ヒマスト前世紀ノ遺物アル清算市場ヲ經營スル所ノ取引所ニ、優先的出資ヲ認メルト云フコトガ大ナル矛盾アルト思フ、是ハ法ノ根本精神ニ矛盾スルト思フ、其ノ上ニ此ノ土地建物ノ買取ニ於テ、其ノ點ヲ十分ニ考慮シナカツタナラバ、此ノ新シイ會社ノ中心ニ極メテ有利ナ株主トシテ入ツテ來テ、而モ非常ニ勢力ヲ振フコトニナルノデアリマス、此ノ點ニ付テ大臣ハ如何ナル考ヲ以テ取裁イテ行カレル方針デアリマスカ伺ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 本會社ノ出來マス結果ト致シマシテ、取引所ヲ廢止致スノデアリマスカラ、出來得ル限り從來ノ取引所ノ人々ニ迷惑ノ掛ラヌヤウニシタイト云フコトハ、是ハ私ハ其ノ考ヲ以テ進ンテ行ツテ宜イト思ヒマス、併シ乍ラ此ノ新シキ會社ハ、救濟會社アモナケレバ、又取引所ヲ救濟スル爲ニ本會社ヲ拵ヘタモノデモナイノデアリマシテ、先日來申ス通り米穀配給ノ重大ナ責任ヲ以テ立ツノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ米穀取引所ノ財産ヲ買取致スニ付キマシテモ、最モ公正妥當ナル價格ニ依ツテ買取リタイト思ヒマス、其ノ買取リマス基準ハ、申スマテモナクソレハ、ノ途ノ専門家ニ依ツテ評價ヲ願フノデアリマスガ、政府ニ於キマシテハ特ニ米穀事業審査會ト云フモノヲ設ケマシテ、官民各方面カラソレハ、經驗ノアル人ニ出テ戴キマシテ、十分ニ其ノ審査ヲ致シマシテ適正ナル價格ニ依ツテ之ヲ買取リタイ、斯様ニ思ツテ居ル次第デアリマス

○西川委員 第五十六條ノ二項ノ「日本米穀株式會社ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受ケ本法公布ノ際現ニ存スル米穀ヲ賣買取引スル取引所ノ使用人及取引員ニシテ前條ノ規定施行ノ日迄引續キ其ノ業務ニ從事スルモノニ關シ必要ナル措置ヲ爲スモノトス」此ノ全體ノ意味ヲ御説明願ヒマス

○周東政府委員 是モ本法ノ施行ニ關聯シマシテ廢止セラレマスル取引所ノ善後處置ノ一ツデアリマス、今ノ二項ノ點ニ付キマシテハ、此ノ會社ガ市場ヲ開設致ス時、其ノ時マテ大體現在ノ取引所ノ使用人及取引員ガ現在ノ市場ニ於キマシテ業務ニ繼續シテ從事シテ居ツタ者ニ限りマシテ、新シイ會社ノ従業員ト

シテ使ヒ、又取引員ニ付キマシテハ、同様ニ新市場ノ取引員トシテ收容シテ行ク、斯ウ云フ規定デアリマス

○西川委員 次ニ本法施行ノ期日ハ各條項ニ依ツテ別々ニナルヤウデアリマスガ、大體下ノ分トドノ分ハ何時カラ、ドノ分トドノ分ハ何時カラト云フ御見込ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 會社ノ設立準備ニ關スル規定、是ハ本法ノ公布後直チニ施行致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ市場經營ニ關シマスル規定ハ、現在ノ取引所ノ設備等ノ買取ノ交渉ガ事實上進ミマシテ、相當各所ニ於ケル市場ノ開設準備ガ整ヒマシタ時ニ施行致シタイト思ツテ居リマス、是ハ出來ルダケ早く施行致シタイト思ツテ居リマス、是ト關聯致シマシテ、殊ニ政府ノ委託米ノ取扱ヲ爲スコト、殊ニ臺灣ノ米ノ關係ガゴザイマスノテ、是等モ同様ニ市場ノ開設時期ト同様ニ、早く施行スル必要ガアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ業者ノ許可制ニ關シマシテハ、市場開設ト前後シテ考ヘテ行クコトニナツテ居リマス

○西川委員 ソレハ第五十五條ノ「取引所法ハ米穀ニ關シテハ之ヲ適用セズ」ト云フ條項デアリマスガ、現在ノ取引所ニ於ケル清算市場ノ所謂米ノ相場、此ノ米ノ相場ヲ廢メサセマスノハ、何時カラ廢メサセル豫定デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ本法ニ依ル新米穀市場ノ開設ト同時ニ、現在ノ取引所ノ取引ハ廢メサセル積リデアリマス

○西川委員 一體政府ノ爲サレマス仕事ハ準備ニ非常ニ日數ヲ要スル、隨テ此ノ法律ガ成立シテ、準備ニ取掛ツテ、サウシテ市場ヲ開設サレテ、此ノ第五十五條ガ效力ヲ生ジテ「取引所法

ハ米穀ニ關シテハ之ヲ適用セズ」詰リ米穀取引所が消滅致シマ
スノハ、遅クトモ何時ニナルノデアリマスカ、何時カラハ絶對
ニ之ヲヤルト云フ御考デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ遅クトモ今年ノ出來秋ノ米ニ付キマシテ
ハ、之ヲ新市場ニ於テ取扱ハセタイト云フ氣持ヲ持ツテ居リマ
ス、遅クトモ今ノ所デハ十月一日マデニハ、サウ致シタイト考
ヘテ居リマス

○西川委員 其ノ點ガ非常ニ重大ナ問題ダト思ヒマス、元來此
ノ議會ヲ通ジマシテ論議ノ中心トナツテ居リマスノハ、米穀ノ
需給ノ均衡ヲ圖ルコトニ付テ、ドウシテ其ノ安全ヲ保障スルカ
ト云フコトデアアル、ソレニハ現在ノ清算市場ニ於テ所謂米相場
ヲヤツテ居ル、サウシテ公定價格以上ノ相場ガ出ルヤウナコト
ニナツタナラバ、ソコニ非常ナ不安ガ起リ危險ガ起ルカラ、ソ
レヲ防ガナケレバナラヌト云フコトガ、少クトモ本案提出ノ根
本ノ動機ヲ成シテ居ルト考ヘル、國民一般ガ此ノ案ハ少々缺陷
ガアツテモ成立サセナケレバナラヌト考ヘテ居ル、何
ジクツテ行クト甚ダ香シクナイヤウナ事實ガ出ルケレドモ、何
トカシテ一日モ早ク之ヲ成立サセナケレバナラヌト考ヘテ居ル
ノハ此ノ點デアアル、然ルニサウ云フ危險ガ一番起ルノ過去ノ
例ニ付テ見ルト、七月、八月、九月ノ所謂端境期デアアル、特ニ
七月ノ植付後ニ於ケル所ノ氣候ノ關係ガ惡ク、吉植君ガ本會議
テ言ヒマシタヤウナ、サウ云フヤウナ不安ガ起リマシタ時ニハ
ソコニ非常ナル危險ガ起ツテ來ル、然ルニ政府ガ豫定シテ居ラ
レマスノハ此ノ秋ノ米デアアル、此ノ秋ノ米ト云フコトニナルト

云フコトデアリマシテ、即チ一番遅レタ場合ヲ豫想シテ答辯致
シタノデアリマス、御説ノ通り本案ガ通過致シマシタ曉ニ於テ
ハ出來ルダケ速ニ致スノデアリマシテ、其ノ點ニ付テハ西川君
ノ御期待ニ副フヤウニ私ハ心掛ケタイト思ツテ居リマス

○西川委員 少クトモ此ノ條項ニ對シテハ遅クトモ六月ノ末日
ニハ效力ガ生ジナカッタナラバ、本法ノ精神ヲ發揮スルコトガ
出來タイト思フ、遅クトモ十一月頃ニナツテハ困ルノデアリマ
ス、出來ルダケト云フコトハ中々當テニナラナイ、此ノ點ハモ
ウ一度大臣ノ御決心ヲ願ツテ、事務當局ノ方ニ多少手抜カリナ
所ガアツテモ、大臣ノ責任ニ於テ遅クトモ夏ノ米相場ニ對シテ
不安ヲ與ヘタイト云フコトヲ、シツカリ御言明願ヒタイ

○櫻内國務大臣 御承知ノ通り斯ウ云フ問題ハ、非常ニ手數ノ
掛ル問題ガ澤山アルノデアリマシテ、ソレガ民間ノ會社ノ如ク
獨斷專行ニ出來ル仕事デアリマスナラバ、私明ニ一箇月半カニ
箇月デアリマス、併シナガラ是ニハ今ノ審議委員會等ノコトモ
アリマスシ、色々ナ關係モアリマス關係上、明ニ六月三十日マ
デニ之ヲ仕上ゲテシマフト云フコトヲ、茲ニ言明致スコトハ出
來マセヌケレドモ、其ノ考テ進ムト云フコトダケハ申上ゲテ置
キマス

○新倉政府委員 本會社ノ設立ヲ出來ルダケ急グト云フコトハ
只今農林大臣ノ御答ニナリマシタ通りデアリマス、尙ホソレト
關聯致シマシテ、七八月ノ候ニ若シ出來ナイ場合ニ、非常ニ取
引所ヲ投機取引ガ行ハレルヤウナコトガアツテハ困ルデアナイ
カト云フ點ニ付キマシテハ、現在ニ於キマシテモ取引所行政ト

十一月以後ニナルト思フ、此ノ案ノ少クトモ第五十五條ハ絶對
ニハ六月以前ニ效力ヲ生ズルヤウニ手續ヲ御運ビニナラヌト、
是ハ此ノ年度ニハ間ニ合ヒマセヌ、政府モ御心配ニナリ、議員
モ心配シテ居リマスコトハ、此ノ法律ヲ作ツテモ會社ガ出來ナ
イ、電力ノ統制モ勿論サウデアリマス、マダ未ダニ以テ新シイ
會社ハ成立シテハ居ナイ、特ニ農林省ト商工省ト話合ヲ必要ト
スル所ノ問題ガ、近年非常ニ遅レツツ居ル、是ハ後程詳細ニ言
ヒマスケレドモ、肥料問題ニ關シマシテモ去年ノ議會ニ於テ私
共ノ關係シタ委員會ニ於テ、私ノ質問ニ對シテ農林商工兩大臣
ガ口ヲ揃ヘテ肥料問題ノ農林省專管ニ關スルコトヲ言明サレテ
居ツテ、今以テ解決サレテ居ナイ、唯肥料ノ管轄ノ問題デア
ルガ、ソレデアラモ一年モズルノシテ居ルヤウナ今日ノ状態ニ
於テ、最モウルサイ問題、最モ面倒ナ問題ニ於テ、農林省ト商
工省トノ間ニ色々ナ關係ガアリ、業者トノ關係モアル、サウ云
フ問題ニ付キマシテ、當局ガ新シイ會社ガ成立シテ、其ノ上テ
第五十五條ガ效力ヲ生ズル、少クトモ今年ノ産米ニ間ニ合フヤ
ウニシタイト云フ氣持デアツテ居ラレマシタナラバ、是ハ間ニ
合フ氣遣ヒハナイ、今ノ夏ノ米相場ニ對シテ一番警戒シナケレバ
ナラヌト云フコトニナルト思フ、サウ云フヤウナコトデアハ私共
ハ此ノ案ヲ協賛致シマシテモ、何等ノ效果ガ舉ラナイ、是ハ吾
吾ノ責任ト致シマシテ左様ナコトデア安心スル譯ニハ行カナイト
思フノデアリマス、之ニ對シテドウ考ヘマスカ

○櫻内國務大臣 只今米穀局長ノ答ヘマシタノハ、遅クトモト
云フモノニ付テハ、相當ニ商工省ハ監督權ヲ持ツテ居リマス、
隨ヒマシテ其ノ投機取引ガ所謂公益ヲ害スルト云フヤウナ情勢
デアリマスナラバ、之ニ對シテハ相當ノ手段ガゴザイマスノデ
或ル程度ノ取締ハ出來ルカト存ジマス、併シナガラ所謂現在ノ
取引所ハ株式會社ヲ以テ經營シテ居リマスノデ、新會社ガヤリ
マスヤウナ所謂國策的ナ會社デアリマセヌノデ、其ノ邊ノ實際
ノ動キハ現在ノ取引所ノ場合ト、新會社ノ場合ハ相當ノ開キガ
アル、斯ウ云フヤウニ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○西川委員 先刻ノ大臣ノ御答辯ニ付テデアリマスガ、實ハ新
會社ガ成立シテ、新會社ノ市場ガ開設出來ルマデ此ノ第五十五條
ノ效力ヲ發揮スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フ前提ノ下ニ御立チ
ニナリマスカラ、私ガ向フ二箇月三箇月ノ間ニ迅速ニ運ブト云
フコトハ、無理ノヤウニ聞エマス、併シナガラ此ノ法律ノ規定
其ノモノハ私敢テ固執致シマセヌガ、此ノ第五十五條ノ精神ハ新
會社ノ成立ト切離シテ、是非トモ今年ノ夏ニ於ケル米相場ノ不
安ヲ飽クマデモ除去スベク手配ニナル必要ガアリハシナイカ、
此ノ點ハ農林大臣トシテ此ノ際責任アル御言明ガ出來ル管デア
ル、此ノ事ダケヲ切離シテオヤリニナルト云フコトハ出來ル管
デアアル、之ニ對シテ只今商務局長ノ答辯ニ依ルト、公益ヲ害ス
ルト云フヤウナ場合ニ於テハ、必要ナル手段ヲ執ルコトガ出來
ルト云フコトデアアル、ソレハ從來モ屢々取引所ニ對シテハ必要
ナル手段ヲ執ツテ居ラレル、併シナガラ是ガ非常ニ惡イノデア
リマス、現在ノ取引所ノ精神ナルモノハ、所謂自由主義華力ナ
ル時代ノ「イデオロギー」ニ基イテ出來タ法律デアアル、隨テ此

ノ監督ノ規定等モ現在ノ經濟機構ニ照シテ見マシテ、又我國刻下ノ社會情勢ニ照シテ見マスト、アノ監督規定ノ發動テハ十分デハナイ、若シテ監督規定ノ發動ニ依ツテ十分デアルトスルナラバ、此ノ法案ノ必要性ト云フモノガ極メテ少クナツテ來ル殆下之ヲ説明スル者ハ、此ノ法律ガ何故絕對ニ必要デアるかト云フコトハ、米ヲ投機ノ對象トシテハイケナイ此ノ點ニ此ノ法案ガ一ツノ革新性ヲ持ツテ居ル、此ノ法案ニ對シテ革新的「イデオロギー」ヲ持ツテ居リマス者ガ、幾分カノ好意ヲ寄セマス所以ハ、國民ノ主要食糧品デアル米ノ投機ノ對象ヲシメナイト云フ點デアル、ソレハ、即チ本法第五十五條ノ點デアル、而モ吾々ガ最モ懸念致シマスノハ、今年ノ夏デアル、其ノ夏ニ於テ間ニ合ハナイト云フコトニナルト、此ノ法律ノ效果ト云フモノハ、吾々ノ感ジテハ小サクナツテ來ル、此ノ夏ニ公益ヲ害スルヤウナ行爲ガ取引所ニ於テ現レタ場合ニハ、善處スルト言ハレマスガ、ソレハ身體ノ熱ガ非常ニ高クナツテ、是ハ放ツテ置ケナイ、サウ云フ事態ガ起ル、其ノコトガ實際ノ米穀配給ニ對シテ非常ニ惡イ影響ヲ及ボス、ソコデ六月マデニ此ノ第五十五條ト同ジ精神ノ行政命令ガ出來ルナラバ、現在ノ監督規定ハ疑ヒマセヌ、其ノ價格ニ對シテ事前ニ左様ナコトガ出來ナイヤウニスルコトガ、取引所法ノ改正ヲセズシテ現行法デア出來ルカドウカト云フコトハ、私ハ疑問ト致シマスガ、政府ニ於テ現在ノ取引所ヲ撤メテ取引所ノ出來ルノダ、最高價格、最低價格ノ枠ヲ嵌メテ置ク、取引所ノ相場ダケハ枠ヲ嵌メテ置イテ、サウシテ、米ノ相場ハ餘リ公定價格ノ域外ニ狂奔シナイヤウニ止メ

チ付ケテ置イテ、一方此ノ會社ノ設立ヲ急イテ市場開設ト共ニ此ノ第五十五條ノ效力ヲ發生スルコトニナル、斯ウ云フ御答辯ナラ諒承出來ルデアリマス、只今商務局長ノ御答辯ガアリマシタガ、ソレハ血壓ガ高クナリ、熱ガ非常ニ高クナツテカラノコトハイケナイ、其ノ事ガ非常ニ惡イ影響デアリマス、熱ガ高イト云フコト自體ガ心臟ニ對シテ非常ニ惡イ影響ヲ與へ、人ノ生命ヲ奪フヤウニナル、此ノ取引所ニ對シテ現左ノ監督規定ヲ發動シナケレバナラヌコトガ起ルト云フコト自體ガイケナイノデアリマスカラ、只今ノ商務局長ノ御答辯デハ承服スルコトガ出來ナイ、諄イヤウデアリマスガ、是ハ非常ニ重大ナ點デアリマスカラ、モウ一度農林大臣ノ言明ヲ得タイト思ヒマス。

○櫻内國務大臣 御心配ノ點ハ吾々モ同ジ考デアリマス、隨ヒマシテ此ノ會社ノ設立ニ對シ、又市場ノ開設ニ付キマシテハ、出來ル限リ努力シテ速ニ致シタイト思ツテ居リマス。

(中略)

○西川委員 ……第一段ハ第一條カラ第四條ニ關聯スル問題デアルデアリマス、元來私ハ此ノ日本米穀株式會社法案ガ世上ノ噂ニナリマシテ以來、此ノ法律ニ依ツテ米穀ナドノ主流ヲ抑ヘル、此ノ會社ガ米穀市場ヲ經營スルト云フコトノミデアハ是ハ確ニ米穀配給ノ政策ト致シマシテハ古イ思想デアル、左様ナコトデアイケナイ、生産者ヨリ消費者ニ至ル第一段階ハ集荷過程ニ於テ、最後ノ段階ハ配給過程ニ於テ、此ノ兩方面ノ統制ガシツクリト、法律命令ノミナラナクテ、機構ノ上ニ整ヘラレテ、サウシテ其ノ兩方ヲ繋グ意味ニ於テ市場ガ經營サレルノ

デナクテハ意義チナサナイト私ハ考ヘテ居ツタデアリマス：……詰リ集荷過程ト配給過程ニ於ケル所ノ合理化ヲ圖リ、改善刷新ヲ爲スベク、其ノ實際的ノ機構ニ付テハドウ云フヤウナコトヲ考ヘラレテ居ラレルカ、其ノ點チ大臣ニ伺ヒタイ。

○櫻内國務大臣 元來生産者ノ品物ガ消費者ノ方ニ流レテ行キマスニハ、從來色々ナ配給機構ニ依ツテ進ンテ流レテ參ツテ居ルデアリマス、此ノ建前ハ前回ニモ申シマシタガ、消費者モ生産者モ、共々ニ市場ニ這入レルヤウニナツテ居ルデアリマシテ、其ノ間ニ所謂仲介業者デアル米穀取扱業者ヲ入レマシテ是ガ油トナツテ圓滑ニ繰廻ツテ行キタイ、斯様ナ趣旨デ本法案ガ出來上ツテ居ルデアリマシテ、サウ全國的ニ是ガ若シウマク參リマスナラバ、所謂米穀ノ流レト云フモノガ、今日ノ流レノ上ニ更ニ改善サレテ、經費ヲ要シナイヤウナ流レ方チスルヤウニナルデアリマス、斯ウ思ツテ居ルデアリマス、コソナコトハ勿論西川君御承知デアリマセウガ、今ノ所デアハ東京邊リカラ茨城地方マデ「トラック」ヲ以テ買出シニ行ツテ居ル人モアリマス、又所謂荷車ヲ輓イテ一俵ニ俵ヲ集メテ居ルト云フヤウナ人モアリマスケレドモ、綜合的ニ圓滑ナル配給機關ガ完備致シマスト、是ハ合理的ニ經費ヲ少クシテ參ルヤウニナルデアリマス、是ハ合理的ニ經費ヲ少クシテ參ルヤウニナルデアリマス、斯ウ思ツテ居ルデアリマシテ、ソレニ致シマスノニハドウシテモ此ノ米穀業者ト云フモノチ——統制ト申スト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、一貫シテ指導シテ行ク立前ヲ取ル必要ガアリマスノデ、之ヲ許可制度ニ致シテ、而シテ之ニ對シテ政府ガ直接指導スルヤウニ建前ヲ作ルヤウナ譯デアリ

マシマス。

○西川委員 ……現在ノ業者ニハ既得權ヲ認メテ營業チサセテ行クデアアル、新シイ業者ニ對シテハ許可制度ニスル、此ノ場合私ハ實際問題トシテハ非常ニ種々ノ支障ガ起ツテ來ルト思フデアリマス、元來既ニ出來上ツテ居リマス消費地ニ於テハ、例ヘバ東京トカ大阪トカ其ノ他大體舊イ都市ニ於キマシテハ、米穀ノ商人ト云フモノハ飽和狀態ト申シマスルヨリモ、寧ロ過多ノ狀態デアリマシテ、飽和狀態デアリ、過多ノ狀態デアリマス爲ニ、米穀商人ト云フモノハ甚ダ利益ノ薄イモノニナツテ居ルデアリマス……サウ云フ場合ニ於テ是等ノ新シイ開業ヲ許可主義ニシテ制限シタ所デ、實際的ニハ開業ハ行ハレルモノデアナイ、所ガ新ニ米穀業者ガ開店シナクテハナラヌト云フ様ナ場合ハ近來生産力擴充ノ爲ニ各地ニ新シイ工場ガ出來或ハ鑛山ガ出來マシテ、新シイ消費地ガ出來テ來ル、サウ云フ場合ニハ急イテ其ノ供給ガ考ヘラレナクテハナラヌ、サウ云フ場合ニ於キマシテ農林商工兩大臣ノ共管ニ屬スル此ノ問題、是ハ從來ノ例カラ言ヒマシテ、幾ラ其ノ手續ヲ敏速ニ運ブト仰セラレマシテモ中々サウ容易ニ運ブモノデアナイ、ソレカラ又商人ノ分布狀態ト云フヤウナ事ヲ考ヘルト云フ事ヲ言ハレタデアリマス、其ノ分布狀態カラ致シマス、サウ云フ所ニ於テハ軒チ並ベテ米屋ガ出來ルト云フ風ニナルノガ實情ナデアリマス何故カトナレバ米ノミチヲ專業トスルモノガ居ルノデアナイ、米モ賣レバ魚モ賣ル、野菜モ賣ル、罐詰類、酒類、呉服類ニ至ルマデ、何デモカンドモサウ云フ所デアリマス、所謂諸

式屋ト言ヒマシテ軒ヲ並ベテ何處ノ店デモ米ヲ賣ルト云フコトニナル、サウ云フ實情ノ所ニ、而モ其ノ許可タルヤ迅速ニ之ヲヤル、米ハ一日モ之ヲ尋ハズニハ居ラレナイ、米ノ供給ハ一日之ヲ止メルコトハ出來ナイ、更ニ分布状態ノコトハ考ヘテモ居ラレナイ、サウ云フヤウナモノヲ許可主義ニスルト云フコトハ消費者ヲ非常ニ苦シメル結果ニナラナイカ、サウ云フ場合ニ付テハ大臣ハドウ云フ御考ノ下ニ其ノ許可主義ヲ行ハレルカ許可ニ依ツテ其ノ配給ノ圓滑ヲ期シ得ルト御考ニナリマセウカ

○櫻内國務大臣 御話ノ如ク現在ニ於ケル米穀商ノ類ハ相當多數デアリマス、隨テ米穀ダケヲ取扱ツテ居ツテ商賣ノ出來ナイト云フ者モ決シテ少イトハ思ヒマセヌ、故ニ理想的ニ申シマシテナラバ、或ル一定ノ地域ニ何戸トカ云フ風ニ許可ヲ致シマシテ地域のニ之ヲ區分致スコトガ、是等ヲ保護スル上ニ於テハ一番良イト思ヒマス、併シナガラ今御話ノ如ク、色々ナ副業ヲ持ツテ其ノ地方ニ於テ營業シテ居ルノデアリマシテ、ソレヲ今急ニ移轉セシムルト云フヤウナコトハ、言フベクシテ行フコトノ出來ナイ事柄デアリマス、故ニ第一ニハ現狀ヲ以テ許可致シマシテ、逐次之ヲ合理的ニ配置スルヤウニ指導シテ行クト云フ事柄ハ、多少ノ年限ハ要シマスケレドモ、出來ルノデハナイカト思ツテ居リマス、要シマスルノニ今後新シク工場ノ出來タ場合、或ハ非常ナ茲ニ新市街ガ出來タ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於テ、從來ノモノガ移轉シテ米穀商ヲ開クコトハ固ヨリ差支ナイノデアリマシテ、其ノ以外ニドウシテモ其處ニ行ク者ガナイト云フ場合ニハ、新ニ許可シテ行カケレバナリマセヌガ、是

ハ地方長官ニ代理セシメテ、敏速許可ノ方法ヲ講ズルト云フコトニナルダラウト思ツテ居リマス

○西川委員 ……是ハ現在米ノ賣買ヲ業ト致シテ居リマス者ガ支店ヲ作ルト云フヤウナ場合、其ノ急ニ應ジテ作ル場合ニハ免許ヲ得ズシテ出來ル、或ハ又米穀商人或ハ商業組合其ノ他ノ自治的ノ統制ノ下ニ應急ノ處置ヲ講ジテ行クトカ云フヤウナコトハ、是非トモ必要デアルト思ヒマスガ、第一點ハ左様ニ御運用ニナル思召シデアリマスガ

○櫻内國務大臣 ヤハリ支店ヲ置キマス場合ニ於テモ、ソレハ許可ノ申請ヲサセタイト思ツテ居リマス

○西川委員 ……米穀事情ノ下ニ於キマシテハ米ノ生産費ハ非常ニ上ツテ來ル、是ハ勞賃ガ非常ニ騰貴スルカラ、他ノ肥料等ノ價格ヲ假令當局ガ統制サレマシテモ、勞賃ノ統制ト云フ事ハ中々容易ニ出來ナイ、隨テ實質的ノ生産費ハ上ツテ來ル、併シナガラ米價其ノモノハ色々ノ事情ヲ考慮致シマシテ、餘リ之ヲ引上ゲル事ハ容易テハナイト思ヒマス、是ハ少クトモココ數年間農民ガ満足スルヤウナ價格ニ於テ引上ゲルコトハ困難デアラウト思ハレル、斯ノ如キ場合ニ於テハ、少クモ配給價格ノ操作ニ於テ少シデモ生産者ノ負擔ガ輕クナリ、一錢デモ米ガ有利ニ賣レルヤウニ當局トシテハ御考ニナラナクテハナラヌデアラウト思ヒマス、此ノ法律ヲ御提出ニナリマシタ動機ノ一ツニモ左様ナ意味モ亦含マレテ居ルベキダト思ヒマス、其ノ點ニ付キマシテ農林大臣ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 只今西川君ノ仰セノコトハ、最も重要ナルコ

トノ一ツデアルト思ヒマス、ト同時ニ、消費者ノ方面モ亦出來ルダケ高クナイモノヲ供給スルヤウナ途ヲ開キタイノデアリマシテ、ソコニ雙方多少ノ矛盾シタコトガ起ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ最モ公正妥當ナル指導ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス

午後六時二十四分散會

午後零時五分休會

昭和十四年三月十日
午前十時二十六分開議

午後一時四十八分開議

○添田委員長 ソレデハ會議ヲ開キマス

○添田委員長 午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○西川委員 事務當局カラ口頭テ宜シウゴザイマスガ、會社ノ主ナル收入、詰リ市場ノ手数料トシテノ收入ガ幾ラデアツテ、ソレガ全體ノ何割デアツテ、又其ノ他ノ收入ガ何ト何ガアツテソレガ金額何程テ全體ノ何割デアルカラ一寸御示願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御答致シマス、日論見ニ依リマスル會社ノ收入ノ總額ハ、三百二十九萬六千三百六十五圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ其ノ中米穀市場業務收入ガ百四十六萬一千二百圓、ソレカラ米穀取扱業務收入ガ百七十六萬五千七百圓雜收入ガ六萬九千四百六十五圓、以上デアリマス

○西川委員 此ノ米穀取扱收入ト申シマスノハ臺灣米ノ賣却、

政府米ノ賣却、賣渡若クハ買入等ニ依ツテ得ル收入ノ全部デアリマスガ、又市場收入ノ中ニ臺灣米關係、政府米關係ガ入ツテ居ルノデアリマスガ

○周東政府委員 臺灣米ノ受託賣却手数料及ビ政府ノ買入又ハ賣却ノ受託手数料ト云フモノハ、前ノ米穀市場業務收入ノ中ニ入レテ居リマス

○國光委員 私ハ本案第七條ノ公定價格ノ關係ニ付キマシテ、二三ノ質疑ヲ致シタイト存ズルノデアリマス……本法第七條ノ規定ニ依リマシテ、市場ノ公定價格ノ法的權限ト云フモノガ強化サレマシテ、公定價格以外ノ取引ハ全然禁止セラレタト云フ非常ナ強イ公定價格ノ決定ニ、意義ヲ與ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ劃期的ノ法案ノ成立致シマスル時期ニ、ソレニ伴フ米穀統制法ノ施行令ノ、ソレニ關スル規定ニ付キマシテ、再檢討ノ必要ガアルコトヲ私ハ痛感致スノデアリマス、殊ニ昨年ノ十二月十七日ノ米穀統制委員會ニ於テ、決定セラレマシタ所謂十三年度ノ公定價格ナルモノハ、農村方面ニ於キマシテ非常ナル不滿ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレガ實際ニ統制法ノ運用ノ上ニ、合理的ナ決定ダト考ヘレバ問題ハアリマセヌケレドモ、非常ニ不自然ナ裁定ヲ加ヘラレテ、所謂公定價格、殊ニ

其ノ最高價格ト云フモノガ決定セラレタト云フコトニ付キマシテハ、農村關係ノモノハ非常ナ不滿ヲ持ツテ——是ハ無論國家ノ一般ノ物價政策トノ關聯モアリマスルカラ、其ノ事情ハ諒ト致スニシマシテモ、此ノ米穀統制法ノ今日マデノ米穀政策ニ寄與シ來ツタ點カラ考ヘテ見マシテ、非常ナ遺憾ナ意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、農業者ハ大雜把ニコソナ考テ持ツテ居ル、戰爭ニナルト米價ガ上ルノダト云フヤウナ、バツトシタ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、ソレハ吾々トスレバ、統制法ト云フモノガアツテ其ノ統制法ニ依ツテ規制セラレルノデアルカラ、唯農民ガ昔カラノ古イ考ヘ方ヲ持ツテ、徒ニ戰爭ニナレバ米價ガ上ルノダト云フヤウナ考ヘ方ハ、非常ナ時局ヲ認識シナイ考ヘ方デアリマスルガ、唯幸力不辛力此ノ米穀統制法ト云フモノガアツタ爲ニ、其ノ運用ニ依ツテ國民ノ主要食糧デアルト云フ故ヲ以テ其ノ頭ヲ抑ヘラレタト云フコトニ付テハ、多大ノ不滿ヲ持ツテ居ル、併シ私ハ此ノ十二月十七日ニ決メラレタモノガ、此ノ年度ニ於テ米穀統制法ノ中ニ其ノ改訂ノ途ガ如何ニ開ケテ居リマシテモ、ソレヲ動かスコトハ出來ヌト云フコトハ、十分ニ承知致シテ居ルノデアリマスケレドモ、唯食糧充實ノ點カラ見テ、西川君ガ指摘セラレタヤウニ、十四年度ニ於テ決定ニハ、此ノ米穀統制法ノ施行令ノ再檢討ニ依リマシテ、相當ノ途ガ開ケルト云フ風ナ明ルサヲ持タセルト云フコトガ、政府ノ意圖シテ居ラレマスル所謂米穀増産ノ計畫ノ上ニモ、非常ナ關係ヲ持ツデアラウト考ヘルノデアリマス、其ノ意味合ニ於キマシテ、同ジ問題ヲ繞ツテ繰返シテ御尋テスルヤウデ、議事ノ促進ノ上カ

ラドウカト云フ風ニ委員長ハ御考カモ知レマセヌガ、併シ私ハ決シテ之ニ付テ自分トシテ私案ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、其ノ意見ヲセヌ、ガ希望ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、其ノ意見ヲ申上ゲテ、ソレヲ中心トシテ質問ヲ致シタイト考ヘルノデアリマス、唯此ノ問題ヲ質問致シマス前ニ、御聽キシテ戴キタイコトハ、戰時ニ於ケル食糧政策ノ根幹ニ關スル問題デアリマス、此ノ點デモ本會議ニ於キマシテ相當質問サレ、ソレニ對スル農林大臣ノ御答辯モアリマシタガ、ドウモ私ニハソレガドウ云フ所ガ狙ヒデアルノカ、其ノ狙ヒヲハツキリ掴ムコトガ、其ノ答辯ダケデアハ出來マセヌ、三宅君デアリマシタカ、此ノ點ニ付テハツキリ尋ネテ居ラレマスルガ、ヤハリ農林大臣ノ御答辯デアハソコガハツキリシテ居ナイヤウデアリマス、食糧政策ノ問題ニ關スル根本的ノ考ヘ方ガ、ヤハリ公定價格ノ決定ニ反映シテ參ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ政府ガドウ云フ考ヲ持ツテオイデニナルカ、其ノ點チ一番先ニ確メマシタ上デ、公定價格ノ決定ノ事情、竝ニソレニ伴ウテ私等ガ斯ウ云フ點チ幾分デモ是正シ改正スベキデアハナカラウカト思ツテ居リマス、此ノ點ニ付テ當局ノ御所見ヲ伺ヒタイ、斯ウ云フノガ私ノ質問ノ要領デアリマス、ソレデア先ジ第一ニ食糧政策ニ付キマシテノ根幹ニ付テ、御尋ヲ致シタイト思ヒマス、戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ハ是ハモウ何人モ承知シテ居ル所デアリマシテ、一般大衆モ兎モ角此ノ戰時ニ於ケル食糧ノ重要性ハ、相當ノ程度ニ認メテ居ルコトハ間違ナイノデアリマス、併シ一般ノ人ノ考ガ唯觀念的ニ食糧ト云フモノハ戰時ニハ大切ナモノデアアル、世界大戦ニ於テ

獨逸ガ破レタ所以ハ、主トシテ食糧ノ缺乏ニ在ル、聯合軍モ此ノ食糧ニハ非常ニ惱メテ居ルト云フコトハ承知シテ居リマスケレドモ、同時ニ又日本ハ世界ニ類ノナイ自給自足ノ出來ル國デアアル、食糧ニ關スル限り如何ニ戰爭ガ長期ニ互リマシテモ、此ノ點ニ付テ大シタ心配ヲスルコトハアルマイト云ツタヤウナ、甘イ、安易ナ氣持ト云フモノガ一般大衆ノ頭ノ中、此ノ中ニアルト云フ考ハ、寧ロ大事ダトハ思ツテ居ルガ、併シソレハ日本ニハ幾ラ戰爭ガ續イテモ、ソレヲ困ルコトハアルマイト云フ安易ナ氣持ガアルト私ハ存ジテ居リマス、併シ是ハ現實ニ食糧ノ缺乏ト云フモノチ今眼ノ前ニ見セ付ケラレタコトガナイノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ安易ナ氣持ガ國民ノ肚ノ中ニ、一般ノ人ノ頭ノ中ニアルト云フコトモ、是モ無理カラヌコトダト思ツテ居ルノデアリマス、併シ私ハソレハ別ト致シマシテ、甚ダ是ハ失禮ナ事ヲ申ス様デアリマスガ、農林當局ノ方ニモ此ノ安易ナ氣持ノ何十分ノ一カガ、是ハ無論私ハ意識的ダトハ申シマセヌケレドモ、兎モ角潜在意識トシテ何處カノ隅ニ此ノ何十分ノ一カト云フモノガ、アルノチヤナイカト云フ氣ガシテナラナイノデアリマス、是ハコソナコト申スト何デスガ、本案ノ如キハ、現在米穀ニシマシテモ八百萬石、九百萬石ト云フ持越ヲ見テ居ツテ、此ノ統制案ガ出テ來ルノデアリマスカラ、所謂轉バヌ先ノ杖デ、斯ウ云フ風ニマデシテ用心ヲシテ掛ルノダト、無論仰シヤルデアリマセウガ、併シドウモサウ云フ安易ナ氣持ト云フモノガ、何處カノ隅ニ何十分ノ一カアルノチヤナカラウカト云フヤウナ氣持ガスルノデアリマス、私ハ第一ニ昭和十四

年度ノ一般會計ニ於ケル所ノ農林豫算ノ形ヲ見ルノデアリマスドウモ農林豫算ハ私共ノ氣持カラシマスレバ、食糧問題ニ付テノ大キナ責任ヲ持ツテ居ル戰時ノ農林豫算トシテハ、洵ニ貧弱ダト申サザルヲ得ナイト思フノデアリマス、形ノ上カラスレバ追加豫算ヲ除イテ、十三年度豫算ニ比シテ千五百萬圓増加シテ居ル、斯ウ言ヘバソレハ無論農林當局ノ御苦心ハ諒トシマスガ併シ其ノ内容ヲ能ク檢討シテ見マスト洵ニ物足ラヌ氣持ガ致スノデアリマス、此ノ農林豫算ノ新規要求ヲ見マスト、臨時農村對策施設ニ關スル經費、或ハ生産力擴充ニ關スル經費等、之ヲ合セテ見マシテモ、此ノ大キナ問題ガ大シタ金額ニナツテ居ナイ、サウシテ一面ニハ殆ド軍事豫算ト同様ダト思ハレルヤウナ兩方共管ノヤウナ感じノスル馬政計畫、所謂軍馬資源保護ニ關スルモノハ、二千何百萬圓ノ金ガ計上サレテ居ル、是等ヲ對照シテ見マスト千五百萬圓ヤソコラデアハ内容ヲ見テモ一向ドウモ榮エタ豫算デアハナイ、戰時農林豫算トシテ大手ヲ振ツテ歩ケルヤウナ豫算デアハナイ様ナ氣ガ致スノデアリマス、大體ノ昨年ノ十二月ノ初ニ臨時農村對策部ガ新ニ設置セラレマシテ、ソレガ十四年カラ掛ツタノデアハ到底間ニ合ハナイ、十三年度カラ掛ラナケレバイケナイト云フノデア、豫備金ノ支出ニ財源ヲ仰イデア設置セラレタ、ソレヲ最初私共聽キマシタ當時ハ、是ハ洵ニサモアルベキ事デアアルト其ノ施設ニ對シテハ非常ナ共鳴ヲ持ツテ居ツタノデアリマス、然ルニ其ノ後ノ臨時農村對策部ト云フモノノ結果ガ吾々ノ府縣ノ方ニ廻ツテ來タ形ヲ見ルト、如何ニモ不徹底デアアル、如何ニモチダハダナコトチ甚ダ遺憾ニ思フ、折角

最初共鳴シタモノが實際コンナモノデハト云フ氣持が致シタ、私ハ農會ニ多少ノ關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、此ノ生産ノ確保、肥料ノ配給等ニ付テノ駐在員ガ農村對策施設トシテ出來テ居ル、私ノ縣ニモ其ノ配置ヲ受ケタ、ソレハ二郡市ニ對シテ一人ノ駐在員デアル、折角設ケラレタ程ナラ之ヲ一郡一人ト云ツタ形ニサレバ、農林省ガ考ヘテ居ラレルヤウニ事モ早ク運ビマセウ、又今日ノヤウナ肥料ノ急迫シテ居ル狀態カラ言ヘバ總テノ取調ノ書類ナドモ早ク農林省ノ御手ニ入ツテ、敏活ナ施設ノ運用ガ出來ルノデアリマスケレドモ、何分ニモ二郡市ニ一人デアル、而シテ置カレテ居ル所ノ郡市ノ方カラ見ルト云フト自分ノ所ニ事務所ハ設ケテアルケレドモ、自分ノ郡ダケデハナイデアリマスカラ、上テ考ヘラレテ居ルヤウナ風ニソレニ十分ナ手傳テシテ、任務ヲ果サセルベク協力スルト云フコトハ出來ナイ、置カレテナイ方ノ都市カラ言ウト、マア置イテハアルガ、ト云ツタヤウナ感ジ方チスル、此ノ二郡市ニ一人ト云フコトハ如何ニモ不徹底デアリマス、ソレニモ拘ラズ、其ノ吏員ヲ選アコトニ付テノ申請ノ手續ヲ運ビマシテモ中々抄ラナイ、私ノ縣ノ如キモ今月ニ入ツテ漸クソレガハツキリシタ位デアル、折角十三年度カラ掛ツテヤラレルト云フノニ、人ノ配置ガ漸ク此ノ頃ニナツテ出來ル、斯ウ云フコトハドウシテモ徹底スルヤウニナサラナイト、臨時農村對策部トシテハ洵ニ物足ラナイ、唯斯ウ云フ形ダケヲ作ツテ置クト云フ風ニ考ヘラレル、私ノ縣デ此ノ臨時農村對策部ニ付テノ各郡市農會長ノ協議會ヲヤリマシタ際ニ、或ル郡ノ農會長ガ曰ク、コンナ條ノ業ニ水ヲ付ケテ

振ルヤウナコトデ、此ノ大キナ吾々ノ任務ガドウシタツテヤレル管ノモノデハナイ、ソナチツボケナ金ヲ戴イテ非常ナ拘束ヲ受ケテヤルヨリハ、寧ロ吾々農會獨自ノ立場デ、自由ニ對策ヲ立テテ方ガ宜イデアハナイカト言ツテ非常ニ主張サレテ、私共モ理窟デハ尤ニ思フノデアリマスカラ、ソレ等ノ處理ニ困ツタ位ノコトデアリマス、是ハ極端ナ例デアリマスケレドモ、兎ニ角サレル程ナラバ徹底シタ所ノ施設ヲサレテ、是ガ郡ナリ、市町村ナリ部落ナリニ廻ツテ行ツテ、農林省ガ考ヘテ居ラレルヤウナ效果ガ舉ガルノデアラウカドウカト云フ、末ノ末マデ見透サレテ案ヲ立テテ戴カナイト、今ノ臨時農村對策部ノ如キ形デハ、中々農林省ノ意圖セラレル所ヲ十全ニ現ハス譯ニハ行カナイ、斯ウ云フヤウナ氣持ガ致スノデアリマス、私共ノ縣ノ郡農會ノ關係者ナドハ、皆今私ガ申上ゲタ通りノ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、折角政府ガソレダケノ施設ヲセラレルナラバ、ソレニ順應シナイト云フコトハ、時局ノ認識ガナイヤウニ見エマス、ダガ順應シテヤツテ見テモ、思フヤウナ働キガ出來テ、ソレニ應ヘルコトガ出來ルカト云フト、ソレガ出來ナイコトニナル、私ハ農林當局ニ於テ此ノ點ハ非常ニ注意シテ戴カケレバナラナイト云フコトヲ、熟ク思フノデアリマス、先日各派一致ノ生産確保ニ關スル決議案ガ、滿場一致テ決議セラレマシタガ政府ハ目下ソレニ付テノ方法ヲ御研究ニナツテ居ルコトト思フノデアリマス、其ノ事ガ現ハレマシテモ、例ヘバ部落團體ニ對スル助成ハ、此ノ法案ノ本當ノ狙ヒト致シテ居ル所ニ致シマシテモ、ソレガ實際ニ農村外ノ部落團體ヲ刺戟シテ、ソレニ感激

ヲ與ヘテ、政府ノ食料政策ニ何ヲ措イテモ、之ニ順應シテ其ノ増産ノ目的ヲ達スルヤウニシナケレバナラヌト云フ氣持ニナラセム様ニ、此ノ助成ヲセラレナイト唯言譯ノ様ニ金ヲ出シテソレハ今マデノ豫算ノ編成ノ仕方ト同ジコトデ、細カイヤノ項此ノ項ト云フ風ニ數チ分ケテ、サウシテ僅カノ金ダケヲ廻サレテ、其ノ金ガ本當ニ活キテ、肝腎ナ増産ト云フモノノ鍵ヲ握ツテ居ル所ニ效果ガ現ハレナイト云フコトニナリマシテハ、折角ノ決意、竝ニソレニ對スル政府ガ考ヘラレル所チ、本當ニ透徹シナイコトニナルノデアリマスカラ、是ハ餘程注意チシテ戴カナイトイケナイ、是ハ餘分ノコトヲ申サウデアリマスガ、サウ云フコトヲ思フノハ、此ノ臨時農村對策部ノ十三年度ニ於ケル施行ノ狀態ヲ見テ、特ニ其ノ事ヲ感ズル次第デアリマス、要スルニ十四年度ノ豫算ハ臨時對策ノ施設トシテハ、十三年度ノ豫算、即チ四ヶ月分チ一年ニ引延バシタト云フニ過ギナイ形ニナルデアラウト私ハ思フノデアリマス、兎モ角農林豫算、先程農林次官ノ御答辯ニナリマシタヤウニ、追加豫算ニ依ツテ一般農林豫算ヲ強化サレテ、本當ノ戰時ニ對スル食糧増産ノ參謀本部トナツテ居ル此ノ農林豫算トシテ、大手ガ振ツテ歩ケルヤウナコトニ強化サルベク、農林大臣ノ特ニ御努力ヲ仰ギタイト思フノデアリマス、今日ハ私ガ言ウタ安易ノ氣持ノ何十分ノ一ドコロアハナイ、ソレハ綺麗ニナクナツテシマツテ、非常ナ眞劍ナ氣持ニナツテ居ラレルト思フノデアリマスガ、此ノ豫算ノ編成ノ當時ニハ、大藏省トノ折衝ニモ相當ノ御苦心ハアリマシタデセウガ、大藏省ガ認メナイカラドウモ仕方ガナカツタト云フ

コトデハ、戰時ノ農林當局トシテノ責任ハ、決シテ解除サレルモノデハナイト思フ、私ハ此ノ豫算ヲ見テモ何處トナシニ此ノ安易ナ氣持ガ、潜在意識トシテアルノデハナイカト思フヤウナ氣持ガスルノデアリマス、肥料ノ問題ニ致シマシモ、肥料割當制ヲ昨年ニ發表セラレタ時ニ、農村ノ實情ハ勞力ノ不足其ノ他ニ依ツテ非常ニ困ツテ居ルカラ、肥料ノ關係ダケハ何ヲ措イテモ其ノ配給ニ遺憾ナキチ期サナケレバナラヌ、ソレニ全力ヲ注イテ、其ノ勞力ノ不足其ノ他資材ノ廻リノ惡イノチ、此ノ肥料ヲ補ツテ行クヤウニシナケレバ、此ノ年度ノ増産ハ出來ナイト云フ氣持ガ、強ク農林當局ノ頭ニアリマシタナラバ、私ハ今日ノヤウナコトニハナラズニ濟ンダラウト思フ、政府ハ随分日々陳情其ノ他責メラレテ居ルアセウガ、私共ノ手許ニモ毎日二三通電報ヲ催促セラレテ、ドウモ廻ラヌテ困ルカラ何トカ心配チシロト言ツテ來ルヤウナ狀態デアリマスガ、私ハサウ云フコトニナラズニ濟ンダラウト思フ、十四年ノ一月カラ實行スルト云フ時ノ氣持ガ、何處カマダ潜在意識ニアツタ爲ニ、今ニナツテサウ云フコトニ非常ニ御苦心ナサル、其ノ御苦心ニ付テハ敬意ヲ表シマスガ、ソレモ一ツ安易ナ氣持ガ、一般大衆ガ考ヘテ居ルヤウナ何十分ノ一カアツタノデハナイカト云フヤウナ氣持ガ、私ハスルノデアリマス、ソレデ私ハ其ノ安易ナ氣持ガ、同時ニ米ノ増産ヲ控ヘテノ公定價格ノ問題ニモ反映シテ來テ居ルノデハナカラウカト思フノデアリマス、ソコ問題ハ、此ノ食糧政策ニ關シテ政府ガドウ根本的ニ考ヘテオイデアニナルカ、此ノ點ニ付テハツキリシタコトヲ一ツ私ハ伺ツテ置キタイノデア

リマス、所謂一方アハ價格ノ問題、一方アハ増産ノ問題ガアル
是ガ兩建ニナツテ居リマスケレドモ、之チ一體ドウ取扱ハウト
セラレルノアルカ、本會議ニ於ケル質問ニ對シテノ御答辯チ
伺ツテ見テモ、又速記録ヲ讀ンテ見テモ、之チドウ取扱ハレル
カト云フコトハ分ラナイデアリマシテ、此ノ食糧ノ増産ト價
格トノ關係ナド御答辯ヒニナルカト云フコトチ第一ニ承ツテ、
ソレカラ公定價格ニ關スル問題ニ移ツテ御答辯致シタイト思ヒ
マス

○松村政府委員 大臣カラ御答辯申上ゲネバナラヌデアリマ
スガ、據ロナイ用事ア貴族院ノ他ノ委員會ニ出テ居リマスノデ
私ガ御答申上ゲマス、御話ノ點ハ極メテ重大ナコトデアリマス
ガ、只今ノ御質問ハ食糧政策ノ方ガ主ノヤウデアリマスカラ、
其ノ點ニ付テ先ヅ御答申上ゲマス、御話ノ通りニ今日マデハ
幸ニ食糧ニ事缺カナイア、殆ド國民ハ食糧ニ對スル關心チ持ツ
テ居ナイヤウナ状態デアリマスガ、是ハ洵ニ一面カラ見ダナラ
バ、世界ノ戰史ニ例ノナイコトデアリマシテ、戰爭チシテ一年
中モ此ノヤウニ食糧ガ満足ニ供給セラレルト云フコトハ、是ハ
一ニ國土ノ惠ミト、農民ノ非常ナ努力ノ結果デアリマスコトハ
申スマデモナイコトデアリマス、併シナガラ斯ウ云フ状態ガ、
安心チシテ今後モ持續シテ行ケルカト云フコトガ、大キナ問題
デアリマシテ、私共ハ御話ノ通り今日迄ハドウカスウカヤツテ
來タガ、今後モ此ノ調子チ必ズ行ケルモノダト云フヤウナ御話
ノ安易ナ氣持ア居ルト云フコトハ、大變ナ間違デアリマシテ、
農林當局ハ決シテ左様ナ考チ持ツテ居リマセヌ、今日ノ場合色

色ノ資材ガ不足チシ、勞力ガ不足チシテ參リマシタ上ニ、戰時
食糧チ確保スルト云フコトハ非常ナ困難ナコトデアリマスガ、
又是ハ非常ナ必要ナコトデアリマシテ、若シモ此ノ確保ガ出來
ナイア、不安チ與ヘルト云フコトガアツタナラバ、是ハ大變ナ
事デアリマスカラ、私共ハ此ノ食糧ノ確保ノ爲ニ最善ノ努力チ
セナケレバナラヌト思ツテ居リマス、ソレニ付マシテハ先般モ
議會ア此ノ點チ御心配ニナリマシテ、滿場一致ノ御決議モアリ
マスルシ、農林當局モ豫ネト是等ニ對スル色々ノ施設チ考ヘ
テ居リマシタノデ、計畫チ新ニ致シマシテ、現在大藏省ニ豫算
チ要求致シテ居リマス、日ナラズ決定チ致シテ皆サンノ御協賛
チ得ルコトニナルコトト存ジテ居リマスガ、其ノ點ハ全ク國光
サンノ御話ノ通りニ考ヘマシテ、出來得ル限り役所ノ人件費ナ
ドチ節約シマシテ、此ノ生産チ掌ル最前線ノ方面ニ有效ニソレ
等ノ費用ガ廻ルヤウナ考ヘ方チ以テ、今日要求致シテ居ル譯デ
アリマス、同時ニ獨リ内地ノミナラズ朝鮮、臺灣ニモ此ノ生産
ニ協力チシテ戴ケルヤウニ致シテ居ル譯デアリマシテ、食糧ノ
確保ニ付テハ遺憾ノナイ様ニ努力チ致シタイト考ヘテ居リマス
之チ各府縣ニ綜合的ニ御願チ致シマシテ、府縣々々ノ責任チ以
テ此ノ生産ニ當ルヤウニ、生産者タル農民ニ御願チシタイト思
ヒマシテ、明後日ノ日曜ニモ經濟部長會議チ農林省ニ召集シマ
シテ、是等ノ生産ニ付テ計畫的ニ相談チシテ、直グサマ實行ニ
掛ル積リテ居リマス、幸ヒ前内閣ノ時ニ農業報國聯盟ト云フモ
ノガ出來マシテ、其ノ豫算モ取ツテ居リマスガ、斯ウ云フ場合
ハ主トシテ生産擴充ガ何ヨリモ大切デアリマスカラ、此ノ方面

ニモ御願チシテ、生産擴充ノ爲ニ衆議院方面ノ皆様ニモ御協力
チ願ツテ、此ノ目的チ達シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル譯デ
アリマシテ、決シテ此ノ生産確保ニ手ヲ著ケナイアモ、食糧ハ
得ラレモノダト云フガ如キ考ハ斷ジテ持ツテ居リマセヌ、餘
程ノ努力チシナクテハ確保ガ出來ナイト考ヘテ居ル譯デアリマ
ス、斯ウ云フ風ニ、一面ニ食糧ノ確保ニ努力チ致スト共ニ、更
ニ配給方面ニ力チ用ヒマシテ、是ダケノコトチシテ居ツテモ、
若シ不足ナドナル場合ガアリ、不足ガナクテモ假思惑ガ起ツ
テ、米價ノ適正チ失フガ如キコトガ生ジ、國民生活ヲ脅カスガ
如キコトガアツテハナリマセヌカラ、一面ニ生産ノ擴充ヲ致ス
ト共ニ、又一面ニハ只今御審議チ願ツテ居リマセヌヤウニ、配給
機構ノ改善ヲ圖リ、取引ニ付テハ投機チ抑制シテ、實需ニ依ツ
テ公定相場ガ決マルヤウニスルコトガ、第一義デアルト思ツテ
居ル譯デアリマス、是ダケ御答辯致シテ置キマス

○國光委員 一應農林次官ノ御答辯ハ諒ト致シマス、殊ニ懸テ
議會ニ出マスル農林省ノ追加豫算ニ付テハ、私ガ申上ゲタヤウ
ナ本當ノ食糧増産、生産確保ノ鍵チ握ツテ居ル所ニ狙ヒノ狂ハ
ナイヤウニヤル積リダト云フ農林次官ノ御答辯ニハ非常ニ満足
チ致シマス、戰時豫算ダケアル限りハ、ヤハリ本當ノ非常時
豫算トシテノ形アナケレバナラヌ、平常通りノ考ヘ方デ豫算チ
編成スルト云フ事ニナルト、大藏省ア通ラヌト困ルモノダカラ
ソレニ合フヤウニサレル爲ニ、折角ノ狙ヒヲ狂ハシテシマフ、
或ハ折角金チ取ツテヤリナガラ使ヒヤウガナクテ餘ツテシマフ
ト云フヤウナコトチ、ヨク話ニ聞クノデアリマス、併シ戰時豫

算アル限りハ少シハ大難把テモ、本當ノ狙ヒ所ニ向ツテヤラ
レルト云フ、今ノ農林次官ノ御答辯ノ通りニ農林豫算チ御取扱
ニナルコトチ、衷心ヨリ御願申上ゲテ置キマス、ソレカラ此ノ
食糧政策ニ付テ、私ハ決シテ之チ農林省ガ忽セニシテ居ルトハ
申シマセヌガ、幾分力安易ナ氣持ガ知ラズ識ラズノ裡ニアツタ
ノデハナカラウカ、農林省ノ豫算ヲ見、又資料、其ノ他チ見ル
ト、サウ云フ氣持ガシテナラヌカラ申上ゲタノデアリマシテ、
決シテ政府ニ何ラノ經綸モナケレバ、熱意モ今イトハ私考ヘテ
居リマセヌ、併シ眞劍サガ足ラナイアハナイカト云フヤウナ氣
持ガシテナラナイノデ、ソレチ申上ゲタノデアリマス、所ガ農
林省ノ政策ガ増産第一主義ト云フコトニナリマスレバ、結局價
格問題ハ第二ニ廻ルノデアリマセウカ、ソレサヘハツキリスレ
バ宜シイノデアリマス、所謂増産主義ト價格、此ノ兩方チ兩建
ニ見渡シテヤラレルト云フコトデアアルノカ、或ハ増産第一
主義デ、價格政策ナルモノハ第二ニ廻ルベキモノデアアルカ、午
前中ニモ西川君ガ申サレタガ、材料ハ非常ニ安クナツテ居ルニ
モ拘ラズ、其ノ製品ハ高イ、高イカラ今度ハ抑ヘルノダト云フ
形ナラバ、増産ハドウモ非常ニ危険ガアルト思ヘバ、其ノ場合
ニハ尙又考ヘ方ガ別デアアルガ、増産狙ヒテ行ケバ増産第一主義
若シソレガ思ハヌ價格ノ昂騰チ來シタ時ニハ、第二段トシテ其
ノ價格チ抑ヘルコトチ考ヘルト云フ行キ方ガ、今日ノ状態トシ
テハ當然ナコトデアアルト思フ、マダ増産ノ計畫モ立タヌ内カラ
價格チ抑ヘテ、後ニ増産ニ廻ルト云フコトハ、戰時ノ食糧政策
トシテハ逆ニ廻ツテ居ルノダト云フコトチ私ハ思フ、ソコガド

リマス、所
是ガ兩建
セラハ
何
ン
ガ
ト

農林次官ノ御答辯ガ、生産確保第一主義ナラバ、私ノ思ツテ居ル通りデア
キリ致シマセヌ、私ノ間ヒタイコト
第二主義、斯ウ云フ所ヘ行ケバ、私
ニ丁度ビツタリ合フデアリマスガ
話ノ通りデアリマシテ、生産増
適正ニシナクテハ出来ナイコトハ
増スコトニ努メル時ニハ、價格ヲ
確保シナクテハ出来ナイコトハ

○國光委員 ソレハ言ヒ表シ方ニ依ツテハ、今ノ農林次官ノ御
答辯モ適正ナト云フ事ノ意義ニナルノデアリマスガ、米穀統
制法ニ於ケル公定價格ノ問題ニ一寸觸レテ見マス、増産計畫
ヲ立テル一方デハ、統制法ニ基ク最高最低ノ價格ガアルノデア
リマス、何シロ農林當局ノ肚デハ、十四年度ハ今ノ様ナ安易ナ
氣持テ一般國民ガ考ヘテ居ルヤウナコトデアイケナイ、斯ウナ
ツテ此ノ増産ト云フコトニナリ、ソノ増産計畫ハ漸ク昨日農業
計畫委員會テ、先般大臣ガ御答辯ニナツタ内地四百萬石ノ増産
計畫ガ御決リニナツタヤウニ新聞ニ出テ居リマスガ、サウ云フ
計畫ガ今定ツテ居ルノニ、前ノ公定價格ニ付テ幾ラカデモ不自
然ノ工作ヲスル必要ハナイノデアリマス、例ヘバ「ゴム」ノ
下ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ製品ハ自由ニ委セテ、十割モ二十
割モ高クナツテ居ルト云フコトハ、適正ナル價格デアナイノデア

時ニ起ルベキ不安、是ハ比較ニナラヌ程大キイ社會的不安デア
ル、ソレガアルカラコソ、轉バ先ノ杖ト云フコトデア配給統制
案ト云フモノガ今日出テ居ルノデアリマス、ソコガドウモ私共
ニハツナリシタコトガ分ラヌ、如何ニモソコマデハ上ツテハイ
カヌ、一般ノ人氣ガ惡カラウト云ツタヤウナ氣持デアラレテ居
ルト云フ風ニシカ私ニハ考ヘラレナイ、ソコハドンナモノデア
リマセウカ、執拗イヤウデアハアリマスケレドモ、御考ヘ方ヲ承
リタイ
○松村政府委員 只今御話ノ點デゴザイマスガ、昨年ノ暮ニ基
準米價ヲ決メラレマシタ事ハ、是ハ其ノ時ノ色々ノ情勢ヲ斟酌
セラレ、又基準米價ヲ決定スル條件ヲ參酌セラレテ、オヤリニ
ナツタコトデアリマシテ、其ノ事ハ別ト致シマシテ、今後ハ如
何ニスルカト云フ御話ダラウト存ジマス、今後ノ事ニ付キマシ
テハ、私共ハ先刻モ御話ノ通り、米ノ擴充ニ付テハ相當ニ其ノ
價格ニ付テ農民ニ安心ヲセシメバナラナイト云フコトハ痛切
ニ感ジテ居リマス、併シ今直チニ此ノ基準米價ヲ變更致スコト
ノ善シ惡シハ、此處ニハ申上ゲマセケレドモ、併シナガラ其
ノ生産擴充ノ爲ニ今日ニ於テ基準米價ヲ變ヘルト云フ事ハ、ソ
レハ相當ニ考慮ヲセネバナラヌコトト思フデアリマス、殊ニ
今日カラ段々農家ノ人達ニ本當ニ米ガナクナリ、若シクハ段々
是カラ米ヲ買ハネバナラヌト云フ事情モアルノデアリマスノデア
今日公定米價格ヲ動かスコトノ善シ惡シニ付キマシテハ、慎
重ノ考慮ヲ要スルコトト思ヒマス、併シナガラ米ノ増産ヲ圖ル
ノニハ、或ル程度ノ安心ヲ與ヘサセルコトガ必要デアリマスガ

アリマスカラ、ソレヲ抑ヘナケレバナラヌ、ナセ公定價格ヲ決
定セラレル際ニ、増産ノコトガ目ノ前ニアルニ拘ラズ、ソレニ
付テハ主要食糧品デアラガ故ニ、他ノ物價ニ對シテ刺戟ヲ與ヘ
テハイケナイト云フコトデ、ソレヲ抑ヘラレタト云フ氣持ガ、
此ノ増産第一主義カラスルト、ドウシテモ私共ニハ合點ガ行カ
ナイノデアリマス、當リ前ニ是ガ公正ニ決メラレタノデアアル
ラバ、ソレガドナナ形デアラウトモ、若シソレニ依ツテ其ノ價
格ガ一般ノ國民生活ニ不安ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニナレバ、
一ノ時ニ抑ヘル方法ハ幾ラデモアル、兎ニ角統制法ガ今日儼ト
シテアルノデアリマス、ソコガドウモ私ニハ分ラナイ、實際ハ
ドウ云フ風ナノデアリマスガ、適正ナ價格ト云フモノガ此ノ増
産ニハ必要ダト思ヘバ、不自然ノ工作ト云フモノハ執ラレベキ
管ノモノデアナイ、ソレハ他ノ物價ニ對スル氣兼カラサウ云フ方
法ヲ執ラレタ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、他ノ物價ノ
方ハ、遠慮會釋ナクズン、イツテ居ル、コツチバカリガ遠慮テ
シテ、主要食品ダカラ國民ノ生活ニ不安ヲ與ヘテハイケナイト
云ツテ抑ヘラレテハ、迷惑スルノハ農業者バカリデアアルト云フ
コトニナリハシナイカ、農林大臣ガ昨年ノ十二月十七日ニ統制
委員會テ決ツタ後ニ出サレタ聲明書ヲ見ルト、如何ニモ苦シイ
辯解ヲシテオイデニナル、其ノ苦シイ辯解ヲセラレル程ノコト
ナラバ、モウ少シ戰時ノ食糧政策ト云フモノニ付テ大乗的ノ考
ヲサレテ、所謂値ガ少シ上ツテモ國民生活ニ不安ヲ與ヘルト云
フコトト、若シソレガ足ラナクテ價格ノ抑制ヲシタ爲ニ増産ノ
計畫ニ暗算ヲ與ヘルト云フコトニナツテ、ソレガ阻止セラレタ

ラ、是ラノ點ニ付テハ遺漏ナキ時期シタイト考ヘテ居リマス、
唯此處ニ申上ゲ得マスコトハ、新米穀年度ノ基準米價ヲ決定ス
ルニ當リマシテハ、ソレハ決シテ米ヲ犧牲ニシテ、サウシテ他
ノ物價ト伴ハナイ價格ヲ決メルト云フヤウナコトハ斷ジテ致シ
マセヌ、御承知ノ通りアノ基準米價ヲ決メル色々ノ條件ハ、議
會ニ於テモ長イ間色々ノ研究、沿革ヲ經テ定ツタモノデアリマ
スカラ、アノ間ニ定メルナラバ、相當適正ニ出來ルノデアリマ
スルシ、其ノ運用ニ依リマシテハ十分御話ノヤウナ點モ考慮ニ
入レテ、決メルコトガ出來ル譯デゴザイマスガ、新米穀年度
ノ基準米價ヲ決定ハ、米價ト他ノ物價トノ釣合等ニ付キマシテ
ハ、十分考慮ヲ致シマシテ、米價ヲシテ他ノ犧牲——犧牲ト
言ツテハ惡イカモ知レマセヌガ、特ニ米ダケヲ安クシテ、農民ガ
多クノ負擔ヲスルト云フガ如キヤリ方ハ致サナイト云フコトダ
ケハ、今日カラ申上ゲ得ルコトト思ヒマス
○國光委員 公定價格ノ決定ハ前内閣ノ時決ツタコトデアリマ
シテ、是以上申上ゲルコトハ差控ヘタ方ガ宜カラウト思ヒマス
唯年度内ニ公定價格ヲ變更スルコトノ出來ナイト云フコトハ、
是ハモウ農林次官ノ御話ヲ俟タナイデモ、常識的ニ私モ考ヘテ
居ルノデアリマス、今御答辯ノ通りニ新米穀年度ニハ、サウ云
フ風ノ御意思ヲ持ツテヤラレルト云フ事ガ分レバ、私ハ其ノ點
ハ満足致シマス、ソレデ公定價格ヲ決定シマシタ當時ノ事情ヲ
申上ゲタイト思ツテ居リマシタガ、是ハ今農林次官ノ御答辯ニ
アリマシタカラ、ソレハ省略シマスガ、唯大體的ニ申シテ見
レバ、兎モ角最高價格ノ決定ガ物價參酌値ノ上値ニ割乃至三割

ツチテアリマスガ、今ノ農林次官ノ御答辯ガ、生産確保第一主義テ行クト云フノデアリマスナラバ、私ノ思ツテ居ル通りデアリマスガ、マダソコガハツキリ致シマセヌ、私ノ間ヒタイコトハ所謂生産第一主義、價格第二主義、斯ウ云フ所ヘ行ケバ、私ノ是カラ進ンデ行ク考ヘ方ニ丁度ヒツタリ合フノデアリマスガソコチハツキリシテ實ヒタイ

○松村政府委員 其ノ點ハ御話ノ通りデアリマシテ、生産増サウト致シマスニハ、價格ヲ適正ニシナクテハ出來ナイコトハ勿論デアリマス、是ハ生産増サウトニ努メル時ニハ、價格ヲ其ノ生産ガ出來ル程度ニツイテ確保シナクテハ出來ナイコトト存ジテ居リマス

○國光委員 ソレハ言ヒ表シ方ニ依ツテハ、今ノ農林次官ノ御答辯モ適正ナト云フ事ノ意義ニナルノデアリマスガ、米穀統制法ニ於ケル公定價格ノ問題ニ一寸觸レテ見マスト、増産計畫ヲ立テル一方デハ、統制法ニ基ク最高最低ノ價格ガアルノデアリマス、何シロ農林當局ノ肚デハ、十四年度ハ今ノ様ナ安易ナ氣持テ一般國民ガ考ヘテ居ルヤウナコトデアリケナイ、斯ウナツテ此ノ増産ト云フコトニナリ、ソノ増産計畫ハ漸ク昨日農業計畫委員會デ、先般大臣ガ御答辯ニナツタ内地四百萬石ノ増産計畫ガ御決リニナツタヤウニ新聞ニ出テ居リマスガ、サウ云フ計畫ガ今定ツテ居ルノニ、前ノ公定價格ニ付テ幾ラカデモ不自然ノ工作ヲスル必要ハナイノデアリケナイ、例ヘバ「ゴム」ノ下ツテ居ルニモ拘ラズ、其ノ製品ハ自由ニ委セテ、十割モ二十割モ高クナツテ居ルト云フコトハ、適正ナル價格デアリナイノデア

時ニ起ルベキ不安、是ハ比較ニナラヌ程大キイ社會的不安デアール、ソレガアルカラコソ、轉バマ先ノ杖ト云フコトデア配給統制案ト云フモノガ今日出テ居ルノデアリマス、ソコガドウモ私共ニハツナリシタコトガ分ラヌ、如何ニモソコマデアハ上ツテハイカヌ、一般ノ人氣ガ惡カラウト云ツタヤウナ氣持デアラレテ居ルト云フ風ニシカ私ニハ考ヘラレナイ、ソコハドンナモノデアリマセウカ、執拗イヤウデアアリマスケレドモ、御考ヘ方ヲ承リタイ

○松村政府委員 只今御話ノ點デゴザイマスガ、昨年ノ暮ニ基準米價ヲ決メラレマシタ事ハ、是ハ其ノ時ノ色々ノ情勢ヲ斟酌セラレ、又基準米價ヲ決定スル條件ヲ參酌セラレテ、オヤリニナツタコトデアリマシテ、其ノ事ハ別ト致シマシテ、今後ハ如何ニスルカト云フ御話ダラウト存ジマス、今後ノ事ニ付キマシテハ、私共ハ先刻モ御話ノ通り、米ノ擴充ニ付テハ相當ニ其ノ價格ニ付テ農民ニ安心ヲセシメネバナラナイト云フコトハ痛切ニ感ジテ居リマス、併シ今直チニ此ノ基準米價ヲ變更致スコトノ善シ惡シハ、此處ニハ申上ゲマセヌケレドモ、併シナガラ其ノ生産擴充ノ爲ニ今日ニ於テ基準米價ヲ變ヘルト云フ事ハ、ソレハ相當ニ考慮ヲセネバナラヌコトト思フノデアリマス、殊ニ今日カラ段々農家ノ人達ニ本當ニ米ガナクナリ、若シクハ段々是カラ米ヲ買ハネバナラヌト云フ事情モアルノデアリマスノテ今日公定米價格ヲ動かスコトノ善シ惡シニ付キマシテハ、慎重ノ考慮ヲ要スルコトト思ヒマス、併シナガラ米ノ増産ヲ圖ルノニハ、或ル程度ノ安心ヲ與ヘサセルコトガ必要デアリマスガ

アリマスカラ、ソレヲ抑ヘナケレバナラヌ、ナセ公定價格ヲ決定セラレル際ニ、増産ノコトガ目ノ前ニアルニ拘ラズ、ソレニ付テハ主要食糧品デアアルガ故ニ、他ノ物價ニ對シテ刺戟ヲ與ヘテハイケナイト云フコトデア、ソレヲ抑ヘラレタト云フ氣持ガ、此ノ増産第一主義カラスルト、ドウシテモ私共ニハ合點ガ行カナイノデアリマス、當リ前ニ是ガ公正ニ決メラレタノデアアルナラバ、ソレガドンナ形デアラウトモ、若シソレニ依ツテ其ノ價格ガ一般ノ國民生活ニ不安ヲ與ヘル、斯ウ云フコトニナレバ、一ノ時ニ抑ヘル方法ハ幾ラデモアル、兎ニ角統制法ガ今日儼トシテアルノデアリマス、ソコガドウモ私ニハ分ラナイ、實際ハドウ云フ風ナノデアリマスガ、適正ナル價格ト云フモノガ此ノ増産ニハ必要ダト思ヘバ、不自然ノ工作ト云フモノハ執ラレベキ管ノモノデアナイ、ソレハ他ノ物價ニ對スル氣兼カラサウ云フ方法ヲ執ラレタ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、他ノ物價ノ方ハ遠慮會釋ナクズン、イツテ居ル、コツチバカリガ遠慮ヲシテ、主要食品ダカラ國民ノ生活ニ不安ヲ與ヘテハイケナイト云ツテ抑ヘラレテハ、迷惑スルノハ農業者バカリデアアルト云フコトニナリハシナイカ、農林大臣ガ昨年ノ十二月十七日ニ統制委員會テ決ツタ後ニ出サレタ聲明書ヲ見ルト、如何ニモ苦シイ辯解ヲシテオイデニナル、其ノ苦シイ辯解ヲセラレル程ノコトナラバ、モウ少シ戰時ノ食糧政策ト云フモノニ付テ大體の考ヲサレテ、所謂値ガ少シ上ツテモ國民生活ニ不安ヲ與ヘルト云フコトト、若シソレガ足ラナクテ價格ノ抑制ヲシタ爲ニ増産ノ計畫ニ暗翳ヲ與ヘルト云フコトニナツテ、ソレガ阻止セラレタ

ラ、是ラノ點ニ付テハ遺漏ナキチ期シタイト考ヘテ居リマス、唯此處ニ申上ゲ得マスコトハ、新米穀年度ノ基準米價ヲ決定スルニ當リマシテハ、ソレハ決シテ米ヲ犧牲ニシテ、サウシテ他ノ物價ト伴ハナイ價格ヲ決メルト云フヤウナコトハ斷ジテ致シマセヌ、御承知ノ通りアノ基準米價ヲ決メル色々ノ條件ハ、議會ニ於テモ長イ間色々ノ研究、沿革ヲ經テ定ツタモノデアリマスカラ、アノ間ニ定メルナラバ、相當適正ニ出來ルノデアリマスルシ、其ノ運用ニ依リマシテハ十分御話ノヤウナ點モ考慮ニ入レテ、決メルコトガ出來ル譯デゴザイマスカラ、新米穀年度ノ基準米價ノ決定ハ、米價ト他ノ物價トノ釣合等ニ付キマシテハ、十分考慮ヲ致シマシテ、米價ヲシテ他ノ犧牲——犧牲ト云ツテハ惡イカモ知レマセヌガ、特ニ米ダケヲ安クシテ、農民ガ多クノ負擔ヲスルト云フガ如キヤリ方ハ致サナイト云フコトダケハ、今日カラ申上ゲ得ルコトト思ヒマス

○國光委員 公定價格ノ決定ハ前内閣ノ時決ツタコトデアリマシテ、是以上申上ゲルコトハ差控ヘタ方宜カラウト思ヒマス、唯年度内ニ公定價格ヲ變更スルコトノ出來ナイト云フコトハ、是ハモウ農林次官ノ御話ヲ俟タナイデモ、常識的ニ私モ考ヘテ居ルノデアリマス、今御答辯ノ通りニ新米穀年度ニハ、サウ云フ風ノ御意思ヲ持ツテヤラレルト云フ事ガ分レバ、私ハ其ノ點ハ満足致シマス、ソレデ公定價格ヲ決定シマシタ當時ノ事情ヲ申上ゲタイト思ツテ居リマシタガ、是ハ今農林次官ノ御答辯ニアリマシタカラ、ソレハ省略致シマスガ、唯大體的ニ申シテ見レバ、兎モ角最高價格ノ決定ガ物價參酌値ノ上値ニ割乃至三割

ノ間、又一方家計米價ト云フモノト見合シテ此ノ決定ヲサレルト云フノニ、實際此ノ物價參酌値自體ガ、三十八圓二十六錢ト云ツタ事ニナツテ居ツタノデアリ、之ヲ三割ヲ除イテ二割ト致シスシテモ、ソレハ四十五圓九十一錢デアアル、見合シテ居ルトハ言ヒナガラモ、問題ノ決定ニハ殆ド何等ノ力ガナカッタト云フ事ハ、是ダケデモ分ル、二割ニ見テモ四十五圓、サウシテ最高價格ノ決定ハ三十五圓四十錢ト云フノデアリマスカラ、一方ノ基準ト、下ノ家計米價ノ基準、之ヲ兩方ヲ見合ハセタモノノ適正ナコトヲ決定スルト云フノニ、上ノ方ハ全然考ヘラナカッタト云フコトダケハ、ハツキリシテ居ル、ソレハ殆ド問題ニナラナイ、兎モ角此ノ二割三割ト云フコトハ別ニ致シマシテモ、參酌値ダケハ相當ニ考慮セラレテ宜カッタノデハナカラウカト云フ感シガスルノデアリマス、其ノ上ニ家計米價ソレ自體ノ中ノ所謂副食物其ノ他ヲ加ヘテ、一割以內ト云フモノガ三分五厘ニ下セラレテ居ル、其ノ方ヲ下ゲテ、サウシテ結局統制法違反デナイト云フ表面ヲ繕フ爲ニ、ソコニ行ツタト云フコトハ、ドウ考ヘテ見マシテモ私ハ不自然ナ公定價格、即チ最高價格ノ決定デアツタト云フコトダケハ、誰ガ常識的ニ判斷シテモ間違ヒノナイ考ヘ方ダト思フノデアリマス、併シ是ハ前内閣當時ニ決ツタノデアリマスカラ、決定事情ノ内容ニ付テ彼此レ申上ゲルコトハ、此ノ場合差控ヘテ置キマス、ソレテ此ノ新シイ米穀年度ニ付テハ相當考ヘルト云フヤウナ御答辯デアリマスシ、大臣ノ答辯ハ所謂米穀統制法ノ施行令ヲ、再檢討スルカドウカト云フコトノ意思ヲ、マダ表明スベキ時機デナイ、斯ウ云フノデ

ヲ拂ハシタノダト云フ惡イ感シヲ持タセルヤウナコトガナシニ濟ム、假ニ十三年度ヲ見マシテモ、二割ト申シマスト四十五圓サウシテ家計米價ノ關係ハ三十四圓七十五錢ニナツテ居リマスカラ、其ノ間ノ開キテモ十圓ノ開キデアアル、其ノ十圓開イテ居ル範圍ノ中ニ於テ農林大臣ガ公正ニ經濟事情ヲ參酌シテ適正ナ所ヘ、或ハ三十四圓ト四十五圓ノ間ノ十圓ノ眞中ニ於テ五圓ヲ上ゲルカ下ゲルカト云フコトハ、其ノ時ノ經濟事情ニ依ツテ農林大臣ガ決メラレルト云フコトニシテ置キサヘスレバ、斯ウ云フ昨年ノ決定事情ノ内容ヲ彼此レ言ツテ、農民ガ不平ヲ申シテ居ルヤウナコトハ起ラナイ、ソレデアリマスカラ所謂二割乃至三割ノ間——二割ト三割トノ間ト云ヘバ物價參酌値ノ二割五分ノ所デアアル、二割ナラニ割、二割五分ナラニ割五分ト云フ事デ物價ノ上ノ方ノ關係ハ確定シタ數字ガ出テ來ル、ソレハ農林大臣ノ裁量ノ範圍ヲ出テシマツテ居ル、ソレカラ家計米價ノ方ニ於キマシテモ、農林大臣ノ現在ノ一割以內ノ裁量ヲ五分デモ一割デモ宜イ、十二年度ノ分ガ七分ニ決ツテ居ツタト云フ事ハ、是ハ所謂一割ノ中デ五分ガ中心デアリマスカラ、五分ノ上ニ持ツテ行ツテ二分程度上ゲテ七分ニスル、今後ハ又一分五厘下ゲテ三分五厘、斯ウ云フコトニナツタノデアリマスカラ、ソコハ五分ナラ五分ト云フ事ニ決ツテ居レバ、モウソレハ農林大臣モドウニモナラナイ、農林大臣ノ裁量ハ其ノ物價參酌値ノ二割乃至三割ト云フモノノ確定數字ト、ソレカラ家計米價ノ確定數字トノ間ノ十圓デモ、八圓デモ、五圓デモ、其ノ開キニ於テ適正ナ裁定ヲサレル事ニ依ツテ、此ノ公定價格決定ニ決シテ遺漏ノ

アリマスカラ、申上ゲテモ仕様ガナイ様ナモノデアリマスケレドモ、私自身此ノ統制法ノ内容ニ付テ、斯ウ云フ點ヲ變ヘタラ宜クハナイカト云フ點ダケヲ申上ゲテ、此ノ公定價格問題ヲ打切ルコトニ致シタイト思フノデアリマス、ソレデア大體私ハ現在ノ施行令ノ中デ、所謂物價參酌値ノ二割カラ三割、ソレヲドウ云フ所デ見合セルカト云フコトモ、施行令デハ漠トシテ、ハツキリシタ數字ガ出テ來ナイ、此處ニモ大藏大臣ノ裁量ガ働イテ居ル事ニ現行法デハナツテ居ル、又家計米價ノ方ニ於キマシテモ今ノ副食物其ノ他ノ分ハ一割以內デ、農林大臣ガ決メラレル事ニナツテ居ル、ソレデア一割以內デアルカラ、一分デモ一割以內デアルシ、三分デモ一割以內ト云フコトニナツテ來マスカラ、是モ農林大臣ノ裁量、ソレカラ物價參酌値ノ上値二割乃至三割ト、家計米價ノ間テ見合セル、是モ農林大臣ノ裁量、斯ウ云フコトニ現在デハナツテ居ルト云フヤウナコトガ、私ハ大體思ハシクナイノデアリマス、私ハ農林大臣ノ裁量ヲ否認スル譯デアアリマセヌケレドモ、少クトモ物價參酌値ノ二割乃至三割ト云フモノト、家計米價トノ間テ農林大臣ノ裁量ガアレバ、是ハ立派ナ働ガシテ行カレルノチヤナイカト言ハレルカモ知レマセヌガ、勸力ヌ二ツノ基準ガアリマシテ、其ノ中テ適正ナ所ニ農林大臣ノ裁量ニ依ツテ決メル、斯ウ云フコトデアレバ宜シイケレドモ、其ノ基準自體ガ動イテ居ル、勸力セル、農林大臣ノ裁量デ上ヘモ上ゲラレバ、下ヘモ下ゲラレル、基準自體ガ動カナイナラバ、私ハ此ノ十三年度ノ公定價格ヲ決メラレル時ニ農業者ノ方ニ非常ニ不自然ナ無理ヲシタ査定額デ吾々農民ニ犧牲

アルヤウナコトハナイ、サウ云フ風ニ農林大臣ノ裁量ヲ上ニモ下ニモ自由ニシテ置カケレバナラヌト云フ特別ノ理由ハ私ハナイト思フ、ソレヲスレバ此ノ所謂決定事情ニ對スル何等ノ不平ハナイ、ソレハ法ノ適正ナ運用デアアルノダカラ、ソレガ假ニ十圓ノ開キノ中テ下ノ方ノ二圓ニ決メラレテモ、又消費者ノ立場カラ言ウテ上ノ八圓ニ決メラレテモ、ソレハ統制法ト云フモノガ儼タル存在デアル以上ハ、一ツモ不平モ不満足モアリヨウ管ガナイ、之ヲ私ハ此ノ改正ノ事情トシテ考慮セラレタイト言フノデアリマシテ、是ガ私ノ御伺シタイ一點デアリマス、ソレカラ此ノ最高、最低價格ノ決定ノ事情ト云フモノヲ所謂秘密ニシテオイデニナル、是ガ私ハ誤解ヲ生ズル大キナ原因ダト思フ、從來ノ最高、最低價格ト致シマシテモ、ソレガドウ云フ風ナコトデア決定サレテ居ルカト云フヤウナ事ハ、是ハ消費大衆ニモ生産者ノ間ニモ大變ナ利害關係ガアルモノデアリマスカラ、適正ニソレガ決定サレルト云フ以上ハ、其ノ事情ハハツキリ一般大衆ニ分ル様ニシナケレバナラヌ、成程無理ガナイ決定ダ、少シハ自分共ガ考ヘルヨリハ高イ、或ハ自分共ガ考ヘルヨリハ安過ぎルト思ツテモ、是デアドウモ不平等ガ言ハレヌ、不満足言ハレヌト云フ所テナクテハナラナイ、昨年ハ全ク秘密ニナツテ居ル私共農會ニ關係テ持ツテ居ルノデアリマスケレドモ、帝國農會ノ會長モ副會長モ其ノ統制委員デアリマスカラ、ドウ云フ風デアリマシタカト言ツテ話ヲ聽イタケレドモ、委員會ノ申合セテ絕對秘密ニシナケレバナラヌト言フ、サウ聽クト表面ニ現ハレテ居ル事實以上ニ、何カ細工ガアツタノデアラウカト云フ風ニ

思フ、之ヲ公ニシタラトシテモナクコトニナルカラト云ツテ
秘密ニサレテ居ル、事務當局ノ方ハ内緒ヲモ聴イテ居ルダラ
ウト思ツテ、帝國農會ノ事務當局ノ方ハ内緒ヲ聴イテ見ルト、
ソレモ實際私話ヲ聴イテ居リマセヌト云ツテ聴カセナイ、先
日本會議ヲ村上サンハ委員ニナツテ居ラレタカドウカ知レマセ
ヌガ、或ル程度マテ遠慮シイ、質問サレタヤウニ承ツテ居リ
マスガ、アレ以上ニ如何ニモ無理ガアツタニ違ヒナイト云フコ
トヲ吾々ハ想像スルノデアリマス、ドチラニシテモ表面ニ現ハ
レテ居ル事實ダケ見テモ、如何ニモ適正ナ手續ニ依ツテ決定セ
ラレタモノトハ思ヘナイ、彼此レ農林大臣ノ聲明等ヲ併セテ考
ヘテ見マスルト、大變ナ無理ガアル、少クとも三十四圓五十錢
ニ据エ置カレタト云フコトガ非常ナ不自然ダト云フコトハ、是
ハ前ノコトデ、既ニ濟ンダコトデアリマスカラ仕方ガアリマセ
ヌガ、今後ハ此ノ統制委員會ノ材料ナド云フモノハ、少クとも
公正ナモノダ、所謂公定價格ト云フ意外ノ價格取引ガ出來ナイ
ト云フ非常ナ法的ノ意義ガ、強化サレタノデアリマスカラ、是
ハ國民ニ重大ナ關係ヲ持ツテ居ル、是以上ノモノハ賣レナイコ
トニナリマスカラ、其ノ點ヲ是非一ツ今後ニ付テ御考慮ヲ仰ギ
タイ、斯ウ云フコトヲ私ハ當々考ヘル、殊ニ戰時應務ノ上ニ於
テハ無理ナコトデアアルト云フコトガ、一番増産ノ氣持ヲ害スル
ノデアリマス、食糧政策ニ付テノ重大ナル責任ヲ負ウテ居ラレ
ル限りハ、此ノ點ハ殊ニ御考慮ヲ仰ギタイと思ヒマス、農林大
臣ガ其ノ時期デアナイト仰シヤツタノデアリマスカラ、農林次官
ニ其ノ點ヲ御尋スルノモチカシヤウニモ考ヘマスガ、私ガ今

申上ゲタコトニ付テ何カ御答辯トシテ承ルコトガアレバ、私ハ
幸ニ存ズルノデアリマス

○松村政府委員 御話ノ點ニ付キマシテハ、此ノ間大臣ガ申上
ゲマシタ通りニ、アノ基準米價ハ相當ニ議會ヲ長イ沿革ヲ經テ
アノコニ決マツタモノデアリマシテ、アノ運管ニ依リマシテハ
御話通りノ目的ハ達シ得ルト思フノデアリマシテ、只今ノ所デ
ハソレヲ法制的ニ變ヘル考ハ持チマセヌノデアリマスガ、先程
御話ノ農林大臣ノ參酌ノ餘地ガ非常ニ廣イト云フ御話デアリマ
ス、是ハ御尤ノコトデアリマスガ、併シ國民生活其ノ他色々ノ
方面ニ重大ナ關係ガアリマス米價ノ決定ヲ、單ニ機械的、數學
的ニ決メル譯ニモ參リマセヌカラ、ソレデスフ云フ斟酌ノ餘地
ヲ或ル程度マテ盛ツテ置カナクテハイケナイダラウト考ヘマス
唯以前ハ御話ノ通りニ參酌値ノ上値ニ割トカナツテ居ツタノデ
アリマシテ、二割カラ三割マテト云フヤウナコトデハナカツタ
ノデアリマス、御話ノ御意見ハ前ノ統制法ノ基準米價ハ、サウ
ナツテ居ツタト思ヒマス、ソレデ二割テ適正デアルカ、更ニモ
ウ少シ上マテ斟酌セネバナラヌデアハナイカト云フ議論ガアリマ
シテ、ソレデ二割ト三割ノ間ニ農林大臣ガ參酌スル、斯ウ云フ
コトニナツタ沿革モアルノデアリマス、即チアノ節ハ二割テハ
足ラナイカラ二割以上ノ所ニ農林大臣ガ參酌シロト云フコトニ
ナツタカト記憶致シテ居リマス、サウ云フ次第デアリマシテ、
運用ノ如何ニ依リマシテ、此ノ法規ヲ改正シマセヌデモ、十分
ニ其ノ目的ガ達シ得ルコトト思フノデアリマス、ソレカラモウ
一ツノ秘密會ノ御話デアリマスガ、是ハ別ニ法規ヲ變ヘマセヌ

テモ實行ノ出來ルコトデアリマス、併シ之ヲ秘密會ニ致シテ置
キマスコトニ付テハ、是ハ色々ノ點カラ申シマシテ公開スルコ
トハ妥當デアナイト考ヘテ、今日マテ來テ居ルノデアリマス、御
話ノ點モ御尤デアリマスカラ、果シテサウ云フコトガ出來ルカ
否カ存ジマセヌケレドモ、十分考慮ヲ致スコトト致シタイト存
ジマス

○國光委員 満足ハシマセヌガ、併シ大體諒承致シマス、唯秘
密會ト云フノハソレハ色々事情ガアリマシテ困難デアリマセ
ウカラ、決定セラルルマデハ無論秘密ニサレテ宜イノデアリマ
スガ、一旦ソレガ發表セラレタ以上ハ、ソレニ伴ル材料位ハハ
ツキリシテ、一般ニ無理ガナカツタ、適正ナ落着キ所ダト云フ
コトヲ知ラシメルヤウナコトニシテ、戴キタイト思ツテ居リマ
ス、私ハ此ノ公定價格ノ問題ハソレデ大體御尋スルコトノ要點
ヲ濟マセマシタガ、最後ニ吉植君ガ本會議ヲ御尋テシテ、農林
大臣ガ實現ヲシナイノハ遺憾ダト云フ簡單ナ答辯ヲシテ居ラレ
マス、穀物検査ノ國營ノ問題デアリマス、是ハドウシテモ吉植
君ガ質問サレタヤウニ、所謂車ノ兩輪ノ片輪ノヤウナ重大ナモ
ノデアリマス、此ノ統制法ガ成立致シマス限リハ、米穀検査ト
云フモノガ全國的ウ試ミラレナケレバ、是ガ十全ノ效果ヲ收メ
得ナイト云フコトハ、是ハ誰ニ聞イテ見テモ當然ノコトト考ヘ
ルノデアリマシテ、是ト同様ニ考ヘラレテ然ルベキモノト思フ
ノデアリマス、併シ是ヲソレナラバ次期ノ議會ニ提案サレルカ
ト云フコトノ御尋ヲ申スノモ、或ハドウカト考ヘマスガ、唯實
現シナイノハ遺憾ト云フ程度デアナクシテ、私ハ自分ノ記憶ガ間

違ツテ居ルカモ知リマセヌガ、兎ニ角國營検査ハ既ニ農林省デ
案ヲ立テラレタガ、大藏省トノ諒解ガ出來ナカツタ爲ニ、其ノ
儘ニナツテ居ルカノヤウニ私ハ記憶シテ居ルノデアリマス、私
ノ記憶ガ全然違ツテ居ルカドウカ、ソコハドウモハツキリシナ
イノデアリマスルケレドモ、此ノ配給統制案ガ成立スル限リハ
此ノ検査ノ國營ト云フコトハ是非實行セラレナケレバナラヌコ
トト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ唯實現シナイノハ遺憾デ
アルト云フ本會議ノ御答辯デアリマシタガ、モウ少シハツキリ
シタ御答辯ヲ此ノ際御願致シタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 此ノ問題ハ他年ノ問題デアリマシテ、曾テ一
度ハ大藏省モ同意致シタコトモアルノデアリマスガ、ソレガ内
閣ノ更迭其ノ他ニ依リマシテ、今日實現シナイコトハ甚ダ遺憾
デアリマス、農林省ト致シマシテハ殊ニ斯ウ云フ配給機關ガ成
立致シマスナラベ、米穀検査ノ國營ト云フコトハ是非必要ダト
考ヘテ居リマス、豫算其ノ他ノ關係ガアリマスノデ、必ズ來議
會ニ出セルトハ言明致シ兼ネマスガ、出來ルダケ速ニ之ヲ實現
スルヤウニ農林省ト致シマシテハ最善ノ努力ヲ致シタイト思ツ
テ居リマス

(中略)

○北委員 本法案ニ依ル米穀會社ニ對シテ延取引ヲ認メタノハ
ドウ云フ譯デアアルカ之ヲ伺ヒタイノデアリマス、此ノ法律案ハ
言フマデモナク、國民ノ主要食糧デアリマスル米ヲ、投機ノ目
的ニサシテハナラヌト云フ所ニ重點ヲ置カナケレバナラヌト思
フノデアリマス、昨日片岡委員ハ延取引ハ投機デアアル、ソコデ

産業組合ニヤラシテハイカマト云フ御質問ガアツタノデアリマスルガ、産業組合ハ既ニ地方ノ組合カラ委託サレタ實米ヲ持ツテ居ル場合ニ於テハ、是ハ延取引ヲヤツテモ決シテ投機デアハナイノデアリマス、ソレハ兎ニ角トシテ、實米ヲ持ツテ居ル者ノヤル行爲ハ投機デアハナイノデアリマス、然ルニ實米ヲ持タナイモノノ延取引ト云フノハ實質ニ於テハ空賣買デアリマス、所謂賭博ナノデアリマス投機ナノデアリマス、此ノ弊害ニ至ツテハ從前ト少シモ變ラヌ、僅ニ期間ガ三箇月ノモノガ二箇月ニ短縮サレタト云フダケニ過ギヌモノト思フノデアリマシテ、依然トシテ投機ノ具ニ供セラレルト云フコトハ、是ハモウ決シテ間違ガナイト私ハ思フノデアリマス、前ニモ申上ゲマシタヤウニ本法ノ重點ガ米ヲ投機ノ具ニ供シテハナラヌト云フコトデアアル以上、此ノ場合商人タルト産業組合タルト相問ハズ、一切ノ投機取引ヲ絶對ニ廢止シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、農林大臣ハ此ノ間本會議テ、眞鍋君ノ質問ニ對シテ「此度ノ延取引ニ依リマス一定ノ米種ニ限ラレテ居ルノデアリマスガ故ニ、容易ニ投機ノ目的トハナラナイノデアリマス」云々、斯ウ云フ工合ニ言ハレテ居ルノデアリマスガ、コンナコトデア果シテ空取引トナル、即チ投機ノ目的ニ使ハレルコトナシニ行ケルト云フ工合ニ大臣ハ御考ニナツテ居ルカドウカ、之チ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス

ニ付キマシテモ、相當多分ニ含マレテ居ルノデアリマス、即チ今御話ノ如ク銘柄取引、即チ何處ノ米、何處ノ米ト云フ米ノ種類モ限ツテ、相對的ニ取引ヲ約束スル、又組合セ銘柄ニ依ツテ取引ナスルト云フコトダケデアモ、格付ヲ取引シテ無制限ニ一本建、何處ノ米デモ持ツテ行ツテ間ニ合フ取引トハ大イニ趣ヲ異ニ致シテ居リマス、故ニ其ノ銘柄取引ト云フ事柄ダケデアモ、私ハ投機抑制ニ對シテハ相當效果ガアルト思ヒマス、又一たび賣リマシタ以上ハ其ノ米チ中途ニ於テ轉賣買戻ト云フコトチサセナイト云フ事柄モ、私ハ投機ヲ抑制スル大キナ力ガアルダラウト思ヒマス、從來本日百石米ヲ賣ツタ、明日其ノ米ガ安クナツタ、直グニソレヲ買戻ス、其ノ翌日ハ直グニ差金ガ受取レル、斯ウ云フヤウナ状態デアリマシタケレドモ、此ノ度ノ本案ハソレガ出來ナイノデアリマシテ、即チ期日々々ニ於ケル、最終ノ期日ニ於ケル所ノ場合ニ於テノミ差金ノ決済ガ認メラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付イテモ私ハ投機ヲ抑制スル力ガ非常ニ大キイト思ヒマス、又限月ノ上ニ於キマシテモ、期日ガ違ツテ居リマス、或ハサウ云フ多少ノ投機抑制ノ力ガアツテモ、ソナコトハ必要ハナイ、之チ止メテシマツタヤウ宜イデアハナイカト云フ風ノ北君ノ御意見デアアルカモ存ジガセヌガ、兎ニ角遠方ノ米ヲ取寄セテ賣ルト云フ場合ニハ、單ニ十五日ノ未著物取引バカリテハ圓滿ニ參リマセヌ故ニ、其ノ間ニ於ケル所ノ調和ヲ圖ツテ、サウシテ取引ガ容易イヤウニスルト云フコトニ付キマシテモ、多少ハ考ヘナケレバ相成ラヌト思フノデアリマス、今ノ販賣組合等ニ於キマシテハ、洵ニ機構ガ整然ト致シ

居リマシテ、農村カラ都會ニサウ澤山ノ期日ヲ費サズニ集荷シ得ルノデアリマスケレドモ、米穀商人ノ人々ノ集荷機構ト云フモノノ上ニ於キマシテハ、マダ左程マテ發達シナイ點モアリマスノデ、多少ノ期日ハ茲ニ認メテ取引ヲサセルト云フコトガ、市場運用ノ上ニ於テ適當デアラウ、斯様ニ考ヘマシテ斯ウ云フ風ニ決定シタ譯デアリマス

○北委員 實米ヲ持タズニ米ノ賣買ヲスル、是ガ地方ノ米價ニ非常ナル影響ヲ及ボスコトニナルノハ當然デアリマス、即チ立派ナ投機デアアルノデアリマス、テスカラ多少投機ノ抑制ガ出來ル位テ本法ヲヤツテ行クベキモノデアハナイト私ハ思フ、此ノ際斯ウ云フヤウナコトハ、モウ根コソギナクシテシマハナケレバナラヌ、斯ウ云フ工合ニ思フノデ、ソコテ如何ナル方法ニ依ツテモ投機ノ目的ニサセヌガ爲ニハ、是ハ未著物取引ノ期間ヲ長クスレバソレデアリイデアハナイカ、十五日ト限ラズニ、或ハ必要ノ場合ニハ三十日トサレテモ宜イダラウト思フ、ソレデア實物ヲ賣買サセルコトガ出來ルコトニナルノデアリマシテ空賣買ガ行ハレナクナル、是ガ本法制定ノ本當ノ目的デアナクテハナラヌト思フノデアリマスガ、甚ダ此ノ點ニ付テハ私ハ満足仕兼ヘルモノガアル、モウ一步進メテ斯ウ云フ劃期的ナコトヲヤル場合ニハソコマデドウシテモ行カナケレバナラヌデアハナイカト思フノデアリマスガ、モウ一應重ネテ御伺シテ見タイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 只今申上ゲマス通り、從來ノ如ク格付ノ、何處ノ米デモ代用スルト云フ米ヲ標準トシテ賣買スルニアラズシテ、一定シタル地域ノ米ヲ標準トシテ賣買ヲ致シマス以上、實

物ヲ持タズシテ賣買スルト云フコトハ、私ハヤツテヤレナイコトハナイト思ヒマスケレドモ、容易ニ是ハ危險デア出來ナイコトデアラウト思フノデアリマス、殊ニ況ヤ最高最低ノ相場ガ決定サレテ居ルノデアリマシテ、ソコニサウ云フ風ナ投機ヲ容易ニスル餘地ガ餘リ私ハナカラウト思ヒマス、併シ理想ト致シマシテハ此ノ集荷機構ヲモウ少シ整備シテ、サウシテ御話ノ如ク限度ヲ三十日位ノ程度ニ置イテ、未著物取引ヲヤツテ延取引ヲ止メルト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウケレドモ、今日現在ノ所謂米穀取扱業者ノ取扱ツテ居ル米ノ集荷状態ニ鑑ミ、又米ノ配給状態ヲ鑑ミタ時ニ、先ヅ此ノ程度ニ於テ然ルベシト考ヘタノデアリマス

——(中略)——

○北委員 産業組合ノ今行ツテ居リマスコトハ非營利デアアルコトハ勿論デアリマス、公益性ト云フ點ニ就テ組合ノ米ノ取扱ヒガビツタリ一致スルト云フコトチ申上ゲテ見タイノデアリマス産業組合ノ米ノ賣リ方ハ、既ニ農業界ノ人ナラ誰デモ御存知ダト思フノデアリマスガ、是ハ無條件委託平均賣が原則ニナツテ居リマス、何處ノ産業組合デモ農民ニ對シテ之ヲ獎勵シテ居ルノデアリマス、是ハ農民ト云フモノハ商人ノヤウニ、其ノ日其ノ日ノ相場ヲ動イテハイケナイ、又ソナコトクベキ性質ノモノデアハナイノデアリマス、モウ一ツハ實ハ現在ノ農業者ハ非常ニ貧困ナ立場ニ居リマス爲ニ、生産シタ米ハ全部出來秋ニ農業倉庫ニ持ツテ行ツテ、實ハ筒一ツパイニ金ヲ借りテ居ル、普通ノ擔保デア借リルト七掛カ八掛シカ貸サナイノデアリマス、併シ無

擔保テ金ヲ貸スヨリハ品物ヲ擔保ニ金ヲ貸シタ方ガ安全ナル
若シ賣却シタ時金ガ足ラナカッタラ信用テ責任ヲ負ヘト云フノ
ア、筒一ツパイニ金ヲ貸シテ居ルノデアリマス、隨テ貸ス方ノ
安全感ノ上カラ云ツテモ、是ハ若シ農家ガ筒一ツパイニ借りタ
モノヲ見込テサレテハ堪ラヌ、ソコテサウ云フヤウナ見込ヲ斷
ジテヤツテハイケナイト云フヤウナ條件ヲ付ケテ、サウシテ平
均賣ニサシテ居ルノデアリマス、米ノ需要ハ御承知ノ通りニ毎
日々々平均ニ食ベテ行クモノデアリマスカラ、平均賣ノ方法ハ
是ハ一番理想的デアリマス、投機モナケレバ見込モ何モアリハ
シマセヌ、斯ウ云フヤウナ行キ方ヲシテ居ルノデアリマシテ、
是ハ偶然ニモ組合ノ此ノ米ノ賣リ方ハ現ニ社會ノ要求スル公益
性トビツタリ一致シテ居ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマ
ス、産業組合ノ理事者ガ往々ニシテ投機ヲヤルト云フヤウナコ
トヲ考ヘテ居ル人ガアルヤウデアリマスガ、ソレハ絕對ニナイ
何故カト云フト、先程モ言フ通り組員ノ組合デアリマス、若シ
投機ヲ儲ケテ、是ダケ儲ケマシタト云フコト總會テ假ニ報告ヲシ
タトスルト、ソレハ組合員ハ斷ジテ喜ビマセヌ、投機ヲ儲ケル
反面ニハ必ズ損チスルコトガアル筈デス、ソノ金ハ決シテ欲
シクナイト云ツテ、産業組合テ自分自ラガ守ラナケレバナラヌ
爲ニ、組合員ガ承知セヌノデアリマス、儲ケタ所テ其ノ金ノヤ
リ所ガナイノデスカラ産業組合ハ投機チスルト云フヤウナコト
ハ絕對ニナイデアリマシテ、米ノ取扱ヲサセルト云フコトニ
付テハ、是ハ全ク産業組合ノヤツテ居ルコトハ期セズシテ社會
ノ要求シテ居ル線ニビツタリ一致シテ居ルノデアリマス、斯ウ

云フヤウナ賣リ方ヲスル者ハ恐ラク商人ニハアリマセヌ、商人
ニハ平均賣ト云フモノハアリマセヌ、此ノ間トナタカ言ハレタ
通り、商人ハ利ニ依ツテ動クノデアリマス、利ガナケレバヤラ
ナイノデ、決シテ商人ニハ斯ウ云フコトハ出來ナイコトデアリ
マスガ、農民ハ否テモ應デモ斯ウシテ行カナケレバナラヌト云
フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、米ノ取扱ヲサセルモノ
トシテハ是程理想的ナモノハナイト私ハ思ツテ居ルノデアリマ
ス、併シナガラ斯ウ言ツタカラト云ツテ商人ヲ排除セヨトハ言
ヒマセヌ、ヤハリ商人ニハ商人トシテノ特長モアルノデアリマ
ス、デアリマスカラ此ノ特長ハ何處マデモ伸バシテ行ク方ガ宜
シイ、サウシテ兩々相俟ツテ切磋琢磨デヤレバ宜イ、一方産業
組合ノミヲ縛ツテ、サウシテ舊時代ノ遺物ノ米ノ取引商ノ人達
ダケガ羽振りチ利カシテ行カウト云フノハ、是ハ不都合千萬ナ
考ノ持チ方デアリマス、米ノ取扱ヲ所謂商人ノ營利本位ニノミ
サセルト云フコトハ、決シテ國家ノ公益性ト云フヤウナコトト
一致スルモノデアハ斷ジテナイデアリマス、ソコテ産業組合ノ
頭チ此ノ際決シテ抑ヘルベキモノデハナク、産業組合ハ産業組
合デア何等ノ束縛ナシニドシノ進メテ行クガ宜シイ、又商人ニ
ハ商人デアラセルガ宜イ、斯ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス
サウナルト商人ハ段々ナクナルデハナイカト考ヘラレルカモ知
レナイガ、實ハ先程モ一寸申上ゲタヤウニ、産業組合ト云フモ
ノハ無暗ニ組合員ヲ縛ツテ居ルノデアハナイ、組合加入自體ガ任
意加入デアツテ、決シテ強制加入チサセテ居ナイ、平素取扱ツ
テ行クコトモ、決シテ組合員ヲ束縛シナイ行キ方ヲシテ居ルノ

デアリマス、デスカラ商人ノ伸ビルコトニハ決シテ吾々ハ不平
ヲ言ツテ居ラヌデアリマス、隨テ一方ダケヲ縛ツテ行カウト
云フヤウナ行キ方デナシニヤツテ行ツテ貫ハナケレバナラヌト
思フノデアリマスガ、ドウモ此ノ法案全部ヲ見ルト、産業組合
ダケヲ縛ルヤウニ見エル、所ガ反産ノ連中ハ實ニ大袈裟ナコト
ヲ言ヒマシテ、産業組合ハ何モカモヤツテ、白米小賣モ全部取
ラレル、自分等ノ業務ハ全部ナクナル、斯ウ云フ宣傳チシテ居
ルヤウデアリマスガ、決シテソノ力チ産業組合ハ持つテ居ラ
ヌ、又ソノ惡辣ナコトヲヤルモノハナイデアリマス、明治
三十六年ニ産業組合法ガ施行サレテ、四十年ノ年限ヲ閱シテ居
リナガラ、産業組合ノ現在取扱ツテ居ル米ノ數量ハ全生産額ノ
三分ノ一シカニ達シテ居ラヌ、之ヲ見ダダケテモ産業組合ハ決
シテ飛躍的ニ進ムモノデアモナケレバ又ソノ排他的ナ商人ヲ除
カナケレバナラヌト云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアハナイ、
寧ろ色々ナ事テ農民ニ不利ナ立場ニナル部分ニ對シテ、防禦的
ニ行カウト云フ考テ居ルノデアリマス、隨テ商人ガ普通ノ行キ
方ヲシサヘスレバ、産業組合ト云フモノハ伸ビナイモノデアリ
マス、サウ云フ性質ノモノデアリマス、商人ガ惡辣ナ事チスレ
バスル程産業組合ハ伸ビテ行ク、ダカラ商人ガ正シイ仕事チシ
テ居サヘスレバ斷ジテ産業組合ハ伸ビナイ伸ビナイト云フコト
ハナイガ、左程急激ニ伸ビルモノデアハナイ、斯ウ云フヤウナコ
トチ一ツ根本的ニ頭ニ入レテ置イテ戴カヌト極メテ安價ナ同情
チ商人ニ與ヘテ、サウシテ大事ナ三千萬農民ノ立場チ苦シクサ
セルト云フコトニナツテシマフノデアリマス、此ノ點ニ付テ當

局ハ私ノ見解ニ間違ガアルト云フ工合ニ觀ラレルカドウカ、ソ
レチ一ツ承ツテ置キタイ
○櫻内國務大臣 本法案ニ於テハ御承知ノ通り其ノ市場員タル
者ハ生産者ノ團體及ビ米穀取扱業者、是等チ何レモ入レテ居ル
モノデアリマシテ、別ニ産業組合ヲ排他的ニ斥ケルト云フヤウ
ナ意味ハ持つテ居ラナイノデアリマス、又産業組合ガ中小農業
者ノ生産品ヲ委託チ受ケテ販賣スルト云フコトニ付キマシテ順
次發達シツアルト云フコトモ吾々認メルノデアリマシテ、其
ノ點ニ付キマシテハ別ニ北君ト意見チ異ニシテ居ルトモ考ヘマ
セヌ、唯先程モオ話ニナリマシタガ、産業組合ニ全部取扱ハシ
タラソレハドウモイカヌデアハナイカト云フコトチ私ガ言ツタ、
斯ウ云フオ話デアリマシタガ、其ノ點ハ私ハ斯様ニ考ヘテ居ル
ノデス、先ヅ十年二十年先ハ別デアリマスガ、今日ノ時代ニ於
テハ、所謂生産者ノ團體ノ方々ト、消費者ノ團體ノ方々ト、サ
ウシテ其ノ間ニ立ツテヤハリ集荷機關チ持チ、販賣機關チ持ツ
テ居ル所ノ米穀取扱者トノ三者一體トナツテ米穀ノ配給ヲ完
成スベキモノダ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、何故ナラバ
之チ人間ニ例ヘテ言ヒマスレバ、此處ニ一人ノ人間ガ米ヲ持ツ
テ居ル、一人ノ人間ハ米ヲ持ツテ居ナイ、持ツテ居ナイ者ハ必
ズ買ハナケレバナラヌ、持ツテ居ル者ハ剩ツテ居ルカラ賣ラナ
ケレバナラヌ、斯ウ云フ場合ニ於テ、其ノ二人ノ者ガ唯取引チ
スレバ簡單ニ行クヤウデアリマスケレドモ、其ノ間ニ一人居テ
俗ニ謂フ仲人ト申シマスカ、自由自在ナ立場ノ人ガ居リマスト
茲ニ圓滿ニ其ノ取引ガ行ハレルノデアリマス、今日ノ狀態ト致

シマシテハ、三建ト云フ言葉ヲ使ツテハチカシイカモ知レマセ
ヌガ、三建ガ發達シテ行クノデハナカラウカト私ハ考ヘテ居リ
マス

○北委員 配給機關ノコトニ付テドウモ考ニ大變隔リガアルヤ
ウデアリマスガ、私ハ決シテ商人ハ要ラヌト言フノデアリマ
セヌガ、併シ産業組合ダカラト云ツテ決シテ百姓ガ直接來テ賣
ルモノデハナイ、百姓ノ機關アル産業組合ノ代表ニソレハ
ノ系統ノ者ガ來テ賣ルノデアリマシテ、決シテ大臣ガ考ヘラレ
テ居ルヤウニ、生産者ト消費者ダカラ其ノ間ニ、直グソソナ行
キ方ガ出來ナイ、仲人ガ要ルト言ハレルヤウナ、サウ云フ性質
ノモノデハナイ、是ハ一ツ能ク噛ミ分ケテ御考置キテ願ヒタイ
ヨク世間デハ配給機關ノコトニ付テ色々ナコトヲ言ハレルノデ
アリマスガ、産業組合ハ立派ナ配給機關ノ仕事ナシテ居ル、是
ハ何モ直接ニ農家ガ米ヲ持ツテ來テ賣ルモノデハナイノデス、
又自分等ノ購買品ニシテモ其ノ通りテ産業組合ノ職員ノ人達ガ
代ツテ配給シテ行クノデアリマシテ、是モ極メテ「スムーズ」ニ
行ツテ居ルノデアリマス、ヨク世間ニハ産業組合ガアレバ配給
機關ハ要ラナクナルトカ、配給機關ナシニハ立ツテ行カヌト云
フヤウナ説ヲ爲ス人ガアルノデアリマスガ、産業組合ハ立派ナ
配給機關アル、之チ一ツ間途ハヤウニ御考ヲ願ヒタイト思
ヒマス、更ニ是カラ條文ニ付テ申上ゲテ見タイト思フノデアリ
マスガ、第一ニ本法ノ三十九條ノ二項、三項ニアリマスル麥、
大豆、雜穀、肥料等ヲ市場ニ掛ケルト云フ問題デアリマスガ、
是ハ實ハ各市場ノ定款ニハアルヤウデアリマスガ、事實上小樽

ニ於テモ神戸ニ於テモ實際取扱シテ居ラヌ、殆ド相對賣買デ
出來テ居ル、其ノ價格ヲ單ニ新聞テ發表シテ居ルニ過ギナイト
云フノデアアル、斯ソナモノチ此ノ大事ナ米穀問題ノ取扱ノ副産
物ノヤウニシテ此ノ中ニ加ヘラレルコトハ大キナ間違デアルト
思ヒマス、サウ云フコトナスルトドウナルカト云フコトチ一ツ
考ヘテ見マストハ農業者トシテ非常ニ困ル、例ヘバ小麦ニ付
テ申シマスト、小麦ハ五大製粉會社チ相手ニシテヤツテ居リマ
ス、ガ其ノ賣リ小麦ノ半分以上ガ全販聯ノ取扱ニナツテ居ルガ
サウ云フ場合ニ於テモ全販聯ハ決シテ無謀ナコトハヤツテ居ラ
ナイ、製粉價格カラ計算チシテ會社側トノ間ニ値段ヲ決メテ行
ツテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、今ノ所農村ガ非常ニ有利ノ
立場ニ居ルノデアリマス、所ガ之ヲ市場ヘ持ツテ行クトドウナ
ルカト云フト、相手が少イカラ直チニ彼等ノ中デハ談合チスル
斯ウ云フヤウナコトガアリ得ルノデアリマス、或ハ少數ノ作爲
値段ヲ造ツテ、ソレテ大量ノモノヲ攪亂スル、斯ウ云フヤウナ
コトモアリ得ルノデアリマシテ、是ハ農業者トシテハ洵ニ困ル
斯ウ云フ條項チ加ヘテ、斯ウ云フ物マデ市場テ取扱ハセテ貰
テハ農民ハ非常ニ不利ニナル、斯ウ云フコトニ付テハ當局ハ、
米ハ米ノ問題トシテ純粹ニ取扱ツテ行クト云フ御考ハナイカ、
之チ一ツ承ツテ見タイト思フノデアリマス

○周東政府委員 御答致シマス、二十九條二項ノ仕事デアリマ
スガ、是ハ本會社ノ本來ノ事業トシテ考ヘテ譯デアリマセヌ
ノデ、本會社ニ於ケル事業トシテハ何處迄モ米穀ノ配給統制上
ノ必要カラ致シマシテ、之ニ關スル市場ノ單一化及ビソレニ伴

フ各種ノ仕事チヤラセル譯デアリマスガ、唯此ノ法制ガ出來マ
スル結果、從來米穀ノ取扱ヲ致シテ居リマスル市場ニ於キマス
ル米ノ關係チ全部ソチラニ取扱ハセルヤウニナリマス、或ハ
從來ノ麥其ノ他ノ雜穀等ノ取扱ニ付テ支障チ起ス場合ハナイカ
スル場合ニ於キマシテ全然ソレガ爲シ得ナイト云フヤウナコト
ニナツテハ不便デアリマス、其ノ範圍ニ於キマシテ此ノ會
社ニ於キマシテモ政府ノ認可ヲ受ケテヤリ得ルト云フ形チ整ヘ
タマデアリマシテ、之ニ依リマシテ米ノヤウニ他ノ方デ麥、
雜穀等ノ取扱チシテ居ルモノチ全面的ニ禁止シテ茲ニ統一シテ
行クト云フヤウナ考ハ持ツテ居ラヌノデアリマス、從來ヤツテ
居リマスモノガ急ニ、直チニヤレナクナルト云フコトガアツテ
ハ不便デアラウト云フコトノ爲ニ斯ウ云フ規定チ置イタノニ過
ギナイノデアリマス

○北委員 ソレハ此ノ儘ニ殘シテ置イテモ出來ヌコトハナイト
云フコトナデス、東京人絹ノ如キハ既ニ殘ツテ居ルケレドモ
其ノ儘ヤツテ居ル、斯ウ云フノデアリマシテ強ヒテ、ソソナ理
由デ此ノ中ニ加フベキモノデハナイト思フノデアリマス、斯ソ
ナコトガ法文ニアリマスト、將來之チ如何ニ利用サレルカ分ラ
ヌ、農林當局ハ今ソソナ一時的ノ暫定的ノヤウナコトヲ言ツテ
居ラレルノデアリマスガ、是ガ法文ニアルト、是ハ將來ドソナ
工合ニ利用セラレルカ分ラヌノデアリマシテ、或ハ業者ノ投機
ノ材料ニナル憂ガ十分アルノデアリマス、ソソナ危險ナモノハ
茲ニ置ク必要ハナイ、此ノ間モ或ル人が言ツタ、是ハ盲腸的存
在ダ、何モ役ニ立タナイモノチ入レテ置イテ、後ニハドソナコ

トニナツテ爆發スルカ分ラナイト云フヤウナ言葉ヲ使ツテ居
タヤウデアリマスガ、ソソナ危險ナモノヲ暫定的ナト云フ理由
デ此ノ米ノ一貫シタ法律ノ中ニ入レル必要ハ斷ジテナイ、是ハ
取殘サレテモ獨リテ別ニヤレルト考ヘルノデアリマスガ、之ニ
對スル御考チ承リタイノデアリマス

○周東政府委員 御話ノヤウニ麥ナリ其ノ他ノモノニ付キマシ
テハ、ソレハ其ノ價格ノ統制ナリ、市場ノ問題モ、外ノ方面
デ出來ルモノモアルノデアリマス、唯急激ニ從來ヤツテ居ツタ
場所ニ於テヤレナイ、其ノ地方ニ於テ賣買取引チスル市場ガナ
イト云フコトニナツテ、不便ニナツテハ困ルノデアリマス、併シ
其ノ點チ考慮ニ入レマシテ規定チ置イタノデアリマス、併シ
ガラ此ノ點ハ、若シ會社ニ於テ其ノ必要チ認メル場合ニハ、十
分ニ各般ノ事情チ考ヘマシテ、之チ認可スルコトニナラウト思
ヒマスカラ、御心配ノヤウナ事柄ハ起ラヌノデアハナイカト考ヘ
テ居リマス

○北委員 實際問題トシテ、一向ヤツテ居ラヌモノヲ強ヒテサ
ウ云フ所ニ入レテ置ク必要ハナイト私ハ思フ、毎日活潑ニヤツ
テ居ツタノデ、斯ウ云フモノガナケレバ困ルト云フノトハ違フ
實際調査チシタ結果ハヤツテ居ラヌト云フノデス、サウ云フモ
ノハ斷ジテ除イテ置カナイト、後日非常ニ問題ノ種ニナルト思
フノデアリマス、併シ是レ以上ハ申シマセヌ、其ノ次ハ今度ノ
法律案デ何故購買組合ヲ買市場員ニシナカッタカト云フコトデ
デアリマスガ、併シナガラ又一面ニ於テハ、是ハ消費者ノ大キ

ナ團體ト思フノデス、其ノ組合員ノ中ニハ米ヲ作ラザル者、或ハ農業ヲシテ居ラヌ者、米ヲ作ツテモ足ラナクテ買ハナケレバナラヌ者、斯ウ云フヤウナ人達ガ澤山アルノデアリマシテ、其ノ取扱フ米ノ量ハ決シテ少クナイノデアリマス、生活ノ必需品アル米ニ對シテ、購買組合ガ此ノ市場ノ買市場員ニナルコトガ出来ナイト云フヤウナコトハ、非常ニ困ツタコトニナルノデアリマス、成程五日以内ノ現物ハ買フコトガ出来ルト云フコトヲ説明サレテ居ルヤウデアリマスケレドモ必ズシモ是ハ法律ニアル譯デモナイヤウデアリマシテ、唯御説明ニアルダケデアリマス、ソレカラ假令現物ヲ買ヘルトシテモ、大量取引ニナリマス、是ハドウシテモ市場員カラ買ハナケレバナラヌコトニナツテ來ルノデアリマシテ、其ノ市場員ノ取ル利益ダケハ購買組合ガ高ク買ハナケレバナラヌ、ソレデハ結局購買組合ノ仕事ハ成立タナイ、購買組合ノ仕事ノ閉出シニナツテシマフト云フコトニナルノデアリマス、更ニ特ニ臺灣米或ハ朝鮮米ノ方ハ全販聯デハ買フコトガ出来ナイ、御承知ノヤウニ全販聯ハ賣リ一方ノデスカラ買フコトガ出来ナイ、隨テ全販聯、其ノ他購買組合ガ是ノ買入ヲスルコトハ出来ナイト云フコトデアラナラバ、是ハ大變ナ問題ニナルノデアリマス、當局トシテハドウシテモ購買組合ヲ買市場員ニシナケレバ、先程カラ言ツタヤウニ購買組合ハ全ク閉出シテ喰フ、即チ農業者ハスツカリ頭ヲ抑ヘラレルコトニナルノデアリマスガ、當局ニ其ノ意思ナキヤ、之ヲ承ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點御尤デアリマスガ、只今ノ所直ニ買

ソレハ現ニココテモサウナツテ居ル、是ハ否定スルコトハ出来ナイト思フ、購買組合ヲ買市場員ニセマスト云フヤウナコトハ、大變ナ問題ヒデアルト思フガ、重ネテ御伺シテ見タイト思ヒマス

○周東政府委員 購買組合ハ現在ノ小賣商ト同ジヤウニ、今日ノ状態ト少シモ變ヘテ居ラヌデアリマス、今日モ必要ガアレバ正米市場ニ於テ市場員カラ買ヒ得マス、或ハ直接産地ト連絡シテ買ツテ居ルノガ實情デアリマス、其ノ事柄ヲ本法デハ少シモ變ヘテ居リセヌ、ソレガ爲ニ特ニ購買組合ヲ除外スルト云フヤウナ意味合ニナツテ居ラズ、寧ろ現状ノ儘ニ置イテ購買組合ニ必要ナル米ヲ買ハセルト云フヤウニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○北委員 ソレハ今マデノヤウナ内地米ダケヲ取扱ツテ居ツタ時ト違フノデアリマス、今度ノ機構ニ於テハ、臺灣米、朝鮮米ガ今度ノ市場ヲ獨占的ニ扱ハレルノデアリマス、ソコデ此ノ臺灣米、朝鮮米ヲ購買組合ニ扱ハセマスト云フコトニナツテシマツタナラバドウナルカ、全國ノ農民ノ生活ハドウナルカ、買ハナケレバナラヌ人達ハドウナルカ、之ヲ一ツ考ヘテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマス、斯ウナツタ新事態ニナツテ來タ以上ハ、其ノ事態ニ合フヤウナ法律ニシナケレバナラヌ、從來斯ウ云フ臺灣米、朝鮮米ガ市場ニ於テ獨占サレテ居ラナカッタ時ト全然違フ、斯ウ云フヤウナ時ニ此ノ問題ヲ從來通りニ考ヘテ居ラレルノハ大變ナ問題ヒデアルト思フ、之ニ付テ御考ヲ承リタイ

○周東政府委員 只今申上ゲタヤウニ、只今ノ所ハ從來通りノ行キ方デ宜カラウト考ヘテ居ルノデアリマス、將來ニ於キマシ

市場員ニナル必要ハナイノデアリカ、斯様ニ只今ハ考ヘテ居リマス、購買組合ハ小賣商人同様ニ必要ナル實米ヲ實米市場ニ於テ直接市場員タル人カラ買ヒ得ルコトデアリマスシ、殊ニ購買組合ノ性質上、餘リ先ノ見込ヲ付ケテ多クノ購入ヲシテ分ケルト云フコトハ却テ如何カト思ハレル、大體ノ組合員ノ實需ニ應ジテ隨時實米市場カラ買ツテ參ルト云フコトニシタ方ガ宜イ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ參リマス、只今ノ所是等ノ購買組合ヲ買市場員ニ爲ス必要ハナカラウト云フ風ニ考ヘテ居リマス

○北委員 サウスルト結局購買組合ヲ閉出シテモ宜イト云フアナタ方ノ御説ニナツテシマフ、即チ購買組合ハ此ノ市場員カラ買ハナケレバナラヌ、サウスルト其ノ市場員ノ手數料ダケハ商人ヨリモ高イモノニナルノデアリマス、隨テ高イモノハ誰モ買ヒニ來ヌ、是ハモウ購買組合ノ事業制限デアツテ、産業組合ハ斷ジテ之ニ賛成スルコトハ出来ナイ、重大問題ガ惹起スルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ簡單ナ御考デ、購買組合ニ對シテ差別待遇チスル必要ハ斷ジテナイト思フ、商業組合ハ全部此ノ購買組合員ニナルコトガ出来ルデアリマセヌカ、然ルニ同ジ立場ニ居ル産業組合購買組合ニ對シテ差別待遇チシタラドウナリマスガ、是テ斷ジテ購買組合ノ發達ヲ抑ヘ、購買組合ノ頭ヲ抑ヘテシマフト云フコトナラバ別デアアルガ、サウデアナイ限リ、先程カラ申サヤウニ、二本建テ行クベキデアアル、然ルニナセサウ窮屈ニシナケレバナラヌカ、ソナナ犧牲ヲ農民ニ負ハセルコトハイカヌト思フ、此ノ法案ヲ眺メタ時ニ、全部百姓ガ頭ヲ抑ヘラレルヤウニナツテ居ルト云フコトヲ先程申上ゲタガ

テハ是非其ノ點ハ能ク考究致シタイト思ヒマス

○北委員 ……其ノ次ハ米ノ賣買ノ免許制ノコトデアリマス、是ハ恐ラク白米ノミニ限ツタ小賣ノコトカト思フノデアリマスガ、第一ニソレカラ承ツテ見タイト思ヒマス

○周東政府委員 御質問ノ點ガ少シハツキリ致シマセヌガ、此ノ第一條ノ許可ヲ致シマスル對象ハ、白米ニ限ラズ、米穀ノ買入若クハ賣渡又ハ其ノ代理若クハ媒介ノ業務ヲ爲ス者ニ付キマシテノ許可制デアリマス、御質問ノ點ガ、此ノ免許ヲ受クル場合ニ於ケル生産者團體等ニ付キマシテ、其ノ範圍ハドウカト云フ御質問デゴザイマス、只今ノ御意見ノ通り、販賣組合ノ白米ノ小賣ニ付テノ許可ヲ受クル必要ヲ茲ニ規定スル積リデアリマス

○北委員 販賣組合ノ米ノ取扱ニ對シテ、是ハ私ハ免許ハ全然要ラヌモノヂヤナイカ、此ノ免許ノ範圍外ニ置クベキモノヂヤナイカト思フノデアリマス……勿論今マデ米ヲ扱ツテ居ツタ場合ハ、是ハ既得權デアツテ、恐ラク免許サレタト同様ニナルダラウト思フノデアリマスガ、將來販賣組合ガ、白米ヲ販賣スル目的デ出来タ場合ニ、之ヲ政府ガ免許シナイト云フヤウナコトガ若シアツタトシタナラバドウナルカ、是ハ販賣組合ノ目的ヲ全然没却シテシマフコトニナルト思フノデアリマス、當局ハマサカ産業組合ニ對シテマデ免許制度ヲオヤリニナルノデアハナイト私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ハツキリ承ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノヤウニ、産業組合トカ或ハ商業組合ト

云フヤウナモノニ付キマシテ、ソレハ其ノ設立ノ許可ヲ致シ
 或ハ其ノ定款ノ認可ヲ致スト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ其
 ノ準據ノ法律ガアリマス、今御話ノヤウニ、販賣組合ハ組合員
 ノ生産シタル米ノ賣却ヲ爲スコトガ目的テ出來ル場合デアリマ
 スノテ、其ノ性質上カラ致シマス、産業組合ノ設立許可ヲ受
 ケタモノハ、別ニ此ノ本法ニ依リ更ニ許可ヲ受クル必要ハナイ
 斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ除イテアリマス、但シ販賣組合ガ
 更ニ進ミマシテ、米穀ヲ精白致シマシテ、個々ノ消費者ニマテ
 配給スルト云フヤウナ事柄ニ付キマシテハ、是ハ新シイ事態ニ
 即シマシテ、其ノ地方ニ於ケル米ノ配給事情等ニ鑑ミマシテ、
 之ニ付テ許可ヲ執ツテ行ク、斯ウ云フ風ニ致シテ居ルノデア
 リマス、是ハ一ツノ行政上ノ必要カラデアリマス

○北委員 其ノ個々ノ消費者ニ配給スルト云フ、所謂小賣ノ定
 義デアリマスガ、所謂消費者ノ臺所ニマテ持ツテ行ツテ賣ルト
 カ、或ハ一升賣リテスルトカ云フヤウニ、消費者ニ直接手渡シ
 スルト云フヤウナコトハ、是ハ小賣トナルカモ知レヌノデアリ
 マスガ、併シ消費者ノ手ニ渡スト云フコトニ付テハ、随分色々
 ナ種類ガアルノデアリマス、例ヘバ大キナ消費團體、軍隊デア
 ルトカ、鑛山デアルトカ、工場デアルトカ云フヤウナ大キナ消
 費團體ニ供給スル、此ノ事マテモ小賣ト云フ範圍ニ入レテ、所
 謂直接消費者ニ配給スルト云フコトテ免許ヲ要スルト云フコト
 デアルト、大問題ダト思フノデアリマスガ、マサカソナコト
 ハナイト思フノデスケレドモ、此ノ點ニ付テ、ハツキリシタコ
 トチ一ツ承ツテ置キタイ

アツタヤニ私ハ記憶致シテ居ルノデアリマス、サウ致シマスル
 ト是ハ一層考慮シナケレバナラヌ、其ノ次ニハ是マデノ取引所
 ト云フモノガ、主食物ヲ投機ノ對象トスルコトハ非常ニ面白ク
 ナイト云フノデ、此ノ取引所ヲ改廢シナケレバナラヌ、改廢致
 シマスルニ付テハ其ノ處分ヲシナケレバナラヌト云フコトニナ
 ツタ、荷モ政府ガ保證金ヲ取ツテ、今日マテ認致シテ居リマス
 ル者ノ業ヲ廢スルト云フコトニ對シテハ、國家トシテ相當ナル
 處置ヲナサルノハ當リ前アゴザイマス、其ノ當時ノ農林省ノ御
 企圖ナサレタモノデハ、其ノ救済方法トシテ約五千萬圓チ之ニ
 出スト云フコトガ、私共ハ其ノ當時輿論的ナ農林省ノ御意見デ
 アツタト思フノデアリマス、之ガ改廢ヲスル時ニハ、今日ノ取
 引所員ヲ五千萬圓程度チ以テ救済シナケレバナラヌト云フ案デ
 アツタ、ソレガ段々年月ヲ經ルニ從ツテ、今度ハ三千万圓ニ減
 ジテ來タ、サウシテ本法ガ出來マスル前後ニハ一千二三百萬圓
 位アハドウカト云フコトニナツタ、ソレガ今度變化シテ一文モ
 ヤラヌト云フヤウニナツテ來タノデアリマス、是等ハ農林當局
 ノ御決定トシテ御發表ニナツタノデハナイノアゴザイマスガ、
 斯ウ云フヤウニ、實際ニ商行爲ヲ爲シテ居ツタモノニ對シテ、
 一部官憲ノ御理想ヲ實現ナサル爲ニ、斯ウ云フ政府ノ公認シテ
 居ツタ者ノ業マテモ取上ゲルコトニ付テ、何等賠償ヲナサラヌ
 ト云フコトハ、果シテ情理ヲ盡シタル所ノモノデアアルカドウカ
 此ノ結果本法トナツテ現ハレタモノデアリマスルコトハ私共ノ
 疑ハヌ所アゴザイマス、サウシマス本法制定ノ動機ト云フモ
 ノハ、多少私共ハ疑ハナケレバナラヌ點ガナイトハ致サナイノ

○周東政府委員 御話ノヤウニ、本案ノ對象トナツテ居リマス
 ノハ、個々ノ消費者ノ臺所ヘ配給スルコトニ付テ、考慮致シテ
 居ルノデアリマス

(中略)

○福田委員 ……唯本案ヲ鶴吞ニ致スコトノ出來マセヌ原
 因ハ、有ユル觀點カラ本法案ノ性質ト其ノ成立ト、將來トヲ考
 慮致シマシテ斷案ヲ下サナケレバナラヌノアゴザイマシテ、洵
 ニ御手数掛ケルヤウナ次第アゴザイマスルガ、私ハ所謂農
 村民タル生産者、同時ニ消費者タル人ノ之ニ依リマシテ蒙リマ
 スル利害ガ重大デアリマスルカラ、其ノ根本ニ入ツタ所ノ御理
 想ヲ承ラナケレバ、本法ノ審議ハ出來ナイト思フカラ申上ゲタ
 ノデアリマス、尙ホ本法ノ創設ノ動機ト云フモノハ、私共考ヘ
 マスル所ニ依ルト、農林大臣ガ過般本會議ヲ提案ノ理由ヲ御述
 ベニナツタヤウナコトノ外ニモ、大切ナ原因ガアルト思フ、サ
 ウシマスルト本法ノ目的ガ何處マデニ行クノデアアルカト云フコ
 トガ是ア分ルノデアナイカ、創設ノ動機ハ、要スルニ永年ノ目的
 デアル、先程言ツタ所ノ臺灣ノ米管問題、其ノ取扱ヲ如何ニス
 ルカ、サウシテ愈々管理案ガ出來マシテ、米ノ賣方ヲ農林省ニ
 託スル、託スルノデアナイ、農林省其ノモノハ商賣ガ出來ヌカ
 ラ、茲ニ於テ斯ウ云フモノヲ作ラナケレバナラヌト云フコト、
 一ツハ米專賣ノ前提條件デアナイカ、昨日ノ御答辯デアサウデ
 ハナイト云フヤウコトヲ言ハレタ、マダ速記録ヲ拜見致シマセ
 ヌガ、新聞ヲ見タノデアリマス、併シ過日ノ本會議ニ於キマシ
 テハ、專賣ノコトモ考ヘナケレバナラヌト云フヤウナ御答辯ガ

デアリマス、サウシテ賠償ハシマセヌガ、取引所員ト云フモノ
 ヲ市場員ニスルノデアルト云フ御話アゴザイマシタ、併シ市場
 員ニ致シマシテモ、先程申上ゲマシタヤウニ、是等ノ人々ハ本
 當ハ米穀ノ取引ヲシタコトガナイ人々デアリマス、此ノ者ガ産
 地ノ實際生産者ト直接スル所ノ産業組合トカノ進出デ、ココデ
 共同作業ヲ致シマシタ時ニ、果シテ如何ナル結果ヲ來ステアリ
 マセウカ、結局私ハ一厘ノ賠償金ヲヤラズシテ是等ノモノヲ自
 然消滅テセシムル所ノ前提條件トシテノ本法デアナイカト疑フ
 ノアゴザイマスガ、農林大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒ
 マス

○櫻内國務大臣 本法ガ米ノ專賣ニ關スル前提デアアルカナイカ
 ト云フコトニ付テ御質問アゴザイマスガ、米ノ專賣若クハ國營
 ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ私研究ノ價值ノアル問題ダト
 思ツテ居リマス、併シナガラ本案ガ其ノ前提デアアルト云フコト
 ハアリマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、左様御承知
 願ヒマス、ソレカラ取引所ガ許可ヲ得テ商行爲ヲ完全ニヤツテ
 居ルノニ、之ヲ取上ゲル場合ニ於テハ相當ナル賠償ヲ致スコト
 ガ至當デアナイカ、曾テハ五千萬、三千万、千萬ト云フヤウナ
 賠償金ヲ出スト云フ説ガアツタノニ、此ノ度ハソレチ一厘モ出
 サヌ、是ハ餘リニ穩カデアナイデアナイカト云フ風ヲ御意見デア
 リマス、普通カラ申セバ、先ヅ斯ウ云フ場合ニハ鐵道國有法ノ
 例ニ依ルトカ、或ハ其ノ他ニモ例ガアリマス、土地收用法ノ例
 ニ依ルトカ、サウ云フ民業ヲ官ニ於テ買收スル場合ニ於テハ幾
 多ノ前例ガアルノデアリマス、或ハ市場法——京都、大阪、東

京ノ如キ場合モアリマス、サウ云フ手續ヲ取ツテ然ルベキデハ
 ナイカト云フコトハ一應考ヘラレルコトデアリマス
 即チ本法施行ノ結果取引所ヲ廢止致スノデアリマスガ故ニ、
 今御話ノ點ニ付キマシテハ是ハ一應考ヘナケレバナラヌコトデ
 アリマス、併シナガラ法案ガ出來マシタ結果之ヲ廢止致スト云
 フ事柄ハ、事變以前ハ知ラズ、最近ニ至リマシテハ澤山例ガア
 ルノデアリマス、即チ皮革ノ統制ニ依ツテ靴屋ノ方々ガ倒レル
 綿織ノ統制ニ依ツテ綿織布ノ營業ノ人ガ業ヲ奪ハレタ、或ハ鑄
 物屋ノ方々ガ原料ノ鐵ノ配給ガ無クナツテ倒レタ、或ハ鐵ノ配
 給ガナイノ鐵瓶ノ製造家ガ全部倒レタト云フヤウニ澤山例ハ
 アルノデアリマス、是等ノ人々ニ對シマシテモ國家ト致シマシ
 テハ、此ノ事變ニ依ツテ業ヲ失ハレテ洵ニ氣ノ毒千萬デアルト
 思フカラ何トカ致スベキ筈デアリマス、併シナガラ總テ是等ノ
 人々ガ全部國家ノ爲ニ御忍ビ下サツテ、此ノ際我慢ヲシテ戴イ
 テ居ル場合デアアルノデアリマスカラ、茲ニ大キナ金額ノ賠償金
 ヲ出スト云フコトニ付キマシテハ餘程研究ヲシナケレバナラヌ
 點ガアルノデアリマシテ、私共其ノ研究ノ結論ヲ得ナイノデア
 リマス、併シナガラ他ノモノト違ツテ、此處ニ是ダケノ會社ガ
 出來テ、取引所ノ仕事ヲ行フノデアリマスカラ故ニ、隨テ丁度
 民間ア言ヘバ合併ノ形式ト云ヒマスカ、何ト云ヒマスカ、從來
 ノ取引所ノ株主ヲ此ノ株主ニ致シマシテ、サウシテ從來ソレ等
 ノ人ノ市場ニ使ツテ居ツタモノヲ適當ナ値段ヲ買上ゲテ、サウ
 シテ此ノ會社ノ株券ヲ御持テ願フト云フ事柄ガ丁度合併若クハ
 買収シタト同ジヤウナ形式ニナリハシナイカ、斯様ナ見地カラ

要スルニ取引所ノ株主諸君ニ、此ノ會社ノ株券ヲ優先的ニ御持
 テ願フ、又米穀ヲ扱ツテ居ル方々ニ優先的ニ御持テ願フ、斯ウ
 云フ風ニ此ノ機構ヲ拵ヘタノデアリマス、先刻モ御話ニナリマ
 シタ取引所ノ問題モ、兎ニ角茲ニ後繼ギ會社ノヤウナモノガ出
 來テ、一方ニ於テ失業サレル人ガ氣ノ毒デアアルカラ、其ノ立チ
 行ク方法ノ一助トモナルコトヲ考ヘナケレバナラヌ、斯様ナ見
 地デア此ノ法案ノ上ニ於テ措置ヲ爲スト云フコトニシテ、勅令、
 命令ニ於テ別ノ規定ヲ拵ヘマシテ、官民カラソレトノ權威ノ
 アル方ニ出テ戴イテ、其ノ審議ヲ俟ツテ是等ノ問題ノ解決ヲ致
 サウト致シテ居ルノデアリマシテ、私ハ現在ノ時代ニ於テ是ガ
 不法ナル、亂暴ナル案トモ考ヘテ居ラナイノデアリマス

(中略)

○**福田委員** ……今日是等ノ白米商ハドンナ生活ヲシテ居
 ルカ、其ノ親父ガ死ンダ時ニ、許可スルカセヌカテ決メルマデ
 營業ヲ續ケテ居テ宜イトハ何タルコトデアリマスカ、……
 許可スルカドウカ分ラヌガ、ソレマデ營業ヲ續ケテ居テ宜イ、
 サウ云フ立法ヲナサルト云フコトハ、道理ヲ超越シテ、眞ニ國
 家民衆ヲ憂ヘ、國家百年ノ大計ヲ立テル政策デアアルカドウカ疑
 ナキヲ得ナイノデアリマス……

○**周東政府委員** 御尤ナ御質問デアリマスカ、是ハ本許可ノ目
 的ガ人ヲ對象ニシテ居ルノデ、一應戶主ガ死ニマシタ場合ニ、
 相續人ニ對シテ其ノ手續ヲ執リマス、併シ是ハ大體從來長イ間
 ノ業ノ經驗ヲ有スル者ガ續ク譯デアリマス、實際問題トシテハ
 許可ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、人ヲ對象トスル許可制度

デアアルガ故ニ、相續人ニ付テハ一應形式上、サウ云フ手續ヲ履
 ムト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○**福田委員** 親ガ死ンダ時ニハ又改メテ願書ヲ出サセル、サウ
 シテ許可ヲ與ヘルト云フ御答辯ダト承リマス、ソレデ本法ガ出
 來マシテ、新ニ許可ヲ致シマシタ者ニアラズシテ、本法ガ出來ル
 數年前カラ營業ヲ續ケテ來テ居ル者ニ對シテ、其ノ子孫ガ營業
 ヲ繼續スル時ニ、又改メテ許可ヲ要スルト云フ事デアルト、取消
 ヲスルコトモ、許可セヌコトモ出來ルガ、キウ云フ意思デアナイ
 ト仰セニナルナラバ、宜シク斯ウ云フヤウナモノハ、眞ノ相續
 人ハ之ヲ繼承スト御改メニナルコトガ是等ノ者ニ安心ヲ與ヘル
 所以デアルト思フノデアリマス、何等必要ノナイノニ恐怖ヲ與
 ヘル法案ト云フモノハ、私ノ探ラザル所デアリマスカ、農林
 當局モサウ爲スツタ方ガ、餘程國民ノ受ケモ宜シイシ、成程ト
 言ツテ直チニ常識的ニ分ルノデゴザイマスカラ、何レ後ニ是
 ハ各條ニ就キマシテ議會ニ於キマシテ御伺申上ゲマスカレドモ
 サウ云フ風ニ此ノ勅令ナリ、命令ナリ、法文ナリヲ發表致シマ
 スルダケデモ、全國ノ營業者ハドレ位恐怖シテ居ルカ分ラヌノ
 デスカラ、此ノ際ニサウ云フ意味デアナイノダ、ヤハリズツト續
 ケサセル積リデアアルカラ、死ンダ時ニハ其處ニ相續人ガ決マレ
 バ業務ヲ繼承スルコトヲ得ト云フヤウニ御改メニナルコトガ、
 至當デアルト思ヒマス、今此處テ直グ改メロトハ言ヒマセヌガ
 サウ云フ方針デアアルカドウカ御伺致シマシテ、日本全國ノ當
 業者ニ安心ヲ與ヘテ、此ノ非常時國家ニ貢獻サセルヤウニ致シ
 タイト思フノデアリマスカ、モウ一度御答ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス
 ○**周東政府委員** 此ノ點ハ新規ニ許可ヲ受ケマス者ト、相續人
 ガ續イテ業ヲ繼續スル場合ニ於ケル手續トハ、自ラ違ツテ來ル
 ト思ヒマス、其ノ點ハ餘程手續上ニ簡便ナ手續ヲ執リタイト思
 ツテ居リマス、手續ダケハ執ツテ貰フヤウニ致シタイ、斯様ニ
 思ツテ居リマス

(中略)

○**福田委員** ……今日小賣業者ノ如キ者ハ、失禮デアアル
 ガ、簿記其ノ他ノ學問教育ハゴザイマセヌ、ソレニ對シテ、何
 時タリトモ必要ガアレバ其ノ帳簿ヲ檢閲サレルト云フ……
 數十石賣ツテ、タツタ一圓五十錢カニ圓儲ケル極ク僅カナ利益
 シカ得ナイ者ニ對シテ、帳簿ヲ臨檢シテ、之ヲ拱ムコトヲ得ズ
 拱ンダラ直チニ營業ヲ停止スルト云フ反面ガアリマス、斯ウ云
 フコトマデ御干涉ニナルト云フコトハ、何處カラ見テモ彼等ヲ
 シテ自然ニ止メシムル、恰度煙草專賣ノ時ト同一ナ行動ニ出テ
 ラレヨウト云フ前提ノ方途ガ、茲ニ潜在シテ居ルノデアハナイカ
 ト國民ガ疑ヒマスカラ、此ノ法案ニ對シテ如何ナル信念ト、又
 如何ナル御所存ノ結果、斯ウナツタノデアリマスカ、モウ一度
 御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○**周東政府委員** 此ノ點ニ付キマシテハ、本法ノ制定ノ趣旨ガ
 全國民ノ爲ニ必要ナ米穀ノ配給ヲ出來ルダケ圓滑ニ致シマシテ
 其ノ適正ナ價格ヲ以テ取引サセルト云フコトニ目的ガアリマス
 ノデ、サウ云フ風ナ必要上、米ノ取引ヲ致シテ居ル者ノ實情ヲ
 能ク知ル必要ガアリマスカ、場合ガアルト思ヒマス、サウ云フコト

ノ爲ニ報告ヲ命ズルト云フヤウナ場合ヲ考ヘテ居ル譯デアリマ
ス

(後略)
午後六時二十分散會

昭和十四年三月十一日
午前十時十分開議

○添田委員長 是ヨリ開會致シマス

○伊東委員 ……先ヅ事務當局テ差支アリマセヌガ、御答
辯願ヒタイコトハ、第一ハ本案中第二十九條第二項ノ日本米穀
會社ノ營ミ得ル事業トシテハ、米穀市場ノ開設ノ外ニ、附帶事
業トシテ麥、大豆、其ノ他雜穀又ハ肥料ノ取引市場ヲ經營シ得
ルコトニナツテ居リマスガ、……

(中略)

此ノ附帶事業ヲ市場テ經營致シマスルト生産者、消費者又ハ商
人トシテ、ドンナ利害ガアリマスカ、此ノ點ヲ具體的ニ御説明
ヲ願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 是ハ昨日モ申上ゲマシタヤウニ、別ニ此ノ新
市場ニ於キマシテ之ヲ積極的ニ取扱ハシメルト云フコトヨリモ
只今モ申上ゲマシタヤウニ兎モ角モ市場テサウ云フ種類ノ取扱
ヲ致シテ居リマスノデ、若シモ是等ノ市場カラ主タル取扱物件
デアリマス米ヲ拔キマス關係上、其ノ經營ニ不便ヲ生ズル結果
或ハ新市場ニ於テ併セテ之ヲ望ムト云フヤウナ場合ニ於キマシ

過ニ付テ、御話ヲ承リタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ點デゴザイマスルガ、是ハ實ハ本來ノ
主タル業務デアリマセナカツタノト、ソレカラ其ノ取扱ノ量、
現在ノ實情等ヲモ考慮致シマシテ、要項ニハ特ニ掲ゲテ置カ
カツタノデゴザイマスガ、大體内容ト致シマシテハ、別ニ當初
カラ持ツテ居ツタ譯デアリマス、唯附帶事業デゴザイマスノデ
特ニ要項中ニハ書イテ居ラナカツタ譯デアゴザイマス、御諒承ヲ
願ヒマス

○伊東委員 商工政務次官ニ御尋致シマス、只今米穀局長ハ、
實ハ考ヘテ居ツタケレドモト云フヤウナ、ドウモ曖昧ナ御答
デアリマスガ、併シ聞ク所ニ依リマスルト、最初此ノ附帶事業ト云
フモノハ、全然ヤル意思ハナカツタノデアルガ、其ノ後商工當
局ノ立場カラノ要求ニ依ツテ、本事項ヲ挿入セザレバ、將來ノ
取引業者ニ對スル妥協ガ不可能デアルカラ、其ノ意味合ニ於テ
商工省ハ商業者ヲ擁護スルト云フ立場ガ本旨デアリマスカラ、
其ノ意味デ此ノ點ヲ要項サレタコトニ因テ成シテ居ルト云フコ
トデアリマスガ、内輪ノコトデアリマスルカラ、或ハハツキリ
シタ御答ハ出來ヌカモ知レマセヌケレドモ、是ハ進ンデハツキ
リサレテ置クコトガ、本案審議ノ進行上宜イト思ヒマスノデ、
ドウノハツキリシタ所ヲ御答願ヒタイト思ヒマス

○今井政府委員 伊東君ニ御答致シマス、此ノ法案ハ初メカラ
米ノ配給統制ト云フコトヲ主眼ト致シテ居リマス、農林省トノ
交渉ニ於キマシテモ、ソレヲ中心トシテ交渉致シマシタ、今ノ
雜穀其ノ他ノ取引ノコトニ付テハ、實ハ餘リ突進ンダ交渉ハ致

テ、其ノ地方ノ實情ニ應ジマシテ取扱ヲ爲スコトガ便宜デア
ルト云フ場合ニ於テノミ、考ヘタ譯デアリマス、專ラ從來行ツ
テ居リマス市場ト新市場ニ於キマス關係カラ考ヘマシテ、必要
場合ニ認メサセヨウ、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○伊東委員 昨日日本件ニ關シマシテ櫻内農林大臣ノ御答ノ要旨
ヲ聽イテ居リマス、現在ノ米穀取引所中ニハ關係ノアル附帶
事業ヲ經營シテ居ル者ガアル、之ヲ一舉ニシテ廢止スルコトハ
農村自體ノ爲ニ不便ダト仰セラレテ居リマス、一體農村自體ニ
ドウ云フ不便ガアルカ、此ノ點、隨テ此ノ條項ハ附帶事業等ノ
性質ヲ持ツノデアルカラ廢止スル必要ヲ認メナイト云フヤウニ
本事業ニ對スル積極的主張ハナイヤウデアリマスガ、農林大臣
ノ御心持ヲ左様ニ消極的ニ解シテ宜イノデアリマスルカ、此ノ
點ノ農林大臣ノ御答辯ヲ得テ置キタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 現在取扱ツテ居リマスル所ニ於キマシテハ、
色々ナ商習慣モ出來テ居リマシテ、ソレヲ一朝ニシテ廢止スル
コトハ、從來ソレニ依ツテ取引ヲシテ居ツタ者ガ非常ニ不便ヲ
感ズルデアラウ、斯ウ云フコトモ考ヘマスと同様ニ、其ノ仕事
ヲ若シ繼續シテヤツテ居リマスレバ、ソレダケ商人ナリ農村ノ
人々ナリガ利便ヲ得ル、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 サウ致シマスルト、此ノ附帶事業經營ニ付テハ、
餘リ積極的ノ御主張モナイヤウデアリマスカラ、稅ハ之ヲ消極
的ニ解シテ置キマスルガ、尙ホ最初ニ本案ニ關聯致シマシテノ
要項ニハ、此ノ附帶事業ヲ經營スルコトハ無カツタヤウニ考ヘ
マスルガ、此ノ附帶事業ヲ挿入セネバナラナイヤウニナツタ經

サナカツタノデアリマス、ソレガ其ノ後ニナリマシテ愈々成案
ヲ作ル時ニ、サウ云フ現ニ附帶事業ヲヤツテ居ル所ノ者ガアル
ソレヲ切離シテ行キマスルト、ソレガ行キ立タナイコトニナル
ソレナラバ、現ニソレヲ取扱ツテ居ル者ガアリマスル以上ハ、
ソレモ一緒ニクツ付ケテ行ツタラ宜カラウト云フ位ナ輕イ程度
デ、是ハ法案ニ入レルコトニナツタト承知シテ居リマス、隨テ
商工省ガ特ニ之ヲ力説シタト云フヤウナ經過デアリマセヌ、此
ノ點ハ此ノ機會ニ明ニ致シテ置キタイト思ヒマス

○伊東委員 附帶事業ノ問題ニ付テ、商工省ハ別ニ力説ハシ
カツタト云フ御話デアリマスガ、併シ商工省ノ本當ノ氣持カラ
考ヘルト、私共ハ此ノ米穀業者ヲ擁護スルト云フ立場デ、左様
ナ主張ヲ力説サレルノガ本當デハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス、併シ今御話ノ通りデアルト致シマスナラバ、商工省トシテ
モ、別ニ此ノ附帶事業ニ對スル積極的ノ主張ハザレナイモノト
考ヘマスカラ、是モ消極的ニ解シマシテ、農林、商工トモ、此
ノ附帶事業ニ對シテハ、消極的ニ解シテ置キタイト思フノデア
リマス、續イテ御尋致シタイコトハ、市場ノ複雜性ハ、却テ米
ノ統制ノ上ニ混亂ヲ招ク虞ガアリマスノデ、寧ロ是ハ一本建
方ガ宜イト私共ハ考ヘテ居リマス、但シ附帶事業ヲ管ムコトハ
政治的ノ利益ハアリマスケレドモ、實際的ノ利益ハ何等ナシト
私ハ思フノデアリマスガ、此ノ點ニ對スル御所見ヲ伺ツテ置キ
タイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 其ノ點ニ付キマツテハ、少シク意見ヲ異ニ致
シテ居ルノデアリマシテ、從來圓滿ニサウ云フモノノ取引ヲ致

シテ居リマシタ所ニ於テ、其ノ取引ノ無クナルト云フコトハソレダケ不便アルト云フコトハ、申スマデモナイコトデアリマシテ、出來ル限リ農民並ニ商人ノ利便ヲ圖リタイ、本案ノ趣旨ニ反セザル限リ、本案ノ運用ヲ害セザル限リニ於テ、出來ル限リノ利便ヲ圖リタイ、斯ウ云フ觀念カラ、本案ニ斯様ナ條項ヲ入レタ譯デアリマス、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○伊東委員 事務當局ニ御尋致シマスガ、第四條ノ命令事項ノ内容ヲ御示ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 第四條ノ命令付キマシテハ、必要ナ場合ニ於テ、例ヘバ極端ナ買借ミ買占メト云フヤウナコトガアリマシタ場合ニ之ヲ止メル、サウシテ出荷ヲセシメル、或ハ賣先ヲ指定スルト云フヤウナ事柄ヲ考ヘテ居ル譯デアリマス、必要ナル場合ニハサウ云フヤウナ命令ガ爲シ得ルヤウニ、規定ヲ置イタ譯デアリマス

○伊東委員 只今カラ農林大臣ニ少シ御尋致シマスガ、農林大臣御疲レノヤウデアリマスカラ、出來ルダケ農林大臣ノ御答ヲ得ヌアモ宜イヤウニ致シタイト思ヒマスケレドモ、三十分位御辛抱ヲ願ヒタイト思ヒマス、本案ノ有利性、即チ只今ハ附帶事業ノコトニ付テ論議致シマシタガ、本法律案ノ成立後ニ於ケル利益點テ、具體的ニ一ツ示シテ戴キタイ、是非ハ非常ニ難カシイ間ヒデアリマスケレドモ、過日モ御説明ニナリマシタ國民生活ノ安定ノ爲ノ公正ナル米價ノ維持、及ビ配給統制上ノ立案趣旨ハ、抽象的ニ御説明ガアツタノデアリマスガ、一體生産者ニドソナ利益ガアリマセウカ、消費者ニドソナ便利ガアルカ、米穀

期スルコトガ出來ルノデアリマスガ故ニ、其ノ點ニ付キマシテハ非常ニ安心ヲ與ヘ、安ジテ此ノ生活ノ必需品ヲ得ルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ中間ノ商人ニ對シテ色々ナル議論ガアリマスケレドモ、是モ度々申シマス通り、今ノ生産者ト消費者ト中間ノ商人ト、所謂三建テ相協力シテ行キマス以上ハ、私ハ大シタ影響ガナイモノト思ヒマス況ンヤ當會社ニ於キマシテハ其ノ中間的、所謂商ヒノ媒介ヲ致ス即チ中間取扱業者ニ對シマシテハ相當ノ利便ヲ與ヘ、サウシテ從來困難ノアツタ配給力ノ點ニ付キマシテ、出來ルダケノ援助ヲ致スコトニナツテ居リマシテ、此ノ點ニ於テモ大イニ利便ガアルト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伊東委員 御説明ノ如クデアアルトスルナラバ、誰モ反對ナシ不滿ヲ持ツ者ハナカラウト思ヒマスガ、一體場外ノ空氣モ、産組モ、不滿ノ色ガ濃厚デアリ、商業組合モ反對デアツテ、百姓モ餘リ喜バナイ、斯ウ云フヤウナ本案アルコトハ是ハ事實デアリマス、特ニ此ノ不徹底ナル米穀會社ニ對スル反對ガ一番多イヤウデアリマス、私共ハ救済スベキ理由ガアレバ、綺麗サツパリト救済對策ヲ講ズベキモノデアアル、是ハ獨リ取引所關係バカリデハナク、米穀業者ニ對シテモ、事由ガアレバ當然積極的ニ救済スルコトガ宜シイ、蛇ノ生殺シノヤウナコトアハサウシテ配給機構ノ如キモ、斷乎トシテ革新的ナ、徹底的ナ權威アル機構ニスルコトガ宜イ、要スルニ今回ノ不滿ノ聲ハ、主トシテ米穀會社ノ不徹底ナ點ニアルト思フノデアリマス、之ニ對スル御所見及ビ先日來政府ノ答辯ハ、最近ハ餘程熱ガ出テ來マシタ

業者ニドソナ便利ガアルカ、此ノ三方面カラハツキリト具體的ニ、簡單テ宜シイノデアリマスカラ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○櫻内國務大臣 本案提出ノ理由ニ付キマシテハ、此處テ度々申上ゲタノデアリマスガ、要シマスルノニ、公正ナル價格ヲ決定シテ其ノ範圍内ニ於テ取引ヲ致スコトガ、一ツノ主眼デアリマス、ソレカラ現在ノ米穀商人ヲシテ出來ルダケ圓滑ニ其ノ配給ニ從事セシムル爲ニ、一面ニ於テ之ヲ許可制ニ致シマシテ、一面ニ於テコレニ對スル取締ヲ致シテ、即チ連絡ヲ取ツテ需給配給ヲ圓滑ナラシムルト云フ事柄ガ、第二點デアリマスソレカラ今御話ノ具體的ニドウ云フ利益ガアルカト云フコトニ付キマシテハ、生産業者ト致シマシテハ、從來取引關係ニ於テハ、何等變化ハナイノデアリマス、唯此ノ機構ノ出來マシタ結果ト致シマシテ農村ノ人々ハ之ヲ標準ト致シマシテ、總テ生産ニ從事致スコトデアリマシテ、其ノ點ニ付テ從來ヨリハ一歩進ンテ安心ガ出來ルノテハナカラウカト云フコトヲ考ヘテ居リマス尙ホ一ツニハ此ノ會社ノ運管ニ依リマシテ、從來複雜デアツタ取引關係ガ統制ヲサレルノデアリマシテ、一例ヲ申シマスレバ政府米ニシテモ、或ハ臺灣米ニ致シマシテモ、或ハ朝鮮ノ移入米ニ致シマシテモ、要スルニ此ノ會社ノ力ニ依リマシテ、圓滑ニツレガ配給統制ヲサレル、斯ウ云フコトニナリマシテ、詰リ米ノ配給ガ圓滑ニナル、圓滑ニナル結果ハ、農村ノ人々モ全ク自分ノ品物ヲ賣ルコトニ對シテ容易ニナル、斯ウ云フ譯デアリマス消費者ノ階級ハ若シ米ノ偏在等ガ起ツテ、消費者ノ方面ニ米ノ配給ガ不圓滑ノ場合ニ於テハ、本法ニ依ツテ直チニ其ノ圓滑ヲ

ガ、今マテハドウモ熱意ヲ缺イテ居ツタノデアリマス、先般西川君ノ質問ノ如キニ對シテハ、洵ニ不徹底ナ答辯デアリ、大臣ト事務當局トノ答辯ノ喰違ヒガアルト云フヤウニ、正シク本法案ニ意見ノ一致ヲ見ナイ、ソコニ信念ガアルカドウカト云フコトヲ、私共ハ疑フノデアリマス、先ヅ是ハ答辯ノ統制ガ必要デアリ、大キナ資料ニ依ツテ自由自在ニ御説明シテ戴クコトガ非常ニ宜イ、私共ハドウカシテ本案ヲ成立セシメタイト云フ非常ナル熱意ヲ持ツテ居リマスガ、寧ろ提案者タル政府ノ信念ヲ疑フモノデアリマス、此ノ信念ニ對シテ櫻内農林大臣ノ御所信ヲ披瀝シテ戴ケレバ幸ダト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 本案ニ對シテ政府ノ考ヘテ居ル所ニ對シマシテハ、私ト事務當局ノ間ノ意見ノ不一致ト云フモノハ絕對ニアリマセヌ、又本案提出ノ趣旨ニ鑑ミマシテ、事務當局ニ對シマシテ、若シ其ノ取調ノ不十分ナ點ガアリマスレバ、是ハ陳謝致シマスケレドモ、私共ハ相當之ニ對シマシテハ、此ノ案ノ必要ナル所以ヲ度々申上ゲマシタ如ク、ドウシテモ此ノ機會ニ於テ御審議ヲ御願シナケレバナラヌ、斯ウ云フ信念カラ本案ヲ出シタ譯デアリマス、只今賠償スベキモノナラバ、綺麗ニ賠償シテ綺麗サツパリト根底カラ立テラ宜イデハナイカ、斯ウ云フ御尋デアリマスガ、之ニ對シマシテモ度々申上ゲマシタ通り私ハ本案ニ依ツテ殆ド從來ノ取引所關係ト云フモノハ大體ニ於テ其ノ權益ト云フモノガ侵サレテ居ルモノデハナイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、勿論營業ノ廢止ヲ致スコトデアリマスカラ、其ノ迷惑サレル事ハ御察シスルノデアリマスケレドモ、ソレニ

對シテ此ノ會社ト合同シタト同一ナ、狀態ニナルヤウニ致シタ
イノテアリマシテ、又同時ニ此ノ會社ガソレニ依ツテ非常ナ不
當ナ高イモノヲ買フトカ、サウ云フ意味ハナイノテアリマス、
實際ニ於テ米穀市場トシテ使用スルモノヲ唯買上ゲル、而モ相
當ノ委員會ニ於テ審議ヲ致シマシテ買上ゲルノテアリマシテ、
其ノ點ニ於テ私ハ何等矛盾シタコトハナイト思ヒマス、要シマ
スルノニ、本案ハ今日ニ於テハ心配ハ致シマセヌケレドモ、往
往ニシテ起ル所ノ米穀ノ偏在ト云フモノヲ防イテ、全國民ニ對
シテ圓滑ナル米ノ配給ヲ致シサウシテ價格ニ於テモ適正ヲ維持
シタイ、新様ナ見地カラ立案シタノテアリマシテ、唯從來ノ取
引所ト異リマス所ハ、從來ノ取引所ノ仕事ハ大部分ハ投機取引
テアリマシタケレドモ、今回ノハ全然實物取引ヲ主眼トシテ此
ノ會社ヲシテ經營セシメル、斯ウ云フ所ガ大ナル相違ニナツテ
居ル點テアリマス

○伊東委員 御心持ノ點ハ能ク諒承致シマシタケレドモ、信念
ノ點ニ付テハ尙ホ疑ハシク考ヘテ居リマス、殊ニ先程御尋致シ
マシタ第二十九條ノ第一項ノ如キハ、本案ノ提出ヲ忘レラレタ
爲ノ結果トシテ、幽靈ノ如ク現ハレタモノヲ其ノ正體サヘ私共
ハ怪ンテ居ルノテアリマス、此ノ點ニ付テハ、先程内容ガハツ
キリ致シマシタ、正體ヲ突止メマシタノテアリマスガ、尙ホ
私ハ本案全部ヲ通ジテ今日迄多少研究シテ參リマシタ所感トシ
テ、本案ノ缺陷ヲ指摘シタイト考ヘテ居リマス、ソレハ本案內
部ノ解剖テアリマスノテ、時間ヲ省略スル爲ニ十箇條ニ分類シ
テ居リマス、ドウノ是ガ私ノ間ハント欲スル骨子テアリマスカ

維持テアリマス、戰時體制下ニ於ケル低物價政策上已ムテ得ヌ
トシテモ、農家ノ犧牲ハ餘リニ大キイ、生産費輕減策ニ最善ノ
手段ガ必要テアリマス、特ニ第七條ハ再檢討ヲ要シマス、六、
市場ノ操作ノミテ米價ノ合理化ハ不可能テアリマス、本案ハ農
村內ニ深く潜在セル根本的ノ矛盾ガアルノテ、之ヲ除去シナケ
レバナリマセヌ、之ヲ先決セザル所ニ本案ノ缺點ガアルノテア
リマス、更ニ大陸米作ノ積極性ハ大イニ考慮シナケレバナリマ
セヌ、是ハ後テ相當議論シタイト思ツテ居リマス、七、米ノ計
畫的生產、消費ノ合理化、就中内地増産ニ重點ヲ置キ肥料、勞
力、耕地ニ對スル積極的改善テアリマス、併セテ考フベキハ兵
農兩全ノ新形態ヲ整フル農村經營テアリマス、八、臺灣米管理
ハ島民ノ犧牲力災難力、但シ内地追隨ノ米穀對策ハ新領土トシ
テ又忍バナケレバナリマス、一體不可分關係ノ朝鮮米ヲ合
理的ニ管理セザル所ニ缺陷ガアリマス、米穀ノ量ノ調整モ米價
安定モ朝鮮米ヲ加味シナケレバ不可能テアリマス、九、米穀ノ
國營検査ヲ併行セザルハ配給統制上ニ徹底ヲ缺キ大ナル缺陷テ
アル、更ニ本案ガ全農民ノ有利性ニハ疑義ガアル、消費者ノ負
擔轉嫁ヲ排除シ、及ビ小賣制度ノ改善ハ再檢討ヲ要スル、十、
米穀業者ノ反對、産組ノ不滿ハ、本案ノ缺陷内蔵ノ立證テアリ
マス、市場參加ノ生産部門ト配給部門ト分限ヲ明ニシ、對立關
係ヲ除去スベキモノテアル、此ノ機會ニ産組、商組ノ權限及ビ
境界ヲ明瞭化ニスルコトガ大キナ使命テアルト思フノテアリマ
ス、以上十項、中々難カシク廣汎ニ互ツテ居リマスガ、此ノ缺
陷ヲ御認メニナリマスルカ、或ハ箇々ニ付テハ御意見ガアルカ

ラ、能ク御聽キテ願ツテ置キタイト思ヒマス、政府ガ私ノ指摘
シタ缺陷ヲ御認メニナリマスルナラバ、私ハモウ質問ヲ打切ツ
テモ宜イノテアリマス、時間省略ノ爲ニ項目別ニ申上ゲテ置キ
マス、一、本法ノ革新性ハ國民ノ主食糧タル米ヲ投機性ノ對象
ヨリ除イタ點ニアルノテアリマス、但シ米穀會社ノ内容、其ノ
組織條件ニ於テ現狀維持的テアリマス、故ニ中間搾取の機關ノ
感ジガアリマス、第五十四條第二項ノ命令事項、第五十六條第
一項ノ勅令事項、第五十五條ノ施行期日ノ問題等ハ再檢討ヲ要
スルノテアリマス、二、米穀會社ハ取引所ノ實質的救濟的テア
リマシテ、根本的ニ危險性ガアルノテアリマス、優先的ノ出資
好條件ノ配當、手数料ノ不明朗性ハ考フベキ主ナル事項テアリ
マス、特ニ會社ノ取扱品ノ多角性ヲ改メ、米一本建テ行カナケ
レバナラナイノテアリマスルカラ、此ノ點ニ對シテ第二十九條
第二項ハ再檢討ヲ要スルモノト認メマス、三、集荷機構ノ改善
及ビ將來ヘノ生産ヨリ消費ニ至ル一貫セル推進力ハ、配給部門
ノ一大革新ヲ要求スルモノテアリマス、本案ノ複雜性ハ生産消
費兩方面トモ不利テアリマス、斷乎トシテ米專賣テ進ムノガ宜
イノテアル、四、本法ノ勅令又ハ命令事項ハ、全部ヲ通ジテ非常
ナ數ニ達シテ居リマス、他ニ類例ノナイ法律案テ、私ハソコニ
缺陷ガ非常ニアルト思フノテアリマス、官僚獨善ニ陥リ易クテ
運用ノ圓滿ヲ缺キ、不利不便ガ續出シテ米穀ノ配給上ニ混亂ト
溢滞ヲ免レナイト考ヘテ居リマス、特ニ第一條ノ勅令、第四條
ノ命令事項ノ如キハ、再檢討ヲ要スルト考ヘテ居リマス、五、
米穀統制配給上ノ根本的重點ハ、米穀生産ノ確保ト適正米價ノ

モ知レマセヌガ、先ヅ政治的ニハ御認メニナツテ宜カリサウニ
思フノテアリマスガ、御所見ヲ伺ツテ居リマス

○櫻内國務大臣 十項目ニ分ケテ極ク大綱ノ御質問テアリマス
私カラ大要ヲ御答致シマシテ、若シ落チガアリマスレバ更ニ御
質問ヲ願ヒタイト思ヒマス、第一ノ御問ハ、本案ハ投機取引ノ
抑制ヲ主眼トシテ居ルガ、本案ハ目的ガ違セラレナイテハナ
イカ、斯ウ云フ風ナ御質問テアツタ様ニ思ヒマス、併シナガラ
御承知ノ通り本案ニ於ケル所ノ市場ノ取扱方法ハ、從來ノ一番
多ク、投機取引トシテ始テ取引所取引ノ大部分ヲ占メテ居リマ
シタ清算取引ト云フモノヲ、全然全廢致シタノテアリマス、唯
之ニ延取引ガ隨意行ハレルト御認メニナルカ知レマセヌケレド
モ、是モ御承知ノ通り格付取引ニアラズシテ銘柄即チ縣々ノ米
ヲ指定シテ、其ノ米ヲ相對的ニ取引ヲ致スノテアリマシテ、又
少シク範圍ヲ擴ゲタモノモ組合セ銘柄ニ依リマシテ致スノテア
リマシテ、從來ノ取引トハ根本ニ於テ相違ガアルノテアリマス
殊ニ轉賣買戻ヲ許シテ居リマセヌ、此ノ點ニ付キマシテハ私ハ
投機抑制ノ上ニ於テ非常ナ力ガアル、サウシテ圓滑ニ米穀ノ取
引ガ出來ルテアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノテアリマス、本案ニ
依ツテ中間的搾取ガ殖エルテハナイカト云フ様ナ御話テアリマ
スガ、是ハ私ハ必ズ中間的搾取ト云フモノハ減ツテ來ルト思ヒ
マス、事實ニ於キマシテ茲ニ此ノ市場ヲ中心トシテ取引ガ致サ
レルコトニナリマスレバ、色々ナ中間的搾取ハ出來ナイ譯デア
リマス、是ハ私ハ中間的搾取ト云フモノハ少クナツテ、ヤハリ
米穀業者ノ方々モ非常ニ奮發ヲ下サツテ、各々簡潔ナル取引方

法ニ依ツテ消費者ノ利益、生産者ノ利益ヲ御圍リ下サツテ成立
ツヤウニ相成ルコトト考ヘルノデアリマス、取引所取引ノ實施
状態ニ付テ、米ノ一本建テ進ムベキモノハナイカト云フ御話
デアリマスガ、ソレハ御説ノ通りデアリマス、元來ガ米穀ノ一
本建テイツテ、本案ハ米穀ヲ主體トシタニ相違ナイノデアリマ
ス、唯先刻來申シマシタ通り、現ニヤツテ居ル人々ガ不便ヲ感
ズルト云フコトニ付キマシテハ、其ノ事情、場合ニ依ツテ之ヲ
兼營ヲサセルコトガ出來ルト云フ、唯出來得ルト云フ規定ヲ設
ケタノデアリマシテ、ソレガ若シモ不便ナル、邪魔ニナルト
云フ場合ニ於テハ、ソレハ兼營ヲ致サナイダケノ話デアリマシ
テ、兼營ヲ致スコトガ消費者及ビ生産者ノ利益、商人及ビ農民
ノ利益ニナル場合ニ於テノミ、之ヲ實行致スコト云フ趣旨デアリ
マシテ、主眼ガ米ノ一本建ニアルコトハ固ヨリデアリマス、ソ
レカラ集荷機構ヲ改正シテ配給ヲ圓滑ニシ、消費者生産者ノ利
益ヲ圖ルニハ、專賣制度ヲ布クコトガ宜イノデアリマス、今日
御話デアリマス、此ノ問題ニ對シマシテハ度々御答へ申上ゲマ
シタガ、專賣並ニ國營ニ付キマシテハ、是ハ十分研究致スベキ
問題デアリマシテ、吾々ハ之ニ對シテ反對ヲ致シテ居ル者デモ
アリマセヌガ、尙ホ十分ナル研究ヲ要シマスルノデアリマス、
今日ニ於テハ本案ニ依ツテ處理致シタイ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、
勅令及ビ命令ガ多數デアツテ、官僚獨善ニ陥ルト云フ御話デア
リマスガ、本法案ノ實施ニ付テハ民間ノ事業上ニ於ケル練達堪
能ノ士ヲ主トシテ其ノ中樞ニ据エテ、働カセタイ考ヲ持ツテ居
リマスカラ、左様ナ缺陷ハ起リ得ナイト考へテ居リマス、第七

條ノ問題ニ對シテノ御尋デアリマスガ、是ハ所謂各方面ノ權威
者ノ諸君ガ御集リニナツテ、多年研究サレマシタ標準ニ依ツテ
最高最低ヲ決メテ掛カルノデアリマシテ、其ノ最高最低ト云フ
モノニ付キマシテハ、十分ニ研究シテ決定ヲ致サルベキコトト
思フノデアリマスカラ、之ニ依ツテ不合理ナコトガ起リ得ルト
ハ考へテ居リマセヌ、第六ハ米穀ニ對スル大陸政策ヲドウ考へ
テ居ルカト云フ御質問デアリマス、此ノ問題ニ對シマシテハ此
ノ席ニ於テ是亦度々申上ゲマシタ通り、今日ハ内地外地ヲ通ジ
テ自給自足ノ方策ヲ以テ、進ンテ參ツテ居リマスケレドモ、今
後ハ日滿支一體、即チ一元的ニ米穀政策ヲ確立致サナケレバ
ラヌコトハ固ヨリデアリマシテ、當然將來ノ計畫ハ左様ナ見地
ニ於テ立テタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、今日ハソレヲ具
體のニ致スベク、企畫院其ノ他各方面ニ於テ十分調査ヲ致シテ
居ル次第デアリマス、第七ハ計畫の生産及ビ兵農兩全ト云フ風
ナ御話アゴザイマシタガ、農林當局ト致シマシテモ計畫の生産
ト云フコトニ付テハ、最モ力ヲ入レテ居ルノデアリマシテ、今
期議會ニ於テ御協賛ヲ願ヒマシタ豫算ノ中ニ於キマシテモ、農
村計畫ト云フモノニ付キマシテハ、單ニ中央ニ於テ計畫委員會
ヲ設クルノミナラズ、府縣並ニ町村等ニマテ計畫委員會ヲ設ケ
マシテ、計畫のニ農村ノ生産計畫ヲ確立シテ、其ノ米穀政策ニ
對應スルヤウニ致シテ、是ノ實行ニ移リタイト思ツテ居リマス
第八ハ臺灣米管理ニ付テノ御意見デアリマシタガ、此ノ點ニ付
キマシテモ、此ノ席テ屢々申上ゲテ居ル所デアリマス、ソレニ
附帶シテ朝鮮米ヲヤハリ同様ニ管理シナケレバナラヌノデアリ

イカト云フ御話デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、ヤハリ
朝鮮ノ米穀モ一元的ニ統制致スコトガ、最モ必要ナコトデアリ
マシテ、今日朝鮮總督府ト常ニ緊密ナル連絡ヲ執リマシテ、農
林省ノ立テマシタ自給自足ノ方法ニ即應スルヤウニ、總督府ニ
於テモ進メテ居ルノデアリマシテ、今回本案ガ成立致シマス
同時ニ、臺灣ニ於キマシテモ、本案ニ即應スルヤウナ方法ヲ立
テルコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、要シマスルノニ、總督
府ト少シモ其ノ間ニ扞格ノナイヤウニ連絡シテ、配給關係ヲ
調節シテ行キタイト思ツテ居リマス、第九ハ國營検査ノ問題
デアリマスガ、是ハ吾々モ同感デアリマシテ、出來ル限リ速ニ國
營検査ノ實行ヲ致スコトヲ希望シテ居ルノデアリマシテ、各方
面ト能ク話合ツテ、一日モ早ク速ニ其ノ實行ノ出來マスヤウニ
努力致シタイト思ツテ居リマス、産業組合、米穀商人、商業組
合ノ反對ガアルガ、是ハ各々ノ任務ノ分限ヲ、ハツキリ區別シ
テ其ノ間ニ於ケル所ノ圓滿ナル協調ヲ執ル必要ガアルノデアリ
イカト云フ御話デアリマス、是ハ洵ニ御尤ナコトデアリマス、
之ニ附帶シテ産業組合モ反對シテ居ル、米商人モ反對シテ居
ル、商業組合モ反對シテ居ルト云フ風ナ御話デアリマシタガ、
私ノ知り得テ居ル範圍内ニ於テハ、産業組合ノ中ニモ贊成者ガ
アリ、米穀商人ノ中ニモ贊成者ガアリ、又米穀商業組合ノ中ニ
於テモ多數ノ贊成者ガアルト考へテ居リマス、要シマスルノニ
斯ノ如キ打ツテ一丸トシタル仕事スル場合ニ於テハ、幾分か
反對ヲサレル部分ガアリマスコトハ、是ハ過渡的の道程ニ於テハ
已ムテ得ナイコトデアリマシテ、本案實行ノ曉ニ於テハ其ノ反

對ノ理由ガ消滅ナシテ、私ハ各方面カラ此ノ案ガ適當デアツタ
ト云フコトヲ御認メ下サル機會ノ來ルコトヲ、信ジテ居ル次第
デアリマス、大要御答致シマス

(中略)

○伊東委員 只今政府ガ相當ノ貯藏米ヲ持ツテ居リマス、尙ホ
軍用米シテハ、私共ノ信ズル所テハ二年分、三年分、或ハ五
年分十分アルト信ジテ居リマス、又其ノ數量、買上方法等ニ
付テハ御發表ノ困難ナ點モ承知致シテ居リマス、併シ實際問題
ト致シマシテ、獨逸ガ戰爭ニ負ケタノハ、食糧不足ノ爲デアツ
タト言ハレマスケレドモ、實際ハ獨逸ニハアノ當時穀物ハアツ
タノデアリマス、唯眞實ニ穀物ヲ國內ニ政府ガ保有シテ、保管
シテ居ルカツタト云フニ缺點ガアツタヤウニ考へマス、ダカラ
國ガ米ヲウント管理スルコトハ非常ニ必要ダ、併シ軍用上軍用
米トシテ必要ガアツタ事ハ、國家總動員法ガ發動致シマス、併
シ法律ノ發動ヲ俟タズシテ、斯ウ云ツタヤウナモノガ十分準備
シテアルト云フコトモ、承知ヲ致シテ居リマス、所テ一般の
買上法カラ言ヒマスルト、最高價格ニナレバ政府米ヲ放出シ賣
出スト云フノガ、米穀統制法ノ第二條デアリマス、所テ只今ノ
米價ハ正ニ釘付サレテ、今ノ所テハ最高價格ニナツテ居リマス
ダカラ法律上買上ハ全然出來ナイコトニナツテ居リマス、事務
當局ハ此ノ點ヲドウ云フ工合ニ御考ニナツテ居ルノデアリマス
カ、事務當局若クハ政務次官カラテモ構ヒマセヌ、御答ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○周東政府委員 只今ノ所ニ於キマシテハ、政府所有ノ米ノ數

量カラ致シマシテ、今直グニ買上チ致サナケレバナラヌヤウニモ考ヘテ居リマセヌ、今後ノ米穀事情等ヲ能ク考慮致シマシテ政府ノ手持所有米ニ付キマシテハ、善處致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 只今御答辯モアツタノデアリマスルガ、尙ホ私茲ニ御考慮ヲ煩シテ置クコトガアルノデアリマス、實際現在ノ米價ハ、統制法ニ依ル操作テハ、價格ノ調節上ニハ何等ノ意味ヲ爲サナイコトニナツテ居ルコトハ、先程申上ゲタ通りデアリマス、軍用米ノ買上ニ付テハ昭和十二年九月十日法律第九十號、米穀ノ應急措置ニ關スル法律ガアルノデアリマス、之ニ基キマスル米穀ノ應急措置ニ關スル法律ノ施行令ニ依リマシテモ「第十二條第一項但書ノ平均價格ガ同令第三條ノ標準最高價格ノ下値一割ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限ル」トアルノデアリマスカラ、今ノ所テハ當然買上ガ出來ナイノデアリマス、ソコテ米穀ノ應急措置ニ關スル法律カラ言ヒマシテモ、私ノ解スル所デアハ米ノ買上ハ出來ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、必要ガアツテ出來ナイト思ツテ居ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ譯カト言フト、此ノ法律ヲ改正セヌ以上ハ買上ハ絶對ニ出來ナイ斯ウ考ヘルノデアリマス、何トナレバ第二條ニハ「斯様ニアリマス、政府ハ支那事變ニ關聯シ必要ナル數量ノ米穀ヲ保有スル爲特ニ必要アリト認ムル時ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米價ガ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最高價格ノ一定割合ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限リ米穀統制委員會ニ諮問シテ米穀ノ買入ヲ行フコトヲ得」トアル、ダカラ私ハ此ノ法律ノ中ノ

「勅令ノ定ムル所ニ依リ米價ガ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最高價格ノ一定割合ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限リ」ト云フコトヲ取除カヌ以上ハ、米ノ買入ハ出來ナイト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ハ如何デアリマスカ、大臣ノ御答辯ヲ求メマス

○櫻内國務大臣 本法テハ只今御讀ミニナツタ通りデアリマスト信ジテ居リマスケレドモ、ドウシテモ是ハ新穀期ニ於テ相當買上ゲナケレバナラヌト思ヒマス、併シ買上ゲル方法ハ全然只今ノ所デアハ法律ノ表面ニハアリマセヌ、又ドウ法律カラ考ヘテモ、最高價格ニナツタ以上ハ、ドウスルコトモ出來ヌノデアリマスガ、是ハ軍用米ノ立場テナクテ、別ナ方面カラ一體之ヲドウスルノダト云フ、此ノ重要ナ點ヲハツキリ御明示アルコトガ必要ダト思フノデアリマス

○周東政府委員 是ハ軍ニ對シマシテ必要ガアリマス場合ニ於キマシテ、政府所有ノ手持米カラ順次要求ニ依ツテ出シテ居ルノデアリマス、政府手持米ニ於キマシテハ只今ノ所御話ノヤウニ、或ハ從來ノ古米ノ買替ト云フ關係ニ於テ新米ヲ買フ、或ハ出廻當初ニ於テ買上チ致シマシタ米等ガ、政府所有米ノ主ナモノニナツテ居リマス、ソレ等ニ依リマシテ軍ノ要求ニ應ジテ居ル譯デアリマス

○西川委員 一寸關聯シテ……只今ノ問題ニ付マシテ御尋致シタイト思フノデアリマス、實ハ戰時ノ米穀政策ト致シマシテハ、此ノ法律ニ依ル配給ノ調整ヲ試ミル外ニ、何ト申シマシ

テモ緊急ノ需要ニ應ズル爲ニハ、政府ノ手テ左右シ得ル所ノ米穀ガ、出來ルダケ豐富テナケレバナラヌト云フ事ハ、戰時ノ獨逸ニ於ケル食糧政策ノ跡ニ鑑ミマシテモ、極メテ明瞭デアリマス、出來得ベクンバ政府ノ手ニ、米穀ヲ豐富ニ所有致シテ置ク必要ガアル、然ルニ昭和十二年ニ法律第九十號ヲ制定致シマシタ際ニハ、當時ノ米價ノ事情カラ致シマシテハ、大體米價ガ最高價格ノ一割以下デアラ際ニ限ツテ、政府ガ必要ト認ムル場合ニ購入致ス事ニナツテ居ッタノデアリマス、然ルニ現在ノ米界ノ事情ハ餘程變ツテ來テ居リマス、下値一割ト云フ制限ヲ撤廢致シマシテ、政府ガ食糧調整上ノ必要ニ應ズル爲ニハ、市場ノ狀況ニ鑑ミマシテ何時デモ米穀ヲ買上ゲルコトノ出來ル論ヲ、開イテ置ク必要ガアルノデアリマス、サウシテ出廻リノ狀況米界ノ狀況ヲ考慮致シマシテ、少シテモ多クノ米ヲ政府ガ所有シテ居ツテ、緊急ノ必要ニ應ズル操作ノ出來ルヤウニシテ置カナイト、法律ダケテ緊急ノ場合ニ處スルト云フコトハ、餘程困難デアルト思フノデアリマス、隨テ私共ハ昭和十二年法律第九十號ニ改正ヲ加ヘル必要ガアルト信ジマス、又應急措置ニ關スル法律ノ施行ニ付テノ勅令ノ改正モ必要デアラウト思ヒマス、又或ハ此ノ法律ノ何處カニ、サウ云フ風ナ機能ヲ發揮セシムルノ條項ヲ設クル必要モ、或ハアルデアリマセウ、ソレカラモウ一點重大ナ點テ明ニシテ置キタイコトハ、此ノ法律ニ依リマス

既ニ最高價格、最低價格ノ範圍内ニ於ケル價格ト云フモノガ、大體ニ於テ法律ノ建前アルノデアリマスカラ、隨テ只今ノ現行米穀統制法ニ基イテ價格ノ操作ヲスルト云フ必要ハ、大體ナク

ナツテ來ルノデアリマス、最高價格ニ依ル賣渡、最低價格ニ依ルトコロノ買上ト云フ事ハ、其ノ最低價以下ニ米價ガ暴落スルコトヲ防ギ、最高價格以上ニ上ルコトヲ防グ建前デア、アノ操作ヲ行フノデアリマスカラ、現在ノ米價統制法ニ於ケル操作ト云フモノハ、建前上必要ガナクナツテ來ル、ソコテ政府ガ米ヲ買上ゲ又之ヲ賣ルノハ、價格ノ操作ト云フコトヲ離レマシテ、其ノ目的ガ變ツテ來ナケレバナラヌノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテハ米穀政策ノ見地ニ於テ、此ノ法律トドウ云フ關係ニ置クヤウニ考ヘテ居ラレルノデアリマスカ、此ノ點ダケ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 昭和十二年法律第九十號ノ改正ノ問題デアリマスガ、之ニ付キマシテハ只今ノ所、法律ソレ自體ヲ變ヘルコトハ考慮致シテ居リマセヌガ、此ノ勅令等ニ關シマシテ能ク考究ヲ致シテ見タイト思ツテ居リマス、ソレカラ第二點ノ、此ノ配給統制法ト米穀統制法トノ關係ト云フ御話デアリマシタガ、是ハ何處マデモ相互補充シ合フ法律ノ建前ト思ツテ居リマス、勿論新法ニ依リマシテハ、法律的ニ市場ニ於ケル賣買取引價格ト云フモノヲ公定致ス譯デアリマスガ、經濟上ノ實質ニ於キマシテハ、非常ニ極端ナ場合ニ於テ米ノ需給ノ窮屈ト云フコトガアリマスレバ、ヤハリ一面ニ於テ必要ニ應ジテ政府ノ米ヲ市場ニ流シ出スコトニ依ツテ、經濟的ナ調整ハ行ハナケレバナラヌト思ツテ居リマス、法律的ニ言ヘバ御話ノヤウニ、ソレ以上ノ價格ノ取引ヲ禁止致スト云フ關係ガアリマスカラ、御趣旨ノヤウナ點ガ出テ參ルト思ヒマスガ、是ハ別途經濟的ノ作用ト致シ

マシテハ、ヤハリ其ノ關係ノ殘ツテ參ルヤウニ考ヘテ居リマス

(中略)

午後零時二十分休憩

午後一時四十分開議

○添田委員長 ソレテハ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、

(中略)

○伊東委員 事務的ナ問題ニ付テ御尋テ致シマス、白米ノ小賣制度ノ問題アリマス、白米ノ小賣相場ト公定相場ト混ミ合セテドウ云フ風ニスルノデアリマスガ、且又小賣人ノ利益ヲドノ程度ノ「パーセンテージ」テ置クノカト云フ點アリマス、モウ一ツハ都會ノ白米ハ銘柄ニ依ツテ之ヲ混合シテ、味ヲ適當ニ付ケルト云フコトニナツテ居リマス、併シ白米屋ハ自分ノ利益ヲ基礎トシテ混合スルコトニナルト、消費者ニ非常ニ迷惑ヲ掛ケルノデアリマスガ、是等ニ對スル取締ノ方法ニ付テ御聽キシタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 公定致サレル價格ト白米ノ價格ヲドウ云フ風ニ決メルカト云フ御話アリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、實施ノ際ニ十分ニ研究致サナケレバナラヌト思ヒマスガ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、大體今日ノ白米ノ取引サレテ居ル價格ト云フモノト、ソレト對等ノ原料ノ玄米價格ト云フモノノ間ニ長年ノ間ノ比率ト云フモノガゴザイマス、チウ云フモノヲ斟酌致シマシテ適正ナ價格ヲ指導致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 米穀業者ハ卸賣、小賣ヲ合セマスト内地ガ十二萬

六千人、外地ガ一萬六千四百五十人、計十四萬二千四百五十人ト相成ツテ居リマシテ、其ノ中、小賣人八萬人以上トナツテ居リマス、ソレ等ハ總テ下級ノ小サイ商人デアリマスガ、是等ニ對スル免許關係ヲ明ニシテ置キタイト思ヒマス、現在米穀小賣商人テ營業ヲヤツテ居ル者ハ、全部是ハ一應免許サルベキモノト考ヘテ宜イノデアリマス、モウ一ツハ地方ノ米穀商業組合ニ加入シテ營業ヲヤツテ居ル者ハ、無論右ノ者ト同様ニ免許ヲ受クテモノト解セラレマスケレドモ、地方テ組合ニ入ツテ居ラナイ白米商ガ居ツタ場合ニハ、是等ノ免許關係ヲ如何ニサレルノデアリマスガ、又白米ヲ受賣シテ歩ク小サイ商人ガアルノデアリマスガ、是等ノ免許關係ヲドウ云フ工合ニサレルノデアリマスガ

○周東政府委員 第一點ニ付キマシテハ大體御話ノヤウニ法律ノ第五十九條ニ、現在ニ於テ米穀ノ買入、賣渡、代理、媒介ト云フヤウナ業務ニ當ルコトヲ致シテ居リマス者ハ、一應許可ヲ與ヘルコトニナツテ居リマス、ソレカラ同業組合等ニ加入シテ居ル米穀商ハ同様ニ受ケルノカト云フ御質問デアリマスガ、是モ同様ニ許可ヲ受ケルコトニ致シテ居リマス、第三點デアリマスガ、是モ第一條ニ示シテ居リマスル資格ニ當ル者ハ、勿論之ニ依リマシテ許可ヲ受ケルコトニナルト思ヒマス

○伊東委員 會社ノ區域及ビ支店關係、市場ノ開設地及ビ其ノ資格、ソレカラ從前ノ取引所ハ其ノ儘市場化スルト解シテ宜イガ、新市場ノ資格及ビ分場ノ制度ヲ採用サレルノデアリマスガモウ一ツハ第一條ノ如キ業務許可ハ支店出張所モ許可ヲ取ラレ

ルノデアリマスガ、此ノ點御伺致シマス

○周東政府委員 第一點ノ會社ノ地區ノ問題デアリマスガ、是ハ本法ハ全國ニ施行サレマスガ、會社ノ設ケマス市場ニ付テ其ノ市場毎ニ市場ノ許可ヲシテ參ル積リデアリマス、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ市場ノ設置箇所ノ問題デアリマスガ、是ハ只今ノ所ハ先ヅ從前ノ正米市場ノアリマシタ場所ハ、大體ニ於テ其ノ箇所ハ取入レテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、實施ニ當リマシテ米穀ノ集散狀況等ヲ考ヘマシテ、之ニ多少ノ増減ガアルコトハ御諒承願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ現在ノ取引所ノ箇所ハ設置スルカト云フコトニ付テハ、只今第二點ニ付テ御答テ申上ゲタト同様デアリマス、ソレカラ分場ヲ設ケルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ會社ガ市場ヲ設ケマシタ際ニ、其ノ地域内ニ必ズシモ一箇所ノ市場ヲ設ケルニハ限ラズ、場合ニ依ツテハ分場ヲ設ケルコトガアルト思ヒマス、次ニ許可ノ問題デアリマスガ、之ニ對シテ支店、出張所ニ付テ許可スルカト云フ問題デアリマスガ、是ハ御意見ノ通り支店營業所毎ニ許可ヲ致シテ行キタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 市場員ノ資格ニ付テ疑義ガアリマスカラ、御尋致シマス、第一ハ從來ノ産地買出商、移出商ハ市場員タルコトガ出來ルト思ツテ居リマス、所ガ仲買商ハ卸商デアリマセヌカラ資格ハナイデアハナイカト思ハレルノデアリマスガ、此ノ疑義ヲ明ニシテ載キタイト思ヒマス

○周東政府委員 米ノ問屋行爲或ハ卸行爲ト云フヤウナコトヲ全然致シマセヌデ、純粹ノ媒介業者ト云フモノハ、市場員トナ

ル資格ハナイカト考ヘマス

○伊東委員 目論見書ニ依リマス、事業主ノ中、八百五十萬圓ガ、全國米穀取引所及ビ正米取引市場其ノ他ニナツテ居リマス、ソコテ取引所ハ優先的ニ出資スルコトニ相成ツテ居リマス、此ノ八百五十萬圓ト云フ金ハ直グニ肩代リスルノデアリマスガ、若クハ此ノ中ドレダケガ肩代リチスル御見込デアリマスガ、モウ一ツ取引所員ノ出資スル金額ハ一千五百萬圓ノ中、ドノ程度ノ出資チスル見込デアリマスガ、尙ホ其ノ他ノ出資持株ノ見込デアリマスガ、就中販賣組合聯合會ガドレ位出資スルノデアリマスガ、此ノ點御伺致シマス

○周東政府委員 第一點ニ付テ御答致シマスガ、事業主トアリマス八百五十萬圓ノコトデアリマスガ、是ハ只今御話ノアリマシタヤウニ、善後處置トシテ行ハレマス全國米穀取引所及ビ正米市場ノ所有土地建物ヲ買ヒマスル金額アハゴザイマセヌ、此ノ中ニハサウ云フモノ及ビ新シク初年度カラ必要ナ設備ヲ致シマスル經費モ此ノ中ニ入ツテ居ル譯デアリマス、第二點トシテドノ位ニ買収スベキモノヲ考ヘテ居ルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ何レ特別委員會等ニ於キマシテ決定サレルト思ヒマス、只今確タル數字ハ申上ゲルコトガ不可能デゴザイマス、ソレカラ出資ノ問題デアリマスガ、是ハ現在ノ取引所ノ拂込出資額ノ範圍内ニ於キマシテ申込ガアリマスレバ、之ニ依ツテ優先的ニ持タセルト云フコトニナツテ居リマス、具體的ノ額ニ付キマシテハ何レ設立委員會ニ依ツテ決定サレルコトト思ヒマス、隨ヒマシテ産業組合等ノ持株モ是等ノ法律テ定メマスル取引所ニ對

スル優先割當ノ額ガ決マリマシテ、ソレ等ヲ差引イタ後ニ於キマシテ全販聯等ノ持株ハ決マルコトデアリマスノデ、只今申上ゲルコトハ困難デアルト御承知置キテ願ツテ置キマス

○伊東委員 此ノ法律案ガ實施サレルト云フコトニナリマスルト、從前ノ投機取引ガナクナツテ參リマス、而シテ實物取引ト未著物取引ト延取引ノ三ツニナルデアリマスケレドモ、然ル所人間カラ投機心ト云フモノヲ中々去ラセルコトハ容易デハナイノデアリマスルカラ、隨テ人氣ハ未著物取引若クハ延取引ニ集中スルデアリナカク、隨テ市場ノ現物取引ト云フモノハ僅ニナルデアリナカト、左様ニ考ヘルデアリマスルガ、當局ハ三ツノ取引ノ豫想高チ大體御示テ願ヒタイト思フデアリマス、モウ一ツノ點ハ、未著物ノ取引デアリマスルガ、是ハ十五日以内ニ受渡スルコトニナツテ居リマス、若シ十五日以内ニ品ガ著カナカツタト云フ場合ニハ、ドウ處置ナサレルデアリマスカ、無論銘柄取引デアリマスルカラ、著品シナケレバ受渡ガ出來ナイ、併シ組合セ銘柄等ニ依ツテ代品ノ一部分ガアル場合モアルカモ知レマセケレドモ、斯ウ云ツタ場合ニハ中々困ルデアリナカク、無論罰則規定ニ依ツテ處罰スル規定ハアリマスルケレドモ、サウ云ツタヤウナ方面デナクテ、是ハ往々アリ得ルコトダト思フデアリマスルカラ、此ノ點ヲ承ツテ置キタイト思フデアリマス

○周東政府委員 實物取引ノ市場ニ於キマスル取扱見込數デアリマスルガ、是ハ大體千四百萬石位ノ豫想致シテ居リマス、是ハ主ト致シマシテ現在ノ六大都市等ニ入りマスル米ハ大體實物

市場ヲ通ズルモノデアアル、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ六大都市所在道府縣内ニ入ツテ來ル内地米ノ移入高ノ相當部分ト云フヤウナモノヲ中心ニ置キマシテ、之ニ朝鮮米ノ移入高ノ相當分臺灣米移入高ノ大部分ト云フモノヲ中心ニ置キマシテ考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點ノ未著物取引ニ於キマシテ、十五日以内ニ豫定シタルモノガ到著シナカツタ場合ニドウスルカト云フ御話デアリマスガ、是ハ此ノ場合ノ色々ノ事情モゴザイマセウシ、一律ニ到著シナイ場合ニドウスルカ云フコトヲ、只今申上ゲルコトハ困難ダト思ヒマス

○伊東委員 現物取引ハ市場中心主義ニナツテ居リマス、所ガ市場委員ガ市場外ニテ賣買スル場合ニ於テモ、其ノ取引ハ市場區域内デアレバ宜カラウト考ヘマスルガ、サウデアリマスカ、モウ一ツハ其ノ取引ハ全部市場ニ申告シテ、市場ノ取引ト同率ノ手数料ヲ納メナケレバナラヌヤウニナルデアリマスルカ、其ノ點ヲ御同致シマス

○周東政府委員 是ハ法律ノ關係カラ出マスル命令ニ規定致ス積リデアリマスガ、大體市場ニ依ラザル取引ノ中デ、市場ノ場員ガ市場地區内ノ市場員ニアラザル者トノ取引ニ付キマシテ、ソレガ大體現物ノ取引ト同様ニ見ラマスル五日以内ニ受渡テ致シマスモノニ付テハ、之ヲ市場ノ取引ト看做シテ附屬ヲサセサウシテ手数料モ取りタイト思ツテ居リマス、モウ一ツノ市場ノ場員ノ地區外ノ者トノ取引ニ付キマシテハ、是ハ單ニ附屬ダケテサセマシテ手数料ハ取ラヌ積リデアリマス

○伊東委員 生産者團體ニ延取引ヲ許可スルカ許可セヌカト云

フ問題ニ付テ、先日質問ガアツタヤウデアリマスケレドモ、ドウモハツキリ致シテ居ラヌヤウデアリマスカラ、特ニ必要ナコトデアリマスルカラ明瞭ニ致シテ置キタイト思ヒマス、此ノ點ガ今回ノ法律案中デ非常ニ厄介ナ點デアリマス、ドウシテモ産業組合ト云フモノト所謂商業者ト云フモノノ境ヲハツキリシテ此ノ明朗化ヲ圖ツテ行クト云フ所ニ非常ニ努力ガ要リ、吾々此ノ委員會ノ使命ガアリハシナイカト思フデアリマス、ソコデ私ハ決シテ左様ニハ信ジマセケレドモ、世間往々産組ガ行過ギタト云フヤウナコトヲ言葉ノ上デ言フ者ガアリマスルガ、左様ナコトハ洵ニ注意スベキコトダト私ハ思フデアリマス、ソコデア行過ギルト云フ議論カラ言ヘバ、延取引ニ參加サセルコトガ危険ダト云フコトニ相成リマス、此ノ議論モ一應尤デアリマス、所デ本當ノ取引ノ公正圓滿チ期スル上ニ於テハ、サウシテ其ノ適正ナルコトヲ欲スルストスラバ、或ハ産業組合モ參加セシメタナラバ宜イデアリナカクモ思ハレル、然ルニ延取引ニ參加セシムルコトハ營利行爲デアルト云フ此ノ意義ハ洵ニ「アリケート」ノ關係ニナリマスノデ、一番私共ノ解釋ニ苦シム點デアリマスルカラ、隨テ是ハハツキリサシテ裁カナケレバナラヌト思フデアリマス、併シ之ヲシナイト云フコトニナルト隨テ米穀會社ニハ出資金ガ出來ナイト云フコトニナリマスカラ出資ハ認メラレテ居リマスカラ、隨テ延取引モ産業組合所謂販聯ヲ參加セシムルコトハ當然デアルト思フデアリマス、尙ホ出資金ニ付テモ先程ハ御答ニナリマセケレドモ、生産者團體ト販賣業者ノ關係ノ持株ヲ適當ニスルト云フコトモ、米穀會社

ノ將來ノ上ニ非常ニ必要ナコトデアアルカノヤウニ思フデアリマスルガ、斯ウ云ツタヤウナ問題ニ付テハ先程モハツキリ御答辯ニナリマセケレドモ、販聯ノ營利行爲ノ問題ヲ明瞭ニスル上ニ於テ、此ノ實際問題ト理論、之ヲ綜合シテ考ヘテ、ハツキリ斷定テ下スコトガ出來得ル、ソコデ從來ノ産業組合ガ非常ニ商權ヲ侵害シテ進出シ過ギタト云フ議論、サウシテ今度ノ政府ノ方針ニ依ツテ其ノ點ガ非常ニ明瞭ニナルコトト思フデアリマルカラ、此ノ點ハツキリ致シテ置キタイト思ヒマス、此ノ點ハ農林大臣カラ御答辯ヲ御願致シマス

○櫻内國務大臣 販賣組合ノ延取引ノ關係デアリマスガ、ソレハ販賣組合ガ現ニ地方ニ委託サレテ居ル所ノ米ヲ所有致シテ居リマスル場合ニ於テ、現實ニ其ノ米ガアリマスレバソレハ、延取引ニ賣ツテ差支ナイデアリマス、ソレカラ産業組合ガ市場ニ入ルニハ營利云々ト云フ御話デアリマスガ、ソレハ要スルニ賣一方ノモノデアリマスルカラ私ハ營利主義ニハナラヌト思フデアリマス

○伊東委員 全販聯ノ業務ハ生産者ノ代理行爲デアルト考ヘテ居リマス、此ノ考ハ總テノ場合ニ於テ適用シテ行クト考ヘテ居リマスガ、此ノ點如何デアリマスカ、其ノ次ハ全販聯ノ場外取引ヲ禁止セザルモノト解シテ居リマスガ、左様デアリマスカ、尙ホ場外取引ノ制限程度ヲ明瞭ニシテ置キタイト思フデアリマス、此ノ場外取引ヲ自由ニ放任サレルト云フコトニナリマス、米ノ主流ハ全ク場外ニ參リマシテ、場内ニハ集マラナイヤウニナルト私ハ想像致シマスカラ、是ハ總テノ場合ニ於テ場外

取引ノ制限程度ヲ明瞭ニシテ裁キタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 第一點ノ、産業組合ハ生産者アル所ノ農民ノ委託ヲ受ケテ居ルモノト考ヘルガドウカト云フ御話、即チ代理關係ヲハナイカト云フ御質問ハ御説ノ通りデアリマス、ソレカラ第二點ノ場外取引ノ制限ノ問題デアリマス、是ハ大體ニ於キマシテ市場員トナリマシタ者ハ、市場ニ於テ取引スルコトヲ原則ト致シマスガ、市場以外ノ者ニ付キマシテモ特ニ勅令ヲ規定致シマスモノ、即チ先程申上ゲマシタヤウニ當該米穀市場ノ地區外ノ者トノ取引、ソレカラ米穀市場ノ地區内ノ取引デアツテ、市場員ニアラザル者トノ取引ヲ五日以内ニ履行スルモノハ市場取引ニ準ジテ付届ヲサセル、殊ニ後段ノモノニ付キマシテハ手数料ヲ取ルト云フコトニナツテ居リマス、此ノ範圍ニ入ラナイ總テノ他ノ賣買行為ニ付キマシテハ、場外ノ取引ハ自由デアリマス

○伊東委員 モウ一點、此ノ免許關係ニ付テ御尋テ致シタイノデアリマス、購買組合及ビ消費組合ハ免許外ト考ヘテ宜イノデアリマスガ、モウ一ツハ産業組合ノ白米販賣ノ點デアリマスガ、從前通りテ差支ハナイ、是ガ當然ト考ヘテ居リマス、隨テ白米販賣ハ激増スルモノト思ハナケレバナリマセヌガ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○周東政府委員 第一點ノ御質問ニ對シマシテハ、御話ノヤウニ購買組合、消費組合等ハ此ノ許可ノ外ニ置イテ居リマス、ソレカラ販賣組合ノ白米ノ小賣ニ付キマシテハ、第一條ノ關係ニ於キマシテ今後許可ニ掛ケテ參リマス、隨テ其ノ許可ヲ致シマ

重大ナル關係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、本法及ビ米穀統制法ト配合セテ、一應聽イテ置ク必要ガアラウト思フノデアリマス、更ニ是等ノ米ハ市場ヲ通過セシムル必要ハナイト考ヘテ居リマスガ、政府ハドウ御考ヘデアリマスカ

○周東政府委員 酒造米ノ取引關係ニ付キマシテハ、市場ノ地域内ニ其ノ取引關係ガ起リマス場合ニ於テハ、理論的ニ申シマス、ヤハリ市場ヲ通ル、即チ其ノ酒造米ノ取引ヲ爲シマス米問屋等ガ市場員デアリマス場合ニ於テハ、理論上ハヤハリ市場ヲ通ルモノダト考ヘテ居リマス、併シナガラ先程申シマシタヤウニ、市場ニ於ケル取引云フモノハ原則的ニ場合ガ限ラレテ居リマス、實際問題トシテハ酒造米等ガ市場ノ取引ニ依ラザル場合ハアリ得ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ先程ノ酒造業者ニ對スル問題デアリマスガ、是モ餘程米穀ノ需給ガ窮屈ニナリマシテ、節米等モ積極的ニヤラナケレバナラヌト云フコトニナリマス

○伊東委員 米穀統制法ニ依リマシテ最高價格、最低價格ガ決ツテ居ルノデアリマス、所テ酒造米ハ年々依ツテ違ヒマシケレドモ、大體昨年ノ如キハ四十圓若クハ四十一二圓致シテ居リマス、或ハ高イ時ニハ四十五六圓モ致スノデアリマス、是ハ最高價格ガ決定サレテ居ツテモ之ヲ外ニ考ヘテ宜イノデアリマスカ之ヲ明瞭ニシテ置キタイト思フノデアリマス

○周東政府委員 酒米ハ特殊ナ用途ニ當テラレルモノデアリマスルガ、米ノ需給配給ノ圓滑ト云フ、總體的ナ食糧問題ト關

ス場合ニ能ク其ノ地方ノ米穀ノ配給ノ事情等ヲ考慮致シマシテ許可ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○伊東委員 米ガ不足スルコトハナイト私ハ信ジテ居リマスガ萬一米ノ品不足ノ起ツタ場合ノ配給統制ヲ、一應考ヘテ置カナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、ソコテ最高最低ノ公定相場ノ制度ガアル以上ハ、農家ノ賣借ハナイノガ建前デアリマス、隨テ品不足ノ時ニハ却テ中間機關カラ賣借ガアリハシナイカト想像サレルノデアリマス、ソコテ斯ウ云ツタ品不足ヲ生ジタ場合ニハ、政府ノ持ツテ居ル在米ヲ放出スルコトニナルノデアリマスガ、尙ホ凶作乃至在米不足ノ事態ガ惹起スレバ、買留若クハ賣借ニ對シテハ移出又ハ販賣ヲ強制スルコトガ出來ルノデアリマスガ、農家ノ持米ニ對シテハ此ノ第四條ノ發動ハ、下ノ程度ニ法ノ發動ガアルノデアリマスガ、此ノ程度ヲ明瞭ニシテ置クコトガ必要ダト思フノデアリマス

○周東政府委員 農家ニ對シマシテ第四條ノ規定ヲ發動スル場合ニ付テノ御尋デアリマスガ、斯ノ如キ個人ニシテ、配給ニ携ツテ居リマセヌ者ニ付テノ命令ハ、極端ニ米穀ノ需給ガ急迫シタ場合ニ限ルノデアリマス、ソレガ如何ナル場合カト云フ具體的ノ場合ハ、其ノ場合々々ニ依ツテ自ラ異ルト思ヒマス、要ハ本條ハ何處マテモ傳家ノ賣刀デアリマシテ、極端ナ場合ニ農家ニ適用スル、斯様ニ御諒承願ヒマス

○伊東委員 酒造用ノ米、及ビ菓子用ノ米ノヤウナ特殊米ノ價格決定テ、ドウサレルノデアリマスガ、是ハ地方ニ依リマシ

係シマス時ハ、ヤハリ總體的ノ數量ヲ見ルノガ妥當デアラウト考ヘマス、隨ヒマシテ酒造米ノ特殊價格ト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、其ノコトガ他ノ一般米價ニ及ボスト云フヤウナコトガアレバ、ヤハリ此ノ方面ニ付キマシテモ、價格ニ付キマシテ、必要アル場合ニ制限ヲ致スコトガアリ得ルト御承知ヲ願ヒタイ

○伊東委員 此ノ價格ヲ制限サレルト云フコトニナリマスルト酒造業者ノ一大脅威ガ起リハシナイカト思フノデアリマス、是ハ米ガ安イ時ニハ宜イノデアリマスケレドモ、今ノヤウナ情勢或ハ今年來年ニナルト、普通ノ米デサヘモ、漸ク斯ウ云フ工合ニ抑ヘテ初メテ釘付ケサレテ、維持サレテ居ルト云フヤウナモノデアリマス、斯ウ云ツタヤウナ特殊米ニ對シテハ、何等カノ方法ヲ緩和融通ノ出來ル途ヲ御開キニナツテ置イタラ如何デアリマスカ

○周東政府委員 是ハ言葉ガ少シ足リマセヌデシタガ、最高最低價格ヲ各銘柄ニ付テ決メマスカラ、普通ノ場合ニ於キマシテハ、酒米ニ付テハ自ラ除カレト思ヒマス、併シ飯米等ノ非常ナ窮迫ノ場合ニ於キマシテハ、別ニ其ノ場合ニ於ケル情勢ヲ考ヘナクヤナラヌト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、普通ノ場合ニ於キマシテハ、酒米ハ銘柄別ニ決メテ、最高價格、最低價格カラ別ノ取扱ヲ受ケルト云フコトニ相成ル譯デアリマス

(中略)

○杉山委員 ……先程モ生産費増加ノ所デ一寸申述ベマシタガ、小作料ガ年々増加シテ來ルト云フ傾向、十二年度ヨリ十

三年度ハ、先程申シタヤウニ、五升一合増加シタ、斯ウ云フヤウニ、一方肥料、勞働賃銀其ノ他諸掛ト云フモノガ相當ニ嵩ンテ參ツテ來マスルニ拘ラズ、小作料モ増加シテ來ルト云フ形、斯ウ云フヤウニナツテ參リマス、眞ニ生産致シテ居リマスル所ノ所謂農家ノ中ノ七割ノ農民ニ、相當ノ打撃ヲ與ヘテ行クト思フノデアリマス、今日ハ事變デアリマスノデ、小作問題ト云フモノモ段々減少シツ、アル、是非非常ニ結構デアリマスガ、併シ是ハ唯事變ノ結果少イノデアツテ、恐ラク小作人ハ犧牲ヲ忍ンデ居ルダラウト思フノデアリマス、ソコテ平野君ガ本會議テモ申サレテ居ツタヤウニ、小作料ヲ合理化シテヤラナケレバドウシテ見テモ斯ウシタ小作農及ビ自作兼小作農ト云フ人達ノ生産力ト云フモノガ増シテ來ヌ、小作料合理化ノ運動ガ寧ロ彼等ノ更生運動ダト平野君モ申シテ居ツタヤウニ、唯之ヲ黙ツテ居ルカラシテ宜イ、或ハ事件ガ起ツタ時ニ村々ノ農地委員ニ任セテ解決サセテ宜イ、斯ウ云フヤウニ捨テ置クベキ問題デナクシテヤハリ作レバ彼等ニ相當ノ收益ノ喜ビヲ與ヘルト云フ意味デ、小作料ノ如キモ合理化シテヤラナケレバナラナイノデハナイカ、此ノ爲ニ何等カノ制度ヲ設ケテヤル必要ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御所見ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

櫻内國務大臣 小作ヲシテ居ラレル方々ノ利益ノ増進ヲ圖リマスコトハ、最モ必要ナコトデアリマシテ、私共トシテ見マスレバ、出來ルナラバ全部ノ小作者ノ人ガ自作農ニナツテ戴キタイノデアリマス、即チ農地調整法其ノ他ノ法律ノ出來マシタノ

題デアリマスガ、業務ヲ開始セナイ場合、或ハ業務ヲ休止シタ場合ニ、政府ガ取消スト云フノデアリマスガ、是ハ何年ト云ヒマスカ何箇月ト云ヒマスカ、サウ云フ期間デアルト云フヤウニ命令デハ示サレテ居ルノデアリマスガ、此ノ期間ハ大體ドレ程ノ期間デアルト云フ御内意デモゴザイマスナラバ、御示シ戴キタイト思ヒマス

周東政府委員 只今ノ所六箇月位ノモノデアリマス

杉山委員 第四條ノ命令ノコトガ大體明ニナリマシタガ、戴イタ命令事項ノ説明書ニハ、四條ノ命令事項ハ抜ケテ居リマスガ、是ハ何カ特別ノ意味デ之ヲ御披キニナツタノデアリマスカ傳家ノ寶刀ダカラハ一般ニ示サナイ、斯ウ云フコトデ此ノ戴イタ參考資料ニハ掲ゲナカッタノデゴザイマセウカ

周東政府委員 第四條ハ箇々ノ場合ノ處分命令デゴザイマスカラ、ソレニ掲ゲナカッタ譯デアリマス

杉山委員 次ニ手数料ノ問題テ御伺シタイノデアリマスガ、此ノ目論見書ノ收入内譯デ、(イ)米穀市場ノ業務收入、ソレカラ(ロ)米穀取扱業務收入ト云フヤウニ分ケテ居リマスガ、此ノ最初ノ(イ)ノ部分ハ實米ナリ或ハ延取引ノ手数料デセウカ、或ハ取扱業務收入ト云フノガ、政府米ナリ或ハ臺灣米ナリ、朝鮮米ナリヲ取扱ツタ委託ノ收入デスカ、一寸其ノ點ガ素人デ分リマセヌノデ、御知ラセ戴キタイ

周東政府委員 (イ)ノ方ノ米穀市場業務收入ノ方ニハ、實物取引市場ニ於ケル賣渡手数料、ソレカラ未著物取引市場ニ於ケル賣買手数料、ソレカラ延取引市場ニ於ケル賣買手数料、及ビ

モ、其ノ意味デアリマシテ、吾々ハ著々トシテ自作農ノ増加ニ對シテ努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、現狀ノ小作料ノ問題ニ付キマシテハ、是ハ御承知ノ通り、地主小作間ニ於テ昔カラ色々ナル關係モアリマスシ、旁々此ノ間ニ於テ互ニ温情相通シテ話合ヒガ出來テ居ルノデアリマシテ、今之ニ對シマシテ、斯ウ云フ手段方法ヲ執ツテ、之ヲドウ調整スルカ、即チ從來提案ノ出來テ居リマス法案以外ニ、新規ニ之ニ對シテ法案ヲ出スト云フ考ハゴザイマセヌ、兎ニ角此ノ小農即チ小作人ノ方々ノ生活ヲ安定シ、其ノ利益ヲ増進スルト云フコトニ付キマシテハ、努力致シタイト考ヘテ居リマス

杉山委員 小作人ガ全部自作農ニナルコトガ出來マスナラバ是ハ理想的デ何モ申スベキコトハナイノデアリマスガ、現實ノ問題ハ、自作農創設ヲ致シテ來マシタ今日デモ、中々其ノ成績ハ舉リニクイ、現實ニ小作人ハ農家ノ七割ヲ占メテ居ル、斯ウ云フ狀態デアリマスノデ、此ノ小作料ト云フモノヲ、眞ニ合理化セナケレバ、増産ノ點ニ於テモ私ハ支障ガアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、單ナル指導ヤ或ハ監督デナシニ、積極的ニ法制化デモシテ行カナケレバ、中々是ハ難カシイ問題ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ此ノ位ニ致シテ置キマシテ、私ハ政策ノ問題ニ付テハ、大體ソレダケニ致シマスアトハ色々法文條項ニ付テノ點ヲ御尋シタイト思フノデアリマス、極ク簡單デアリマスカラ、是ハ事務當局カラ御答辯願ヒマス、第一條ノ許可ノ問題ハ、モウ皆サンカラ聽イテ戴キマシテ大體分リマシタカラ、省イテ置キマス、第二條ノ許可取消ノ間

臺灣米ノ委託賣却手数料、政府米ノ買入若クハ賣却ノ委託手数料、ソレダケテ合ンテ居ル譯デアリマス(ロ)ノ方ノ米穀取扱業務收入ノ方ハ會社ガ所有シテ居リマスル倉庫ニ賣買セラレマシタ米穀等ノ保管ヲ致シマス場合ノ保管料、竝ニ其ノ倉庫ニ於ケル荷役ノ收入デアリマス、ソレトモウ一ツハ此ノ會社ガ取引セラレマスル米穀ニ付キマシテ、其ノ荷受人若クハ買受人等ノ爲ニスル運賃ノ立替、爲替ノ立替ト云フヤウナモノニ付テノ手数料ガ合マレテ居リマス

杉山委員 先ノ市場業務收入ノ中ノ手数料ハ、先般西川君ノ御質問ニ對シテ大臣ガ御答ニナツタ、石四厘、斯ウ云フ話ノヤウデアリマシタガ、實物モ未著物モ延モ或ハ臺灣米、政府米、是等ノ委託料モ全部同一手数料デゴザイマセウカ

周東政府委員 御答申上ゲマス、實物取引市場ニ於ケル賣買手数料ハ一石ニ付キマシテ四厘、賣方又ハ買方トテラカノ一方カラ取ルト云フコトニナリ、未著物取引市場ニ於ケル賣買手数料ハ一石ニ付テ四厘デアリマスガ、是ハ賣方及ビ買方各々カラ取ルコトニナリマス

杉山委員 サウスレバ八厘デスカ

周東政府委員 八厘ニナリマス——ソレカラ延取引市場ニ於ケル手数料ハ、一石ニ付テ八厘デアリマス、是モ賣方及ビ買方雙方カラ取リマスカラ、合計一錢六厘ニナリマス、臺灣米ノ受託賣却手数料ハ石ニ付テ十五錢ト云フ割合ニナツテ居リマス、政府米ノ買入又ハ賣却ニ付テノ手数料ハ一石ニ付テ十九錢五厘是ハ共ニ臺灣米ノ場合モ政府米ノ場合モ大體賣買價格ノ千分ノ

六ト云フコトニナツテ居リマス

○杉山委員 次ニ配給機構ノコトヲ少シ御尋シタイノデアリマスガ、大分先程カラ配給機構ヲ單純化シタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御議論ガ随分アツタト思フデアリマス、ソコテ私ハ政府ニ御伺シタイノハ、色々ノ配給機構ニ關スル系統デゴザイマスカ、サウ云フモノヲアツチコツチカラ戴イテ居リマス、此ノ配給系統ニヤルコトガ一番便利デアリ、一番費用ガ掛ラナイ斯ウ云フヤウナソレノ資料ヲ戴イテ居リマス、議員ノ吉植氏ノモノモ戴イテ居リマス、ソコテ此ノ日本米穀株式會社ニ依ル配給機構ハ他ノ配給機構ヨリモ優ツテ居ル、利益ガアル、斯ウ云フ點ハ何處ニアルカ、若シ又配給機構ナドニ付テ圖表的ナ御示シテ戴クコトガ出來マスナラバ、色々他ノ配給機構ノ資料ト照合シテ見ルコトガ出來マスノデ、若シ斯ウ云フモノガゴザイマスナラバ、御示シ戴キタイト思フデアリマス

○周東政府委員 實ハ此ノ制度ニ於キマシテハ、箇々ノ配給機構ニ付テ直接ニ整備ヲ致シマスト云フコトヨリモ、米穀ノ配給ニ關シマシテ最モ重大ナ一面ヲ持ツテ居リマスル價格ノ統制機關デアリ、大量ノ需給ヲ統合致シマスル場所デアル中央市場ト云フモノニ付キマシテ、投機制ヲ廢シテ、ソコニ現物ノ取引ヲ主トスル取引ヲ致シマシテ、實需ヲ集中致サセマシテ、適正ナ價格構成ヲアラシメヨウト云フコトガ眼目デアリマス、隨ヒマシテ其ノ意味合ヒニ於キマシテ、中央市場ノ單一化ト云フコトガ先ヅ一ツノ大キナ目標デアリマス、ソシテ其ノ市場ニ於ケル取引手法ニ付キマシテ、從來トハ内容ガ變リマシテ、延取引、

或ハ未著物取引ヲ組織化シテ行ハシメルト云フコトニ眼目ガゴザイマス、隨ヒマシテ箇々ノ配給機構ヲ相當ニ整備スルト云フコトガ、直接ノ目的ニハナツテ居リマセヌノデアリマス、併シ此ノ市場ニ其ノ點ハ御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、併シ此ノ市場ニ於テ如何ナル形ニ於テソレガ結付クヤウナ考ニナツテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、後程ソレニ關シマシテ見解ヲ政府ヨリ御示シ致シテモ差支ナカラウカト思ツテ居リマス

○杉山委員 モウ少シ其ノ點ニ付テ御伺致シタイノデアスガ、本法案ニ色々反對的意見ヲ持ツテ居ル人カラ、從來ノ配給機構デアヤルヨリモ此ノ案ニ依ツテヤルト手數料ナドガ相當多クナル、斯ウ云フ意見ヲ聞イテ居リマスノデ、此ノ點ハドウナルカ、一應聽カセテ戴ケバ幸ダト思ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタヤウニ實需ニ依ル取引ヲ此ノ中央市場ニ集中セシムル事ニ依ツテ場外ノ取引ヲ出來ルダケ禁止致シマシテ、其ノ際レタ取引ニ依ル價格ノ不正ヲ避ケ、市場ニ定メラレタ公定價格ニ依リ取引セシメルト云フコトト、其處ヘ現ハレマシタ手數料ヲ出來ルダケ引下ゲル、及ビ此ノ市場ヘ實需米ヲ集中致シマスルニ付キマシテ、出來ルダケ集團的ニソレヲ扱ヒ得ルヤウ、或ハ運送ノ關係ニ付テ世話ヲスル、或ハ必要ナ資金ノ立替ト云フヤウナコトヲ會社ニ於テ致シマストカ、ト云フヤウナ方法ニ依リマシテ、或ハ荷送人或ハ買受人等ニ付テノ便宜ヲ出來ルダケ圖ル、ソシテ必要ナ冗費ヲ省クト云フコトガ目的ニナツテ居リマス、而モ市場ニ委託シテ賣ル場合ニ於ケル委託手數料ト云フヤウナモ

ノニ付キマシテモ、先日モ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ市場ニ於ケル委託ノ手數料ヨリモ、可及的ニ少イモノニスルト云フ方法ハ執ルノデアリマシテ、出來ルダケ配給費ト云フモノニ付テ無駄ナ費用ヲ使ハセナイト云フヤウニ致シ、一面ニ於テ適正ノ價格ニ依ル取引ヲ獎勵シテ行ク、斯ウ云フ所ニ案ノ目的ガアルノデアリマス、左様御諒承ヲ願ヒマス

○杉山委員 次ニ七條ノ問題デアリマスガ、最低價格最高價格ノ範圍内テ賣買セシムル、是ハ米穀統制法ニ依ツテ決メラレテ居ル以上、又正米ヲ取引サスト云フコトカラ申シマシタナラバ當然斯ウアルベキダト思フノデアリマスガ、併シ米ガ相當潤澤ニゴザイマス時ハ此ノ理窟通りニ參ルノデアリマスガ、若シ米ガ窮屈ニナツテ參リマシタ時ニ、市場内テハ規則デアリマスカラ此ノ第七條ニ依ツテ取引ガ出來ルカモ分リマセヌガ、併シ段々ニ窮屈ニナツテ來ルト、市場外テ此ノ價格以上ニ取扱フト云フ所謂闇取引ト云フヤウナモノガ起ツテ來ナイカドウカ、勿論ソレガ盛ニナツテ來ルナラバ、第四條ヲ發動スルト云フコトニナルノカモ知レマセヌガ、サウ云フ危險性ガナカラウカ、サウ云フヤウニ考ヘルノデアスガ、此ノ點ヲ一應御伺致シタイ

○周東政府委員 大體私共ノ考ニ於キマシテハ、市場員ト云フ者、即チ各地方ニ於テ相當數量ノ米穀ノ取扱ヲ致シマス者ハ、之ヲ各市場ニ於ケル市場員ニナルヤウニ協力ヲ求メマス、而モ此ノ市場員ハ原則ト致シマシテ、市場ニ米ヲ集中セシメルト云フコトニ致シ、而シテ其ノ市場取引ヲ第七條ノ關係ニ於テ定メラレマシタ價格ノ範圍以上ノ取引ヲ許サナイヤウニシテ行キタ

イ、而シテ之ニ依ツテ場外ノ價格ヲ指導致シタイト云フコトガ眼目デアリマス、隨テ若シモ只今御話ノヤウナ場合ガ出來テ參リマシテモ、先ヅ第一番目ニハ市場ニ於テ取引スベキ市場員ガ場外テ隱レテ闇取引ヲスルト云フコトガ起ツテ來ルダラウト思フノデアリマスガ、ソレニ對シテハ必ズシモ四條ダケテナクシテ十九條ノ規定ニ依リマシテ、市場員ニ對シマシテ先ヅ必要ナル命令ヲ出シ、之ニ依リマシテモ尙ホ效果ヲ舉ゲナイト云フヤウナ極端ナ場合ニナリマスレバ、初メテ第四條ニ參ル、左様ニ考ヘテ居リマス

○杉山委員 色々野菜ナドノ中央卸賣市場ノ關係ヲ見マシテモ從來市場テ取扱ツテ居ツタヨリモ何ト申シマスカ、手續ト云ヒマスカ、非常ニサウ云フコトガ面倒ナノデアス、其ノ爲ニ出荷スルノチ非常ニ嫌フト云フヤウナ傾テ農民自體カラ見テ居ルノデアリマスガ、此ノ會社ニ依ル所ノ市場ガサウ云フ手續ナドニ於テ面倒サガナイデセウカ、若シ面倒サガアルト云フコトニナリマスド、青果會社ニ於ケル農民ノ氣持ト同ジヤウナコトガ起ツテ、闇取引デアナイガ、場外取引ト云フヤウナコトガ起ツテ來ヤシナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘマスガ、此ノ點ハドウデセウカ

○周東政府委員 市場ノ取引ニ關シマシテハ只今御心配ノヤウナ煩雜ナ手續ハ設ケナイ積リテ居リマス、勿論實米市場ニ對シマシテハ直接生産者ガ、實米市場ノ市場員ニ向ツテ賣ルコトモ出來マス、延、未著ノ取引市場ニ於キマシテハ市場員ニ委託シテ賣ルコトガ出來マス、其ノ間ニ於キマシテハ特別ニ販賣上

ニ付キマシテ、左様ナ難シイ手續等ヲ決メル意思ハナイノテゴザイマス

○杉山委員 同僚三宅議員ガ本會議テ今日ノ米ノ状態ハ最高價格ニ殆ド釘付ケセラレテ居ルヤウナ形デアアル、ダカラ寧ロ一本建ニシタラドウダ、斯ウ云フ話ガゴザイマシタ時ニ、大臣ノ御答テ今ハツキリ覺エテ居リマセヌガ、サウ云フコトモ出來兼ネル、斯ウ云フ話ガゴザイマシタガ、投機性ヲ出來ルダケ少クスル、斯ウ云フ立場カラ行ツタナラバ最低米價、最高米價ノ其ノ間ト言ヒマスカ、是ハ今ハ相當ニ開イテ居ル、八圓或ハ九圓、本年ハ据置キマシタカラ五圓何ボカト思ツテ居リマスガ、サウ云フヤウニ少クナレバ投機性ハ少クナルノデ、或人ナドモ之ヲ三四圓ニ縮メルヤウナ工風ヲ考ヘテハドウカ、斯ウ云フヤウナ意見ヲ持ツテ居ル人モアルノデアリマスガ、最低米價最高米價ノ幅ニ對シテ投機性ヲ防グト云フ立場カラシテ、サウ云フ點ヲ改正テモシテ少クスル、斯ウ云フヤウナ御考ハナイテセウカ詰リ投機ノ爲ニハ清算市場モ止メル、斯ウ云フ工合ニ投機ヲ出來ルダケ少クスルト云フナラバ、最低米價最高米價ノ幅モ少クスルト云フコトモ考ヘラレルノデアリマスガ、斯ウ云フヤウニ思フノデアリマス

○松村政府委員 米價ヲ一本ニスルト云フコトハ出來得マシナラバ、是ハ非常ニ米穀政策ノ上ニ於テ、又社會政策ノ上ニ於テ一大進歩ト思ヒマスケレドモ、之ヲ一本ニ決メルト云フコトハ色々ノ意味ニ於テ非常ニ困難デアリマス、隨ヒマシテ更ニ一本ニ決メルコトガ出來ナイナラバ、出來ルダケ幅ヲ狭クスルト

譯デアリマスガ、御話ノヤウナ特殊ナ場合ニ於キマシテ、米穀取扱業者ノ團體ガ認メラレル場合モアリマス

○杉山委員 市場員ニ産業組合ガ入ルト云フコトデ、大分議論ガアツタヤウデアリマスガ、産業組合ガ會社ノ市場員ニナツタカラト云フテ、餘リ多クノ利益ガアルヤウニモ思ハナイノデアリマス、寧ロ損失ト云ヒマスカ、サウ云フモノガアツテモ餘リ利益ニハナラヌト思フノデアリマスガ、政府ノ方デハドウ云フ風ニ御覽ニナツテ居ルノデセウカ

○松村政府委員 産業組合ヲ取引員ニ入レマスコトハ、生産團體ニ米ノ賣却、玄米ヲ賣レル途ヲ與ヘテ置クノガ適當ト考ヘタカラデアリマスガ、之ニ依ツテ別ニ産業組合ガ利益デアリ、若クハ米穀業者ガ利益デアルト云フヤウナ考ハ、ドチラニモ吾々ハ持ツテ居ナイノデアリマシテ、大體ノ配給機構ト致シマシテハ、現在モ産業組合ハ市場ヘ賣ラウトスレバ賣レルノデアリマスルシ、正米市場ガ出來マシテモ、假ニ取引員ニナリマセヌデモ、他ノ取引員ヲ通ジテモ賣レルノデアリマスカラ、私ハ此ノ問題ハ今日ノ配給ノ機構ニ大ナル變化ヲ齎ラスモノデアハナイ、隨テドチラガ利益、ドチラガ不利益ト云フコトハナイト考ヘテ居リマス

○杉山委員 昨日北君カラモ話ガゴザイマシタガ、商業組合ノ市場員ガ買方ニ廻ル、ソレナラバ全購聯ヲナセ買ノ市場員ニシナイカ、斯ウ云フヤウナ御尋ガアリマシタ時ニ、市場員カラ直接ニ買フコトガ出來ルカラ差支ナイ、斯ウ云フヤウナ御答デアツタト思フノデアリマスガ、私ハマダ少シハツキリ致シマセヌ

云フコトガ出來マスナラバ、是モ一本建ニ次イテノ一ツノ望マシキコトト思フノデアリマス、併シナガラ今日マデアア云フ投機ノ目標ニナツテ居リマシタモノヲ直グサマ非常ニ窮屈ナ所ヘ追込ンデ、果シテ此ノ需給ノ關係、配給ノ關係ガ圓滑ニ行ツテ市場ニ米ガ集ツテ参リマスカドウカト云フコトニ付テハ、相當ニ考慮ナスベキモノガアルト思ヒマス、ソレデ先ヅ今日、ココ數年ノ間其ノ運用ニ慣レテ來マシタ基準米價ヲ基礎トシテ、ソレデ運用シテ見テ、其ノ運用ノ結果ガ漸次進ンデ幅ヲ狭クスルコトガ出來ルト云フ所ヘ參ルコトガ出來マスレバ、ソレガ一等宜イノデアハナイカ、只今斯ウ云フ大キナ取引上ノ變革ヲヤリマシテサウシテ一時ニソコマデ參ルコトハ果シテ配給ノ圓滑ヲ期スル所以カドウカトモ考ヘラレマスノデ、只今ハ基準米價ノ法規ヲ改正シテヤル考ハアリマセヌケレドモ、段々此ノ正米取引ニ慣レテ参リマシタ場合ニハ、ソレ等ノコトモ考慮セラレテ參ルコトト思ヒマス

○杉山委員 次ニ市場員ノ問題ニ付テ少シ御伺シタイト思ヒマスガ、市場員ハ先程カラ御話ガアリマシタヤウニ、舊米穀取引所員、生産者ノ團體、米穀取扱業者ト云フ中ニ仲繼人ノヤウナモノダケヲ除イタ、ソレダケデアリマスカ、或ハ今要求サレテ居ルヤウナ小賣人ノ同業組合ナドガ米穀取扱業者ノ中ニ入ルノデアリマセウカ、入ラナイノデアリマセウカ、ソレヲ御伺致シマス

○周東政府委員 大體ハ本市場ニ入レマスル市場員ノ範圍ハ、米ノ問屋、卸賣業者、ソレニ生産者團體ト云フモノガ主ニナル

カラ、モウ一應此ノ點ヲ御伺致シマス

○周東政府委員 購買組合ハ現在ニ於ケル小賣業者ト同様ニ、從來ノ正米市場等ニ必要ノアリマス場合ニ於テハ、直接参リマシテ、市場員タル人カラ米ヲ買受ケテ居ルノデアリマス、現在ノ事情ノ下ニ於キマシテハ、購買組合ハ其ノ程度デ宜イノデアハナイカ、殊ニ購買組合ガ相當先ノモノヲ見込購入ヲ致スト云フ風ニシテ置クコトハ、損害ヲ與ヘルコトガアツテハイケマセヌ大體ハ其ノ組合員ノ必需ニ應ジマシテ市場カラ順次買ヒ得ル機會ガ與ヘラレテ居ルコトニ依ツテ、十分デハナイカト考ヘテ居リマス、只今ノ所購買組合ヲ市場員ニ致スコトヲ、マダ必要ト致シテ居ラナイノデアリマス

○杉山委員 私ハ日本ノ實例デハナイケレドモ、外國ノ實例ヲ申上ゲテ、米ガ窮迫シテ來タヤウナ場合ニ、サウシタ問題ガ起ラナイデアラウカト云フコトヲ悞レルノデ、此ノ點ヲ豫メ御注意ヲ喚起シテ置キタイト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ歐洲大戰ノ當時ニ英國ノ消費組合ガ食糧ニ付テ他ノ商業者團體カラ非常ニ壓迫ヲ受ケタト云フ事實ハ、多分御承知ダト思フノデアリマス、現在デスラモ先程カラ御話ガアリマシタヤウニ、米バカリデハナイ、他ノ種々ノ點ニ於テ産業組合ト産業組合テナイ商業者トノ間ニ色々問題ガ起ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ譯デア今申シマスヤウナ窮迫シタ事象ガ起ツテ参リマシタ時ニ、恐ラク購買組合消費組合ニ米ヲ賣ラナイデ、ヤハリ自分ノ關係ノ商業者ノ方ニ賣ルト云フヤウニナリマスコトハ、當然ダト思フノデアリマス、恐ラク此ノ法案ハ非常時ヲ豫想シテ、其ノ場合ニ

備ヘル一ツノ戰時米穀政策ダト思フノデアリマスガ、若シサウ云フ場合ヲ豫想サレト致シマスナラバ、私ハヤハリ今日ノ購買組合或ハ消費組合ト云フヤウナモノガ、勢力ハ弱イトシテモヤハリソレダケ相當ナ買市場ニ廻シテ置イタト云フコトノ方ガ安全デアハナイカト云フヤウニ考ヘルノデアリマスガ、今ハ許サナイケレドモ、サウ云フ場合ガアルナラバ、政府ノ方テ特別ナ考慮チスル——來ナイモノニ對スル豫想チ何フコトハ大變失禮デアリマスガ、併シ他ノ國デアリマスケレドモ、戰時食糧政策ニ、サウ云フ問題ガ起ツテ居ル、購買組合ナリ消費組合ガ買ノ方ニ入レテ吳レト云フ中ニハ、ヤハリ私ガ今申シマシタヤウナ意向ヲ持ツテ居ル人達モ多少アルノデアリマスカラ、此ノ點ニ付テ政府ノ御意見ヲ承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○松村政府委員 英國ノ購買組合ガ戰時中ニ困リマシタ實例ハ承リマシタガ、併シ日本ノ購買組合ト英國ノ購買組合ト違ヒマスコトハ、英國ハ食糧チ多ク外國ニ仰イテ居リマスノテ、隨ヒマシテアア云フ場合ニハ特ニ購買組合ナドガ困ルコトダト思ヒマス、所ガ日本ノ購買組合ハ生産者アアル産業組合ノ一部デアリマシテ、必ズ此ノ取引所ノ機關チ通ジナイテモサウ云フ場合ニハ相當ニ必要ナ米ハ得ルコトガ出來ルノデアハナイカト思ヒマス、但シ米ノ缺乏ガ甚クナリマスト、其ノ場合ニ於キマシテハ或ハ御話ノ通り購買組合チ取引員ニ入レマスカ、更ニ進シテ別ノ方策チ講ジマシテ配給ノ圓滑チ期スルカ、其ノ場合ニハ相當考慮スベキモノガアラウト思ヒマス

○杉山委員 次官ハ農村ノ購買組合チ御考ニナツタラシイノデア

アリマスガ、農村ノ購買組合ハ御説ノヤウニ生産者ト直接關係致シテ居リマスノテ、私共其ノ點心配致シテ居リマセヌ、併シ今日市街地ニ於ケル購買組合或ハ消費組合、是ハ色々問題モアリマスケレドモ、非常ニ困難ナ裡ニ今日マア政府モ助成シ、漸ク立ツテ來テ居ル、斯ウ云フ状態デゴザイマスノニ拘ラズ、今私ガ申シテ居ルヤウナ場合ガ起ツタラ、必ズヒドイ目ニ遭ハサレルダラウ、斯ウ云フコトヲ私共ハ豫想スルノデアリマス、折角今日マア政府ノ方テ御援助ナサレテ居ツテモ、サウ云フ場合ニ見殺シニスルヤウナコトニナリハシナイカ、斯ウ云フ意味デア御伺シタノデアリマス、若シ之ニ付テノ御意見ガ尙ホゴザイマスレバ、重ネテ伺ヒタイト思ヒマス

○松村政府委員 御話ノ點ハ、成程農村ノ購買組合ハ左様デゴザイマスガ、都會ノモノニ於テハ大分趣ガ違フ、ソレハ御話ノ通りデアリマスケレドモ、併シソレニ致シマシテモ英國アタリノ購買組合トハ相當ニ事情ハ違フト思ヒマス、隨ヒマシテサウ云フ場合ノ方途ハ勿論考慮セネバナラヌコトデアリマスガ、ソレアルガ爲ニ今日カラ豫メ購買組合チ取引員ニ加ヘルト云フコトハ如何カト存ジマシテ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、或ハ取引員ニ入レマスカ、他ノ方策ヲ執ルカ、適當ニ考慮スベキモノト考ヘマス

○杉山委員 ドウカサウ云フコトノナイヤウニ私共モ望ムデ居ルノデアリマスケレドモ、萬一サウ云フコトガゴザイマシタ時ニハ適當ナ御配慮チ願ヒタイト思ヒマス、第八條ノ取引員ノコトチ少シ御伺シタイノデアリマスガ、先程カラ大臣ハ本法案ノ

一ツノ妙味ハ清算市場ノ、即チ米穀平準化ノ機能ヲ此ノ取引員ト云フコトデアツテ居ルノダ、斯ウ云フヤウニ御話ニナリマシテ、私モソレヲ諒承シタノデアリマスガ、若シ延取引ガサウ云フ機能ヲ持ツテ居ルト致シマスナラバ、米ヲ賣ル所ノ團體、生産者團體ニモ延デアハリ賣ル、斯ウ云フコトヲ許シテ、米穀ノ平準化、又平均賣ニナルト云フヤウナ處置ヲ執ラス方ガ宜イノデアハナイカ、斯ウ云フ氣ガ先程起ツタノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ御伺致シマス

○周東政府委員 産業組合、販賣組合モ商人ト同様ニ延市場ニ出テ來ルコトハ出來ルコトニナツテ居ルト考ヘマス、左様御諒承願ヒマス

○杉山委員 次ハ二十二條ト二十四條ノ出資ノコトヲ御伺シタインデアリマス、目論見書デハ民間團體ガ全額拂込ニナツテ、政府ノ方ハ四分ノ一拂込ニナツテ居ルノテゴザイマスガ、是ハ現物出資ノ關係ガアルノデアスウ云フ風ニ民間ノ方ハ全額拂込ニサシ、政府ノ方ハ何カ特別ノ理由デア四分ノ一拂込ニナツタノカ其ノ點ヲ御伺シマス

○周東政府委員 民間ノ方ノ出資ニ付キマシテハ現物出資チ必ズシモ考ヘテ居ル譯デアアリマセヌ、併シナガラ大體此處ニ掲ゲテ置キマシタ事業使途ノ内容テ御承知願ヒタイト思ヒマスガ事業開始ノ時ニ必要トスル金額ノ問題ト——其ノ中ニハ當然民間即チ取引所等ノ拂込出資額ノ範圍内ニ於キマシテハ、現在ノ出資チ優先的ニ認メテ行ク、斯ウ云フコトニナツテ居リマスサウ云フ事柄ト及ビ諸設備ノ買収ト云フヤウナコトトチ考慮致

シマシテ、丁度金額ト優先出資ト云フヤウナ立場カラ、大體民間ノ方ノ出資チ全額ニ致シタ譯デアリマス

○杉山委員 サウ致シマスト拂込済ノ株チ優先的ニ取ル、其ノ場合ニハ額面デアナシニヤハリ評價テ御取引ニナルノデスカ

○周東政府委員 現在ノ取引所ノ資産狀況等ハ大體「プラス」ニナツテ居リマス、隨ヒマシテ現在ノ拂込ノ出資額ノ範圍内ニ於キマシテ、其ノ額面テ收容シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○杉山委員 後テ伺ツテ見タイト思フノデアリマスガ、此ノ際尙ホ序ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、取引所關係ガ此ノ會社ニ吸收サレマスコトニ依ツテ失業致シマス人員ガ、大體ドレ位ノ御見込デ、ソレ等ニ對シマスル所ノ失業手當ト云フモノチ或ル程度出スト云フヤウナ御話チ伺ツテ居ツタノデアリマスガ若シサウ云フ者ニ對スル失業手當ノ御見込數デモ分リマスナラバ伺ヒタイ

○周東政府委員 取引所ノ従業員ハ、只今ノ考ヘ方ニ於キマシテハ新會社ニ收容シテ參ルコトニナツテ居リマスカラ、従業員ニ付テ失業者ハ出ナイ積リデアリマス

○杉山委員 次ハ三十四條ノ利益配當ノコトデアリマスガ、目論見書ヲ見マシテモ、又本案ヲ見マシテモ、六分チ優先的ニ保證チスル、斯ウ云フヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、今日マアノ米穀市場ノ利益配當チ見マスト、大阪ハ大體四分デ、ズツト來テ居ルヤウニ思フノデアリマス、東京ニ致シマシテモ五分五分五分五厘ノ時モアルガ、ソレ以下ノ時モアル、平均シテ約五分弱ニナルヤウニ思ツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フヤウ

ニ取引所ノ中ノ錚々たるモノガ四分ナリ或ハ五分弱、斯ウ云フ
實績ヲ示シテ居リマス時ニ、六分ノ配當ヲ保證スルコトハ、ド
ウモ取引所員ヲ救済スルコトヲヤナイカト云フ意見ガ當然起ツ
テ來ルノデハナイカ、今日新聞ナドヲ拜見致シマス、軍需品
ヲ生産スル所ノ會社ニ於キマシテモ、利益率ヲ五分以下ニ下
ルト云フヤウナコトガ見エテ居リマス時ニ、實績ガ六分ニナツ
テ居ラナイノニ拘ラズ六分ト決メルト云フコト——今日ノ社會
情勢ガ低金利デアリ、且ツ色々ナ社會情勢カラシテ、利益率ト
云フモノハ引下ケヨウト云フ場合ニ六分ニスルト云フノハ、唯
今マデノ斯ウ云フ會社ノ習慣ガ六分デアラカラ六分ニシタト云
フノカ、何カ特別ナ理由ガアルノカ、其ノ點ヲ御伺シタイノデ
アリマス

○松村政府委員 此ノ建前ハ決シテ六分ヲ保證シタ意味デハゴ
ザイマセヌデ、六分マデハ政府ノ出資ニ對シテ配當チシナイト
云フ譯デアリマスカラ、勿論ハ政府ガ六分ヲ保證シテ居ル譯
デアリマセヌ、若シモ政府ガ保證スルモノト致シマシタナラバ
金利ノ傾向カラ申シマシテモ、六分ナドト云フ高イ保證チスル
道理ハナイノデアリマス、隨ヒマシテ此ノ六分ハ單ニ政府ガ配
當チ受ケナイト云フ程度ニ御考下サイマシラバ、此ノ取引所
ノ株ノ配當等ノコトモ御了解ヲ得ルコトト思ヒマス、大體ハ
保證ハモナイト云フコトデアリマスカラ、是等ノ株ノ割當ナン
カニ對シマシテモ、大體其ノ資本ノ額ト見テ居リマスガ、ソレ
ハ取引所ノ希望モアリマセウシ、欲シクナイ者ハ勿論強制的ニ
持タセル譯デアリマセズ、コチラノ側カラ申シマシテモ、大

別ノ委員會ヲ設ケラレテ爲サレルノデアリマスカ
○周東政府委員 大體其ノ委員會ア同様ニ掛ケルコトニナルダ
ラウト思ヒマス

○杉山委員 其ノ委員會ノ構成ハドウ云フヤウニナリマスカ、
當業者ヲ入レルト出來ルダケ水膨レニナリマスヤウナ要求チス
ルデアリマセウシ、色々トアルト思フノデアリマスガ、相當ヤ
ハリ當業者或ハ第三者或ハ政府ト云フヤウニ、公平ニ委員會ガ
保タレナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、大體ノ御見込ガ
ゴザイマシナラバ一ツ承リタイト思ヒマス

○松村政府委員 ソレハ御話ノ通りデアリマシテ、今日考ヘテ
居リマスノハ政府ノ側モ出マスガ、興業銀行、勸業銀行、或ハ
當業者ニアラザル實業家ノ人達、貴衆兩院議員、有ユル方面ノ
方ヲ集メマシテ、サウシテ會議ヲ開イテ決定シタイト思ツテ居
リマス

〔中略〕

○杉山委員 ……新聞ナドヲ拜見致シマスルト、計畫委員
會ナドヲ御決メニナツタ所ヲ見ルト、耕種改善、苗代ノ助成、
サウ云フコトア約三十萬圓ノ豫算ヲ以テヤル、或ハ病虫害驅除
ノ方法ヲヤル、斯ウ云フコトガ示サレテ居ルノデアリマスガ、
是ダケ伺ツタダケハドレ程増産出來ルカト云フヤウナコトニ
付テノ唯「ベーパー・プラン」ノヤウニ見エ、ソレデ具體的
ニ耕種改善デ是位種ル豫想ダ、ドウセ豫想ニ違ヒナイガ或ハ害
蟲ノ豫防デ是位防ギ得ラレルノダト云フコトヲ御示シ戴ケレバ
吾々ハ多少百姓ノコトモ分ツテ居ルカラ、ソレナラ出來ルダラ

體ノ見當テゴザイマシテ、各會社、取引所若シクハ取引所ノ株
主ノ考ヘ方ニモ依リ、コチラノ方モ必ズシモ一ツノ取引所ニ其
ノ額ダケヲ必ズ割當テルト云フワケデアリマセヌデ、大體ノ
見當ヲサウ云フコトニ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居ルワケデアリ
マス

○杉山委員 ソレハ私ノ誤解デシタ、最後ニモウ一點何ツテ置
キタイノハ、取引所ノ善後措置ノ問題デアリマスガ、要綱ニ依
リマス、善後措置トシテハ六ツノコトヲ致スヤウニナツテ居
リマス、其ノ中テ私ノ伺ツテ見タイト思フ點ハ、其ノ中ノ五項
ノ「取引員ニシテ市場員ト爲リタルモノノ中米穀取扱業者ニ非
ザルモノノ開業又ハ轉業ニ要スル資金ノ融通ヲ爲シ得ルコト」
斯ウ云フ條項ガ書カレテ居ルノデアリマスガ、若シ開業ナリ轉
業致シマスル時ニ、ドウ云フ方法テ資金ノ融通ヲ爲サレルノデ
アルカ、ヤハリ擔保ナリ何カテナサルノカ、其ノ點チ一ツ明ニ
伺ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話ノ取引員ニ對シマシテノ廢業資金トカ、
轉業資金ノ貸付ノ方法デアリマスガ、是ハ何レ特別ナ委員會ヲ
作りマシテ、之ニ依リマシテ如何ナル範圍ニドノ位ノ限度ノ金
チ、ドウ云フ方法テ貸付ケルカト云フ適當ナル案ヲ立テタイト
思ヒマスガ、只今ハ決定ニ至ラヌ次第デアリマス

○杉山委員 善後措置ノ第六項ニ色々建物ナリ財産ナリノ買收
ノコトガ書イテアリマスガ、ソコニヤハリ特別委員會ヲ設ケテ
評價スル、斯ウ云フヤウニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ委
員會ヲ御決メニナルノデゴザイマセウカ、或ハソレデナシニ特
ウト云フ考モ付キマス、或ハ本當ノ「ベーパー・プラン」カ、多
少具體性ガアルカト云フコト位ハ分ルカラ、是非其ノ點ヲ御示
シ願ヒタイ、斯ウ云フヤウニ申上ゲタノデアリマス

○小濱政府委員 四百萬石ノ増産ヲ致サントシテ計畫致シマシ
タ事項ニ付キマシテハ、大體ノ重點ハ耕種改善基準ヲ設定ヲ致
シマシテ、是ハ各府縣別ニ、其ノ府縣デ、耕種方法ハ從來試
驗場等ニ於テ研究セラレテ居リマスル方法ニ依リマシテ、其ノ
府縣ノ事情ニ即シテ大體設計ヲ立テ、更ニ郡ニ下シ、更ニ町村
ニ下シ、町村ハ更ニ部落ニ、サウ云フヤウニ細カイ設計ヲ立テ
テ行キタイト考ヘテ居リマス、サウ云フヤウナコトヲ考ヘマシ
タノハ、從來主要食糧ノ改善ニ付キマシテ、獎勵ヲ致シテ居リ
マスル過去ノ經驗カラ參ツテ居ルノデアリマシテ、耕種方法ニ
付キマシテ部落別ニ、集團的ニ指導區ト云フモノヲ定メテ、是
ハ模範ヲ示ス意味ニ於テ徹底シタ指導ヲ致ス所デアリマス、
其ノ指導ヲ致シテ居リマス所ト、普通ノ慣行ニ依ツテ耕作ヲ致
シテ居ル所ヲ較ベテ見マス、集團的ノ耕種方法ニ依ツテ指導
チ能ク致シテ居リマス所ハ、相當ニ收穫歩合ガ多イノデアリマ
ス、ソレデ大體四百萬石ノ増産ト考ヘマスル場合ニ於キマシテ
六千三百萬石ヲ基準ニ致シマス場合ニハ、凡ソ六分何厘カノ増
收ニナリマス、過去ノ經驗カラ行キマス、一割以上ノ増收ニ
ナツテ居ル所ガ大部分デアリマス、サウ云フ關係カラ致シマ
シテ、其ノ位ノ増收ハ指導ヲ徹底スルコトニ依ツテ期シ得ルノ
デハナカラウカ、尙ホ東北地方ニ於テ苗代ノ仕立チ早ク致シマ
ス、及ビ稻熱病ノ防除ヲ徹底致シ、螟蟲ノ驅除ヲ徹底致シ、又

泥負蟲ノ驅除ヲ徹底致スコトニ依ツテ、失ハルベキモノヲ失ハナイテ止マルト云フコトニ依ツテ、從來ヨリモ増收ヲ期シタイト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、害蟲ノ驅除ニ依リマシテ何石ノ増産ヲシ、指導ノ徹底ニ依ツテ何石ヲ増産スルト云フコトハ、色々計算ハ致シテ居リマスケレドモ、ソレハ確實ニハ分リマセヌ、テ大體ノ方針ト致シマシテハ、指導ヲ徹底致シマスコトニ依ツテ四百萬石ノ増收ヲ期シタイ、サウシテ病害蟲ノ驅除及ビ強イ苗代ヲ仕立テ從來失ツテ居ツタモノヲ防ギ止メルコトニ依ツテ其ノ計畫ヲ更ニ強化スルト云フ風ニ考ヘテ参リマス方ガ確實デアリハシナイカ、病害蟲ノ驅除ニ依ツテ何石ヲ増産シ指導ノ徹底ニ依ツテ何石ヲ増産スルト云フ風ニ劃然トハ區別ガ出來テ來ナイト思ヒマス、重點ハ耕種改善、耕種ヲ設定シマスコトニ依ツテ指導ヲ徹底シ、ソレニ依ツテ大部分ノ増産ヲ圖ツテ行キタイ、ソレニ添ヘルニ病害蟲ノ驅除ヲ徹底シ、苗代ノ仕立ヲ強クシマスコトニ依ツテ、更ニ之ヲ強化シテ行クト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○杉山委員 モウ一言附加ヘテ御伺シタイノデスガ、大體ソレヲ分ツテ参リマシタガ、集團指導ヲ其ノ地ノニ適スル耕種方法ヲ指導スル、サウ言ヘバソレモ宜シウゴザイマスケレドモ其ノ地ニ適シタ耕種方法、私ガ伺ヒタカツタノハソレヲ伺ヒタカツタノデ、下ノ地方デアドウ云フ耕種方法ヲレバ所謂増産ガ出來ルカ、サウ云フ具體的ナコトヲ伺ヒタカツタ、例ヘバ第二ノ苗代ニハ健全ナ苗代ヲ仕立テルトカ、或ハ病害蟲ハドウスルトカ稻熱病ハ斯ウスルトカト云フヤウナ具體的ナ話ヲ伺ヒタ

從來試驗場デモ色々基本的ノ試験ヲ致シテ居リマス、ソレヲ農民ニ徹底セシメタイ、ソレニハ其ノ地方ノ状態ニ即シテ、其ノ地方デアハ斯ウ云フヤリ方ヲナルノダト云フ計畫ヲ立テル、之ニ付キマシテハ、實ハ昨年ノ末ダツタ思ヒマス、試験場長ノ會議ヲ開キマシテ、更ニ縣ノ重要食糧ノ技術者モ一絡ニナリマシテ、本年ハ兎ニ角豫算モ今作成中ダケレドモ、是非増産ヲシナケレバナラヌ、ソレニハ指導ヲ徹底サセルコトニ重點ヲ置クベキダト考ヘル、ソレニ付キマシテハ指導ノ基準ノ「プラン」ヲ一ツ作ル必要ガアルト云フコトデ、既ニ各府縣デソレ「プラン」ガ出來テ居リマス、私モ其ノ「プラン」ヲ見タコトガアリマスガ、詳シクハ憶エテ居リマセヌケレドモ、色々細イ「プラン」ガ出來テ居リマス、其ノ「プラン」ニ從ツテ指導ヲ徹底シテ行キタイ、其ノ指導ヲ徹底致シマスニ付キマシテハ、試驗場ノ人達モ直接農家ノ指導ニ當ツテ貫ヒタイ、固ヨリ町村農會技術員ガ第一線ニ立ツテ指導致シマスガ、更ニ試驗場ノ人達モ試験研究ノ中デ、多少融通ノ付キマスモノハ一時ソレテ後廻シト申シマスカ、手控ヘテモ直接農家ノ指導ニ廻ツテ貫ヒタイト云フコトデ、ソレノ打合セヲ了シマシテ、ソレ「著手致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、病害蟲ノ驅除ヲ徹底致シマスルノニ、例ヘバ稻熱病ニ對シテ噴霧器ガナケレバナラヌト云フコトモ必要デゴザイマス、噴霧器ヲ製作スルニ必要ダト考ヘラレマスル材料ニ付キマシテハ、物動計畫ノ中デ商工省トモ話合ヒテ致シマシテ、其ノ材料ヲ製造業者ノ方ニ廻シテ貫ヒタイト云フヤウニ致シテ居リマス、大體噴霧器ハ果樹等ニ使ヒマスル

カツタノデアリマス、若シ前ノ方ノ増産方法ヲ耕種方法ナドニ付テ斯ウ云フ改善ヲスルノダト云フコトガゴザイマスナラバ、御知ラセテ戴キタイ、アトノ方ノ病害蟲ノ驅除ヲモ、病害蟲ノ驅除ガ徹底出來マスナラバ、恐ラク豫想ノヤウニ米ノ増收ハ出來ラウト思フノデアリマスガ、何時モ計算ダケハ出來マスケレドモ、事實ソレガムダカシイノデアリマス、御承知ノヤウニ二年續ケテ高知縣ノ稻熱病ノ如キハ、恐ラクドノ農家モ稻熱ヲ防ガナケレバナラヌト考ヘテ居ルノデアリマセウケレドモ、ヤハリ二年續ケテアア云フヤウナ不作ヲ見タ、之ニハ色々努力シツツモ材料ガ足ラナカツタト云フヤウナ點モアリハシナイカト思フ、例ヘバ農業保險ノ場合ニ稻熱ハ保險事項ニ入ラナイ、防ゲバ防ゲルト云フコトニナツテ居リマスガ、「ボルドー」液ヲ撒布スルニ致シマシテモ、噴霧器ガ今日手廻ラナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ手當ガ十分出來テ稻熱ノ病害蟲驅除ガ出來ル、斯ウ云フコトナラ話ガ分ルガ、稻熱ノ豫防ヲスルト云フダケデハ私共ハ一寸受取リニクイノデ、稻熱ヲ豫防スル、併シ豫防スルノニハ確ニ藥品モ、噴霧器モ斯ウ斯ウ云フヤウナ準備ヲ指導シテ居ルノダカラ確ニ出來ル、斯ウ云フコトヲ伺ヒタイト考ヘテ居ツタ譯デアリマス、大變諄イヤウデゴザイマスガ、モウ一應伺ハセテ戴キマスルナラバ仕合セデアリマス

○小濱政府委員 地域別ニ耕種改善基準ノ設定ヲ致シマスニ付テハ、其ノ地方々々ノ實情ニ即シマシテ苗代ノ育テ方ヲドウスル、草ノ除リ方ハドウスルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、

物ヲ合セテ六十萬臺位ハ現在アルカト思ヒマス、昨年モ稻熱病ノ發生致シマシタ時ニ、噴霧器ノ製造業者ノ手許ニゴザイマスモノ、ソレカラ材料ヲ持ツテ製造シ得ルモノ等各十五日毎ニ統計ヲ取り、報告ヲ求メマシテ、必要ナル材料ハ急イテ供給シナクテハナラヌト云フコトアヤツタノデゴザイマス、相當ニ製造業者ノ所ニハ手持ガゴザイマシテ、ソレ程不足ヲ告ゲテ居ツタノデアナイト云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙ホ病害蟲驅除ヲ徹底致サセマスダメニ、今追加豫算ヲ考ヘテ居リマスモノノ中ニ、噴霧器ノ助成ニ付テモ尙ホ考慮シテ居リマス部分モゴザイマス

○山田委員 ……第一ニ御聽致シタイコトハ、此ノ米穀需給統制法ト云フ法律ヲ作ルト云フ必要ガ、餘リニ薄弱ノ如クニ考ヘラレルノデアリマスガ、特ニ此ノ法律ヲ作ツタ方ガ宜カツタノデアルト云フ理由ヲ御聽致シタイノデアリマス、斯ウ云フ法律ヲ作りマシテ、米穀ヲ或ル程度マテ統制シテ配給ヲスルト云フ必要ナル理由デアリマス、ソレガドウシテモ私ニハ理解シ得ナイノデアリマス、殊ニ他ノ米穀ニ關スル法律ハ、其ノ目的ヲ第一條ニ書イテアルノガ普通デアリマスガ、此ノ法律ハ其ノ事モ書イテ居リマセヌ、配給統制法ト云フノダカラ、此ノ四文字ヲ説明ハ澤山ダト云フ御説ダカモ知レマセヌ、大臣ノ發案ノ理由ノ中ニハ「投機取引ヲ抑制シ、實需ニ基ク正米取引ヲ原則トスル機構ニ改メルト共ニ、是ト並行シテ米穀ノ取引ヲ爲ス者ノ許可制度ヲ實施スル等、米穀配給機構ニ必要ナル體制ヲ整ヘル」ト斯ウアルノデアリマス、此ノ「米穀配給機構」ニ必要ナ

ル體制ヲ整ヘルト云フコトガドウ云フコトナノデアリマスカ
ソコガハツキリシナイデアリマス、是ハ法律ヲ作ラナケレバ
ナラヌト云フ必要ガアツテ作ルト云フ場合、若クハ此ノ法律ニ
依ツテ大ナル進歩改善ヲスル、斯ウ云フ確信ノ下ニ作ル場合ト
云フコトガ現ハレテアリマスカラ此ノ統制ト云フ法律ヲ作ル、
作ツタガ爲ニ斯ウ云フ利益ガアル、或ハ斯ウ云フ弊害ガ除去サ
レル、米穀ノ配給上ニ於テ一大進歩アルト云フハツキリシタ
見解ヲ御聽致シタイデアリマス

○松村政府委員 ナセ此ノ法案ヲ出シタカ、此ノ法案ノ目的ハ
何デアルカト云フ御尋テゴザイマシタガ、私共ハ此ノ法ニ付キ
マシテハ非常ニ重大ナ意義ト必要ヲ感じテ出シタ次第デアリマ
ス、ソレハ外デアモアリマセヌケレドモ、今日ノ取引法即チ配給
機構ノ中心ヲ爲ス取引機構ガ、大臣ノ提案理由書ニモアリマス
通り、投機ノ部分ヲ非常ニ多ク含シテ居リ、過去ノ実績カラ見
マシテモ過去五箇年間デシタカ、七箇年間ノ統計ヲ取ツテ見マ
シテモ、總計一億萬石ノ取扱ヲシテ居ツテ、其ノ實際ノ受渡ヲ
致シタモノガ五百萬石シカナイト云フヤウナコトヲ見マシテモ
今日マデノ取引機構ト云フモノハ、投機ニ類スル點ガ多カツタ
ノデゴザイマス、今日ニ於キマシテハ米ノ供給ニ付テハ決シテ
遺憾ガアリマセヌ、將來モ亦其ノ生産ノ確保ニ努メルコトデゴ
ザイマスガ、萬一天候其ノ他ニ於テ不作等ヲ見ルヤウナ場合ガ
アリマシテ、ソコニ假需要ガ起リマシタナラバ、今日投機ノ部分
ヲ非常ニ多量ニ含シテ居リマス取引所機構ニ於キマシテハ、米
價ヲ適正ニ保ツコトガ出來ナイノミナラズ、或ハ非常ナ奔騰ヲ

業組合ノ白米ノ小賣ト云フモノニ對シテハ許可ヲ受ケ、其ノ他
ノモノハ許可ヲ受ケズニ賣買ガ出來ルノダト云フ意味ダラウ、
斯ウ思フデアリマスルガ、此ノ産業組合ノ白米ニ對シテ許可
ヲシナクテナラヌト云フノガドウ云フ理由ニ基クデアリマセ
ウカ、其ノ理由ヲ御聽キシタイト思フデアリマス、産業組合
ハ一ツノ營利團體ノ如クニ考ヘ、何カ特別ノモノノヤウニ考ヘ
テ居ルガ、是ハ何デアモナイデアリマス、農民自身ガ個々ニヤ
ラウト思フ仕事ヲ共同シテヤルノデア、産業組合ソレ自身ハ同時
ニ農家デアアル、農家ガ自己ノ收穫物ヲ白米マデニ加工シ賣テ
ト云フコトガ惡イト云フ理窟ガナケレバ、町村ニ於ケル産業組
合ナルモノガヤハリ白米ニシテ賣ルコトガ出來得ル管デアリマ
ス、サウシテ近來此ノ白米ニシテ賣ルコトハナラヌト云フ理窟ハ、
肥料ガ非常ニ高クナツタト云フコトデ、或ハ種々ナル動物モ飼
育シナケレバナラヌト云フ必要上、サウ云フコトヲ實行シテ居
リマスルケレドモ、近來據ト云フモノノ騰貴ガ甚ダシイモノデ
アリマスカラ、是等ノ飼料ニ供シマスニモ、是非家ヲ精白シテ
賣リタイ、五升ノ糠デモ一升ノ糠デモ欲シイト云フコトヲ各農
家トモ望ンテ居リマスルカラ、賣ルコトガ一ツデアリマス、今
一ツハ、四等米マデハ立米ノ儘ヤツテ居ルヤウデアリマスケレ
ドモ、等外品ト云フノガ非常ニ賣リニクイ、是ハ四等品ト等外
品ノ値段ガ近クナツテ參ルト、誰モ等外品ヲ買フ者ハナイ、皆
良イ四等品ヲ買フ、又遠クナツテ來レバ馬鹿々々シクテ賣レナ
イト云フコトニナリマスカラ、等外品ト云フモノノ處分ハ、各
農家ニ於テモ組合ニ於テモ、之ヲ精白ヲ致シテ賣ルト云フコト

見マシテ、サウシテ今日ノ國民生活ヲ脅カスト云フヤウナ虞ガ
必ズシモナイデアゴザイマセヌ、只今ソレガアルト云フ譯デハ
ゴザイマセヌケレドモ、一タビ投機思惑ガ起リマシタ時ニ對ス
ル方策ヲ今カラ考ヘテ置キマスコトハ、平時デモ左様デゴザイ
マスガ、戰時ニ於キマシテハ尙更大切ナコトデゴザイマシテ、
今日ノ國民生活ノ大キナ部分ヲ持ツ此ノ食糧政策ヲ擔當致シマ
ス當局ト致シマシテハ、今日ノ機構ヲ此ノ儘ニ致シテ置クコト
ハ出來マセヌデア、其ノ故ヲ以テ今度ノ議會ニハ是非此ノ取引
機構ノ投機ノ取引ヲ正米、即チ實需ニ基ク市場ニ改メネバナ
ラヌ必要ヲ痛感致シマシテ、此ノ統制法案ヲ作ツタ譯デアリマ
ス、ソレガ此ノ法案ノ最モ主要ナル理由デアリマシテ、此ノ法
案ノ中心ガソコニアリマスルコトハ御承知ノ通りデアリマス、
同時ニ更ニ此ノ米穀商若クハ生産者其ノ他ノ間ニ於ケル配給上
ノコトモ考ヘマシテ、此ノ法案ヲ提案致シタヤウナ譯デアリマ
シテ、今申シタコトヲ御諒解下サイマスナラバ、此ノ法案ガ平
時ハ勿論、戰時ニ於テモ如何ニ必要デアルカト云フコトハ御諒
解ヲ得ルコトト存ジマス

○山田委員

……第一條ノ說明ニ依リマスルト、白米ニ對
シテハ許可ヲ要スルト云フヤウナコトガアツタヤウデアリマシ
タガ、此ノ命令ニ規定スベキ條項ノ中ニ於テ「販賣組合ノ白米
小賣ヲ爲ス場合ヲ除ク」、斯ウナツテ居リマスガ、此ノ販賣組
合ト云フノハ普通農村ニ於ケル産業組合、是ハ信用、販賣、購
買、利用等ヲ兼務ニ何處ノ組合モヤツテ居リマスカラ、詰リ産

ハ各地ニアル習慣デアリマスシ、又必要ナル事柄デアリマス、
之ヲ賣ルノニ、或ハ許可ヲシナイカモ知レナイト云フヤウナコ
トヲ文面ノ中ニ入レテ置カレルト云フコトハ、洵ニ困ツタコト
ダト思フデアリマスガ、是ハ許可ヲ受ケル、受ケルケレドモ
此ノ組合或ハ個人等ニ對シテハ確的ニ許可ヲスルノダ、斯ウ云
フ御意思ノ下ニ許可ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリ
マスルカ、場合ニ依ツテハ許可ヲシナイ、斯ウ云フ建前ノ上ニ
此ノ許可ヲ受ケルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスルカ、
一寸伺ヒタイ

○周東政府委員 御答ヲ致シマス、御話ノヤウニ販賣組合ハ其
ノ性質上、組合員ノ作りマシタ米穀ノ共同販賣ヲ致スノガ本旨
デアリマス、サウ云フ意味合ニ於キマシテ、全體的ニ申シマス
レバ、販賣組合ノ米穀ノ賣買購買組合ノ組合員ニ分ケル賣買等
ニ付キマシテハ許可ヲ受ケルコトヲ要シナイデアリマス、唯
販賣組合ガ個々ノ消費者ノ臺所マデ直接白米ノ小賣ヲ致シマス
場合ニ付キマシテハ、其ノ地方ニ於キマスル米穀ノ配給ノ事情
等ヲ能ク考慮致シマシテ、必要ナ場合ニ於キマシテハ許可ヲシ
ナイ場合ガアルト思フデアリマスガ、只今ノ御話ノヤウナ事
情ノアル場所ニ於キマシテ、他ノ配給關係ノ事情ト何等差支ナ
イ場合ニ於キマシテハ、勿論許可ヲ致ス場合モアルノデアリマ
ス、唯繰返シテ申シマスガ、販賣組合ノ白米ノ小賣ニ付キマシ
テハ、其ノ地方ニ於ケル米ノ配給事情ヲ能ク考慮シテ許可ノ許
否ヲ決スル、斯ウ云フコトニ致シタデアリマス

○山田委員 此ノ問題ハ重要ナ問題デアリマスルカラ、ハツキ

り御聴キシテ置キタイト思フノデアリマスルガ、近來午前七時八時頃ニ常盤線ナドテ通ツテ見ルト、行商列車ト云フヤウナ列車ガアリマシテ、澤山ナ百姓ガ野菜ヲ一背負ヒ背負ツテ、其ノヤウナモノヲ、引拔イテ其ノ儘ナラ百姓ガ賣ツテモ宜シイガ、之ヲ綺麗ニ洗ツテヤント揃ヘテ持ツテ來レバ百姓ハ賣ツテハナラナイ、是ハ野菜屋トカ青果市場トカ云フ立派ナ商人デナクテハ賣ツテハナラヌ、斯ウ言フノト殆ド同ジモノデアナイカト私ハ思フノデアリマス、綺麗ニ洗ツテ、人間ガ食ヘルヤウニシテ賣レバイカヌ、ソレハ商人ガ賣ルノデ、百姓ガ賣ルニハ泥ダラケノ手入ノセヌモノナラ宜シイ、此ノ百姓ガ自分ヲ獲ツタ米ヲ白米ニシテ賣ルニハ一々許可ヲ受ケナクテヤナラヌ、場合ニ依ツテハ之ニ制裁ガ加ヘラレルト云フコトハドウ云フ必要カラ生ジタカ、私ハドウモ理解ガ出來ヌ、デスカラ此ノ條項ノ許可ヲ受ケルト云フ點ニ對シテハ、是非御再考ヲ御願致シタイト思ヒマスガ、ソコノハツキリシタ理窟ヲ御聴キシタイ

○周東政府委員 是ハ農家ガ作りマシタモノヲ共同販賣スルコトニ付キマシテハ、別ニ何等許可ヲ受ケルコトハ要シマセヌ、唯個々ノ家庭ニマテ白米トシテ配給ヲ爲シテ行キマス場合ニ付キマシテハ、配給統制ノ立場カ見マシテ、其ノ地方ニ於ケル白米ノ小賣ト云フヤウナ、總テノ配給條項ヲ考慮致シマシテ、許可ヲ決定致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

○山田委員 サウスルト野菜ヲ家庭ニ賣ツタラ宜シイガ、米ヲ家庭ニ賣ツタラ惡イ、斯ウ云フコトニナリマスカ、例ヘバ工場

トカ或ハ組合、或ハ家庭、家庭ニモ色々アリマスガ、大キイ所ハ宜シイガ、夫婦ニ子供一人二人ト云フ所ニ賣ツテハ惡イ、斯ウ云フコトニナリマスカ、ソコハツキリ御聴キ致シタイ

○周東政府委員 其ノ點ハ昨日モ申上ケマシタヤウニ、個々ノ家庭ニ對シテ直接配給スル場合ヲ考慮シテ居ルノデアリマシテ消費團體等ニ對シテ配給スル場合ハ除イテ居ルノデアリマス

○山田委員 サウスルト今一ツ御尋致シタイノデアリマスガ、例ヘバ宿屋或ハ飯屋アルトカ云フ所ニハ賣ツテ宜シイト云フコトニナルガ、何ノ爲ニ家庭ニ賣ツテ惡イト云フコトニナルカソレデ何カ大ナル弊害ガアルト云フコトデアレバイケナイノデアリマスガ、例ヘバ米ノ小賣商人ニノミ賣ラセヨウト云フ考カモ知レナイノデアリマスガ、サウスルト米ダケハソレデ宜シイ宜シイケレドモ、其ノ他ノ蔬菜ト云フヤウナモノモ、悉ク商人ニアラザレバ家庭ニ賣ルコトハ出來ナイト云フコトヲ近ク規定サレル御見込テモアルノデアリマスカ、又一方ハ宜シイガ一方ハ惡イト云フコトデアリマスルカ、ソコハツキリ御聴キ致シタイ

○松村政府委員 ソレハ蠶ノ場合ト違ヒマシテ、米ノ配給上、其ノ配給ヲ統制スル爲ニ米穀業者ノミナラズ、小賣ヲ致ス産業組合モヤハリ統制シテヤツテ行カケレバイケマセヌノデアリ、其ノ意味ハ於テ米ヲ賣ル者ト買フ者ト、ソレ等ヲ總テ認可制度トシテ居リマス、併シナガラ其ノ内購買組合ノ如キモノハ、之ヲ自己ノ組合デ賣ルノデアリマスカラ是ハ除ク、斯ウ云フ配給機構ノ必要ノ上カラ、參ツタノデゴザイマス

○山田委員 ソレナラバ實例ヲ舉ゲテ御話ヲ致シマセウ、私共ノ福島縣雙葉郡ト云フ地方ニハ、廣野町、大久村、草野村ト云フヤウナ大キナ一ツノ地方ガアリマス、其ノ地方ニ於テハ、米ト云フモノハ悉ク白米ニシテ賣ル習慣ガアルノデアリマス、其ノ賣先ハ四ツ倉町ト云フ漁場ニ持ツテ行ク、其ノ地方ニ來ル船ニ賣ツテ居ルノデアリマス、其ノ地方デハ絕對ニ玄米ハ賣ラヌノデアリマス、皆白米ニ搗出シテ來ル、所テ手ヲ搗ク、或ハ水車ヲ搗クト云フコトヲシテ其ノ米ヲ賣ツタノデアリマスルガ、今日ニ至リマシテハ、ヤハリ産業組合利用部デ買ヒマシタ精米機械ヲ利用致シマシテ、其處ニ持ツテ行ツテソレヲ搗イテ賣フ搗イテ賣ツタ米ヲ今マテハ馬テ運ンダモノヲ、今度ハ組合ノ手テ荷馬車テ運ビ、自動車テ運ンデ賣ル、斯ウ云フコトヲ今日依然トシテヤツテ居ルノデアリマス、コレハ何人ニ賣ルカ、悉ク消費者階級ニ賣ルノデアリマス、斯ノ如キ部類ノモノモイケナイト云フコトニナリマスカ、又サウ云フ者ニ賣ルノハ宜シイガサウ云フ慣例ノナイ地方ニ賣ルコトハイケナイト云フコトニナルノデアリマスカ、何ノ爲ニイケナイノカ、殆ド理解出來ナイノデアリマス、斯ウ云フ理由デ是ハイケナイ場合ガアルノダト云フコトハツキリ御説明願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ハドコマテモ配給統制上ノ必要カラ來テ居リマス、サウ云フ行政上必要カラ來テ居リマス、隨テサウ云フ場合ニ何處ノ場所デハ許可或ハ處置ヲ如何ニ決定スルカト云フコトハ、地方ノ事情ニ依ツテ變ツテ參リマス、主トシテ都會地ニ於キマシテハ、餘程サウ云フ風ナ事情ヲ調査致シマシテ

處置ヲ決定スル場合ガ多カラウト思ヒマスガ、一般的ノ農山村ノ如キ所デハ、多クノ場合ソレハ許可サレルコトニナルト思ヒマス、常ニ其ノ地方ノ事情、米穀配給機關ノ實情ト云フヤウナモノヲ調査シテヤル譯デアリマス、御心配ノヤウナ點ハナカラウト思ヒマス、更ニ今日市場ニ於キマシテ販賣組合デ白米ヲ購入シテ居ル者ニ對シテハ、當然續イテ、新シク特別ナ手續ヲ執ラズニ販賣出來ルコトニナリマスノデアリ、御心配ノヤウナ點ハ多ク起ツテ來ナイイダラウト思ツテ居リマス

○櫻内國務大臣 山田君ノ御質問ハ今ノ統制ノ狀態ニ付テ、少シ誤解ガアルノデアナイカト思ヒマス、即チ小賣商ヲ茲ニ許可制度ニスルト云フ事柄ハ、理想的ニ申シマス、例ヘバ此處ニ百軒アル、其ノ中ニ一軒丈小賣商ヲ許ス、サウシテ全般ノ小賣商ノ人間ガ是テ兎ニ角生活權ヲ擁護シテ行ツテ、サウシテ其ノ附近ダケヲ圓滿ニ供給シ得ル、斯ウ云フコトガ理想デアリマスケレドモ、今日ハ小賣商ガ白米ヲ取扱ツテ居ル白米ヲ個人々々ノ家ニ商ツテ居ル者ハ、是ハ小賣商人カ、若クハ仲介人カ、兎ニ角此ノ條項デ當然許サレル範圍内ニアルノデアリマス、唯將來此處デ米屋ヲ開カウト思フ、即チ米穀商ニナラウト思フト許可ヲ得ナケレバナラヌ、ダカラ從來營業ヲシテ居ル者ハ、全部其ノ儘大體ニ於テ許可サレルノデアリマス、是カラ先ヤラウト云フ者ハ、是ハ其ノ周圍ノ狀況ニ依ツテ其處ニ米屋ガ澤山アレバ許サヌ、斯ウ云フコトニナリマス、隨テ今マテ白米ヲ販賣シテ居ル者ガ、此處デ販賣スル權利ヲ奪ハレルト云フ譯デアナイ唯違ヒマスコトハ、御承知ノ通り、手短カニ申シマスレバ地方

ニ煙草ノ賣買店ガアリマス、是ハ許可ヲ得テ或ル區域々々ナケレバ許サレナイ、東京デハ風呂屋ガヤハリサウナツテ居リマス、或ル區域内ニ於テ何軒モハ許サレテ居ナイ、或ハ鹽ガサウテアル、ソレカラ肥料ガ今ノ所デハ稍々サウ云フコトニナツテ居ル、サウ云フモノト同ジデ、即チ從來米ヲ賣ツテ居ツタ者ハ米商人トシテヤハリ認メラレルト云フ建前デ出来テ居ルノデアリマスカラ、山田君ノ言ハレルヤウナコトニ付テハ私ハ心配ガナイト思ヒマス

○山田委員 御話ハ能ク分リマシタ、私ガ繰返シテ御話申上ゲルノハ、此ノ「命令ニ規定スベキ主要事項案」ノ第一條ノ中ノ二カラ「販賣組合ノ白米小賣ヲ爲ス場合ヲ除ク」之ヲ削除シテ戴キタイト考ヘタモノデスカラ繰返シテ申上ゲタノデアリマス此ノ條項ヲ御入レニナツテモ許可サヘ受ケレバ宜シイ、大體ニ於テ慣例ヲ尊重シテ許可ナスルト云フコトニナルダラウト思ツテ居リマスケレドモ、最近商業組合、又小賣組合ト云フヤウナモノガ出来マシテ、是等ノ人々ガ産業組合及ビ素人ノ家庭ニ賣ル仕事ニ干渉スルコトガ非常ニ盛ニナツテ參ツタノデアリマス是ハ或ル人々ニ言ハセレバ、生活權ノ擁護ト云フヤウナコトヲ申シマスケレドモ、農家モヤハリ生活權ヲ擁護シナケレバナラヌノデアリマスカラ、自己ノ收穫物ヲ少シデモ有利ニ販賣致シタイト云フコトハ農家ノ當然ノ要求デアリマス、デアリマスカラ此ノ第二ノ「白米小賣ヲ爲ス場合ヲ除ク」ト云フ條項ハ是非トモ削除シテ戴キタイト考ヘルノデアリマス、重ネテ此ノ問題ヲ論ジテモ同ジ御答辯ヲ繰返サレルコトニナリマスガ、是非本

條項ヲ除クト云フコトニ御配慮ヲ御願シテ置キマス
ソレカラ其ノ次ニ御聽キシタイコトハ、第五條ニ「米穀市場ハ米穀會社ニ限り之ヲ開設スルコトヲ得」トアツテ、何人ト雖モ米穀市場ニ類似ノ施設ヲ爲スコトハ出来ナイト云フコトガアリマスガ、此ノ類似ノ施設ト云フコトハ、詰リ米穀會社ノ取引所ノ在ル地區内ニ於テト云フ意味デアリマセウカ、或ハ全國何處ニ於テモ類似ノ取引ヲ禁ズルト云フ意味ニナリマセウカ、若シ是ガ何處ニ於テモ禁ズルト云フコトニナルト、非常ニ困ツタ問題ガ起ルノデアナイカト心配致スノデアリマス

○周東政府委員 此ノ法文ハ、今後米穀ノ賣買取引ヲ爲サシムル市場ハ米穀會社ナケレバ出来ナイト云フコトニナツテ居リマスノデ、此ノ法律ハ全國的ニ施行サレルモノデアリマスカラ單ニ地區内ニ限ラズ、何處デモ類似ノ設備ヲシテハナラヌノデアリマス

○山田委員 今一ツ御聽キ致シタイコトハ此ノ延取引、ソレカラ未著取引ト云フコトハ、今日マデト違ツテ銘柄ヲ決メテ取引ナスルモノデアアル、又最後ノ決済時期ニ於テ決済ヲ許シテアルノデアルカラ、取引ハ漸次少クナルデアラウ、斯ウ云フ御話デアリマスガ、私ハソレニ反對ノ結果ヲ來スノデアナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス、ト云フノハ銘柄ヲ決メテ取引シマスカラ、現物ノ受渡ノ出来ナイ場合ヲ大ナラシメルコトニナル、是マデ取引所ノ取引デアリマシタナラバ、格差ト云フモノガアツテ、格差ヲ以テ何處ノ米デモ清算致シマスカラ、現物取引ノ場合ガ多イノデアリマスカラ、引渡シ得ルノデアリマス、ケ

レドモ銘柄ヲ決メテ其ノ米デナケレバナラヌト云フコトニナリマスレバ、特ニ其ノ實米ヲ渡スコトノ困難ヲ増大セシメルモノデアリマスカラ、是ハマア延取引ト云フモノハ定期取引ニナツテシマフ、サウシテ短期ノ、二箇月ノ現物清算取引ト云フモノガ出来テ、益々之ヲ獎勵スル結果ニナルノデアナイカト云フコトヲ心配スルノデアリマス

ソレカラ今一ツハ此ノ未著取引ニ對シテ決済ヲ許スト云フ事柄ハドウ云フ必要カラ來タカ、是ガ私ハ理解ニ苦シムノデアリマス、是ハ延取引デハナク、全ク荷物ノ來ナイモノヲ或ル期間ヲ定メテ、十五日間ノ内ニ品物ガ來レバ渡スト云フコトデアリマスカラ、之ニ對シテ決済ヲ許シテ、差額ヲ受渡シテ取引セシメルト云フ必要ガ何處ニアルデアリマセウカ、是モ極メテ短イ定期ガ出来テ、是ハ一寸面白イ清算取引ガ出来タモノダト云フコトニナルノデアナイカト云フ心配ガアルノデアリマス、一寸其ノ點ヲ御何致シマス

○周東政府委員 第一點ニ付テ御答致シマス、此ノ度ノ延取引市場ニ於キマシテモ、銘柄別ノ取引ト併セテ組合セ銘柄別ノ取引ヲサセルコトニナツテ居リマスカラ、組合セ銘柄ノ範圍如何ニ依リマシテ、組合セ銘柄ノ範圍ニ入ツテ居リマスモノニ付キマシテハ交互代用スルコトガ出来マスカラ、御心配ノヤウナコトハナイト思ヒマス、ソレカラ未著物ノ取引ニ付テ前ノ決済ヲ認メルノハドウカト云フ御話デアリマスガ、是ハ未著ノ物ニ付テハ大體最初ノ賣出シハ必ズ米ヲ出ス、最後ノ買入必ズ代金ヲ決済シテ受渡ヲ済マスト云フコトニナツテ居リマスガ、但シ此

ノ際中間ニ於キマシテ轉賣ヲシタ者ガアル譯デアリマスカラ、其ノ人ニ取りマシテノミ簡易決済ノ方法ニ依リマシテ、必ズシモ現物ヲ受渡シテ受渡シテ最後マデ行クト云フ方法ヲ執ラズニ簡易ニ決済サセタイト云フ方法ニ於テ前ノ決済ヲ認メテ居ル譯デアリマス、御諒承テ願ヒマス

○山田委員 ソレハ私ガ考ガ違ツテ居ツタカモ知レマセヌ、第六條ニ「但シ履行期ニ於ケル決済ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ」トアリマスカラ、差金ノ授受ニ依ツテ決済ヲ爲スコトガ出来ルト云フノデアリマスガ、其ノ六條一項ノ勅令事項ト云フ中ニハ「本項但書ニ該當スル取引ハ未著物取引及延取引ニ限ルモノトス」斯ウナツテ居ル、サウスルト此ノ第六條ノ「但シ履行期ニ於ケル決済ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノニ付テハ此ノ限リニ在ラズ」其ノ勅令ト云フモノガ「但書ニ該當スル取引ハ未著物取引及延取引ニ限ル」トアリマスカラ未著物取引モ延取引モ決済ガ出来ルト云フコトデアリマセウカ

○周東政府委員 勅令事項トシテハ左様ニ書イテ置キマシタガ是ハ法文ニナリマス場合ニ於キマシテハ、決済ヲ爲ス場合ヲ詳シク書ク譯デアリマス、先程モ申シマシタ未著ノ範圍ニ於キマシテハ先程申シマシタヤウナ意味合ニ於キマシテ、簡易決済ノ方法ヲ認メルト云フヤウナ意味デアリマス

○山田委員 此ノ印刷物ダケハサウハ見エナイガ、御話ヲ聽イテ初メテサウナルノデアリマスガ、ソレハ間違アリマセヌカ

○周東政府委員 確カデアリマス

例へば卸アアルトカ小賣アアルトカ、仲買アアルトカ、宛ニ角米ヲ賣買スル者ハ悉ク此ノ十一條ニ於ケル米穀取扱ト云フモノ中ニ入ル、本法ノ十一條ニハ「本法ニ規定スルモノノ外市場員ノ資格其ノ他ノ市場員ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」斯ウアルノデアリマス、所ガ此ノ十一條ノ勅令事項ノ中ニ「米穀市場ノ市場員ノ免許ヲ受ケル者ハ米穀取扱業者及其ノ團體並ニ米穀生産者ノ團體トスルコト」斯ウナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ米穀取扱業者ト云フノハ、是ハ無論小賣業者モ入ツテ居ルノデアリマセウナ、ソレカラ其ノ團體ハ産業組合聯合會ハ勿論、府縣聯合會ハ勿論、米穀生産者ノ團體ト見ルベキモノ、ソレカラ町村ヲ單位トシタ生産者ノ團體、ソレハドウ云フコトニナツテ居リマセウカ

○周東政府委員 今ノ町村ヲ區域トスル團體ハ實行組合ヲ御話ニナツタノデアリマセウカ

○山田委員 實行組合、農會、或ハ町村ニ於ケル産業組合、サウ云フコトヲ言ツタノデアス

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ大體只今ノ所全販聯ヲ豫想シテ居リマスガ、勅令ノ範圍ニ於キマシテハ産業組合關係ハ入ルヤウニナツテ居リマス、是ハ一々指定スル場合ニ必要ノ點ヲ考ヘテ致スコトニナツテ居リマス

○山田委員 此ノ機會ニ於テ關聯ガアルコトアスカラ御聽シタインノアスガ、米ニ付テモ麥ニ付テモ——是ハ能ク繰返シテ居ルノデアリマシテ、農會ト産業組合トノ間デアリマスガ、此ノ團體ハ元々一ツニシテ少シモ差支ナイ、當然一ツニスベキ性質ノ

○山田委員

……第一條ノ統制法ノ命令ニ關スル事項ト云フ中ニアル地域ト云フノト、市場ニ於ケル地域ト云フノトハ自ラ違フト思フノデアリマスガ、此ノ第一條ノ命令事項ニアル地域ト云フノハドウ云フコトニ御定メニナリマスカ、ソレカラ此ノ「業務ヲ行ハントスル者」ト、斯ウナツテ居リマスガ、此ノ業務ト云フノハ米穀ノ買入、賣渡又ハ媒介等ヲ以テ生活ノ基礎ト爲シテ居ル者、其ノ他ノ者ハ之ニ加ツテ居ラヌト云フコトニナリマスレバ、米作業者ソレ自身ガ賣渡ヲ致シ、或ハ加工シテ販賣チスルト云フヤウナ行爲ハ、無論此ノ業務ト云フ中ニ入ツテ居ナイ、是ハ生産者ガ賣渡シタ場合ニハ全ク是レ以外デアアル斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマセウカ

○周東政府委員

第一點ノ第一條ノ許可ヲ受クルコトヲ要スル地域、是ハ本條ノ趣旨ガ米穀ノ配給統制ノ必要上カラ許可制度ヲ布イタノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ目的ノ範圍カラ許可ヲ致シマスル地域ヲ決メテ置キタイト思ツテ居リマス、モウ一ツノ第五條ノ米穀市場ノ地區ノ關係、其ノ方ハ市場ヲ設置致シマスル場所ニ付キマシテ、大體ハ市若クハ必要ガアリマスレバ其ノ市ノ郊外等ヲも含ム場合アラウカト思ヒマスガ、大體市場ニ付テノ地區デゴザイマス、第一條ノ方ハ許可制度ヲ布キマスル地區ト云フコトデゴザイマス

○山田委員 其ノ許可ヲサレル地區ハ、何處々々ヲ以テ地區トサレル御見込デアリマスカ

○周東政府委員 其ノ點ハ實施ニ際シマシテ慎重ニ必要ノ範圍ヲ決メタイト思ツテ居リマスガ、差當リト致シマシテ、先ヅ考

モノト思フノデアリマスガ、是ガ一ツニサレマシタナラバ、生産及ビ販賣ト云フモノガ統一サレマスカラ、非常ニ好都合デアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、農林省ハ近ク之ヲ實行スル御意思ハオアリニナリマセウカ、此ノ機會ニ御聽シタイ

○櫻内國務大臣 單ニ産業組合及ビ農會バカリデナク、幾多ノ農事關係ノ團體デアリマス、故ニ若シ幸ニ出來得ルナラバ、是ガ一ツ若クハ二ツニ整理サレテ、サウシテ色々ナ集會等モ其ノ一ツニ依ツテスルト云フコトニナリマス、農村ノ有力者ノ方、役員ノ方々モ可ナリ兼任サレテ居ルノデアリマスカラ、非常ニ便利ナヤウニ考ヘマス、併シナガラ各々事情ガアルノデアリマシテ、是ガ至急ニ出來ヨウトハ考ヘマセウカ、今日農林協議會ノヤウナ會ガ出來マシテ、産業組合、農會、或ハ水産會、山林會、畜産會等ノ方々ガ御集リニナツテ、既ニ此ノ問題ヲ御協議下サツテ居ルノデアリマシテ、適當ナ機會ニ於テ是ガ旨ク纏ルコトガ出來マスレバ、洵ニ結構ナコトト思ヒマシテ、私共ハ其ノ出來ルコトヲ望ムデ、ソレニ對シマシテ薩ナガラ其ノ出來ルコトヲ新ツテ盡力致シタイト思ツテ居ルノデアリマス

(中略)

午後六時四十分散會

昭和十四年三月十三日
午後一時十分開議

○添田委員長

ソレデハ會議ヲ開キマス……

ヘラレマスノハ、市場ノ設置ヲ致サレマスル地區ノ範圍ト云フヤウナモノガ、先ヅ第一ニ考ヘラレル地區デゴザイマス

○山田委員

サウ致シマス、此ノ市場ト云フノハ内地ニダケ作ル、北海道ダケニ作ルト云フコトニナレバ、臺灣ヲ除ク地區ダト云フヤウナ、サウ云フ大キイコトニ承知致シテ宜シウゴザイマセウカ、今一ツハ第一條ノ免許ヲ受ケルコト云フコトニナツテ居リマスガ、十一條ノ免許ヲ受ケル場合ニハ、取引ノ種類ニ依ツテ免許ヲ受ケルコトニナツテ居リマスガ、此ノ第一條ノ方ノ免許ヲ受ケル際ニモ、營業ノ種類ニ依ツテ免許ヲ受ケルコトニナリマスレバ、人ニ依ツテ買入、賣渡或ハ媒介ト云フヤウナモノヲ兼ネテヤルコトモ、或ハ一ツノ業務ヲヤルコトモ勝手ダ斯ウ云フコトニナリマセウカ、或ハ米穀業者ト云フ許可ヲ受ケルト云フコトニナリマセウカ、ソレカラ今一ツハ、現在米穀業ヲ行ツテ居ル者ハ悉ク許可ヲ與ヘルト云フ御方針デアラウ、斯ウ思ツテ居リマスガ、今後新規ニ開業ヲシタイト云フ者ニ對シテノ許可ハ、與ヘナイト云フ御方針デアリマセウカ、其ノ邊ニ付テ一寸御聽キ致シタイト思ヒマス

○周東政府委員

第一點ニ付テハ、大體御話ノヤウニ業態別ニ許可ヲ致ス積リデアリマス、ソレカラ第二點ニ付キマシテハ、大體只今營ンテ居リマスル者ニ付キマシテハ、許可ヲ與ヘルノデアリマスガ、將來ニ向ツテハソレデハ絕對ニ許サヌノカト云フ御話デゴザイマスガ、ソレハ其ノ地方ニ於ケル米穀ノ買入、賣渡等ノ業ニ携ツテ居リマスル者ノ分布狀況、米穀ノ消費狀況移入取引狀況ト云フヤウナモノヲ考慮シマシテ、許可ヲ致シテ

參ル譯デアリマスカラ、必ズシモ許可ヲ致サナイ譯デアゴザイマセズ

○山田委員 尙ホ念ノ爲ニ御聽キシテ置キマスガ、サウスルト業態別ニ許可ヲ與ヘルト云フコトニナリマスガ、米ヲ買入レル者ハ同時ニ賣渡ス者デアリ、或ハ賣買ノ仲介ノ業ヲヤルト同時ニ、自分デモ賣買ノ衝ニ當ルト云フヤウナコトガアリ勝チナンデアリマスカラ、是等ノ兼業ヲシテ色々ナ營業ヲヤリタイト云フ者ニ對シテモ、御許可ニナリマセウカ

○周東政府委員 ソレハ小賣業或ハ卸賣業、媒介業ト云フヤウナ業別ニ許可ヲ致シテ參ルデアリマス

○山田委員 兼業ヲ許サヌデアスカ

○周東政府委員 兼業モ勿論許シマスガ、其ノ場合ニ於キマシテハ別々ニ許可ナシテ行ク、斯ウ云フコトニナリマス

○山田委員 其ノ次ニ御聽キ致シタイトハ、第五條ノ地區ハ市場毎ニ認可ヲ受クベシト云フコトニナツテ居リマスルシ、命令ニ依ツテ地區ヲ決定スル、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此ノ「市場毎」トアルガ、是ハ全國ニ何箇所位許可ニナリマスカ、其ノ許可スル場所ハ、今ノ所テハ何處々々ノ御見込デアリ、御豫定デアルカ、ソレヲ御聽キ致シタイト

○周東政府委員 只今ノ所ハ差當リ現在市場ノアリマスル場所ナリ、其ノ縣ヲ考慮ニ入レテ居リマスガ、實施ノ場合ニ於キマシテ、能ク地方ノ事情ヲ考慮致シマシテ、其ノ間多少ノ變更ガアルコトハアラウカト考ヘテ居リマス

○山田委員 此ノ類似ノ施設ヲ爲ストカ、或ハ其ノ施設ニ依ツ

テ取引ヲ爲スコトヲ得ズト云フ規定ガアルノデアリマスガ、此ノ類似ト云フノハ如何ナルコトヲ指スカト云フコトニ付テ、御聽キ致シタイトデアリマス、是ハ實例ヲ申上ゲナケレバ分リマセヌガ、例ヘバ私共ノ地方ニ二郡或ハ三郡位ガ合同ヲシテ販賣組合ト云フモノヲ作ツテ、其處ニ大ナル倉庫ヲ置イテ、三萬五萬ト云フ米ヲ集メマシテ、サウシテ其ノ地方ノ商人ガ十人或ハ二十人ト云フ工合ニ、月ニ六回トカ八回トカ決メテ集リマシテ其處ニ取引スル、其ノ取引ノ狀態ハ、或ハ入札賣チスルコトモアリ、或ハ口難チスルコトモアリマシテ、値段ヲ決定スル、決定スレバ其ノ値段ニ依ツテ其ノ日ノ賣買ヲ終了スル、斯ウ云フ賣買ヲ今現ニ行ツテ居ル所ガアリマスガ、是ハ市場行爲等ニ付テハドウ云フ風ニ御覽ニナリマセウカ

○周東政府委員 農業倉庫等ガ、只今御話ノヤウナ仕事ヲ致シマス場合ニ於テハ、五條ノ第三項ノ關係ニハ入ラナイデアリマス、隨テ類似施設ヲ爲シタコトニハナラナイデアリマス、大體此ノ類似施設ノ問題ハ此ノ法規ニ依ツテ出マスル勅令等テ定メマスル取引ノ仕方ニ隨ツテ行フ賣買取引ト云フモノト同様又ハ類似ノ施設ヲ爲シ、又ハ其ノ施設ニ依リ取引行爲ヲ致スル場合ヲ指スデアリマス

○山田委員 此ノ市場ト云フノガ、自然生産地ニ在ル市場ハ賣ノ市場トナリ、消費地ニアル市場ハ買ノ市場ト云フコトニナルノデアリマスガ、此ノ各市場ト市場トノ間ノ、所謂市場ノ機能ヲ異ニシテ居ルト云フヤウナ市場ガ、澤山出來テ來ルト云フヤウナ結果ニナリマスルガ、是ガ實際ノ取引上カラ考ヘマスルト

今日マテノ所テハ各地方ノ生産地カラ或ハ全販聯ノ手ニ依リ、或ハ問屋ノ手ニ依ツテ米ガ出來ルト同時ニ、ソレガ消費者ニ近イ團體ニ入ル、元ノヤウニ米ヲ東京ヘ持ツテ來テ澤山積ンデ置イテ、ソレヲ一々倉敷ヲ掛ケテ、或ハ小運送ヲ掛ケテ賣買スルト云フコトガ漸次少クナツテ參ル、今日ノ所テハ生産地ノ農業倉庫或ハ商業倉庫ニ在ル物ヲ直接需要者ノ手ニ送ルト云フコトガ多クナツテ來タデアリマス、此ノ地方ニ市場ガ出來、此ノ地方ノ所謂賣市場ニ米ガ集マル、更ニ消費市場ニ米ガ集マルト云フ事ニナリマスル、米ノ運搬ニ對シテ重複ナル移動ガ行ハレ、更ニ取引ニ付キマシテ重複ナル移動ガ行ハレルコトニナリマシテ、取引ガ圓滑ヲ缺キ經費ガ餘計ニナルノデアリナイカト云フコトヲ心配スル、其ノ點ハドウ云フコトニナリマスカ

○周東政府委員 米ノ賣物ヲ必ズシモ市場ヘ持ツテ來テ、其處デア米ノ受渡ヲスルト云フヤウナ積リデアゴザイマセヌ、ヤハリ御話ノヤウニ米ノ引渡ト云フモノト、賣買行爲ト云フモノハ別ニ考ヘテ居リマスカラ、御話ノヤウナコトハ起ラナイモノト考ヘテ居リマス

○長野委員 一寸關聯シテ……只今ノ類似ノコトデアリマシガ例ヲ舉ゲテ申シテ見マスルト、販賣組合ガ倉庫ニ米ヲ千俵持ツテ居ル、ソレヲ販賣スルニ付テ地方ノ人ガ十人ナリ十五人ナリ商人ガ集ツテ居ル、サウスルトソレヲ入札ノヤウナモノニ依ツテ現在賣ツテ居ル、其ノ行爲ハ類似行爲デアルカナイカト云フコトヲ、先刻カラ御聽シテ居ルモノト私ハ考ヘマス、其ノ點ニ付テ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 ソレハ農業倉庫等ニ於テヤツテ居ル行爲ニ付キマシテ、大體ハ單一ノ賣手即チ農業倉庫ノ所ヘ多數ノ買受人ガ集マツテ來テ居ルト云フヤウナ狀況デアリマシテ、是ハ本法ニ定メマスル市場——不特定多數ノ買手ト、不特定多數ノ賣手が集マリマシテ、其ノ間ヲ取纏メルト云フヤウナ市場トハ違ツテ考ヘテ居リマス

○山田委員 其ノ點ニ付テ今一度ハツキリ致シタイト思ツテ居リマスガ、ソレナラバ實際ヲ申上ゲマス、私共ノ方ニ磐城購販聯ト云フノガアリマス、是ハ農業倉庫デアリマスルカラ色々ナ人ノ米ヲ澤山扱ツテ、同時ニ金融モ致シテ居リマス、サウスルト其ノ米ノ中ニハ脇カラ買入レタ米モアリ、生産者ノ委託米モアル、産業組合ノ委託米モアル、其ノ中テ其ノ地方ノ商人ガ集リマシテ、脇カラ買受ケタ米モ賣リマシタリ、又自家入用ノ米ヲ其處カラ買ヒマシタリ、種々ナル取引ガ其ノ中デア行ハレル、サウ云フ場合ニ殆ド市場ト類似ノ取引ト私ハ思ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ差支ナイト云フコトニナリマセウカ

○周東政府委員 販賣組合若クハ農業倉庫ニ於キマシテノ販賣ハ、御承知ノ通り是ハ生産者ノ生産致シタ米ヲ共同販賣致スノデアリマス、御話ノヤウニ外カラ買ツテ、ソレヲ更ニ賣ルト云フ行爲ハ産業組合ニハ許サレナイ行爲ト思ヒマス、ソレハナイト思ヒマス、隨ヒマシテ生産者ノ生産致シタ米ヲ經メマシテ賣手ガ一ツテ、其處ヘ買手が多數集マリマス、ソレハ本法ニ謂フ市場トハ違フデアリマス、本法ノ市場ハ先程申シマシタヤウニ不特定多數ノ賣手ト、不特定多數ノ買手トガ集マリマシテ、

アルト思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○周東政府委員 此ノ點ハ一律ニ市場ニ於ケル買買取引ニ依ツテ生ズル違約ニ對シマシテ賠償ノ責任ズルト云フコトハ、實際問題トシテ市場毎ニ違フ譯デアリマス、例ヘバ實物市場等ニ於テハ此ノ賠償ノ責任ズル必要ガナイ、主トシテ延市場等ニ於テ其ノ責任ヲ負ハシムルコトガ適當デアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘマスノデ、市場毎ニ賠償ノ責任セシムルヤウ監督上サセテ行キタイ、斯ウ云フコトテ違約ノ場合ニ賠償ノ責任ジ得ルト云フ規定ヲ置キ、而シテ其ノ實際ニ於テハ定款等ノ規定ニ依リマシテ取引ノ種類ニ依リマシテ、賠償ノ責任ヲ負ハシメルヤウニシテ行カウ、斯ウ云フ建前カラ此ノ規定ヲ置イタ譯デアリマス

○山田委員 此ノ第五十四條ノ株主デアリマスガ、現在ノ取引所或ハ米穀市場等ニ株主ノ優先權ヲ與ヘルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ優先權ヲ與ヘタ結果ハ、此ノ會社ガ政府ト取引所ト云フ一部ノ人ノ株主テ成立ツト云フヤウナ結果ニナリハシナイカト云フコトテ虞レルノデアリマスガ、國策會社ト云フモノニシテ作ル以上ハ、普通のニ株主全國ニ持つテサウシテ此ノ會社ニ關與サセルト云フコトノ必要ガ當然アラウト思ヒマスガ、ソレヲ取引所及ビ是マテノ市場ニ優先權ヲ與ヘルノハ、狭イ範圍ノ株主ニナツテシマヒ、株主制限スルト云フヤウナ傾向ニナラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイ

○松村政府委員 其ノ點ハ斯ウ云フ國策會社デアリマシテ、重

シ或ハ積戻スト云フヤウナコトヲ、年々繰返シテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對スル御對策ハ御持チニナリマセヌアセウカ、此ノ點御同致シタイ

○松村政府委員 サウ云フ點ニ付テ遺憾ナコトモ御話ノ通り相當ニアラウト思ヒマス、併シナガラソコマテ立入ツテ今直グニ其ノヤウナ無駄ヲ排除スルト云フコトハ、長イ商習慣ノ上ニ於キマシテハ、一時ニ容易ニ出來ルコトデハゴザイマセヌカラ、此ノ法案以外ノ施設ト相俟ツテ、其ノ目的モ出來ルダケ達成スルヤウニ致シタイト思ヒマス、例ヘバサウ云フヤウナ例カラ申シマス、相當ニ金融ヲ農民ニシテヤリマセヌト、ドウシテモヤハリ米ヲ賣出スノデアリマスノデ、之ヲ長野縣ダケデシカ賣レナイヤウニモ出來ナイト云フヤウナ關係ガアリマスノデ、此ノ配給統制ノ考ヘ方デハ參リマセヌカラ、ソレ等ノ點ニ付テモ相當ニ考慮ハ致シタイト思ヒマスガ、又ソコニ別ノ方法ガアラウカト存ジマス

(中略)

○小平委員 ……第一條ノ規定ニ依リマシテ米穀ノ買賣業者ハ當然入ルダラウト思ヒマスガ、地方ニ於テ心配シテ居ルコトハ、小賣業者竝ニ仲介業者或ハ移出業者ト云フヤウナモノガアリマスガ、是等ハドウ云フ種類ノ許可ヲ與ヘルノデアリマスカ、殊ニ地方ニ於ケル所ノ移出業者即チ問屋デアリマス、是ハ當然市場員トシテノ許可ヲ與ヘルモノト考ヘテ居リマスガ、此ノ點ニ付キマシテ御同シテ置キマス

○周東政府委員 御話ノ點ハ米穀ノ買入若クハ賣渡又ハ其ノ代

役モ大體政府ヲ任命スルノデゴザイマスカラ、株ガ何處ニ集ツテ居リマセウトモ會社ノ目的ヲ達成スルノニハ影響ガナイコトト思ヒマス、隨ヒマシテ是ハ此ノ間モ申上ゲマシタ通りニ、從來取引所ノ株ヲ持つテ居ツタ者ニ大體優先セタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○山田委員 是ハ理事幹事等ヲ推薦スルノハ株主ノ權利デアツテ、理事長及ビ副理事長ヲ政府ガ任命スル、斯ウ云フコトニナルノデアナイデセウカ

○周東政府委員 理事長、副理事長ダケヲ政府ハ任命致シマスガ、其ノ他ニ付キマシテハ株主總會テ選任シタル者ニ就テ政府ガ認可ヲ與ヘルト云フ手續ヲ執ルコトニ致シマス、ソレテ十分ナル監督ハ出來ル、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山田委員 今日ノ米穀事情ノ上ニ於テ非常ナル徒勞ガ行ハレテ居ルノデアリマス、其ノ非常ナル徒勞ト云フノハ、例ヘバ長野縣ノ如キ人口百七十萬ヲ有シテ、田地方七萬町歩ヨリ持つテ居ラナイト云フヤウナ所デハ、縣内ノ生産米ニ對シテモ既ニ三四十萬石モ足りナイ、百萬俵ノ米ガ足りナイト云フ縣デアリマスカ、出來秋ニハ少クモ五六十萬俵ノ米ヲ東京ニ賣出シテ居ル、是ハ單リ長野縣バカリデナク、東北地方ナドハ殊ニ生活ノ程度ガ低イ所デアリマスカラ、自己ノ飯米ヲ悉ク賣出シテ、更ニ夏カラ秋ニ掛ケテ飯米ヲ買入レルト云フヤウナコトヲシテ居ルノデアリマス、斯ノ如キ徒勞ヲ防イデコソ、自給ノ調節ガ取り得ルダラウト思ツテ居リマスガ、是ハ全國ノ二見タナラバ非常ニ大多數ノモノダラウト思フ、何千萬俵ト云フ米ヲ或ハ運出

理若クハ媒介ノ業務ヲ行ヒマス者ニ付テ爲シマスル許可ト、ソレカラ市場員ニナリマス場合ニ於ケル免許ト云フモノトハ別デゴザイマス、隨ヒマシテ御話ノ點ハ先ヅ第一條ニ依ル許可ヲ受ケマシタ者ガ、更ニ市場員トナリマス場合ニ於キマシテハ、市場員トシテノ免許ヲ又別ニ受ケル譯デゴザイマス

(中略)

○小平委員 ……市場員トシテノ許可ハ別ニスルト云フコトデアリマシタガ、今ノ御豫定ト致シマシテハ、地方ノ移出業者ニハ市場員ノ御許可ヲナサル方針デアリマスカ、或ハ御許可ヲナサラヌ方針デアリマスカ

○周東政府委員 此ノ點ハ市場ノ開設ノ場所ト云フモノト關聯シテ決スル問題ダト思ヒマス、隨ヒマシテ大體地方ニ於キマシテ、市場ガ設置致サレマス箇所ニ於テノ移出問屋ト云フモノハ恐ラクハ市場員トシテノ免許ガ與ヘラレルモノト考ヘテ居リマ

(中略)

○小平委員 ……本法ノ第二十九條ノ附帶事業ト致シマシテ、雜穀、大豆、肥料等ヲ扱フト云フヤウナコトニナツテ居リマスルガ、是ハ坊間傳フル所ニ依リマスルト、農林省トシテハ斯ウ云フ風ナ仕事ハヤリタクナイト云フヤウナ考ガアリマシタガ、商工省ノ方カラノ非常ナル希望ニ依リマシテ、此ノ條文ヲ入レタト云フヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、其ノ間ノ消息ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 ソレハ私カラ申上ゲテ置キマスガ、只今御質

問ノ點ハ全然左様ナコトハゴザイマセヌ、商工省カラ註文ヲ受ケテ農林省ガソレニ應ジタト云フヤウナ從來ノ關係ハ全然ナイノデゴザイマス、唯今日デモヤハリ米ノ取引所ニサウ云フモノヲ附帶シテヤツテ居ル所モアリマスカラ、其ノ意味ニ於テ加ヘタト云フニ過ギマセヌ、此ノ間モ本會議ニ於テ大臣モ御答ヲ致シテ居リマシタガ、之ニ關シマシテハ全ク商工省ノ註文ダトカ農林省ノ註文ダトカト云フヤウナコトハゴザイマセヌ、左様御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小平委員 其ノ點ハ能ク分リマシタ、次ニ此ノ市場ノ市場員ト云フモノハ、サウ致シマス米穀ヲ扱フ市場員ヲ以テ之ニ從事セシムルノデアリマスカ、或ハ肥料ノ如キ別ナ商品ニ付キマシテハ、肥料商ヲ市場員トシテ指定ナサル御考デアリマスカ此ノ點ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス、尙ホ登場スル所ノ肥料ハ何ヲ登場サセルコトニナリマスカ、勿論吾々ノ考ト致シマシテハ統制肥料ト云フモノハ、別ニ是ハ此ノ場ニ掛ケル必要ハナカラウト思フ、公定値段等モ決定致シテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フモノハ市場ニ於テ扱フベキモノトハ考ヘテ居リマセヌガ、然ラバ何チ之ニ登場サセルカト云フコトニ、先ヅ以テ吾々ハ疑問ヲ持ツノデアリマス、先ヅ大豆粕、粕、魚粕或ハ油粕ト云フモノヲ登場スルコトト考ヘマスガ、其ノ邊ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、伺ツテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 第二十九條ノ第二項ノ附帶市場デアリマス、之ニ掛ケルモノハ何カト云フ御質問デアリマスカ、是ハ先程政務次官カラモ御話ヲ申上ゲマシタヤウニ、現在ノ米穀市場ガ附

トニ致シマス、最高ト最低ト云フモノハ御決メニナル御考デアルカ、是ハ放任シテ、幾ラ高クナツテモ構ハヌ、或ハ幾ラ安くナツテモ構ハヌト云フヤウナ趣意デオヤリニナルカ、米穀ノ市場ノヤウニ最高最低ト云フモノヲ抑ヘル考デアルカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○周東政府委員 特ニ此ノ市場ニ於テノ肥料ニ付テ、最高最低價格ヲ決メルト云フヤウナ積リハ、只今ノ所ハゴザイマセヌ

○小平委員 ……次ニ御意見ヲ承リタイコトハ、本法第六條ニ依リマシテ米穀市場ノ買買取引ハ差金決済ヲ許サナイト云フコトガ原則ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスカ、未著物並ニ延取引ニ對シテハ差金決済ヲ許スト云フコトニモ解釋ガ出テ居ルヤウデアリマス、是ハ明ニ私ハ投機行爲ヲヤハリ繼續シテ現在ノ投機市場ノ儘實行シ得ルノデアナイカト考ヘルノデアリマスカ、此ノ點一ツ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、一體日本ノ主要食糧タル米ガ投機ノ具ニ供サレルト云フコトハ甚ダ遺憾デアルト云フコトハ皆サンカラ本議場ニ於テモ、或ハ委員會ニ於テモ論議サレテ居ツタノデアリマス、私共全ク同感デアリマス、併シナガラ折角斯ウ云フ新シイ所ノ統制法ガ出來マシテモ、亦モ之ヲ投機ノ具ニ供スルト云フコトハ、懸々斯ウ云フ風ナ新シイ法律ヲ出シタ意義ガナイノデアナイカト私共考ヘルノデアリマスカ、此ノ點ニ付テドウ云フ御考デアリマスカ、承ツテ置キマス

○周東政府委員 御尋デゴザイマスカ、此ノ度ノ會社ヲ設ケ

帶的ニ行ツテ居ルモノニ付テハ、急速ニ是ガ變ルコトハ不便デアラウト云フコトトテ、入レテ居ル譯デアリマスカラ、自ラ現在市場ノ扱ツテ居ル範圍ト考ヘラレル譯デアリマス、御話ノヤウニ大豆粕ト云フヤウナモノガ主ナモノニナルト考ヘマス、ソレカラ第一點ノ御尋デアリマスカ、此ノ市場ノ市場員ハ何カト云フ御話デアリマス、是ハ米穀市場ノ性質ト致シマシテ、米穀商ニ限リ積リテ居リマス

○小平委員 只今ノ御答辯ハ能ク分リマセヌカラ、モウ一遍繰返シテ御尋致シタイト思ヒマス、市場員ハ米穀市場員ノミニ限ツテ之ヲ扱ハセルト云フ御意見デアリマスカ、又大豆粕ノ方ハ肥料ノ部額ニ屬スルノデアリマスカラ、肥料商ヲモ市場員トシテ認メルト云フコトデアリマスカ、其ノ點ヲハツキリ伺ヒタイ

○周東政府委員 附帶市場ニ於ケル買買取引ニ關シマシテハ、第二十九條第二項ノ命令ニ依ツテ書キタイト思ツテ居リマスカ必要ガアレバ、今ノ御話ノヤウニ大豆粕ヲ取扱ツテ居ル者ニ付キマシテハ、特ニ其ノ附帶市場ノ市場員トスル場合モアルカト考ヘマス、是ハ第二十九條ノ第二項ノ命令ニ於テ指示致シタイト考ヘマス

○小平委員 只今ノ御答辯ニ依リマスト、現在市場ニ於テ取扱ツテ居ル大豆粕ノ如キモノヲ先ヅ以テ登場スル、斯ウ云フ御話デアリマスカ、將來ハ大豆粕バカリデナク、他ノ一般肥料ヲモ御扱ヒニナルト云フ順序ヲ進マウト云フ御考カドウカ、其ノ點ヲハツキリ御伺シタイ、尙又假ニ豆粕ヲ先ニ登場スルト云フコ

マシテ市場ニ於テノ取引ニ付キマシテハ、實物取引ト延取引ト未著物取引ト三ツヲ認メマスコトハ、御話ノ通りデアリマス、而シテ延取引ト未著物ニ付キマシテハ、只今御話ノヤウニ、命令ノ規定スル所ニ依リマスカ、差金決済ヲ認メル譯デアリマスカ、唯此ノ兩方ノ取引ノ仕方ニ付キマシテハ、從來ノ清算取引ニ於ケル取引ノ仕方トハ、内容ガ餘程變ツテ參ルノデアリマスカ、差金決済チ或ル一部限ラレタル場合ニ於テ認メマスカケレドモ、之ニ依ツテ從來ノヤウナ非常ナ投機的行爲ガ行ハレルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、即チ少シク説明サシテ戴キマスナラバ未著物取引市場ニ於キマシテハ、大體銘柄等級又見本ニ依リマシテ相對賣買ノ方法ニ依ツテ取引ヲ致シマス、而シテ此ノ場合ニ於キマシテ、最初ノ賣方ト最後ノ買方トノ間ニ於キマシテハ、必ズ約定ノ期限内ニ於テ現品ト代金ノ授受チスルトコトニナツテ居リマス、隨ヒマシテ此ノ方ニ於キマシテハ、大體ニ於テ從來ノヤウナ差金決済ト云フモノハ起ラナイト思ヒマス、但シ未著物ニ付テ、賣方ガ十五日以内ニ市場ニ於キマシテ、買方ガ現ハレマシタ時ニハ、既ニ到着前ニ之ヲ賣ル場合ガアリマス、而シテ其ノ者ガ更ニ最後ノ買方ニ賣ルト云フヤウナ場合ガ起ツテ參リマシタ時ニ、期日ニ至リマシテ其ノ中間ノ買方ニ付キマシテ、殊更ニ現品ノ受渡チ爲シ、更ニ代金ノ決済等ヲ爲サシメマスコトハ、徒ニ取引ヲ複雑ニ致サセマスカラ、ソレ等ノ中間ノモノニ付キマシテハ、順次簡易決済ノ方法ニ依リマシテ、差金ノ決済ノ方法ヲ行クト云フコトニ致シタ次第デアリマス、最初ノ買方ト最後ノ買方トノ間ニ於キマシテハ、必ズ是

ハ現品ト代金ノ授受ヲサセルト云フ建前ヲ執ツテ参リマスノテ未著物ノ取引ニ付キマシテ、一部左様ナ限定セラレマシタ場合ニ差金ノ決済方法ヲ認メマシテモ、左程投機的行爲ガ行ハレルヤウニハナルマイト、考ヘテ居ル次第アリマス、ソレカラ然ラバ延取引ノ場合ハ如何ナル關係ニアルカト云フ問題アリマス、此ノ取引ニ於テモ從來ノ清算取引市場ト異リマシテ、其ノ賣買對象トシテ考ヘテ居ルコトハ銘柄等級別又ハ組合セ銘柄ト云フモノニ依リマシテ、相對賣買ノ方法ニ依ツテ取引ヲ致シテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ從來ノ清算取引市場ニ於ケル取引ト異リマス點ハ、銘柄等級別ノ取引ニ付テハ類似致シテ居リマスガ、併シナガラ清算取引ノ方ニ於ケルガ如ク、標準米ニ依ル格付ハ代用制ヲ認メテ、廣ク如何ナル米ニ於テモ取引ガ出來ル、賣方ガ賣ツタ米ヲ買方ガ取引取ル場合ニハ、其ノ選擇權ハ賣方ニアツテ如何ナル米ヲ渡サレカ分ラナイト云フヤウナ、廣イ意味ニ於ケル代用制ト違ヒマシテ、此ノ場合ハ組合セ銘柄ノ範圍ニ於キマシテハ、多少代用制ガ起ルノアリマスケレドモ、其ノ點ハ非常ニ範圍ヲ限局シテ參ル譯デアリマス、サウ云フコトト、ソレカラ相對賣買ノ方法ニ依ツテヤリマシテ、而モ受渡シ期日前ニ於キマシテハ、其ノ差金ノ決済ヲ認メナイ、隨ヒマシテ或ル場合ニ轉賣行爲ハ行ハレマスケレドモ、ソレヲ若シモ市場ニ於ケル實情ニ依ツテ買戻スト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、從來ノ清算取引市場ニ於ケルト同様ナ買戻ハ認メマセヌ、唯別ニ新シク買ヒノ玉ヲ建テルト云フヤウナコトハアリマシテモ、從來ノヤウナ期日前ニ於テ轉賣買戻

ヲ行ヒ、賣リト買ヒトノ玉ヲ決済シテ無クシテシマフト云フコトハ認メナイノデアリマスガ故ニ、從來ノヤウナ單ニ米ノ受渡シ初メカラ目的トセズニ、差金ノ授受ノミテ目的トシタヤウナ行爲ハ、自ラサウ云フ關係ニ於テハ除カレルノデアリマス、唯受渡シ期日ニ於キマシテハ例外トシテ差金ノ決済ヲ認メル、斯ウ云フ範圍ニ於キマシテハ、稍々從來ト似テハ居リマスガ、ソコマテ至ル經過ニ於キマシテ、期日前ニ於ケル差金決済ハ之ヲ認メナイ、更ニ受渡シ物ニ付キマシテ從來ノヤウナ廣イ代用制ハ認メナイ、ソレカラ地方ニ於キマシテ大體相對賣買ノ方法ヲ探ルト云フヤウナコト、及ビ是ハ未著取引市場ニ於キマシテモ、延取引市場ニ於キマシテモ共通スル問題デアリマスガ、大體ソコニ入ツテ参リマス市場員ト云フモノガ總テ原則トシテ米ノ受渡ニ付テ實際ノ利害ヲ有シ、又實際ノ必要ヲ持チ、米穀取扱業者或ハ生産者團體ト云フモノガ、其ノ市場ノ市場取引員トナツテ動イテ參ルノデアリマスカラ、從來ノ様ニ單ニ差金ノ授受ダケテ目的トシテ、米ノ取引ニハ實質上何等利害關係ヲモ有シナイ米屋以外ノ方ノ參與シテ居リマス市場トハ、餘程違ツテ參ラウカト考ヘマス、是等ノ事情ヲ綜合致シマシテ、新シイ市場ニ於キマシテハ、未著物及ビ延取引認メテ、ソコニ必要ナル限度ニ於テ差金決済ヲ認メマシテモ從來ノヤウナ投機取引ガ非常ニ行ハレルモノトハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、唯然ラバ何故ニ延ト未著物ヲ認メルカト云フ話ニナルカト思ヒマスガ、是ハ何處マテモ此ノ會社ノ行ヒマス取引ハ、實物ノ出現ニ應ジテ實物ノ取引ヲ原則ト致シマスケレドモ、ヤハリ場所的時間的ニ

實物ノ大量賣買ヲ致シ、需給ノ統合ヲサセルト云フ結果ニ於キマシテモ、ソコニ多少ノ先物ノ取引ヲ認メル、或ハ未著物ノ取引ヲ認メルト云フコトガ、需給ノ圓滑ヲ期スル上ニ於テ必要ナル、之ヲ單ナル現物市場ナドニ於キマシテ、五日以内ダケニ取引ヲ限定致シマス、却テ配給ノ圓滑ヲ害スル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、茲ニ延又ハ未著物ノ取引ヲ、或ル程度時間的ニ餘裕ノアル先物ノ取引ヲ認メマシテ需給ノ統合ヲ圖リ、米價ノ平均ヲ保タセル、斯ウ云フ意味合ニ於キマシテ現物ノ取引ガ主デアリマスガ、ソレヲ完全ニ行ハシメテ行ク爲ニ、斯ウ云フ兩方ノ取引ヲ認メタ譯デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

○小平委員 此ノ問題ハ委員會開始以來、皆サンカラ御質問ガアツタヤウニ私ハ拜承致シテ居ルノデアリマス、只今モ御説明ヲ承ツタノデアリマスガ、ドウモ私共ハ此ノ投機ヲナイト云フ御説明ニ對シテハ、マダ承服ガ出來ナイノデアリマス、然ラバ此ノ先物ニ對シテ賣買高ハ御制限ヲナサル御考デアリマスガ、詰リ銘柄取引或ハ組合セ取引ニ依リマシテ賣買スルノデアリマスガ、其ノ先物ハ幾ラ以上賣ツテハイカヌト云フヤウナ制限ヲナサル御考デアリマスガ、或ハ賣方買方トニ何百萬石ノ建値ヲシテモ宜シイ、此ノ點ニ付テハ制限ヲシナイ、斯ウ云フ御考デアリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、或ル程度ノ取組高、賣買高ノ數ノ制限ニ付テハ致サナケレバナラヌカト考ヘテ居リマス

○小平委員 ドノ位ノ額ノ制限ヲサレル御考デアリマスガ

○周東政府委員 是ハ各市場毎ニ其ノ市場ニ出廻リマス數量等ヲ考ヘテ決メタイト思ヒマスノデ、只今具體的ニハマダ申上ゲル程度ニ達シテ居ラヌヤウナ事情デアリマス

○小平委員 只今ノ御説明ニ依リマス、本法ハ實際ノ必要ニ應ズルモノヲ以テ賣買ヲサセルノダ、斯ウ云フコトガ再三御言葉モアツタヤウデアリマスガ、私ハ此ノ實際取引ノ狀況カラ考ヘマスルト、途中テ轉賣スレバ宜シイノデアリマスカラ、本當ハ米ノ要ラナイ人ガ、借金ヲシテ清算取引ヲヤルト云フ考ヲ持ツ者ガ、相當ニ此ノ市場ヲ利用シテ出テ來ルト思フノデアリマス、其ノ點ハドウ御考ニナリマスガ

○周東政府委員 此ノ點ハ先程申シマシタヤウニ、今度ノ市場員ニ付キマシテハ、其ノ資格ヲ定メテ免許ヲ致シマス、其ノ市場員ヲシテ取引セシメルコトガ大體ノ原則デアリマス、其ノ市場員ガ米ノ取引ニ一切關係ヲ有シ、又必要ノアル人デゴザイマスノデ、御話ノヤウナ場合ハ少カラウト思ヒマス

○吉植委員 委員長、一寸ソレニ關聯シテ——今ノ未著物ノ場合ニ轉賣サセル必要ハ、ドウ云フ所カラ生ジテ來マスガ、御同致シタイト思ヒマス

○周東政府委員 未著物ノ取引ハ、度々申上ゲマシタヤウニ、大體十五日以内ニ受渡期日ヲ定メタ時デアリマシテ、其ノ十五日以内ニ賣方ガ賣リマシタモノヲ、更ニ其ノ期間内ニ必要ニ應ジ、他ニ買手が出テ参リマシタ場合ニ、ソレヲ賣ルコトモアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、其ノ爲ニ別ニ其ノ期間内ニ於ケ

ル轉賣ヲモ認メテアリマス

○吉植委員 サウ云フ際ニ、ソレヲ禁止スルト、米ノ供給ノ不圓滑ヲ來スト云レ實害ガ伴フノテゴザイマセウカ、ソレチ一寸承リタイ

○周東政府委員 市場員ガ實物市場ヘノ供給ヲ豫定致シマス爲ニ、市場員相互ノ間ニ於テ、未著物取引ノ中間テ、横ノ賣買行爲ガ行ハレル必要ガアルト思ヒマハ、十五日ノ間ニ實物市場ヘノ供給ノ代位ヲ考ヘマシテ配給ノ圓滑上、豫メ見込ヲ立テテ、横ノ賣買行爲ノ行ハレルコトヲ豫想シテ、考ヘテ居ル譯デアリマス

○吉植委員 ドウモハツキリシナイヤウデスガ、例ヘバ私ガ米ヲ五千石買ツタ、旁々五千石賣ツタ、其ノ米ハ此處ニハナイガ十五日經ツト此處ヘ來ルト云フ契約ニ於テ、其ノ間ニ投機ヲ目的トシテ、先物主義ニ依ツテ利益ヲ目論ム者以外ニ、其ノ米ヲ横カラ渡ツテ行ク必要ハナイト思フ、若シ是ガ二箇月モ先ノ先物デアリマス、其ノ間ニ左様ナ必要ガアルカモ知レマセウカドウモソコノ所ガハツキリシマセウカ、モウ少シ分ルヤウニ説明シテ貰ヒタイノデス

○新倉政府委員 御話ノ點ハ一應御尤テゴザイマスガ、實際ノ現物取引ハ五日以内ノ受渡ト云フコトニナツテ居リマス、例ヘバ東京ニ現貨ニ米ガゴザイマシテ、ソレヲ取引シマス、五日以内ニ受渡ガ完了出來マス、併シナガラ實際取引シマス場合ニハ、必ズモ東京ノ倉庫ニ米ガゴザイマセウカ、九州米ヲ買付ケルト云フ場合ニハ、買付ケテソレヲ引渡ノ期間、運送ノ期間、或

ハ其ノ他ノ色々ナ關係テ、五日以内テ受渡ヲ完了スルコトハ事實上困難テゴザイマス、隨ヒマシテ斯ル遠隔ノ地ノモノヲ受渡ス場合ニハ、現在ニ於キマシテモ二週間位ハ掛ルノガ相當ゴザイマスノデ、サウ云フ品物ニ付テハ五日以内ノ受渡ヲ十五日ニ週間位マテ延バシテ、實物ノ取引ニ相應セシムル必要ガアル其ノ爲未著物ヲ認メマスノテ、決シテソレヲ投機ノ具ニ供スルコトハ、殆ド絕對ニナイト申上ゲテモ差支ナイト思ヒマス

○吉植委員 今ノコトテ之ニ對スル説明ハ能ク分ツテ居リマスケレドモ、其ノ間ニ事情ガ生ジテ、轉賣シナケレバナラヌト云フ理由ガ分ラナイ、ソレヲ聽イテ居ルノデス、實例ヲ舉ゲテ言ツテ下サイ

○新倉政府委員 例ヘバ九州ノ米ヲ東京テ契約ヲ致シマス、契約ヲシマシテカラ引渡スマデニ、五日ト云フコトテハ到底引渡セナイト云フ點ハ御諒承テ戴イタト思ヒマス、サウナリマスト假ニ十日ナラ十日ト致シマシテ契約シマシテモ、現貨ノ品物ヲ引渡ス十日マテノ間ニ、或ル程度價格ノ騰落ガゴザイマスカラ、其ノ場合ニ「ビー」ナラ「ビー」ノ人ニ賣リ、「ビー」ガ「シー」ニ賣ルコトガ、實際上現在ニ於テモゴザイマス、又價格ノ騰落ハ、今後ノ米穀市場ニ於テモ全然ナイ譯アハゴザイマセウカ、所謂延取引ニ於キマシテモ、公定價格ノ範圍内テハ米ノ價格ノ騰落ハアリマス、隨ヒマシテ小サナ幅ノ騰落ハ常ニソコニナルノテゴザイマス、サウ云フ點ヲモ考ヘマス、十日ナラ十日ト云フ間ニ、「エー」ガ「シー」ニ賣ツタモノハ、必ズ「シー」ニ賣ラナケレバナラナイト云フコトテナシニ、其ノ間ニ

答願ヒタイ

○松村政府委員 其ノ點ハ非常ニ重要ナ點デアリマス、之ニ投機ヲ絕對ニ禁絶スルト云フコトハ、實際ノ上ニ於テハソレガ理想デアリマスケレドモ、サウ云フ譯ニハ行カナイト思ヒマス、ナセナラバ五日渡ノ正米ノ取引ニシマシテモ、尙且ツソコニ投機ガ行ハレル、色々ノ方法テ投機ハ出來ルコトデアリマスカラ絕對ニ之ヲ禁絶スルノダト云フコトハ私共考ヘテ居リマセウカ、但シ過去五箇年間ニ一億石ノ取引ヲシナガラ、實際ノ受渡シハ五百萬石ニ過ギナカツタト云フヤウニ、米ヲ博奕ノ道具ニ使フト云フガ如キ投機ハ絕對ニイケマセウカ、出來得ル限り之ヲ抑壓シマシテ、米ノ圓滑ナル配給ヲ圖リ得ル最少限度ニ、其ノ投機ヲ抑壓、抑制シタイト云フノガ本法ノ目的デアリマシテ、或ハ是マテノ答辯ハ言葉ガ足りナカツタノカモ知リマセウカ、全然投機ヲ禁絶スルト云フ所マデハ、此ノ法律ニ於テハ考ヘテ居ナイノテゴザイマスカラ、左様御承知願ヒタイト思ヒマス

○小平委員 政務次官ノ率直ナル答辯ニ感謝ヲ致シマス、最初カラサウ云フ御意見デアリマスナラバ、私共ハサウ許イ事ヲ御質問シナイ、米穀局長ノ御答辯ニ依リマス、ドナタノ質問ニ對シマシテモ、是テ絕對ニ投機ハ排除出來ルノデアアル、サウ云フ投機ノ賣買ハ米ノ市場テハ行ハレナイダラウト云フ御答辯デアリマシタノデ、ドウモ私共不可解ニ思ツテ質問ヲシタノデアリマスガ、政務次官ノ仰シヤルヤウニ、或ル程度マデハ配給ノ調節上已ムテ得ナイ、初メカラ斯ウ云フ率直ナル御答辯デアリマスルナラバ、私共ハ其ノ質問ヲシナイノデアリマス、尙ホ序

「ビー」ガ入りマスコトモ、實際ノ取引ノ圓滑ニハ役立つデアラウト云フ考テゴザイマス、逆ニ言フトソレハ必ズ「エー」カラ「シー」ニ賣ツタ場合ニ、中間ニ「ビー」ガ入ラナイヤウニスル方ガ、寧ろ投機ト云フ要素ガ全然ナクテ宜イデハナイカト云フ御考デアラウト思ヒマスケレドモ、ソレハ先程モ申シマシタヤウニ、米ノ需給ノ圓滑ヲ圖ル方面カラ申シマス、ヤハリ「ビー」ガ入ル方ガ圓滑ヲ期シマス爲ニ宜イコトモアル、投機ニ流レテハナラナイト云フ點ハ、全ク御趣旨ノ通りダト思ヒマスケレドモ、十幾日ノ間ニ投機ヲスルコトハ、殆ド實際問題トシテ出來ナイト思ヒマスノデ、差支ナイト考ヘル次第デアリマス

○吉植委員 只今ノ御話ハドウモヤハリハツキリシマセウカ、ト云フノハ本法ガ投機ハイケナイト云フノデ、投機性ヲ根本カラ排除シテ居リマスノニ、甲カラ乙ニ渡リ、乙カラ丙ニ更ニ渡ルト云フ状態テ、米價ノ騰落ニ依ツテ中ニハ賣リタクナル人ト買ヒタクナル人トアル、之ヲ許スコトニナルト即チ投機性ヲ認メテ居ルコトニナリマシテ、本法ノ精神ト根本ニ背反スルヤウニ私ハ考ヘマス、併シ是以上ハ御尋シテモ議論ニナリマスカラ御尋ハシマセウカ、ドウモ吾々ハ左様ニ認定セザルテ得ナイヤウニ思ヒマス、此ノ點ヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ終リマス

○小平委員 私ハ尙ホ其ノ問題ニ付テ御伺シマスガ、就キマシテハ投機ハ絕對排除シタイ、政府ハ斯ウ云フ確タル御精神テセウカ、或ハ又サウ云フ精神テハアルガ、此ノ間ニ於ケル轉賣ヲ許サナイト米穀需給ノ圓滑ヲ缺クガ故ニ、或ル程度マデハ投機ヲ許ス、斯ウ云フ御考テゴザイマセウカ、此ノ點ヲハツキリ御

ニ御同致シマスガ、市場ニ於テ買入スル政務貯蔵米、竝ニ臺灣米ハ生産者團體ヲ排除スルコトハ出来ナイト思フデアリマスガ、此ノ點ハドウ云フ風ニ解釋シテ居ラレマスカ

○周東政府委員 御話ノ通りデゴサイマシテ、販賣組合ト云フモノノ性質ハ、組合員ノ生産シタモノヲ共同販賣スルト云フ建前デアリマス、外カラ他人ノモノヲ買取ルト云フ事柄ハ、其ノ性質上出来ナイコトニナツテ居リマスカラ、御話ノ通りデゴサイマス

○松村政府委員 小平君ニ一寸御断リ申上ゲテ置キマスガ、私ノ答辯ト米穀局長ノ答辯ト違ツタヤウニ御聽ニナツタカモ知レマセヌケレドモ、局長モ勿論投機ヲ全然禁絶スルト云フ意味デナクテ、抑制出来ルト云フ意味ヲ説明シテ居ラレタノデアリマシテ、是ハ抑制出来ル理由ヲズツト御話ニナツタノデアリマスカラ、局長ノ答辯ト私ノ答辯ト食違ヒガアルト御考ニナリマス、ソレハ實際ハ左様デナイノデゴサイマスカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○小平委員 諒承致シマシタ、次ニ御尋致シタイコトハ、市場員デナイ所ノ米穀商人ハ、其ノ地區内又ハ地區外ニ於テ、市場ヲ經由シナイテ買入スルコトガ出来ルカドウカ、是ハ市場員ノ資格ノナイ地方ノ仲介業者或ハ小賣業者ト云フモノハ非常ニ之ヲ心配シテ居リマス、吾々ハ市場員デナイカラ、地區内デモ地區外デモ買入ハ出来ナイノデハナイカ、サウナルト米穀業者ハ全然失業デアルト云ウテ非常ニ心配シテ居リマスガ、此ノ點ハツキリ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

備ナリ支店、出張所ト云フヤウナモノヲ、地域的ニ擴大シテ行クコトニナリマス、是ハ定款ノ變更ナドノ問題ガアルト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニハ同様能ク地方ノ事情ヲ考慮シテ決メテ行キタイト思ヒマス

○小平委員 尙ホ御同致シマスガ、全販聯ヲ市場員トシテ一方ニ認ムルコトハ、地方ノ買市場ニ於テハ集荷市場トシテノ意義ヲ失フ、産販聯ト全販聯ノ關係ニ依ツテ、地方買市場ノ意義ヲ耗失スルト思フデアリマスガ、當局ハドウ御考ニナリマスカ、全販聯若クハ縣販聯ガ市場員トシテ入ルノデスカラ、是等ノ機構ヲ持ツテ居ル團體ガ地方ノ市場ニ於ケル集荷ヲシヨウト云フ場合ニ於テハ、是非非常ニ迅速ニ而モ確實ニ集荷ガ出来ルト私ハ考ヘテ居リマス、サウ云フコトニナルト、現在マデアリマスガ、詰リ時勢ノ然ラシムル所デアラカラシテ、商人ハ潰レテモ宜シイト云フ御考デアルカ、其ノ點チ一ツ御同致シテ置キマス

○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ、米穀ノ地方ノ集荷或ハ販賣ト云フモノノ機關ニ付テ、特ニ整理チスルヤウナコトヲ本法ハ考ヘテ居リマセヌ、唯新シイ市場ニ本法ノ目的デアル所ノ、正米ノ取引ヲ集中セシムルコトノ意味合ニ於キマシテ、米穀ノ取扱ヲ爲ス者及ビ生産者團體ト云フモノチ、市場員トシテ入レルト云フコトヲ定メタノミデアリマス、隨ヒマシテ是等ノモノノ集荷取扱數量ハ、大體ニ於テ現狀ノ數量ガ動イテ

○周東政府委員 御話ノ通り非市場員ハ、地區内ニ於テモ地區外ニ於テモ自由ニ買入ハ出来ヌノデゴサイマス

○小平委員 次ニ産組ト米穀商人トノ摩擦ハ其ノ最大原因ハ、産組ガ商人ノ行フ配給範圍ニ入り込ンテ、白米ノヤウナモノノ小賣マデモヤルト云フ所ニアルト考ヘテ居リマスガ、今回ハ日本米穀株式會社ノ市場員トシテ、生産者團體ガ最高ノ配給機關ニ携ルノデアリマスカラ、斯ウ云フヤウナ中小商人トノ地方ニ於ケル摩擦ヲ防グ意味ニ於テ、生産者團體ガ白米ノ小賣竝ニ卸ノヤウナ、消費者直接ノ買入ヲスルコトヲ、制限若クハ停止スル御意思ガアルカドウカト云フコトヲ御同致シテ置キマス

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ、第一條ノ許可ヲ受ケル必要ノアル者ノ範圍ヲ定メル場合ニ於キマシテ、新シク販賣組合ガ白米小賣ヲ爲ス場合ニハ、此ノ許可ヲ受ケル制度ニ致シタノデアリマスカラ、之ニ依ツテ其ノ地方毎ニ白米ノ販賣取引ノ上ニモ、白米小賣商等トノ關係ヲ能ク考慮シテ許可不許可トヲ考ヘテ行キタイト云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、此ノ點ハ只今ノ御話ノ趣旨ニ歸シテ居ルト考ヘマス

○小平委員 サウスルト、本法ニ依ツテ産業團體ガ既ニ白米ノ小賣業ヲヤツテ居ル場合ニ於テ、現在ノ其ノ施設ヲ擴大強化スルト云フヤウナ場合ニ付テハ、政府ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、此ノ點チ御同致シマス

○周東政府委員 現在ノ販賣組合ガ白米ヲ個々ノ家度ニ小賣シテ居ル場合ニ付キマシテハ、ヤハリ一應本法ノ第五十九條ノ關係ニ於テ認メテ行ク積リデアリマス、唯其ノ場合ニ於テ色々設

行クノデハナイカ、斯様ニ考ヘマス、勿論自然ノ發達ト云フヤウナコトニ於テ取扱數ガ變ツテ參ル分ハ、是ハ此ノ市場ノ設置ト否トニ拘ラナイ問題デアリマスノデ、私ノ方デハ只今ノ狀況ニ於テ此ノ販賣組合ヲ市場員ト致シマシテモ、之ニ依ツテ米穀商等ニ左程影響ヲ與ヘルモノトハ考ヘテ居ラナイノデゴサイマス

○小平委員 次ニ御同致シテ見タイコトハ、實物市場ニ於ケル賣入ハ買一方ノ市場員デアツテ、賣市場ニ於テハ買方ハ一般誰デモ購入ガ出来ル仕組デアリマス、而シテ生産消費直接結付キ得ルト考ヘルノデアリマスガ、當局ハドウ御考デアルカ、又買市場ニ於テハ買方ハ市場員デアツテ、賣方ハ誰デモ賣リ得ル仕組デアリマスガ故ニ、全販聯ヲ市場員トシテ認メルコトハ、產地ニ於テ移出業者、買集業者ニ非常ナ影響ヲ與ヘル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付テハドウ云フ風ニ考ヘルカ、大體前ニ質問申上ゲタコトト大差ナイノデアリマスカラ、ソコデ斯ウ云フ風ニ仕組ニナツテ來ルト私ハ思フノデアリマス、將來産組ガ非常ナ發達チスル、ソコデ地方ノ商人ハ非常ニ寂レテシマフト云フヤウナコトニナツテ行クノデアリマスカラ、サウ云フ場合ニ於テハ、商工、農林兩省ガ協議ノ上、市場員ノ許可ト云フ問題ニ付キマシテ、相當ナ手心ヲ加ヘル必要ガアルノデハナイカ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、先以テ商工省當局カラ其ノ點ニ付テ承リタイト思ヒマス

○新倉政府委員 産業組合ト商人トノ關係ニ付キマシテ、本會社ノ問題ヲ繞ツテ種々ナル問題ガアリマス、唯根本ノ方針ト致

シマシテハ、本會社ノ設立ニ依リマシテ、産業組合ト商人トノ
間ノ摩擦相剋ヲ増加スルト云フヤウナコトノナイヤウニシタイ
ト云フコトハ、商工、農林一致シタ意見デゴザイマス、隨ヒマ
シテ今ノ市場員ノ問題ニ付キマシテモ、是ガ許可ニ當リマシテ
ハ、先程申シマシタヤウナ根本ノ趣旨カラ此ノ市場員ノ問題ヲ
考ヘテ、ソコニ摩擦相剋ノナイヤウナコトヲ許可ヤツテ行ク
ト云フ風ナ考ヘ方ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ個々ノ具體的
ノ市場ニ付テドウカト云フコトハ、其ノ各市場ノ實情ニ依ツテ
色々違ツテ來ルコトト思ヒマス

○小平委員 農林當局カラモ御答テ願ヒマス

○周東政府委員 只今商務局長ガ御話ニナリマシタト同様ナ趣
旨テ私共考ヘテ居リマス、ソレカラモウ一步附加ヘテ置キマス
實物市場ト云フモノニ付キマシテ、賣市場或ハ買市場ト云フ様
ナ、一方的ニ必ズシモ限定スルモノハ、只今ノ所考ヘテ居リマ
セヌ、地方ノ實情ニ應ジマシテ、市場ト云フモノガ賣一方ノ市
場ニナル場合モアリマセウシ、或ハ買一方ノ市場ニナル場合モ
アリマセウシ、或ハ賣買共ニ行ハレル市場ニナルカト思ヒマス
○小平委員 次ニ私ハ現在ノ公定米價ガ最高三十五圓四十錢、
最低二十九圓九十錢ハ、現在ノ諸物價ニ比較致シマシテ適當テ
アルカ、ドウカト云フコトヲ御伺シテ見タイト思フノデアリマ
ス、此ノ問題ハ再三委員各位カラ御質問ガアリマシテ、之ニ對
シテ政務次官カラモ或ハ大臣カラモ御答辯ガアリマシタノデ、
私共モ大體ハ諒承致シテ居ルノデアリマスガ、ドウシテモ附ニ
落ちナイ所ガ私ハアルノデアリマス、此ノ間ノ政務次官ノ御答

辯ニ依リマシテモ、現在ノ米價ハ他物價ニ比較シテハ相當低イ
カモ知ラヌ、併シ低物價政策ノ今日ニ於テ之ヲ變更スルコトガ
出來得ナイ、併シ將來ハ非常ナ物價ノ變動ニ依ツテ、或ハ變更
ヲシナイトモ限ラヌト云フコトノ御答辯ガアツタヤウニ私ハ記
憶シテ居リマスガ、其ノ點尙ホ一ツハツキリ政務次官カラ御答
テ願ヒタイト思ヒマス

○松村政府委員 或ハサウ云フ風ニ御聽取ニナツタカモ知レマ
セヌケレドモ、政府ノ低物價政策ノ爲ニ、他ノ物價ガ上ツタニ
拘ラズ、只今米ダケ抑ヘテ居ルト云フヤウナ意味ヲ御答テ申シ
タ譯ハナイノデゴザイマシテ、去年ノ十二月ニ決メラレタ時
ニハ、相當ノ事由ガアツテ決メラレタコトト存ジマスガ、若シ
モ將來他ノ農業生産資材等ニ於テ非常ニ上リマストカ、若クハ
一般物價ガ上リマストカスル場合ニ於テハ、米ノ基準米價ノ變
動モ考ヘナクテハナラナイ、但シソレニナリマスマデニハ、出
來得ル限リ農業用ノ資材及ビ一般物價モ出來ルダケノ抑制ヲ致
シマシテ、出來ルダケ米ノ生産費モ安クシテ、米ト他ノ物價ト
ノ鈎合ガ取レルヤウニ努メルコトガ、先ヅ第一義デアリマスガ
若シモソレガ出來ナクテ、他ノ物價ガ上リ、農業用資材ガ上リ
マシタ場合ニ於テハ、米バカリ安クシテ置ク譯ニハ行キマセヌ
カラ、サウ云フ場合ニハ是ハ相當ニ考慮ヲセネバナラヌ、斯ウ
云フ風ニ申シタノデゴザイマス、左様御承知ヲ御願致シマス

○小平委員 能ク分リマシタ、然ラバ私ノ考トシテハ、米穀統
制法第二條ニ依リマシテ、物價ノ變動甚シキ場合ニハ、此ノ公
定米價ハ當然變更サルベキモノト考ヘマスガ、是以上非常ニ物

ガ上ツタ場合ニハ云々ト云フヤウナ御話ガゴザイマスガ、一體
現在ノ物價ハ農村ノ生産スル米ニ比較致シマス、殊ニ生産資
材ニ最モ關係ノアル肥料ノ如キハ、四割カラ五割ノ値上デアリ
マス、其ノ他總テノ農産ノ資材ト云フモノガ、四割カラ五割位
ノ値上リニナツテ居ルト私ハ思フ、此ノ場合ニ於テ、此ノ統制
法ノ第二條ガ發動出來ナイト云フコトハ、私ハ不可思議ニ堪ヘ
ナイト思フノデアリマスガ、政務次官ノ仰シヤル物價ノ變動ア
ツタ場合ニハト云フ其ノ程度ハ、ドノ程度ニマテ物價指數ガ上
リマシタ場合ニ、御訂正ニナル御考テ御持チニナツテ居リマス
カ、其ノ邊承ツテ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 其ノ點ハ非常ニ困難ナ問題デアリマシテ、有
ユル物價ノ騰貴ガ、此ノ邊へ來タナラバ基準米價ヲ變ヘネバナ
ラヌカト云フ、其ノ程度ト其ノ時期トハ、之ヲ明確ニ、此ノ點
へ來タナラバ上ケ、此ノ時期へ來タナラバ上ゲルト云フコトハ
是ハ農林大臣ガ最善ノ考慮ヲ拂ツテヤルコトデアリマスノデ、
今此處マテ來タカラ、此處デドノ程度へ來レバ上ゲルト云フコ
トハ、其ノ決定ヲ致シマスマデ、其ノ斟酌ノ點ヲ申上ゲ兼ネル
ノデゴザイマス

○小平委員 併シ大體私ハ此ノ米穀統制法ノ第二條ノ發動ノ場
合ニハ、公定米價ガ決定シタ時ヨリモ、大體諸物價ガ何割位上
ツタ場合ニハ——殊ニ生産資材ガ上ツタ場合ニハ、此ノ公定米
價ヲドウシヨウトカ云フヤウナ、不斷ニ御考ガアルト信ジテ居
リマスガ、唯漠トシテ統制法ノ第二條ヲ立法シタモノデアリマ
シテ、大體サウ云フ豫定ト云フモノハナイノデアリマスガ、ド

ノ位上ツタナラバ公定米價ハ變更シナケレバナラヌト云フヤウ
ナ案ガアルカ、一昨日カ政務次官ノ御答ノ中ニ斯ウ云フコトガ
アツタノデゴザイマス、殊ニ現在ノ米ノ所有高ヲ調べ見ルト
中小農家ハ持つテ居ナイテ、大農家ハ持つテ居ル、中小農ハ米
ヲ買ツテ食ハナケレバナラヌヤウナ時代ニ遭遇シテ居ルカラ、
此ノ際上ゲルト云フコトハ、一寸困難ダト云フ御答辯ガアツタ
ヤウニ聞イテ居リマスガ、併シ私ハサウ云フ問題ハ心配スル必
要ハナイト思フ、御説ノヤウニ、中小農ハ買ツテ食フ時代ニ遭
遇シテ居リマス、仍テ私ハ農村ノ資材ノ物價ガ非常ニ高クナツ
テ居ルヤウデアリマスカラ、公定米ハ上ゲベシ、サウ云フ困
者ニ對シテハ、政府ノ貯藏米ヲ安ク拂下ゲテ、サウシテ一方農
民ヲ救済スルト云フコトハ良イ方法チヤナイカト考ヘルノデス
ガ、此ノ點ニ關スル御所見ヲ伺ヒマス

○松村政府委員 實ハ是ハ以前ノコトデアリマスケレドモ、米
穀統制法ノ——米穀法時代デアリマセウガ、基準米價ヲ定メマ
ス際ニモ、其ノ條項ニ付テハ、サウ云フ基準ニ付テノ話モ色々
アツタト聞イテ居リマス、併シナガラ如何ニモソレヲ機械的ニ
決メマスコトガ困難デアリマスノデ、ソレハ農林大臣ノ斟酌ニ
任セル、斯ウ云フコトニセザルテ得ナクナツタ譯ダト承ツテ居
リマス、隨ヒマシテ只今ノ米價ト物價ノ均衡、其ノ時期等ニ付
キマシテ、私ガ此ノ間申上ゲマシタコトハ、唯是等モ一ツノ考
慮ノ中ニ入レラレルト申シマシタダケデアリマシテ、必ズシモ
絶對ニヤルトカヤラヌトカト申上ゲタコトハゴザイマセヌガ
ソレ等ノ騰貴ノ程度及ビ其ノ時期ニ付テ考慮致シタイ、斯ウ思

ツテ居ル譯テゴザイマス

○小平委員 米價問題ハ是以上申上ゲマスト議論ニナリマスカ
ラ申上ゲマセヌ、私ハ色々同僚各位ノ御質問ニ對スル政府ノ所
見、尙又私ガ本日政府ニ對シテ質問ヲ致シマシタ御答辯ニ依リ
マシテ、本法ヲ考ヘテ見マスルト、ドウモ本法ハ適正ナル米價ヲ
以テノ取引ヲ戰時下ニ於テ致サセ、或ハ圓滑ナル米穀ノ取引ヲ
サセルノダト云フ事ガ、主眼ノヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシ
テ、私共モ非常ニ期待シテ居タノデアリマスガ、此ノ結果ヲ豫
想致シマスト、私ハ更ニサウ云フ效果ハ舉ラナイチヤナイカ、
却テ複雑多岐ナル所ノ法律ニ依リマシテ、米穀ヲ地方的ニ偏在
セシメ、非常ナ不圓滑ヲ來ス、斯ウ云フ風ニ考ヘ居ルノデアリ
マシテ、最後ニ達スル目的ハ何デアルカト云フコトニナルト、
是ハ甚ダ失禮デアルカモ知レマセヌガ、私ハ現在ノ清算取引所
ノヤウナモノヲ救済スルト云フ案ニ過ギナイデハナイカト云フ
コトニ考ヘテ居ルノデアリマス、ソコヲ熟ク考ヘテ見マス、
本法ガ提案サレルヤ、此ノ利害關係者ハ、之ガ通過ノ曉ニハド
ウナルデアラウカト云フコトヲ、非常ニ關心ヲ持ツテ見テ居リ
マス、殊ニ一番關係ノアル生産者團體、即チ個々ノ農家或ハ地
方ノ米穀商、或ハ地方ノ移出業者ト云フヤウナ方面デモ、非常
ニ是ハ關心ヲ持ツテ居ツタノデアリマスガ、其ノ後此ノ法律ノ
全貌ヲ知りマシテカラ此ノ方ト云フモノハ、餘リ此ノ問題ニ關
心ヲ持タナイ、農村ニハ斯ウ云フ法律ヲ布クガ爲ニ、私ハ非常
ニ取引ガ複雑ニナツタト思フ、産業組合モ市場員トシテハ認メ
ラレマスガ、市場ノ内外ニ於ケル取引其ノ他ノ方面ニ於キマシ

テモ非常ナ面倒ナコトガ出來テ參リマスノデ、是モ餘リ私ハ豫
期以上ノ利益ヲ得ルコトハドウカト考ヘテ居リマス、尙又地方
ノ米穀ヲ扱ツテ居ル商人ハ、是モ非常ニ取引ガ複雑ニナツテ來
マシテ、吾々ハドウナルデアラウト云フコトヲ非常ニ心配シテ
居ル、併シ此ノ法律ノ施行セラレルコトヲ考ヘテ見マス、是
ハ又自分等ノ生活擁護ドロコトハナイ、却テ非常ナ反對ノ結果
ヲ招來スルコトニナリマス、斯ウ考ヘテ見マスルト、生産者モ
或ハ生産團體モ、或ハ地方ノ商人モ、移出業者モ、殆ド私ハサ
ウ期待スルダケノ宜イコトハナイト思フ、之ニ依ツテ非常ナ復
雜化ヲ生ジテ、米穀ノ偏在ヲ來ス、私ハ豫期ニ反スル結果ニナ
ルコトハ、火ヲ賭ルヨリ明ナリト考ヘテ居リマス、斯ウ觀ジ詰
メテ見マス、此ノ結果ハドウデアアルカト云フト、現在殆ド處
置ニ困ツテ居ル、悲況ニ陥ツテ居ル清算取引所ヲ救済スルト云
フ外ニ、何モノモナイデハナイカト云フ結論ニ到著スルモノデ
アルト私ハ考ヘテ居リマス、此ノ點ニ對スル政府當局ノ御意見
ヲ伺ヒマス

○松村政府委員 御話ノ通りニ、此ノ法案ニ付テドツチカガ利
益ガアルカト期待シテ居タ者ガアリマスナラバ、是ハ間違ツタ
期待デアリマシテ、私共ハ此ノ案ヲ出シマスノニ、或ハ生産者
ノ團體ダケノ利益ヲ圖ル、或ハ米穀業者ダケノ利益ヲ圖ルト云
フガ如キ、ドツチカニ片寄ル考ヲ持ツテ出シタコトテナカツタ
コトハ御諒承下サルコトト思ヒマス、唯問題ハ、平時ハ勿論テ
アリマスガ、戰時ニ於テ、若シモ此ノ儘ノ取引機構ニ致シテ置
キマス、其ノ場合ニ於テ、萬一米ノ思惑ガ將來起リマシタ場

合ニ、米價ヲ適正ニ保ツテ行クト云フ國ノ必要ナコトガ、或ハ
期待ニ反スルト云フガ加キコトガナイトモ限リマセヌ、今日ノ
場合ニ於テ政府ニモ相當ノ持米ヲ持ツテ居リマスシ、今日ノ米
價ヲ最高最低ノ間ニ保タシメテ、サウシテ國民ノ常食ニ事ヲ缺
カセナイコトニハ勿論自信ガアリマス、御承知ノ通り米ヲ初メ
農業ハ今モ尙ホ天候ニ依存スル所ガ多イモノデアリマスカラ、
サウ云フ場合ガアリマシタナラバ今日ノ取引機構ニ於キマシテ
ハ米價ノ變動ハ相當ニ激シイモノガアツテ、政府ガ現在持ツテ
居リマス米デ、今日ノ統制法ノ制度ヲ抑ヘルコトガ出來ナイト
云フヤウナコトハ、必ズシモ杞憂デアナイト思ヒマス、若シモサ
ウ云フ場合ガアリト致シマシタナラバ、今日國民生活ノ安定ハ
根柢カラ覆サレテ、非常ニ憂フベキ状態ノ參リマスコトハ火ヲ
賭ルヨリモ瞭カデゴザイマスカラ、未ダ天ノ雨降ラザル中ニサ
ウ云フ場合ノコトヲ能ク考ヘテ、サウシテ米ニ對スル投機ヲ全
然禁絶スルコトハ出來ナイマデモ、殆ド投機ニ依ツテ支配サル
ル米價ト云フモノヲ大體實需ニ基ク範圍ニ追ヒ込メテ、最低最
高ノ間ニ價格ヲ保タシムルト云フコトハ、一方米ノ生産ヲ確保
スル爲ニ努力スルト共ニ、今日ニ於テ是非用意シテ置カナクテ
ハナラナイコトデアアル、斯ウ云フ信念カラ致シマシテ此ノ法案
ヲ提案致シタ譯デアリマシテ、決シテ今日ノ取引所ヲ救済スル
ノドウノト云フヤウナ一方ニ偏スル考ヘ方カラシテ、此ノ案ヲ
出シタノデアハナイト云フコトヲ御承知願ヒタイト思ヒマス

○山本委員

同僚諸君ノ質問ニ依リマシテ本法ノ提出セラレタ

（中略）

理由ガ段々明ニナリマシタガ、農林大臣ノ御説ヲ拜聴致シマス
ト、結局本法ノ必要ナ理由、即チ必要性ヲ要約致シマス、第
一ガ國民主要食物デアアル米ノ配給統制ヲ行ツテ、米ノ偏在ニ依
ル國民生活ノ不安ヲ除去スル、第二ハ適正妥當ナ米價ノ維持ニ
依ツテ國民主要食糧品デアアル米穀ノ増産ヲ確保スル、斯ウ云フ
コトニ歸著スルヤウデアリマスガ、勿論所論ノヤウニ米ノ偏在
ノ是正、適正妥當ナル米價ノ維持、米ノ増産確保、此ノ三ツノ
必要ナコトハ疑問ノ餘地ハアリマセヌ、殊ニ現在日本ガ大體一
億萬石ノ米ノ生産デ、消費モ大體之ニ似寄ツタ一億萬石ノ消費
デアアル、人口ガ一方ニ於テ増加シテ行ク、米ノ需要モ増加スル
斯様ナ狀況カラ考ヘマス、ドウシテモ適正妥當ナ米價ノ維持
ト米穀ノ偏在是正、増産計畫、斯ウ云フモノガ必要缺クベカラ
ザルコトハ吾人モハツキリ是認致シテ居リマス、尤モソコデ重
大ナ問題ハ米ノ増産計畫ニアルコトハ議論ノ餘地ガアリマセヌ
ガ、日滿支ヲ通ジタ増産計畫ヲ立テルニシマシテモ、日本ノ三
千萬農民ノ生活ト云フコトヲ考ヘズシテ無茶苦茶ニ増産計畫ヲ
立テルト云フコトガ妥當デアナイコトハ大臣御説明ノ通りデアリ
マシテ、茲ニ實際米穀ノ配給統制ノ必要ガアル、日滿支ヲ通ジ
タ經濟「ブロック」内ニ於テ單純ニ増産計畫ガ立テラレルナラ
バ如何ナル需要ガ起ツテ來テモ之ニ對スル供給確保ト云フ問題
ハ大シタ問題モ起リマセヌ、サウスレバ米穀ノ配給統制ト云フ
問題モ必要ガナクナツテ來ル、然ルニ其ノ増産計畫ナルモノガ
日本ノ農民ノ經濟生活ト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラズ
所ニ、配給統制ノ必要ガアルト云フコトハ私共モハツキリ之ヲ

認識スルノデス、サウ云フ見地カラ本法ヲ提出セラレタモノダ
ト承認致スノデアリマスケレドモ、サウ云フ目的ヲ本法ヲ提出
セラレタト致シマシテ、果シテ政府ガ本法案ノ提出ニ依リマシ
テ所期ノ目的ガ達セラレカドウカト云フコトニ付テハ、大分
色々ノ御質問ガアリ御答辯ガアリマシテ、大體了承致シマシタ
ケレドモ、未ダ疑問ガ解消致シマセヌ、ソコテ二三質疑ヲ試ミ
タイト思フノデアリマス、私ハ第一ニ御尋致シタイノハ本法
提出ノ所期ノ目的ハ、本法ニ依ツテ米穀會社經營ニ依ル市場取
引ヲ擴大強化シテ、漸次一元化ノ配給機構ニ依ツテ、現在ノ配
給機構ヲ變革セントスルノガ主テアルノカ、又ハ單ニ米穀ノ偏
在ヲ是正シテ給配ノ圓滑ト適正價格ノ維持ト云フコトガ主ナ
カ、是ガ今日マデ色々御議論ガアリ、御答辯ガアリマシタケ
レドモ、ハツキリト認識セラレナイ、是ガハツキリト認識セラ
レバ本案ニ對スル業者其ノ他ノ種々ナル反對議論モ大部分解消
スルモノト信ズル、ソコテ私ハ御伺テスルノデスガ、即チ本法
ノ目的トスル所ハ、單純ナ米穀ノ偏在ヲ是正シテ配給ノ圓滑ヲ
期スル、而シテ適正價格ノ維持ヲスルコト云フコトガ本法ノ全部
ノ目的デ、本法ヲ施行スルコトニ依ツテ從來カラアル配給機構
ニ變革ヲ來サウトスルノデアリナイノダト云フコトニ歸著スルノ
カドウカ、其ノ點ヲハツキリト御答辯願ヒタイ、一面ニ於テハ
本法ノ取引所ノ救済ダト云フヤウナ議論マデ出テ來ルノモ、本
法ノ實際所期スル目的ガサウ云フ所ニアルノテナクテ、刻下戰
時體制下ニ於ケル主要食物ノ偏在ヲ是正シテ、サウシテ配給ノ
圓滑ト適正價格ノ維持ニアルノダ、ソレ以外ニハ何等ノ所期ス

者ノ手ニ依リ、而シテ消費者ニ行ツテ居ル配給機構、此ノ二ツ
ノ系統ヲ本法ハ是認シテ居ル、從來モ此ノ機構ニ於テ圓滑ニ米
ノ配給ガ出來テ居ル、此ノ二ツノ系統、大キナ此ノ二ツノ配給
機構ヲ本法デモ認メテ居ル、本法テ其ノ二ツノ機構ヲ認メテ置
イテ、サウシテ一方ニ於テハ米穀會社ガ百數十萬、少クトモ最
低千五百萬ノ民間出資ニ對シテ年六分、即チ九十萬圓ノ配當ヲ
目論ンデ居ル、所ガ產組系統ヲ經テ所謂從來ノ配給デハ、其ノ
機構ニ依ル米ノ實際取扱數量ハ二十數「パーセント」ニ過ギナ
イ、第二ノ米穀業者ノ手ヲ經テ配給サレテ居ル實數ハ七十「パ
ーセント」ヲ超エテ居ル、此ノ二ツノ系統ヲ其ノ儘認メテ置イ
テ、而シテ尙且ツ米穀會社ニ目論見書ニ記載シテアルヤウナ利
益ガ得ラレラレルノカドウカ、舉ゲ得ラレルト云フ目論見書
ル以上ハ少クトモ米穀會社ノ取扱數量ガ從來ノ取扱數量ヨリモ
非常ニ増大スルト云フコトヲ前提トシナケレバ、斯ノ如キ目論
見書ニ記載シテアル利益ハ舉ツテ來ナイ、サウスルト本法實施
ノ目的ガ、米ノ偏在是正、圓滑ナル配給ト云フコトダケテ配給
機構ニ變更ヲ來スト云フヤウナコトハシナイノダト言ハレテモ
ドウモ一般のニ之ヲ見タ時ニサウテハナクテ、法ノ表面カラ見
レバサウ云フ結果ニナルケレドモ、政府ハ本法ノ實施ヲスルト
同時ニ、他面ニ於テハ何カ其處ニ人爲的ニ操作ヲ加ヘテ、米ノ
流レ、從來ノ米穀業者ノ手ヲ經テ流レテ居ル流レヲ、人爲的操
作ニ依ツテ米穀市場ノ手ヲ經ル、即チ本法ニ依ル取引市場ノ方
ヘ流スノデアリナカラウカト云フ疑問ガドウシテモ解消シナイ、
之ヲ解消サレレバサウ云フコトガナイノダ、即チ人爲的の操作ヲ

ル目的ハナイノダト云フコトヲハツキリサレレバ、本法ニ對ス
ル世論モ亦一定シテ來ルト思フ、左様ナ見地カラ此ノ點ニ對シ
テハツキリシタ御答辯ガ伺ヒタイ

○櫻内國務大臣 今山本君ノ御質疑ハ本法ノ趣旨ガ米穀ノ偏在
ヲ規正シ配給圓滑ヲ期スルコトガ目的デアツテ、配給機構ヲ變
更スルノ意思ニ基クモノデアリナイ、斯ウ考ヘルガドウデア
ト云フ風ナ御質疑デアツタト思ヒマスガ、御説ノ通りデアリ
マス、即チ本法案ニ依ツテ市場ガ整理致サレマス結果、之ニ基
テ從來ノ機構ニ從事サレテ居ル方々ガ利便ヲ得ラレル點ハ多少
アルト思ヒマスケレドモ、之ニ依ツテ從來ノ配給機構ガ一大變
革ヲ來ストハ考ヘテ居リマセヌ、又先日來申上ゲマス通り、一
元化ニ集荷ヲヤルコトヲ目標ト致シテ居ルモノデアリマセヌ
即チ度々申シマス通り、所謂生産者團體ト消費者團體ト而シテ
從來ノ米穀配給業者ノ方々ト、即チ三位一體トナツテ圓滑ナル
配給ヲシテ戴キタイ、斯ウ云フノガ本法ノ趣旨デアリマス

○山本委員 大臣カラハツキリト其ノ點ヲ御答辯ヲ得マシタガ
只今御答辯ノ如キ趣旨デ本法ヲ必要トスルノダト云フコトニナ
リマスルト、私ハモウ少シ突込ンテ御尋シタイノデスガ、政府
ハ本法ノ實施ニ依ツテ今御答辯ノ趣旨ノ如キ目的ヲ達スレバ
レテ宜イノダ、ソレダケノ目的デ本法ヲ提出シタノダト言ハ
レテ居リマスガ、結局本法ガ認メテ居ル配給機構ハ二元化デア
ル即チ生産者カラ產組系統ヲ經テ本法ノ米穀市場ヲ經テ消費者
ニ行クト云フ一ツノ系統ト、生産者カラ生産地ニ於ケル米穀商ノ
手ヲ經、而シテ仲介業者ノ仲介ニ依ツテ消費地ニ於ケル米穀業

シナイノダ、シナイデモ米穀業者ノ中テ主ナルモノハ此ノ取引
市場ノ市場員ニナツテ協力シテ來ルノダカラ、自然ニ放任シテ
置イテモ、本法ノ會社ノ取引市場ヲ經由スル米ノ量ガ殖エテ來
ルノダ、ソレダカラ目論見通りノ收入ガ舉ルモノト豫想サレル
ノダ、決シテ人爲的の操作ヲ加ヘ、或ハ本法ニ隱レテ居ル委任命
令ノ權力ニ依ツテ米ノ集荷ヲ擴大強化シテ、取引市場ヘ餘計流
レサセヤウト云フヤウナ自然ニ反シタ行爲ハシナイノダ、斯ウ
云フコトニ歸著致シマスルト、私ハ本法實施ニ依ツテ本法ノ目
論ンデ居ル米穀會社ガ、果シテ目論見書ノヤウナ收益ヲ得
ラレルカドウカ、ドウシテモ認識ガ出來ナイ、出來ナイカラ何
等カノ方法ニ依ツテ人爲的の操作ヲスルノチヤナカラウカ、此處
ガ本法ニ對スル世論ノヤカマシイ所ダト思フノデス、本法ハ決
シテ一米穀取引市場ノ將ニ死ニ瀕シテ居ルヤウナモノヲ救済セ
ンガ爲ニ、此ノ非常時局ニ本法ノ實施ヲ期シタイト云フヤウナ
考ヲ持ツ者ハ、ソレハ持ツ者ノ誤リデ、如何ナル政府ガ出ヨウ
トモ、左様ナ法律ヲ拵ヘヨウ答ガナイ、確ニ是ハ米ノ偏在ヲ是
正スルト、圓滑ナル配給ヲ目論ンテ拵ヘタモノトハ何人モ左
様考ヘマスケレドモ、人爲的の操作ヲ爲サズシテ、自然ニ本法ニ
依ル取引市場ニ米ガ豫期スルヤウナ流レテ來ルカドウカ
ト云フ點ニ付テ、ドウシテモ疑問ガ解消シマセヌ、ソコテ此ノ
點ニ對スルハツキリシタ御答辯ヲ得タイノデアリマス

○櫻内國務大臣 山本君ノ御質問ハ、是ハ誰人モサウ云フ質疑
ヲ起サレル所デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ本市場
ガ出來マシタ後ニ於テ、市場員ガ米穀ヲ取扱ヒマス上ニ於テ、

從來ヨリハ幾多便利ヲ受ケル點ガアリマス、即チ市場員ノ組合等ノ共同ノ力ニ依ツテ、荷受ノ關係其ノ他ニ付テモ從來ノ市場トハ特ニ便利ナ關係ガアリマス、ソレカラ收入ノ中テ、從來ト石數ガ非常ニ殖エルヤウナ操作チスルノデハナイカト云フ御話アリマスガ、自然ニ此ノ市場チ使用スルコトガ便利デアルト云フ關係カラ、市場員ニナツタ人ガ便利チ得テ、其ノ市場員ノ取扱ハレル數量ガ多少或ハ大イニ殖エルノデハナカラウカトモ考ヘマス、併シナガラソレ等ノ收入チ見積ツテアルコトハ、御手許ニ達シテアル通りニ極メテ少額デアリマス、主タル收入ハ其ノ所有チ致シテ居リマス倉庫ノ費用、並ニ將來若シ臺灣米デモ取扱ヒマスコトニナリマスレバ、其ノ取扱ニ依ル收入、又政府米ノ買換等ノ取扱チ致シマス收入、或ハ荷受チ致シマス關係上、一時立替金ニ對スル計理ノ取扱手數量、斯ウ云フモノガ重ツテ參ツテ、此ノ會社ノ基本ハ收入トナルノデアリマシテ、一石四厘ト云フガ如キ極メテ少イ手數量テ全部チ賄ツテ行クコトハ到底出來ナイ關係ニアルノデアリマス、隨ヒマシテ政府米チ取扱ヒマス費用トカ、臺灣米チ取扱ヒマス費用トカ云フモノモ見積ツテアリマスケレドモ又更ニ將來或ハ朝鮮米チ取扱フヤウナコトニナラヌトモ限リマセヌガ、サウ云フコトニナリマスレバ、更ニ或ハ利益ガ増シテ來ルノデハナカラウカ、サウ云フ場合ニ於テハ、利益本位テハ行カナイノデアリマスカラ、手數料其ノ他チ出來ルダケ輕減シテ行ツテ、一般ノ利便チ圖リタイ斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス

○山本委員 大體政府ノ御方針ハ諒承致シマシタガ、實ハ本法

テ、何等カ權力ニ依ツテ之ニ對シ、制限ナリ壓迫ナリチ加ヘラレルノデハナカラウカ、是ガ一ツノ心配デアリマス、モウ一ツノ心配ハ、本法ニ依ル取引市場ニ米穀ノ流レガ少クナツテ來タナラバ本法ノ委任命令ノ範圍内ニ於テ何カ強力ノ命令ナリ或ハ命令ニ近イ壓迫ナリチ生産者ニ加ヘテ、サウシテ集荷率チ舉ゲテ、而シテ本法ニ依ル取引市場ノ取扱米穀ノ數チ増大スルヤウナコトナスルノデハナカラウカ、斯ウ云フ大キナ二ツノ疑問チ持ツテ居リマス、此ノ二ツノ疑問ガハツキリ絕對ニ左様ナ事實無シト云フコトニナレバ少クトモ本法ニ對スル業者ノ一部ノ疑問ガ解消スルト思ヒマスノデ、ハツキリシテ御答辯ガ願ヒタイ

○櫻内國務大臣 只今ノ御話ノ市場員ニナラヌ者ガ出來タラドウデアラウカ、米穀取扱業者ノ中テ市場員ニナラナイ者モ相當アルダラウト思ヒマス、併シナガラ毎々御話申上ゲマス通り、此ノ市場ニ於キマシテハ、從來ノ關係カラ有ユル方面ノ集荷ノ狀態モ分ツテ居リマスシ、又生産者ノ團體モ一々賣リマスヨリハ、此處ヘ來テ賣ツタ方ガ便利デアリマスシ、又從來中繼或ハ集荷チシテ居ツタ米穀業者ア方モ、市場チ離レテ新ニ賣ルヨリハ、從來ノ通り市場テ賣ラレタ方ガ便利デアリマスシ、殊ニ又從來ヨリハ手數料モ下ツテ居リ、種々チ便利ガアリ、殊ニ政府米トカ臺灣米ガ此ノ會社テ取扱ハレルト云フコトニナリマスレバ、相當ノ數ガ始終此ノ市場ニ集マルコトニナリマスノデ、買ヒマス人モ賣リマス人モ、アツチコツチテ相對的ニ致シマスヨリハ此處ヘ來レバ簡單ニ出來ルノデアリマスガ故ニ、私ハ此ノ市場

ニ對シテ業界其ノ他ニ於テ議論ノ種々分レマス點ハ、結局本法ヲ通覽致シマシテ、第一ニ私共ガ疑問ニ思フノハ、今私ガ御質疑申上ゲタヤウナ點ガ結局餘リニ委任命令ノ範圍ガ廣大過ギマシテ、如何ナル命令チ發スルノカ、如何ナル特別命令ガ出來ルノカ、ドウ云フ制限チ加ヘルノカ、チットモ本法テハ分ラヌデアリマス、最近總テノ立法技術ガ進歩シタノカ、退歩シタノカ知リマセヌガ、兎ニ角委任命令ノ範圍ガ甚ク擴大化サレテ居ル、本法モ其ノ例ニ違ハズ委任命令ノ範圍ガ非常ニ廣イ、ソコ業界並ニ識者間ニ色々ノ議論ガ岐レルノデアリマス、ソコテ私ハ紛議ノ分レル主ナル點ニ付テ斯ウ云フ處ガアルノダ、ソレテ本法實施ニ付テ不安ガアルノダ、ソレサヘハツキリスレバ戰時體制下ニ於テ總テ統制ガ必要ナルコトハ議論ノ餘地ハナイ、又議論ガアツテモ議論チシテ居ル時テハナイノデアリマス國民全般ガ協力シテ國家ノ大キナ目的ノ達成ニ邁進シナケレバナラヌコトハ、日本人デアアル限り何人モ異論ガアラウ管ハナイノデアリマス、デアリマスカラ其ノ意味ニ於テ一ツハツキリ御答ガ願ヒタイノデアリマス、一ツハ政府ハ前同僚ノ質問ニ對シテ有力ナル米穀業者ガ協力スルヤウニ勸誘スルノダ、サウスレバ有力ナル米穀業者ハ市場員或ハ取引員ニナツテ、サウシテ此ノ取引市場チ經タ米穀取扱實數ガ殖エテ來ルノダト云フ、答辯チサレテ居リマスガ、米穀業者ガ若シ政府ノ協力勸誘ニ應ゼズシテ、從來ノヤウナ配給系統ニ依ツテ取扱チシタ方ガ色々ノ束縛モ受ケズ、制限モ受ケズ、其ノ方ガ自由ダ、斯ウ云フ立場テ協力チシナカッタ場合ニハ、本法ノ何處カノ委任命令ノ範圍内

ガ從來ノ市場ニ比シテ寂レルト云フガ如キコトハ少シモ考ヘテ居リマセヌ、必ズヤ此ノ市場ハ從來ヨリヨリ以上便利デアリ、又適正デアルト云フコトチ認メラレマシテ、結局米穀ノ移動スル種類ガ此處ニ集マルノデハナカラウカト思ツテ居リマス、ソレテ若シ加入シナカッタ者ニ對シテ、何等カノ壓力チ加ヘルノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、斯様ナコトハ平素ニ於テハ斷然アリマセヌ、唯極端ナ場合、即チ國民ノ生活ガ脅威セラレテ、國民ノ中ニ偏在チシテ米穀チ賣ルコトガ出來ナイヤウナ人ガ出來ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、所謂第四條ノ發動ニ依リマシテ特殊ノ命令チ致スカモ知レマセヌケレドモ、平素ニ於テサウ云フ風ナ命令チ出スト云フガ如キコトハ毫末モ考ヘテ居リマセヌ、隨ヒマシテ市場ニ入ラヌ方ガ利益ダカラト言ツテ市場ニ入ラヌ人モ、或ハ相當アルデアラウト思ヒマス、併シナガラ實際上入ツタ方ガ利益ダト云フコトニナリマスレバ、當然此ノ利益ノ多イ方ニ流レテ來ルノガ人情デアリマスガ故ニ、私ハ相當程度ノ米ガ此ノ市場チ流レルト考ヘテ居ルノデアリマス

○山本委員 大分ハツキリシテ御答辯チ得マシタノデ、本法實施後ニ於ケル米穀取扱業者モ非常ニ安心セラルルコトト存ジマス、即チ通常ノ場合ニ於テハ決シテ政府ハ人爲的操作ニ依リ米ノ流レニ變革チ來サウト云フヤウナ行爲ハ斷ジテシナイ、唯極端ナル場合、即チ米ガ偏在シテ圓滑ナル配給チ缺クヤウナ場合例ヘバ國家總動員法ノ發動ヲシナケレバナラヌヤウナ狀態ニナツタ場合ニハ、本法ノ委任命令ノ範圍内ニ於テ必要ナル處置ヲスルニ過ギナイノダ、隨テ米穀取扱業者モ產地ノ移出間屋モ市

場ニ入ルコトニ依ツテ非常ナ利便ヲ得ル、價格其ノ他ノ點ニ於テモ非常ナ利便ヲ得ラレルカラ、本法ニ依ル取引市場ノ市場員ニナルコトヲ欲シコソスレ、之ニ入ラヌ方ガ都合ガ好イノダト云フヤウナ考ヲ起ス者ハ恐ラクナカラウト云フコトデアリマシテ、其ノ點ハ私モ非常ニサウアツテ欲シト思フ、サウアルコトニ依ツテ初メテ本法ガ所期スル所ノ目的、即チ米ノ偏在是正ト圓滑ナル配給、米價ノ公正ナル維持ト云フコトガ出來ルト思フノデアリマス、是非政府當局ハサウ云フ御方針ノ下ニ本法ヲ實施シテ裁キタイノデ、重ネテ茲ニ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソコガ箇々ノ問題ニ付テ御尋致シマス、ガ、第一ニ本法ニ依ツテ生産者ガ米ヲ賣ル場合ニ、地方ノ單位産組ニ委囑スル、此ノ委囑スル方法ハ本法ノ全體ヲ通ジテ見マシテ、大凡ソ無條件委託ダト思フノデスガ、是ハ無條件委託ニナルモノト解シテ宜シイノカ承リタイ

○周東政府委員 御話ノ通りデゴザイマス

○山本委員 サウスルト一ツ考ヘテ貫ハナケレバナラヌノハ、一體生産者タル農民ハ米ニ限ラズ、自分ノ農産物ヲ愛スルコトハ我子ノ如シ、例ベバ自分ノ近所ノ藪取引所ニ持ツテ行ケバ運賃モ安イシ、費用モ餘計掛ラナイ、ソレデモ一貫目ニ付テ僅カ三錢カ五錢シカ違ハナイニ——ソレヲ本當ニ吾々ガ計數的ニ考ヘレバ、遠イ市場ニ持ツテ行ク方ガ損ナノダ、ソレデモ農民ハ近イ市場ニ持ツテ行カナイデ、態々運賃ヲ掛ケテ遠イ所ノ市場ニ持ツテ行ツテ、而モ自分が附イテ行ツテ多クノ時間ヲ費シテマデモ一貫目ニ付テ五錢ナリ三錢ナリノ高イ値段ニ賣ラウト

原因テハナイカト思フ、私ハ元々百姓ナノデスガ、私ノ方ノ米産地ノ百姓ハドウシテモ之ヲ好マナイ、ドウスルカト云フト、毎日々々農業倉庫カラ來ル其ノ日其ノ日ノ米價ノ相場ニ基イテ適當ナリト思料シタ値段ノ時ニ、農業倉庫ニ賣ル、農業倉庫ハソレヲ其ノ土地ノ米穀取扱業者ナリ何ナリニ販賣シタリ、色々ノ販賣方法ガアリマスガ、サウ云フヤウナ情勢カラ見マシテモ大體生産物ガ幾ラ賣レノカ分ラヌ、成程適正ナル相場ガ取引所ニ於テ立チマスカラ今日ノ相場幾ラ、一週間後ニハドウナル、十日後ニハドウナルト云フ大體ノ見當ハ農民ニ付クデアリマセウガ、ドウモ此ノ無條件委託ト云フノデハ、生産者ノ氣持ニヒツタリ合ハナイ、サウスルト、本法ニ依ル取引所ニ流レテ來ル米ノ數ガ少クナル、餘リ少クナルト勢ヒ人爲的操作デモスルノデアリカト云フ疑惑モ起ツテ來ル、デアルカラ無條件委託ニ付テハ今ノ御説明ダケデアドウシテモ生産者ニ説明出來ナイカラ、モウ少シ具體的ニ御説明願ヒタイト思ヒマス

○周東政府委員 御話申上ゲル前ニ御斷リ致シテ置キマスガ、

農民即チ米穀生産者ノ米ヲ全部産業組合ニ依ツテ扱フノデナイト云フコトハ、御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス、唯今御話ハ、産業組合ノ組合員タル者ノ米穀ノ販賣方法ト云フ事ニ付テノ御質疑デアルト思ツテ、ソレニ限局シテ御話申上ゲマス、組合員ノ生産シタ米ハ大體ニ於テ組合等ノ經營スル農業倉庫ニ入ツテ居リマス、此ノ農業倉庫ノ經營者等ガ、今度ノ制度ガ布カレマスレバ、市場ニ於テ公布サレル價格ニ依ツテ其ノ聯合會ヲ通ジテ市場ニ出ス、斯ウ云フコトニナツテ參ラウカト思ヒマス

スル、是ハ計算ダケデアナイノデス、生産者ノ生産物ニ對スル愛着心ガ此處マテ來ナケレバ、政府ガ幾ラ増産計畫ナドヲ立テテモ、本當ニ米ノ増産ハ出來ナイ、生産物ノ増産ハ出來ナイ、ソコニ農民ノ農民魂ト云フモノガアル、サウ云フ氣持ア居ル農民ニ、産組ノ手ヲ經テ市場ニ出ス米ガ無條件委託ト云フコトニナリ、此ノ無條件委託ニシテ置イテモ決シテ心配ガナイノダト云フコトヲ、ハツキリ理解サセルノハ餘程困難ダト私ハ思フ、此ノ點ニ付テハドウ云フ風ナ説明ヲシタラ宜イノカ、政府當局ノ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 是ハ從來カラ産業組合ノヤツテ居ルコトデア

リマシテ、唯無條件委託デアリマスガ、其ノ代リ大體平均的ニ賣ル、例ヘバ月別平均的ニ順次賣ツテ參ル、サウシテ大體共同計算的ニ此ノ賣買ヲ實行セシメテ行クト云フ風ニ、販賣方面ニ付テ指導ヲ致シテ居リマス、斯ウ云フコトニ致シマスレバ、農民ハ損失ヲ受ケナイ、サウシテ大體普遍的ニ賣ラレテ行クノデアリマス、平均的ニ且ツ共同計算的ニ行ク、斯ウ云フ風ナヤリ方ヲ實行スルコトニ依リマシテ、百姓ニ損害ヲ掛ケナイイテ適當ナ價格ア賣ラセテ行クト云フコトニ指導シテ居ル譯デアリマス

○山本委員 本法實施ニ依ツテ政府ノ所期スルヤウナ米ガ市場

ニ流レテ、適正ナ米價ヲ維持シヨウト云フ此ノ大キナ目的ニ合致スルカドウカ御尋スルノデスガ、從來産組系統ノ手ヲ經テ配給サレタ、此ノ配給機構ニ依ル米ノ取扱ハ實際二十數「パーセント」ニ過ギナイ、ソレハ今私ノ申上ゲタ無條件委託モ一ツノ其ノ際ニ寄託ノ前後ハアリマシテモ、組合員ノ米ハ大體月別平均的ニ賣ラレテ行ク、ソレヲ共同計算ニ依ツテ組合員ノ總テニ損失ノ起ラヌヤウニ賣買代金ノ交付ヲヤツテ行クト云フコトニナツテ參ル、斯様ニ思フノデアリマシテ、産業組合ニ於テサウ云フ風ナコトヲ致シテ居ル譯デアリマス、但シ是ハ原則的ニ合テアリマシテ、特ニ組合員ガ必要ト致シマス場合ニ於キマシテハ、最惠委託ノ方法ニ依リマシテ、モツト極端ニ言ヘバ、時期ヲ指定シテ販賣ヲ委託スル場合モアルノデアリマス、ソレハ禁止シテ居ルノデゴザイマセヌ、併シ組合ノ經營ト致シマシテハ或ル個人ガ倉庫ニ寄託シテ居ル米ヲ自分ダケ或ル時期ヲ指定シ、或ル値ヲ指定シテ販賣ヲ委託スルト云フコトハ經營上非常ナ不便ガゴザイマス、大體ノ理想ト致シマシテハ總テ理事者ヲ信頼致シマシテ、寄託サレテ居ル米ヲ順次平均的ニ、サウシテ市場ニ公定サレタ價格ア賣ツテ行キ、其ノ代リ組合員ノ寄託シタモノニ付テ大體期日ヲ決メマシテ共同計算的ニドレニモ、ドノ組合ニモ損失ノ行カナイヤウニ販賣ヲセシメテ行ク、斯ウ云フコトガ理想デアリマシテ、大體ノ原則トシテ左様ナ指導ヲシテ居ルノデアリマス

○山本委員 大體其ノ點ハ諒承致シマシタ、農業倉庫ノ問題ガ

引類似ノ行爲ニナリマスカナリマセヌカ、序ニ伺ツテ置キマス
○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ先程御答辯ヲ致シマシ
タヤウニ、第五條ノ三項ニ言フ類以ノ施設ニハナラナイ、左様
ニ考ヘテ居リマス、是ハ本法ニ依リマス市場ニ於キマシテハ、
元來大體所屬特定多數ノ買手、所屬特定多數ノ買手が集合致シ
マシテ、其處ニ賣買取引ヲ致シマス場合ヲ指シテ居リマスノテ
農業倉庫ノ如キモノノ販賣ニ付キマシテハ、之ニ入ラナイト云
フコトニ致シテ居リマス

○山本委員 次ニ本法テハ原則トシテ差金決済ヲ禁止シテ、居
リマシテ命令ニ依ル場合ニハ差金取引ヲ認メテ居ル、其ノ命令
ニ依ル差金取引ト云フノハ勅令事項ニ御示シノヤウナ場合ニ限
ラレテ居ル、即チ未著取引、延取引ノ場合ニ限ラレテ居ル、此
ノ二ツノ場合ニ差金決済ヲ認メテ居リマスガ、先程モ此ノ點ニ
付テ色々御質疑ガアツタヤウデアリマスケレドモ、成程政府委
員ノ説明ニ依リマス、此ノ差金決済ト云フコトノ必要性ノア
ルコトハ認メマスケレドモ、其ノ必要性ヨリモ之ヲ認ムルコト
ノ弊害ノ方ガ、ヨリ多クハナイカ、ソレハ御説明ニ依リマス
確ニ差支ナイト承リマシタカラ、重ネテ御説明ハ要リマセンガ
先程ノ政府委員ノ御説明ノヤウナコトデアリマス、サウ云フ
場合ノ差金決済モ必要ニ思ハレマスケレドモ、其ノ御説明ノヤ
ウナ爲ニ必要ナリトスルヨリモ、絶對ニ之ヲ認メヌ、取引市場
ハ現物取引ニ限ルノダト云フコトニシタ方ガ、所謂開取引ノ防
止ニモナリ、延イテハ清算取引ノ類以ノ行爲ヲ無ク
シテ、本當ノ適正妥當ナル米價ノ維持ガ出來ルノデハナカラウ

ウナ状態ニナリマシテ、其ノ結果本法ノ目的ト致シテ居リマス
ヤウナ配給ノ圓滑ヲ期シ難ク、又米價ノ適正モ期シ難イト云フ
ヤウナ事態ガ極端ナ場合ニ生ジテ參リマスレバ、先程大臣カラ
モ御話ガアリマシタヤウニ、其ノ時ハ已ムナク第四條ノ規定ニ
依リマシテ市場外ニ於ケル取引ニ付テノ操作モ致サナケレバ
ラヌカト、斯様ニ考ヘテ居リマス

○山本委員 十一條ノ規定中ニ資格ヲ決メル規定ガアリマスガ
此ノ十一條ノ勅令規定中ニ米穀取引業者ト云フモノガアツテ
此ノ點ハ何處モ質疑應答ガアツタヤウデアスケレドモ、ドウモハ
ツキリ諒承出來マセヌノデ、重ネテ御伺シテ相濟ミマセヌガ、
モウ一應ハツキリシテ戴キタイ、即チ米穀取扱業者中ニハ單純
ナル仲介業者ハ含まヌト云フコトハ、今マデノ御答辯ガ分ツテ
居リマスガ、ソコデ米穀問屋ガ此ノ中ニ入ルノダト云フヤウニ
承ツテ居ルノデスガ、此ノ點何人ニモ分ルヤウニハツキリト御
答辯願ヒタイ

○周東政府委員 其ノ點ニ付キマシテハ先程モ申上ゲマシタガ
第十一條ノ勅令ニ依リマシテ斯ウ云フコトヲ書カウト思ツテ居
ルノデアリマス、本法ノ規定ニ依リマシテ市場員トナリ得ル者
ハ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ業トスル者、ソレカラ米穀ヲ取扱フ産
業組合聯合會、ソレカラ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ業トスル者ノ組
織スル商業組合、主務大臣ノ指定スル者ト云フヤウチ事柄ヲ書
ク積リテ居リマスノデ、其ノ中ノ第一ノ點ニ付テ御尋ト思ヒマ
スガ、御話ノヤウニ卸賣或ハ問屋ト云フヤウナモノハ、當然此
ノ中ニ入りマシテ、免許ヲ受ケ得ル對象ニナルモノト考ヘテ居

ト考ヘルノデスガ、本法ノ此ノ差金取引ヲ是認スル爲ニ、特ニ
開取引ガ増大スルトハ私ハ考ヘマセンケレドモ、元來物價統制
ガ急激ニヤツテ來タ爲ニ開取引ガ行ハレルノハ、是ハ或ル程度
テ是認シナケレバナリマセン、之ヲ絶對ニ防止スルト云フコト
ハ中々困難ナコトデアリマスノデ、國民ノ協力ニ俟タナケレバ
ナラヌ、又緊張ニモ俟タナケレバナラヌ、事變ニ對スル認識モ
増サナケレバナラヌト云フ重大問題ニナツテ來マスケレドモ、
併シ此ノ差金決済ヲ是認スルコトニ依ツテ投機心ヲ煽リ、延イ
テ以テ市場外ニ於テノ開取引ノ差金決済ガ行ハレルコトニナリ
ハセヌカト云フコトガ心配デアリマス、サウスルト折角本法ノ
制定目的ハ公正妥當ナ米價ノ維持ニアルノダ、而シテ配給ノ圓
滑ヲ期スルノダト云フコトニ矛盾ヲ來シハシナイカ、斯ウ考ヘ
マスノデ、サウ云フ場合ニ於ケル開取引ノ防止ニ付キ、取締ニ
付キ、政府ニ於テハドウ云フ對策ガアルノカ、承ツテ置キタイ
○周東政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ先程申上ゲマシタヤウ
ニ、米穀ヲ市場ニ集中セシメマス爲メ、配給ノ圓滑ヲ圖リマス
上ニ於テ已ムヲ得ザル限度ニ於テ、先程申シマシタヤウニ差金
ノ決済ヲ認メテ居ルノデアリマス、是ハ現在ノ所已ムヲ得ナイ
カト思ヒマス、唯今ノ第二點ノ御質問デアリマスガ、大體共
ノ方デハ今マデ申述ベマシタヤウナ方法ニ依ツテ市場へ米ノ主
ナ流レヲ集メマス、サウシテ米ノ取引ヲ致シマスル市場員ニ付
キマシテハ、本法ニ定メル方法ニ依リマシテ市場ニ於テ公定價
格ヲ取引ヲサセヨウト云フ積リデアリマスノデ、若シモ色々ナ
事情カラ致シマシテ市場外ニ於ケル開取引ノ方法ガ眼ニ餘ルヤ

リマス
○山本委員 能ク諒承シマシタ、次ニ本法ニ依ル取引市場ハ約
三十箇所程開設スル豫定ダト云フ政府委員カラノ御説明ガアリ
マシタガ、三十箇所設置スルト致シマシテ、其ノ設置スル場所
ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、若シ前ニ質問ガアツテ御
答ガ既ニアリマシタラ、速記録ヲ拜見致シマスカラ御答ニナラ
ヌデモ宜シウゴザイマス、若シナカッタラ御答願ヒタイ、而シ
テ其ノ標準ハ都會ノ人口ノ數トカ、地域ヲドウ云フヤウニ決メ
テ設置スルトカ、政府ノ大體ノ調ガオアリデアセウカラ、ソレヲ
御示シ願ヒタイ

○周東政府委員 市場ノ設置箇所ニ付キマシテハ、只今ノ所現
在ノ市場ノ在リマスル箇所ニハ大體設置スル積リデアゴザイマス
米穀ノ流通ノ状況、移動ノ状況ト云フヤウチ事柄——即チソレ
ハ當然其ノ地方ニ於ケル人口トノ關係ヲ持ツト思ヒマスガ——
米穀ノ移動状況ト云フヤウチモノヲ考慮シテ設置ヲ致スノデア
リマスカラ、或ハ實施ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ範圍ニ於テ
多少ノ増減ヲ見ルコトガアルカト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ
只今ノ御質問ノ第二點、即チ許可ノ場合ニ於テハドウ云フ標準
デアアルカト云フコトニ對シテハ、同様ニ其ノ地方ニ於ケル米穀
ノ移動状況ガ主ナル標準ノ一ツトナルト思ヒマス

○山本委員 モウ一ツ御伺致シマスガ、政府ハ本法ノ實施ノ目
的ハ、結局米ガ思フヤウニ需要ニ應ジテ増産セラレルモノデア
ナイ、隨テ如何ナル事態ニナツテ來テモ國民ノ主要食物ノ安固ヲ
期シタイ、ソレガ爲ニモ本法實施ノ必要ガアルノダト云フ御答

辯ガアリマシタ、昭和十四年度ニ於テハ約四百萬石ノ米穀ノ増産計畫ニナツテ居ルサウデアリマスガ、其ノ四百萬石ヲ増産スル御計畫ニ付テ、ドウ云フ具體的ノ對策ガアリマスカ、ソレニ關聯シテ二三御尋シタイ點ガアリマス、四百萬石ト云フト、四百萬石ヤ五百萬石ノ米ハ天候次第ニ依ツテハ容易ニ増産ガ出來マス、又天候次第ニ依ツテハ其ノ位ノモノハ容易ニ減收ニナツテシマフ、ソコテ大體今日マテノ日本ノ米ノ生産高カラ平均ヲ取ツテ見ルト、其ノ平均數量ヨリ大體四百萬石ノ増産計畫ヲ立テタモノト存ジマス、其ノ四百萬石ナリ、五百萬石ナリノ増産計畫ニ付テハ、此ノ人的資源ノ不足シ、肥料ノ配給ノ旨ク行カナイ今日ノヤウナ場合デモ、斯ウ云フ方策ヲ斯ウ云フ建前ノ下ニ四百萬石ノ増産計畫ヲ立テタノデアルカラ、必ズ此ノ計畫ハ實施セラレ、其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルノダト云フ御計畫ヲ承レバ仕合セダト存ジマス

○周東政府委員 大體只今農務局ノ方デ計畫致シテ居リマス事柄ヲ簡單ニ申上ゲマス、増産施設ヲ致シマシテハ、先ヅ第一ニ地域別耕種ノ改善基準ノ設定ヲ致シマス、之ニ付キマシテハ、其ノ改善基準ノ設定ヲ實施促進致シマス爲ニ、道府縣ニ指導普及ノ施設ヲ致シ、之ニ對シテ相當ノ金額ノ助成ヲ致スコトニナツテ居リマス、ソレカラ第二ニハ水稻ノ育成施設ノ獎勵ヲゴザイマス、殊ニ是ハ寒冷地帯、東方地方、北海道ニ關スル問題デゴザイマス、是ハ豫メ早ク温床苗代ヲ設置致シマシテ、其處デ普通ノ苗代ヨリ早ク育成ヲ致シマシテ、之ヲ本田ニ移ス、斯ウ云フヤウナ方法ニ依リマシテ増産ノ計畫ヲ立テル、是ハ既ニ十

三曆年、昨年實施ヲ致シマシテ、相當效果ヲ舉ゲテ居ルモノデアリマス、第三ハ病蟲害ノ防除獎勵施設ヲゴザイマス、是ハ稻熱病、螟蟲、泥負蟲ト云フヤウナモノニ因ル被害ガ從來相當ノ石數ニナツテ居リマス、是等ノ當然得ラルベクシテ失ハレテ居リマスル米穀ノ數量ヲ確保致シマス爲ニ、地方別ニ藥劑、或ハ強力ナル噴霧器ヲ購入配付致サセマス爲ニ、相當ノ助成金ヲ交付致ス積リテゴザイマス、是モ亦既ニ十三曆年作ニ付テ一部ハ實施致シテ、其ノ效果ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、ソレカラ第四ハ是等ノ指導普及施設ノ助成ヲ致シマス爲ニ、増産ニ關スル一齊運動、實地指導、或ハ是等ニ關シマシテ講習、講話ヲ行フト云フヤウナ方法ヲ講ジマシテ、計畫ノ實效ヲ舉ゲサセルヤウニ努メテ行クノデアリマス、是等ニ對シマシテ相當ノ助成ヲ致スコトニナツテ居リマス、大體主ナル點ハ以上ノヤウナ方法ニ依ツテ増産計畫ヲ進メテ參ル譯デアリマス

○山本委員 ハツキリ諒承致シマシタ、温床育成ノ方法ヲ採ツテ、即チ陸苗代ヲ拵ヘテ之ヲ冷害地ニ實施シタ結果ノ好成績ヲアツタコトハ、私共モ能ク諒承致シマスガ、温床育成ニ依ル苗ハ多ク病蟲害ニ罹リ易イ、殊ニ螟蟲ノ害ヲ非常ニ受ケ易イ、是ハ實際ガサウナノデアリマス、此ノ點ハ政府當局ニ於テ螟蟲被害ノ豫防ニ付テ特ニ農民ニハツキリト認識ヲサセテ、折角出來テ居ルモノガ害蟲ノ爲ニ被害ヲ蒙ルコトノナキヤウ一段ト御努力ガ願ヒタイト云フ希望ヲ申述ベテ置キマス、ソレカラ實地ノ指導デアリマスガ、大體今日マテノ政府當局ノヤリ方ハ、ドウモ「ベーパープラン」デ、洋服技術屋ノ指導デ、實際ハ旨ク

行ツテ居リマセヌ、洋服ヲ著テ靴ヲ履イテ農村ニヤツテ來テ、忙シイ農民ヲ學校ニ集メテ、病蟲害ノ驅除ハ斯ウダ、アアダ、有機肥料ノ製造、自給肥料ノ製造ハ斯ウダト言ウテモ、中々農民ノ頭ニハ入ラナイ、殊ニ私共ノ田舎ノ農民デアリマス、技術員ノ言フヤウナムヅカシイ言葉ハ、中々ハツキリト吞込メナイ、ソレガ爲ニ澤山ノ金ヲ掛ケテ指導サレテモ、其ノ目的ヲ達シテ居ラナイ、是ハ小サナ問題ノヤウデアリマスガ、國家全體ノ立場カラ考ヘテ行クト、實際ノ指導ト云フモノハ非常ニ重大ナモノデアアル、ソコテ政府當局ニ望ンデハマナイノハ、實際ノ指導者ノ養成デアアル、即チ各町村ニ於ケル模範的農民ヲ指導員ニ委託シテ、之ニ實質的ノ實地指導ヲ本當ニヤラセルヤウニスル、サウスレバ官吏ヲ任命シテ、官吏ノ技術員ガ行ツテ説明スルヨリモ、ドレ程ヨリ強イ效果ガアルカ知レナイ、是ハ私ガ實施シテ見テ其ノ效果ノヨリ絶大ナルニ驚イテ居ル、私ハ自分ノ郷里ニ經濟的多收穫作會ト云フモノヲ組織シテ、單純ニ米ヲ餘計取ルト云フコトデアナシニ、日本ノ農村デ其ノ地方ノ土地ニ於テ、反ニドレダケノ肥料ヲ加ヘ、ドレダケノ努力ヲ加ヘテ、ドレダケノ米ヲ取ルト云フコトガ最モ經濟的デアアルカト云フコトノ「ポイント」ヲ見付ケヨウト云フ爲ニ、本年デ八箇年繼續シテ居リマスガ、其ノ結果ニ依ルト單純ナ増産計畫デハイケナイ、實際ノ指導員、即チ其ノ土地ニ於ケル農民ノ實際ノ指導者ガ當ル、其ノ指導ヲ受ケルノガ一番效果のデアアルカラサウ云フヤウナ指導方法ニ付テ、何カ政府ニ御考ガアリマスルカ、ドウカラ承ツテ置キタイ

○周東政府委員 御話ノ點ハ御尤デゴザイマスノデ、此ノ度ノ施設ニ於テモ、先程申シマシタ地域別耕地改善基準ノ設定等ニ關シマシテモ、常ニ各地方別ニ其ノ地方ノ氣候ナリ土質ナリ地性ナリ、稻作慣行ト云フモノ等ヲ能ク調査シテ、ソレニ順應致シマシテ各地區ヲ定メ、各地區毎ニ其ノ基準ヲ設定シテ、指導シテ行ク積リデアリマス、而シテ其ノ指導致シトス場合ニハ、御話ノヤウニ各地方ニ於ケル篤農家トカ、或ハ農會ノ技術員等ニシテ實際ノ經驗アル者等、サウ云フ者ハ、常ニソレ等ノ基準ノ設定ヲ致シマス場合ノ委員會等ニ加入テ求メマシテ、之ニ農林省等ニ於キマシテモ、本省ハ勿論農事試驗場ニ於ケル各種ノ技術員、ソレカラ地方ニ於ケル同僚ノ關係者ト云フヤウナ有エル人ガ、官民一致シテ最モ適正ナ方法ニ從ツテ其ノ地方ノ適シタ改善基準ヲ立テ、是ノ指導ニ依ツテ増産ヲ圖リタイト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デゴザイマシテ、御話ノヤウナ趣旨ニ則ツテ之ヲ實行シテ行クヤウナ計畫ニナツテ居リマス、御諒承テ願ヒタイト思ヒマス

——(中略)——

○山本委員 最後ニ一點希望的ナ政府ノ御考ヲ承ツテ、私ノ質問ヲ終リマスガ、本法ノ實施ニ依リマシテ先程來農林大臣ノ御説明ニ依リマシテ米穀取扱業者ハ從來ノ配給機構ガ變革サレナイシ、決シテ其ノ配給機構ノ變革ヲシテ、一營利會社ノ米穀會社ニ利益ヲ斷斷セシメルガ爲ニ本法ヲ實施スルノデハナイ、隨テ從來ノ配給機構ニ在ル米穀取扱業者ハ、現在以下ノ狀態ニハナラナイ、此ノ上ニ免許制度ニナツテ「ツ」ノ特權ヲ附與セラレル

ノダカラ、現在以上ニヨリ好キ状態ニ立到ルコトコソアレ、決シテ現状以下ニ悲慘ナ状態ニナルコトハ絶對ニナト思料セラレト云フ御答辯ガアリマシタケレドモ、私ノ見ル所ニ依リマスト、都會地ニ於ケル米穀取扱業者ハ或ハ然ラン、併シナガラ生産地ニ於ケル米穀業者ハ其ノ集荷ノ方法ニ付テ、ドウシテモ其ノ業者ノ進出スベキ餘地ガ段々ナクナツテ來ルノデハナカラウカ、即チ産組系統ノ集荷率ガ殖エテ來テ、其ノ方面ノ集荷實數ガ殖エレバ殖エル程、生産地ニ於ケル米穀業者ハ取扱石數ガ減ツテ來ル、サウスルト所謂チリ貧テ段々々々取扱數量ガ減ツテ來テ、サウシテ終ヒニハ近キ將來——餘リ遠イ將來デナイ近キ將來ニ於テ、生業ガ立タナイヤウニナツテシマフノデハナイカト云フ不安ノ爲ニ、生産地ニ於ケル米穀業者ガ猛烈ナ勢テ本法ノ成立ニ反對チシテ居ル、有ユル意味ノ陳情チシテ居ル、是モ兎ニ角今日マテ我國ノ主要食物テアル米穀ノ配給機構トシテ貢獻スル所大ナル業者テアルノデスカラ、ソレハドウナツテモ宜イノダ、斯ウ云フ御考デナイコトハ重々御察シ致シマスケレドモ、尙更ニ一步テ進メラレテ、若シ萬一本法實施ノ結果、生産地ニ於ケル米穀取扱業者ガ斯様ナ結果ニ陥ツテドウシテモ如何トモスル事ガ出來ナイ、生業ガ立タヌト云フヤウナ考ヲ若シ現出スルヤウナコトガアリトセバ、政府當局ハ之ニ對シテ何等カノ救済對策ヲ御講ジ願ヒタイ、ソレニ對スル何等カノ御考ガアルカドウカヲ承ツテ置キタイノデアリマス、此ノ點チ明瞭ニシテ戴キマスレバ、米ノ産地ニ於ケル米穀取扱業者ト雖モ、強ヒテ本法ニ反對スル理由ハ解消スルノデアリマスカラ、ドウカ

サウ云フ意味ニ於キマシテ農林大臣ヨリ、ソレハ斯ウ云フコトニナルノダカラ斯ウ云フコトニ歸著スル、由ツテ以テ本法實施ノ結果生産地ニ於ケル米穀取扱業者ト雖モ左様ナ不安ハナイ、假ニ若シ萬一左様ナ不安ガ實現セラレテ、左様ナ窮地ニ陥ルヤウナコトガアリトセバ、ソレニ對シテハ何等カノ方法ヲ講ズルノダト云フ御言明ガアリマスレバ、二者何レノ方面カラ見テモ本法ニ反對スル理由ガ解消スルト思ヒマスカラ、ドウカ農林大臣ヨリ明瞭ナル御答辯ヲ願ツテ置キタイノデアリマス

○櫻内國務大臣 現在ノ實情ニ於キマシテ、ヤハリ産業組合ノ取扱數量ガ殖エツツアル狀況デアリマスカラ、此ノ現状ノ儘テ參リマシテモ、恐ラク産業組合ノ方ガ順次取扱ガ増加スルデハナカラウカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、故ニ米穀取扱業者ノ諸君モ茲ニ盡ミラレル所ガアツテ、ヤハリ取扱ヲ簡便ニシ、又從來トテモ生産者ト直接ニ色々御關係ガアツテ、圓滿ニ取引サレテ居ルノデアルカラ、サウ云フコトチ總テ利用セラレテ、サウシテ仕事チナサル上ニ於テ順次所謂手數ノ要スル費用チ節減シテ、サウシテ生産者ノ利益ヲ圖リ、又消費地ヘ持ツテ來テ安ク賣ルト云フコトガ出來ルヤウニナリマスレバ、是ハ自然ト現在ノ米穀取扱業者ノ諸君ノ事業ガ繁榮シテ行クモノダラウト思ヒマス、隨ヒマシテ、米穀取扱業者ガ此ノ市場員トナリマス結果トシテハ、從來トドレダケノ違ヒガアルカト、斯ウ申シマス、詰リ現在米穀ヲ取扱ツテ居ル人々ガ、其ノ機構チ自分ニ於テ利便ナ方法テ取扱方チ改善サレテ行カレバ現在マデ七割何分チ取扱ツテ居ツタ數量ハ、ヤハリ七割何分取扱ヒ

出來ルチヤナイカト私共思フノデアリマス、唯成行ニ委シテ居ラレルナラバ産業組合ガ市場員ニナルトナラザルトニ拘ラズ、私ハ是ハ自然ニ其ノ數量ガ減ツテ來ル虞ガアルノデハナイカ、斯ウ思フノデアリマス、故ニ此ノ市場ノ出來マシタ機會ヲ利用シテ、成ベク間ノ無駄ナ手數或ハ無駄ナ配給ノ爲ニ要スル費用チ削減セラルル方法ヲ講セラレテ行クナラバ、私ハ茲ニ立派ナ配給機構ガ改善サレテ米穀取扱業者ノ方々ガ一大光明ヲ認メラレルヤウニナルコトガアルデハナカラウカト思フノデアリマス

殊ニ米穀業者ノ人々ガ 番困難サレテ居ル荷受ノ關係其ノ他ニ付キマシテハ、此ノ會社ニ於キマシテハ相當利便ヲ圖ルノデアリマスガ故ニ、此ノ會社ガ出來マシタ結果私ハ茲ニ非常ナ困難ニ陥ルトハ毫末モ信ジナイノデアリマス、若シ萬々ガ一米穀配給業者ノ人ガ之ニ依ツテ取扱數量ガ非常ナ激減チスル、或ハ之ニ依ツテ殆ト生活權ヲ奪ハレルガ如キ状態ニナル、左様ナ事柄ハ私共ハ絶對ニナト信ジマスケレドモ、萬々一サウ云フコトガアツタト致シマス場合ニ於テハ、ソレハ私ハ國ガ之ヲ救済スルトカ救済セヌトカ云フコトハ別問題ト致シマシテ、其ノ配給ニ對シテ米穀、取扱業ニ對シマシテ、他ノ適當ナ援助ヲ致スル法モ或ハアルデハナイカト思ツテ居ルノデアリマスケレドモ今日ト致シマシテハ左様ナ事柄ハナイト信ジテ居ルノデアリマシテ、寧ロ此ノ市場員ニナラレタ結果トシテ、又此ノ市場ガ出來タ結果トシテ、米穀業者ガ毫末モ此ノ爲ニ苦痛ヲ蒙ルコトガナイ、斯様ニ信ズル次第デアリマス

○山本委員

ハツキリ御答辯ヲ願ヒマシテ感謝チ致シマスガ、

政府ガ本法實施ニ依ツテ米ノ流れ、即チ配給機構ノ人爲的ニ操作チ爲ス左様ナコトチシナイデモ幾ラカ取引市場ノ取扱實數ガ殖エテ來ルトハ思フケレドモ、併シソレダカラト云ウテ從來七〇%以上ノ取扱チシテ居ツタ米穀取扱業者ガ、本法實施ニ依ツテ窮地ニールナドト云フコトハ斷ジテナイ、斯様ニ信ズルト云フ此ノ言明ニ依リマシテ恐ラク疑問モ解消シタト信ジマス、此ノ點チ感謝シマシテ私ノ質問チ終リマス

○石坂委員

私ハ先ヅ本法案ニ對スル總論的ノ質問、各論的ノ質疑、サウシテ最後ニ戰時農林政策上ノ若干ノ問題ニ付キマシテノ質疑、大體此ノ三部門ニ分ケテ質疑チ致シタイト存ジマスガ、先日來同僚諸君カラ各方面カラノ質疑ガアツタノデアリマシテ、出來ルダケ重複チ避ケ、且ツ簡單ニ質疑チ試ミタイト存ジマス、本法案ガ平時戰時ニ於ケル食糧問題ノ重要性ニ鑑ミマシテ、米穀ノ圓滑ナル配給ト、適正ナル價格ノ公正チ圖ルコトチ目的トシテ提案セラレ、其ノ爲ニ取引機構チ改革シ、投機取引チ抑制シテ、實需ニ基ク正米取引チ原則トスル機構ニ改メヨウト企圖セラレテ居リマスルコトハ、私共モ全然之ニ賛意チ表スルモノデアリマス、而シテ從來ノ米穀取引ノ實情ヲ見マシマスルニ、我方國民ノ主要食糧テアル米穀ヲ對象トスル所ノ投機取引ガ、著シク行ハレテ居リマシテ、其ノ爲ニ米價ノ安定チ缺キ、延イテハ社會上ニ種々ナル惡影響チ及ボシテ居リマシタコトハ私共モ之ヲ深く遺憾ト致シテ居ツタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ農林大臣ノ、段々御説明ノ中ニモアル通りデアリマス、而シテ此ノ法案ガ其ノ弊害ノ多カツタ投機取引チ抑制シ

ヨウトスル其ノ意圖ハ、先程申上ゲマシタヤウニ全ク同感デア
 リマス、併シ私ノ疑問ト致シマス所ハ、左様ナル意圖ヲ以テ立
 案セラレマシタ本法案ガ、法案第六條ニ清算取引ヲ禁止テ居リ
 マスケレドモ、同條但書ヲ以テ除外例ヲ設ケテ、未著物取引及
 ビ延取引ヲ認メテ居リマスコトハ、此ノ法案ノ目的トスル趣旨
 ニ副ハザルモノデアハナイカ、言葉ヲ換ヘテ申シマス、延取引
 及ビ未著物取引ヲ許シマシタ爲ニ、動モスルト從來ノ投機取引
 ノ妙味ニ執着ヲ持ツテ居ル人達ガ、巧ニ其ノ規定ヲ利用シテ、
 依然トシテ投機取引ヲヤルノデアハナイカト云フ懸念ヲ持ツテ居
 ヲタノデアリマス、ソレガ第一ノ疑問デアツタノデアリマスガ
 其ノ點ニ關シマシテハ先日來幾タビカ質疑應答ガ試ミラレマシ
 タ、サウシテ左様ナル懸念ハナイ、斯様ナル御答辯ヲ伺ツタノ
 デアリマス、殊ニ本日ノ午前中ニ農林當局ハ、投機取引ヲ絕對
 ニ禁止スルト云フコトハ理想的デアラウケレドモ、中々容易デ
 ハナイ、ソコテ全然賭博ノ道具ノ様ニサレテ居ツタモノハ、斷
 然之ヲ禁歴スル、斯ウ云フ趣旨ノ御答辯ガアツタノデアリ
 マシテ、私共投機取引ノ抑制ト云フ點ニ關スル法案ノ、十分ニ
 徹底セザル憾ハ感ジテ居リマスケレドモ、ソレニ對シマシテハ
 重ネテ御答辯ヲ煩スコトハ避ケマス、第一ノ私ノ疑問ニ對シマ
 シテハ、今マデノ農林當局ノ御答辯ヲ一應諒承致シマス、第二
 ノ法案全部ニ對スル私ノ質疑ハ、本法施行ニ依ツテ失業者ガ多
 分ニ生ズルノデアハナイカ、其ノ第一ハ從來ノ取引所又ハ正米市
 場ノ開設者、取引所ノ使用人及ビ取引員、之ニ對シマシテハ法
 案第五十六條ノ規定ガアルガ、其ノ他ノ米穀取扱業者、即チ地

方ノ買出人、仲買人或ハ米穀商ト云フヤウナ者ガ、失業ノ悲運
 ニ陥ル、サウシテ今日ソレ等ノ米穀取扱業者ノ徒弟ト致シマシ
 テ、將來獨立シテ自分ガ米穀取扱業者ニナラントスル人達ガ、
 此ノ法案實施ノ爲ニ、將來ノ獨立營業ト云フコトニ危懼ノ念ヲ
 感ジマシテ、轉業シナケレバナラヌヤウナ羽目ニ陥ルコトガ、
 非常ニ多イダラウト思ヒマス、尙又現ニ生産地ニ買出シニ行ク
 例ハ荷馬車ヲ以テ買出シニ行クト云フヤウナ人、或ハ米穀商
 ニ使用サレテ居ル仲仕、斯ウ云フヤウナ者達ノ失業ハ、可ナリ
 私ハ多數ニ上ルト考ヘルノデアリマス、而シテソレ等ノ者ニ對
 スル對策上ノ規定ハ、勿論法案ニハ全然アリマセヌ、ソコデ如
 何ニ國策上ノ見地カラサレル所ノ變革、改革デアリマシタ所デ
 其ノ爲ニ生ズル所ノ失業者チ、其ノ儘放置シテ置クト云フコト
 ハ、是ハ決シテ政治ノ要諦デアハナイ、平沼首相ハ其ノ施設ノ根
 本方針ト致シテ、公道政治ヲ説カレル、而シテ公道政治ハ天地
 萬物悉ク其ノ所チ得シメル、一人トシテ所チ得シメナイ者ナカ
 ラシメルト言ハレルノデアリマスガ、其ノ政治ノ理想ハ私共全
 然共鳴ヲ禁ジ得ザル所デアアル、左様ナル理想ヲ以テ臨マレル現
 内閣ノ下ニ於キマシテ、此ノ法案實施ニ依ツテ、私共ノ見ル所
 デハ多數ノ失業者ガ出ルト、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、此ノ點
 ニ付キマシテモ只今山本君ノ御質問ニ對シマシテ農林大臣ハ、
 失業者ハ出ナイ、若シ萬々一左様ナ事ガアルトスレバ、國ガソ
 レヲ賠償スルセヌハ別トシテ、何等カノ方法モアラウ、斯ウ云
 フ風ニ申サレルノデアリマス、私共大臣ノ其ノ御辯明ヲ聽キマ
 シテ今此ノ法案ニ對シマシテ非常ニ危懼ノ念ヲ持ツテ居ル數萬

ノ人達ト共ニ、非常ニ意ヲ強ウスルノデアリマスガ、尙ホ一應
 此ノ點ニ關シマシテ、私共ノ懸念スルヤウナ多數ノ失業者ガ出
 ルコトニ對シテ、若シ出レバ何等カ講ズベキ方法モアラウ、斯
 ウ云フ風ノ御趣旨ノ御答辯ヲ今少シク具體的ニ承ルコトガ、出
 來レバ、心配シテ居ル人達モ一層安心スルコトダラウト思フノ
 デアリマス、山本君ノ御質問ハアリマシタケレドモ、此ノ點ヲ
 重ネテ御承リシテ置キタイト思フノデアリマス

○櫻内國務大臣 本問題實行ノ爲ニ失業者ガ出ナイト云フガ、
 出ル虞ガアルヤウニ思フガレニ對シテ何カ對策ガアルカト云
 フコトデアリマス、米穀ノ取引所ノ取引員ノ中テ清算取引ヲ專
 業ニシテ居ル者ハ、當局ノ調トシテハ百十幾人デアリマス、取
 引所側カラ言フト尙ホ少シ多イヤウニ言ツテ居リマスガ、大體
 ニ於テ是等ノ人々ノ使ツテ居ル人ガ相當アリマス、故ニ此ノ總
 數ニ至リマシテハ、ソレニ十倍ヲスルカ十數倍スルカト云フ人
 數ニナラウカト思ヒマスガ、此ノ問題ハ要スルニ取引員ニ對ス
 ル救済ト相關聯スル問題デアリマシテ、即チ此ノ處置ヲ致ス場
 合ニ、其ノ人達ガ米穀ノ取扱ヲ業トシテ轉業シヨウト云フナラ
 バ、米穀取扱ヲスル爲ニ利用スル費用ニ對シテ相當貸出チスル
 又他ニ轉業スル場合ニ於テモ、之ニ相當ナル助力ト申シマスカ
 貸出ト申シマスカ、何等カ適當ノ處置ヲ執ラウト斯ウ云フコト
 ニナツテ居ルノデアリマシテ、私ハ其ノ點ニ付キマシテハ本法
 ノ出ル爲ニ失業者ガ此ノ方面ニ出ヨウトハ思ツテ居リマセヌ、
 極端ニ申シマスナラバ、寧ロ今日ノ現狀ノ儘デアレバ、或ハ是
 レ以上失業者ガ出ルノデアハナカラウカト云フ實情ニアリハシナ

イカトスラ想像スル譯デアリマス、ソレカラ其ノ以外ニ、要ス
 ルニ米穀商人ガ之ニ依ツテ失業スルダラウカドウダラウカト云
 フ風ナ問題ニ付キマシテハ、私自身ハ先刻來申ス通りニ、趣旨
 ニ於テ私ハ失業者ハ出ナイノダラウト斯ウ思フノデアリマス、
 併シナガラ、ソレニ對シマシテ先刻申ス通りニ、國ガドウシヨ
 ウトカ斯ウシヨウトカ云フ成案ハ、是ハ議會ノ御協賛ヲ經ナケ
 レバナラヌカラ不可能ナコトデアリマスガ、現在ニ於テ轉業其
 ノ他ニ對シテ相當盡力スル途モアリマス、又他ニ其ノ商賣ノ減
 少シタ原因ヲ調査シテ、ソレヲ救済スル途ガアレバ政府ノ力ニ
 於テ出來ル限リ考慮シテモ宜シイノデアリマスケレドモ、現在
 ノ吾々ノ調査シタ建前カラ言ヒマス、サウ云フ心配ハナイト
 斯様ニ信ジテ居ルノデアリマス

○石坂委員 只今ノ大臣ノ御説明ヲ聽キマシテ、私ハ頗ル意チ
 強ウ致ス次第デアリマス、先般當局ヨリ御交付ヲ受ケマシタ米
 穀取扱者ノ業態別全國數及ビ道府縣別構數調ト云フモノニ依ツ
 テ見マス、卸商ノ數全國ニ六千六百九十名、小賣商ハ姑ク別ト
 致シマシテ買出人ノ數全國ニ三萬九千六百六十名、斯様ニ相成ツ
 テ居ルヤウデアリマス、隨ヒマシテ卸商或ハ買出人若ハ買出人
 ノ使用シテ居ル仲仕、馬車輓、斯ウ云フヤウナ者ハ、本法施行
 ノ結果、或ハ失業シ、失業致シマセヌデモ相當打撃ヲ受ケルコ
 トデアラウト憂慮致シテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付キマシ
 テハ左様ナ場合ニ於キマシテハ尙ホ一層ノ御配慮ヲ賜ランコト
 チ切ニ此ノ際御願シテ置キタイト存ジマス

次ニ御同致シタイト存ジマスノハ、此ノ日本米穀株式會社ノ

事業中ニ附帯シタ、所謂附帯事業アリマス、法案第二十九條第二項以下ノ事業ノコトアリマスルガ、當初米穀一本米穀會社ガ出來テ、其ノ事業ヲ營ムト云フコトニナツテ居ツタノガ法案作成ノ途中ニ於テ附加サレタ、而シテ其ノ事情ニ付キマシテ、色々本會議ナリ、委員會テ議論ガアツタヤウデアリマスルシ、此ノ米穀會社ニ附帯事業ヲヤラセルト云フコトハ適當デアイト云フ意見ハ相當強イヤウデアリマス、私共ノ仄聞致シテ居ル所ニ依リマスルト、此ノ條文ガ二十九條ノ中ニ附加サレマシタ所以ノモノハ、現在小樽其ノ他二三ノ取引所テ、此ノ附帯事業アヤツテ居ルヤウナ事業ヲヤツテ居ルガ、ソレ等ノ取引所ノ爲ニ考慮サレテ斯様ナル條文ガ附加サレタト云フヤウナコトモ承ハルノテゴザイマス、要スルニ此ノ米穀會社ニ此ノ附帯事業ヲヤラセルト云フコトハ、是ハ適當デアイトハ私考ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ當局ハ此ノ附帯事業ヲ削除サレル意思ハナイカドウカト云フコトヲ御伺致シタイデアリマス

○周東政府委員 此ノ條文ヲ置キマシタ所以ノモノハ、度々申上ゲマシタヤウニ、只今ノ正米市場等ニ於キマシテ實際取扱ツテ居リマスル實情ヲ見マシテ、急速ニ變動ガ起ルコトニ依ツテ其ノ取引ノ不便ト云フコトガ起ラナイヤウニ、此ノ會社ニ併セテ行ハシメ得ル場合ヲ規定シタノデアリマス、故ニ政府ト致シマシテハ、ヤハリ地方ノ事情ニ應ジマシテ是ガ必要デアラウ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂委員 次ニ本法施行ノ手續上ニ關スル問題ノ二三ヲ承リタイ、第一ハ先程下ナカラカ御指摘ニモ相成リマシタヤウニ

十三條ノヤウナ規定ヲ設ケラレタノカ、其ノ事情ヲ承リタイノデアリマス、而シテ是ガ適當デアラカドウカト云フ點ニ付キマシテノ御意見ヲモ承リタイ

ソレカラモウ一ツ是モ技術上ノ問題デアリマスガ、附則第六十條ニ依リマス「取引所稅法中第二十一條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ」トアリ、更ニ其次ニ「第二十一條ノ二」斯様ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、是モ普通ノ立法カラ申シマス、私共稍々變則ノヤウニ考ヘラレルノデアリマス、普通ノ立法カラ申シマス、取引所稅法ヲ改正スルナラバ、取引所稅法中改正法律案ヲ別ニ出シテ、之ニ第二十條ノ次ニ左ノ一條ヲ加ヘテ此ノ法案ノ様ニスルノガ適當デアラウト思フノデアリマス、是ハ單純ニ便宜上カラオヤリニナツタコトデアラウト思ヒマス、是ハ成程提出マデハ便利カモ知レマセヌガ、將來ノ實施ノ上デハ、却テ是ガ不便ヲ來スノデハナイカト思フノデアリマスカラ、特ニ斯ウ云フ風ノ取扱ヲサレマシタコトニ付テ、何カ特別ノ事情ガアルカナイカヲ承リタイ、本法施行ノ手續上ノ問題ニ付テ、以上ノ三點ニ付テノ御所見ヲ承リタイデアリマス

○周東政府委員 先ヅ第一點ニ付テ御答シマスガ、本法ノ規定中ニ勅令若クハ命令ニ讓ツタ部分ガ相當多イノデ、實際之ヲ施行スル上ニ於テ、民間ニ對シテ不安ノ念ヲ起スコトナキヤトノ御質問デアリマスガ、此ノ種ノ法律ニ於キマシテハ、其ノ内容ハ市場制度等ニ關スル問題ガ相當多イノデアリマス、之ニ關シテハ餘リ法律ヲ規定シテ置キマスコトハ、實際ノ動キニ應ジマシテ必要ナ、且ツ實際ニ適シタ方法ニ改メル等ノ場合ニ於キ

此ノ法案ヲ見マスルト勅令ニ委任シテ居ル事項ガ頗ル多イノデアリマシテ、法文ヲ讀ミマシタダケテハドウ云フ内容ニナツテ居ルカト云フ事ガ分ラナイコトガ非常ニ多イノデアリマス、一タビ法律ガ公布セラレマス、是ハ總テノ人ヲシテ周知セシメナケレバナラヌノデアリマスルガ、此ノ法案ノ書キ方ノヤウニ勅令ノ委任事項ヲ多カラシメテ居ルト云フコトハ、將來米穀取扱業者、此ノ市場ノ仕事ヲスル人達ニ一種ノ不安ノ念ヲ與ヘルノデハナイカト懸念サレルノデアリマス、此ノ點ニ關スル當局ノ御意向ハ如何デアリマセウカ

第二ハ附則第五十三條「本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ案ニナツテ居ルヤウデアリマス、普通ノ立法例カラ致シマス、大體其ノ法律全般ニ付テ、一齊ニ同時ニ施行サレルノガ普通デアアル、若シ是ガ條文毎ニ區々ニナリマスト、運用ノ上ニモ非常ニ不便ヲ來シマセウシ、又法律ノ適用ヲ受クベキ物若クハ人ノ關係カラシテモ、頗ル不便ヲ結果ヲ生ズルデアラウト考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ斯様ナ施行期日ニ付テノ規定ガ各條項ニ依ツテ別々ニナルト云フコトハ、立法技術ノ問題トシテ適當デアアルバカリデナク、實際ニ法案ヲ實施シテ、此ノ法案所期ノ目的ヲ達成スル上ニモ、不便ガ少クナイノデハナイカト心配シテ居リマス、尤モ此ノ點ニ付テ先日周東局長ハ、大體此ノ法律ハ今年ノ十月一日ヨリ施行スル見込デアアル、斯様ナ御答辯ガアツタヤウデアリマス、是ハ或ハ私ノ聽キ間違ヒカモ知レマセヌガ、左様デアルト致シマスレバ、私ノ申上ゲル心配ノ點ハ除去サレルコトニナリマスガ、何故ニ此ノ五

マシテ、却テ動キ難イト云フ點ガ多イノデアリマス、更ニ又取引ノ實體等ニ付テ色々ノ場合ガアリマスノデ、慎重ニ適當ナ規定ヲ置ク必要上、寧ロサウ云フ點ニ付テハ勅令ニ讓ツタノデアリマス

ソレカラ第二ノ施行期日ノ問題デアリマスガ、是モヤハリ本法ノ持つテ居リマス内容ハ色々アルノデアリマス、殊ニ市場開設ノ準備ト云フヤウナ爲、即チ其ノ本體デアアル所ノ株式會社ノ設立ノ準備ト云フヤウナ事柄ガ十分出來マシテ、初メテ市場開設ト云フヤウナ事柄ニナルノデアリマス、隨テ之ヲ一律ニ何時ト云フ風ニ規定致スコトハ、實際上ノ動キニ不便デアリマスノデ、寧ロ各條毎ニ之ヲ區分シテ、例ハ會社設立ニ關シタ必要ナ規定ハ、今後出來ルダケ早く、而シテソレ等ノ法律ノ施行ニ依リマシテ準備ガ整ヒ、創立ノ諸準備ガ整ヒマシタ時ニ於テ會社ガ出來マスレバ、之ニ關聯シテ市場開設ノ時期ガ決マル、其ノ時ニ初メテ市場開設ニ關スル、或ハ市場等ノ動キニ關スル規定ノ施行ヲ致スコトガ必要デアリマスノデ、サウ云フ風ナ事情カラ各條ニ依ツテ施行期日ヲ決メタ方ガ適當デアラウト思ヒマシテ、左様決定致シタ譯デアリマス、尙ホ此ノ際特ニ御諒解ヲ得テ置キタイノハ、先日私ガ申シマシタ本法ノ施行ハ十月一日ヨリ云々ノ點ニ付テハ、是ハ本會社ノ市場ノ開設ハ何時頃ニスルカト云フ御質問デアリマシタノデ、其ノ點ニ限ツテ、遅クとも十月一日頃開設ヲ致シタイ運ビデアルト申上ゲタノデアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

是ハ御話ノヤウニ大體便宜上ノ問題デアリマス、先例ヲ申上ゲマシテ甚ダ恐縮デアリマスガ、税法ニ關スル改正ハ大體ニ於テ色々ナ制度ガ出來マス場合ニ於テ、必ズ登録稅トカ、或ハ不動產取得稅トカ云フヤウナモノニ關聯性ノアル税法ノ改正ガ必要デアリマス、非常ニサウ云フ場合ガ多ウゴザイマスノデ、大體税法改正ニ付キマシテハ其ノ特殊法規ノ改正ニ伴ヒマシテ、其ノ法規中ニ改正ヲ致スノガ例ニナツテ居ルヤウデアリマシテ、是ハヤハリ御話ノヤウニ、大體便宜上ノ問題デアリマス

○石城委員 次ハ産業組合ト商人トノ對立摩擦ヲ緩和スル爲ニ政府ハ適當ナル施設ヲ講ゼラレル必要ガアルノデハナイカト云フ點デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、世上雙方ノ立場カラ色々議論ガ行ハレテ居ルト同時ニ、當議會ニ於キマシテモ、各方面ニ可ナリノ議論ガ行ハレテ居ルコト考ヘルノデアリマス

本法案審議ニ際シマシテモ、先般來此ノ法案ヲ接觸場面トシテ動モスルト從來ノ米穀配給機關アツタ所ノ商人側ト、新シク進出致シテ參リマシタ產組側トノ摩擦ト云フモノガ、尖鋭化シテ來ツツアルヤウニ思フノデゴザイマス、私共國家ノ現在及ビ將來ニ思ヒワ致シマシテ、此ノ點ハ誠ニ憂慮スベキコトダト考ヘテ居リマス、殊ニ是ガ國民ノ主要食糧デアアル所ノ米穀ノ配給ト云フ問題ニ付テ、其ノ對立摩擦ト云フモノガ尖鋭化スルト云フコトハ是ハ決シテ好マシイコトデハナイト私ハ憂慮シテ居ルノデアリマス、元來米穀政策ト云フモノハ極メテ重要ナル問題デアアルト同時ニ、極メテ困難ナル問題デアリマス、生産者側ノ立場カラ申シマスト米價ノ高イコトヲ希望スル、而シテ其ノ消

費者ハ國民ノ全部デアリマスルガ故ニ、消費者側カラ申シマスト比較的安イ米價ヲ希望スルト云フコトハ當然ノ話デアリマスソコニ生産者ト消費者トノ間ノ利害關係ノ相衝突スルコトハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、茲ニ色々ノ矛盾ガアリマスガ故ニ色々ノ問題ガ惹起サレテ參ルト思フノデアリマスガ、商人ト產組トノ對立摩擦ト云フモノハ實ニ此ノ點ヨリ胚胎シテ居ルト、斯様ニ私ハ存ジマス、產組側ノ方々ニ言ハセマス、直接生産者ヨリ消費者ヘト云フ「モットー」デアアル、其ノ間ノ中間搾取機關ヲ除ク、サウシテ直チニ生産者ヨリ消費者ヘ安ク供給ヲシヨウト云フ議論、私ハ當然ノコトダト思ヒ、御尤ナコトダト考ヘルノデアリマス、一面商人側カラ申シマス、自分達ノ商權ナリトシテ強ク其ノ擁護ノ聲ヲ叫バレル、サウシテ其ノ人達ガ申シマスルノニハ、自己ノ商賣上ノ優秀ナル技術、サウシテ家族全部ヲ舉ゲテ拮据艱難スル所ノ其ノ營業ノ熱心、ソレハ到底産業組合側ノ配給組織ガ吾々ニ勝ツモノデハナイ、斯様ナコトヲ言ツテ居ルヤウデアリマス、若シ斯様ナコトガ段々尖鋭化シテ行キマスト、實ニ憂慮スベキ結果ニナルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テノ當委員會ノ議論ニ盡ミマシテモ、其ノ點ハ各方面カラ憂慮サレテ居リマスガ、農林大臣ハ此ノ問題ニ關シマシテハ、眞ニ時局ニ鑑ミ、生産者、配給機關、消費者、此ノ人達ガ三位一體トナツテ國家ノ食糧政策ニ働キタイ、斯ウ云フ風ノ御趣旨ノ御話ガアツタヤウデアリマシテ、隨ヒマシテ私ハ農林大臣ノ產組對米穀商トノ對立摩擦ノ除去ニ關スル御意圖、米穀商バカリデナク、產組對商人ノ對立摩擦ヲ除クト云フ、ソ

レニ對スル御抱負ハ大體之ヲ諒ト致シテ居ルノデアリマス、數日前下ナタカノ質問ニ對シマシテ、今井商工政務次官ハ、自分ノ私見ヲ言ツテハ恐縮ダケレドモト云フ前置ヲサレマシテ、等シク 陛下ノ赤子デアアル、サウ云フ人達ニ對シテ斯様ナコトガアツテハナラヌ、是非トモ此ノ緩和ノ方法ヲ講ジタイト云フ趣旨ヲ述ベラレタノデアリマス、私ハ又今井政務次官ノ個人的意見ナリトハ申サレマシタケレドモ、其ノ御意見十分是認シ、ソレニ賛成致ス者デアリマス、何ト致シマシテモ私ハ此ノ國家ノ前途ニ盡ミテ見マスルト、此ノ雙方對立摩擦シテ居ルト云フヤウナ現狀ヲ緩和シテサウシテ、雙方トモ理解齟齬ヲ圖リ、サウシテ共存共榮ノ實ヲ擧ゲ、以テ國家ノ進運ニ寄與シ、食糧政策ノ萬全ヲ期シタイト云フコトヲ熱望スル者デアリマスガ、此ノ點ニ付テ、總親和ヲ説カレル所ノ現平沼首相ガ如何様ナ考ヲ持ツテ居ラレルデアリマセウカ、今日勿論總理ハ御出席ニナツテ居リマセウガ、委員長ノ取計ヒニ依リマシテ、適當ノ機會ニ其ノ點ニ關スル總理ノ御所見ヲ承ルコトガ出來レバ洵ニ仕合セニ存ジマス、此ノ段委員長ニ於テ適當ニ御取計ヒ置キ願ヒタイト思ヒマス、私ノ此ノ法案ニ對スル總論的ノ質問ハ以上デアリマスガ、次ニ本案ノ各論的ノ質問ニ入ラナケレバナラヌノデアリマスガ、ソレヲ最後ニ廻シマシテ、農林大臣ニ農林政策上ノ二三ノ問題ヲ御承リ致シタイト思ヒマス、其ノ第一ノ問題ハ、長期戦下ノ農林政策的見地カラ、東亞農林政策、東亞農業體制ノ創建ト云フコトヲ必要ト考ヘマスルガ、其ノ東亞農林政策ノ見地カラスル所ノ米穀政策、斯ウ云フコトニ付テノ御意見ヲ御承

リ致シタイノデアリマス、申スマデモナク長期建設下ノ農業政策ハ、先ヅ生産力ノ維持擴充、而シテ機械ノ本格的導入、サウシテ同時ニ私ハ東亞農業體制ノ創建ト云フコトヲ必要トスルト考ヘルノデアリマス、此ノ戦時下ニ於ケル農業政策ノ「ツツ」現ハレトシテノ東亞農林體制ノ創建、其ノ見地カラ見マシテ、農林大臣ハ米穀政策ヲドウ云フ風ニ樹立サレントシテ居ルデアラウカ、其ノ點デアリマス、此ノ議會ニ現ハレマシタ法案ナリ所論ニ依ツテ見マシテモ、臺灣米穀管理特別會計法案、其ノ特別會計法案ガ提出サレマシタノハ、臺灣ニ於ケル米穀ノ管理ヲ實施シヨウト云フ爲デアリマス、サウシテ從來内地ノ米穀ノ需給ト云フモノハ、内地、朝鮮、臺灣、内外地ヲ一貫シテ需給ノ調節ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマシテ、内地ノ生産ノミヲ以テ致シマシテハ、内地ノ需要ヲ充スニ足ラナイコトハ先刻御承知ノ通りデアリマス、然ルニ今同臺灣ニ米管案ガ實施サレント致シテ居リマスルガ、拓務當局及ビ臺灣當局ノ話ニ依リマスルト臺灣ノ米作ヲ抑ヘテ、サウシテ臺灣特有ノ他ノ有用作物、或ハ甘蔗、苧麻、黃麻、苧麻ト云フヤウナ有用作物ヲ増産セシムル而シテソレガ爲ニ決シテ臺灣ノ米作ハ減少スルモノデハナクシテ、漸進的ニ増産スルモノデアアル、而モ其ノ増産計畫ハ昭和十四年度ヨリ十年間ニ差當リ増産計畫ヲ立テマシテ、サウシテ十年間ニ二百五十三萬石ヲ増産致シマシテ、今日ノ臺灣ヨリ内地ヘノ移出ハ約四百五十萬石デアアルガ、ソレヲ五百五十萬石程度ノ移入ニスルト云フ此ノ案デアリマス、而シテ臺灣ニ於テ米管案ガ實施サレル事ニナリマス、當然外地ノ「ツツ」デアアル所ノ

朝鮮ニモ、何等カノ方法ガ講セラレバナラヌコトハ當然
デアリマス、ソレニ對シテ私共別途臺灣米管案ノ委員會ニ於キ
マシテモ、其ノ御方針ヲ拓務當局ニ御尋致シタノデアリマスガ
段々最近ニナリマシテソレガ具體的ニナツテ參ツタヤウデアリ
マシテ、去ル九日ノ西川君ノ質問ニ對シマシテモ、大野政務總
監ハ、朝鮮米ノ移出管理及ビ產地ニ於ケル配給統制機構ノ確立
ニ付テノ大體試案ガアルト云フヤウナコトヲ申サレテ居リマス
サウシテ新聞紙上ヲ見マス、其ノ朝鮮ニ於ケル米穀統制要綱
ト云フモノハ、大體決定致シタヤウニ承知致スノデアリマス、
斯様ニ致シマシテ内外地ヲ通ジタ一貫セル米穀政策ト云フモノ
ハ大體揃ツテ、愈々整備シテ參ツタヤウデアリマス、併シナガ
ラ今日ノ情勢ハ單ニ内外地ヲ一貫シタ政策ダケテハ十分アナイ
ノデアリマス、之ニ當然日本ト友好不可分ノ關係ニアル滿洲國
トノ關係ガ考慮サレナケレバナリマセヌ、ソコデ昨年ノ八月デ
アリマシタカ、滿洲國關係ト日本ノ農林當局トノ間ニ東亞農林
協議會ト云フヤウナモノガ催サレマシテ、サウシテ其ノ會合ノ
席上ニ於テ東亞農林政策ト云フ、サウ云フ日滿ヲ通ジタ日滿
「アロツク」的見地カラスル所ノ政策ノ協議ガアツタヤウデアリ
マス、左様ナル農林政策全般ニ付テ、日滿支ヲ通ジテ協議ヲ進
行サレ、對策ヲ樹立サレルト云フコトハ、極メテ必要ナコトデ
アリマスルガ、殊ニ私ハ今日ノ長期戦下ノ食糧政策ト云フ見地
カラ致シマシテ、米ノ問題ニ付テ、内外地ヲ一貫スルバカリデ
ナク、日滿支ヲ通ジテ政策ノ一元化ヲ圖ツテ、サウシテ滿洲國
トノ關係ニ於テモ一步ヲ進メネバナラヌ情勢立ニ至ツテ居ル、

斯様ニ信ジテ居ル者デアリマス、最近傳ヘラレル所ニ依リマス
ト滿洲國ニ於キマシテモ米穀ノ國家管理制度ニ付テノ研究ガ段
段進ミマシテ、米穀ノ管理法案ト滿洲糧穀會社法案ト云フヤウ
ナモノガ出來マシテ、サウシテ滿洲國ノ米產及ビ之ニ對スル所
ノ配給統制ト云フヤウナモノニ付テノ政策ガ樹立致シタヤウデ
アリマス、ソコデ今日ノ情勢ニ鑑ミマシテ、内外地及ビ滿洲ヲ
通ジタ一元のナル米穀政策ヲ確立致シマシテ、一方ニ於キマシ
テハ増產ヲ圖ルト同時ニ、外地及ビ滿洲ニ於ケル所ノ増產計畫
ヲ圖ルト云フコトニナルト、又一面ニ於テ内地ノ農家ニ不安ヲ
與ヘルヤウナコトニナツテハ相成リマセヌカラ、其ノ不安ヲ避
ケツツ戰時食糧政策ノ食糧ノ確保ト云フコトニ大方針ヲ立テナ
ケレバナラヌト考ヘルノデアリマスルガ、此ノ戰時食糧政策的
見地カラスル所ノ内外地及ビ滿洲ヲ通ジタル一貫セル農林國策
ニ付テノ農林大臣ノ御所見ヲ承リタイト存ジマス

○櫻内國務大臣 只今日滿支一體トシテノ米穀政策ハドウ云フ
風ニ立テルノデアアルカ、斯ウ云フ御質疑デアツタト思ヒマス、
勿論先日来申上ゲマス通り、現在農林省ガ考ヘテ居リマス所ノ
案ハ、内外地ヲ一貫シテ自給自足ヲ十分ニ致シ、而シテソレニ
多少ノ餘地ガアルヤウナ風ニシテ生産ヲ致シテ行キタイ、斯様
ナ見地カラ總テノ内地、朝鮮、臺灣ノ米作ヲ計畫シテ居ルノデ
アリマス、併シナガラ御話ノ如ク東亞一體トナツテ、即チ新秩
序ノ下ニ新建設ヲ致スノデアリマスガ故ニ、此ノ問題ニ付キマ
シテハ勿論將來考ヘナケレバナラヌ問題デアリマシテ、滿洲ハ
御承知ノ通り既ニ許可制度ヲ採リマシテ、栽培、輸出入雙方ト

モ許可制度ヲ採ツテ統制ヲ致シテ居リマス、此ノ方面カラノ米
ノ増產ト云フモノハ、要スルニ増產計畫ヲ立テマスレバ、相當
ナ生産ヲ致スヤウニナルコトハ是ハ疑ヒアリマセヌ、今日ハマ
ダ十分ナル生産ヲ致サズシテ、内地ノ人が相當參リマスノデ、
多少朝鮮カラ輸入シテ居ルヤウナ譯デアリマスケレドモ、將來
ハ米穀ヲ如何程生産シテ如何程外へ出スヤウニスルカト云フコ
トハキチント立テナケレバナラヌデアリマス、此ノ問題ハ企
畫院ヲ中心トシテ今日計畫ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、マダ
正確ナル所ノ案ガ立ツテ居リマセヌ、居リマセヌガ違カラザル
將來ニ於テ、此ノ日滿支ヲ一體トシタル所ノ米穀政策ヲ確立ス
ルト云フコトニ對シマシテハ、必ズヤ成案ヲ得テ發表スル時期
ガアルト思ヒマス、現在ニ於キマシテハ、度々申シマスガ、内
地ト外地ニ於テ、日本内地ノ需要ヲ十分ニ滿タスヤウニ致シタ
イ、此ノ見地ニ於テ政策ヲ立テテ居ル譯デアリマスカラ、左様
御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

ツタヤウデアリマシテ、農林當局ヨリソレト御答辯ガアリマ
シテ、私モ大體諒承致シテ居リマス、最近傳ヘラレル所ニ依リ
マス、此ノ月ノ八日九日ニ農林計畫委員會ガ開カレマシテ、
農產物増產計畫ニ對スル答申ガ提出サレタヤウニ承リマスガ、
其ノ委員會ノ答申ニ於キマシテ、委員會ハ五ツノ希望條項ヲ附
ケテ居ラレルヤウデアリマス、而シテ其ノ第一ハ價格政策ハ農
產物產ノ基礎的條件タルヲ以テ是ガ適正時期スベシ、當面セル
酒精原料農產物ニ付テハ速ニ適正ナル價格ヲ以テ買上グル方針
ヲ立ツベシ、第二項ハ肥料其ノ他ノ生産資材ノ供給ノ確保ノ點
第三ハ勞力調整ニ關スル件、第四ハ用排水ノ改良其ノ他土地改
良施設ノ徹底、第五ハ農村部落團體ノ活動ヲ一層促進スル、斯
ウ云フ風ナ希望條項ヲ附シテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ
希望條項ハドノ點ヲ見マシテモ、現下ノ時局ニ鑑ミ、此ノ時局
下ニ於ケル増產計畫ニ必要缺クベカラザル希望條件ダト私共考
ヘルノデアリマス、隨ヒマシテ勿論農林當局ハ此ノ農林計畫委
員會ノ答申案、殊ニ此ノ希望條項ハ直チニ採ツテ以テ實行ニ移
サレル事ダラウト確信致スノデアリマスルガ、左様承知シテ宜
シイカドウカト云フ點ヲ承リタイノデアリマス、併セマシテ希
望第一項ニ特ニ謳ツテアル價格適正ト云フコトハ、勿論表面ハ
適正デアリマシテ、讀ンデ字ノ如シデアリマスケレドモ、其ノ
實際ハ農產物ノ價格ヲ決シテ安クシテハナラヌト云フ強イ希望
デアラウト思フノデアリマス、其ノ點ニ關スル當局ノ御意向ヲ
併セテ承リタイノデアリマス

○石坂委員 政務次官ガ御見エニナツテ居リマスカラ、今ノ政
策的ノ問題ニ付テ、尙ホ質問ヲ續行致シマス、次ニ御尋致シタ
イト存ジマスノハ、農產物ノ増產計畫ニ付テデアリマス、此ノ
點ニ付キマシテモ先日來當委員會ニ於キマツテモ段々質疑ガア

農産物ニ付テハ速ニ適正ナル價格ヲ以テ買上グル方針ヲ立ツベシト云フ此ノ希望條項アリマス、從來農家ガ此ノ時局ニ當リマシテ無水「アルコール」原料トシテノ甘藷ノ供出ニ銳意熱心其ノ要求ニ副フヤウニ努力致シテ居リマスコトハ、私共地方ニ居リマシテ、其ノ農家ノ努力ニ對シマシテ滿腔ノ敬意ヲ拂ツテ居ルノデアリマス、然ル所從來ノ甘藷ノ買上價格ハ頗ル安カツタノデアリマス、甘藷買上價格ノ引上ニ對スル生産者側ノ要望ハ非常ニ強イモノテ、私共尤ナ次第ト存ジテ居リマス、ソコテ是モ當局ニ於ケレマシテハ、農林、大藏兩當局協議ノ上デ、甘藷價格ノ値上テヤルト云フコトガ既ニ御決定ニナリマシテ、甘藷ニ付テハ三圓二十錢ノ價格ニ決ツタト云フコトヲ承ルノデアリマス、新聞紙上ニ傳ヘラレル此ノ事實ハ、既ニ決定シタモノトシテ安心シテ宜シカラウト思ヒマスガ、此ノ點ニ付テ御確メテ致シテ置キタイト思ヒマス

○松村政府委員 只今御質問ノ點ハ大體此ノ間議會ノ御決議ニモアリマシタ點テ、大部分含ンテ居ル譯デアリマシテ、私共ハ此ノ御決議ノ趣旨ニ基クヤウニ致シタイト考ヘマシテ、只今努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、ソレニ付キマシテ只今ノ所デアリマダ之ニ要スル追加豫算ハ發表スルマデニハ參ツテ居リマセヌケレドモ、出來得ルダケ御趣旨ニ副フヤウニ努力ヲ致シテ居ル所デアリマス、而モ事ハ急デゴザイマシテ、其ノ豫算ノ決定ハ俟ツテ實行ニ著手スルコトガ出來マセウカラ、取敢ズ昨日日曜デハアリマシタケレドモ、經濟部長ノ集會ヲ開キマシテ、生産確保ニ對スル色々大體ニ付テノ打合セヲ致シマスルシ、今日モ

限度ノモノハ御認テ願ヒマシテ、サウシテ米穀次年度ニ於ケル肥料ノ供給ヲ確保致シタイト考ヘマス、尙又日本ノ勢力範圍内ニ於テモ燐礦石ノモノガ今アリマスカラ、之ヲ採ツテ參リマシタ、サウシテ不足ヲ補フコトガ出來マスカラ、是ハ最モ宜イノデアリマスカラ、之ニ對スル豫算モ私ノ方カラ只今大藏省ノ方ヘ御願ヲ致シテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ勞力調整ノ問題ハ、是非非常ニ大キナ問題デアリマシテ、差當リノコト申スナラバ、不足セル勞力ヲ如何ニ調整シテ行クカト云フ問題ト、更ニ進ンデ申スナラバ、農村ノ人口ノ耕地トノ比例ヲ調整スルト云フコトニモ相成リマスノデ、是ハ全力ヲ舉ゲテ差當リノ當面ノ問題ト、續イテハ根本ノ問題トヲ解決致シタイト思ヒマスノデ、之ニ關スル追加豫算モ只今御願ヲ申シテ居ル譯デゴザイマス、ソレカラ用排水ノ問題ハ、是ハ大體申上ゲマセウデモ、農林省ト致シマシテハ相當ニ努力ヲシテ居ルノデアリマスガ、當面トシテハ別ニ追加豫算等ニハ出シマセヌケレドモ、根本ノ問題トシテ考ヘタイト思ヒマス、ソレカラ農村ノ實行團體、部落團體ニ對スル活動促進ノ問題ハ、是非非常ニ重大ナ要點デアリマシテ、先般來色々院内ニ於テモ御話ヲ承リマシタガ、之ニ對シテハ大體詳シイ御説明ハ只今大藏省ヘ要求申デアリマスカラ申上ゲ兼ネマスケレドモ、併シナガラ求要シタ豫算ノ立テ方ハ成ベク中央若クハ地方ノ役所ニ使ハネバナラヌ人間ハ節シ得ル限リ節シマシテ、ソシテ現在ノ人達ソレダケノ方面ヲ受テ貰ヒマシテ、ソシテ是等ノ獎勵若クハ活動ノ費用ハ出來得ル限リ議會ノ決議ニ從ヒマシテ、最前線ノ實行組合

亦個別ノ府縣ニ付キマシテハ、其ノ綜合的ニ負擔ナシテ戴キマス額ヲ責任ヲ背負ツテ戴クヤウニ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、此ノ箇々ノ問題ニ付キマシテハ、價格政策ノ問題ハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、一面一般物價トノ關係モアリマスガ、併シ増産計畫、生産擴充計畫ヲヤルノニハ、何ト云ツテモ農民ガ安心シテ其ノ作物ヲ作レルト云フコトニシナケレバナラヌト考ヘマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ、生産スル數ハ幾ツカアリマスケレトモ、ソレ等ニ付テ相當ニ農民ガ安心シテ生産ガ出來ルヤウナコトヲ考ヘナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、併シナガラソレハ他ノ物價トノ關係モアリマスカラ、ソレ等ヲ考慮致シマシテ、相當ニ農民ノ安心ヲ得ルヤウニ何トカ考ヘネバナラヌト思ツテ居ル譯デアリマス、甘藷ノ問題ハ皆ザンノ御鞭撻モアリマスルシ、大藏當局ト農林省ノ間ニ圓滿ナ話ガ付キマシテ、幸ニ三十二錢ト云フ價格ニ全國ニ一様ニ經マリマシタ、此ノ増産ニ付テハ農林省ハ固ヨリ、大藏省ニモ專賣局ノ方ニ相當ノ技術者モ居ラレルノデアリマスカラ、相俟ツテ此ノ増産ニ努力スルコトニ兩省ノ間ニ話ガ經マリマシタノデアリマスカラ此ノ點ハ御安心ヲ願ヒタイト思ヒマス、是等ノ兩省ノ協力ニ依リ、又一般農民ノ協力ニ依リマシテ、是非トモ此ノ生産ヲ確保シタイト思ヒマス、ソレカラ肥料ノ問題ハ屢々此處デモ論議セラレマシテ、アノ計畫委員會ニ於テモ論議セラレタノデアリマスカラ、是ハ是非トモ最低限度ノ肥料ヲ確保致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ只今色々心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、是非非常ニ必要ナモノデアリマスカラ、物動計畫ノ方デハ是非最小

へ廻ルヤウナ仕組ニ致シテ居リマスシ、又直接ノ團體活動トシテモ、今日大藏省ニ御願申上ゲテ居ル譯デアリマシテ、衆議院ノ決議ノ趣旨ヲ十分尊重シタル豫算ガ、何レ近日中ニ皆ザンノ御協賛ヲ得ル運ビニ相成ルト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

—(中略)—

○石坂委員 簡條的ニ伺ヒマス、其ノ第一點ハ戴キマシタ主要事項案ト云フモノノ第一條ノ勅令事項ノ「本條ニ依リ許可ヲ受クルコトヲ要スル地域ヲ定ムルコト」ト云フコトガアリマスガ此ノ地域ト云フコトガ先般一應御説明ガアリマシテ、市場ノ地域ト此ノ地域ト、市場ノ方ハハツキリ致シマシタガ、此ノ點ガハツキリ致シマセヌデシタカラ、モウ一遍御説明ヲ願ヒマス、ソレカラ勅令事項ノ第三ノ許可ヲ受ケタル者死亡シタル場合其ノ相續人ノ問題デスガ、是ハ私ノ申上ゲ方ガ少シ理窟ツボクナルカモ分リマセヌガ、死亡ニ因ル相續ト言ヘバ、御承知ノ通りニ戸主ニアラザル者ノ死亡、即チ遺產相續ノ場合ト家督相續ノ場合ト兩方アリマスガ、其ノ兩方ヲ勿論合メテノコトダト思ヒマスガ、サウデアリマスカト云フコト、ソレカラ死亡致シマシテモ直グニ相續人ガ決ラナイ場合ガアル、相續人ガナイケレドモ、商賣ヲ始メタイト云フ、結局相續人ガ選定サレテ決ルコトニナリマスガ、ソレマデ時間的ニハ一箇月或ハ數箇月ノ餘裕ガアル、サウ云フ場合ノ取扱チドウナサルカト云フコト、ソレカラ是ハ死亡ノ場合ノミテ豫想シタヤウデアリマスケレドモ、一家ノ中ニハ隱居ニ因ル家督相續ト云フヤウナコトガアルノデア

リマシテ、隠居ノ場合ニハドウ云フ御扱ヒニナル積リカト云フコト、サウシテ此ノ三項ニ「不許可ノ處分アル迄」ト云フコトモアリマスノデ、家督相續ニ困ル場合、遺産相續ニ困ル場合ニ相續人カラ顯出シテモ許可サレナイ場合モ想定シテアルヤウデアリマス、隨テソレダケ當業者ハ將來ニ非常ニ不安ヲ感ジマス、色々氣ヲ廻シテ考ヘマスト、段々業者ヲ少シテ行ツテ所謂取潰サレルヤウニナツテ行クノデハナイカト云フ懸念モアリマスカラ、其ノ點モ、明快ニシテ置キタイト思ヒマス

○周東政府委員 地區ノ問題デアリマスガ、是ハ本法第一條ノ關係ハ全國ニ直チニ布ク必要ハナイデハナイカ、本法制定ノ目的ニ從ヒマシテ其ノ地區ヲ決メテ行キタイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ點ニ付テハ、ソレハ勅令ヲ制定スル迄ニハ決メテ行キタイト思ヒマスケレドモ、先程申シマシタヤウニ、大體配給統制ノ必要上カラ、斯ウ云フ制度ヲ布イタノデアリマスカラ先ヅ一番ハツキリ申上ゲラレル點ハ、市場ノ地區等ハ勿論此ノ地區中ニ入レテ考ヘラレルモノデアルト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス、ソレカラ第二番目ノ相續ノ問題デアリマスガ、勿論此ノ許可ノ問題ハ物的設備等ノ物件ニ關シテノ許可デナクシテ、人ヲ對象トシテノ許可デアリマスカラ、理論的ニ言ヘバ、是ハ人毎ニ、人ガ迭レバ之ヲ許可シテ行クト云フ建前ガ至當デアラウト思ヒマスカラ、大體サウ云フ建前ニナツテ居リマス、併シナガラ御話ノヤウニ從來親ガ米穀ノ取扱業ヲ致シテ居ツテ其ノ親ガ死ニ、或ハ隠居シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテノ相續人ニ付キマシテハ、餘程其ノ事情ガ變ツテ參リマスノデ、

手續ハ踏マセルコトニ致シマスガ、大體ハ實際上ニ於テハ許可ヲ爲シテ行ク考テ居リマス、唯法定推定家督相續人ハ親ガ死ネバ當然其ノ後ヲ繼グノデアリマスガ、中ニハ不信用ナ者テ相當社會的ニ持テ餘サレテ居ル者ニ付キマシテハ、ソレガ米穀ノ配給ニ携ハルコトガ不適當ナ場合モアラウト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ハ能ク事情ヲ調査ノ上、或ハ不許可ノ場合ガアルカト考ヘマスノデ、斯ウ云フ規定ヲ置イタ譯デアリマス、大體ニ於キマシテハ相續ノヤウナ場合ニ於キマシテハ、手續ヲ踏マセルコトニ致シマシテ、實際上ニハ許可ヲサレテ行クモノト、斯様ニ御承知置キ下サツテ結構ダト思ヒマス、ソレカラ特ニ此ノ場合死亡ト書キマシタガ、是ハ隠居ノ際ノ相續人ノ場合モ同様ノ考ヲ以テ行キタイト思ヒマス、又相續人ノ決マラナイ場合ハ推定相續人ト云フ者モ是モ同様ニ、ヤハリ考ヘラレテ行クト思ヒマス、能ク其ノ場合ニ依ツテ實際ノ運用ヲシテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂委員 只今ノ御答辯ニ依リマシテ餘程不信用ナ場合ト云フヤウナ特別ノ場合ニハ許可シナイコトガアルカモ知レナイ、斯ウ云フ風ナ御説明デ能リ分リマシタ、尙ホソレニ關聯致シマシテ商業上ノ所謂讓渡ノ場合、サウ云フ場合モ相當信用ノアル人ガ營業ノ讓渡ヲ受ケレバ、家督相續ノ場合ナドト事情ガ違ヒマスケレドモ、ヤハリ前ノ持ツテ居ル營業ノ讓渡ヲ全部受ケルノデアリマスカラ、商法ハ之ヲ認メテ居リマス、唯營業讓渡ノ場合ニ公ニ知ラセル方法デアルトカ、債權者債務者ニ對スル關係ナドハ改正商法ニハ御承知ノ通りニ色々詳シイ規定ヲ設ケマシ

タガ、兎ニ角現行商法モ改正商法モ其ノ點ハ認メテ居リマスカラ、其ノ場合ニモ讓受人ガ人的ニ甚シク不信用デアルトカ何トカ、サウ云フ特別ノ者デナイ限りハ、ヤハリ此ノ許可ヲサレテ然ルベキデアラウト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ何カ今マデ御考ニナツタコトハアリマセヌカ

○周東政府委員 營業讓渡ノ場合ニ於キマシテモ法制ノ建前ト致シマシテハ、ヤハリ其ノ人ニ就テ手續ヲ取ツテ戴キ、サウシテ許可ヲ決定スル積リデアリマス、御話ノヤウナ營業讓渡ノ場合、讓受人ノ信用ト云フヤウナモノガ非常ニ好イトカ、或ハ從來ノアツタモノノ讓渡ヲ受ケタト云フヤウナコトハ、其ノ許可ヲ爲シマス場合ノ好イ條件トナツテ斟酌サレル點デアラウト思ヒマス

○石坂委員 此ノ許可ノ管轄廳ハ何處ノ管轄ニナルノデアリマスカ、尙ホ地方廳ハ何處テソレヲ扱ハレルカト云フコトヲ御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 大體許可ヲ致シマスノハ地方廳ニ致シテ行ク積リテ居リマス、地方長官ニヤラレルノデアリマスガ、地方廳ニ於ケル主管課ヲ何レニ置クカト云フコトニ付キマシテハ、實施マデニハ能ク内務省トモ協議ヲ致シマシテ決メタイト思ヒマス

○石坂委員 第四條ノ場合ハ、先日来ノ御説明ニ依リマシテ、是ハ極端ニ場合詰リ甚シク賣惜ミ若クハ買溜メチヤツタヤウナ場合ニ發動スルモノデアツテ、所謂傳家ノ寶刀デアアル、斯ウ云フコトヲ言ツテ居ルヤウデアリマス、ソコデ之ニ關聯致シマシ

テ御尋チ致シタイト思ヒマスノハ、今ノ傳家ノ寶刀デアツテ極端ニ場合ニ發動スベキモノダト云フコトハ分リマシタガ、是ト法案第十九條ノ關係デアリマス、第十九條ト第四條トノ關係ハ大體ニ於テ此ノ命令ノ對象物デアアル人ガ違フダケデアアルカ、命令ノ内容自體ガ違ツテ來ルノデアリマセウカ、其ノ點御説明ヲ願ヒタイ

○周東政府委員 是ハ第十九條ノ方ハ、先ズ市場員ニ付テ命令ノ發動ヲ致ス場合デアリマシテ、是ハ市場ニ於ケル取引ト云フモノニ付テ規制ヲ加ヘテ行ク必要ノアル場合出テ行フ規定デアリマス、市場員ニ對シマシテ必要ナル程度ノ命令ヲ致シマシテモ尙且ツ全體ノ配給上ニ於テ徹底セズ非常ニ不都合ガ生ジマスヤウナ場合ニ於キマシテハ、市場員ニアラザル米穀ノ配給業者ニ對シマシテ命令ガ出、更ニ配給業者ノミニ於テモ尙ホ徹底シナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、順次此ノ間申上ゲマシタヤウニ、地主等ニ參ル譯デアリマス、其ノ必要ナ度合、其ノ狀況ニ依リマシテ自ら變ツテ參ルコトデアラウト思ヒマス

○石坂委員 其ノ發動ノ場合ニ委員會ヲ設置致シマシテ、其ノ議ヲ經テ、然ル後ニ發動スル、斯ウ云フコトモ一案デハナイカト思ヒマスガ、左様ナ點ニ付テノ御考慮ハナイノデアリマセウカ

○周東政府委員 本法ノ規定カラハ直ニ委員會ニ掛ケテ決メルト云フ風ニ考ヘテ居ラヌノデアリマス

○石坂委員 先程聽キ落シタノデスガ、第一條ノ地域ノ御説明ガドウモハツキリ致シマセヌ、凡ソ全國ヲトノ位ノ地域ニ分ケ

ルカ、地域ト地、デスガ、第一條ハ地域ニナツテ居リマス、全國ガ幾ツ位ノ地域ニナルノデアリマセウカ

○周東政府委員 是ハ必要ナ地域ニ限ツテ其ノ中ニ於テ營業致スモノニ付テ許可ヲ致スト云フ建前デアリマス、併シナガラ其ノ地域ヲドウ云フ風ニ定メルカト云フコトガ御質問ノ點ニナルト思ヒマスガ、是ハ本法ノ目的ガ米穀配給統制ノ貫徹ヲ期スルト云フコトト、ソレカラ勿論其ノ反面ニ於キマシテハ業者ノ安定向上ト云フコトニアアルデアリマスガ、主トシテ是等ノ兩方面ノ點カラ考ヘマシテ、先ヅ市場ノ設置サレル區域ノ中ニ營業所等ヲ設ケテ居ルモノニ付テハ勿論第一ニ考ヘラレル點デアリマス、其ノ次ニハ小賣商、卸商ニ付テハ多少地域ニ付テ差異が起ルノデアリカト思ヒマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ商工省トモ連絡致シマシテ、最後のニ地域ヲ決メタイト思ヒマス

○石坂委員 第五條ノ市場開設ノ場所ハ今ドウ云フヤウニ御決メニナツテ居リマスカ

○周東政府委員 第五條ノ市場開設ノ場所ハ只今ノ所大體現在ノ取引所、正米市場等ガ開カレテ居リマス場所ニハ之ヲ開設シテ行カウ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、度々申シマスヤウニ是ハ實施ノ際ニハ更ニ考究致シマシテ、或ハ之ニ付テ増減チシテ行ク場合ガアルドラウト云フコトヲ申添ヘテ置キマス

○石坂委員 第八條ニ付テ伺ヒマスガ、第八條ノ但書ニ依リマスト「命令ヲ以テ定ムル場合ニ於テハ此ノ限リニ在ラズ」斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、同條ノ勅令事項ハ第一項ノ命令事項ト致シマシテ、現物取引ニ於テハ市場員ニ非ザル者ト雖モ市場

ニ來ルコトハアリマセヌ、ヤハリ小賣商ガ買ツテソレヲ消費者ニ配給スルヤウナコトニナツテ居リマス、此ノ市場ニ於キマシテモ其ノ點ハ同様ニ考ヘテ居リマスカラ、直接ニ市場員タラザル者ガ市場員カラ買ヒ得ルト云フコトニ致シマシテモ、ソレハ現狀ト變ラナイデアリマス、ソレニ依ツテ特ニ小賣商ガ排除サレテ個々ノ消費者ガ其處ニ米ヲ買ヒニ行クト云フコトニハナラヌデアリカト考ヘテ居リマス

○石坂委員 勿論市場ハ升一升二升買ヒニ行クトハ思ヒマセヌガ、今段々出來ツツアリマスヤウニ二十五人以上ノ消費組合ヲ作ル、サウスルト實ハ其ノ單位ヲ何ハナカツタノガ惡カツタノデアリマスケレドモ、或ハ一石ヲ單位ニスレバ二十五人以上ノ組合ナドハドン／＼直接ニ買ヒニ來ルノデアリカト考ヘラレマス、大體トノ位ノ石數ヲ單位ニシテヤラレルノカ、又一升、二升ニシタ所ガ二十五人以上ノ消費組合ヲ作ツタ際ニハ其ノ組合ガ買ヒニ行クヤウナコトガアリハシナイカ、サウ云フ懸念ガアルノデス

○周東政府委員 大體是ハ市場ニ依ツテ違フト思ヒマス、大キナ市場ニ行キマシテハ多少ノ變更ガ起リハセヌカト思ヒマスガ大體今ノ所二十五位ヲ單位ニ考ヘテ居リマス

○石坂委員 第八條ノ第一項ノ命令事項、參考資料ノ第二ニ日本米穀株式會社ハ政府ノ委託ヲ受ケタル場合ニ限り米穀市場ニ於テ買取引ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルコト」斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、大體臺灣米ノ委託販賣チ此ノ會社デアラレルト云フコトハ承知致シマシタガ、政府ハ從來ノ拂下米チ此ノ

員トノ取引ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルコト」斯ウ云フ規定ニナツテ居リマス關係上、此ノ現物ニ對シテ市場員デナイ者ガド／＼買ヒニ參ルコトニナリマスカラ、消費者ト産業組合トノ直接ノ取引ガ多クナル結果ニナルドラウト想像サレルデアリマス、サウ致シマスト白米商ト云フモノハ實際第一條ヲ許可テ受ケテ置キマシテモ、段々商賣ガ減ツテ來ハセヌカト云フ懸念ガアルノデアリマス、隨テ其ノ點ニ對シテノ懸念ヲ除去シテ安心サセルダケノ御説明ガ願ヒタイト思ヒウス

○周東政府委員 御話ノヤウニ第八條ノ但書ノ規定ハ、現物取引市場ニ於キマシテハ市場員ニアラザル小賣商、消費團體等ニ付キマシテモ市場ニ行ツテ自由ニ市場員ガアル米穀ノ取扱業者カラ、米ヲ買得ルト云フコトヲ書ク積リテアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ現在ニ於キマシテモ小賣商ハ正米市場ニ行ツテ、市場員アル方カラ米ヲ買ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ何等變更ヲ加ヘル譯デハゴザイマセヌデア、小賣商ノ御心配ノヤウナ點ハ起ラナイデアリカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂委員 只今ノ點ハ成程理窟ノ上アハ今局長カラ御説明ノアル通りデアリマスガ、實際市場ニ於キマシテ現物取引ヲ第八條ノ但書ヲ認メタヤウナコトニナルト、段々白米商ノ商賣ガナクナツテ來ルト云フ心配ハ事實上ナイデアセウカ

○周東政府委員 大體現物取引市場ニ於キマシテモ、一升トカ二升トカ云フヤウナ少量買入ハ、實際上行ハレナイデアリマス、ヤハリ取引ノ單位モ決メマス、サウ云フ風ナコトモゴザイマスデア、現在ニ於キマシテモ正米市場ニ個々ノ消費者ガ買ヒ

會社ニ委託シナイ場合ガアルノデアセウカ、其ノ點ハ如何デセウカ

○周東政府委員 大體ニ於キマシテハ是ハ臺灣米ガ主ニナリマス、併シナガラ必要ナ場合ニ於テ政府所有米ノ委託販賣却サセラル場合モ考ヘテ居リマス、今ノ質問ハ恐ラク從來ノ應召軍人遺家族或ハ災害地ニ於ケル應急處置トシテノ米ノ拂下ト云フヤウナコトヲ御考ニナツテ居ルノダト思ヒマスガ、ソレ等ハ勿論政府ガ直接ニヤツテ行カウト思ツテ居リマス

○石坂委員 第十條ノ關係デアリマスガ、此ノ勅令ニ依リマスト現物取引ハ市場員ガ日本米穀株式會社ノ業務ニ參與スル理事トナリマシタ時モヤハリ取扱ツテ宜イ、斯ウ云フヤウナコトノ規定デアリカト思ヒマスガ、若シサウダトスルト是ハ日本米穀株式會社ノ業務ニ參與スル理事ガ、其ノ市場現物取引チスルト云フコトハ弊害ヲ生ズルコトニナリハシナイカチ恐レマスガ其ノ點ハ如何デスカ

○周東政府委員 是ハ少シ書キ方ガ拙カツタト思ヒマスガ、是ハ大體參與理事ト書ク積リダツタノデス、業務ヲ擔當スル理事ニアラズシテ、參與理事ト云フヤウナモノヲ置ク積リデアリマスガ、ソレ等ハ現物ノ取引ノ市場員ニナルコトモ差支ナイノデアリカト云フ範圍デ之ヲ認メタノデアリマス

○石坂委員 ソレナラバ能ク分リマス、ソレカラモウ一ツ第十條ノ關係デ、是ハ午前中周東局長カラ御説明ガアリマシタノデスガ、私ハ其ノ時十分ニ聽キ取レナカツタノデ、モウ一遍伺ヒマス第十一條ノ勅令ノ一ニ「米穀取扱業者」トアリマスニ取扱

員トノ取引ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルコト」斯ウ云フ規定ニナツテ居リマス關係上、此ノ現物ニ對シテ市場員デナイ者ガド／＼買ヒニ參ルコトニナリマスカラ、消費者ト産業組合トノ直接ノ取引ガ多クナル結果ニナルドラウト想像サレルデアリマス、サウ致シマスト白米商ト云フモノハ實際第一條ヲ許可テ受ケテ置キマシテモ、段々商賣ガ減ツテ來ハセヌカト云フ懸念ガアルノデアリマス、隨テ其ノ點ニ對シテノ懸念ヲ除去シテ安心サセルダケノ御説明ガ願ヒタイト思ヒウス

○周東政府委員 御話ノヤウニ第八條ノ但書ノ規定ハ、現物取引市場ニ於キマシテハ市場員ニアラザル小賣商、消費團體等ニ付キマシテモ市場ニ行ツテ自由ニ市場員ガアル米穀ノ取扱業者カラ、米ヲ買得ルト云フコトヲ書ク積リテアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ現在ニ於キマシテモ小賣商ハ正米市場ニ行ツテ、市場員アル方カラ米ヲ買ツテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テ何等變更ヲ加ヘル譯デハゴザイマセヌデア、小賣商ノ御心配ノヤウナ點ハ起ラナイデアリカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○石坂委員 只今ノ點ハ成程理窟ノ上アハ今局長カラ御説明ノアル通りデアリマスガ、實際市場ニ於キマシテ現物取引ヲ第八條ノ但書ヲ認メタヤウナコトニナルト、段々白米商ノ商賣ガナクナツテ來ルト云フ心配ハ實際上ナイデアセウカ

○周東政府委員 大體現物取引市場ニ於キマシテモ、一升トカ二升トカ云フヤウナ少量買入ハ、實際上行ハレナイデアリマス、ヤハリ取引ノ單位モ決メマス、サウ云フ風ナコトモゴザイマスデア、現在ニ於キマシテモ正米市場ニ個々ノ消費者ガ買ヒ

會社ニ委託シナイ場合ガアルノデアセウカ、其ノ點ハ如何デセウカ

○周東政府委員 大體ニ於キマシテハ是ハ臺灣米ガ主ニナリマス、併シナガラ必要ナ場合ニ於テ政府所有米ノ委託販賣却サセラル場合モ考ヘテ居リマス、今ノ質問ハ恐ラク從來ノ應召軍人遺家族或ハ災害地ニ於ケル應急處置トシテノ米ノ拂下ト云フヤウナコトヲ御考ニナツテ居ルノダト思ヒマスガ、ソレ等ハ勿論政府ガ直接ニヤツテ行カウト思ツテ居リマス

○石坂委員 第十條ノ關係デアリマスガ、此ノ勅令ニ依リマスト現物取引ハ市場員ガ日本米穀株式會社ノ業務ニ參與スル理事トナリマシタ時モヤハリ取扱ツテ宜イ、斯ウ云フヤウナコトノ規定デアリカト思ヒマスガ、若シサウダトスルト是ハ日本米穀株式會社ノ業務ニ參與スル理事ガ、其ノ市場現物取引チスルト云フコトハ弊害ヲ生ズルコトニナリハシナイカチ恐レマスガ其ノ點ハ如何デスカ

○周東政府委員 是ハ少シ書キ方ガ拙カツタト思ヒマスガ、是ハ大體參與理事ト書ク積リダツタノデス、業務ヲ擔當スル理事ニアラズシテ、參與理事ト云フヤウナモノヲ置ク積リデアリマスガ、ソレ等ハ現物ノ取引ノ市場員ニナルコトモ差支ナイノデアリカト云フ範圍デ之ヲ認メタノデアリマス

○石坂委員 ソレナラバ能ク分リマス、ソレカラモウ一ツ第十條ノ關係デ、是ハ午前中周東局長カラ御説明ガアリマシタノデスガ、私ハ其ノ時十分ニ聽キ取レナカツタノデ、モウ一遍伺ヒマス第十一條ノ勅令ノ一ニ「米穀取扱業者」トアリマスニ取扱